

産業実態に係るアンケート調査  
結果報告書

朝霞市



# 目次

1	調査の全体像	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査の種類	1
(3)	調査の概要	1
(4)	本報告書のみかた	2
(5)	地域区分について	2
2	事業所を主たる販売先とする企業向け 調査概要	3
(1)	調査項目	3
(2)	調査仕様	3
(3)	有効回収数・回収率	3
3	事業所を主たる販売先とする企業向け 調査結果	4
(1)	基本属性	4
(2)	経営状況と取引先について	7
(3)	立地環境について	19
(4)	採用状況や雇用環境について	24
(5)	資金調達等について	36
(6)	事業活動における課題と方向性について	40
(7)	個別の事業課題等について	44
4	個人を主たる販売先とする企業向け 調査概要	52
(1)	調査項目	52
(2)	調査仕様	52
(3)	有効回収数・回収率	52
5	個人を主たる販売先とする企業向け 調査結果	53
(1)	基本属性	53
(2)	顧客について	56
(3)	経営状況について	61
(4)	立地環境について	73
(5)	採用状況や雇用環境について	77
(6)	商店会等について	86
(7)	資金調達等について	91
(8)	個別の事業課題について	93
6	産業・まちづくりに関する市民向け 調査概要	100
(1)	調査項目	100
(2)	調査仕様	100
(3)	有効回収数・回収率	100
7	産業・まちづくりに関する市民向け 調査結果	101
(1)	基本属性	101
(2)	仕事や起業について	104

(3) お住まいの地域について .....	117
(4) 日ごろの地域とのかかわりについて .....	124
(5) 日頃の買物等の場所について .....	140
(6) 自宅周辺の商店街等について .....	144
(7) 朝霞市のまちや産業について .....	166
8 農家向け 調査概要 .....	175
(1) 調査項目 .....	175
(2) 調査仕様 .....	175
(3) 有効回収数・回収率 .....	175
9 農家向け 調査結果 .....	176
(1) 基本属性 .....	176
(2) 農業経営全般 .....	178
(3) 景況感について .....	184
(4) 経営上の課題等について .....	186
(5) 朝霞市の農業について .....	189
10 商店会向け 調査概要 .....	192
(1) 主要調査項目 .....	192
(2) 調査仕様 .....	192
(3) 有効回収数・回収率 .....	192
11 商店会向け 調査結果 .....	193
(1) 商店会の概要・状況について .....	193
(2) 商店街の現状と問題点について .....	194
(3) 商店街の空き店舗について .....	196
(4) 商店街の取組について .....	198
12 各調査の自由記述 .....	202
(1) 事業所を主たる販売先とする企業向け .....	202
(2) 個人を主たる販売先とする企業向け .....	204
(3) 産業・まちづくりに関する市民向け .....	208
(4) 農家向け .....	225

## 1 調査の全体像

### (1) 調査の目的

朝霞市では、今後の産業振興施策の方向性を定める朝霞市産業振興基本計画を、平成 29 年度から平成 30 年度の 2 か年をかけて策定する。

そのため、今年度（平成 29 年度）は市内中小企業・商店会・農家等の事業者の経営状況や課題・ニーズ等を幅広く把握し、来年度（平成 30 年度）の計画策定に向け、産業基礎調査を実施した。また、市の産業と密接に関わる市民に対する意識調査も併せて実施するものである。

### (2) 調査の種類

実施したアンケート調査は、下記の 5 項目である。

- ①事業所を主たる販売先とする企業向けアンケート調査
- ②個人を主たる販売先とする企業向けアンケート調査
- ③産業・まちづくりに関する市民向けアンケート調査
- ④農家向けアンケート調査
- ⑤商店会向けアンケート調査

### (3) 調査の概要

アンケート調査は、商店会や農家を除く事業者に対し、1,000 サンプルずつ、販売先の違いを考慮し、「事業所を主たる販売先とする企業向け」と「個人を主たる販売先とする企業向け」の 2 種類を実施した。

また、これらの事業者以外に、市民に対し 1,500 サンプル、市内に所在する農家に対し 200 サンプル、市内商店会に対し 13 サンプルとして調査を実施した。

#### ■アンケート調査実施概要

調査対象		発送数	抽出方法
事業者	事業所を主たる販売先とする企業向け	1,000 サンプル	「平成 26 年経済センサス - 基礎調査」(経済産業省)に基づき、業種別に事業所を無作為抽出
	個人を主たる販売先とする企業向け	1,000 サンプル	
市民		1,500 サンプル	朝霞市住民基本台帳に基づき、18 歳以上 80 歳未満の男女を無作為抽出
農家		200 サンプル	農地基本台帳から無作為抽出
商店会		13 サンプル	市内に所在する商店会組織すべて

#### (4) 本報告書のみかた

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は全体またはNで示している。
- 回答率(%)については、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- 回答には、単数回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)、制限回答(○は××まで)の3種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。
- 図表の問のタイトル及び回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な問のタイトル及び回答の選択肢は、調査票を参照されたい。
- 図表中の「不明」は、回答が「不明なもの」と「無回答」を意味している。
- クロス集計表における表の上部部分の項目を「表頭」といい、表の左側部分(側部)の項目を「表側」という。(注)の欄に「表側の不明を除く」とあったら、表側の項目から「不明」部分を除いて表示しているという意味である。

#### (5) 地域区分について

地域区分については、各調査票における質問項目の内容から、便宜上以下のとおりの町丁目で区分した結果である。

地域区分	事業者(事業所・個人を主たる販売先とする)	市民向け
内間木地域	大字上内間木、大字下内間木、大字浜崎の一部、大字 宮戸の一部、大字田島の一部	大字上内間木、大字下内間木
北部地域	北原1・2丁目、西原1・2丁目、朝志ヶ丘1～4丁目、宮戸1～4丁目、浜崎1～4丁目、田島1・2丁目、大字宮戸の一部、大字浜崎の一部、大字田島の一部	北原1・2丁目、西原1・2丁目、朝志ヶ丘1～4丁目、宮戸1～4丁目、浜崎1～4丁目、田島1・2丁目、大字宮戸、大字浜崎、大字田島
東部地域	岡1～3丁目、根岸台1～8丁目、仲町1・2丁目、大字岡、大字根岸、大字台、大字溝沼の一部	岡1～3丁目、根岸台1～8丁目、仲町1・2丁目、大字岡、大字根岸、大字台
西部地域	三原1～5丁目、西弁財1・2丁目、東弁財1～3丁目、泉水1～3丁目、膝折町3丁目の一部、膝折町4丁目の一部、大字溝沼の一部、大字浜崎の一部	三原1～5丁目、西弁財1・2丁目、東弁財1～3丁目、泉水1～3丁目、大字溝沼
南部地域	本町1～3丁目、溝沼1～7丁目、幸町1～3丁目、栄町1～5丁目、青葉台1丁目、膝折町1・2・5丁目、膝折町3丁目の一部、膝折町4丁目の一部、大字溝沼の一部、大字膝折、基地跡地、陸上自衛隊 朝霞駐屯地	本町1～3丁目、溝沼1～7丁目、幸町1～3丁目、栄町1～5丁目、青葉台1丁目、膝折町1～5丁目、大字膝折、基地跡地、陸上自衛隊 朝霞駐屯地

## 2 事業所を主たる販売先とする企業向け 調査概要

### (1) 調査項目

#### ①事業所属性

事業所名、住所、連絡先、経営形態、業種、所属団体、資本金、従業者数、採用者数、経営者年代、後継者、土地・建物の所有形態、事業所の敷地面積等

#### ②経営状況について

昨年度売上高、3年前と比べた昨年度売上、昨年度経常利益率、今後3年間の景況予測、取引先地域、経営に対する満足度

#### ③立地環境について

創業場所、市内立地時期、市内立地メリットとデメリット、移転の可能性

#### ④採用状況や雇用環境について

採用状況、採用に対する対策、従業員が就職を決めた理由、高齢者・障害者雇用、女性の活躍推進対策、若年者採用実績と考え方、採用したい人材、ワーク・ライフ・バランスの進捗状況と進んでいない場合の理由、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいくための課題

#### ⑤資金調達等について

資金調達先、主な資金調達先との関係、制度融資等利用の有無とその理由

#### ⑥事業活動における課題と方向性等について

経営上抱えている課題、今後5年以内に重点的に取り組みたいこと

#### ⑦個別事業課題について

個別の事業課題についてのこれまでの取組経験・今後の取組意向、行政等への支援要望等

### (2) 調査仕様

- ①調査地域 朝霞市全域
- ②調査対象 事業所を主たる販売先とする企業（市内の製造業、建設業、運輸業、情報通信業、専門・技術サービス等）
- ③標本数 928 サンプル（宛先不明(72 通)を含む総発行数は1,000 サンプル）
- ④抽出方法 平成26年経済センサス基礎調査
- ⑤調査方法 郵送配布・回収法
- ⑥調査期間 平成29年9月14日～9月29日

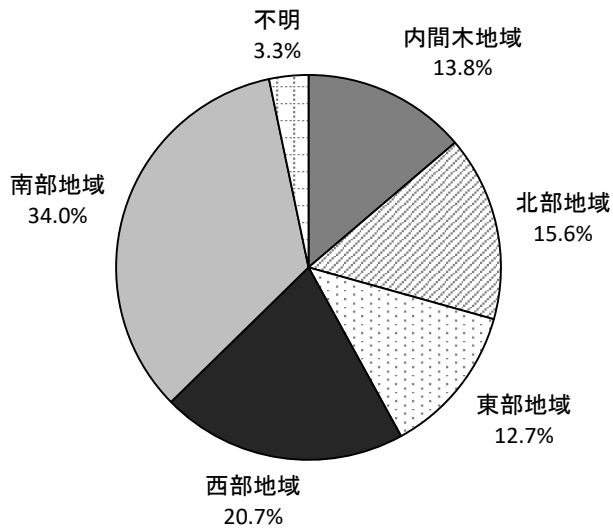
### (3) 有効回収数・回収率

276 サンプル (29.7%)

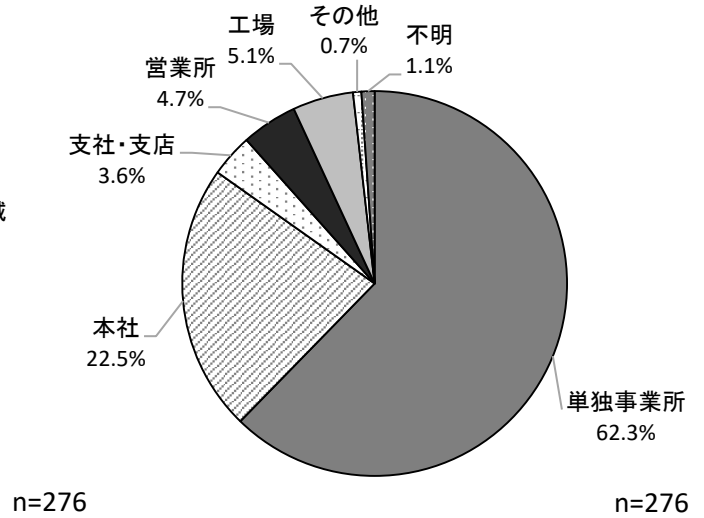
### 3 事業所を主たる販売先とする企業向け 調査結果

#### (1) 基本属性

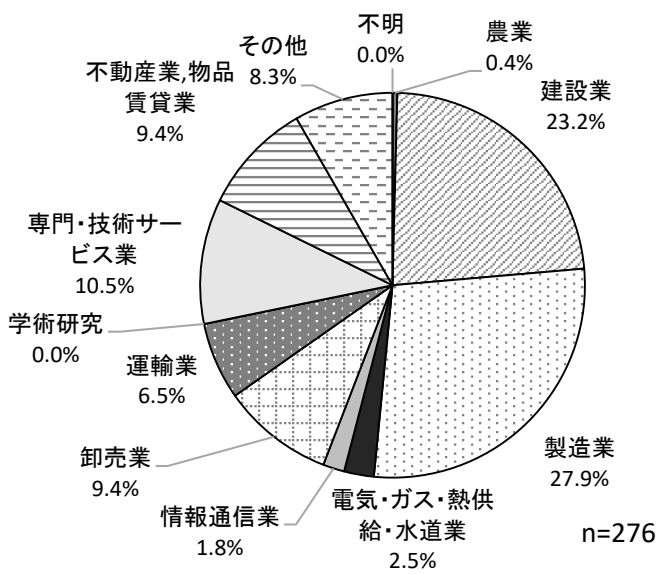
所在地



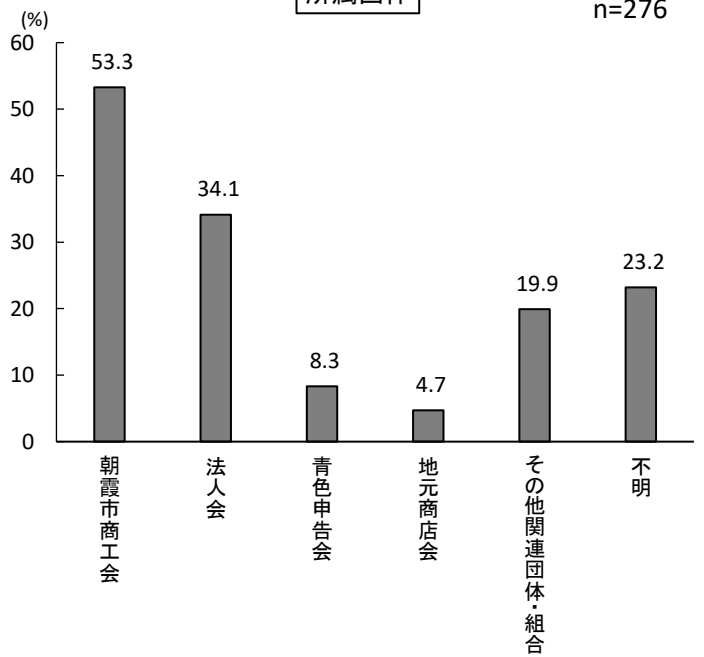
経営形態



業種



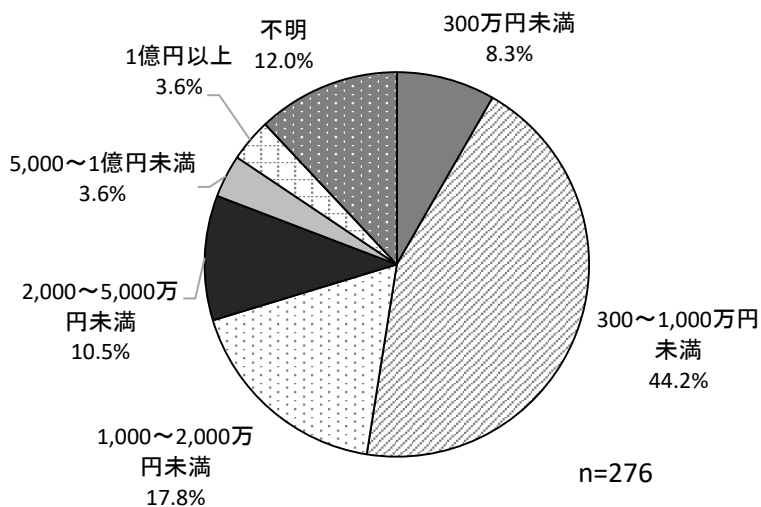
所属団体





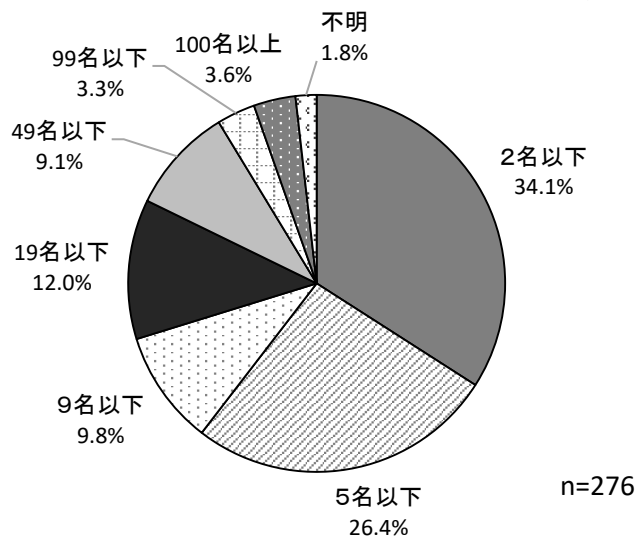
**資本金**

【平均値: 本社・単独事業所 994 万円、  
支社支店・営業所・工場 101,103 万円】



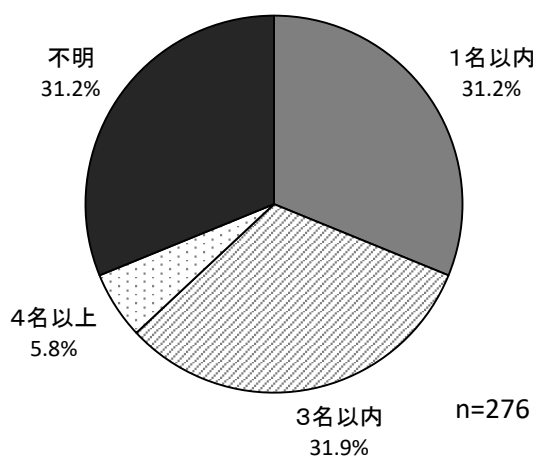
**従業者数**

【平均値: 本社・単独事業所 10.8 人、  
支社支店・営業所・工場 621.3 人】



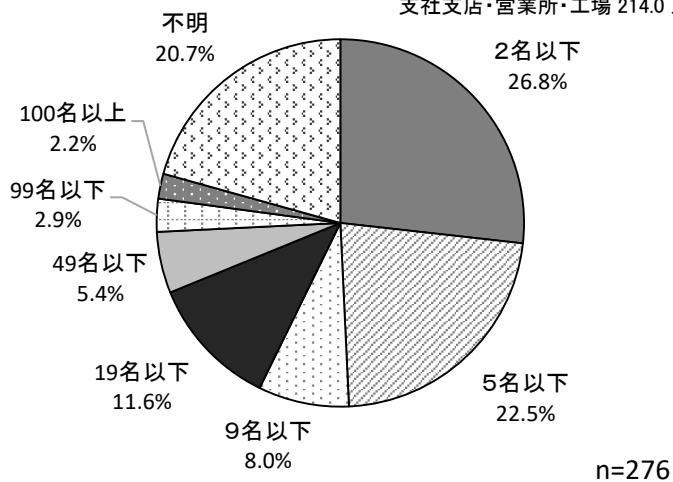
**従業者のうち家族**

【平均値: 1.8 人】



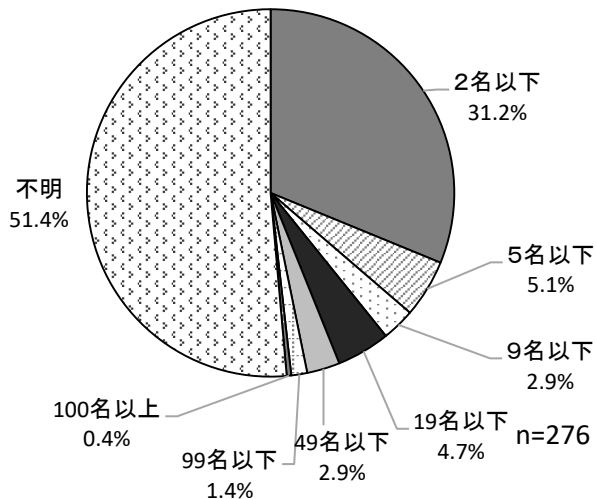
**従業者のうち正社員**

【平均値: 本社・単独事業所 9.7 人、  
支社支店・営業所・工場 214.0 人】



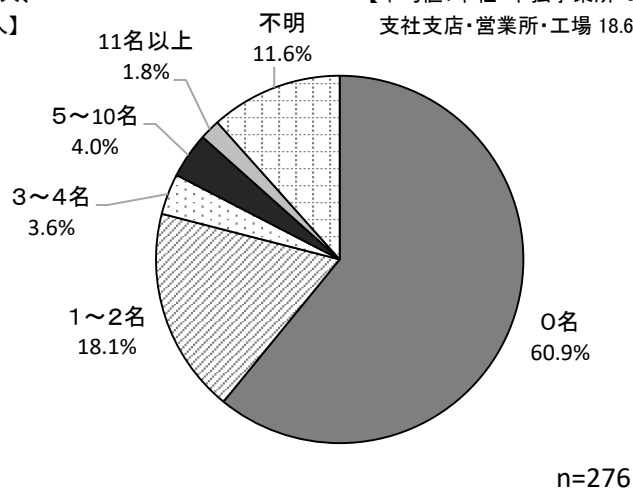
**従業者のうちパート・アルバイト・派遣**

【平均値: 本社・単独事業所 5.5 人、  
支社支店・営業所・工場 195.4 人】

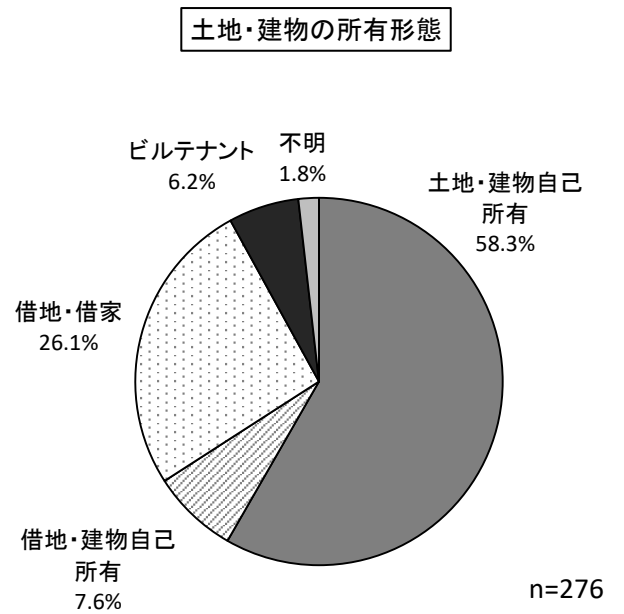
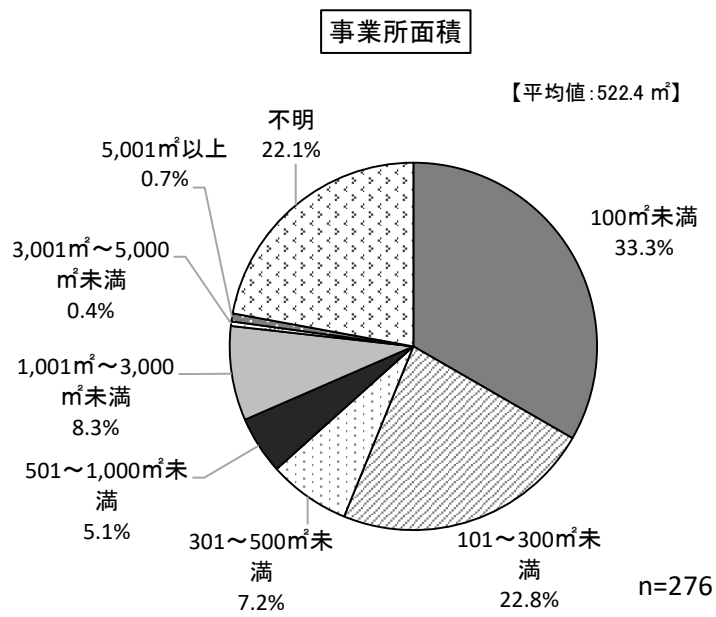
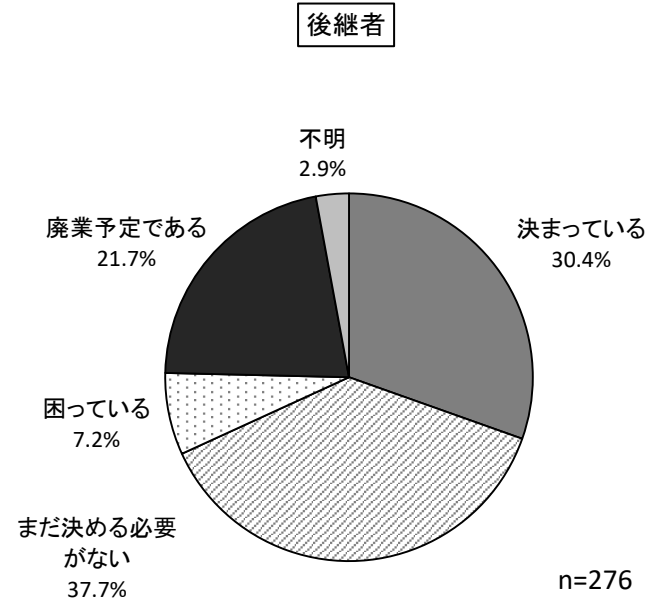
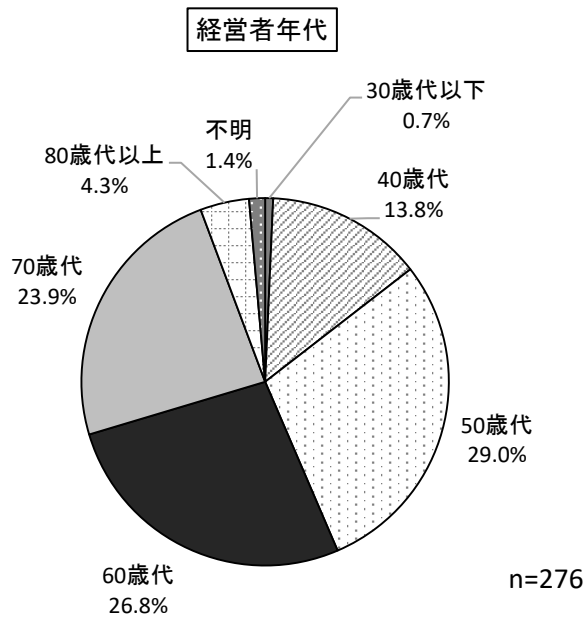


**採用者数**

【平均値: 本社・単独事業所 0.8 人、  
支社支店・営業所・工場 18.6 人】



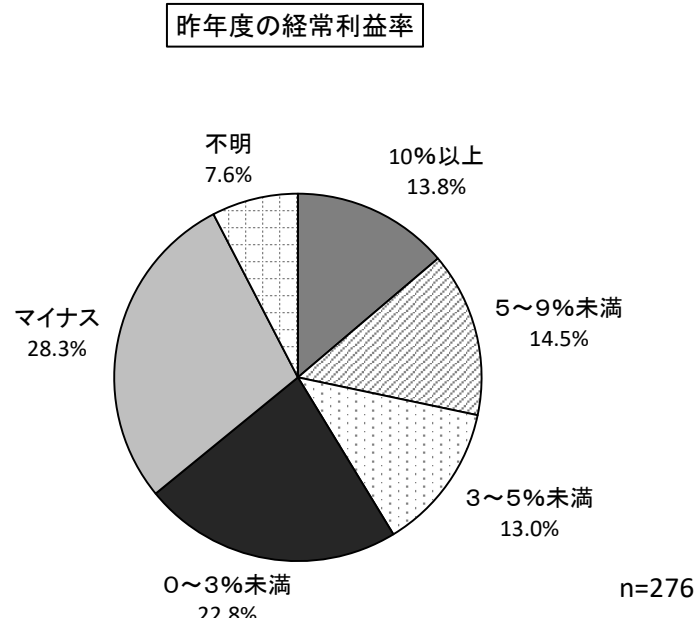
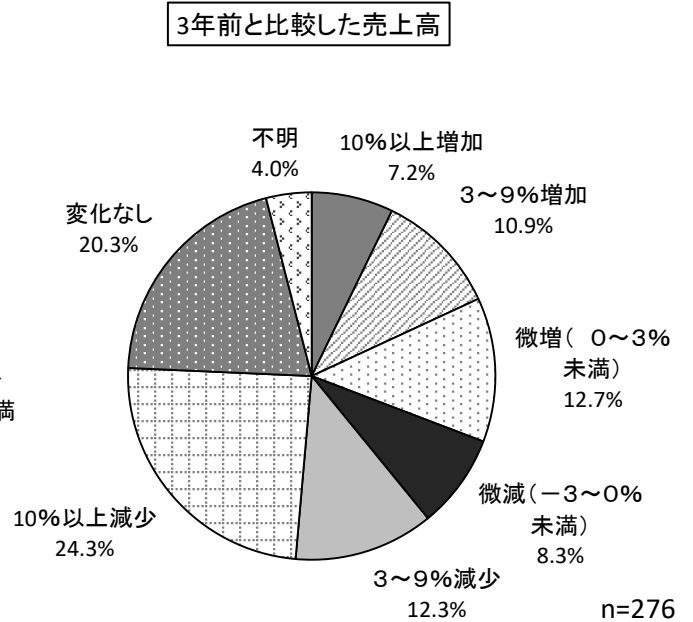
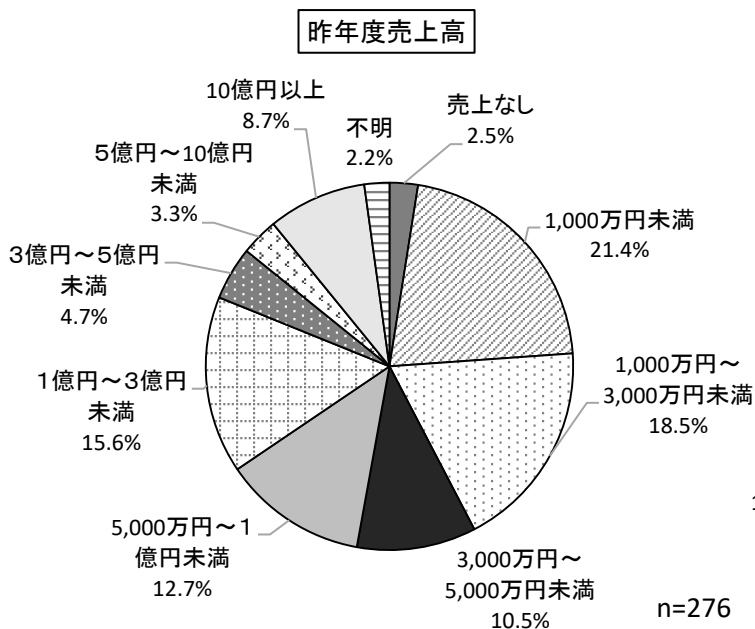
【男性平均: 6.7 人(内新卒平均 6.2 人) /  
女性平均: 1.7 人(内新卒平均 1.2 人)】



## (2) 経営状況と取引先について

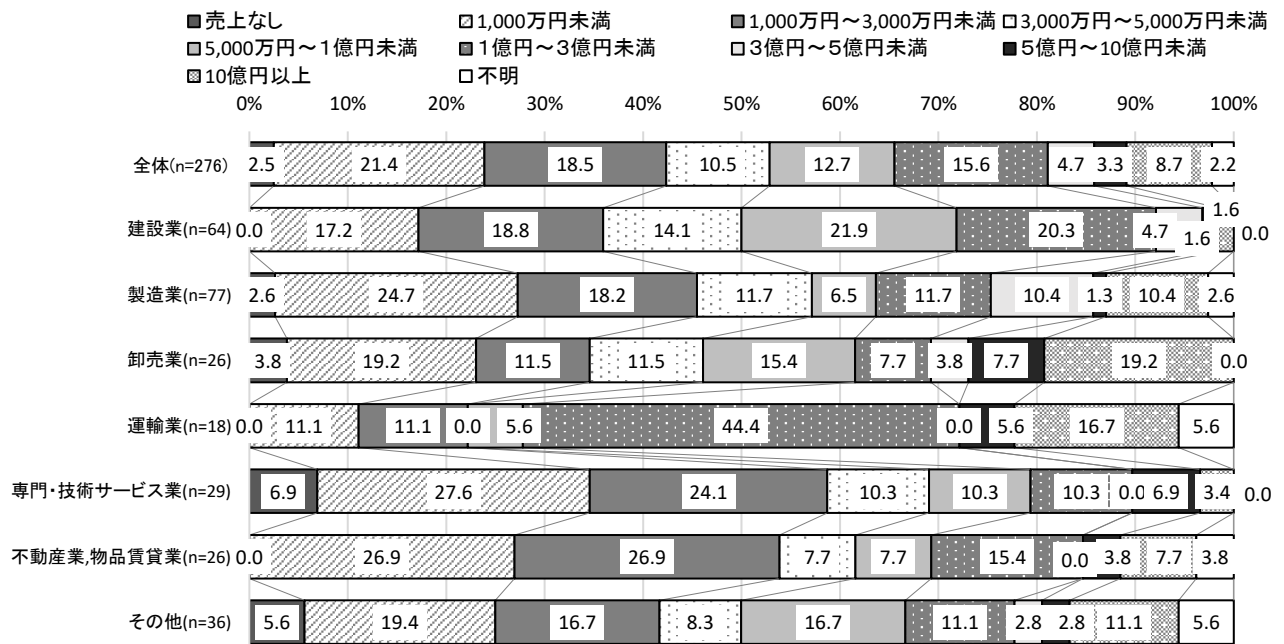
問2 (1) 昨年度の年間売上高について、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。  
 (2) 昨年度の売上高の増減について、その3年前と比較して、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。  
 (3) 昨年度の経常利益率について、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。

- ・昨年度売上高では、「1,000万円未満」(21.4%)が最も多く、次いで「1,000万円～3,000万円未満」(18.5%)となっている。
- ・3年前と比較した売上高では、「10%以上減少」(24.3%)が最も多く、次いで「変化なし」(20.3%)となっている。
- ・昨年度の経常利益率では、「マイナス」(28.3%)が最も多いが、次いで「0～3%未満」(22.8%)となっている。

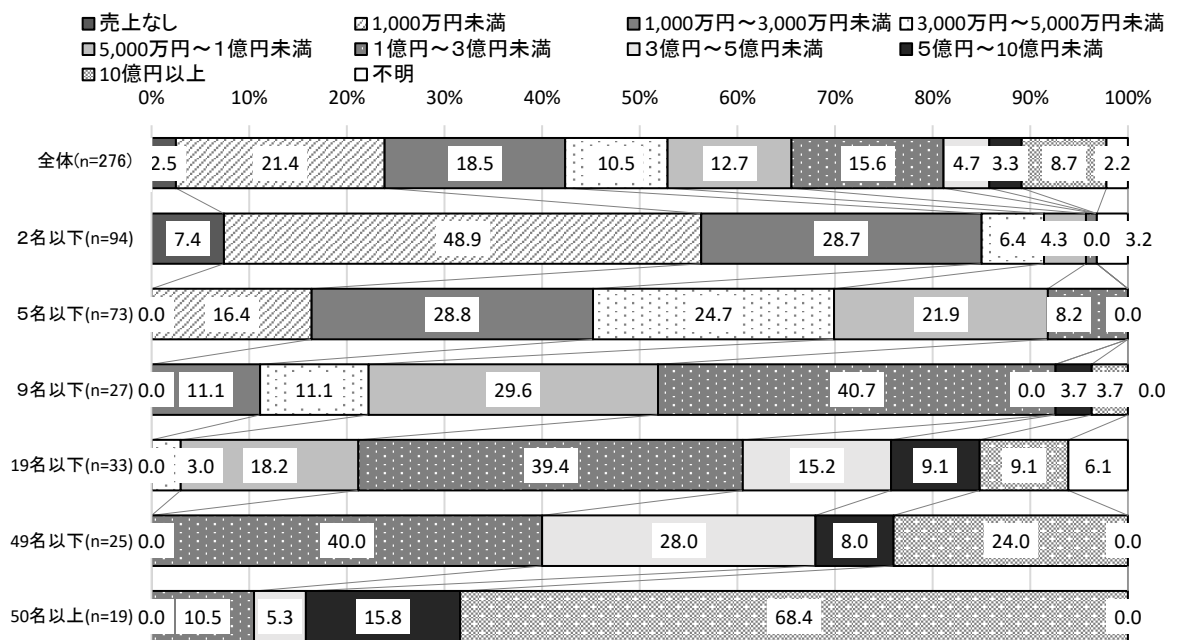


- ・昨年度売上高について、業種別に見ると、売上高規模の大きい「5億円～10億円未満」「10億円以上」の合計割合が最も高いのは卸売業(計26.9%)となっている。一方、「1,000万円未満」では専門・技術サービス業(27.6%)、不動産業, 物品賃貸業等(26.9%)などで多くなっている。
- ・昨年度売上高について、従業者数別に見ると、従業者数規模が大きくなるにつれ、概ね売上が高くなる傾向が見られる。

昨年度売上高(業種別)



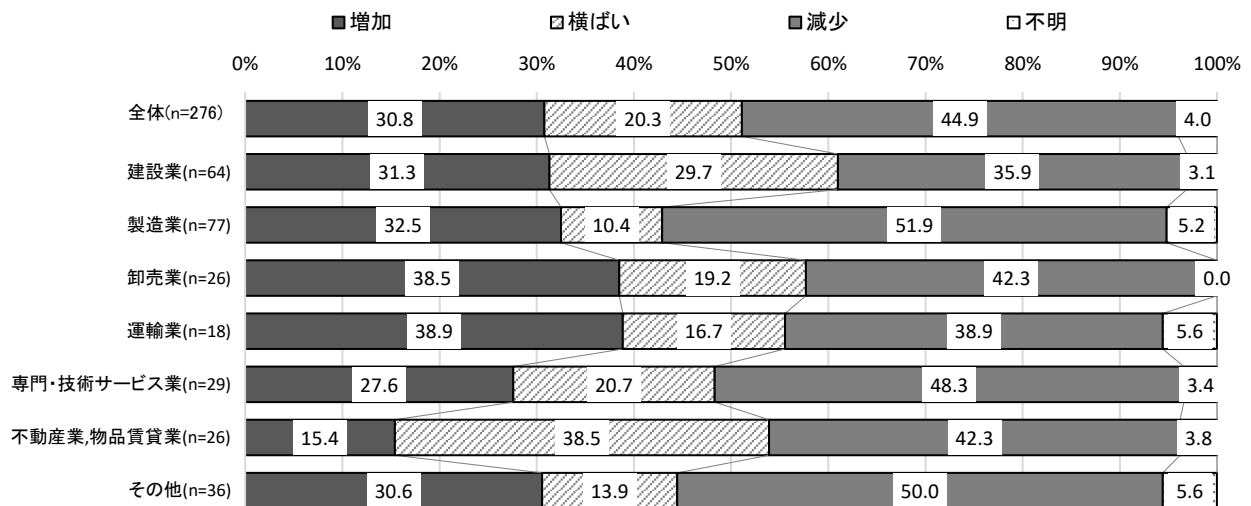
昨年度売上高(従業者数別)



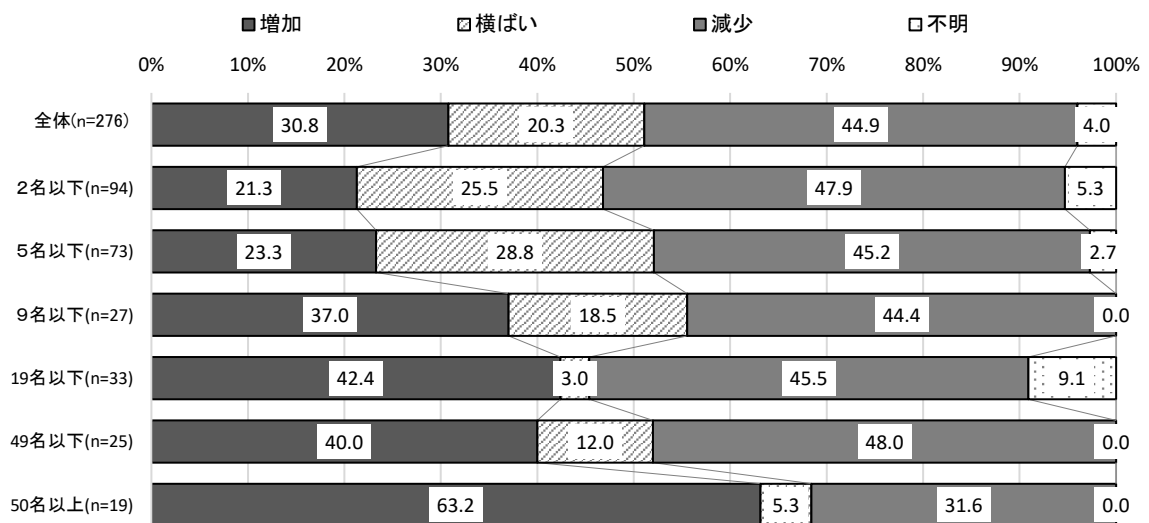
(注)表側の「不明」は除く。

- ・ 3年前と比較した売上高の増減について、業種別に見ると、「増加」が最も多いのは運輸業(38.9%)となっており、次いで卸売業(38.5%)となっている。一方、「減少」が最も多いのは製造業(51.9%)となっている。
- ・ 3年前と比較した売上高の増減について、従業者数別に見ると、50名以上で(売上高)の「増加」(63.2%)が最も多く、概ね従業者規模に比例して「増加」の割合が高くなっている。

3年前と比較した売上高(業種別)



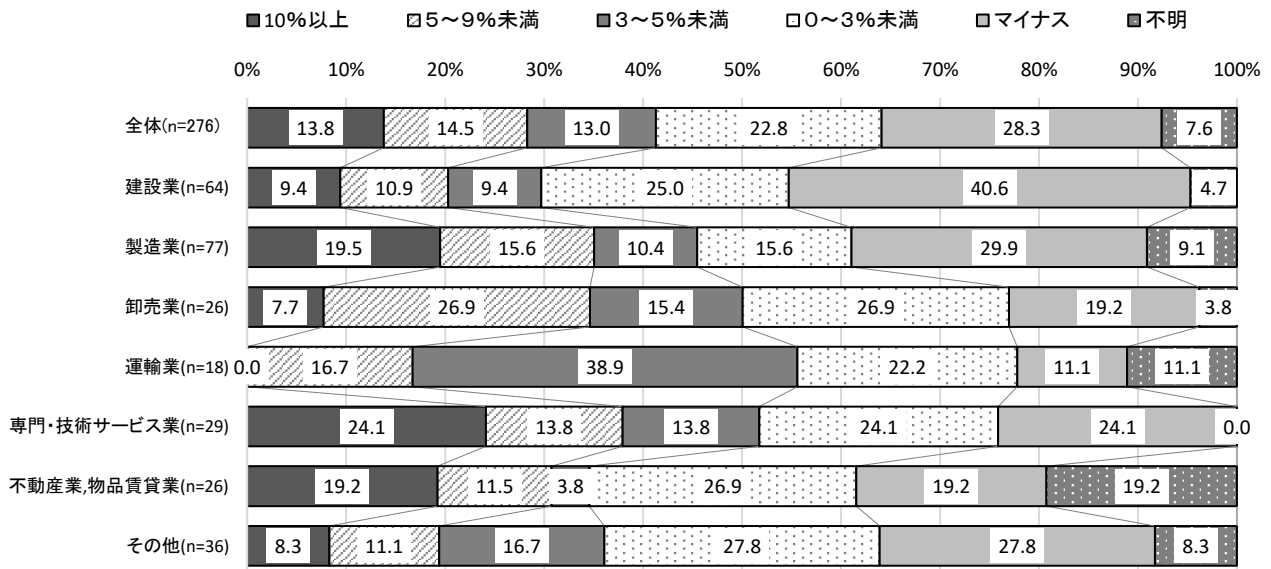
3年前と比較した売上高(従業者数別)



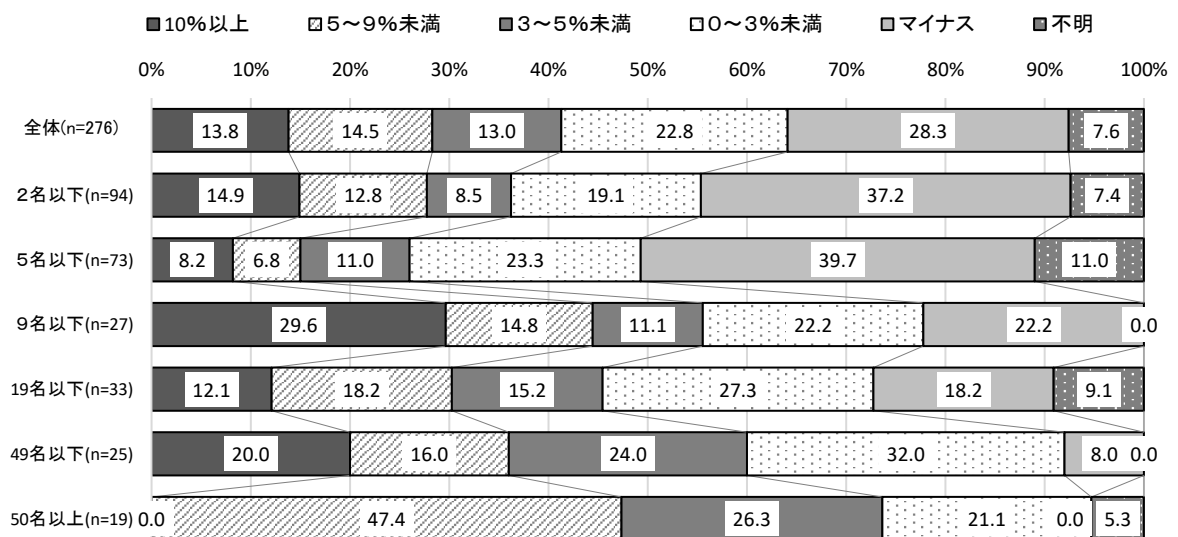
(注)表側の「不明」は除く。

- ・昨年度の経常利益率について、業種別に見ると、専門・技術サービス業で「10%以上」(24.1%)が最も多く、次いで製造業(19.5%)となっている。一方、「マイナス」が最も多いのは建設業(40.6%)、次いで製造業(29.9%)となっている。
- ・昨年度の経常利益率について、従業員数別に見ると、5名以下で「マイナス」(39.7%)が最も多く、9名以下で「10%以上」(29.6%)が最も多い。

昨年度の経常利益率(業種別)



昨年度の経常利益率(従業員数別)

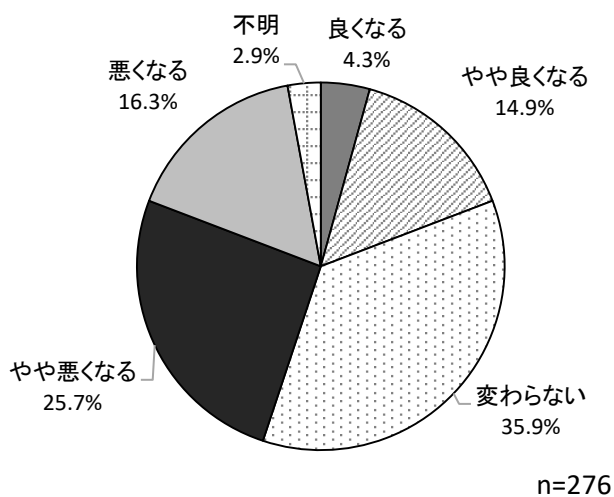


(注)表側の「不明」は除く。

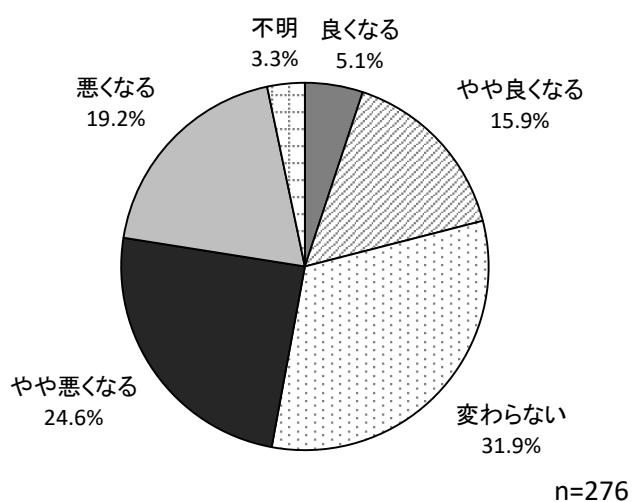
問2 (4) 今後3年間を考えたとき、貴社の景況はどのように推移していくと予想しますか  
(○は各指標について1つだけ)。

- 3年後の景況では「変わらない」(35.9%)が最も多く、次いで「やや悪くなる」(25.7%)となっている。
- 3年後の売上高では「変わらない」(31.9%)が最も多く、次いで「やや悪くなる」(24.6%)となっている。
- 3年後の営業利益では「変わらない」(31.5%)が最も多く、次いで「やや悪くなる」(24.3%)となっている。

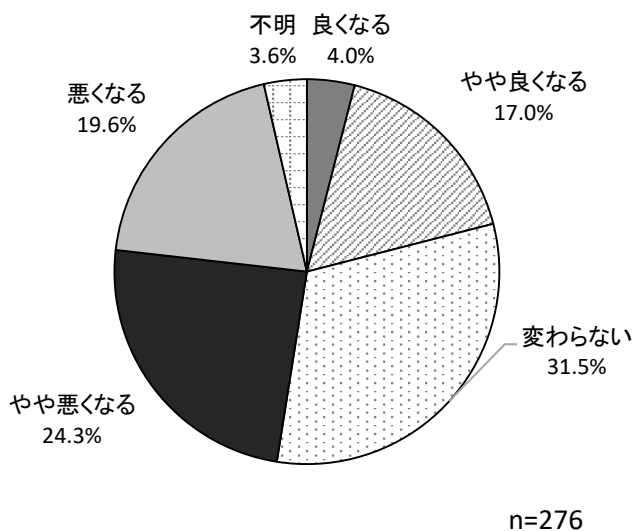
3年後の景況



3年後の売上高

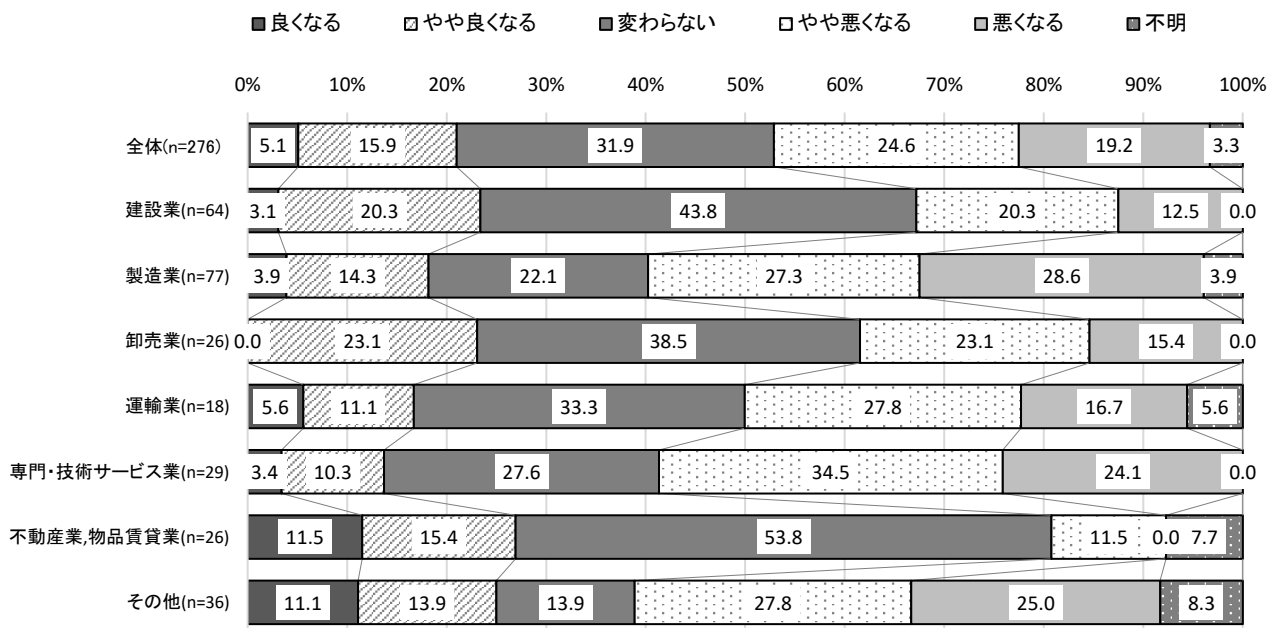


3年後の営業利益

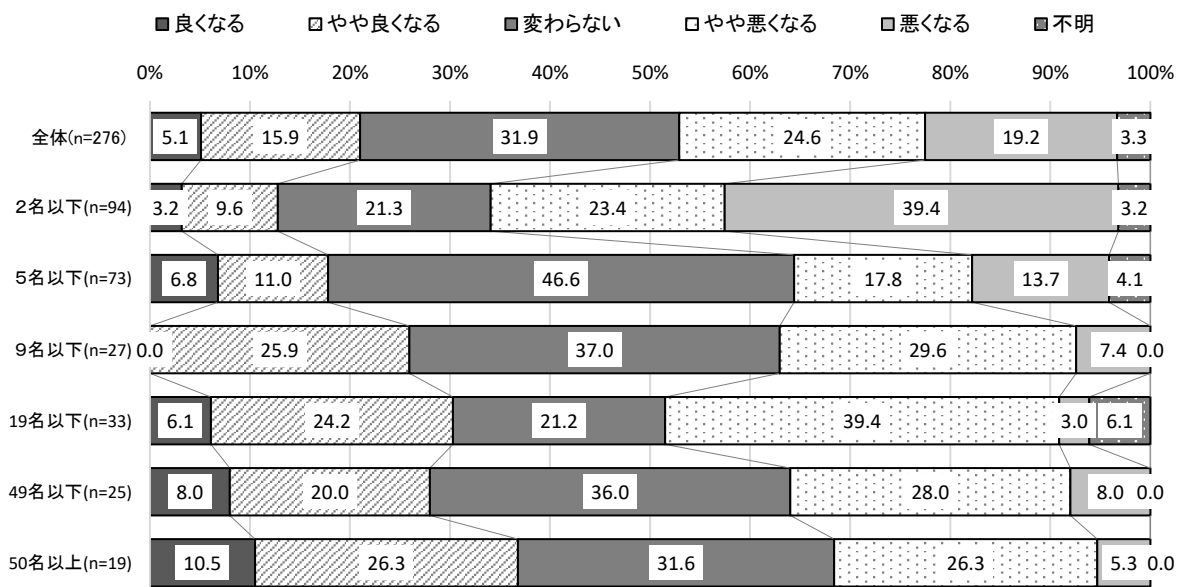


- ・ 3年後の売上高について、業種別に見ると、その他を除き、不動産業, 物品賃貸業や建設業などで「良くなる」「やや良くなる」の合計割合が高くなっている。一方、「悪くなる」「やや悪くなる」の合計割合が高い業種は、専門・技術サービス業、製造業などとなっている。
- ・ 3年後の売上高について、従業員数別に見ると、2名以下で「悪くなる」(39.4%)が最も多くなっており、「良くなる」「やや良くなる」の合計割合(計 12.8%)でも最も低くなっている。

3年後の売上高(業種別)



3年後の売上高(従業員数別)

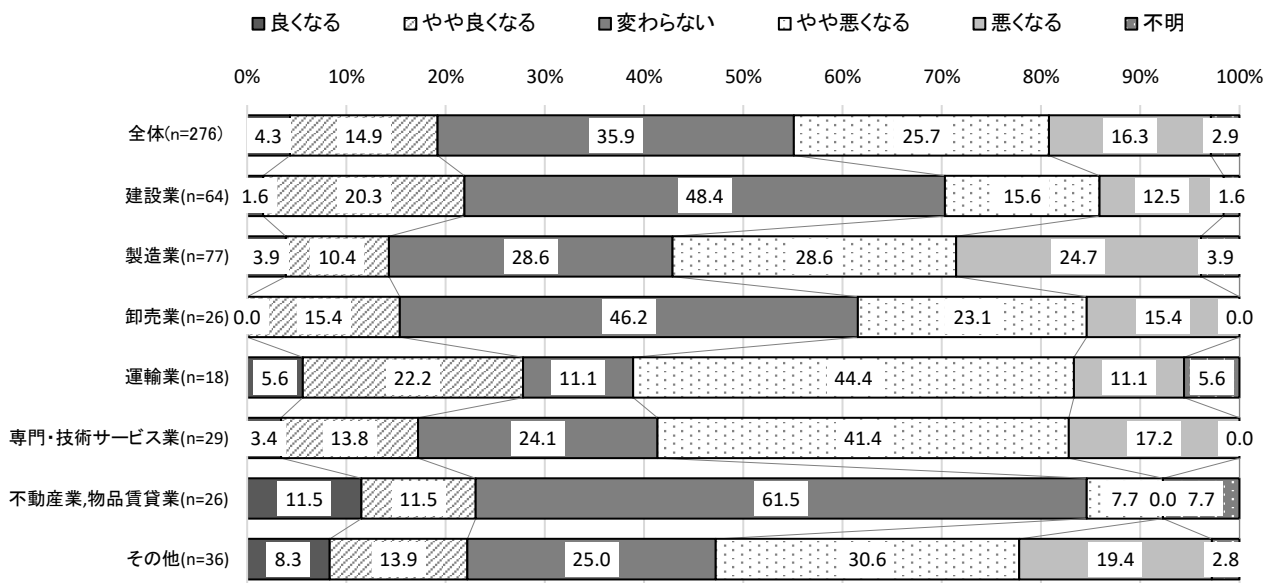


(注)表側の「不明」は除く。

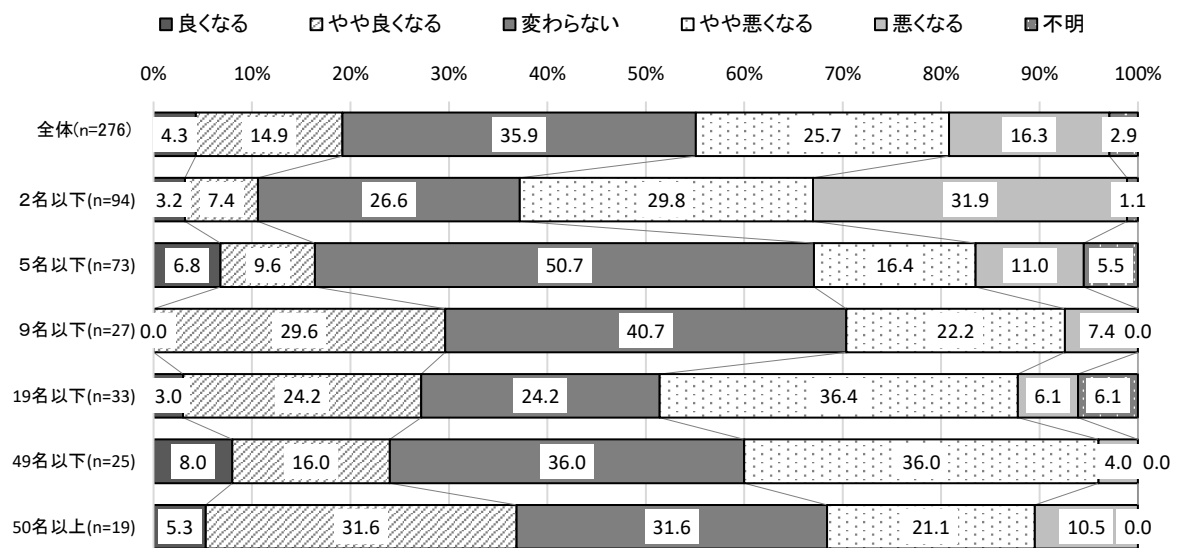


- ・ 3年後の景況について、業種別に見ると、「良くなる」「やや良くなる」の合計割合が最も高いのは運輸業(計 27.8%)となっており、次いで不動産業, 物品賃貸業、建設業などとなっている。
- ・ 3年後の景況について、従業者数別に見ると、2名以下で「悪くなる」(31.9%)が最も多くなっている。

### 3年後の景況(業種別)



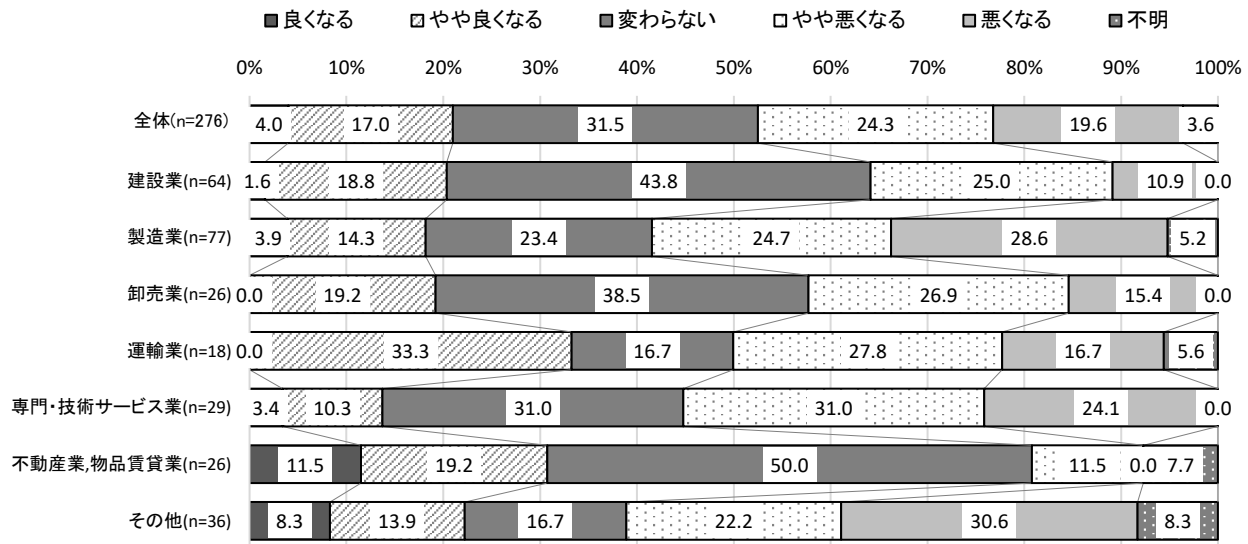
### 3年後の景況(従業者数別)



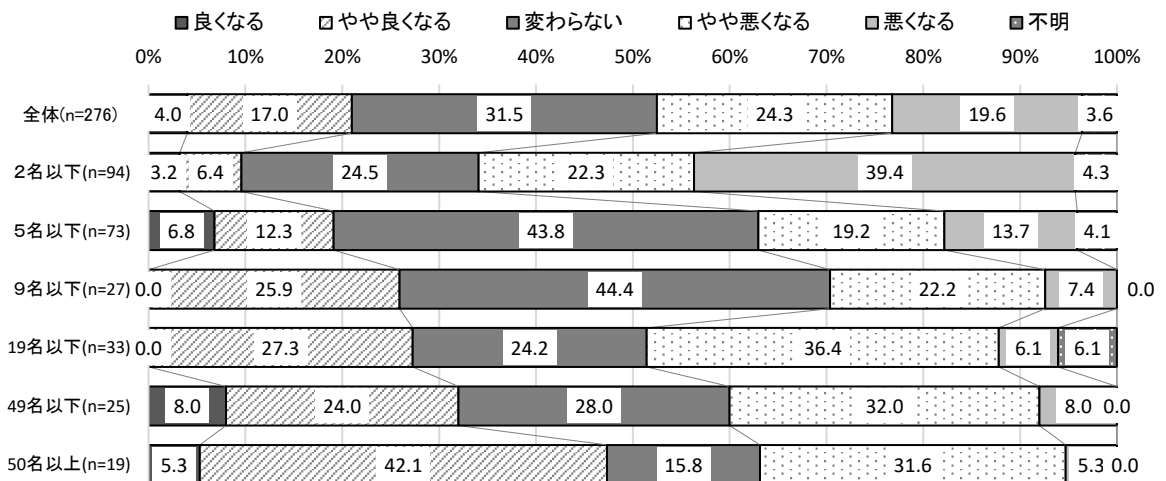
(注)表側の「不明」は除く。

- ・ 3年後の営業利益について、業種別に見ると、「良くなる」「やや良くなる」の合計割合が最も高いのは運輸業(計 33.3%)、次いで不動産業, 物品賃貸業(計 30.7%)となっている。
- ・ 3年後の営業利益について、従業員数別に見ると、2名以下で「悪くなる」(39.4%)が最も多くなっている。

3年後の営業利益(業種別)



3年後の営業利益(従業員数別)



(注)表側の「不明」は除く。

問2（5）貴社の販売先地域の割合をお書きください（合計が100%になるようご記入ください）。

- 取引先地域別の割合は、「上記以外の関東圏（東京、千葉、神奈川、栃木、茨城、群馬県）」が60.4%と最も多く、次いで「朝霞市を除く埼玉県内」、「朝霞市内」の順となっている。

**【取引先地域】**

	地域	金額高の割合 [平均]
A	朝霞市内	35.6%
B	朝霞市を除く埼玉県内	35.9%
C	上記以外の関東圏（東京、千葉、神奈川、栃木、茨城、群馬県）	60.4%
D	上記以外の国内に販売・納入	22.8%
E	海外に販売・納入	5.4%
F	その他	4.9%

(注) A～Fの各欄に回答している事業所のみ構成比平均を集計しているため、すべての取引先地域の合計値は100%とならない。以下同様。

**【取引先地域（建設業）】**

	地域	金額高の割合 [平均]
A	朝霞市内	31.4%
B	朝霞市を除く埼玉県内	26.9%
C	上記以外の関東圏（東京、千葉、神奈川、栃木、茨城、群馬県）	65.2%
D	上記以外の国内に販売・納入	4.7%
E	海外に販売・納入	0.0%
F	その他	0.0%

**【取引先地域（製造業）】**

	地域	金額高の割合 [平均]
A	朝霞市内	19.2%
B	朝霞市を除く埼玉県内	44.3%
C	上記以外の関東圏（東京、千葉、神奈川、栃木、茨城、群馬県）	65.5%
D	上記以外の国内に販売・納入	26.2%
E	海外に販売・納入	14.3%
F	その他	0.0%

**【取引先地域（卸売業）】**

	地域	金額高の割合 [平均]
A	朝霞市内	34.5%
B	朝霞市を除く埼玉県内	33.8%
C	上記以外の関東圏（東京、千葉、神奈川、栃木、茨城、群馬県）	56.3%
D	上記以外の国内に販売・納入	36.6%
E	海外に販売・納入	8.8%
F	その他	12.0%

**【取引先地域（運輸業）】**

	地域	金額高の割合 [平均]
A	朝霞市内	33.3%
B	朝霞市を除く埼玉県内	38.7%
C	上記以外の関東圏（東京、千葉、神奈川、栃木、茨城、群馬県）	53.5%
D	上記以外の国内に販売・納入	12.5%
E	海外に販売・納入	0.0%
F	その他	0.0%

**【取引先地域（専門・技術サービス業）】**

	地域	金額高の割合 [平均]
A	朝霞市内	33.3%
B	朝霞市を除く埼玉県内	25.1%
C	上記以外の関東圏（東京、千葉、神奈川、栃木、茨城、群馬県）	53.3%
D	上記以外の国内に販売・納入	21.0%
E	海外に販売・納入	0.0%
F	その他	0.0%

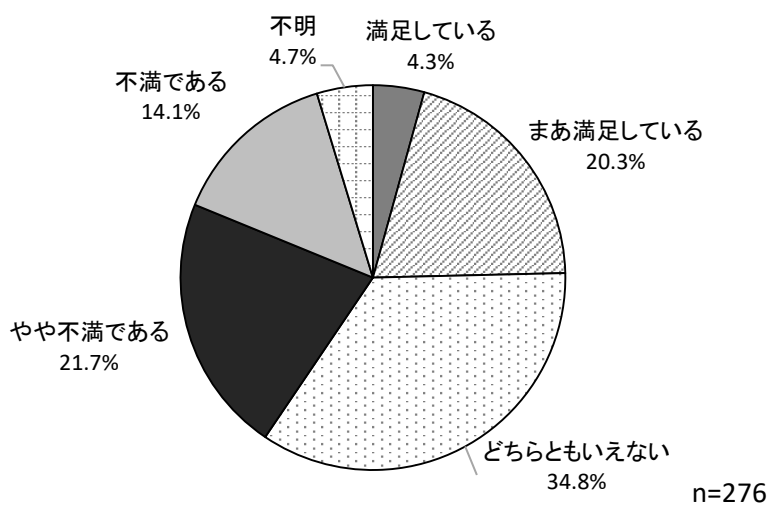
**【取引先地域（不動産業,物品賃貸業）】**

	地域	金額高の割合 [平均]
A	朝霞市内	74.4%
B	朝霞市を除く埼玉県内	40.3%
C	上記以外の関東圏（東京、千葉、神奈川、栃木、茨城、群馬県）	32.0%
D	上記以外の国内に販売・納入	32.7%
E	海外に販売・納入	0.0%
F	その他	0.0%

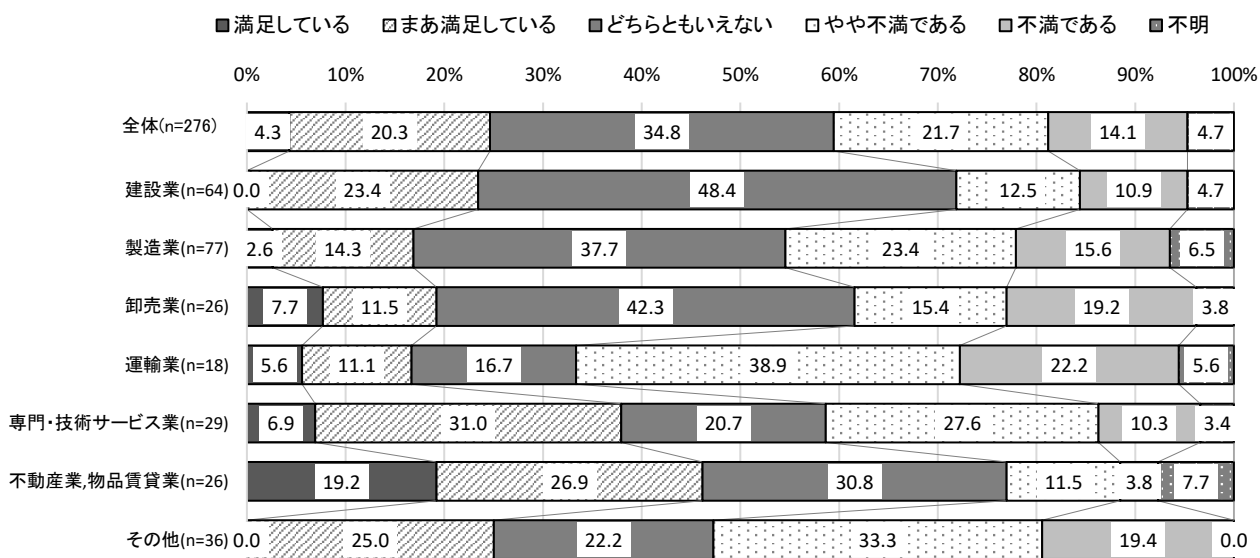
問2 (6) 経営の現状について満足されていますか (〇は1つだけ)。

- ・ 経営状況の満足度は、「どちらともいえない」(34.8%)が最も多く、次いで「やや不満である」(21.7%)、「まあ満足している」(20.3%)の順となっている。
- ・ 経営状況の満足度について、業種別に見ると、不動産業, 物品賃貸業では「満足している」「まあ満足している」の合計割合(計46.1%)が高くなっており、逆に運輸業では「不満である」「やや不満である」の合計割合(計61.1%)が高くなっている。

経営状況の満足度

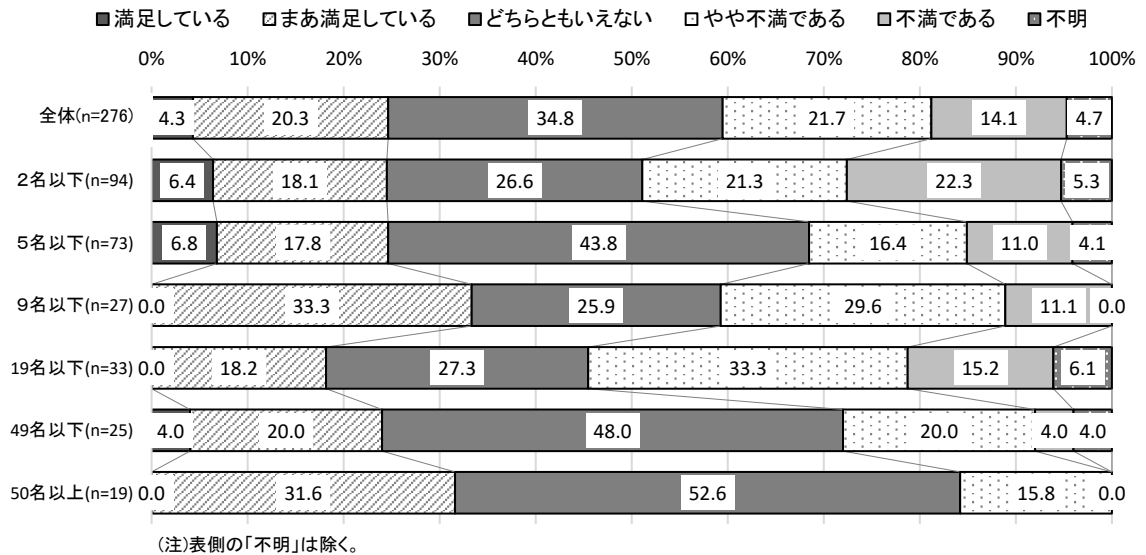


経営状況の満足度(業種別)

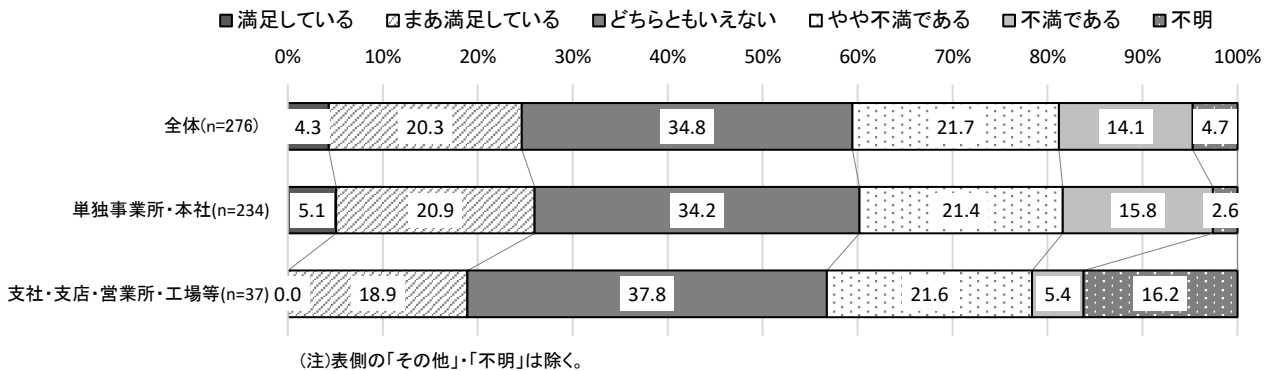


- ・ 経営状況の満足度について、従業員数別に見ると、9名以下で「満足している」「まあ満足している」の合計割合(計 33.3%)が最も高くなっている。
- ・ 経営状況の満足度について、経営形態別にみると、単独事業所・本社で満足度が高くなっているが、「不満である」(15.8%)の割合も高くなっている。

経営状況の満足度(従業員数別)



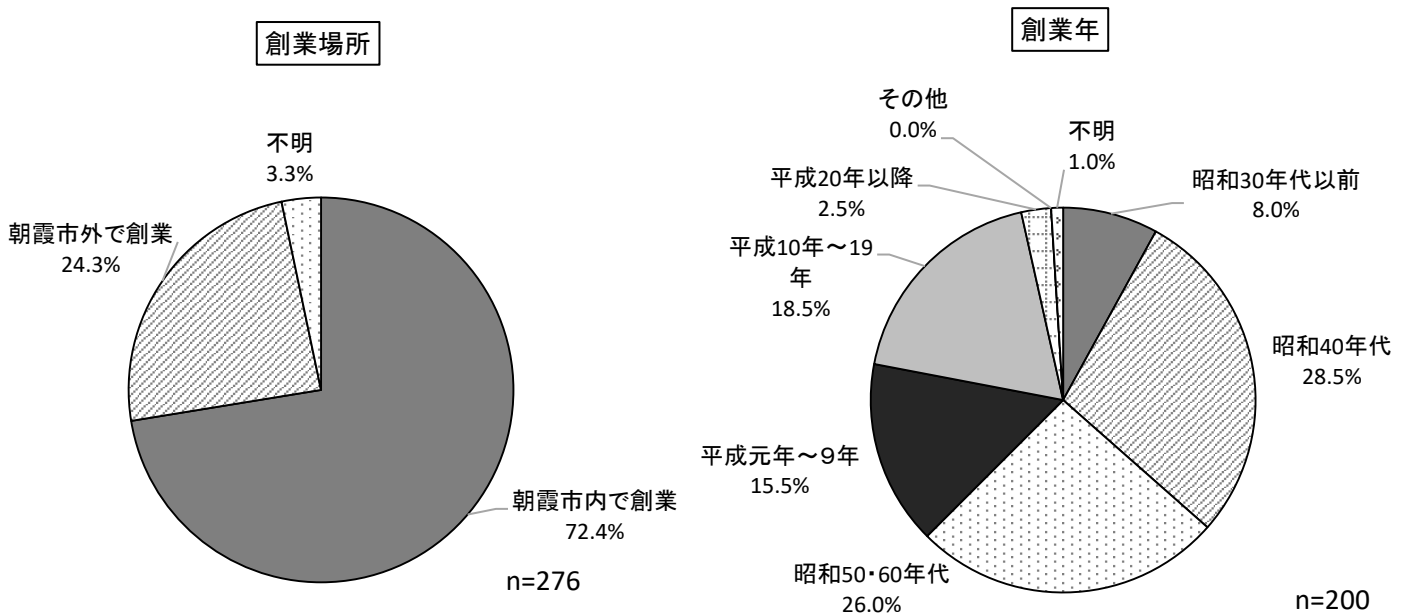
経営状況の満足度(経営形態別)



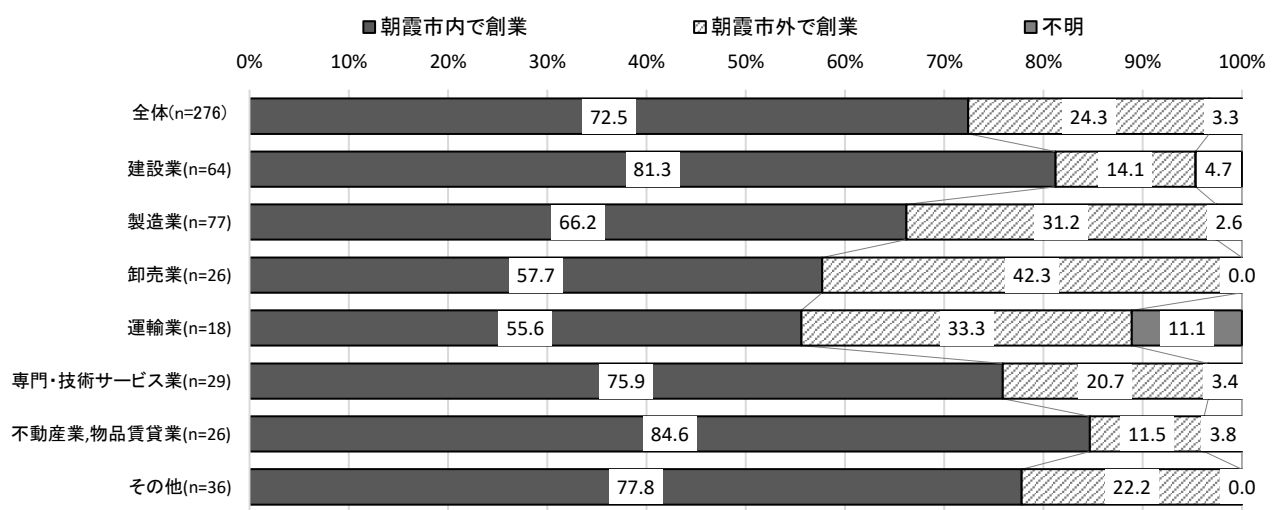
### (3) 立地環境について

問3 (1) 創業は朝霞市内ですか (○は1つだけ)。  
 (1-1) [(1) で朝霞市で創業と回答した方] いつ頃から市内に立地していますか (○は1つだけ)。  
 (4) 貴社では市外への事業所移転の可能性はありますか (○は1つだけ)。

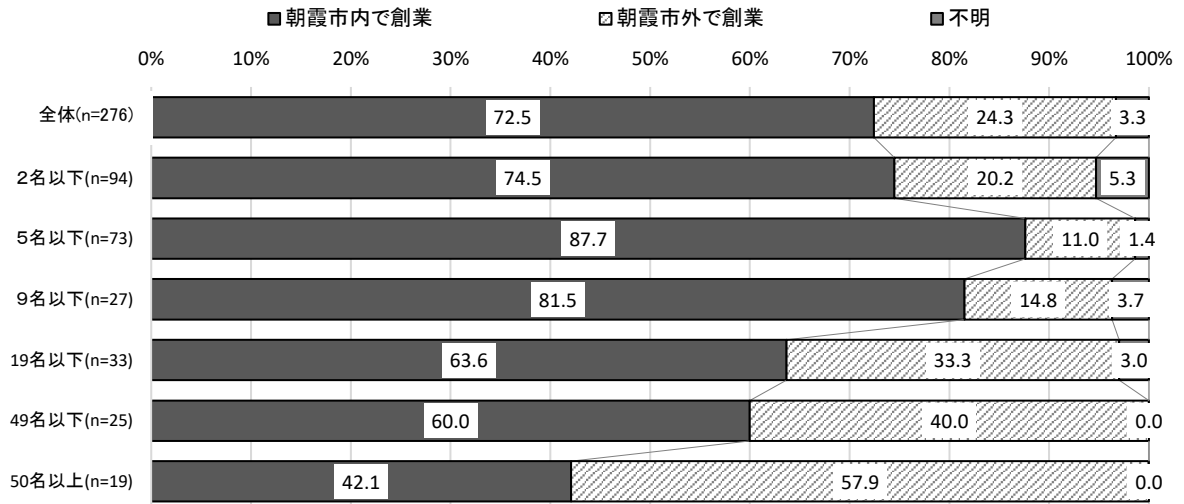
- ・ 創業場所では、「朝霞市内で創業」が72.4%となっており、「朝霞市外で創業」は24.3%となっている。
- ・ 朝霞市内で創業した事業者の創業年では、「昭和40年代」(28.5%)が最も多く、次いで「昭和50・60年代」(26.0%)となっている。
- ・ 創業場所について、業種別に見ると、不動産業, 物品賃貸業で「朝霞市内で創業」(84.6%)が最も多く、次いで建設業(81.3%)となっている。
- ・ 従業員数別に見ると、5名以下で「朝霞市内で創業」(87.7%)が最も多く、50名以上で「朝霞市外で創業」(57.9%)が最も多い。



#### 創業場所(業種別)



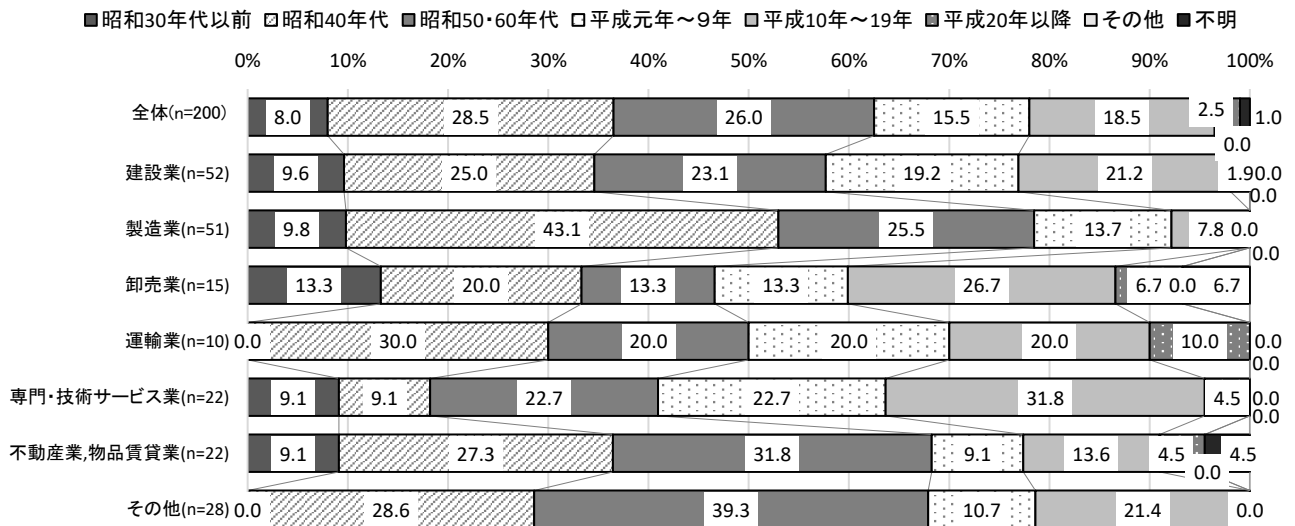
創業場所(従業者数別)



(注)表側の「不明」は除く。

- ・創業年について、業種別に見ると、卸売業で「昭和30年代以前」(13.3%)が最も多く、製造業で「昭和40年代」(43.1%)が最も多い。一方、専門・技術サービス業で、平成元年以降の創業が多くなっている。

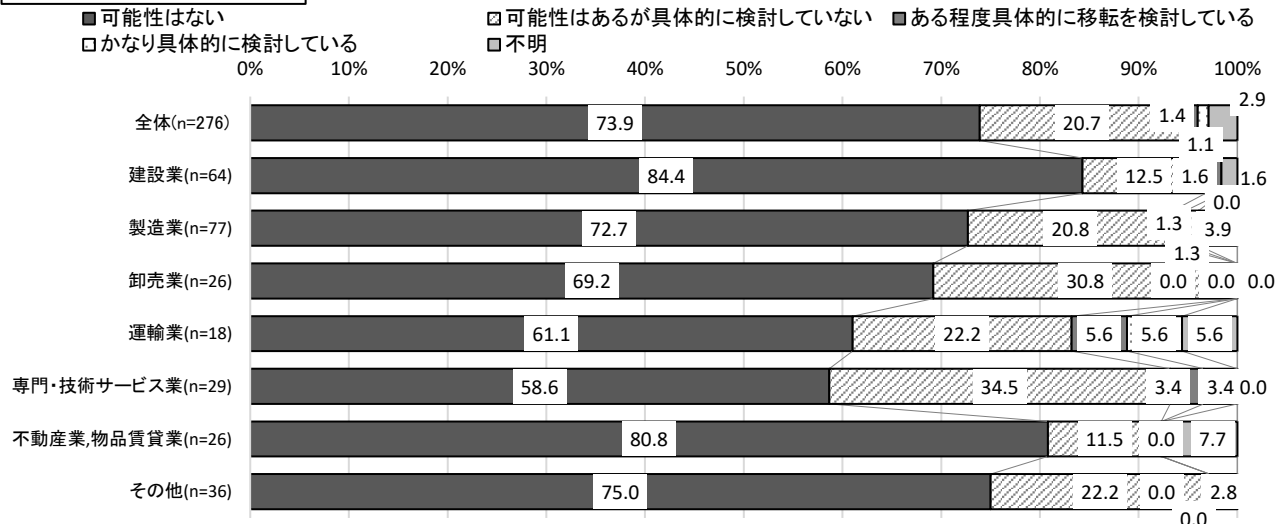
創業年(業種別)



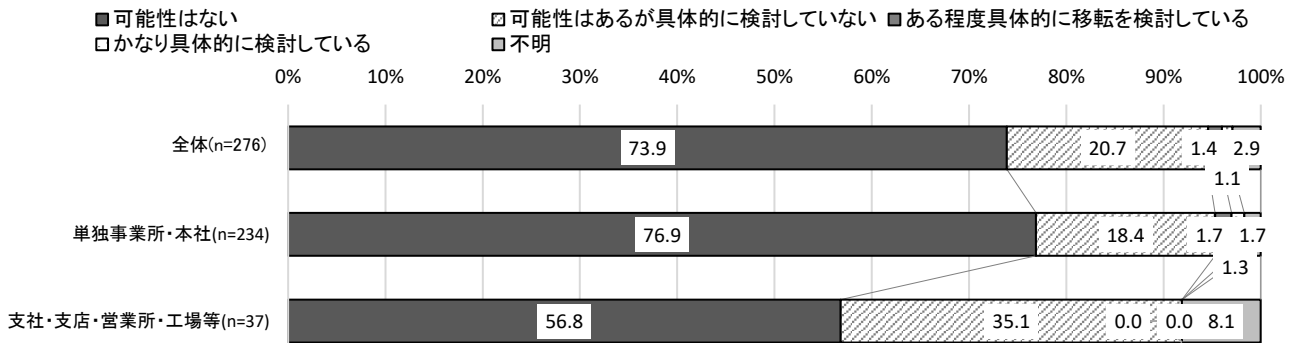


- ・市外移転の可能性について、業種別に見ると、専門・技術サービス業で「可能性はあるが具体的に検討していない」(34.5%)の割合が高くなっている。
- ・市外移転の可能性について、経営形態別では、支社・支店・営業所・工場等で「可能性はあるが具体的に検討していない」(35.1%)の割合が高くなっている。
- ・市外移転の可能性について、従業員数別に見ると、50名以上で「可能性はあるが具体的に検討していない」(42.1%)の割合が高くなっている。

市外移転の可能性(業種別)

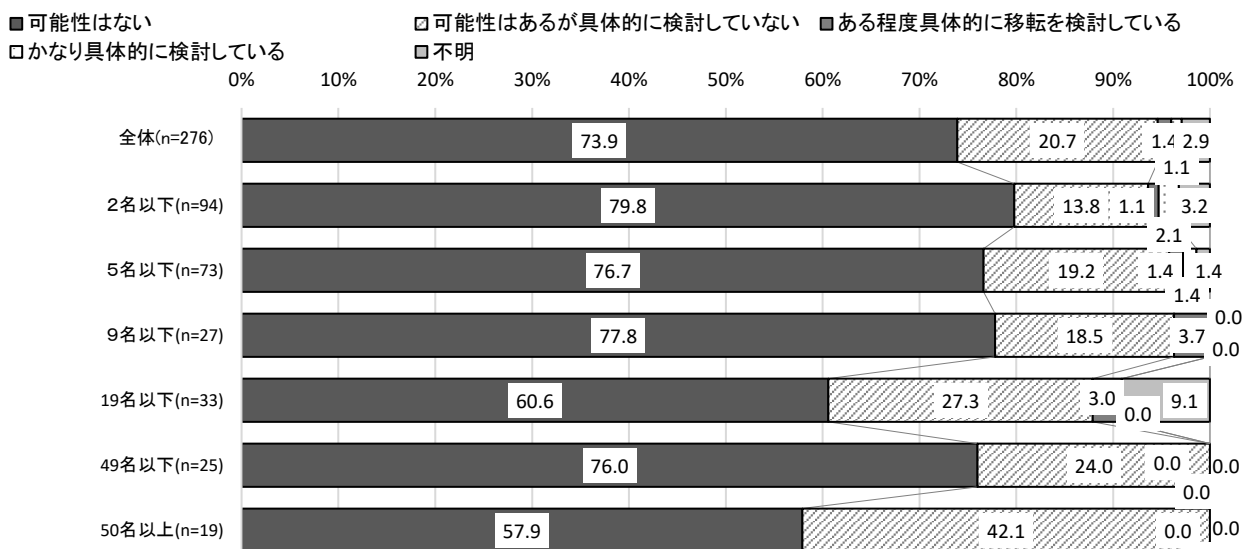


市外移転の可能性(経営形態別)



(注)表側の「その他」「不明」を除く。

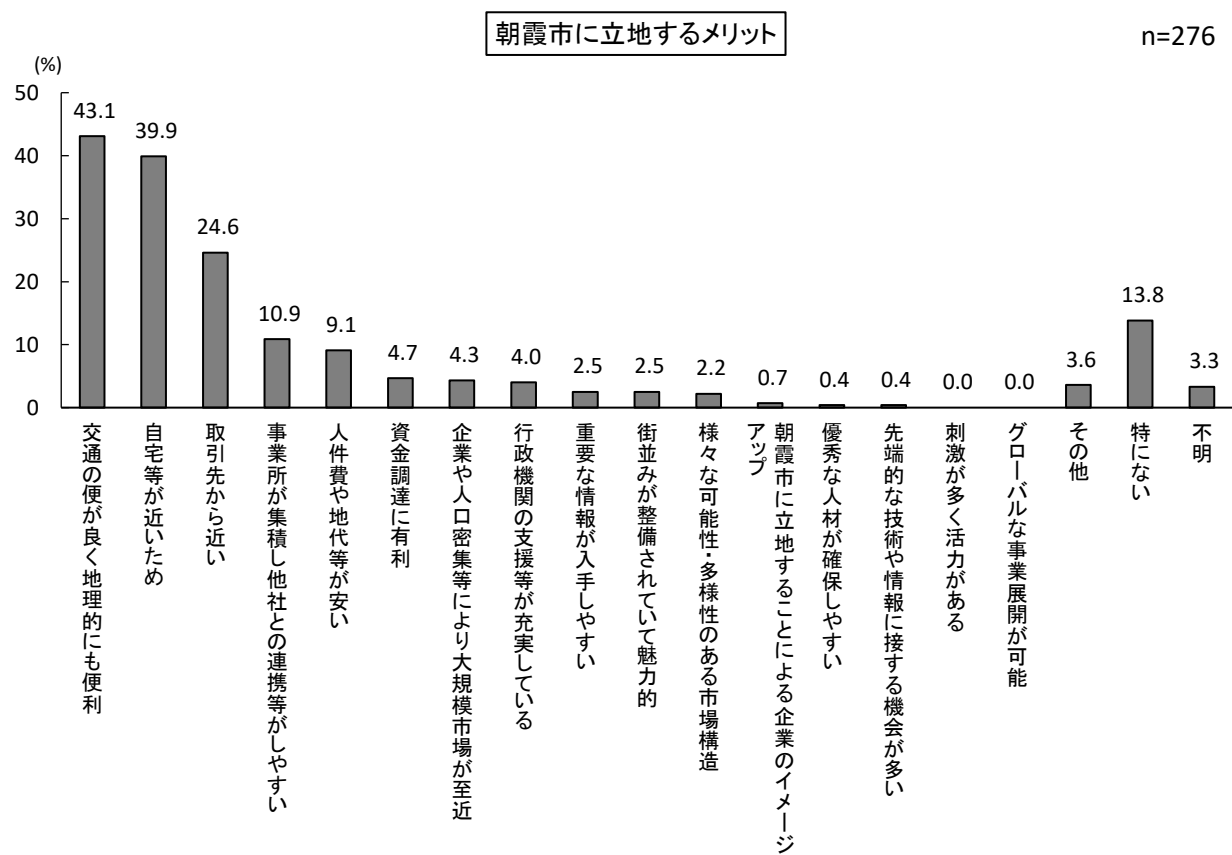
市外移転の可能性(従業員数別)



(注)表側の「不明」は除く。

問3 (2) 朝霞市に立地するメリットはどのようなものですか (〇は3つまで)。  
 (3) 朝霞市に立地するデメリットはどのようなものですか (〇は3つまで)。

- ・朝霞市に立地するメリットでは、「交通の便が良く地理的にも便利」(43.1%)が最も多く、次いで「自宅等が近いため」(39.9%)となっている。
- ・朝霞市に立地するメリットについて、業種別に見ると、専門・技術サービス業で「交通の便が良く地理的にも便利」(51.7%)が多く、不動産業, 物品賃貸業で「自宅等が近いため」(57.7%)が多くなっている。また、運輸業では「事業所が集積し他社との連携等がしやすい」(27.8%)もやや多くなっている。

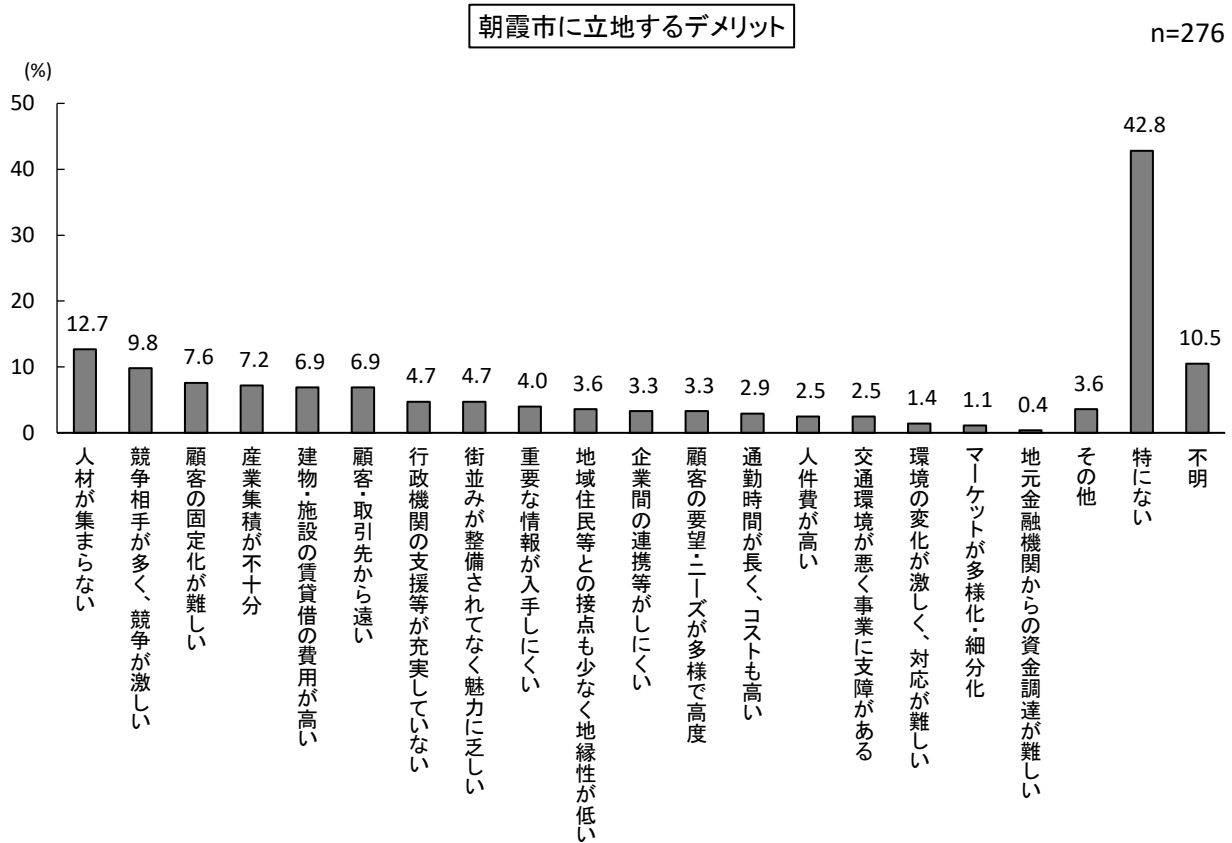


**朝霞市に立地するメリット(業種別)**

	合計	も交通の便が良く地理的にも便利	自宅等が近いため	取引先から近い	事業所が集積し他社との連携等がしやすい	人件費や地代等が安い	資金調達に有利	企業や人口密集等により大規模市場が至近	行政機関の支援等が充実している	重要な情報が入手しやすい	魅力的	街並みが整備されていて	様々な可能性・多様性のある市場構造	アツプ	朝霞市に立地することによる企業のイメージ	優秀な人材が確保しやすい	先端的な技術や情報に接する機会が多い	刺激が多く活力がある	グローバルな事業展開が可能	その他	特にない	不明
全体	276	43.1	39.9	24.6	10.9	9.1	4.7	4.3	4.0	2.5	2.5	2.2	0.7	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	3.6	13.8	3.3	
建設業	64	39.1	39.1	17.2	10.9	4.7	6.3	6.3	4.7	1.6	4.7	3.1	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	4.7	21.9	3.1	
製造業	77	41.6	39.0	26.0	11.7	11.7	3.9	5.2	2.6	2.6	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	13.0	3.9	
卸売業	26	46.2	30.8	23.1	7.7	11.5	3.8	11.5	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	7.7	3.8
運輸業	18	44.4	33.3	33.3	27.8	5.6	5.6	5.6	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6
専門・技術サービス業	29	51.7	51.7	24.1	0.0	17.2	6.9	0.0	3.4	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0
不動産業, 物品賃貸業	26	50.0	57.7	26.9	3.8	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	3.8
その他	36	38.9	30.6	30.6	16.7	11.1	2.8	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	19.4	2.8

(注) 網掛けは 20%以上のもの。

- ・朝霞市に立地するデメリットでは、「特にない」(42.8%)が最も多いが、次に「人材が集まらない」(12.7%)、「競争相手が多く、競争が激しい」(9.8%)となっている。
- ・朝霞市に立地するデメリットについて、業種別に見ると、運輸業で「建物・施設の賃貸借の費用が高い」(38.9%)が多く、不動産業、物品賃貸業で「競争相手が多く、競争が激しい」(23.1%)が多くなっている。



**朝霞市に立地するデメリット(業種別)**

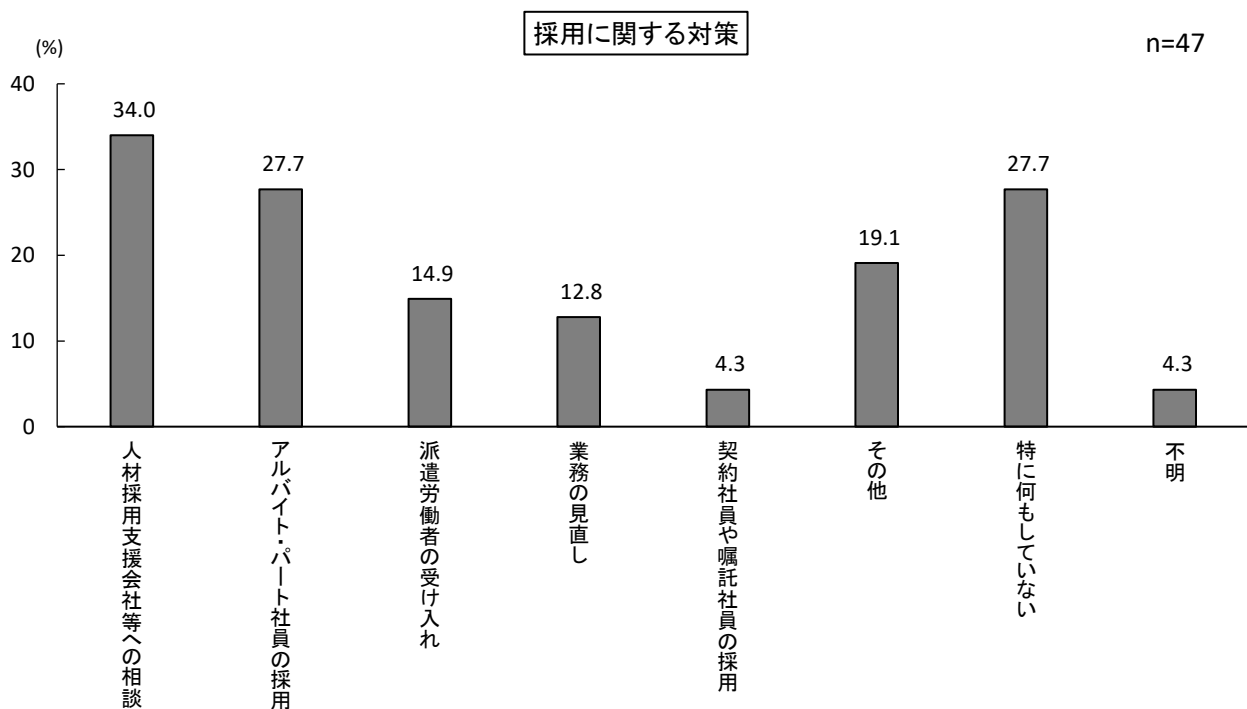
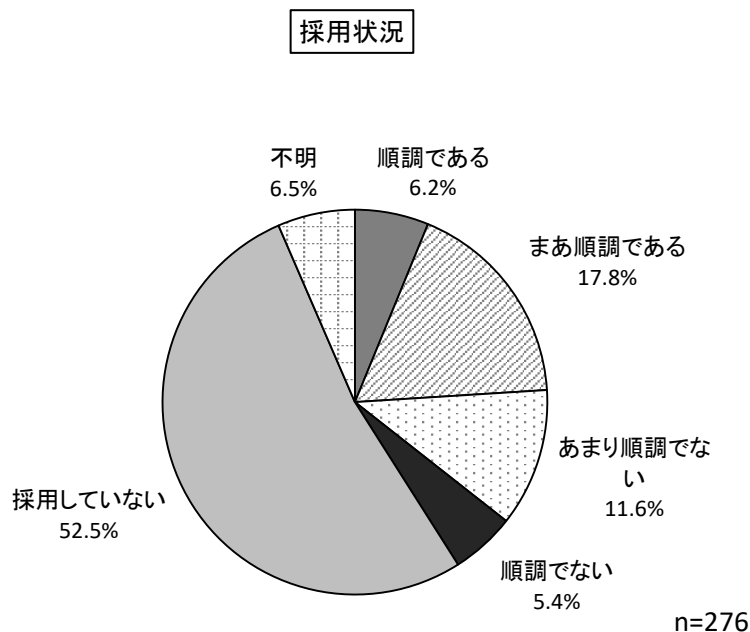
	合計	人材が集まらない	競争相手が多く、競争が激しい	顧客の固定化が難しい	産業集積が不十分	建物・施設の賃貸借の費用が高い	顧客・取引先から遠い	行政機関の支援等が充実していない	街並みが整備されてなく魅力に乏しい	重要な情報が入手しにくい	地域住民等との接点も少なく地縁性が低い	企業間の連携等がしにくい	顧客の要望・ニーズが多様で高度	通勤時間が長く、コストも高い	人件費が高い	交通環境が悪く事業に支障がある	環境の変化が激しく、対応が難しい	マーケットが多様化・細分化	地元金融機関からの資金調達に難しい	その他	特にない	不明
全体	276	12.7	9.8	7.6	7.2	6.9	6.9	4.7	4.7	4.0	3.6	3.3	3.3	2.9	2.5	2.5	1.4	1.1	0.4	3.6	42.8	10.5
建設業	64	17.2	14.1	10.9	3.1	3.1	1.6	3.1	1.6	3.1	4.7	3.1	1.6	6.3	1.6	1.6	0.0	1.6	0.0	6.3	45.3	9.4
製造業	77	13.0	6.5	7.8	7.8	2.6	11.7	2.6	3.9	2.6	3.9	1.3	6.5	3.9	3.9	2.6	1.3	0.0	1.3	3.9	46.8	11.7
卸売業	26	11.5	3.8	7.7	3.8	15.4	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.3	11.5
運輸業	18	11.1	11.1	0.0	11.1	38.9	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
専門・技術サービス業	29	13.8	6.9	0.0	6.9	3.4	13.8	10.3	17.2	6.9	6.9	10.3	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.4	6.9
不動産業・物品賃貸業	26	7.7	23.1	7.7	7.7	11.5	7.7	11.5	7.7	3.8	3.8	0.0	7.7	0.0	0.0	3.8	3.8	7.7	0.0	3.8	30.8	7.7
その他	36	8.3	5.6	11.1	13.9	0.0	2.8	0.0	5.6	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	5.6	44.4	11.1

(注)網掛けは 20%以上のもの。

#### (4) 採用状況や雇用環境について

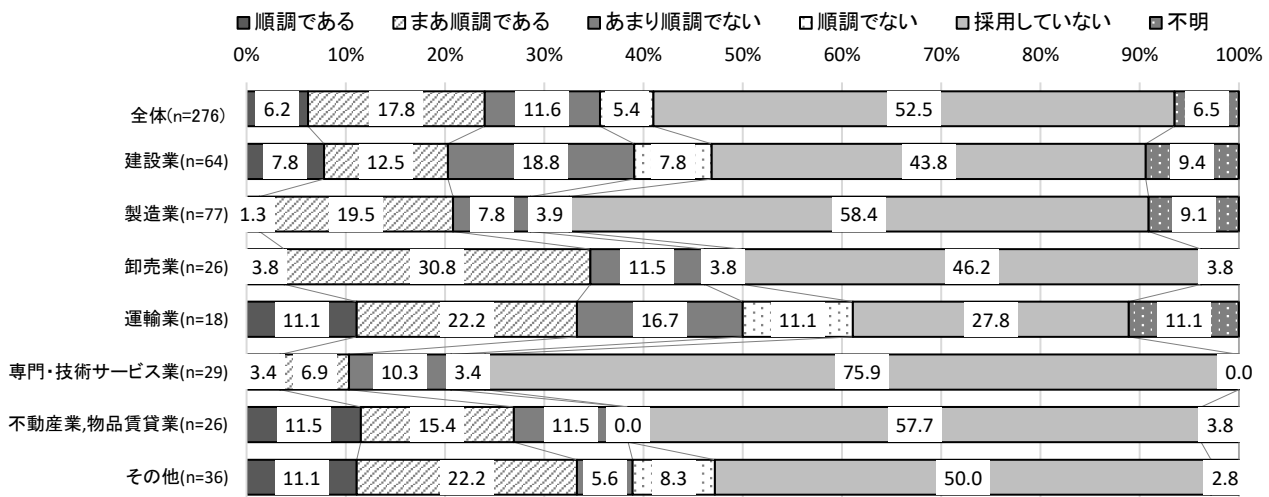
問4 (1) 貴社の従業員の採用状況はいかがですか (○は1つだけ)。  
 (1-1) [あまり順調でない、順調でないと回答した方] どのような対応を取っていますか (○はいくつでも)。

- ・採用状況では、「採用していない」(52.5%)が最も多く、次いで「まあ順調である」(17.8%)となっている。
- ・採用に関する対策では、「人材採用支援会社等への相談」(34.0%)が多くなっている。

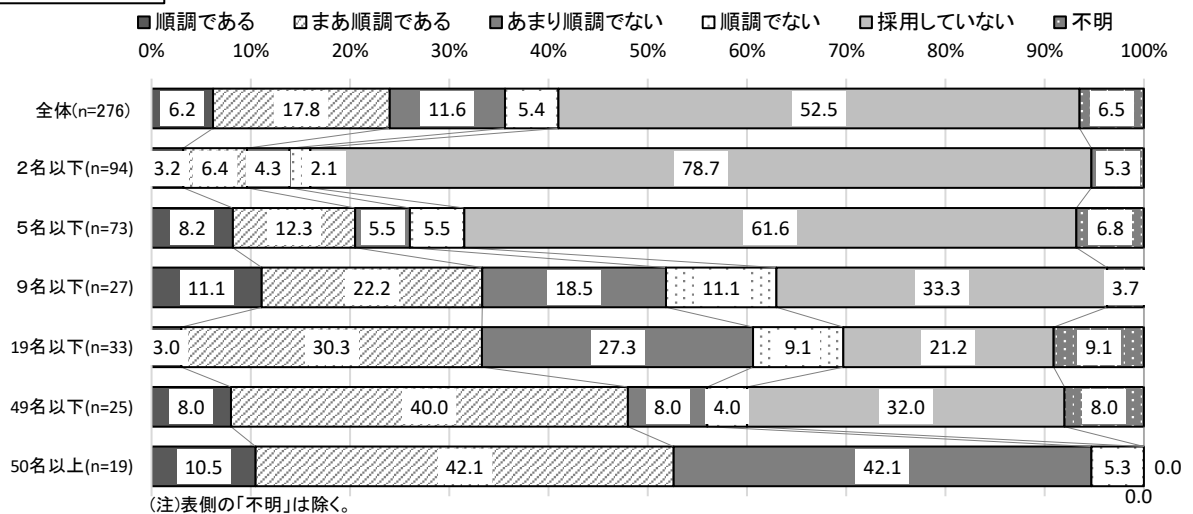


- ・採用状況について業種別に見ると、卸売業で「順調である」「まあ順調である」の合計割合(計 34.6%)が高くなっている。
- ・採用状況について、従業者数別に見ると、概ね従業者数が少なくなればなるほど、「採用していない」の割合が高くなっている。また、9名以下で「順調である」(11.1%)の割合が高いという特徴が見られる。
- ・採用状況について、3年後の景況別に見ると、景況が「良くなる」と答えた事業者で、「順調である」(16.7%)の割合が高くなっている。

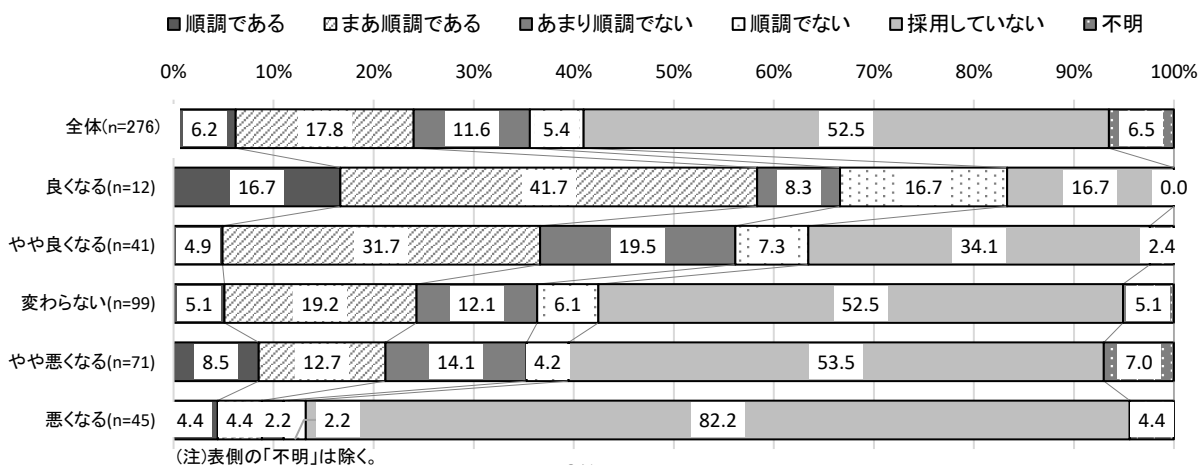
採用状況(業種別)



採用状況(従業者数別)

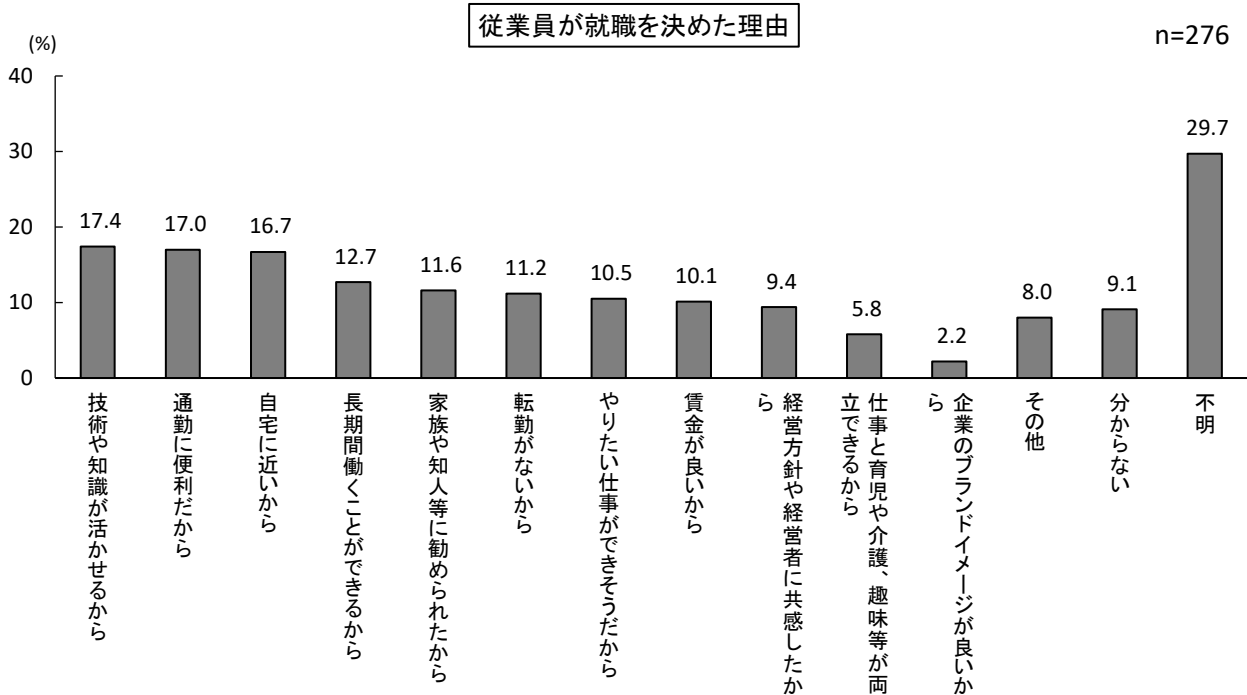


採用状況(3年後の景況別)



問4 (2) 貴社の従業員が貴社に就職を決めた理由をどのようにお考えですか (〇はいくつでも)。

- ・従業員が就職を決めた理由では、「技術や知識が活かせるから」(17.4%)が最も多く、次いで「通勤に便利だから」(17.0%)、「自宅に近いから」(16.7%)となっている。
- ・従業員が就職を決めた理由について、業種別に見ると、建設業で「技術や知識が活かせるから」(26.6%)が多く、運輸業で「通勤が便利だから」(38.9%)や「転勤がないから」(33.3%)などが多くなっている。



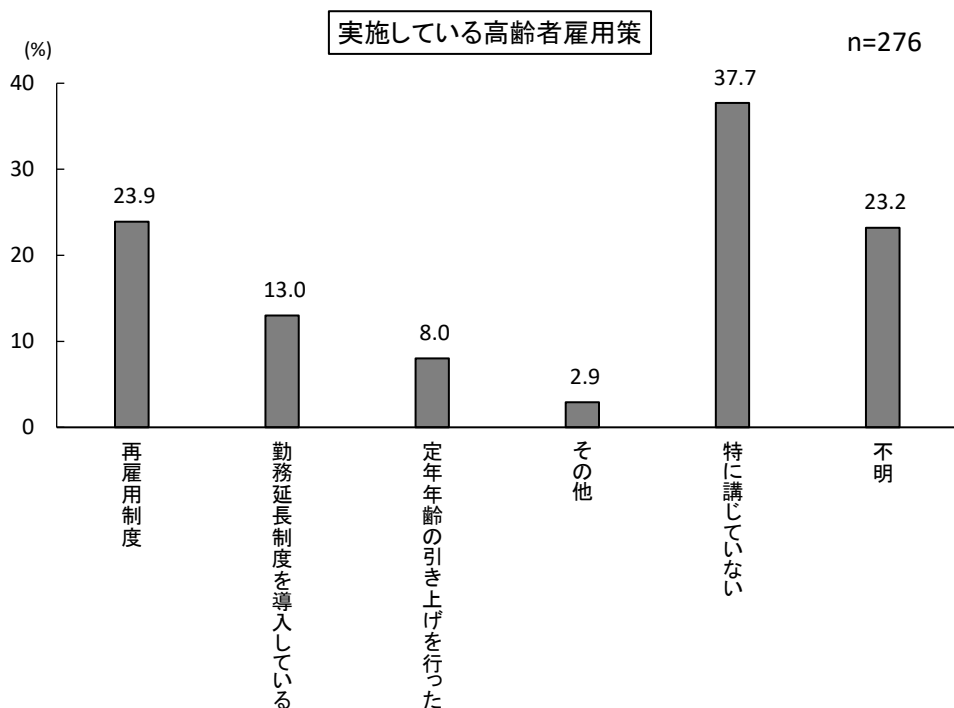
従業員が就職を決めた理由(業種別)

	合計	技術や知識が活かせるから	通勤に便利だから	自宅に近いから	長期間働くことができるから	家族や知人等に勧められたから	転勤がないから	やりたい仕事ができそうだから	賃金が良いから	経営方針や経営者に共感したから	仕事と育児や介護、趣味等が両立できるから	企業のブランドイメージが良いから	その他	分からない	不明
全体	276	17.4	17.0	16.7	12.7	11.6	11.2	10.5	10.1	9.4	5.8	2.2	8.0	9.1	29.7
建設業	64	26.6	20.3	14.1	10.9	18.8	17.2	14.1	12.5	7.8	3.1	0.0	7.8	7.8	23.4
製造業	77	19.5	11.7	18.2	11.7	10.4	5.2	13.0	11.7	6.5	5.2	1.3	5.2	11.7	33.8
卸売業	26	7.7	23.1	11.5	11.5	7.7	3.8	7.7	11.5	19.2	0.0	11.5	3.8	11.5	23.1
運輸業	18	11.1	38.9	27.8	27.8	11.1	33.3	5.6	11.1	5.6	5.6	0.0	5.6	5.6	22.2
専門・技術サービス業	29	20.7	13.8	24.1	13.8	10.3	6.9	3.4	3.4	10.3	10.3	0.0	13.8	0.0	34.5
不動産業・物品賃貸業	26	15.4	15.4	15.4	3.8	11.5	7.7	3.8	3.8	11.5	3.8	3.8	15.4	3.8	38.5
その他	36	5.6	11.1	11.1	16.7	5.6	13.9	13.9	11.1	11.1	13.9	2.8	8.3	16.7	30.6

(注) 網掛けは 20%以上のもの。

問4 (3) 貴社では、高齢者雇用のためにどのような対策を講じていますか (〇はいくつでも)。

- ・実施している高齢者雇用対策では、「特に講じていない」(37.7%)が多いが、次に「再雇用制度」(23.9%)がやや多くなっている。
- ・実施している高齢者雇用対策について、業種別に見ると、運輸業で「再雇用制度」(50.0%)が多くなっている。



実施している高齢者雇用策(業種別)

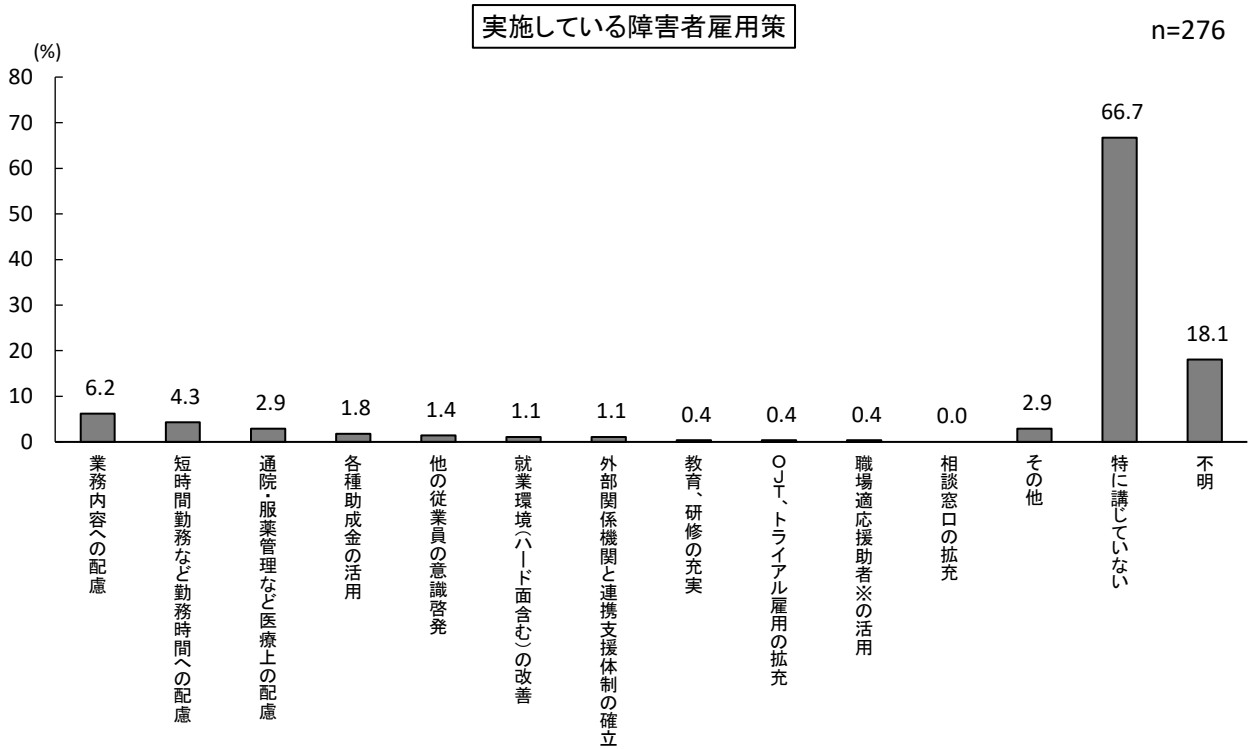
(%)

	合計	再雇用制度	勤務延長制度を導入している	定年年齢の引き上げた	その他	特に講じていない	不明
全体	276	23.9	13.0	8.0	2.9	37.7	23.2
建設業	64	14.1	17.2	12.5	4.7	40.6	20.3
製造業	77	27.3	15.6	6.5	1.3	33.8	23.4
卸売業	26	30.8	7.7	3.8	0.0	46.2	19.2
運輸業	18	50.0	16.7	16.7	0.0	11.1	22.2
専門・技術サービス業	29	17.2	13.8	6.9	10.3	41.4	17.2
不動産業・物品賃貸業	26	26.9	3.8	0.0	3.8	34.6	38.5
その他	36	19.4	8.3	8.3	0.0	47.2	25.0

(注)網掛けは20%以上のもの。

問4 (4) 貴社では、障害者雇用のためにどのような対策を講じていますか (○はいくつでも)。  
 (5) 貴社では、女性の活躍推進のためにどのような対策を講じていますか (○はいくつでも)。

- ・実施している障害者雇用対策では、「特に講じていない」(66.7%)が多くなっている。
- ・実施している障害者雇用対策について、業種別に見ると、どの業種においても「特に講じていない」が多くなっている。



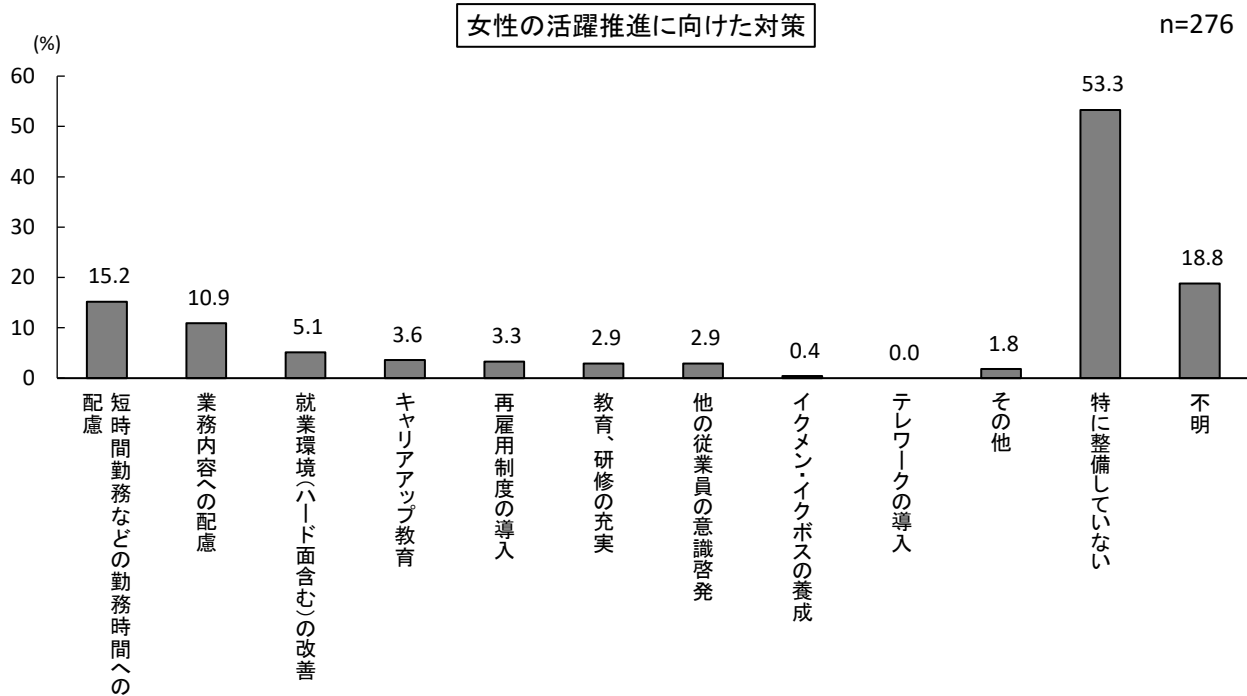
**実施している障害者雇用策(業種別)**

	合計	業務内容への配慮	短時間勤務など勤務時間への配慮	医療上の配慮	通院・服薬管理など	各種助成金の活用	他の従業員の意識啓発	就業環境(ハード面含む)の改善	支援体制の確立	外部関係機関と連携	教育、研修の充実	OJT、トライアル雇用の拡充	職場適応援助者※の活用	相談窓口の拡充	その他	特に講じていない	不明
全体	276	6.2	4.3	2.9	1.8	1.4	1.1	1.1	0.4	0.4	0.4	0.0	2.9	66.7	18.1		
建設業	64	4.7	1.6	3.1	1.6	3.1	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	3.1	73.4	10.9		
製造業	77	3.9	7.8	2.6	1.3	1.3	1.3	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	64.9	24.7		
卸売業	26	3.8	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	7.7	69.2	11.5		
運輸業	18	16.7	0.0	11.1	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	55.6	16.7		
専門・技術サービス業	29	3.4	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	75.9	10.3		
不動産業、物品賃貸業	26	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53.8	34.6		
その他	36	13.9	8.3	0.0	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	63.9	16.7		

(注) 網掛けは 20%以上のもの。



- ・女性の活躍推進に向けた対策では、「特に整備していない」(53.3%)が最も多く、次いで「短時間勤務などの勤務時間への配慮」(15.2%)となっている。
- ・女性の活躍推進に向けた対策について、業種別に見ると、運輸業で「短時間勤務などの勤務時間への配慮」(22.2%)がやや高くなっている。



女性の活躍推進に向けた対策(業種別)

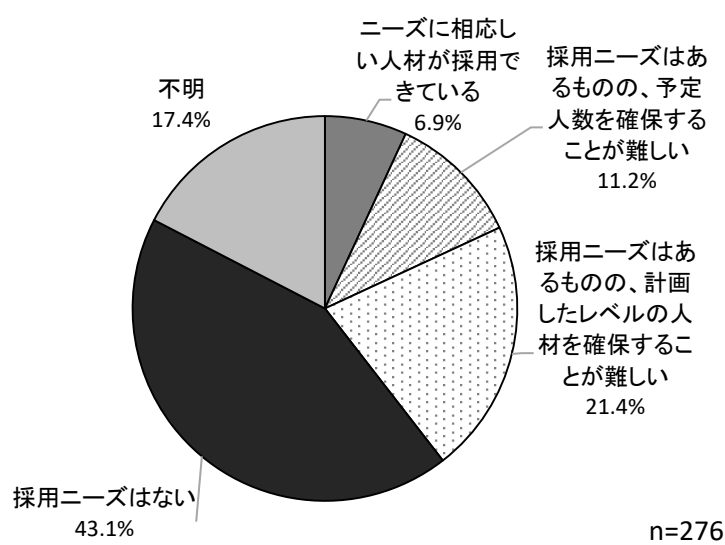
	合計	短時間勤務などの勤務時間への配慮	業務内容への配慮	就業環境(ハード面含む)の改善	キャリアアップ教育	再雇用制度の導入	教育、研修の充実	他の従業員の意識啓発	イクメン・イクボスの養成	テレワークの導入	その他	特に整備していない	不明
全体	276	15.2	10.9	5.1	3.6	3.3	2.9	2.9	0.4	0.0	1.8	53.3	18.8
建設業	64	9.4	3.1	3.1	1.6	3.1	1.6	1.6	0.0	0.0	4.7	60.9	15.6
製造業	77	19.5	15.6	5.2	3.9	1.3	2.6	1.3	0.0	0.0	0.0	49.4	22.1
卸売業	26	15.4	11.5	0.0	3.8	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	57.7	11.5
運輸業	18	22.2	16.7	11.1	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7
専門・技術サービス業	29	10.3	17.2	3.4	0.0	3.4	3.4	3.4	0.0	0.0	6.9	48.3	13.8
不動産業,物品賃貸業	26	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	42.3	34.6
その他	36	22.2	8.3	8.3	5.6	0.0	8.3	5.6	2.8	0.0	0.0	58.3	16.7

(注)網掛けは20%以上のもの。

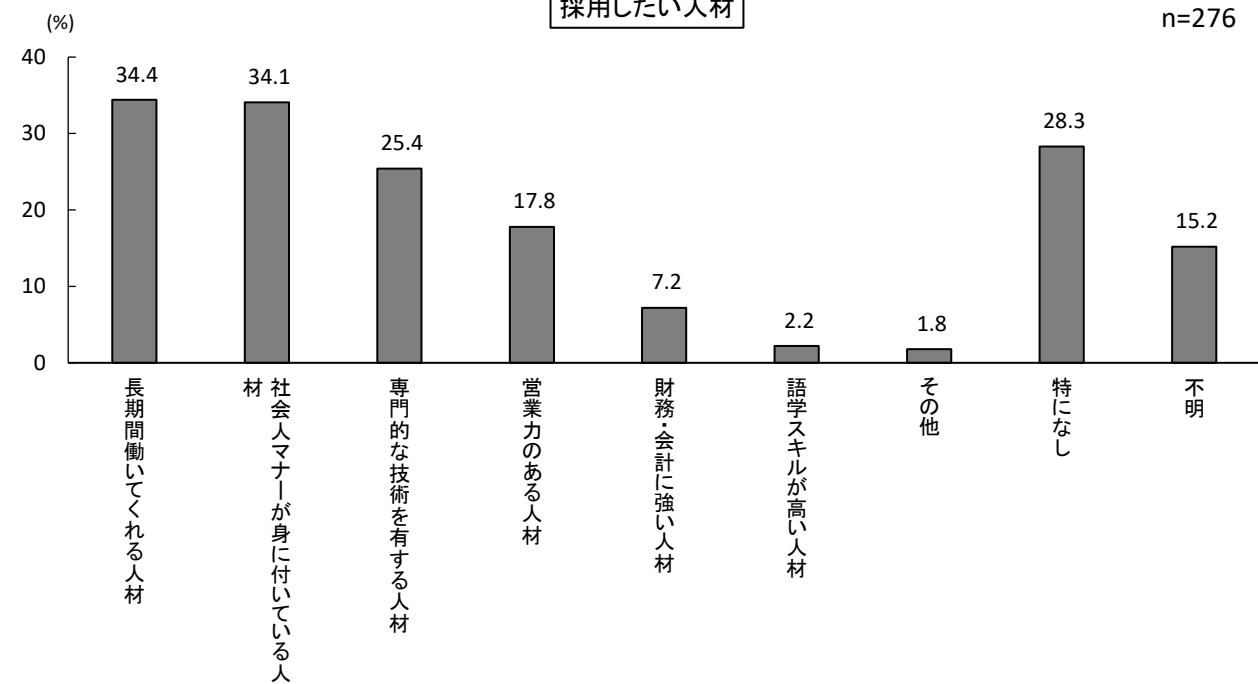
問4 (6) 若年者(35歳未満)の採用に関する現在の貴社の状況はいかがですか(○は1つだけ)。  
 (7) 貴社では今後、どのような人材を採用したいと考えますか(○はいくつでも)。

- ・若年者(35歳未満)の採用状況では、「採用ニーズはない」(43.1%)が最も多く、次いで「採用ニーズはあるものの、計画したレベルの人材を確保することが難しい」(21.4%)となっている。
- ・採用したい人材では、「長期間働いてくれる人材」(34.4%)、「社会人マナーが身に付いている人材」(34.1%)が多くなっている。

若年者(35歳未満)の採用状況

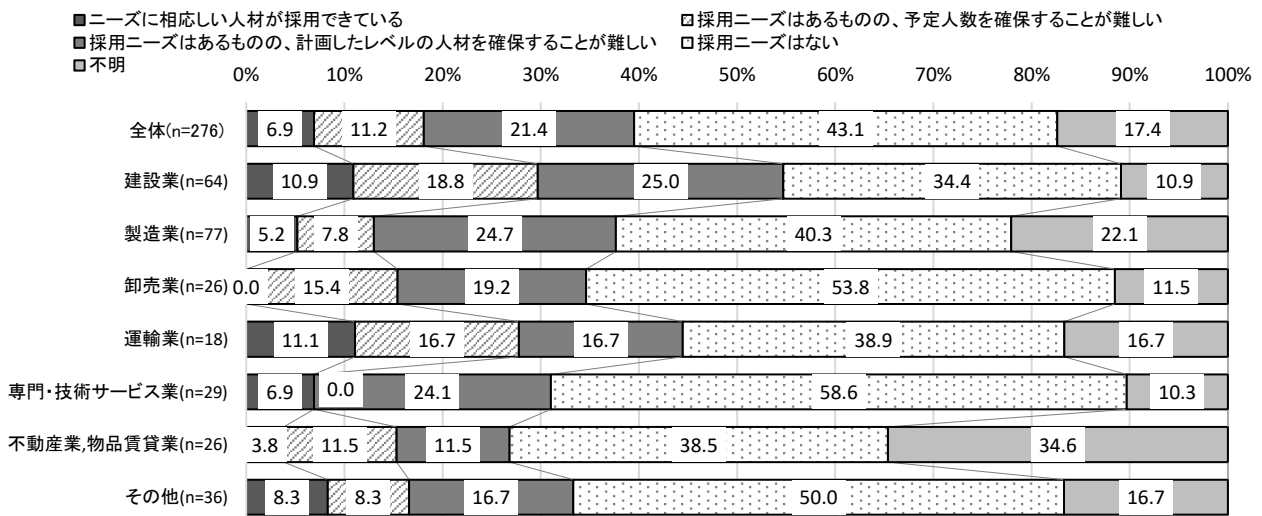


採用したい人材

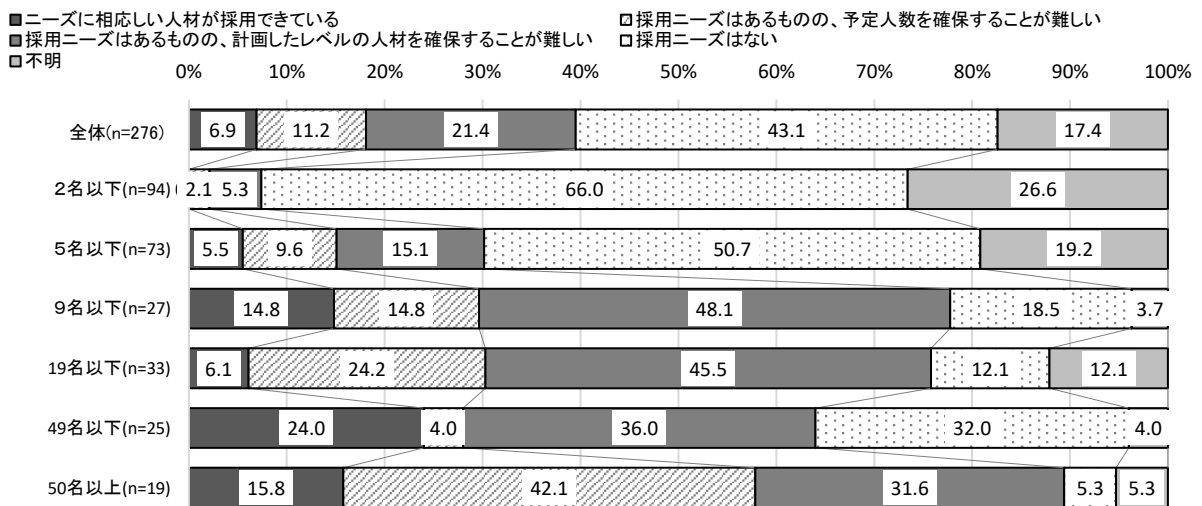


- ・若年者（35歳未満）の採用状況について、業種別に見ると、どの業種でも「採用ニーズはない」が多くなっているが、建設業で「採用ニーズはあるものの予定人数を確保することが難しい」（18.8%）や「採用ニーズはあるものの、計画したレベルの人材を確保することが難しい」（25.0%）の割合がやや高くなっている。
- ・若年者（35歳未満）の採用状況について、従業者数別に見ると、9名以下と19名以下で「採用ニーズはあるものの、計画したレベルの人材を確保することが難しい」の割合がそれぞれ48.1%、45.5%と高くなっている。

若年者(35歳未満)の採用状況(業種別)



若年者(35歳未満)の採用状況(従業者数別)



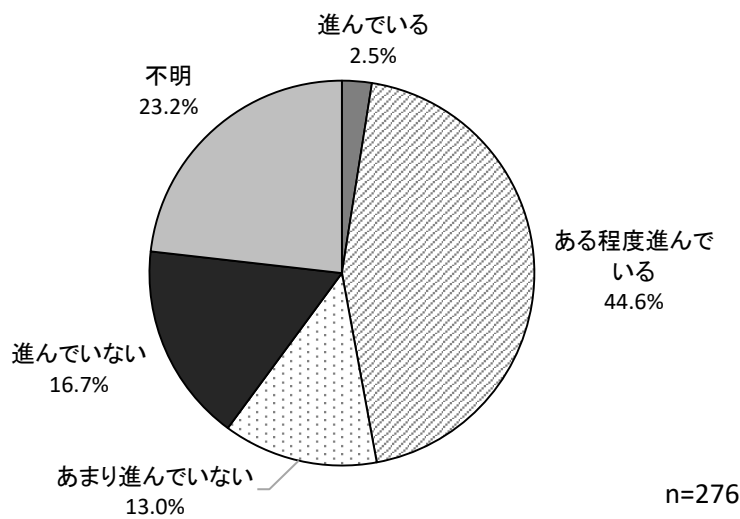
(注)表側の「不明」は除く。

問4 (8) 貴社はワーク・ライフ・バランスが進んでいると思いますか (〇は1つだけ)。

(8-1) [あまり進んでいない、進んでいないと回答した方] その理由は何ですか (〇はいくつでも)。

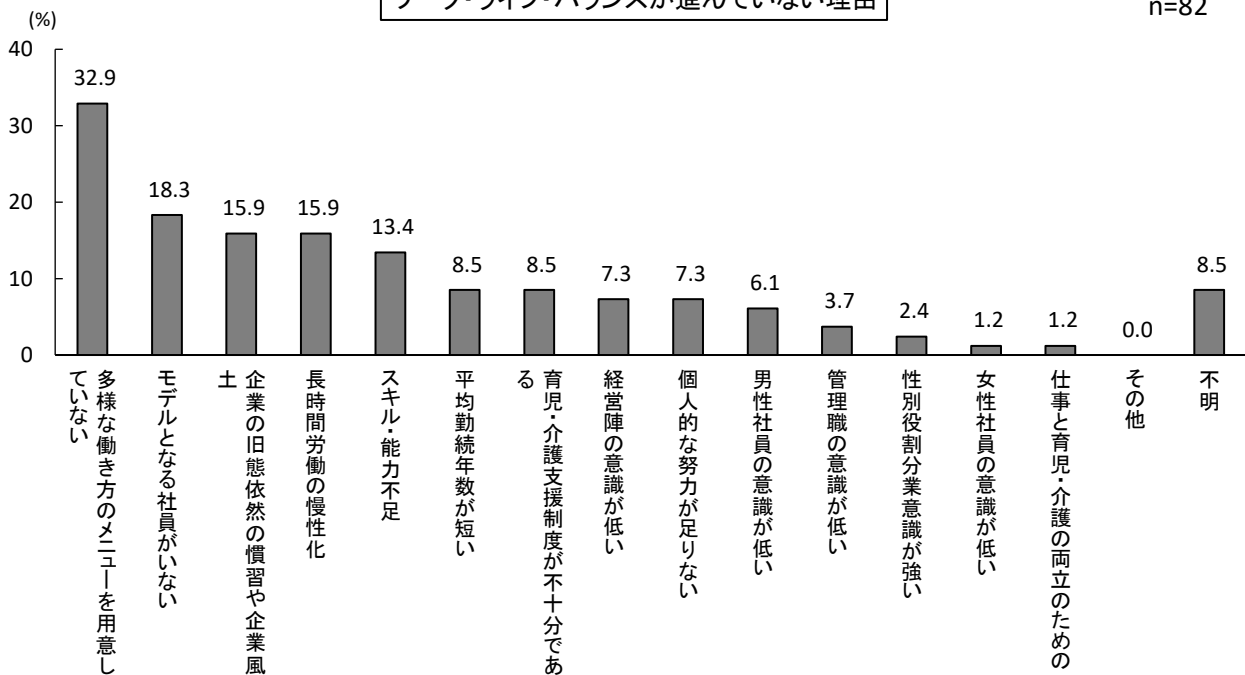
- ・ワーク・ライフ・バランスの状況では、「ある程度進んでいる」(44.6%)が最も多く、次いで「進んでいない」(16.7%)となっている。
- ・進んでいない理由については、「多様な働き方のメニューを用意していない」(32.9%)が最も多く、次いで「モデルとなる社員がいない」(18.3%)となっている。

ワーク・ライフ・バランスの状況



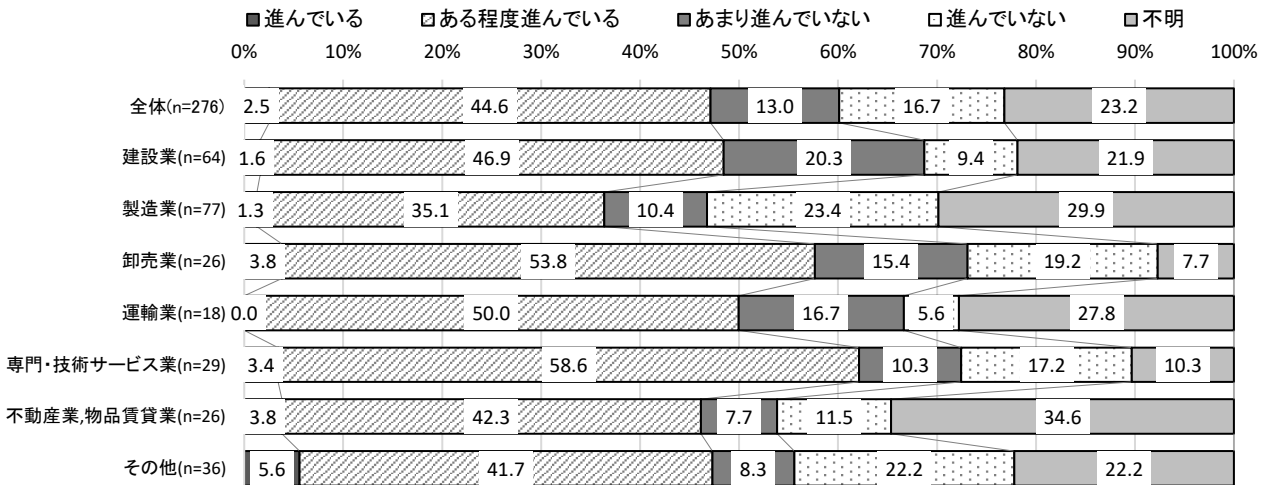
ワーク・ライフ・バランスが進んでいない理由

n=82

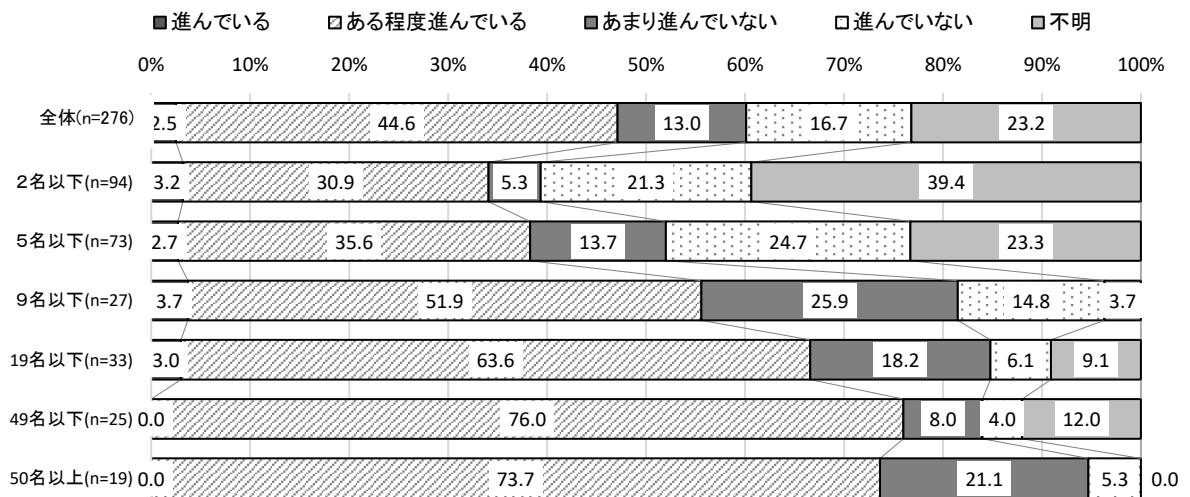


- ・ワーク・ライフ・バランスの状況について、業種別に見ると、専門・技術サービス業で「進んでいる」「ある程度進んでいる」の合計割合(計 62.0%)が最も高く、逆に製造業で「進んでいない」(23.4%)の割合が高くなっている。
- ・ワーク・ライフ・バランスの状況について、従業員数別に見ると、およそ従業員数規模に比例し、ワーク・ライフ・バランスが進んでいると回答する割合が高くなっている。

ワーク・ライフ・バランスの状況(業種別)



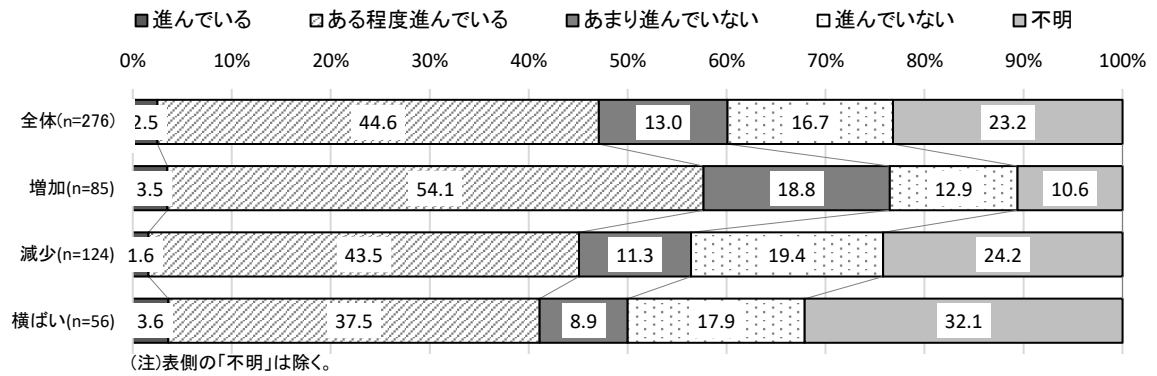
ワーク・ライフ・バランスの状況(従業員数別)



(注)表側の「不明」は除く。

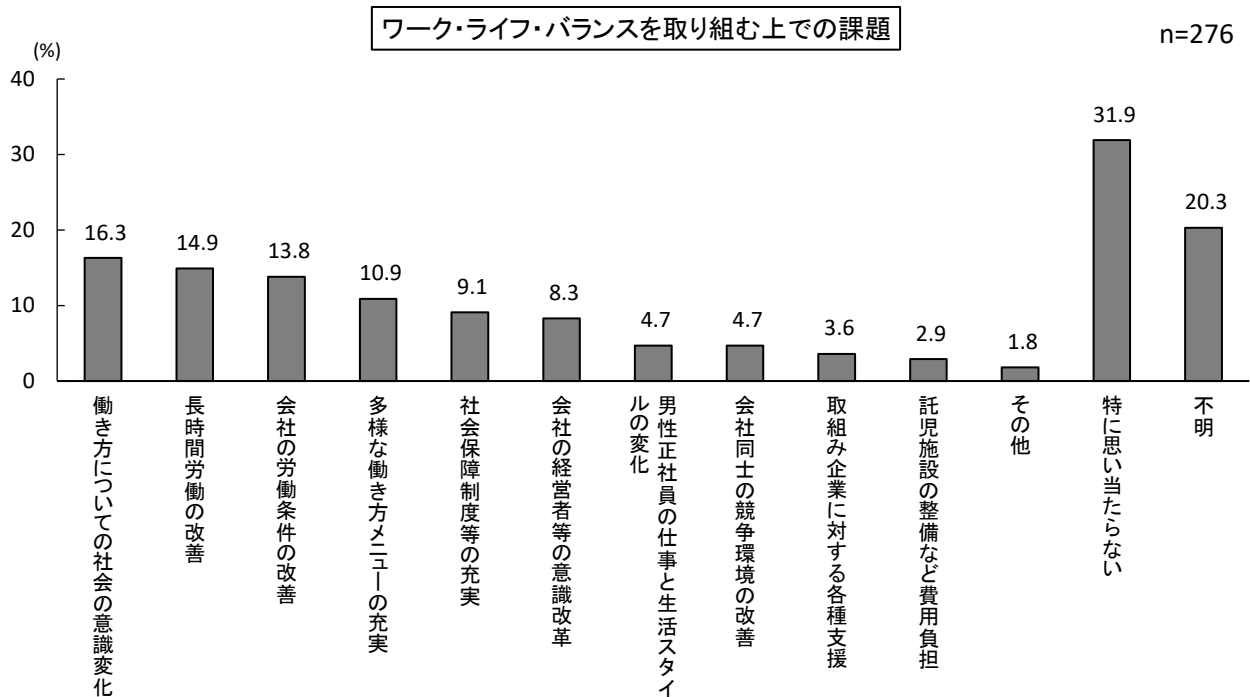
- ・ワーク・ライフ・バランスの状況について、3年前と比較した売上高別に見ると、売上高が増加したと回答した事業者で「進んでいる」「ある程度進んでいる」の合計割合(計57.6%)が高くなっている。

ワーク・ライフ・バランスの状況(3年前と比較した売上高別)



問4(9) ワーク・ライフ・バランスに取り組む上でどのような課題がありますか(〇はいくつでも)。

- ・ワーク・ライフ・バランスに取り組む上での課題は、「特に思い当たらない」(31.9%)が最も多く、次いで「働き方についての社会の意識変化」(16.3%)、「長時間労働の改善」(14.9%)となっている。
- ・ワーク・ライフ・バランスに取り組む上での課題について、業種別に見ると、卸売業で「働き方についての社会の意識変化」(30.8%)が多く、運輸業や専門・技術サービス業で、「長時間労働の改善」の割合がそれぞれ27.8%、20.7%とやや高くなっている。



ワーク・ライフ・バランスに取り組む上での課題(業種別)

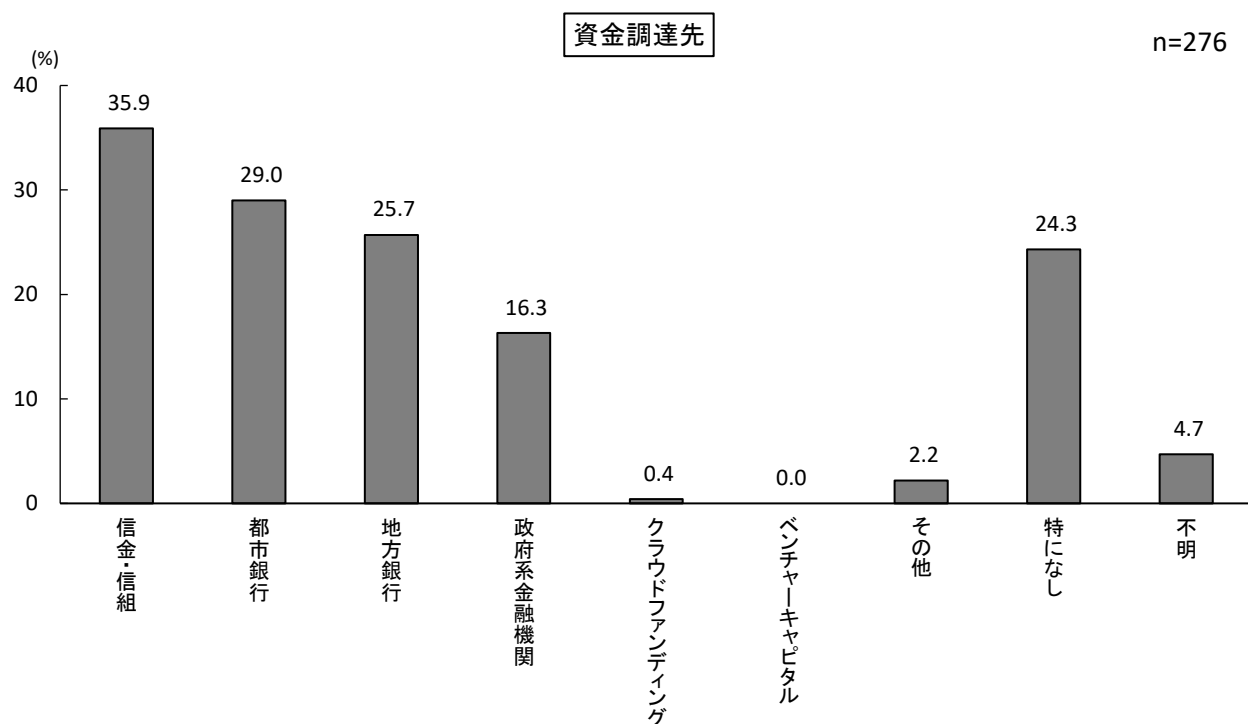
	合計	働き方についての社会意識変化	長時間労働の改善	会社の労働条件の改善	多様な働き方メニューの充実	社会保障制度等の充実	会社の経営者等の意識改革	男性正社員の仕事と生活スタイルの変化	会社同士の競争環境の改善	取組み企業に対する各種支援	託児施設の整備など費用負担	その他	特に思い当たらない	不明
全体	276	16.3	14.9	13.8	10.9	9.1	8.3	4.7	4.7	3.6	2.9	1.8	31.9	20.3
建設業	64	18.8	12.5	15.6	4.7	12.5	7.8	6.3	6.3	4.7	1.6	3.1	29.7	12.5
製造業	77	15.6	11.7	10.4	11.7	5.2	3.9	2.6	6.5	3.9	1.3	2.6	35.1	23.4
卸売業	26	30.8	15.4	11.5	19.2	11.5	11.5	3.8	7.7	3.8	3.8	0.0	30.8	11.5
運輸業	18	16.7	27.8	22.2	16.7	11.1	22.2	5.6	0.0	11.1	0.0	0.0	16.7	27.8
専門・技術サービス業	29	10.3	20.7	17.2	13.8	10.3	13.8	13.8	0.0	0.0	3.4	0.0	27.6	13.8
不動産業・物品賃貸業	26	11.5	15.4	11.5	15.4	7.7	3.8	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	30.8	38.5
その他	36	11.1	13.9	13.9	5.6	8.3	8.3	2.8	2.8	2.8	8.3	2.8	41.7	22.2

(注)網掛けは20%以上のもの。

## (5) 資金調達等について

問5 (1) 資金調達の際の調達先は、どのような機関ですか (○はいくつでも)。  
 (2) 主な資金調達先との関係は良好ですか (○は1つだけ)。  
 (3) 制度融資や補助金など、公的機関が提供する資金調達の支援制度を活用されたことがありますか (○は1つだけ)。

- ・ 資金調達先機関では、「信金・信組」(35.9%)が最も多く、次いで「都市銀行」(29.0%)となっている。
- ・ 資金調達先機関について、業種別では、不動産業、物品賃貸業で「都市銀行」(46.2%)の割合がやや高くなっている。



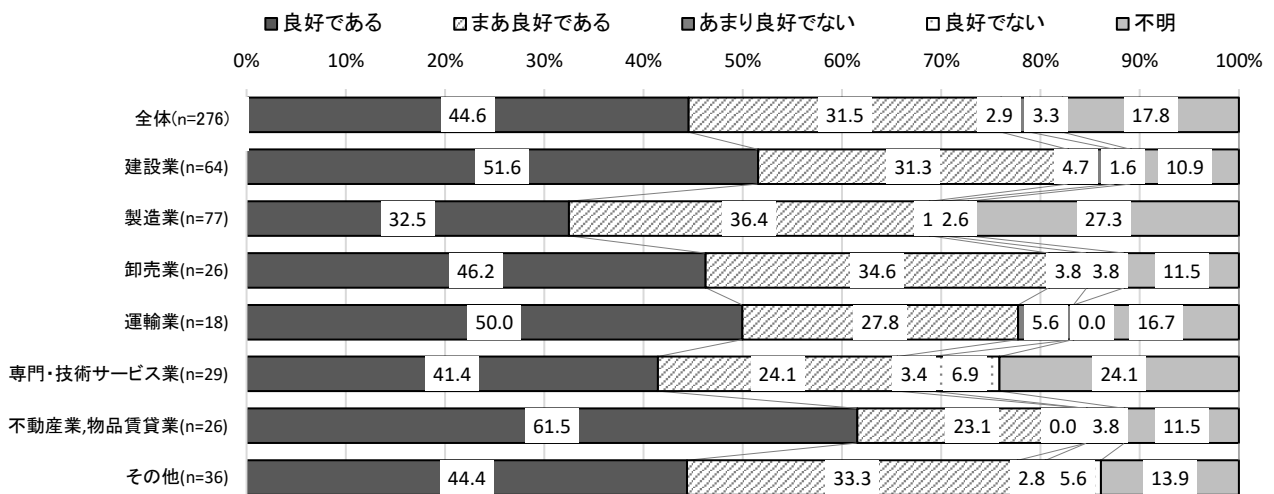
	合計	信金・信組	都市銀行	地方銀行	政府系金融機関	クラウドファンディング	ベンチャーキャピタル	その他	特になし	不明
全体	276	35.9	29.0	25.7	16.3	0.4	0.0	2.2	24.3	4.7
建設業	64	42.2	29.7	26.6	17.2	0.0	0.0	0.0	20.3	1.6
製造業	77	36.4	28.6	24.7	18.2	0.0	0.0	1.3	27.3	6.5
卸売業	26	46.2	42.3	34.6	15.4	0.0	0.0	0.0	15.4	3.8
運輸業	18	50.0	22.2	33.3	27.8	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
専門・技術サービス業	29	24.1	10.3	10.3	13.8	0.0	0.0	6.9	41.4	3.4
不動産業、物品賃貸業	26	26.9	46.2	34.6	7.7	0.0	0.0	0.0	26.9	3.8
その他	36	25.0	25.0	22.2	13.9	2.8	0.0	8.3	27.8	2.8

(注) 網掛けは20%以上のもの。

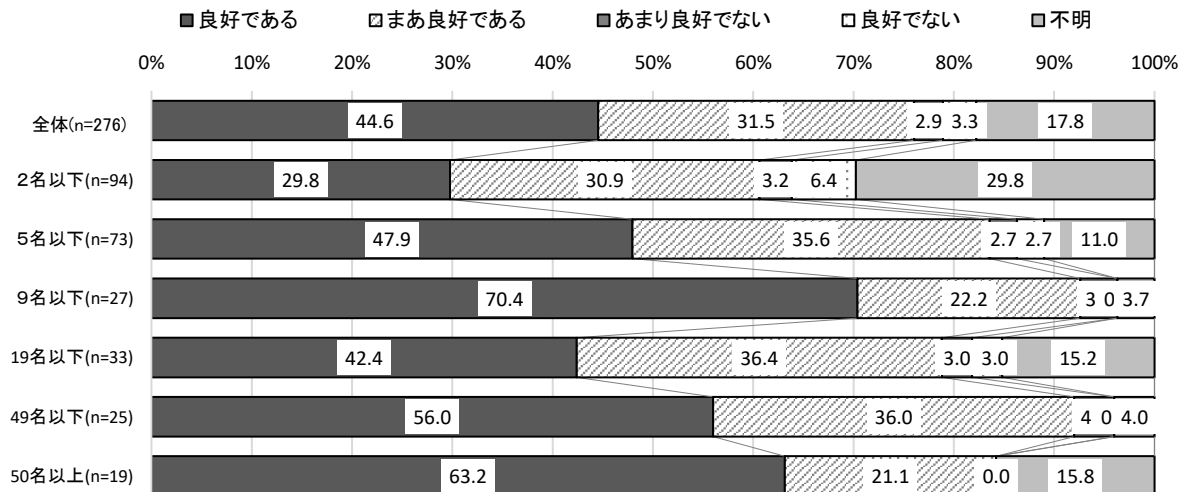


- ・主な資金調達先との関係では、「良好である」(44.6%)が多く、次いで「まあ良好である」(31.5%)となっている。
- ・主な資金調達先との関係について、業種別に見ると、不動産業, 物品賃貸業で「良好である」(61.5%)が多くなっている。
- ・主な資金調達先との関係について、従業員数別に見ると、9名以下で「良好である」(70.4%)が最も多くなっている。

資金調達先との関係(業種別)



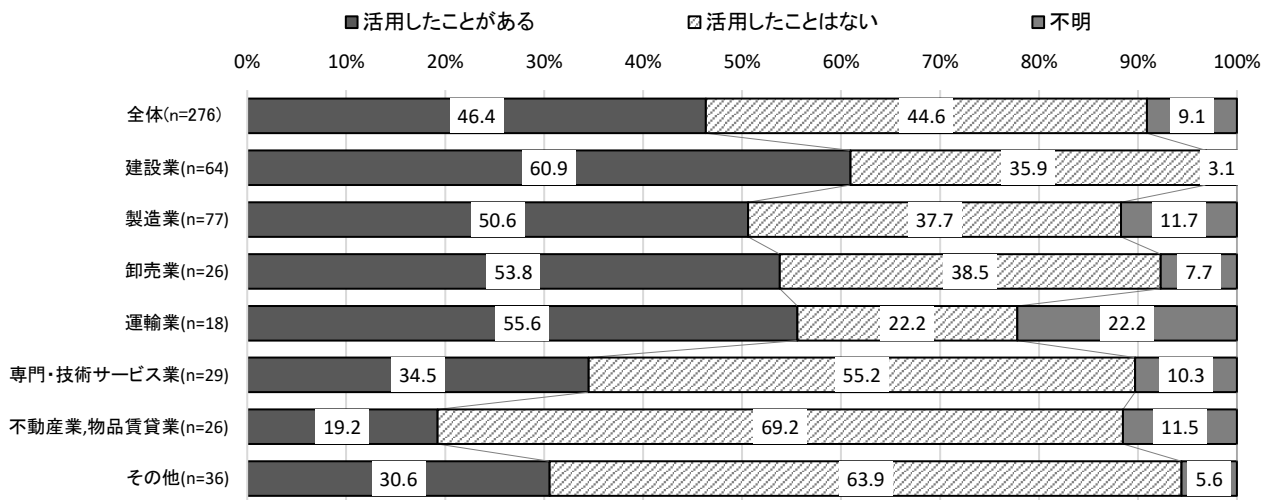
資金調達先との関係(従業員数別)



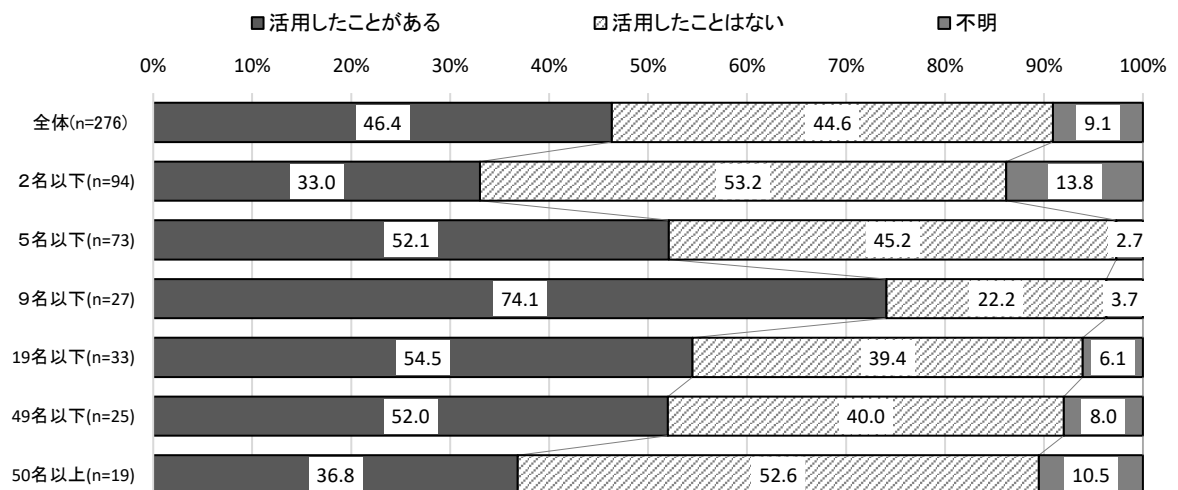
(注)表側の「不明」は除く。

- ・ 公的支援制度活用の有無では、「活用したことがある」が46.4%、「活用したことがない」が44.6%と、概ね半々となっている。
- ・ 公的支援制度活用の有無について、業種別に見ると、建設業で「活用したことがある」(60.9%)が最も多く、運輸業(55.6%)でも多くなっている。
- ・ 公的支援制度活用の有無について、従業者数別に見ると、9名以下で「活用したことがある」(74.1%)が最も多く、2名以下で「活用したことはない」(53.2%)が多くなっている。

公的支援制度活用の有無(業種別)



公的支援制度活用の有無(従業者数)

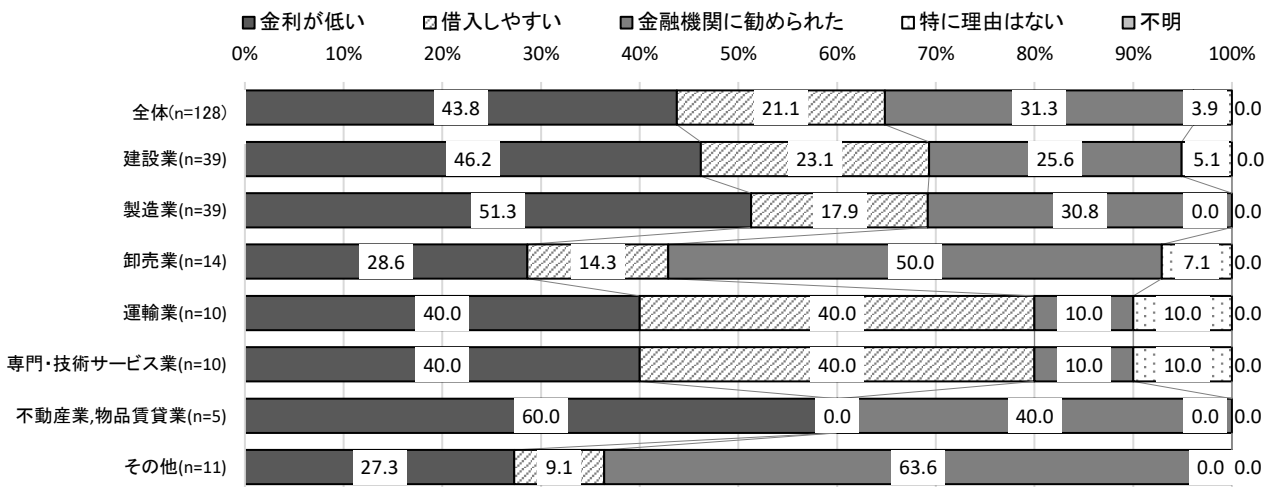


(注)表側の「不明」は除く。

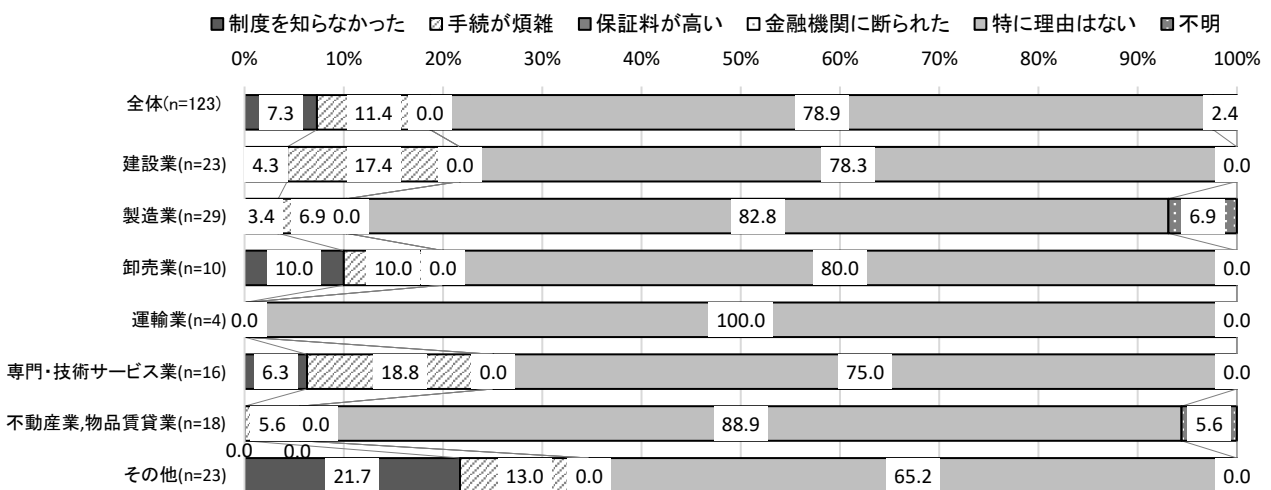
問5 (4)〔活用したことがあると回答した方〕その理由は何ですか(○は1つだけ)。  
 (5)〔活用したことがないと回答した方〕その理由は何ですか(○は1つだけ)。

- ・ 公的支援制度活用の理由では、活用した利用では「金利が低い」(43.8%)や、「金融機関に勧められた」(31.3%)が多くなっている。
- ・ 公的支援制度を活用しない理由では、「特に理由はない」(78.9%)が最も多く、次いで「手続きが煩雑」(11.4%)となっている。

活用した理由(業種別)



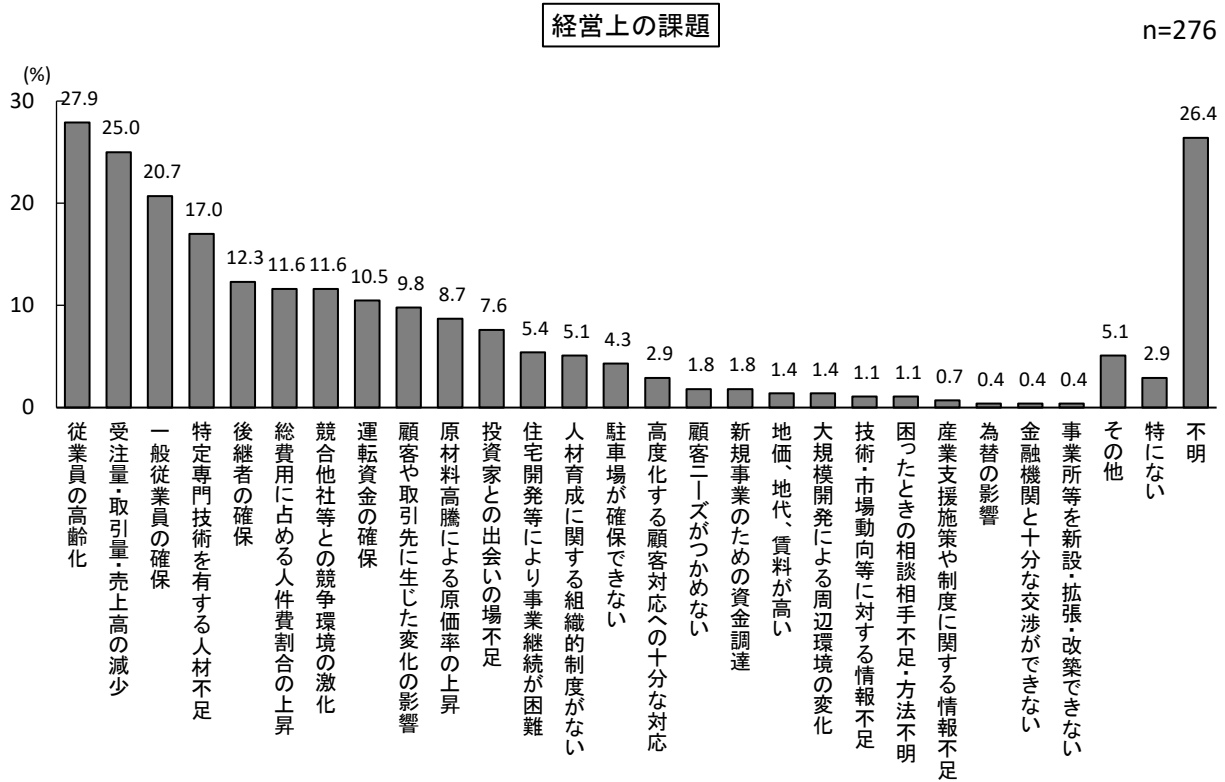
活用しない理由(業種別)



(6) 事業活動における課題と方向性について

問6 (1) 現在、経営上抱えている課題はどのようなことですか (〇は5つまで)。  
 (2) 今後5年程度を展望して重点的に取り組みたいと考えていることは何ですか (〇は5つまで)。

- ・ 経営上の課題では、「従業員の高齢化」(27.9%)が最も多く、次いで「受注量・取引  
 量・売上高の減少」(25.0%)、「一般従業員の確保」(20.7%)となっている。
- ・ 経営上の課題について、業種別では、運輸業で「従業員の高齢化」(61.1%)が突出して  
 多くなっている。



経営上の課題・上位20項目(業種別)

	合計	従業員の 高齢化	受注量・ 取引量・ 売上高の 減少	一般 従業員の 確保	特定 専門 技術を 有する 人材 不足	後 継者 の 確 保	総 費 用 に 占 め る 人 件 費 割 合 の 上 昇	競 合 他 社 等 の 競 争 環 境 の 激 化	運 転 資 金 の 確 保	顧 客 や 取 引 先 に 生 じ た 変 化 の 影 響	原 材 料 高 騰 に よ る 原 価 率 の 上 昇	投 資 家 と の 出 会 い の 場 不 足	住 宅 開 発 等 に よ り 事 業 継 続 が 困 難	人 材 育 成 に 関 す る 組 織 的 制 度 が な い	駐 車 場 が 確 保 で き な い	高 度 化 す る 顧 客 対 応 へ の 十 分 な 対 応	顧 客 ニ ー ズ が つ か め な い	新 規 事 業 の た め の 資 金 調 達	地 価 、 地 代 、 賃 料 が 高 い	大 規 模 開 発 に よ る 周 辺 環 境 の 変 化	技 術 ・ 市 場 動 向 等 に 対 す る 情 報 不 足
全体	276	27.9	25.0	20.7	17.0	12.3	11.6	11.6	10.5	9.8	8.7	7.6	5.4	5.1	4.3	2.9	1.8	1.8	1.4	1.4	1.1
建設業	64	37.5	26.6	37.5	32.8	17.2	10.9	3.1	10.9	9.4	17.2	6.3	4.7	6.3	3.1	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0
製造業	77	26.0	32.5	13.0	18.2	13.0	10.4	9.1	11.7	10.4	11.7	9.1	5.2	2.6	7.8	2.6	0.0	2.6	2.6	3.9	2.6
卸売業	26	30.8	26.9	11.5	11.5	11.5	11.5	30.8	0.0	19.2	11.5	11.5	3.8	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	3.8	0.0	0.0
運輸業	18	61.1	11.1	44.4	0.0	16.7	22.2	5.6	16.7	5.6	0.0	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0
専門・技術サービス業	29	10.3	24.1	10.3	6.9	6.9	6.9	13.8	17.2	6.9	3.4	3.4	10.3	0.0	10.3	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0
不動産業・物品賃貸業	26	7.7	3.8	3.8	7.7	3.8	11.5	15.4	0.0	0.0	0.0	3.8	7.7	11.5	0.0	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	3.8
その他	36	25.0	27.8	22.2	13.9	11.1	13.9	16.7	13.9	13.9	0.0	11.1	2.8	5.6	0.0	8.3	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0

(注) 網掛けは20%以上のもの。

- ・経営上の課題について、従業員数別に見ると、規模が大きくなるにつれ「従業員の高齢化」の割合が高くなっている。また、9名以下では「受注量・取引量・売上高の減少」(37.0%)が最も多くなっている。

経営上の課題・上位 20 項目(従業員数別)

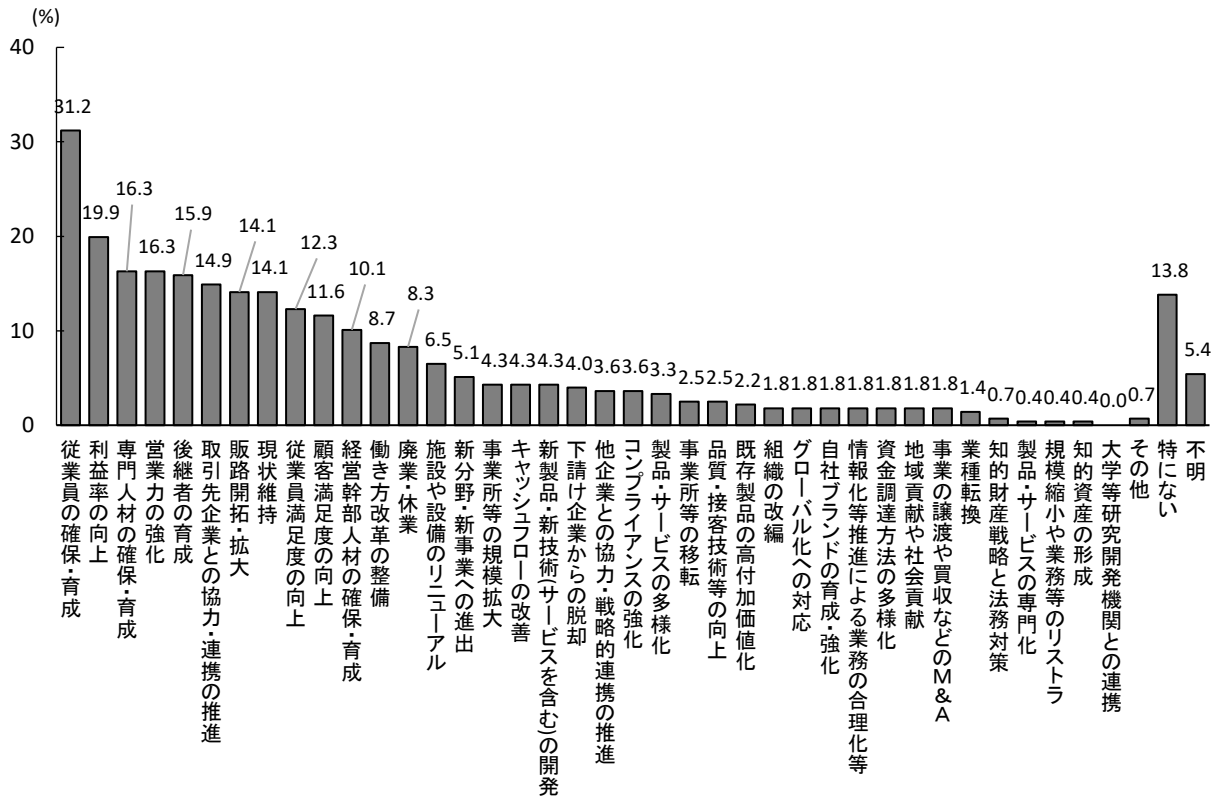
	合計	従業員の高齢化	受注量・取引量・売上高の減少	一般従業員の確保	特定専門技術を有する人材不足	後継者の確保	総費用に占める人件費の上昇	競合他社等との競争環境の激化	運転資金の確保	顧客や取引先に生じた変化の影響	原材料高騰による原価の上昇	投資家との出会いの場不足	住宅開発等により事業継続が困難	人材育成に関する組織的制度がない	駐車場が確保できない	高度化する顧客対応への十分な対応	顧客ニーズがつかめない	新規事業のための資金調達	地価、地代、賃料が高	大規模開発による周辺環境の変化	技術・市場動向等に対する情報不足
全体	276	27.9	25.0	20.7	17.0	12.3	11.6	11.6	10.5	9.8	8.7	7.6	5.4	5.1	4.3	2.9	1.8	1.8	1.4	1.4	1.1
2名以下	94	12.8	23.4	4.3	7.4	9.6	0.0	9.6	10.6	8.5	8.5	9.6	5.3	1.1	1.1	2.1	2.1	1.1	2.1	1.1	1.1
5名以下	73	26.0	30.1	19.2	20.5	13.7	5.5	5.5	11.0	9.6	9.6	8.2	6.8	4.1	1.4	1.4	2.7	4.1	1.4	0.0	0.0
9名以下	27	29.6	37.0	33.3	33.3	18.5	18.5	11.1	7.4	11.1	18.5	7.4	7.4	3.7	7.4	3.7	0.0	3.7	0.0	3.7	3.7
19名以下	33	42.4	15.2	36.4	33.3	21.2	30.3	21.2	18.2	6.1	3.0	6.1	3.0	6.1	9.1	3.0	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0
49名以下	25	52.0	28.0	36.0	4.0	8.0	28.0	16.0	8.0	8.0	4.0	8.0	8.0	12.0	16.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0
50名以上	19	52.6	10.5	42.1	21.1	5.3	31.6	21.1	5.3	15.8	10.5	0.0	0.0	21.1	5.3	10.5	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0

(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

- ・今後重点的に取り組みたい課題では、「従業員の確保・育成」(31.2%)が最も多く、次いで「利益率の向上」(19.9%)となっている。
- ・今後重点的に取り組みたい課題について、業種別に見ると、建設業では「従業員の確保・育成」(60.9%)がやや多くなっている。

今後重点的に取り組みたい課題

n=276



今後重点的に取り組みたい課題・上位 21 項目(業種別)

(%)

	合計	従業員の確保・育成	利益率の向上	専門人材の確保・育成	営業力の強化	後継者の育成	取引先企業との協力・連携の推進	販路開拓・拡大	現状維持	従業員満足度の向上	顧客満足度の向上	経営幹部人材の確保・育成	働き方改革の整備	廃業・休業	施設や設備のリニューアル	新分野・新事業への進出	事業所等の規模拡大	キャッシュフローの改善	新製品・新技術(サービスを含む)の開発	下請け企業からの脱却	他企業との協力・戦略的連携の推進	コンプライアンスの強化
全体	276	31.2	19.9	16.3	16.3	15.9	14.9	14.1	14.1	12.3	11.6	10.1	8.7	8.3	6.5	5.1	4.3	4.3	4.3	4.0	3.6	3.6
建設業	64	60.9	21.9	23.4	14.1	25.0	21.9	9.4	12.5	18.8	20.3	9.4	10.9	4.7	6.3	4.7	3.1	4.7	0.0	6.3	3.1	1.6
製造業	77	20.8	26.0	18.2	14.3	11.7	22.1	11.7	20.8	9.1	5.2	10.4	3.9	11.7	6.5	5.2	2.6	3.9	11.7	5.2	5.2	1.3
卸売業	26	23.1	26.9	19.2	30.8	3.8	11.5	23.1	11.5	7.7	15.4	15.4	7.7	15.4	0.0	3.8	0.0	3.8	3.8	3.8	0.0	3.8
運輸業	18	50.0	11.1	0.0	33.3	22.2	11.1	22.2	0.0	27.8	5.6	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0	11.1	5.6	0.0	5.6	0.0	16.7
専門・技術サービス業	29	17.2	13.8	13.8	10.3	17.2	6.9	31.0	13.8	10.3	10.3	3.4	10.3	3.4	10.3	20.7	10.3	6.9	3.4	3.4	6.9	3.4
不動産業・物品賃貸業	26	11.5	7.7	7.7	11.5	11.5	0.0	3.8	11.5	7.7	7.7	11.5	15.4	0.0	11.5	0.0	0.0	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0
その他	36	22.2	16.7	13.9	13.9	16.7	8.3	11.1	13.9	8.3	13.9	13.9	8.3	13.9	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	5.6	8.3

(注) 網掛けは 20%以上のもの。

- ・ 今後重点的に取り組みたい課題について、従業員数別に見ると、2名以下を除き、概ね「従業員の確保・育成」が多くなっている。また、9名以下、19名以下で「専門人材の確保・育成」の割合がそれぞれ40.7%、36.4%と高くなっている。

今後重点的に取り組みたい課題・上位 21 項目(従業員数別)

(%)

	合計	従業員の確保・育成	利益率の向上	専門人材の確保・育成	営業力の強化	後継者の育成	取引先企業との協力・連携の推進	販路開拓・拡大	現状維持	従業員満足度の向上	顧客満足度の向上	経営幹部人材の確保・育成	働き方改革の整備	廃業・休業	施設や設備のリニューアル	新分野・新事業への進出	事業所等の規模拡大	キャッシュフローの改善	新製品・新技術(サービ スを含む)の開発	下請け企業からの脱却	他企業との協力・戦略的 連携の推進	コンプライアンスの強化
全体	276	31.2	19.9	16.3	16.3	15.9	14.9	14.1	14.1	12.3	11.6	10.1	8.7	8.3	6.5	5.1	4.3	4.3	4.3	4.0	3.6	3.6
2名以下	94	6.4	12.8	3.2	8.5	6.4	12.8	11.7	19.1	3.2	7.4	1.1	3.2	20.2	4.3	6.4	1.1	1.1	3.2	5.3	3.2	0.0
5名以下	73	31.5	17.8	16.4	17.8	21.9	16.4	12.3	23.3	2.7	12.3	2.7	6.8	5.5	6.8	2.7	5.5	1.4	1.4	2.7	4.1	1.4
9名以下	27	51.9	37.0	40.7	14.8	25.9	18.5	11.1	7.4	33.3	3.7	11.1	11.1	0.0	11.1	3.7	11.1	11.1	7.4	7.4	3.7	7.4
19名以下	33	60.6	15.2	36.4	12.1	27.3	18.2	21.2	3.0	21.2	21.2	30.3	15.2	0.0	6.1	6.1	0.0	12.1	3.0	6.1	3.0	9.1
49名以下	25	48.0	36.0	8.0	32.0	12.0	16.0	24.0	4.0	28.0	12.0	20.0	12.0	0.0	12.0	4.0	12.0	4.0	0.0	0.0	8.0	4.0
50名以上	19	52.6	26.3	26.3	36.8	15.8	5.3	10.5	0.0	26.3	21.1	36.8	26.3	0.0	5.3	10.5	5.3	10.5	26.3	0.0	0.0	15.8

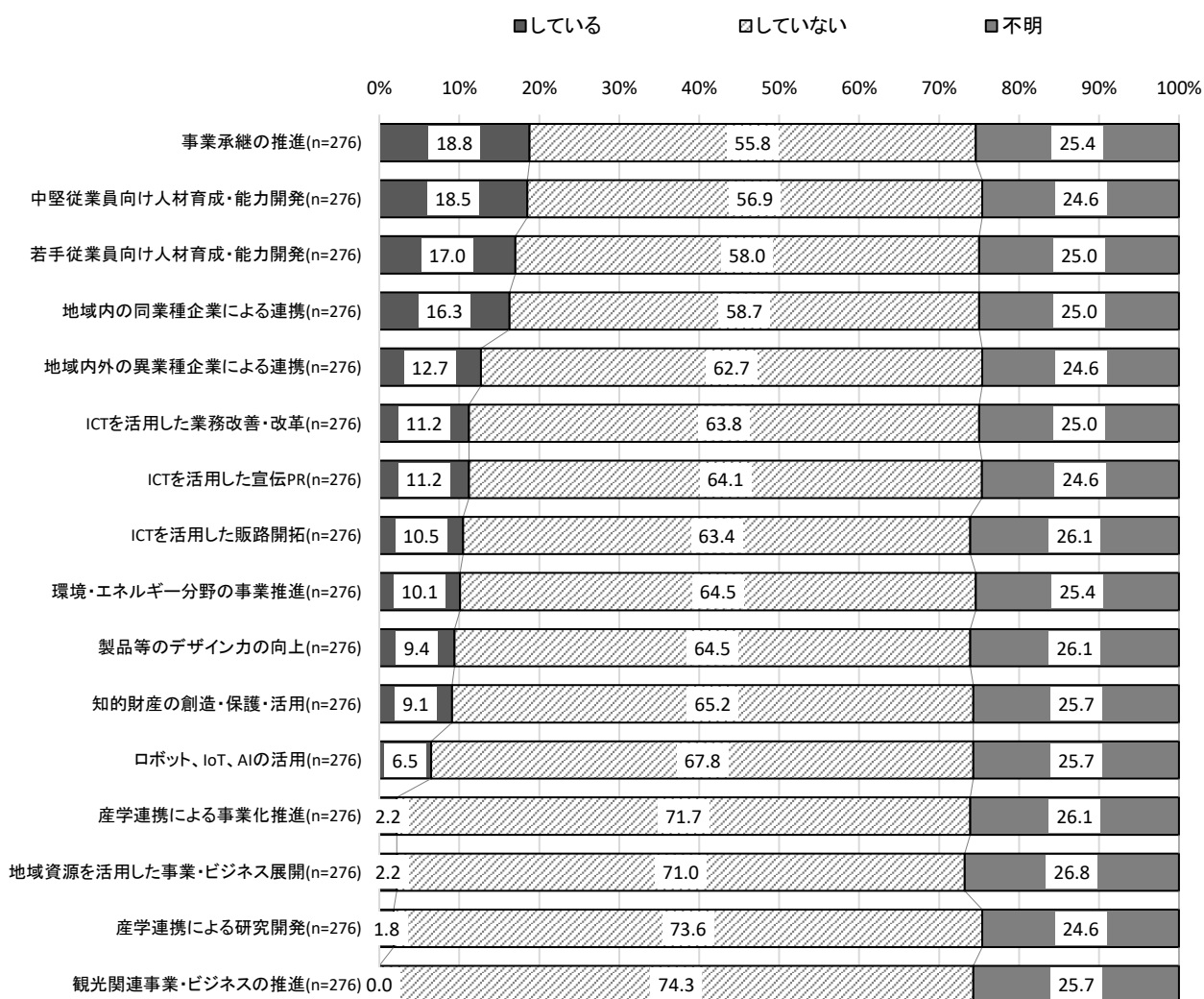
(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

## (7) 個別の事業課題等について

問7 (1) 下記の各事業課題について、それぞれ現在の取組経験(1)-1、今後の取組意向(1)-2をお答えください。

- ・事業課題に対する現在の取組経験において、「している」の割合が高かったのは「事業承継の推進」(18.8%)、「中堅従業員向け人材育成・能力開発」(18.5%)、「若手従業員向け人材育成・能力開発」(17.0%)、「地域内の同業種企業による連携」(16.3%)となっている。

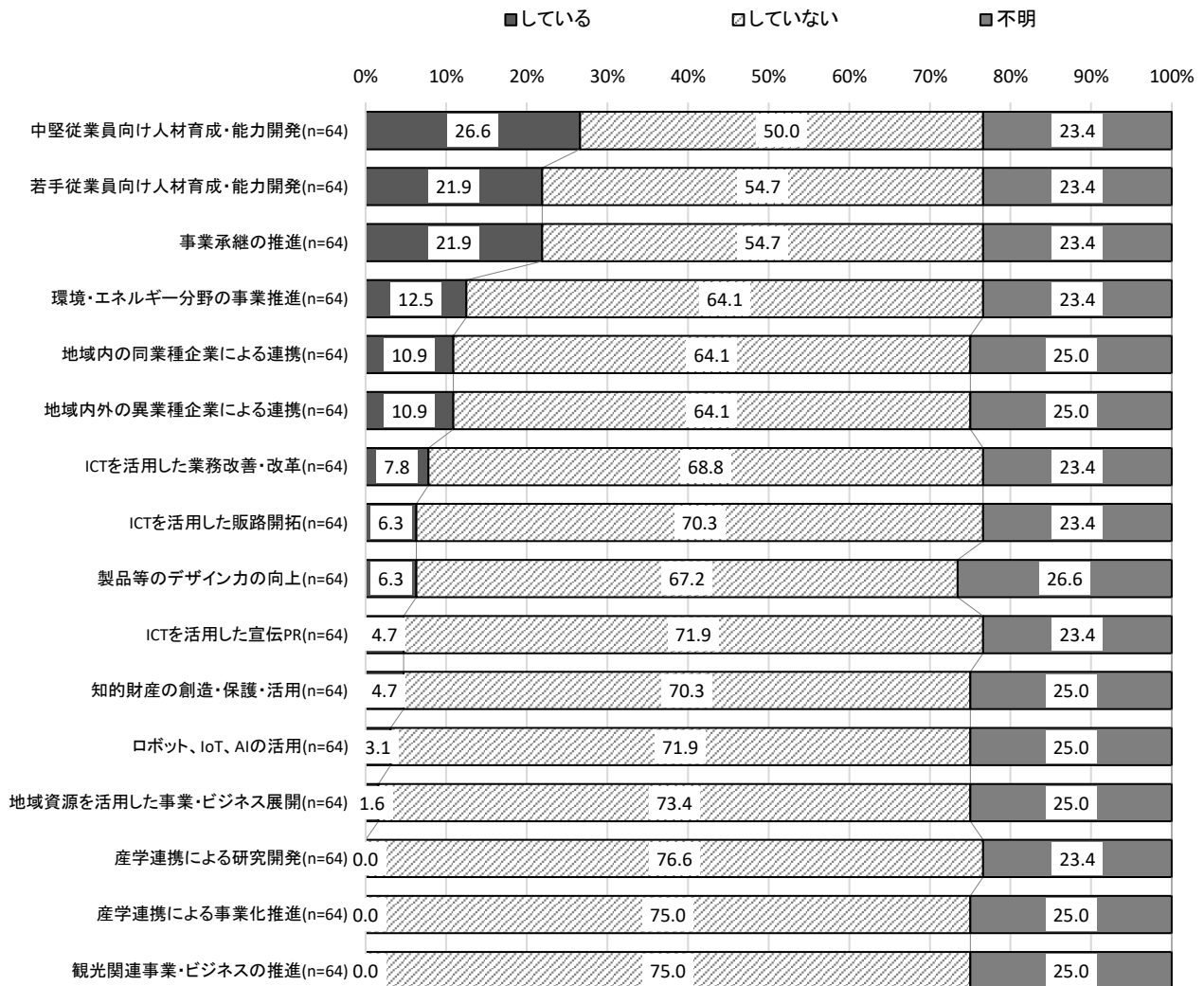
### 事業課題に対する取組経験





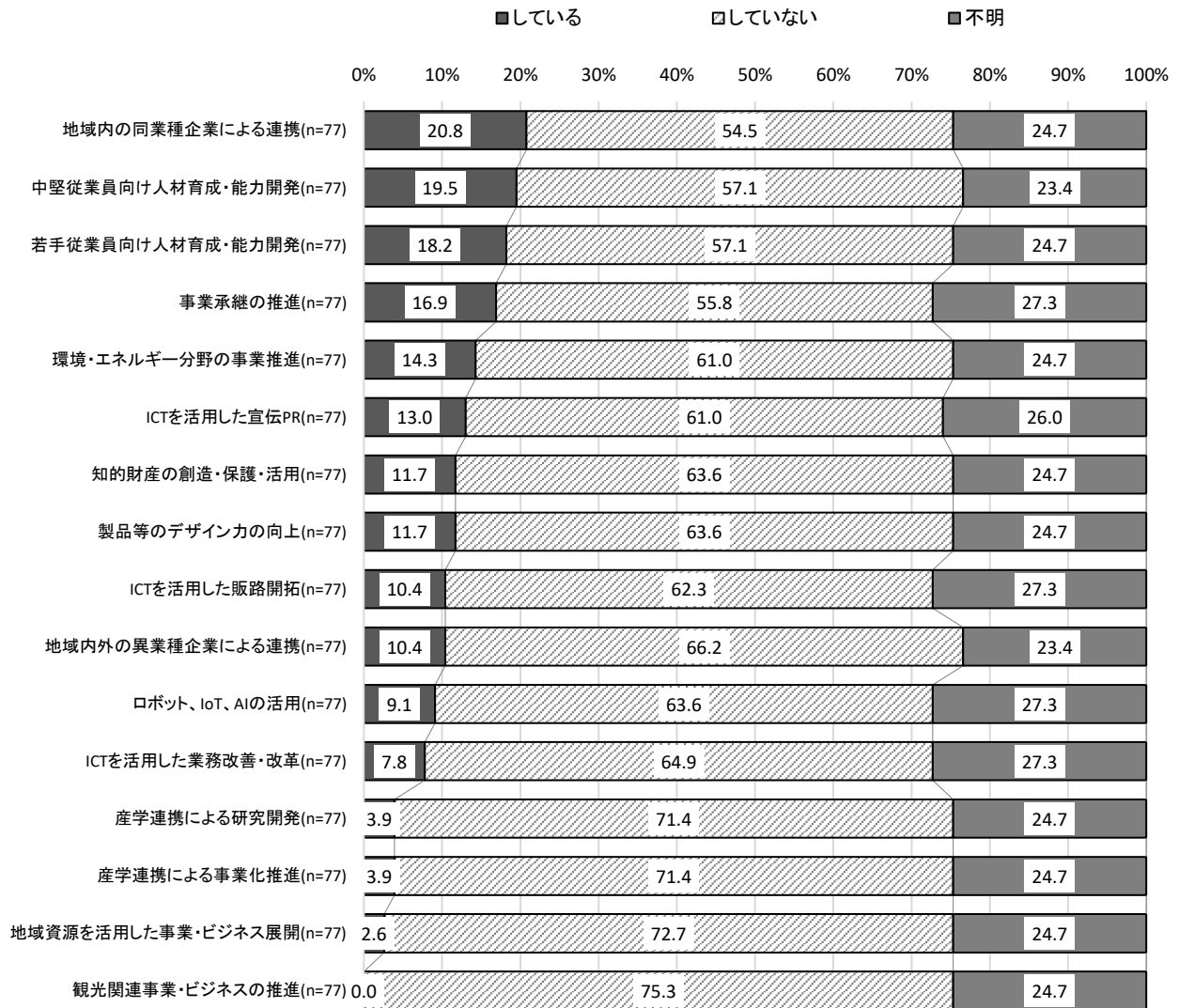
- ・事業課題に対する現在の取組経験について、建設業では「中堅従業員向け人材育成・能力開発」(26.6%)、「若手従業員向け人材育成・能力開発」(21.9%)の割合が高くなっており、人材育成に関する取組が多くなっている。

事業課題に対する取組経験(建設業)



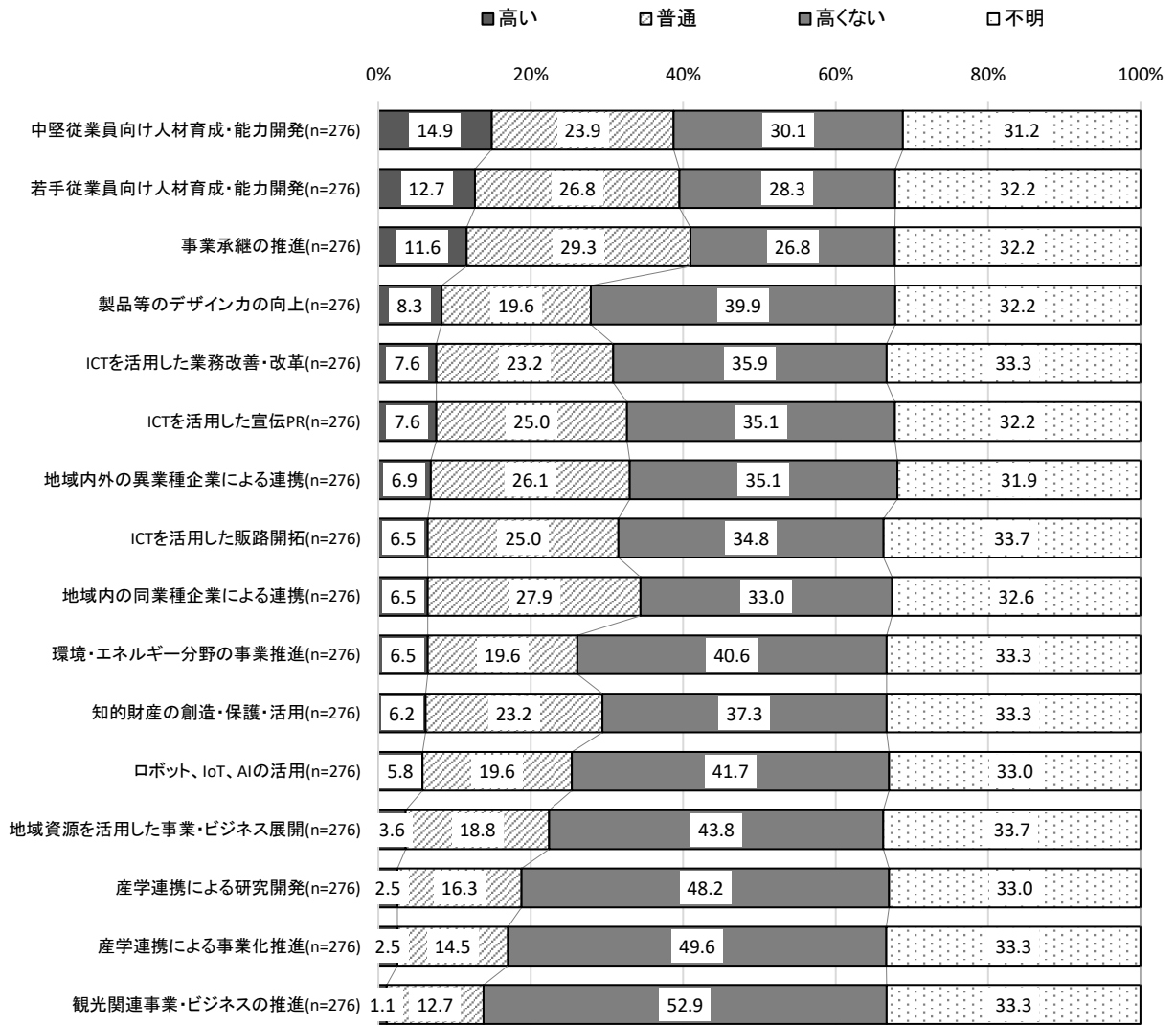
- ・事業課題に対する現在の取組経験について、製造業では「地域内の同業種企業による連携」(20.8%)が最も多く、次いで人材育成等に関する取組割合が高くなっている。

事業課題に対する取組経験(製造業)



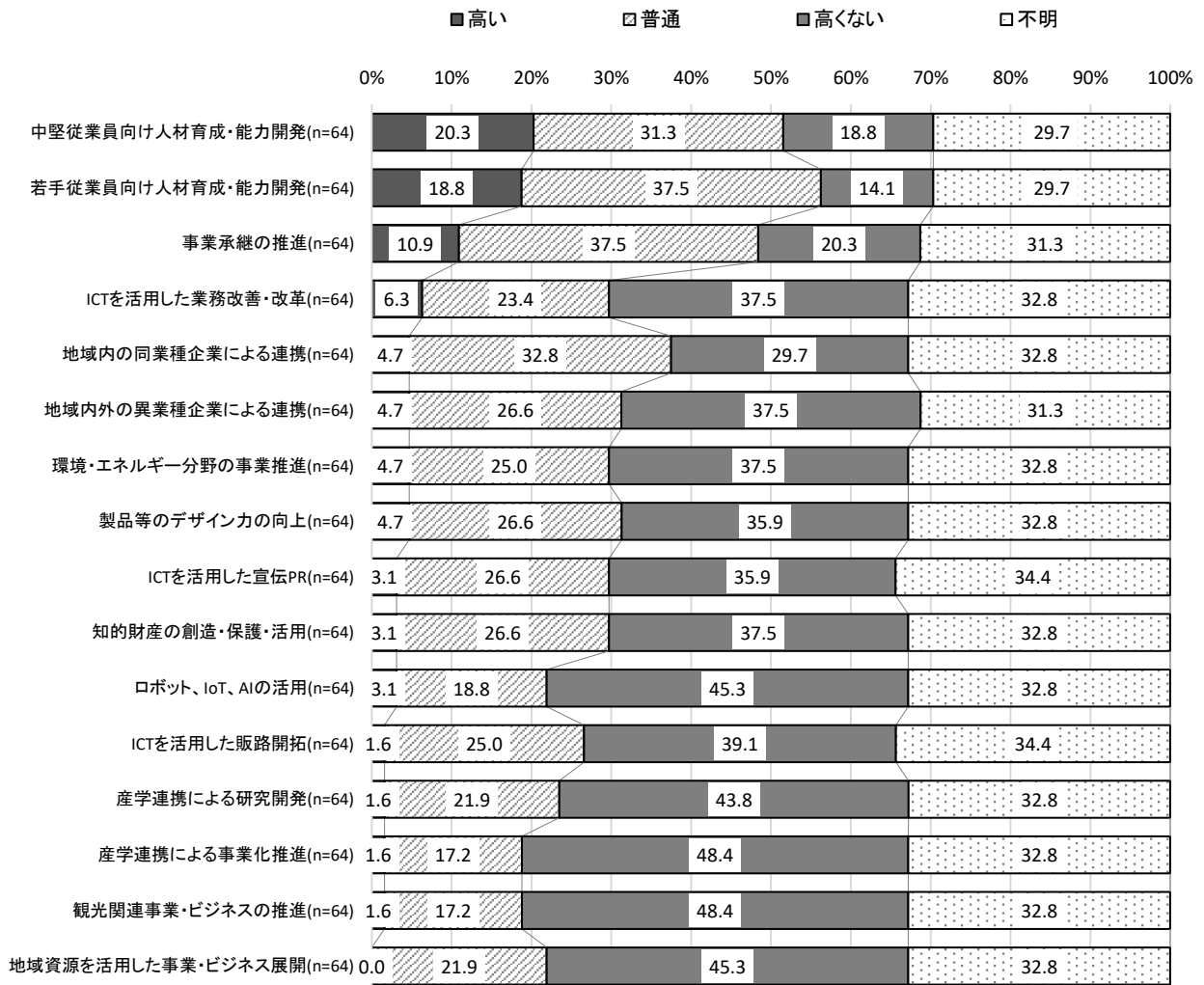
- ・事業課題に対する今後の取組意向では、「中堅従業員向け人材育成・能力開発」(14.9%)、「若手従業員向け人材育成・能力開発」(12.7%)の取組意向が高くなっている。

事業課題に対する今後の取組意向



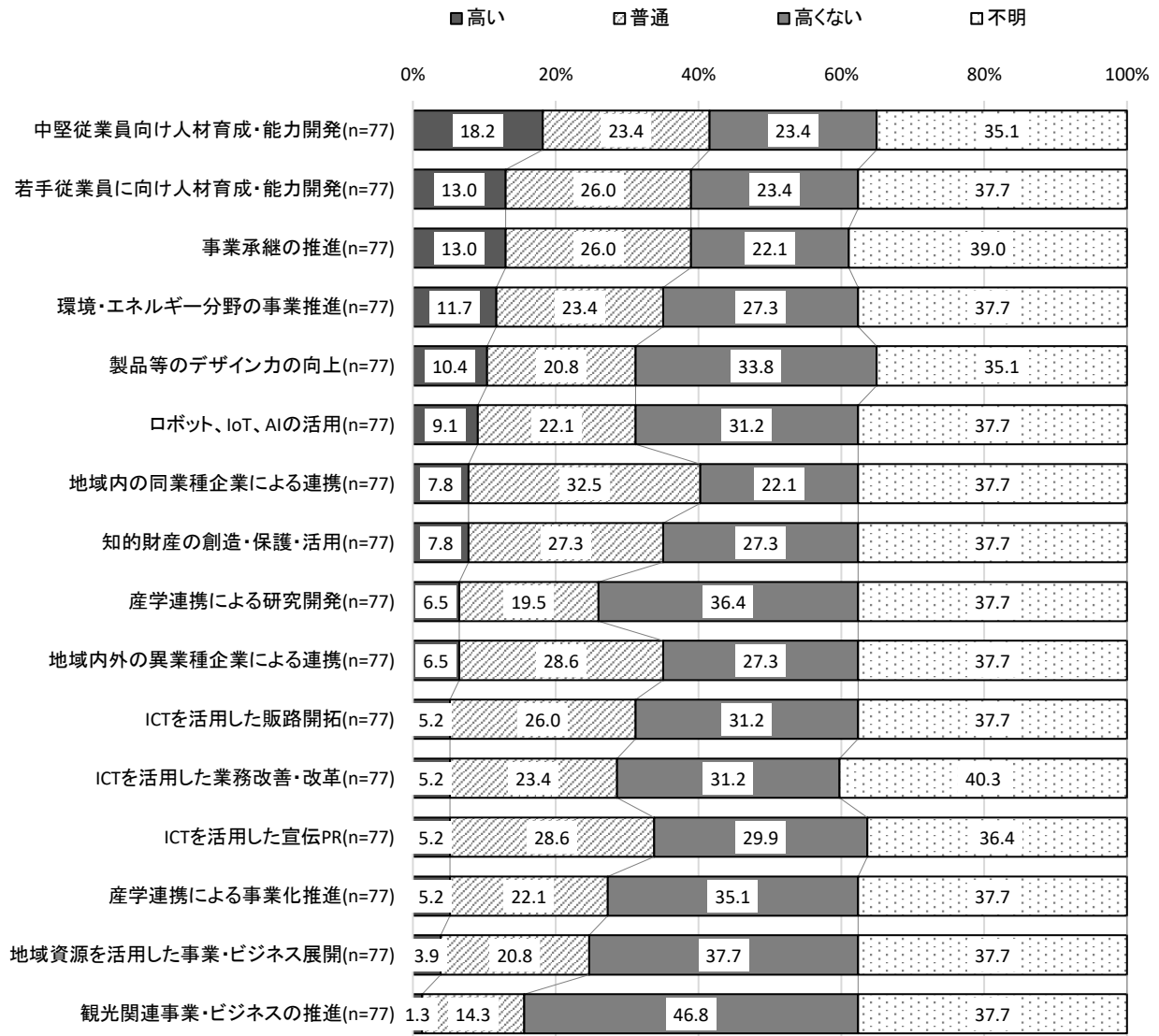
- ・事業課題に対する今後の取組意向について、建設業では、取組経験と同様、「中堅従業員向け人材育成・能力開発」(20.3%)、「若手従業員向け人材育成・能力開発」(18.8%)など、人材育成等に関する今後の取組意向の割合が高くなっている。

事業課題に対する今後の取組意向(建設業)



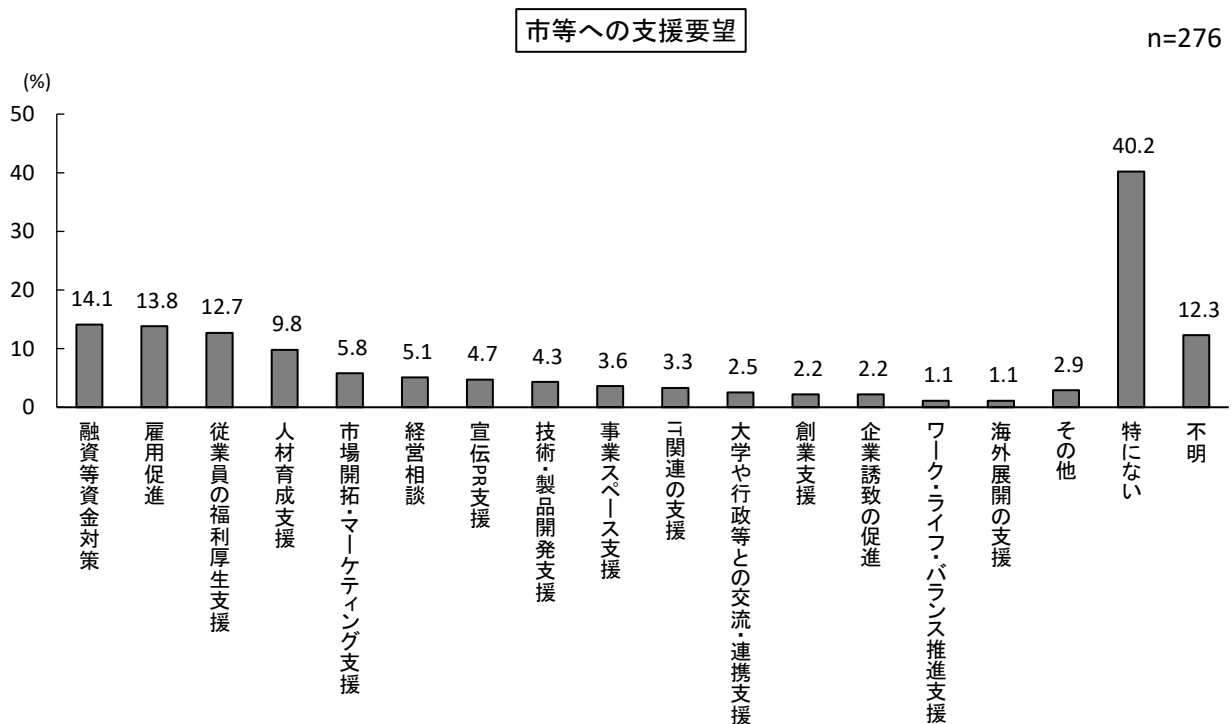
- ・事業課題に対する今後の取組意向について、製造業では「中堅従業員向け人材育成・能力開発」(18.2%)、「若手従業員向け人材育成・能力開発」(13.0%)、「事業承継の推進」(13.0%)などの割合が高くなっている。

事業課題に対する今後の取組意向(製造業)



問7 (3) 今後、市等に対してどのような支援を望みますか (〇は3つまで)。

- ・市等への支援要望では、「特にない」(40.2%)が最も多く、次いで「融資等資金対策」(14.1%)、「雇用促進」(13.8%)となっている。
- ・市等への支援要望について、業種別に見ると、建設業で「融資等資金対策」(26.6%)、「雇用促進」(20.3%)、「従業員の福利厚生支援」(25.0%)が、運輸業では「雇用促進」(22.2%)、「従業員の福利厚生支援」(22.2%)が多くなっている。
- ・市等への支援要望について、従業者数別に見ると、19名以下で「雇用促進」(27.3%)、「従業員の福利厚生支援」(33.3%)が多くなっている。



市等への支援要望（業種別）

(%)

	合計	融資等資金対策	雇用促進	従業員の福利厚生支援	人材育成支援	市場開拓・マーケティング支援	経営相談	宣伝PR支援	技術・製品開発支援	事業スペース支援	IT関連の支援	大学や行政等との交流・連携支援	創業支援	企業誘致の促進	ワーク・ライフ・バランス推進支援	海外展開の支援	その他	特になし	不明
全体	276	14.1	13.8	12.7	9.8	5.8	5.1	4.7	4.3	3.6	3.3	2.5	2.2	2.2	1.1	1.1	2.9	40.2	12.3
建設業	64	26.6	20.3	25.0	18.8	4.7	4.7	3.1	0.0	1.6	0.0	3.1	1.6	0.0	0.0	0.0	3.1	26.6	10.9
製造業	77	14.3	13.0	7.8	9.1	3.9	3.9	2.6	7.8	3.9	2.6	0.0	1.3	1.3	0.0	2.6	2.6	41.6	16.9
卸売業	26	7.7	7.7	0.0	3.8	15.4	3.8	7.7	11.5	0.0	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	11.5
運輸業	18	16.7	22.2	22.2	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	11.1	0.0	0.0	5.6	38.9	16.7
専門・技術サービス業	29	13.8	3.4	10.3	3.4	13.8	6.9	13.8	6.9	13.8	3.4	10.3	3.4	10.3	3.4	0.0	3.4	31.0	3.4
不動産業、物品賃貸業	26	3.8	7.7	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	0.0	7.7	0.0	3.8	53.8	15.4
その他	36	2.8	16.7	11.1	8.3	2.8	8.3	8.3	2.8	2.8	11.1	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	2.8	52.8	8.3

(注) 網掛けは 20%以上のもの。

市等への支援要望（従業者数別）

(%)

	合計	融資等資金対策	雇用促進	従業員の福利厚生支援	人材育成支援	市場開拓・マーケティング支援	経営相談	宣伝PR支援	技術・製品開発支援	事業スペース支援	IT関連の支援	大学や行政等との交流・連携支援	創業支援	企業誘致の促進	ワーク・ライフ・バランス推進支援	海外展開の支援	その他	特になし	不明
全体	276	14.1	13.8	12.7	9.8	5.8	5.1	4.7	4.3	3.6	3.3	2.5	2.2	2.2	1.1	1.1	2.9	40.2	12.3
2名以下	94	8.5	4.3	6.4	3.2	5.3	5.3	4.3	4.3	2.1	1.1	2.1	2.1	2.1	1.1	1.1	4.3	55.3	13.8
5名以下	73	19.2	12.3	11.0	12.3	5.5	9.6	2.7	6.8	4.1	2.7	1.4	4.1	0.0	0.0	1.4	1.4	37.0	12.3
9名以下	27	22.2	22.2	18.5	14.8	3.7	3.7	7.4	3.7	7.4	3.7	0.0	0.0	7.4	0.0	3.7	3.7	22.2	7.4
19名以下	33	15.2	27.3	33.3	15.2	0.0	3.0	9.1	3.0	3.0	6.1	6.1	0.0	3.0	0.0	0.0	3.0	27.3	9.1
49名以下	25	16.0	20.0	4.0	16.0	12.0	0.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	36.0	12.0
50名以上	19	5.3	21.1	21.1	5.3	15.8	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	5.3	36.8	10.5

(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

## 4 個人を主たる販売先とする企業向け 調査概要

### (1) 調査項目

#### ①事業所属性

事業所名、住所、連絡先、経営形態、業種、資本金、事業所の敷地面積、従業者数、採用者数、経営者年代、後継者、土地・建物の所有形態、直近の改装時期、所属団体等

#### ②主要顧客

主要顧客の所在地、固定客比率・フリー客比率、顧客年代、顧客タイプ、顧客が自店を利用する理由

#### ③経営状況について

昨年度売上高、3年前と比べた昨年度売上、昨年度経常利益率、今後3年間の景況予測、最近の店舗・事業所の業績、業績が順調である理由・不振である理由、経営に対する満足度、経営上困っていること、経営方針で重視すること

#### ④立地環境について

創業場所、市内立地時期、朝霞市立地のメリットとデメリット、移転の可能性

#### ⑤採用状況や雇用環境について

採用状況、採用に対する対策、従業員が就職を決めた理由、高齢者・障害者雇用、女性の活躍推進対策、若年者採用実績と考え方、採用したい人材、ワーク・ライフ・バランスの進捗状況と進んでいない場合の理由、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいくための課題

#### ⑥商店会等について

地域の催物・イベントによる店舗の売上高、店舗の催物やイベントによる売上高、商店会への加盟、商店会活動の活発度、商店会活動への参加頻度、周辺商業地の活性度、周辺商業地の問題点、周辺商業地の将来像

#### ⑦資金調達等について

資金調達先、主な資金調達先との関係、制度融資等利用の有無とその理由

#### ⑧事業活動における課題と方向性等について

経営上抱えている課題、今後5年以内に重点的に取り組みたいこと

#### ⑨個別事業課題について

個別の事業課題についてのこれまでの取組経験・今後の取組意向、行政等への支援要望等

### (2) 調査仕様

- ①調査地域 朝霞市全域
- ②調査対象 個人を主たる販売先とする企業（市内の小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業、医療・福祉等）
- ③標本数 929 サンプル（宛先不明（71 通）を含む総発行数は 1,000 サンプル）
- ④抽出方法 平成 26 年経済センサス基礎調査
- ⑤調査方法 郵送配布・回収法
- ⑥調査期間 平成 29 年 9 月 14 日～9 月 29 日

### (3) 有効回収数・回収率

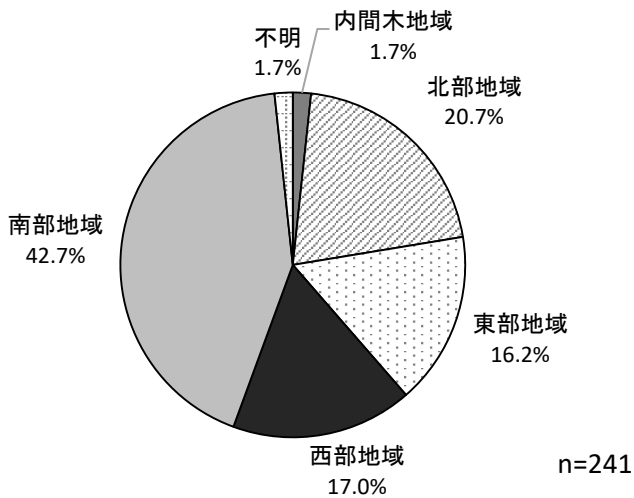
241 サンプル (25.9%)



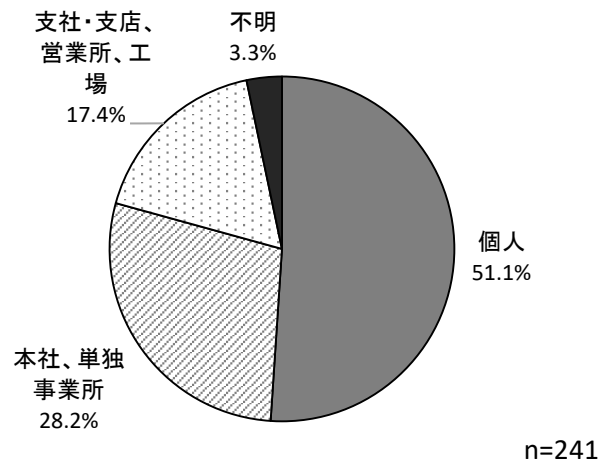
## 5 個人を主たる販売先とする企業向け 調査結果

### (1) 基本属性

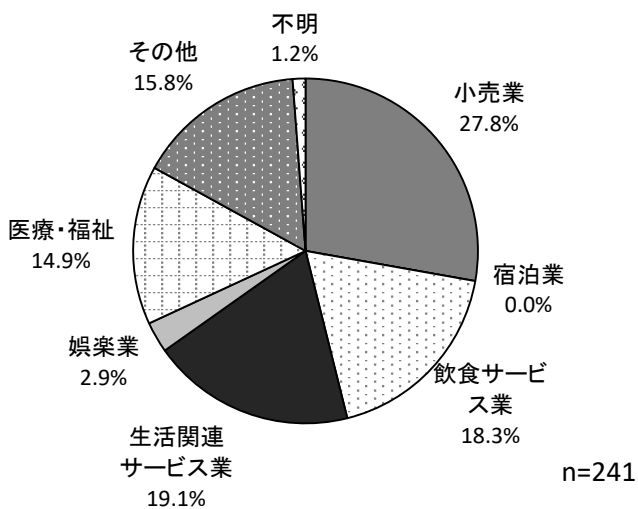
所在地



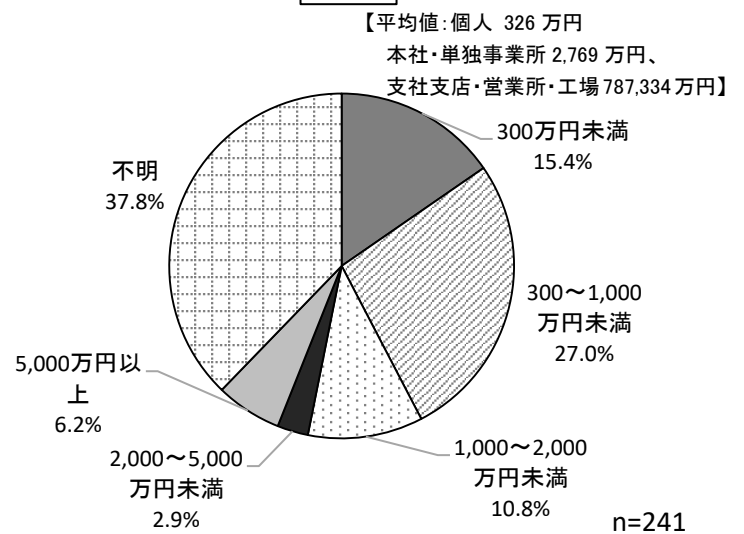
経営形態



業種

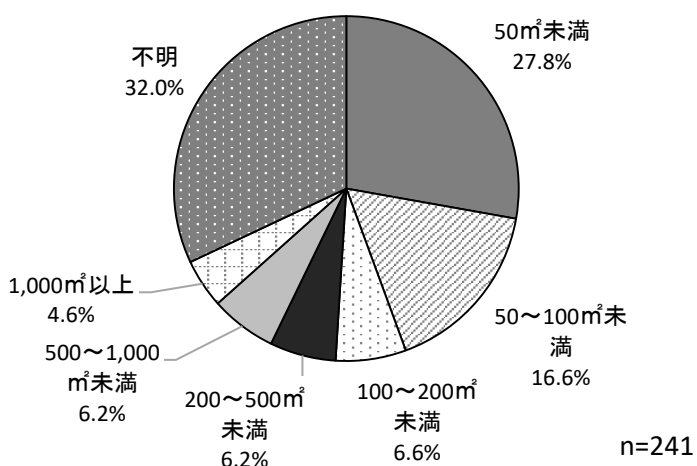


資本金



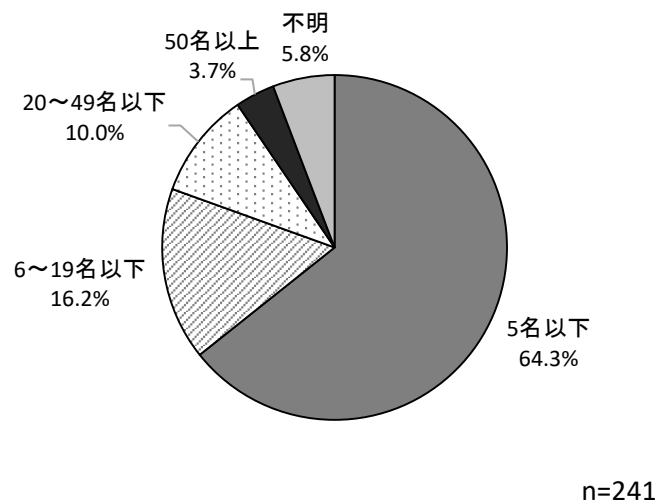
敷地面積

【平均値：572.5 m<sup>2</sup>】

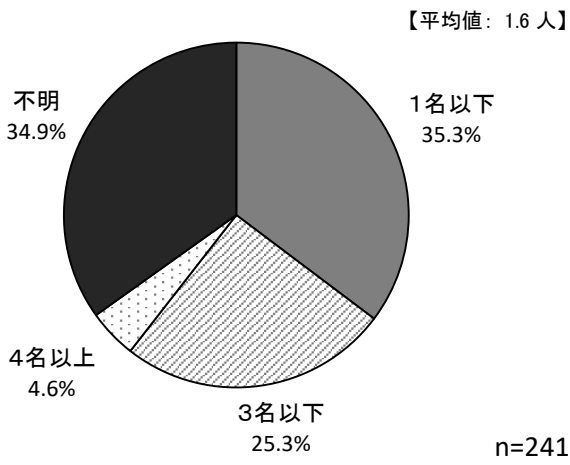


従業者数

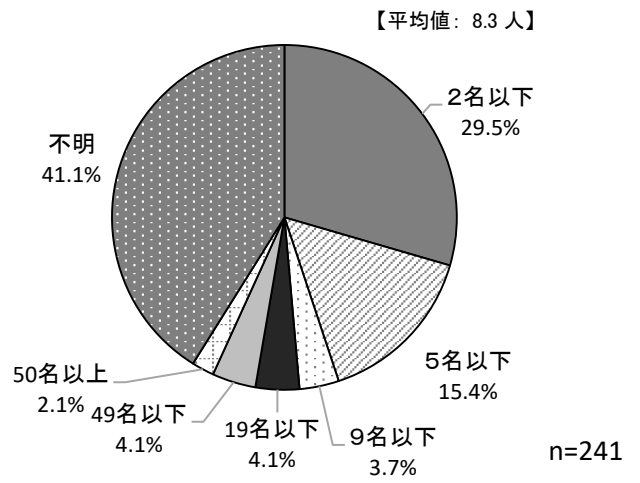
【平均値：11.4 人】



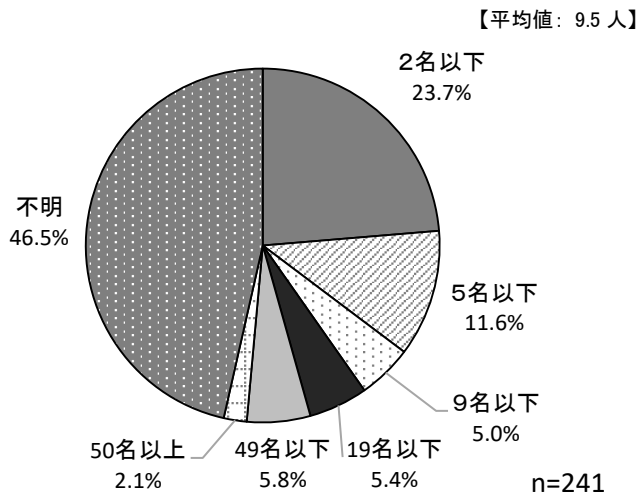
従業者のうち家族



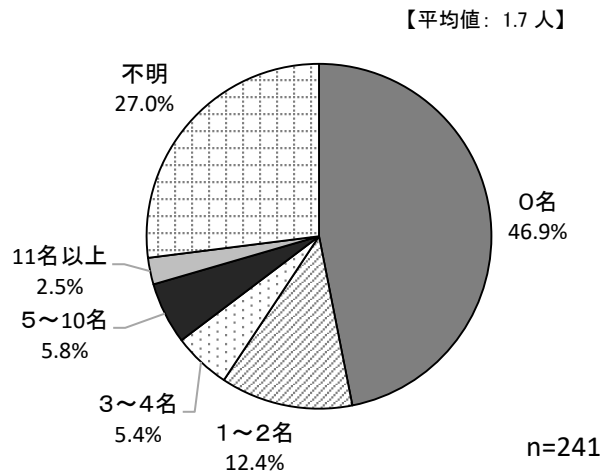
従業者のうち正社員



従業者のうちパート・アルバイト・派遣

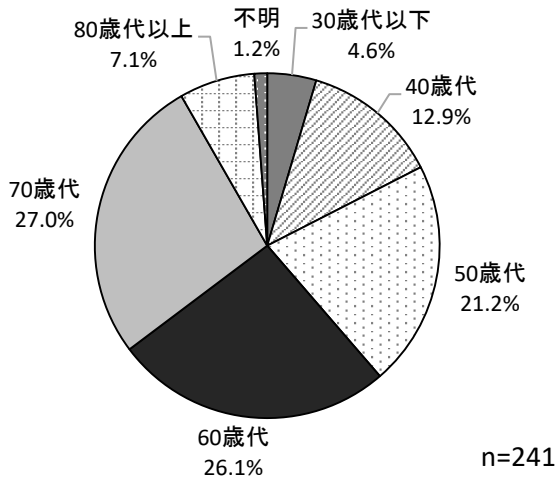


採用者数

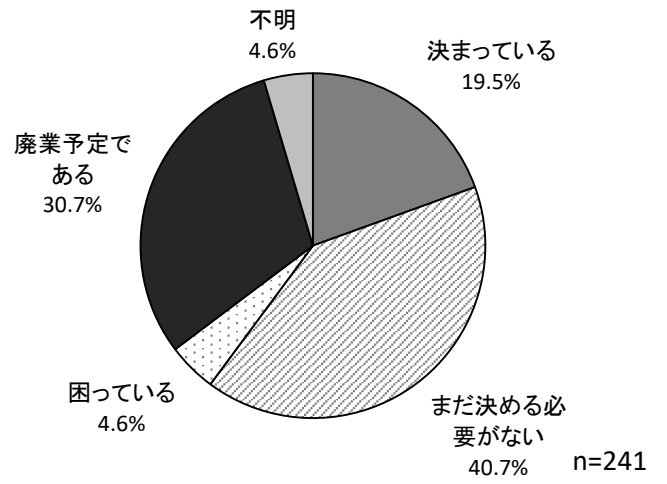


【男性平均：1.7人(内新卒平均0.3人)／女性平均：2.3人(内新卒平均0.4人)】

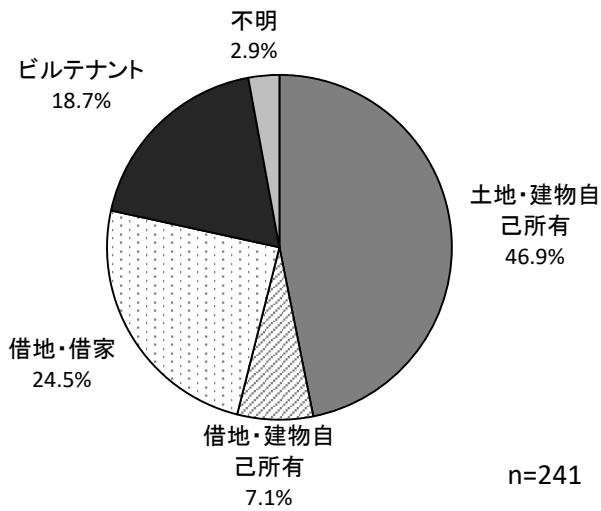
経営者年代



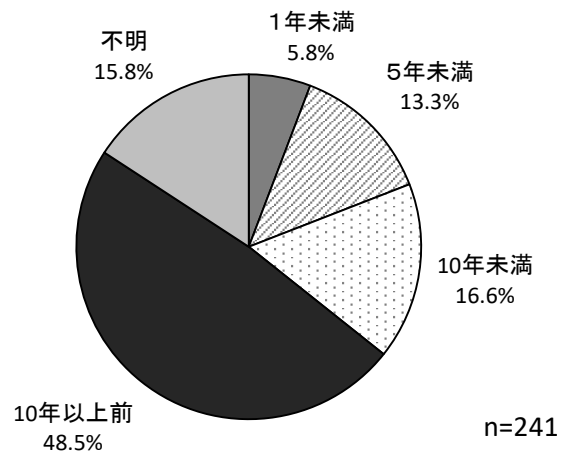
後継者



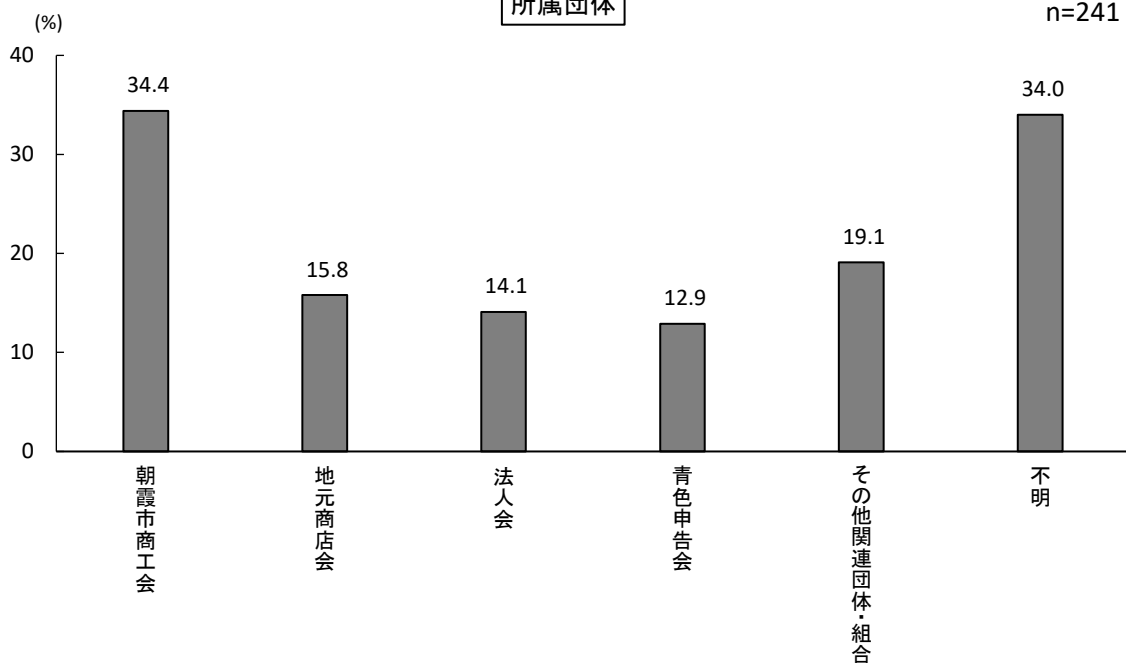
土地・建物の所有形態



直近の改装時期



所属団体



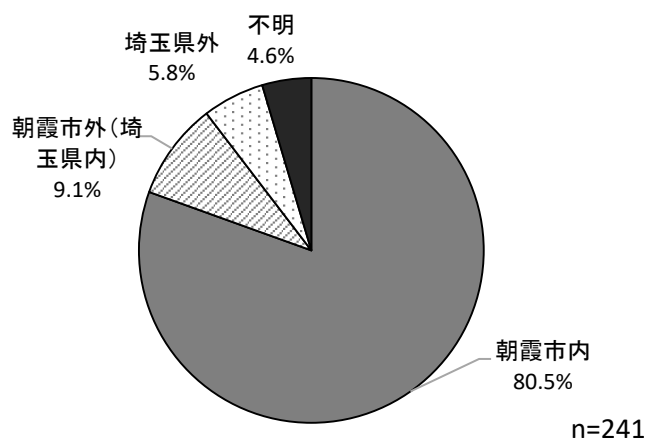
## (2) 顧客について

問2 (1) 主要顧客の所在地 (○は1つだけ)

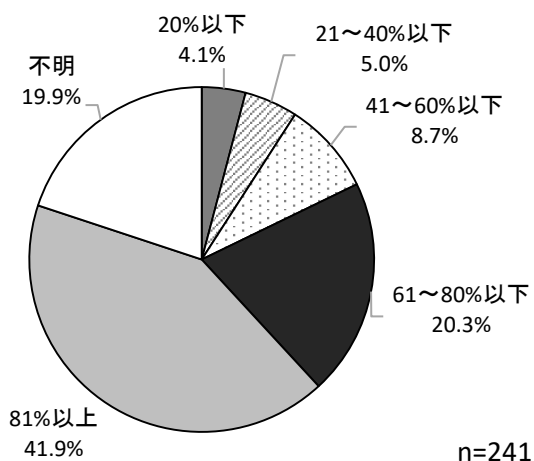
(2) お客様のうち、固定客等の比率はどれ位ですか (数字をご記入ください)。

- ・ 主要顧客の所在地では、「朝霞市内」(80.5%)が最も多く、次いで「朝霞市外(埼玉県内)」(9.1%)、「埼玉県外」(5.8%)となっている。
- ・ 主要顧客のうち固定客比率は、「81%以上」(41.9%)が最も多く、フリー客比率では「20%以下」(39.0%)が最も多くなっている。また、固定客比率の平均値は77.4%、フリー客比率の平均値は26.7%となっている。

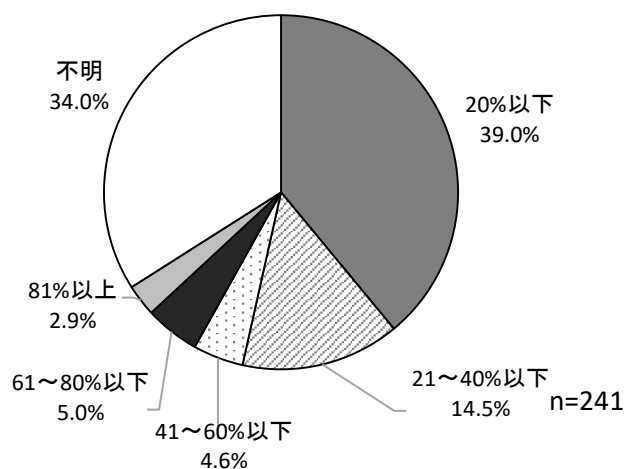
主要顧客の所在地



固定客比率 【平均値:77.4%】

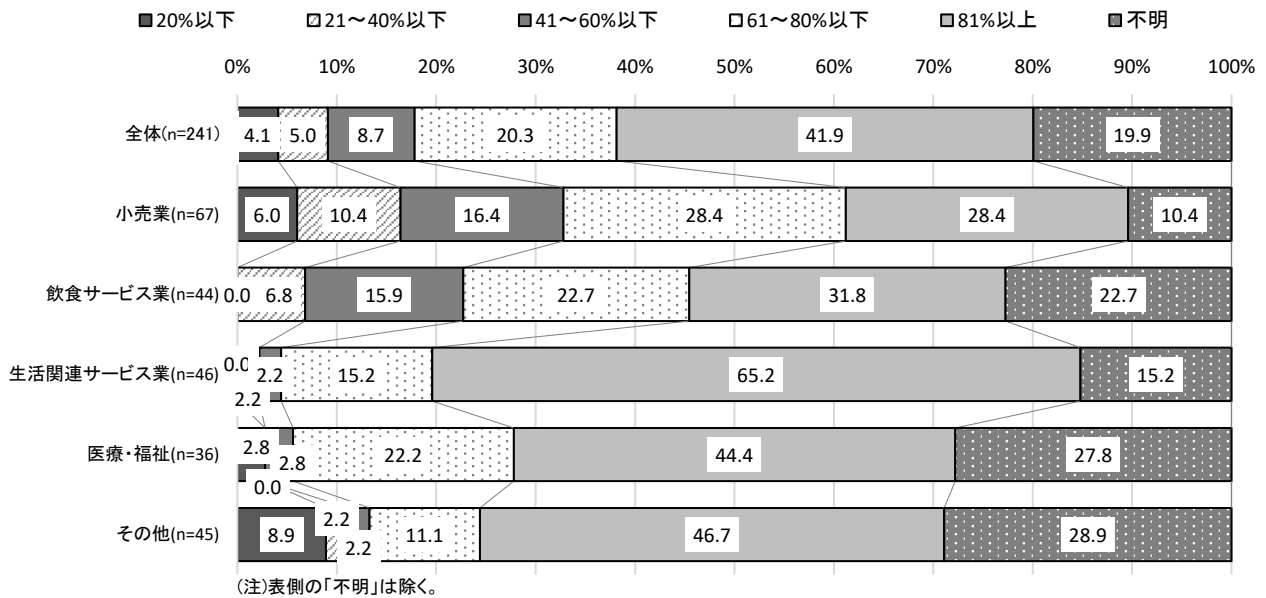


フリー客比率 【平均値:26.7%】

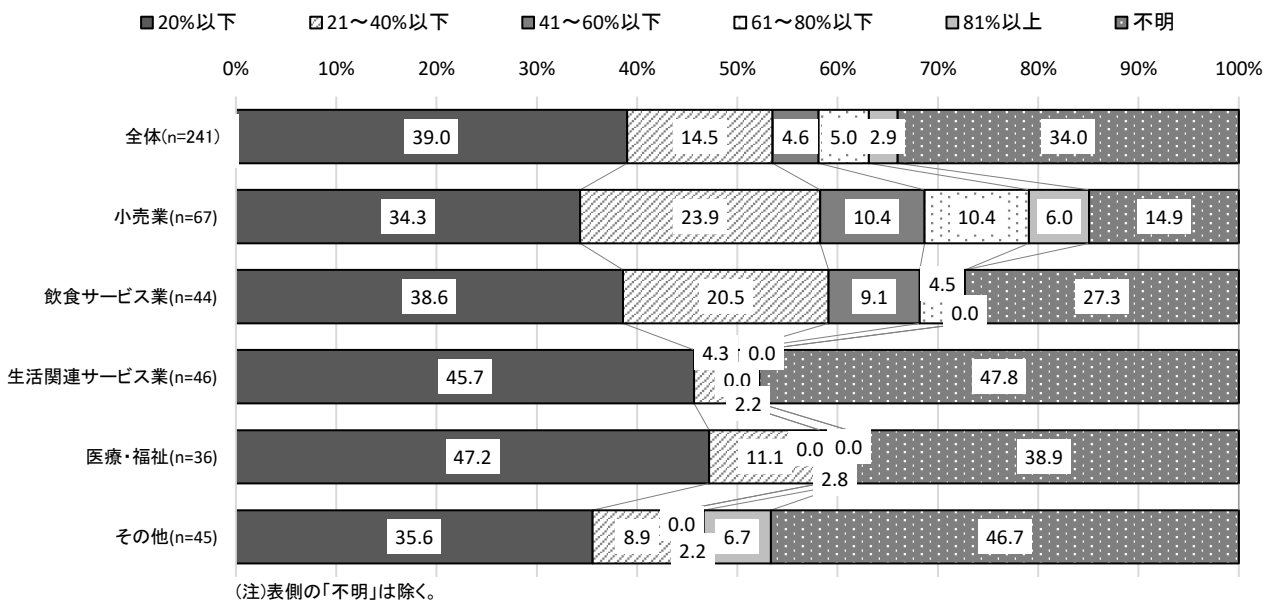


- ・固定客比率について、業種別に見ると、生活関連サービス業で「81%以上」(65.2%)が特に多くなっている。逆に、小売業ではフリー客比率「61~80%以下」「81%以上」の合計割合(計16.4%)が他業種と比較して高くなっている。

固定客比率(業種別)



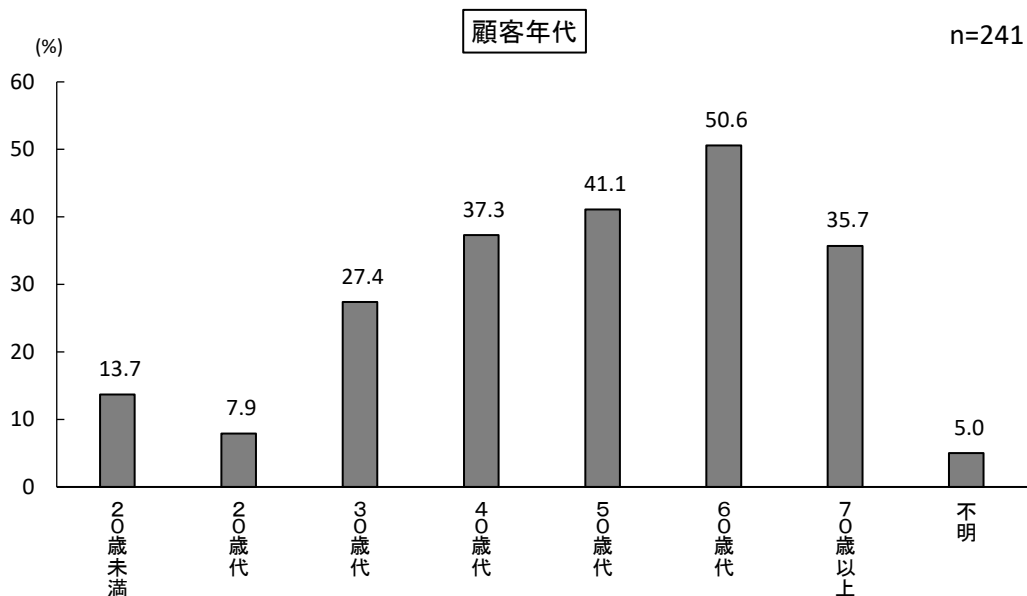
フリー客比率(業種別)



問2 (3) どの年代のお客が多いですか (〇は3つまで)。

(4) どのようなタイプのお客が多いですか (〇は3つまで)。

- ・顧客年代では、「60歳代」(50.6%)が最も多く、次いで「50歳代」(41.1%)が多くなっている。
- ・顧客年代について、業種別に見ると、小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業ではいずれも60歳代の客層が多くなっており、小売業は50歳代、飲食サービス業は40歳代の客層も多くなっている。医療・福祉では70歳以上の客層が多くなっている。

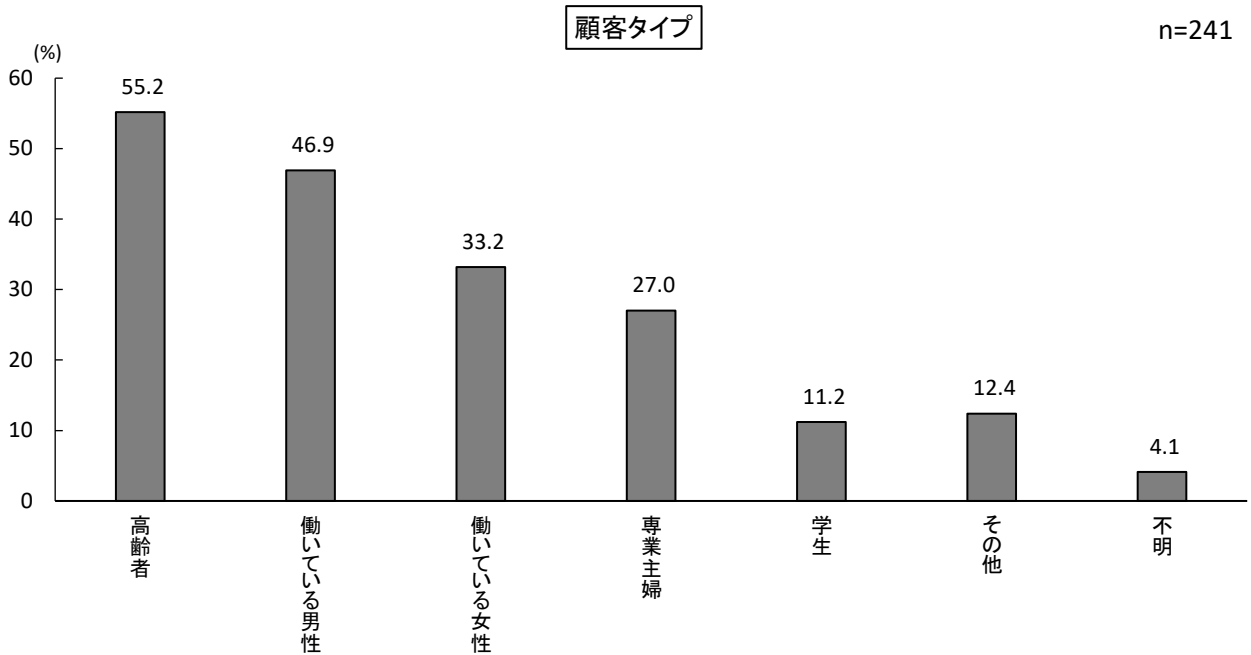


**顧客年代(業種別)** (%)

	合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明
全体	241	13.7	7.9	27.4	37.3	41.1	50.6	35.7	5.0
小売業	67	10.4	6.0	31.3	38.8	52.2	56.7	40.3	1.5
飲食サービス業	44	9.1	15.9	38.6	56.8	45.5	56.8	22.7	2.3
生活関連サービス業	46	8.7	4.3	19.6	34.8	41.3	52.2	34.8	8.7
医療・福祉	36	19.4	8.3	16.7	19.4	30.6	36.1	69.4	5.6
その他	45	24.4	6.7	26.7	35.6	28.9	44.4	15.6	6.7

(注) 網掛けは50%以上のもの。表側の「不明」は除く。

- ・顧客タイプでは、「高齢者」(55.2%)が最も多く、次いで「働いている男性」(46.9%)となっている。
- ・顧客タイプについて、業種別に見ると、小売業、生活関連サービス業、医療・福祉では「高齢者」(75.0%)の割合が高く、飲食サービス業では「働いている男性」(70.5%)が高くなっている。



顧客タイプ(業種別)

(%)

	合計	専業主婦	働いている女性	働いている男性	学生	高齢者	その他	不明
全体	241	27.0	33.2	46.9	11.2	55.2	12.4	4.1
小売業	67	46.3	37.3	44.8	13.4	56.7	9.0	1.5
飲食サービス業	44	18.2	40.9	70.5	4.5	54.5	9.1	2.3
生活関連サービス業	46	34.8	34.8	41.3	13.0	58.7	2.2	4.3
医療・福祉	36	16.7	33.3	27.8	8.3	75.0	19.4	5.6
その他	45	6.7	17.8	48.9	15.6	35.6	26.7	6.7

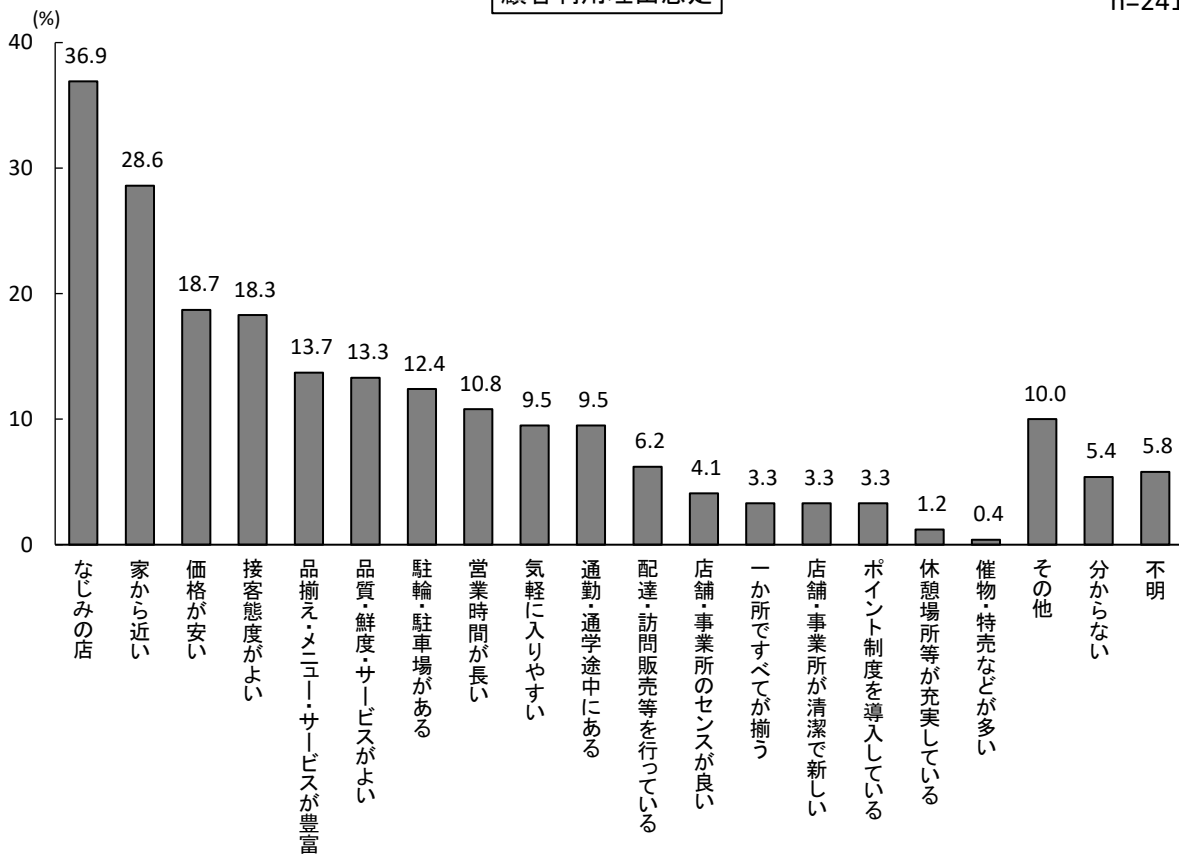
(注) 網掛けは50%以上のもの。表側の「不明」を除く。

問2（5）お客様があなたの店舗・事業所を利用する主な理由をお聞かせください（〇は3つまで）。

- ・顧客が自店を利用する理由は、「なじみの店」（36.9%）、「家から近い」（28.6%）、「価格が安い」（18.7%）の順に多くなっている。
- ・顧客が自店を利用する理由について、業種別に見ると、小売業や飲食サービス業、生活関連サービス業で「なじみの店」が多く、医療・福祉では「家から近い」（41.7%）が多くなっている。

顧客利用理由想定

n=241



顧客利用理由想定(業種別)

	合計	なじみの店	家から近い	価格が安い	接客態度がよい	品揃え・メニュー・サービスが豊富	品質・鮮度・サービスがよい	駐輪・駐車場がある	営業時間が長い	気軽に入りやすい	通勤・通学途中にある	配達・訪問販売等を行っている	店舗・事業所のセンスが良い	一か所ですべてが揃う	店舗・事業所が清潔で新しい	ポイント制度を導入している	休憩場所等が充実している	催物・特売などが多い	その他	分からない	不明
全体	241	36.9	28.6	18.7	18.3	13.7	13.3	12.4	10.8	9.5	9.5	6.2	4.1	3.3	3.3	3.3	1.2	0.4	10.0	5.4	5.8
小売業	67	46.3	17.9	20.9	16.4	17.9	19.4	9.0	11.9	10.4	9.0	10.4	3.0	9.0	4.5	6.0	4.5	1.5	9.0	3.0	1.5
飲食サービス業	44	47.7	20.5	27.3	20.5	22.7	18.2	11.4	6.8	20.5	13.6	4.5	6.8	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	4.5	2.3	4.5
生活関連サービス業	46	50.0	43.5	28.3	19.6	2.2	6.5	13.0	8.7	8.7	6.5	4.3	8.7	0.0	2.2	4.3	0.0	0.0	6.5	2.2	6.5
医療・福祉	36	19.4	41.7	2.8	19.4	5.6	16.7	13.9	16.7	2.8	11.1	2.8	0.0	2.8	8.3	0.0	0.0	0.0	19.4	2.8	8.3
その他	45	13.3	26.7	8.9	17.8	17.8	4.4	15.6	11.1	4.4	8.9	6.7	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	13.3	17.8	8.9

(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

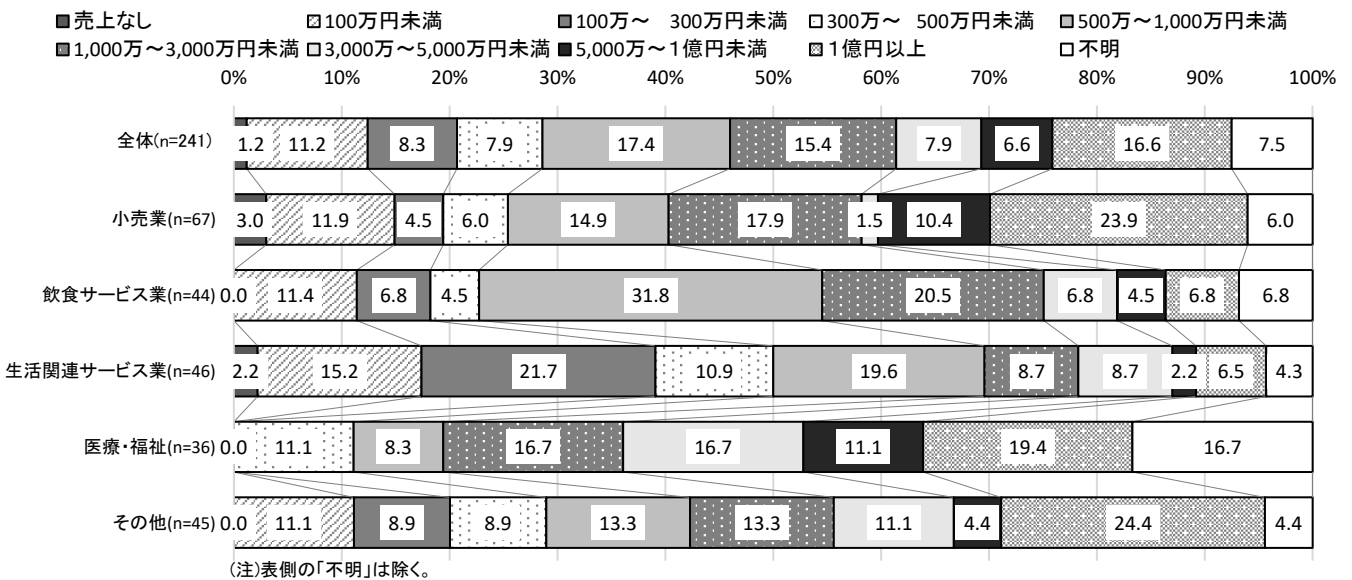


### (3) 経営状況について

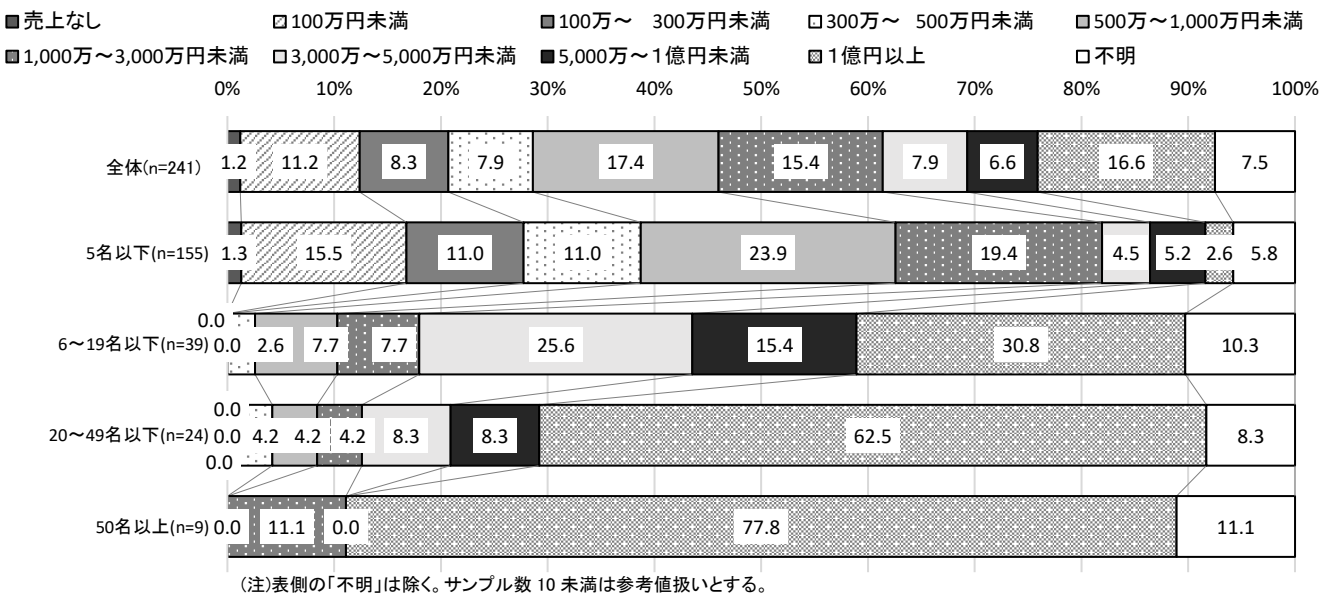
問3 (1) 昨年度の年間売上高について、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。  
 (2) 昨年度の売上高の増減について、その3年前と比較して、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。  
 (3) 昨年度の経常利益率について、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。

- ・ 昨年度の売上高について、業種別に見ると、その他の業種で「1億円以上」(24.4%)が多く、次いで小売業(23.9%)が多くなっている。一方、生活関連サービス業では、売上なしを含む100万円未満の合計割合(計17.4%)が高くなっている。
- ・ 昨年度の売上高について、従業員数別に見ると、5名以下では「500~1,000万円未満」(23.9%)が最も多く、50名以上では「1億円以上」(77.8%)が最も多くなっている。

昨年度売上高(業種別)

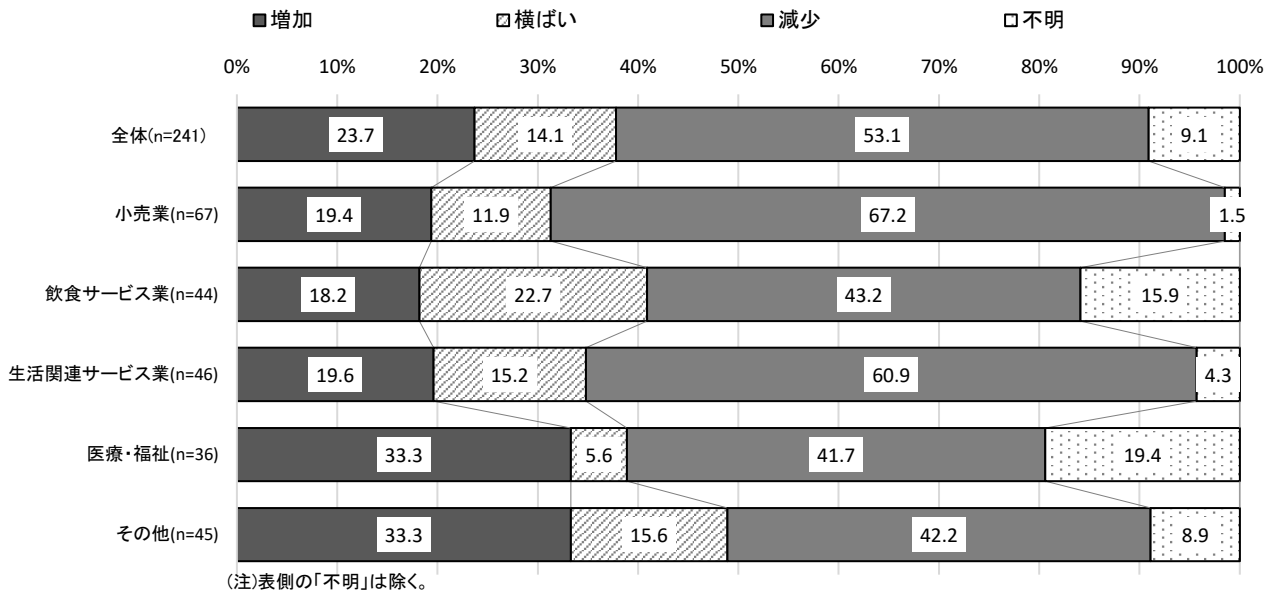


昨年度売上高(従業員数別)

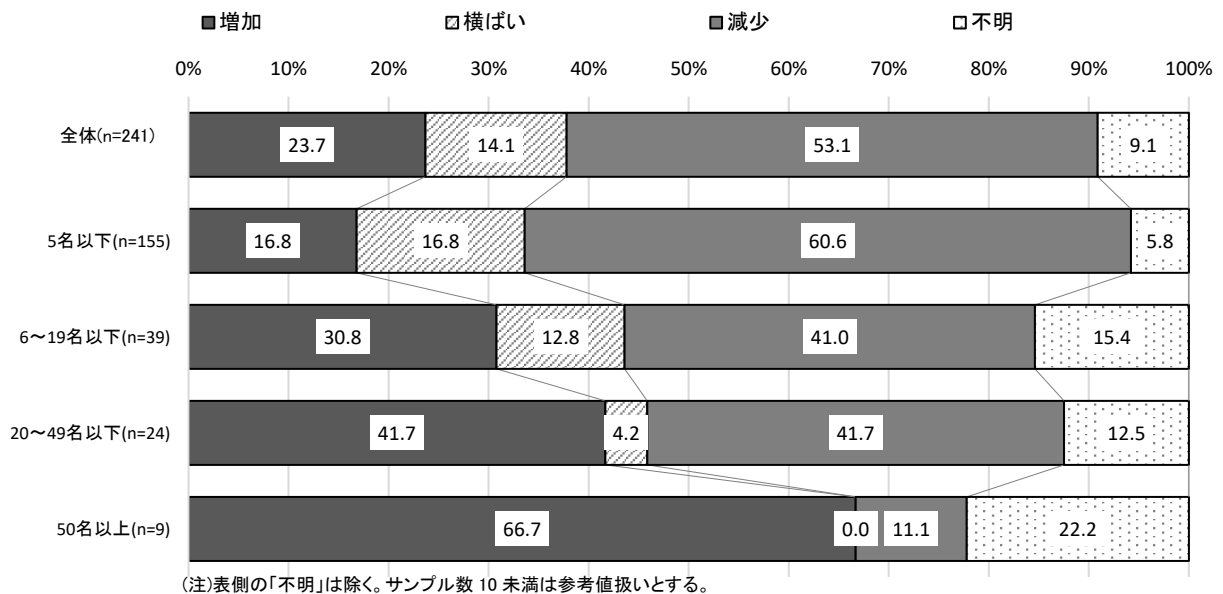


- ・ 3年前と比較した売上高の増減について、業種別に見ると、どの業種も減少割合が高く、特に小売業(67.2%)、生活関連サービス業(60.9%)で減少割合が高くなっている。一方、増加割合が高い業種としては、医療・福祉(33.3%)、その他(33.3%)となっている。
- ・ 3年前と比較した売上高の増減について、従業者数別に見ると、規模が大きくなるにつれ、売上高が増加している。

3年前と比較した売上高(業種別)

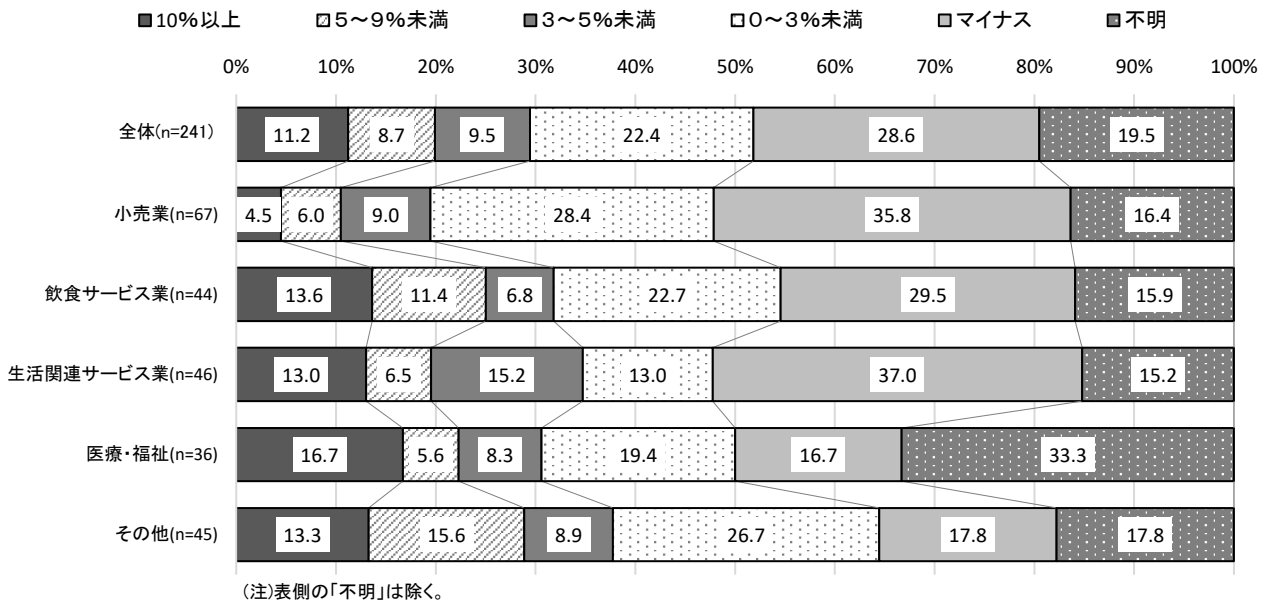


3年前と比較した売上高(従業者数別)

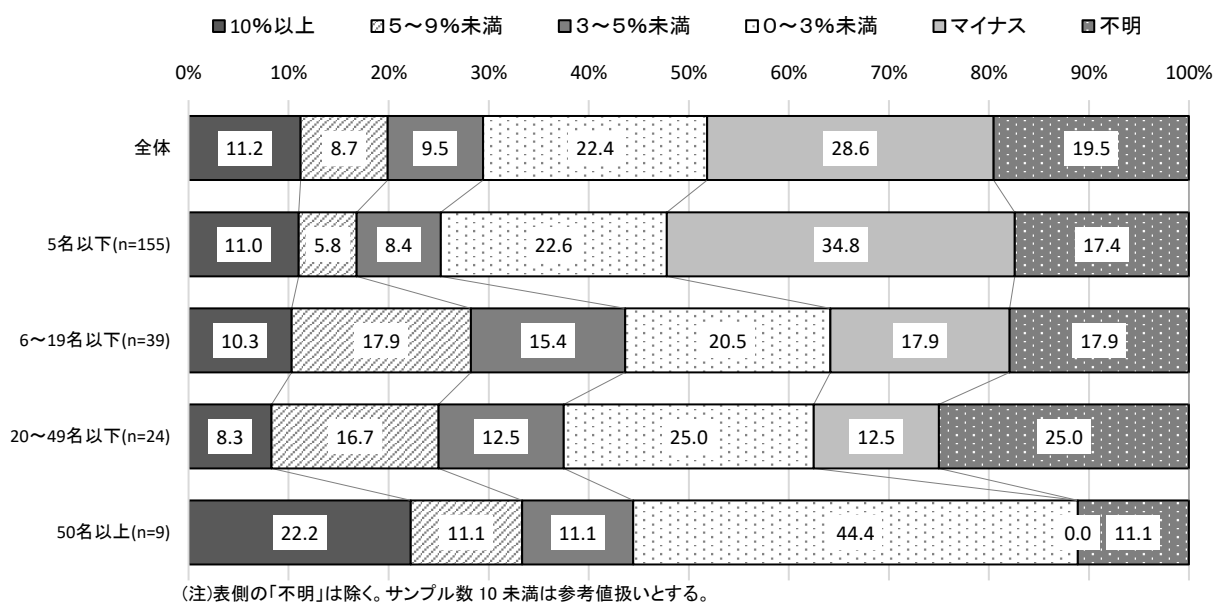


- ・昨年度の経常利益率について、業種別に見ると、小売業、生活関連サービス業は「マイナス」が30%を超える割合となっている。一方、医療・福祉、飲食サービス業、生活関連サービス業は「10%以上」が13%以上となっている。
- ・昨年度の経常利益率について、従業員数別に見ると、5名以下では「マイナス」(34.8%)の割合が高くなっている。

昨年度の経常利益率(業種別)



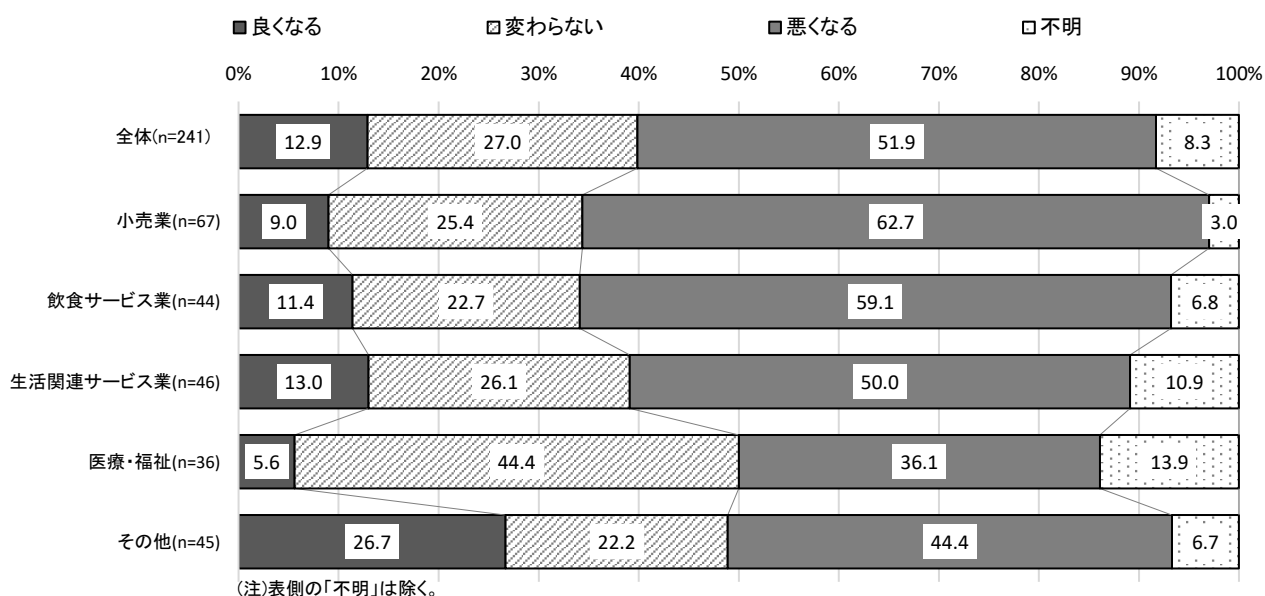
昨年度の経常利益率(従業員数別)



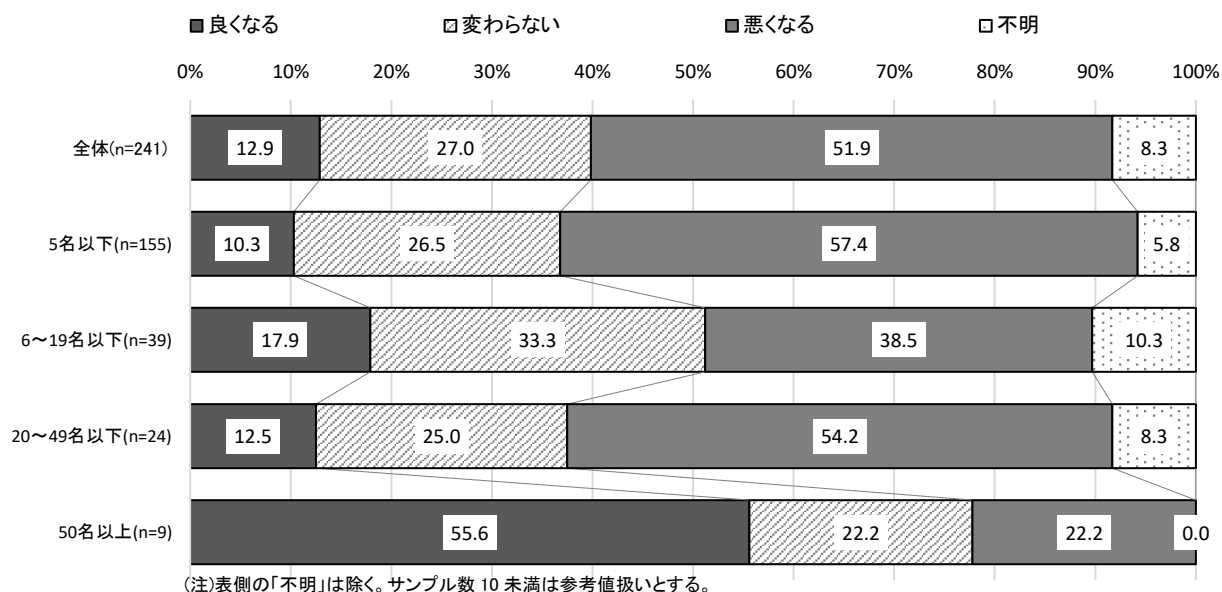
問3 (4) 今後3年間を考えたとき、貴社の景況はどのように推移していくと予想しますか (〇は各指標について1つだけ)。

- ・ 3年後の景況について、業種別に見ると、小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業では「悪くなる」と回答した割合が高く、それぞれ62.7%、59.1%、50.0%となっている。医療・福祉では、「変わらない」(44.4%)が多くなっている。
- ・ 3年後の景況について、従業員数別に見ると、5名以下と、20~49名以下で「悪くなる」と回答した割合がそれぞれ高く57.4%、54.2%となっている。

### 3年後の景況(業種別)

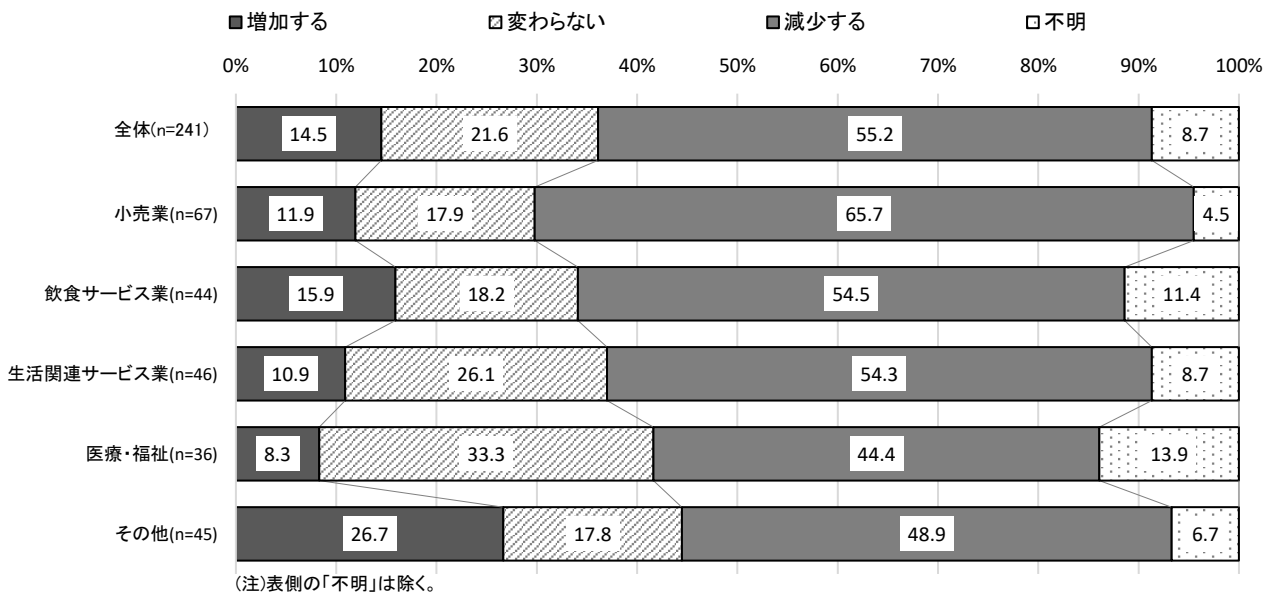


### 3年後の景況(従業員数別)

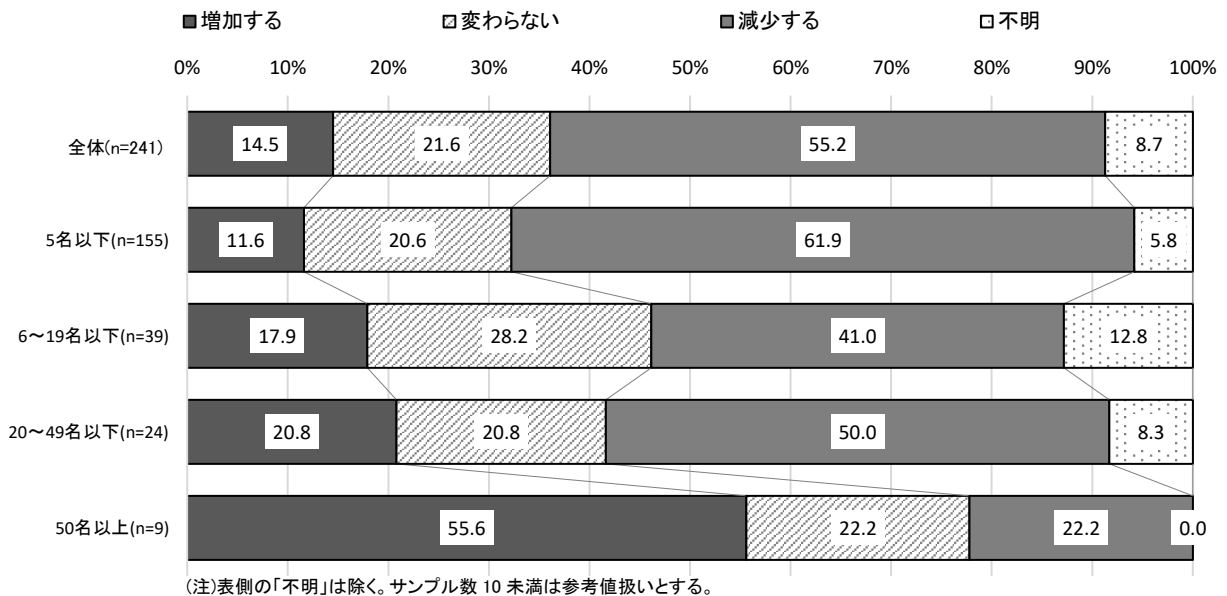


- ・ 3年後の売上高について、業種別に見ると、どの業種も「減少する」と回答した割合が最も高く、特に小売業(65.7%)、飲食サービス業(54.5%)、生活関連サービス業(54.3%)で高くなっている。
- ・ 3年後の売上高について、従業員数別に見ると、規模が大きくなるにつれ、「増加する」と回答する割合が高くなっている。

### 3年後の売上高(業種別)

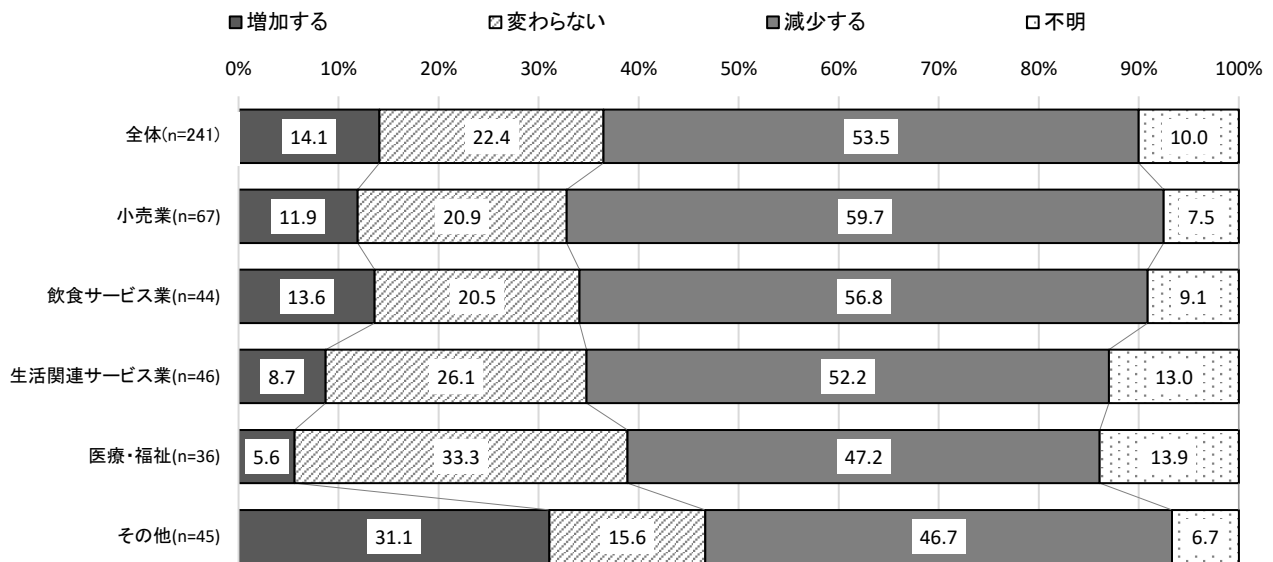


### 3年後の売上高(従業員数別)



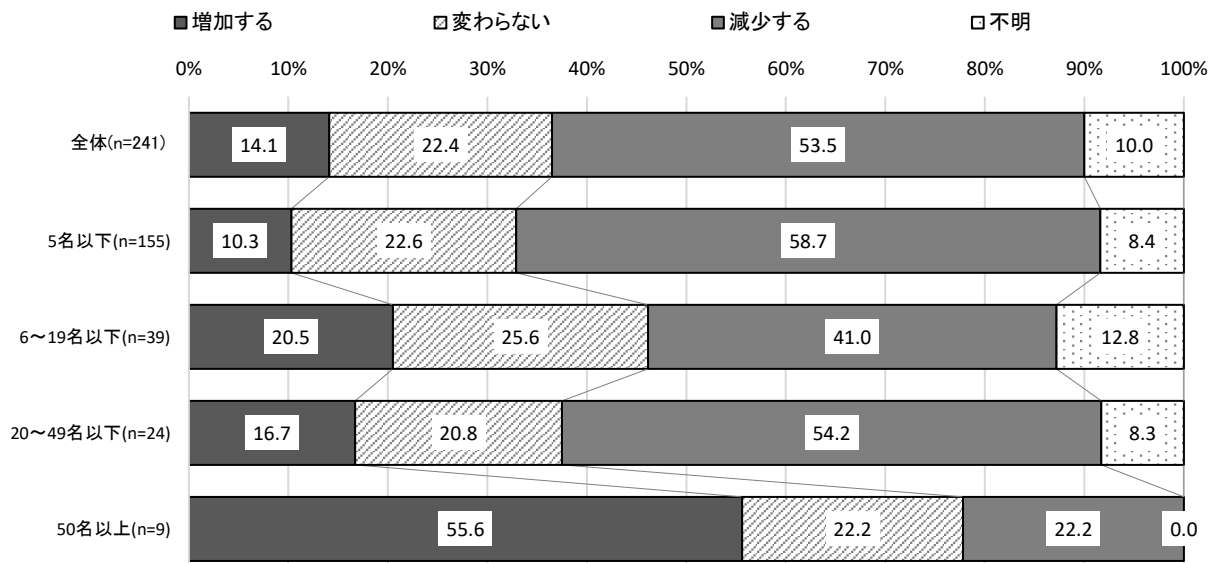
- ・ 3年後の営業利益について、業種別に見ると、どの業種も「減少する」と回答した割合が最も高く、特に小売業(59.7%)、飲食サービス業(56.8%)、生活関連サービス業(52.2%)で高くなっている。
- ・ 3年後の営業利益について、従業員数別に見ると、5名以下、20～49名以下で「減少する」と回答した割合がそれぞれ58.7%、54.2%と高くなっている。

### 3年後の営業利益(業種別)



(注)表側の「不明」は除く。

### 3年後の営業利益(従業員数別)



(注)表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

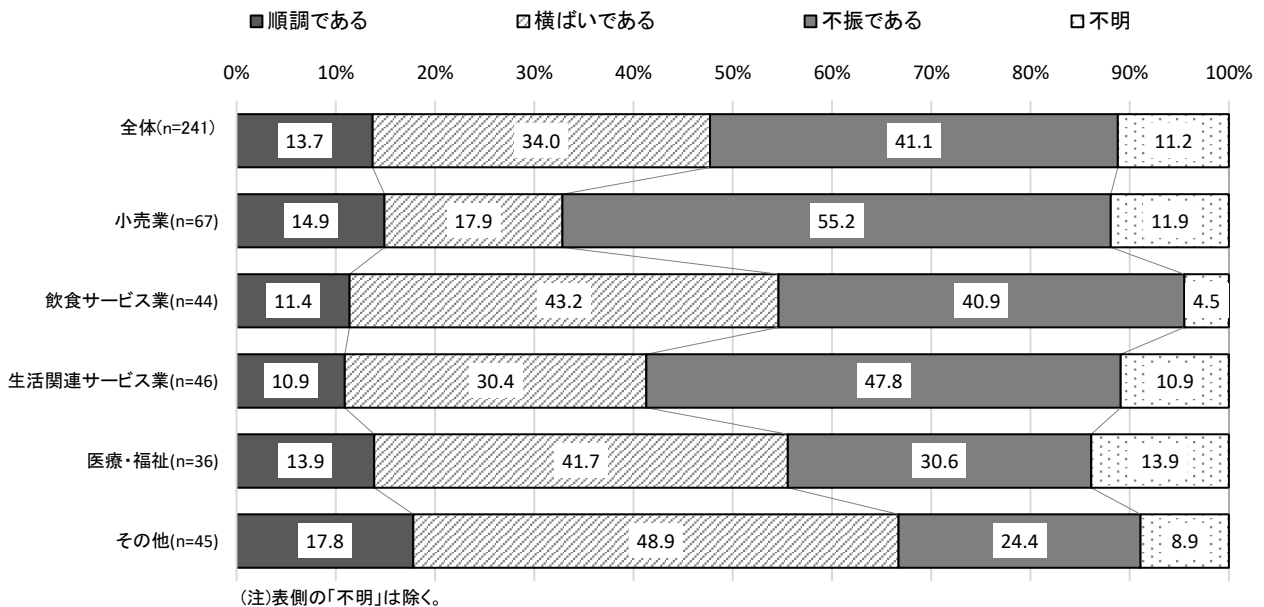
問3 (5) 最近の店舗・事業所の業績はどうか (○は1つだけ)。

(5-1) 順調である理由は何ですか。(○は3つまで)

(5-2) 不振である理由は何ですか。(○は3つまで)

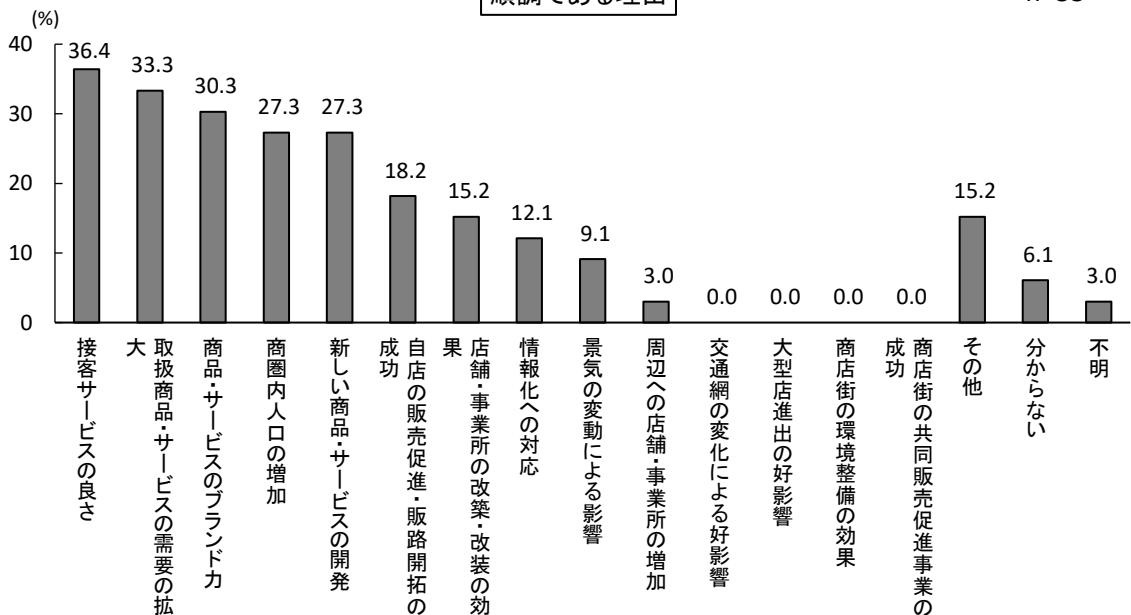
- ・最近の業績について、業種別に見ると、小売業、生活関連サービス業で、「不振である」と回答した割合がそれぞれ 55.2%、47.8%と高くなっている。その他を除く、飲食サービス業、医療・福祉で「横ばいである」と回答した割合がそれぞれ 43.2%、41.7%と高くなっている。
- ・順調である理由では、「接客サービスの良さ」(36.4%)が最も多く、次いで「取扱商品・サービスの需要の拡大」(33.3%)、「商品・サービスブランド力」(30.3%)となっている。

最近の業績(業種別)

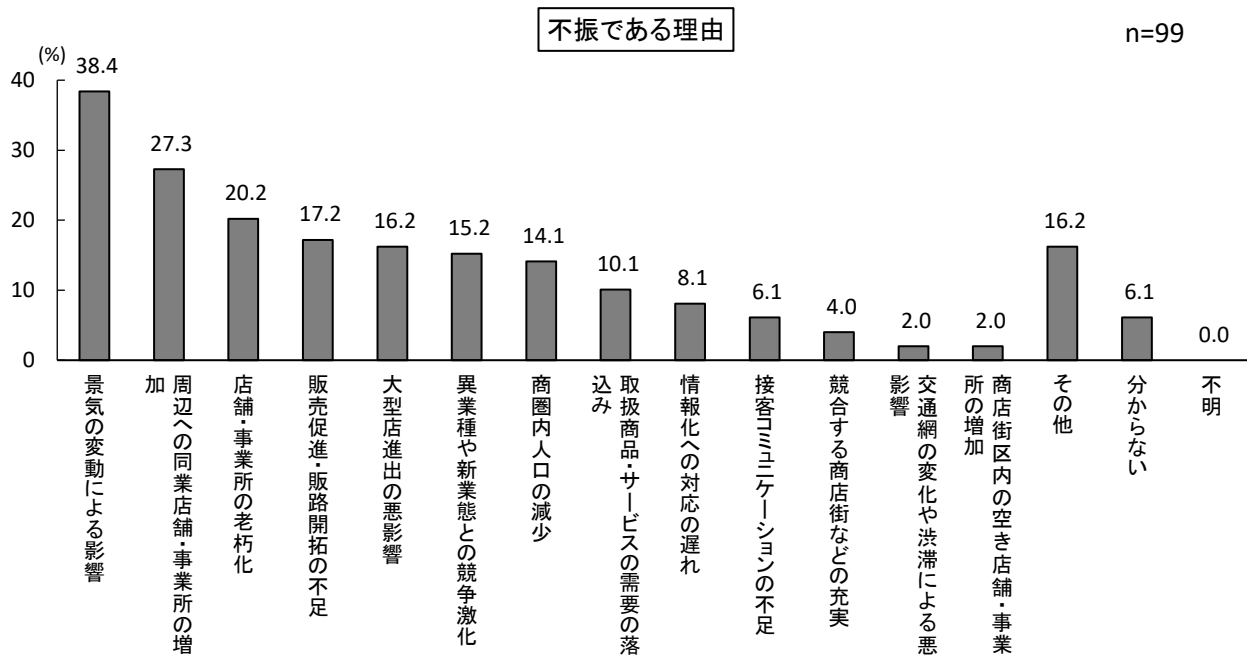


順調である理由

n=33



- ・不振である理由では、「景気の変動による影響」(38.4%)が最も多く、次いで「周辺への同業種店舗・事業所の増加」(27.3%)となっている。
- ・不振である理由について、業種別に見ると、小売業、飲食サービス業で「景気の変動による影響」がそれぞれ45.9%、61.1%と多くなっている。医療・福祉、生活関連サービス業で、「周辺への同業店舗・事業所の増加」がそれぞれ54.5%、31.8%と多くなっており、生活関連サービス業で、「店舗・事業所の老朽化」(31.8%)なども多くなっている。



不振である理由(業種別)		(%)															
	合計	景気の変動による影響	周辺への同業店舗・事業所の増加	店舗・事業所の老朽化	販売促進・販路開拓の不足	大型店進出の悪影響	異業種や新業態との競争激化	商圏内人口の減少	取扱商品・サービスの需要の落ち込み	接客コミュニケーションの不足	情報化への対応の遅れ	競合する商店街などの充実	交通網の変化や渋滞による悪影響	商店街区内の空き店舗・事業所の増加	その他	分からない	不明
全体	99	38.4	27.3	20.2	17.2	16.2	15.2	14.1	10.1	6.1	8.1	4.0	2.0	2.0	16.2	6.1	0.0
小売業	37	45.9	13.5	21.6	24.3	24.3	13.5	18.9	10.8	2.7	2.7	5.4	5.4	5.4	13.5	0.0	0.0
飲食サービス業	18	61.1	22.2	22.2	16.7	22.2	16.7	27.8	5.6	5.6	11.1	5.6	0.0	0.0	16.7	5.6	0.0
生活関連サービス業	22	18.2	31.8	31.8	18.2	9.1	9.1	0.0	4.5	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	22.7	4.5	0.0
医療・福祉	11	45.5	54.5	9.1	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0
その他	11	9.1	45.5	0.0	9.1	9.1	9.1	18.2	36.4	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0

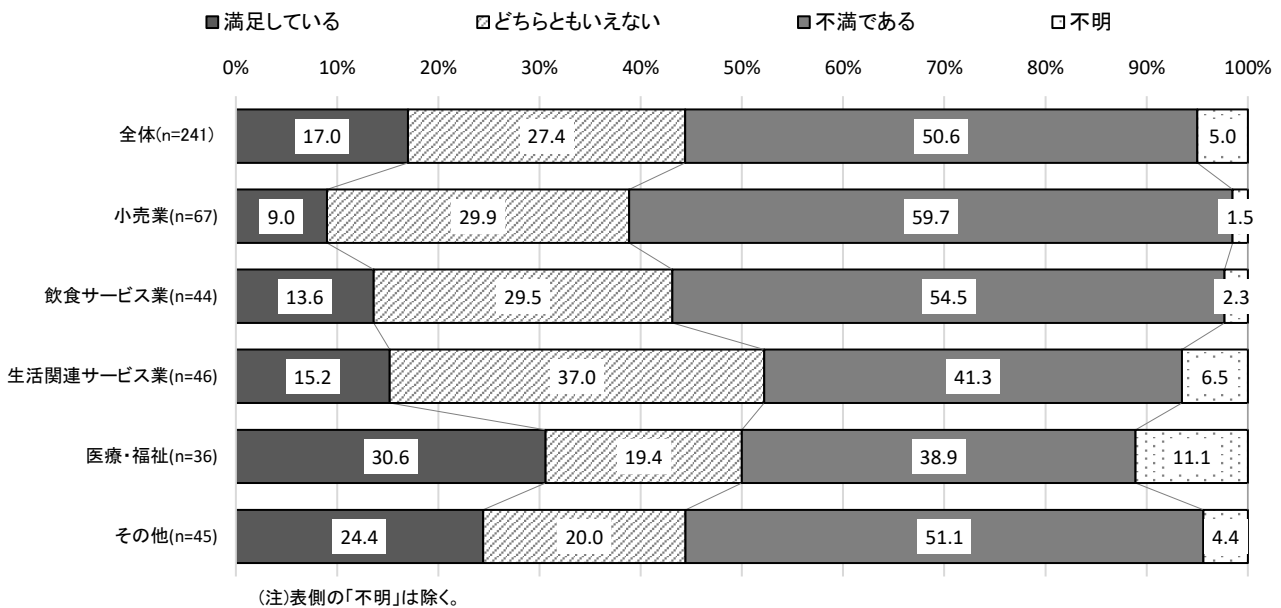
(注) 網掛けは30%以上のもの。サンプル数10未満は参考値扱いとする。



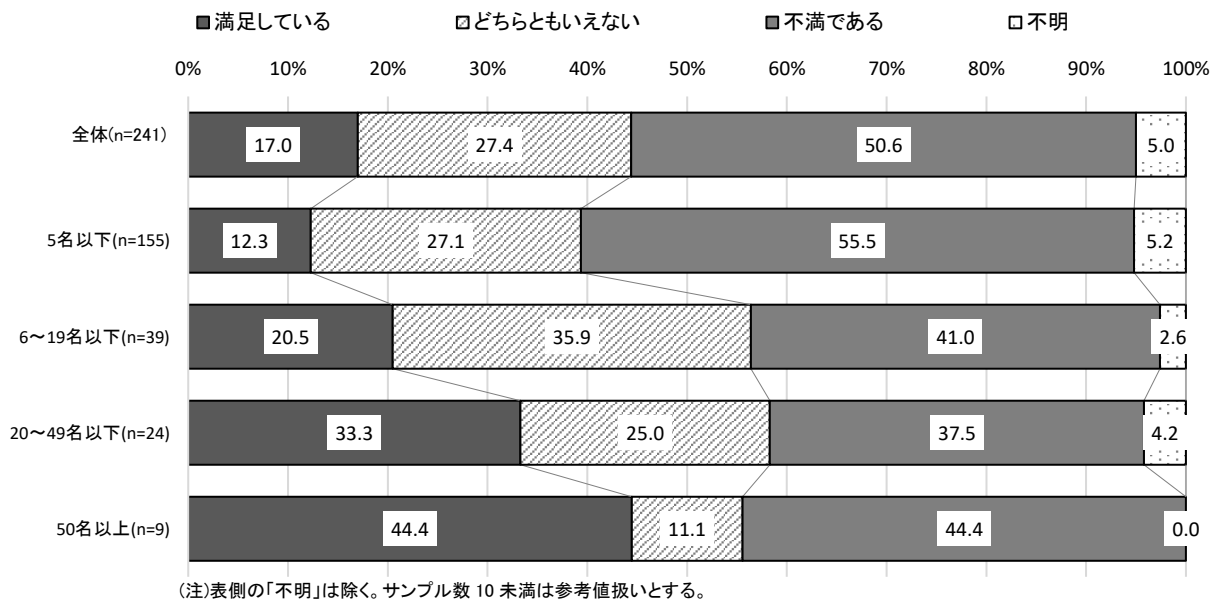
問3（6）経営の現状について満足されていますか（○は1つだけ）。

- ・経営状況の満足度について、業種別に見ると、全ての業種で「不満である」の割合が高く、特に小売業、飲食サービス業、その他で50%以上となっている。医療・福祉では「満足している」(30.6%)、生活関連サービス業では「どちらともいえない」(37.0%)が多くなっている。
- ・経営状況の満足度について、従業員数別に見ると、規模が大きくなるにつれ「満足している」と回答する割合が高くなっている。

経営状況の満足度(業種別)

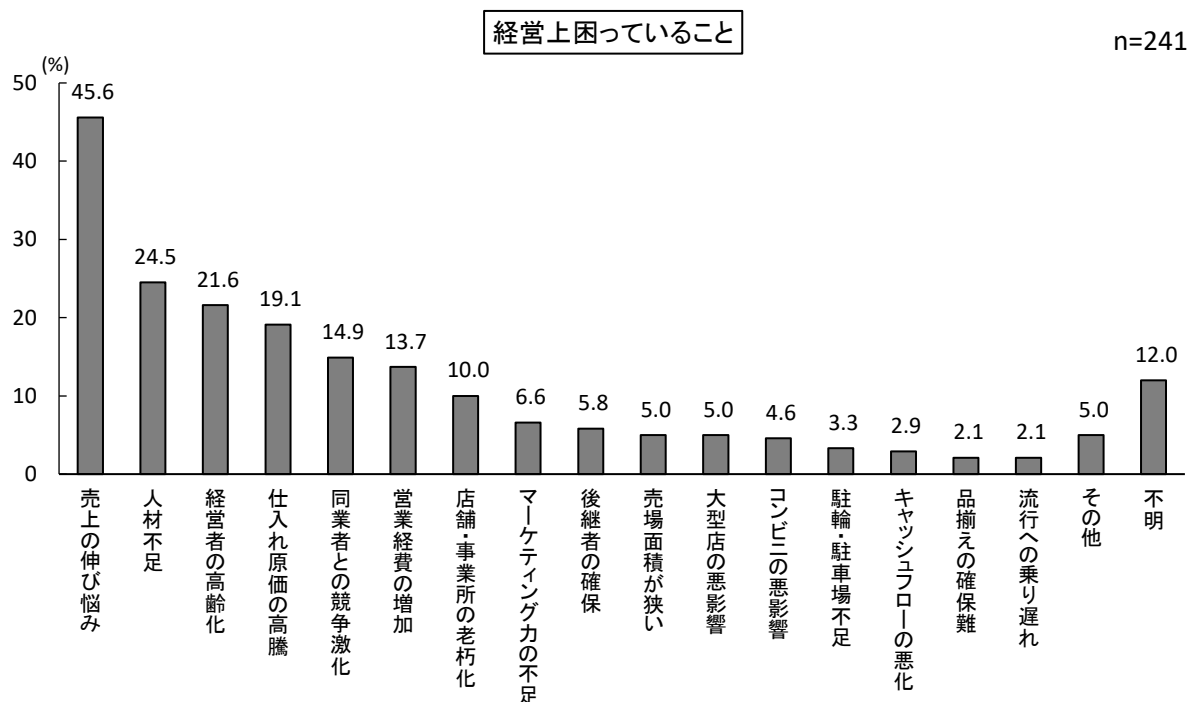


経営状況の満足度(従業員数別)



問3(7) 現在、経営上困っていることについて、該当するものに○をしてください(○は3つまで)。  
 (8) これからの経営方針で重要と思うものについて、該当するものに○をしてください(○は3つまで)。

- ・ 経営上の困りごとでは、「売上の伸び悩み」(45.6%)が突出しており、次いで「人材不足」(24.5%)となっている。
- ・ 経営上の困りごとについて、業種別に見ると、小売業や飲食サービス業で「売上の伸び悩み」が50%以上と多くなっているほか、飲食サービス業で「仕入れ原価の高騰」(45.5%)、生活関連サービス業で「経営者の高齢化」(39.1%)、医療・福祉で「人材不足」(33.3%)なども多くなっている。



経営上困っていること(業種別)		(%)																	
	合計	売上の伸び悩み	人材不足	経営者の高齢化	仕入れ原価の高騰	同業者との競争激化	営業経費の増加	店舗・事業所の老朽化	マーケティング力の不足	後継者の確保	売場面積が狭い	大型店の悪影響	コンビニの悪影響	駐輪・駐車場不足	キャッシュフローの悪化	品揃えの確保難	流行への乗り遅れ	その他	不明
全体	241	45.6	24.5	21.6	19.1	14.9	13.7	10.0	6.6	5.8	5.0	5.0	4.6	3.3	2.9	2.1	2.1	5.0	12.0
小売業	67	59.7	20.9	23.9	26.9	19.4	10.4	10.4	3.0	4.5	6.0	10.4	9.0	4.5	0.0	4.5	1.5	4.5	3.0
飲食サービス業	44	50.0	25.0	22.7	45.5	6.8	18.2	11.4	9.1	6.8	0.0	11.4	11.4	6.8	2.3	0.0	2.3	2.3	4.5
生活関連サービス業	46	37.0	17.4	39.1	13.0	13.0	13.0	15.2	4.3	2.2	8.7	0.0	0.0	0.0	4.3	2.2	2.2	2.2	13.0
医療・福祉	36	33.3	33.3	5.6	0.0	22.2	8.3	5.6	13.9	16.7	8.3	0.0	0.0	2.8	5.6	0.0	2.8	13.9	22.2
その他	45	42.2	31.1	13.3	4.4	13.3	20.0	6.7	6.7	2.2	2.2	0.0	0.0	2.2	4.4	2.2	2.2	4.4	17.8

(注)網掛けは30%以上のもの。(注)表側の「不明」は除く。

- ・ 経営上の困りごとについて、従業者数別に見ると、規模が小さくなるにつれ、「売上の伸び悩み」が多くなっており、規模が大きくなるにつれ、「人材不足」が多くなっている。サンプル数は少ないものの、50名以上では、「営業経費の増加」も多くなっている。
- ・ 経営上の困りごとについて、経営形態別に見ると、個人と本社、単独事業所において「売上の伸び悩み」が多いほか、本社、単独事業所と支社・支店、営業所、工場で、「人材不足」もそれぞれ35.3%、59.5%と多くなっている。

経営上困っていること(従業者数別)

	合計	売上の伸び悩み	人材不足	経営者の高齢化	仕入れ原価の高騰	同業者との競争激化	営業経費の増加	店舗・事業所の老朽化	マーケティング力の不足	後継者の確保	売場面積が狭い	大型店の悪影響	コンビニの悪影響	駐輪・駐車場不足	キャッシュフローの悪化	品揃えの確保難	流行への乗り遅れ	その他	不明
全体	241	45.6	24.5	21.6	19.1	14.9	13.7	10.0	6.6	5.8	5.0	5.0	4.6	3.3	2.9	2.1	2.1	5.0	12.0
5名以下	155	51.6	8.4	29.7	22.6	12.3	10.3	10.3	5.8	4.5	3.9	7.1	6.5	3.9	0.6	2.6	1.9	3.2	11.0
6～19名以下	39	41.0	53.8	2.6	10.3	20.5	28.2	7.7	5.1	7.7	2.6	0.0	0.0	2.6	10.3	2.6	2.6	7.7	10.3
20～49名以下	24	33.3	70.8	8.3	12.5	29.2	4.2	12.5	12.5	16.7	16.7	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	8.3	12.5
50名以上	9	11.1	77.8	0.0	0.0	22.2	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0

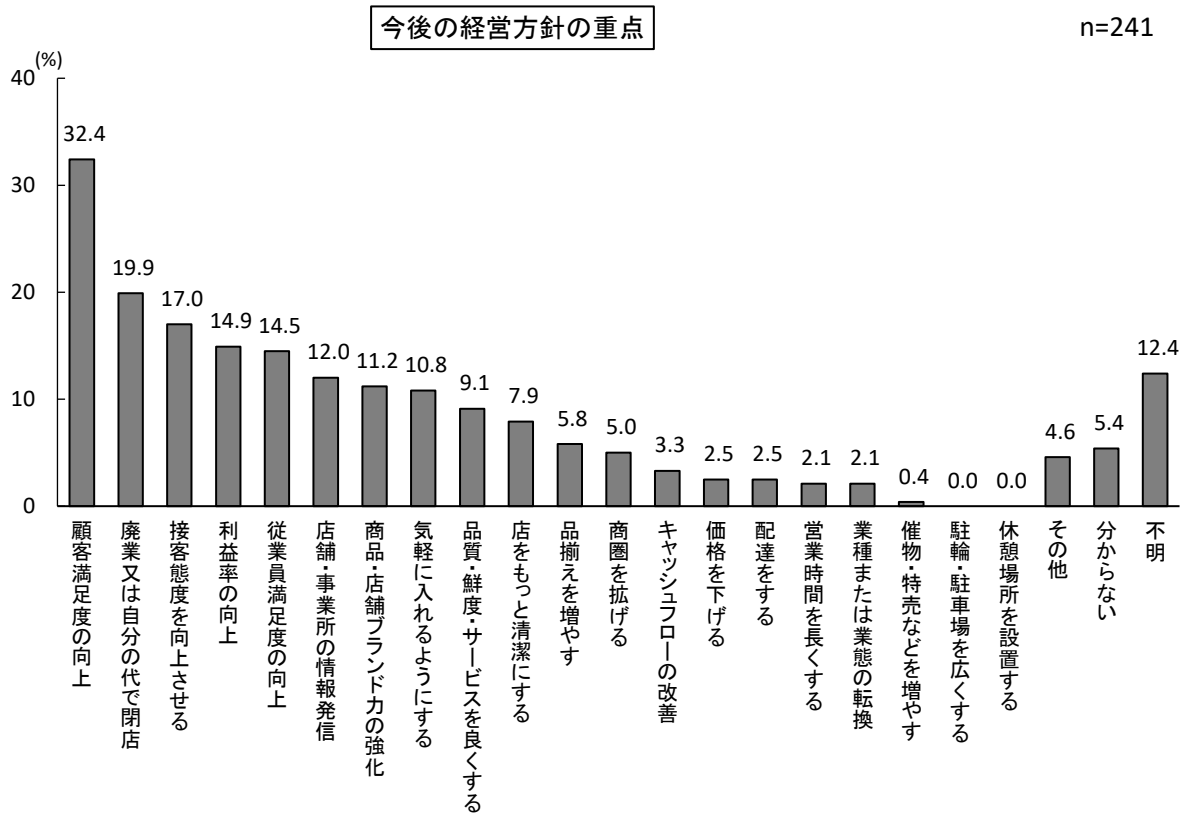
(注) 網掛けは40%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

経営上困っていること(経営形態別)

	合計	売上の伸び悩み	人材不足	経営者の高齢化	仕入れ原価の高騰	同業者との競争激化	営業経費の増加	店舗・事業所の老朽化	マーケティング力の不足	後継者の確保	売場面積が狭い	大型店の悪影響	コンビニの悪影響	駐輪・駐車場不足	キャッシュフローの悪化	品揃えの確保難	流行への乗り遅れ	その他	不明
全体	241	45.6	24.5	21.6	19.1	14.9	13.7	10.0	6.6	5.8	5.0	5.0	4.6	3.3	2.9	2.1	2.1	5.0	12.0
個人	123	49.6	5.7	30.1	26.8	12.2	11.4	11.4	4.1	4.1	3.3	8.9	8.1	3.3	0.8	3.3	3.3	5.7	12.2
本社、単独事業所	68	47.1	35.3	16.2	11.8	16.2	17.6	5.9	8.8	4.4	4.4	1.5	1.5	1.5	5.9	0.0	0.0	2.9	13.2
支社・支店、営業所、工場	42	33.3	59.5	2.4	7.1	23.8	11.9	14.3	9.5	11.9	11.9	0.0	0.0	7.1	0.0	2.4	2.4	7.1	7.1

(注) 網掛けは40%以上のもの。表側の「不明」は除く。

- ・今後の経営方針の重点では、「顧客満足度の向上」(32.4%)が最も多く、次いで「廃業又は自分の代で閉店」(19.9%)となっている。
- ・今後の経営方針の重点について、業種別に見ると、その他を除き、生活関連サービス業や医療・福祉で「顧客満足度の向上」がそれぞれ34.8%、47.2%と多くなっている。また、小売業で「廃業又は自分の代で閉店」(34.3%)がやや多く、飲食サービス業で「気軽に入れるようにする」(25.0%)、医療・福祉で「従業員満足度の向上」(27.8%)が多くなっている。
- ・従業員数別では5名以下で「廃業又は自分の代で閉店」(27.7%)が多い。



今後の経営方針における重点(業種別)

	合計	顧客満足度の向上	廃業又は自分の代で閉店	接客態度を向上させる	利益率の向上	従業員満足度の向上	店舗・事業所の情報発信	商品・店舗ブランド力の強化	気軽に入れるようにする	品質・鮮度・サービスを良くする	店をもっと清潔にする	品揃えを増やす	商圏を広げる	キャッシュフローの改善	価格を下げる	配達をする	営業時間を長くする	業種または業態の転換	催物・特売などを増やす	駐輪・駐車場を広くする	休憩場所を設置する	その他	分からない	不明
全体	241	32.4	19.9	17.0	14.9	14.5	12.0	11.2	10.8	9.1	7.9	5.8	5.0	3.3	2.5	2.5	2.1	2.1	0.4	0.0	0.0	4.6	5.4	12.4
小売業	67	22.4	34.3	17.9	17.9	10.4	14.9	16.4	9.0	6.0	3.0	14.9	10.4	1.5	3.0	4.5	1.5	4.5	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	4.5
飲食サービス業	44	29.5	22.7	15.9	18.2	11.4	13.6	13.6	25.0	18.2	13.6	4.5	0.0	4.5	2.3	4.5	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	9.1
生活関連サービス業	46	34.8	21.7	17.4	13.0	13.0	8.7	6.5	15.2	2.2	15.2	0.0	6.5	4.3	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.9	6.5	8.7
医療・福祉	36	47.2	2.8	22.2	2.8	27.8	11.1	2.8	5.6	13.9	5.6	0.0	2.8	2.8	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	11.1	22.2
その他	45	37.8	8.9	13.3	20.0	15.6	11.1	13.3	0.0	8.9	4.4	4.4	2.2	4.4	4.4	0.0	2.2	4.4	0.0	0.0	0.0	4.4	8.9	17.8

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

今後の経営方針における重点(従業員数別)

	合計	顧客満足度の向上	廃業又は自分の代で閉店	接客態度を向上させる	利益率の向上	従業員満足度の向上	店舗・事業所の情報発信	商品・店舗ブランド力の強化	気軽に入れるようにする	品質・鮮度・サービスを良くする	店をもっと清潔にする	品揃えを増やす	商圏を広げる	キャッシュフローの改善	価格を下げる	配達をする	営業時間を長くする	業種または業態の転換	催物・特売などを増やす	駐輪・駐車場を広くする	休憩場所を設置する	その他	分からない	不明
全体	241	32.4	19.9	17.0	14.9	14.5	12.0	11.2	10.8	9.1	7.9	5.8	5.0	3.3	2.5	2.5	2.1	2.1	0.4	0.0	0.0	4.6	5.4	12.4
5名以下	155	27.1	27.7	12.9	12.9	5.2	12.3	7.7	14.2	5.8	9.0	5.8	5.8	1.3	1.9	2.6	2.6	1.9	0.6	0.0	0.0	5.2	6.5	12.3
6~19名以下	39	38.5	0.0	28.2	20.5	33.3	10.3	20.5	5.1	12.8	7.7	7.7	0.0	7.7	5.1	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	10.3
20~49名以下	24	45.8	8.3	33.3	16.7	37.5	12.5	12.5	4.2	12.5	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3
50名以上	9	66.7	0.0	11.1	33.3	44.4	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

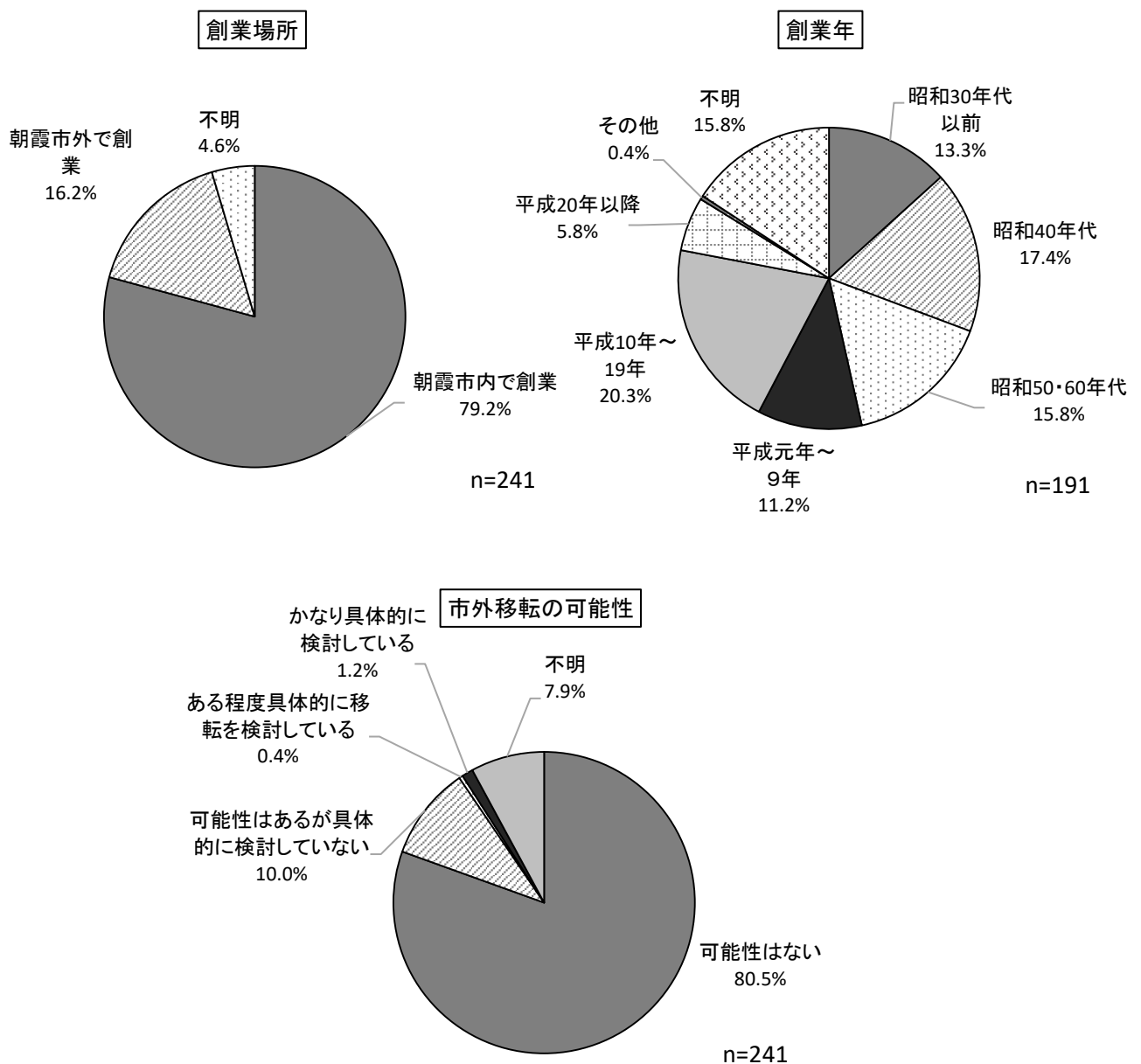
(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

#### (4) 立地環境について

問4 (1) 創業は朝霞市内ですか (○は1つだけ)。

(1-1) [朝霞市内で創業と回答した方] いつ頃から市内に立地していますか (○は1つだけ)。

- ・創業場所では、「朝霞市内で創業」が79.2%、「朝霞市外で創業」が16.2%となっている。
- ・創業年では「平成10年～19年」(20.3%)が最も多く、次いで「昭和40年代」(17.4%)となっている。
- ・市外移転の可能性では「可能性はない」が80.5%、「可能性はあるが具体的に検討していない」が10.0%となっている。

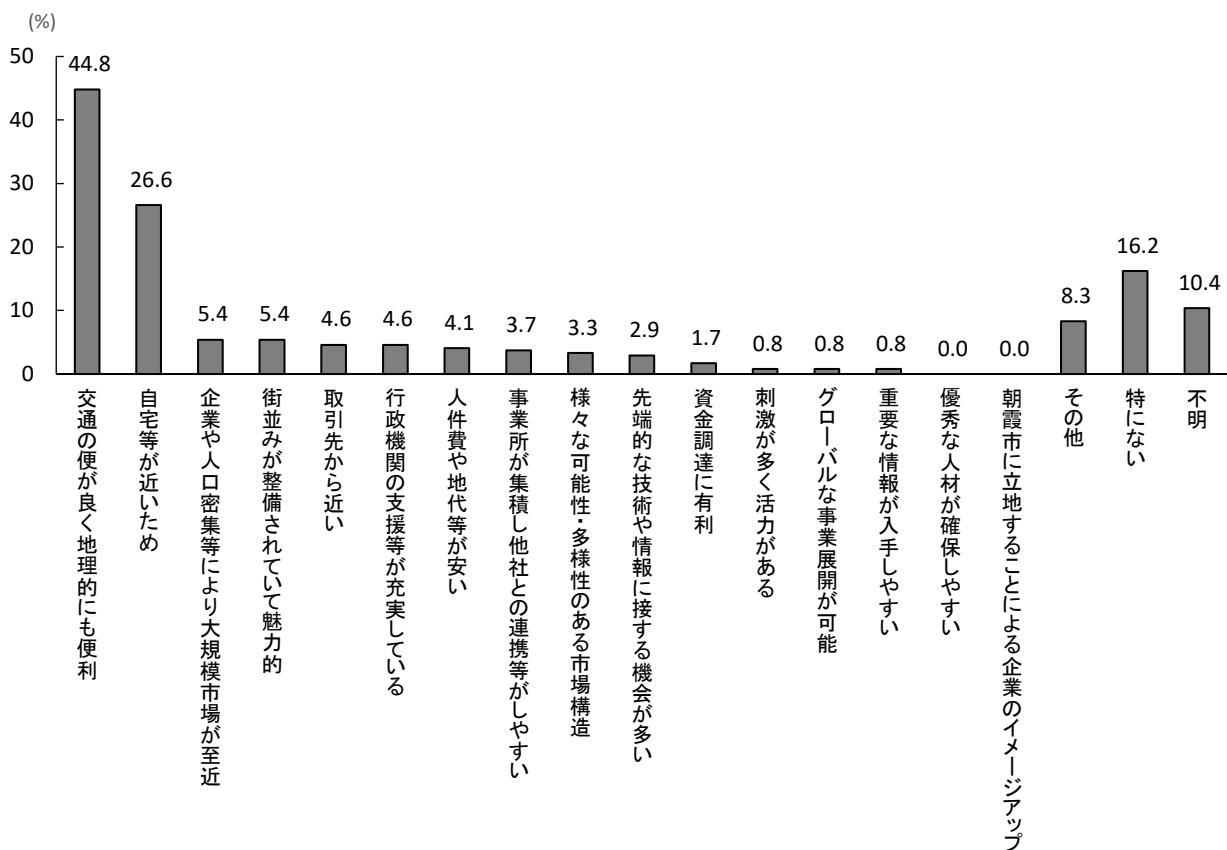


- 問4 (2) 朝霞市に立地するメリットはどのようなものですか (〇は3つまで)。  
 (3) 朝霞市に立地するデメリットはどのようなものですか (〇は3つまで)。  
 (4) 貴社では市外への事業所移転の可能性はありますか (〇は1つだけ)。

- ・朝霞市に立地するメリットでは「交通の便が良く地理的にも便利」(44.8%)が最も多く、次いで「自宅等が近いため」(26.6%)となっている。
- ・朝霞市に立地するメリットについて、業種別に見ると、生活関連サービス業で「交通の便が良く地理的にも便利」(58.7%)が多くなっている。飲食サービス業では「自宅等が近いため」(40.9%)が多くなっている。

朝霞市に立地するメリット

n=241



朝霞市に立地するメリット(業種別)

(%)

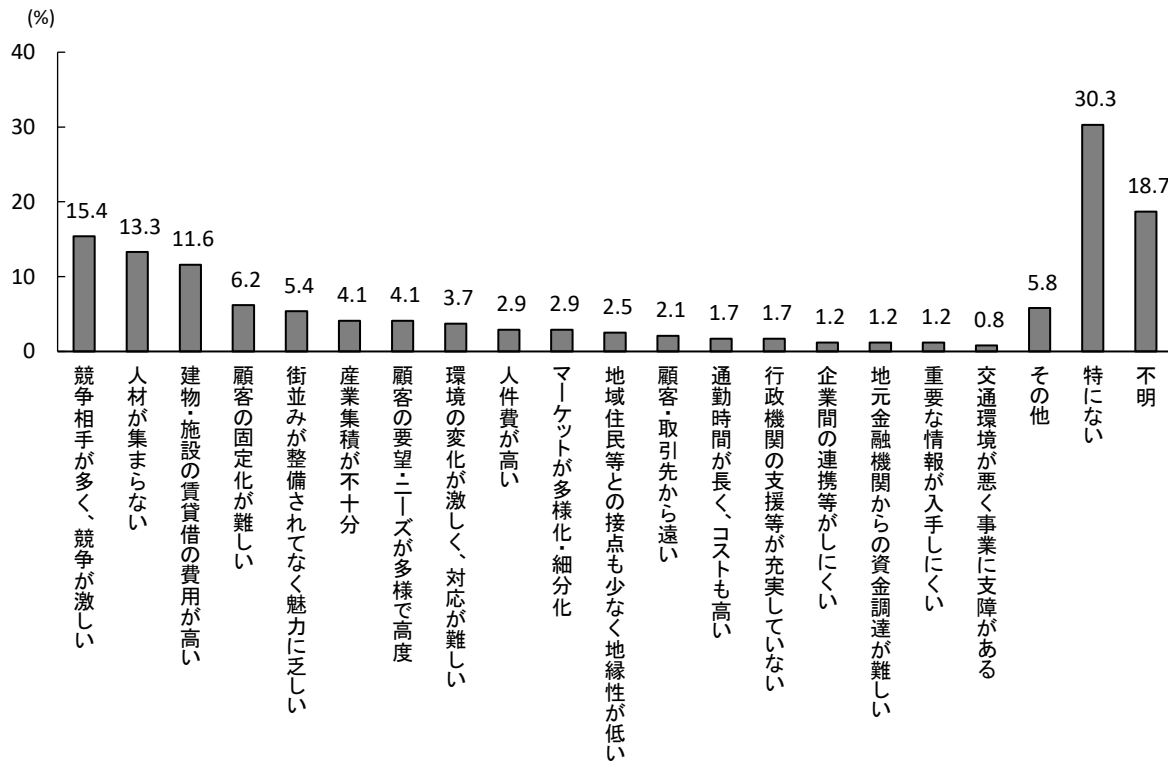
	合計	交通の便が良く地理的にも便利	自宅等が近いため	企業や人口密集等により大規模市場が至近	街並みが整備されていて魅力的	取引先から近い	行政機関の支援等が充実している	人件費や地代等が安い	事業所が集積し他社との連携等がしやすい	様々な可能性・多様性のある市場構造	先端的な技術や情報に接する機会が多い	資金調達に有利	刺激が多く活力がある	グローバルな事業展開が可能	重要な情報が入手しやすい	優秀な人材が確保しやすい	朝霞市に立地することによる企業のイメージアップ	その他	特になし	不明
全体	241	44.8	26.6	5.4	5.4	4.6	4.6	4.1	3.7	3.3	2.9	1.7	0.8	0.8	0.8	0.0	0.0	8.3	16.2	10.4
小売業	67	38.8	26.9	7.5	1.5	7.5	3.0	3.0	4.5	4.5	3.0	4.5	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	10.4	13.4	9.0
飲食サービス業	44	36.4	40.9	4.5	4.5	0.0	0.0	6.8	4.5	0.0	4.5	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	4.5	15.9	11.4
生活関連サービス業	46	58.7	15.2	2.2	10.9	10.9	4.3	2.2	2.2	2.2	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	17.4	8.7
医療・福祉	36	47.2	22.2	5.6	11.1	2.8	16.7	2.8	2.8	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	19.4	13.9	8.3
その他	45	48.9	28.9	6.7	2.2	0.0	2.2	6.7	4.4	6.7	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	4.4	20.0	11.1

(注) 網掛けは 40%以上のもの。表側の「不明」は除く。

- ・朝霞市に立地するデメリットでは「特にない」(30.3%)が最も多いが、次いで「競争相手が多く、競争が激しい」(15.4%)、「人材が集まらない」(13.3%)となっている。
- ・朝霞市に立地するデメリットについて、業種別に見ると、飲食・サービス業で「競争相手が多く、競争が激しい」(20.5%)、医療・福祉で「人材が集まらない」(22.2%)が多くなっている。

朝霞市に立地するデメリット

n=241



朝霞市に立地するデメリット(業種別)

	合計	競争相手が多く、競争が激しい	人材が集まらない	建物・施設の賃貸借の費用が高い	顧客の固定化が難しい	街並みが整備されてなく魅力に乏しい	産業集積が不十分	顧客の要望・ニーズが多様で高度	環境の変化が激しく、対応が難しい	人件費が高い	マーケットが多様化・細分化	地域住民等との接点も少なく地縁性が低い	顧客・取引先から遠い	通勤時間が長く、コストも高い	行政機関の支援等が充実していない	企業間の連携等がしにくい	地元金融機関からの資金調達難しい	重要な情報が入手しにくい	交通環境が悪く事業に支障がある	その他	特にない	不明
全体	241	15.4	13.3	11.6	6.2	5.4	4.1	4.1	3.7	2.9	2.9	2.5	2.1	1.7	1.7	1.2	1.2	1.2	0.8	5.8	30.3	18.7
小売業	67	14.9	9.0	14.9	6.0	6.0	6.0	1.5	6.0	7.5	3.0	1.5	6.0	3.0	3.0	0.0	1.5	3.0	0.0	7.5	28.4	16.4
飲食サービス業	44	20.5	15.9	13.6	9.1	13.6	6.8	6.8	6.8	0.0	2.3	6.8	0.0	0.0	2.3	2.3	4.5	0.0	2.3	2.3	18.2	15.9
生活関連サービス業	46	10.9	13.0	6.5	4.3	6.5	2.2	2.2	0.0	2.2	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2	4.3	23.9	28.3
医療・福祉	36	16.7	22.2	16.7	2.8	0.0	0.0	8.3	5.6	2.8	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	33.3	13.9
その他	45	15.6	11.1	6.7	8.9	0.0	4.4	4.4	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	4.4	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0	8.9	48.9	15.6

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

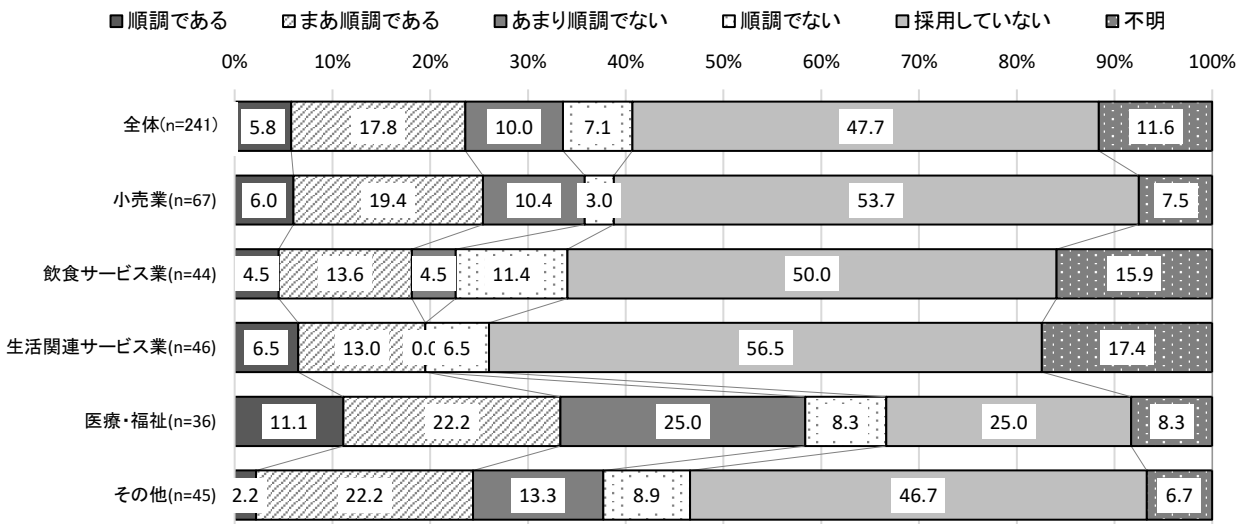


(5) 採用状況や雇用環境について

問5 (1) 貴社の従業員の採用状況はいかがですか (〇は1つだけ)。  
 (1-1) [あまり順調でない、順調でないと回答した方] どのような対応を取っていますか (〇はいくつでも)。

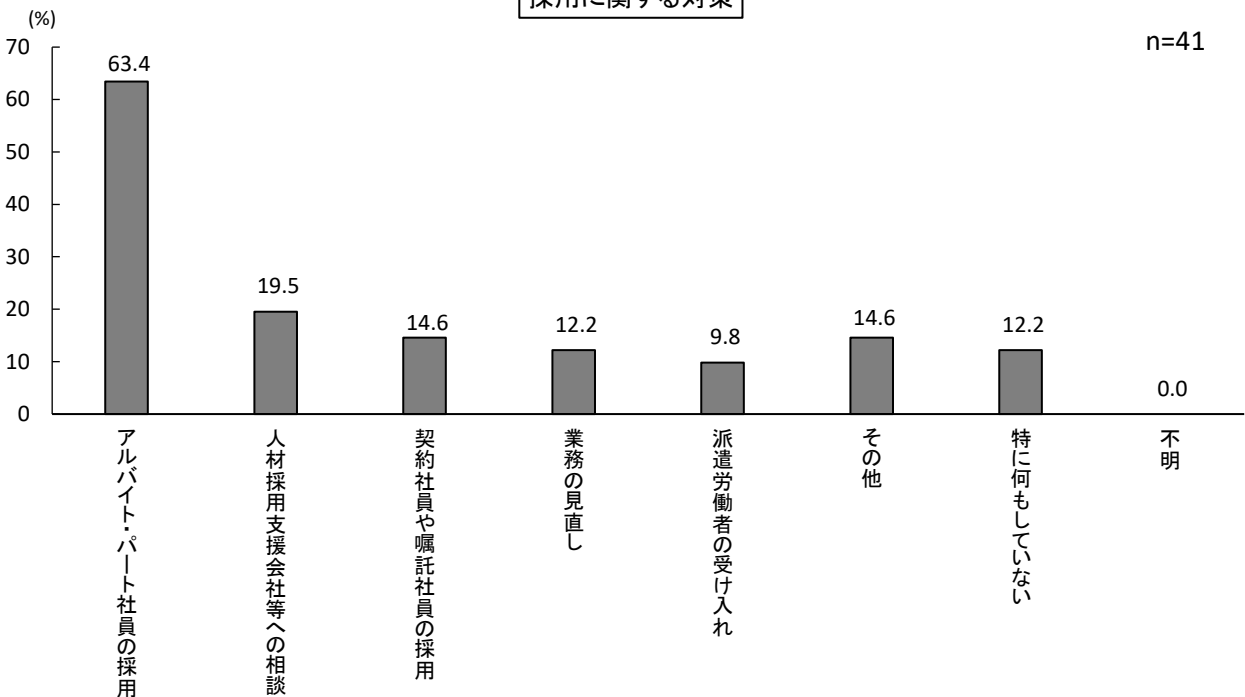
- ・採用状況では「採用していない」(47.7%)が最も多く、次いで「まあ順調である」(17.8%)となっている。
- ・採用に関する対策では「アルバイト・パート社員の採用」(63.4%)が最も多くなっている。

採用状況 (業種別)



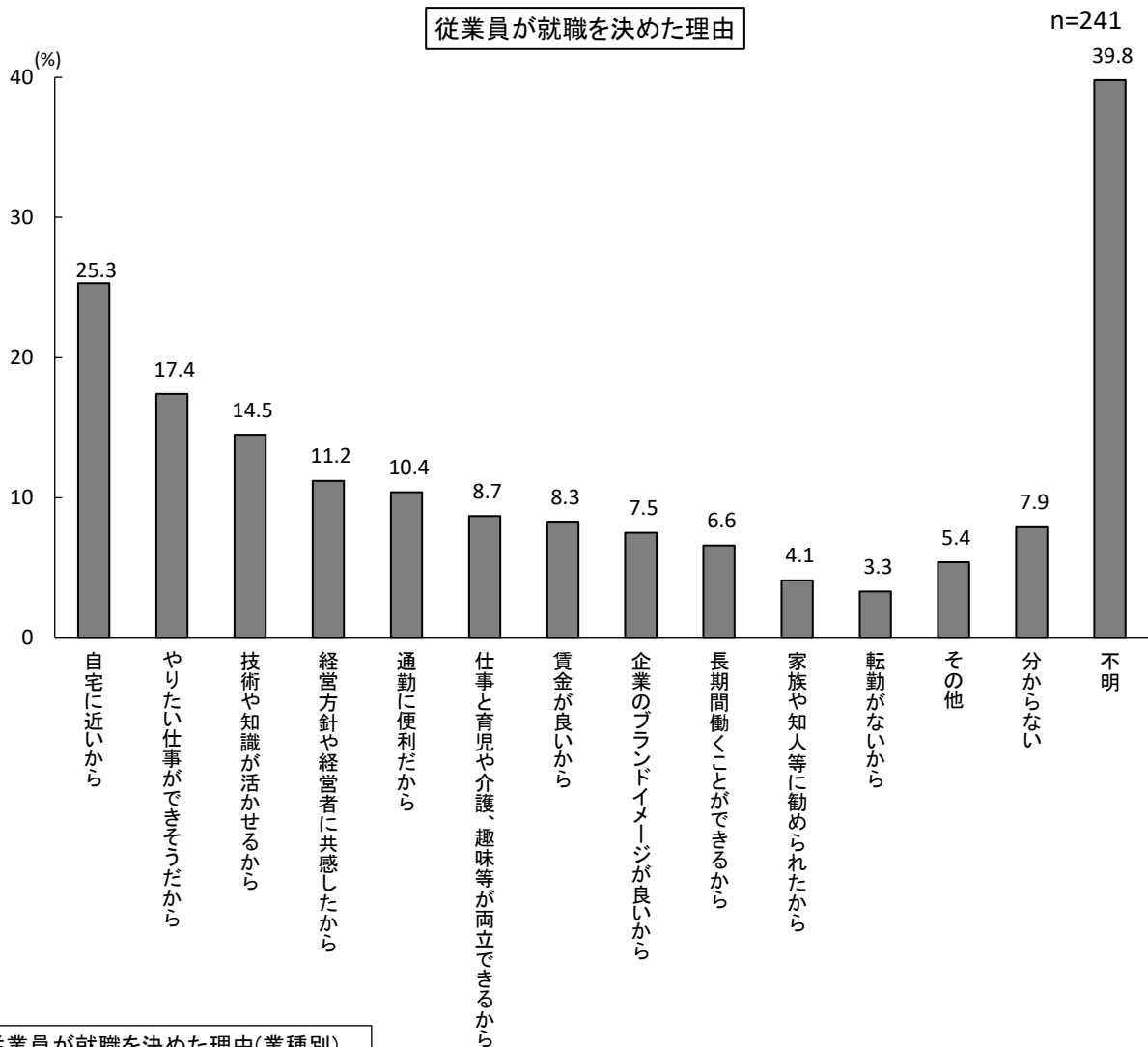
(注) 表側の「不明」は除く。

採用に関する対策



問5 (2) 貴社の従業員が貴社に就職を決めた理由をどのようにお考えですか (〇はいくつでも)。

- ・従業員が就職を決めた理由では「自宅に近いから」(25.3%)が最も多く、次いで「やりたい仕事ができそうだから」(17.4%)となっている。
- ・従業員が就職を決めた理由について、業種別に見ると、医療・福祉や飲食サービス業で「自宅に近いから」がそれぞれ41.7%、31.8%と多く、同じく医療・福祉で「やりたい仕事ができそうだから」(27.8%)や「技術や知識が活かせるから」(30.6%)も多い。



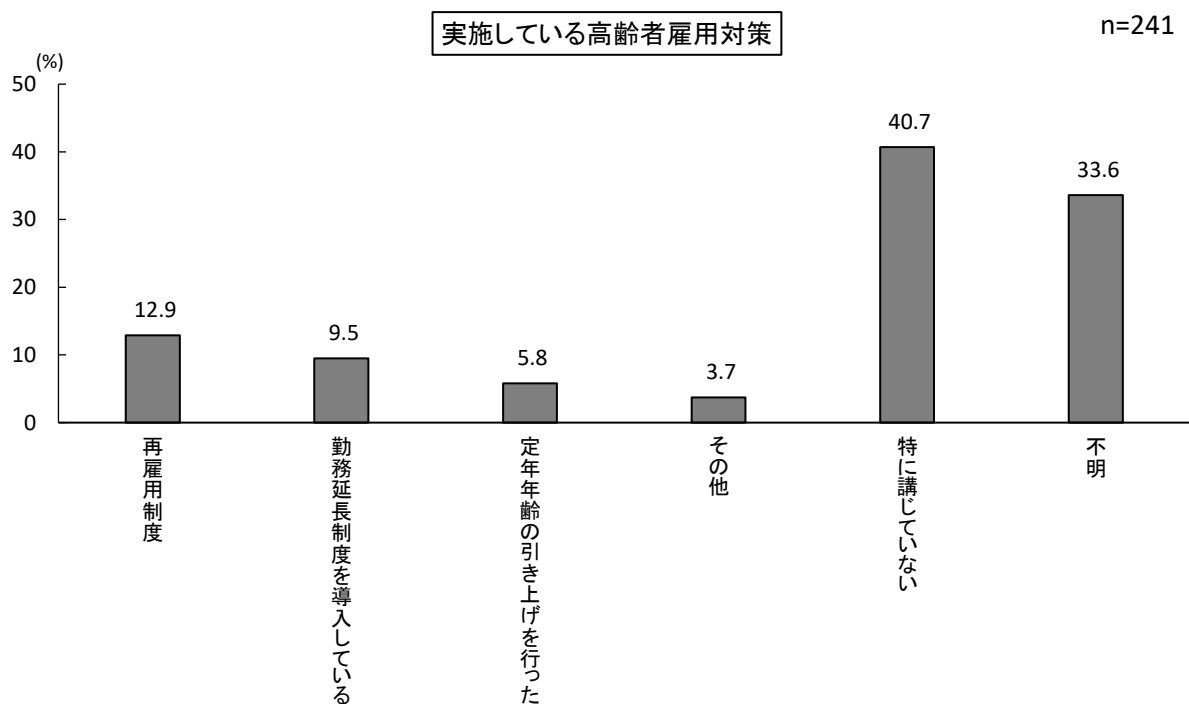
従業員が就職を決めた理由(業種別)

	合計	自宅に近いから	やりたい仕事ができそうだから	技術や知識が活かせるから	経営方針や経営者に共感したから	通勤に便利だから	仕事と育児や介護、趣味等が両立できるから	賃金が良いから	企業のブランドイメージが良いから	長期間働くことができるから	家族や知人等に勧められたから	転職がないから	その他	分からない	不明
全体	241	25.3	17.4	14.5	11.2	10.4	8.7	8.3	7.5	6.6	4.1	3.3	5.4	7.9	39.8
小売業	67	25.4	16.4	14.9	10.4	7.5	9.0	4.5	13.4	9.0	4.5	3.0	7.5	7.5	38.8
飲食サービス業	44	31.8	9.1	9.1	4.5	11.4	4.5	4.5	4.5	6.8	6.8	2.3	2.3	0.0	52.3
生活関連サービス業	46	13.0	8.7	8.7	10.9	15.2	8.7	6.5	2.2	8.7	2.2	2.2	2.2	10.9	56.5
医療・福祉	36	41.7	27.8	30.6	13.9	16.7	19.4	25.0	5.6	8.3	5.6	5.6	5.6	5.6	13.9
その他	45	20.0	28.9	13.3	17.8	4.4	4.4	6.7	8.9	0.0	2.2	4.4	8.9	15.6	28.9

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

問5 (3) 貴社では、高齢者雇用のためにどのような対策を講じていますか (〇はいくつでも)。

- ・実施している高齢者雇用対策では「特に講じていない」(40.7%)が最も多く、次いで「再雇用制度」(12.9%)となっている。
- ・実施している高齢者雇用対策について、業種別に見ると、どの業種においても「特に講じていない」が多くなっているが、医療・福祉や小売業で「再雇用制度」がそれぞれ19.4%、16.4%とやや多くなっている。



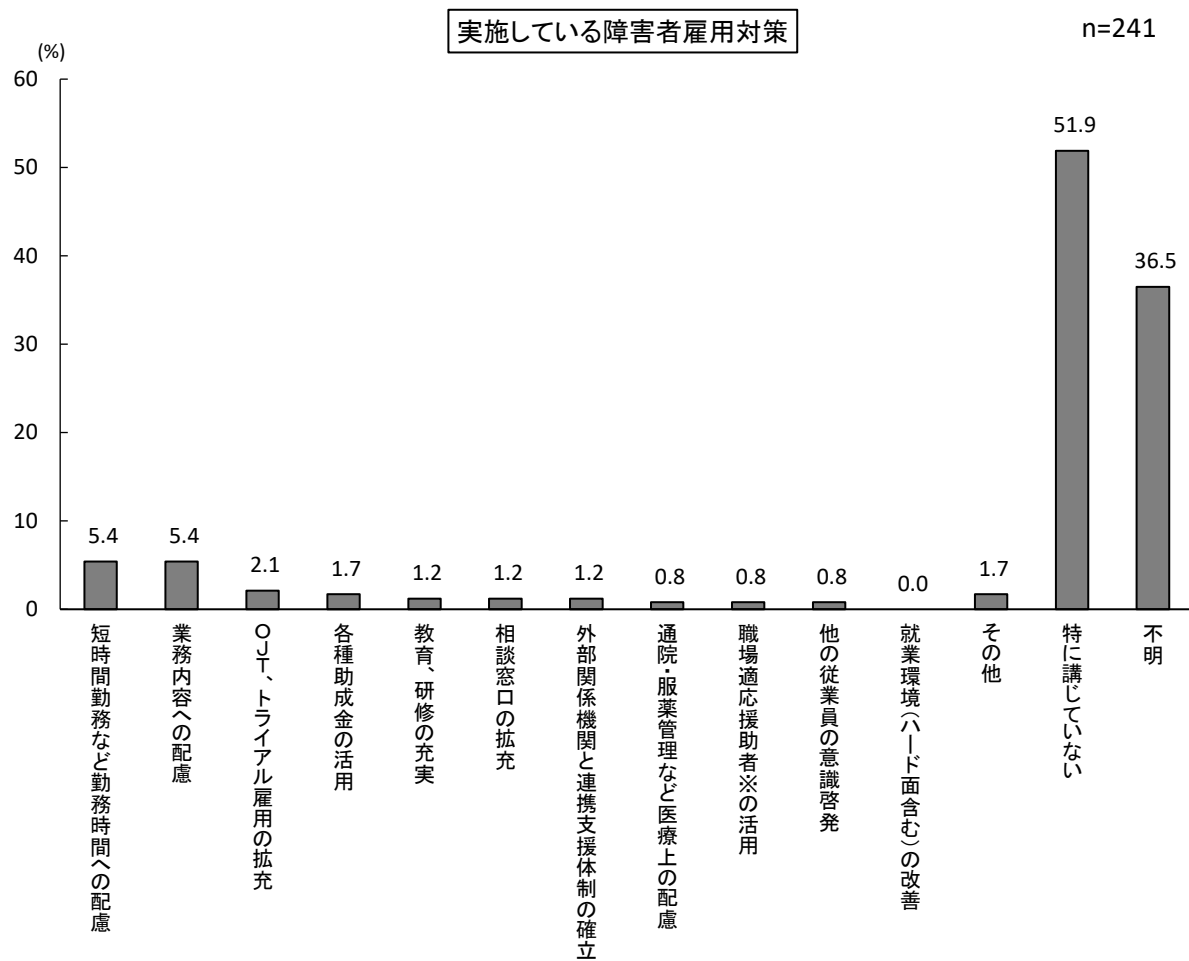
実施している高齢者雇用対策(業種別) (%)

	合計	再雇用制度	勤務延長制度を導入している	定年年齢の引き上げを行った	その他	特に講じていない	不明
全体	241	12.9	9.5	5.8	3.7	40.7	33.6
小売業	67	16.4	10.4	6.0	6.0	29.9	35.8
飲食サービス業	44	9.1	4.5	9.1	0.0	36.4	47.7
生活関連サービス業	46	6.5	4.3	2.2	8.7	37.0	43.5
医療・福祉	36	19.4	19.4	8.3	0.0	61.1	8.3
その他	45	13.3	11.1	4.4	2.2	51.1	22.2

(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

問5（4）貴社では、障害者雇用のためにどのような対策を講じていますか（〇はいくつでも）。

- ・実施している障害者雇用対策では「特に講じていない」（51.9%）が最も多く、次いで「短時間勤務などの勤務時間への配慮」「業務内容への配慮」（各5.4%）となっている。
- ・実施している障害者雇用対策について、業種別に見ると、どの業種においても「特に講じていない」が多くなっている。



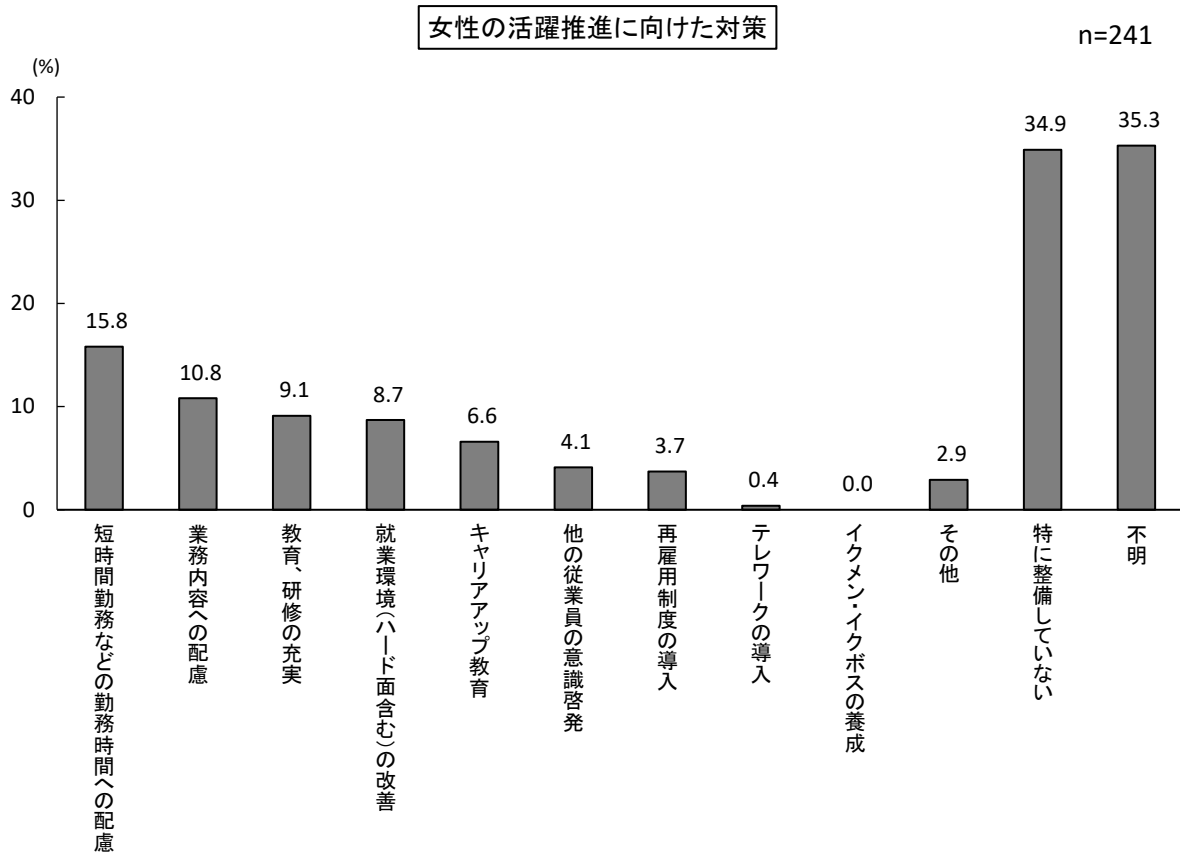
実施している障害者雇用対策(業種別)

	合計	短時間勤務などの配慮	業務内容への配慮	OJT、トライアル雇用の拡充	各種助成金の活用	教育、研修の充実	相談窓口の拡充	外部関係機関と連携支援体制の確立	通院・服薬管理など医療上の配慮	職場適応援助者※の活用	他の従業員の意識啓発	就業環境（ハード面含む）の改善	その他	特に講じていない	不明
全体	241	5.4	5.4	2.1	1.7	1.2	1.2	1.2	0.8	0.8	0.8	0.0	1.7	51.9	36.5
小売業	67	10.4	3.0	3.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	52.2	34.3
飲食サービス業	44	2.3	6.8	2.3	4.5	2.3	4.5	2.3	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	43.2	50.0
生活関連サービス業	46	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	39.1	56.5
医療・福祉	36	8.3	2.8	0.0	0.0	2.8	0.0	5.6	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	75.0	11.1
その他	45	2.2	15.6	4.4	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	4.4	57.8	22.2

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

問5 (5) 貴社では、女性の活躍推進のためにどのような対策を講じていますか (〇はいくつでも)。

- ・女性の活躍推進に向けた対策では「特に整備していない」(34.9%)が最も多くなっており、次いで「短時間勤務などの勤務時間への配慮」(15.8%)となっている。
- ・女性の活躍推進に向けた対策について、業種別に見ると、医療・福祉で「短時間勤務などの勤務時間への配慮」(30.6%)や「教育、研修の充実」(22.2%)が多くなっている。



女性の活躍推進に向けた対策(業種別)

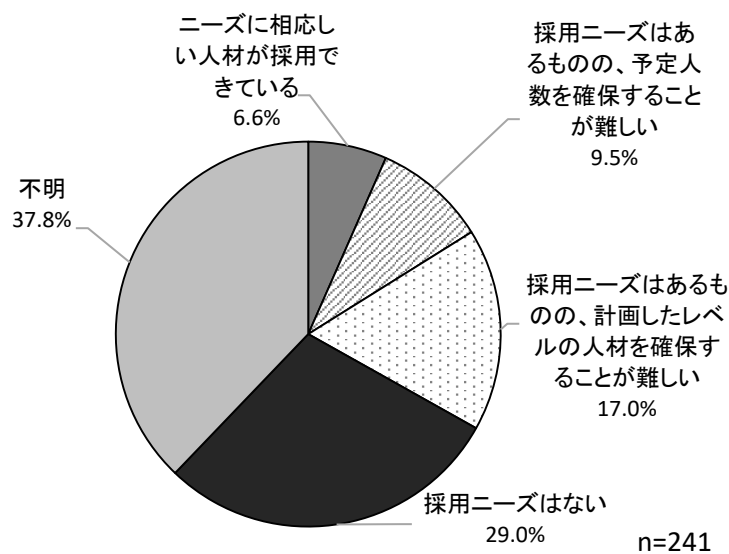
	合計	短時間勤務などの配慮	業務内容への配慮	教育、研修の充実	就業環境(ハード面含む)の改善	キャリアアップ教育	他の従業員の意識啓発	再雇用制度の導入	テレワークの導入	イクメン・イクボスの養成	その他	特に整備していない	不明
全体	241	15.8	10.8	9.1	8.7	6.6	4.1	3.7	0.4	0.0	2.9	34.9	35.3
小売業	67	11.9	14.9	9.0	10.4	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	1.5	34.3	37.3
飲食サービス業	44	13.6	6.8	4.5	4.5	6.8	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	40.9	45.5
生活関連サービス業	46	13.0	6.5	6.5	0.0	2.2	4.3	4.3	0.0	0.0	4.3	30.4	47.8
医療・福祉	36	30.6	11.1	22.2	13.9	19.4	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	33.3	11.1
その他	45	15.6	13.3	6.7	15.6	8.9	6.7	6.7	2.2	0.0	2.2	37.8	24.4

(注) 網掛けは 20% 以上のもの。表側の「不明」は除く。

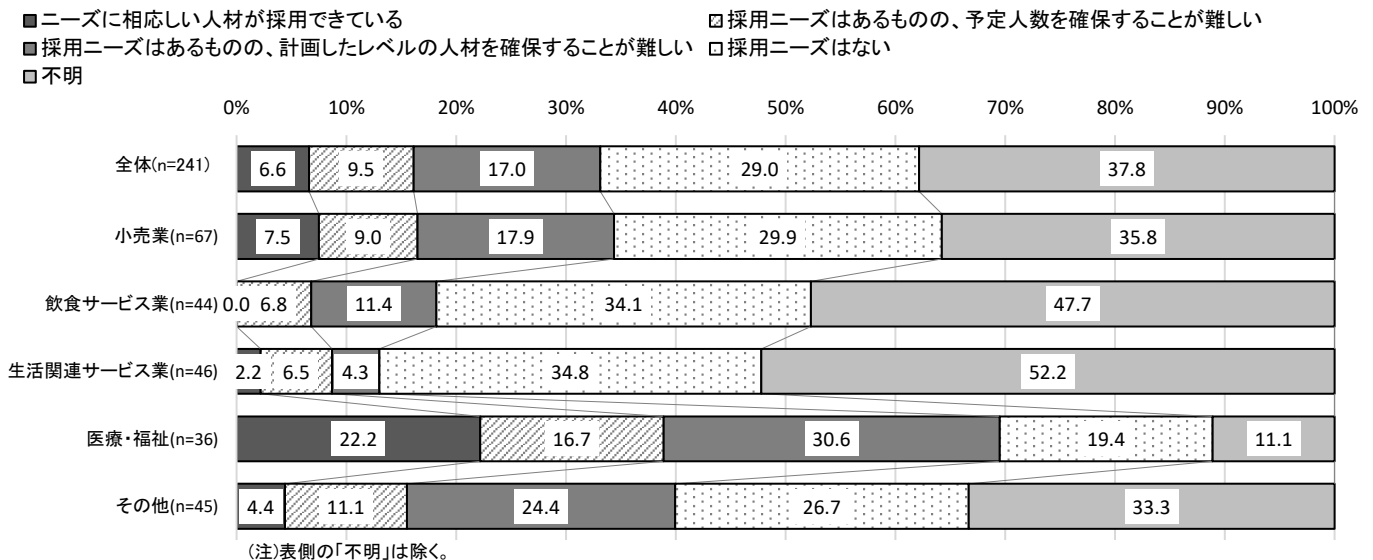
問5 (6) 若年者(35歳未満)の採用に関する現在の貴社の状況はいかがですか(○は1つだけ)。

- ・若年者(35歳未満)の採用状況では「採用ニーズはない」(29.0%)が最も多く、次いで「採用ニーズはあるものの、計画したレベルの人材を確保することが難しい」(17.0%)となっている。
- ・若年者(35歳未満)の採用状況について、業種別に見ると、医療・福祉で「ニーズに相応しい人材が採用できている」(22.2%)が多く、「採用ニーズはあるものの、計画したレベルの人材を確保することが難しい」(30.6%)も多くなっている。

若年者(35歳未満)の採用状況



若年者(35歳未満)の採用状況(業種別)

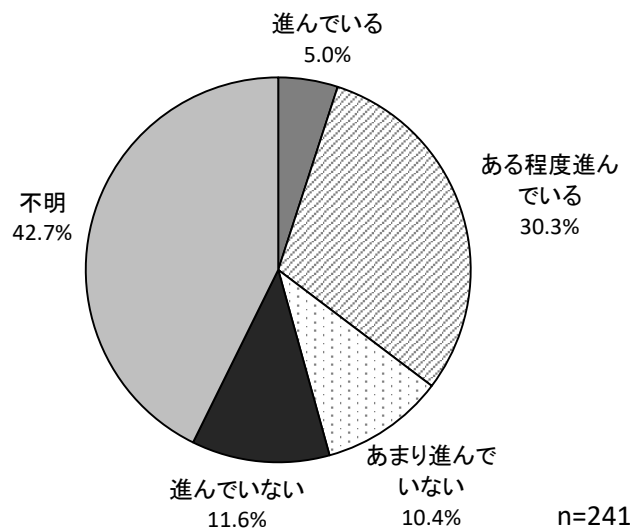


問5 (7) 貴社はワーク・ライフ・バランスが進んでいると思いますか (〇は1つだけ)。

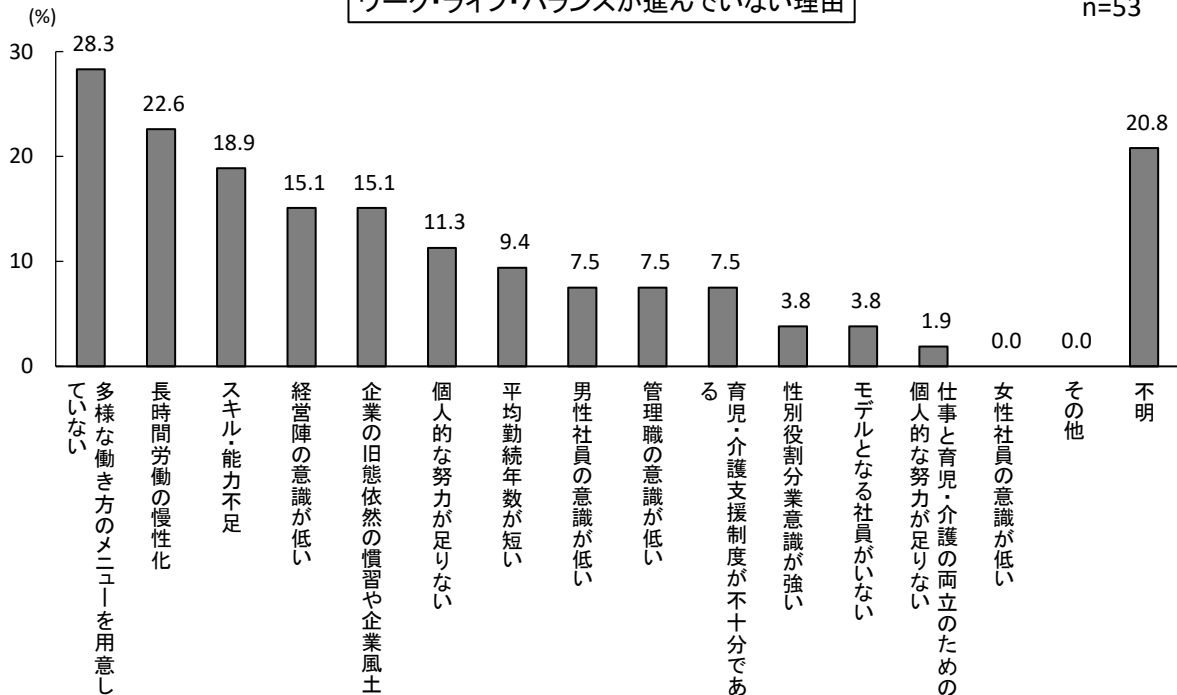
(7-1) [あまり進んでいない、進んでいないと回答した方に] その理由は何ですか (〇はいくつでも)。

- ・ワーク・ライフ・バランスの状況では、「ある程度進んでいる」(30.3%)が最も多く、次いで「進んでいない」(11.6%)となっている。
- ・進んでいない理由では「多様な働き方のメニューを用意していない」(28.3%)が最も多く、次いで「長時間労働の慢性化」(22.6%)となっている。

ワーク・ライフ・バランスの状況



ワーク・ライフ・バランスが進んでいない理由



- ・進んでいない理由について、業種別に見ると、小売業では「多様な働き方のメニューを用意していない」(31.3%)が多く、飲食サービス業では「スキル・能力不足」(27.3%)となっている。

ワークライフバランスが進んでいない理由(業種別)

(%)

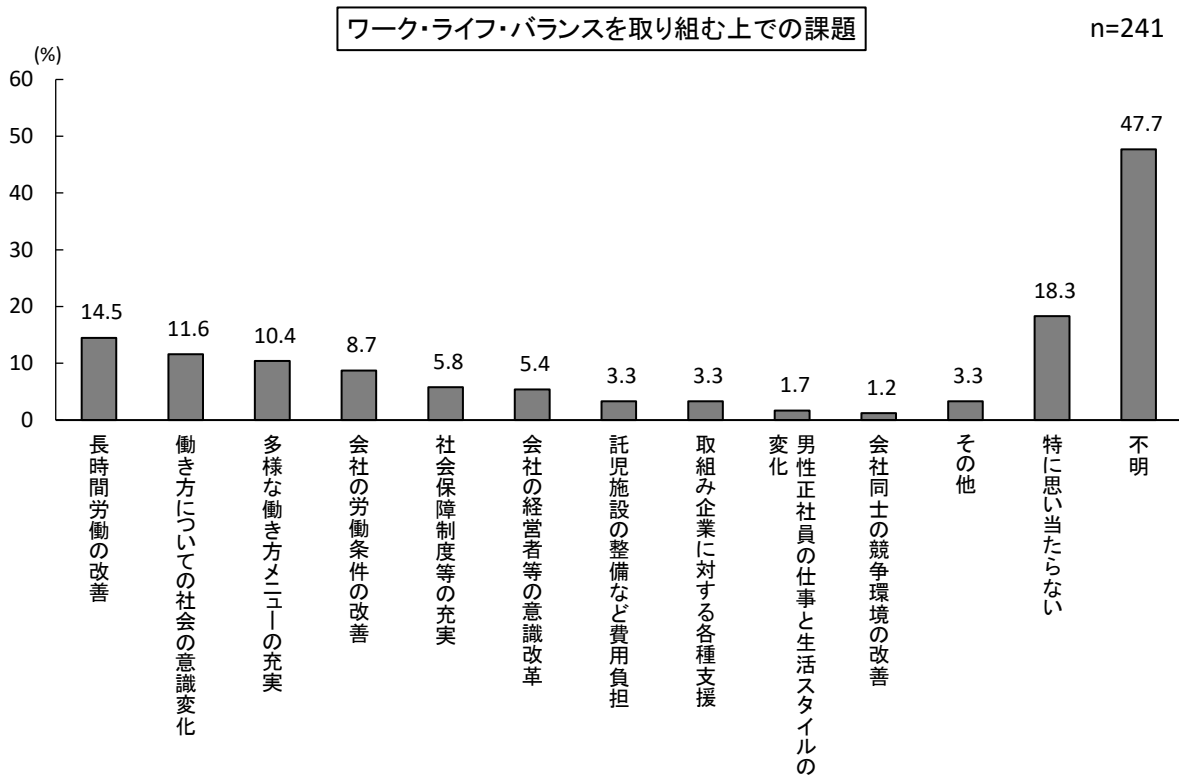
	合計	多様な働き方のメニューを用意していない	長時間労働の慢性化	スキル・能力不足	経営陣の意識が低い	企業風土 企業の旧態依然の慣習や	個人的な努力が足りない	平均勤続年数が短い	男性社員の意識が低い	管理職の意識が低い	育児・介護支援制度が不十分である	性別役割分業意識が強い	いモデルとなる社員がいない	仕事と育児・介護の両立のための	女性社員の意識が低い	その他	不明
全体	53	28.3	22.6	18.9	15.1	15.1	11.3	9.4	7.5	7.5	7.5	3.8	3.8	1.9	0.0	0.0	20.8
小売業	16	31.3	18.8	12.5	6.3	12.5	6.3	0.0	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.8
飲食サービス業	11	9.1	9.1	27.3	0.0	18.2	0.0	18.2	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3
生活関連サービス業	7	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
医療・福祉	9	55.6	44.4	11.1	44.4	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0
その他	10	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	30.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。



問5(8) ワーク・ライフ・バランスに取り組む上でどのような課題がありますか(〇はいくつでも)。

- ・ワーク・ライフ・バランスに取り組む上での課題は「特に思い当たらない」(18.3%)が最も多く、次いで「長時間労働の改善」(14.5%)、「働き方についての社会の意識変化」(11.6%)、「多様な働き方メニューの充実」(10.4%)、「会社の労働条件の改善」(8.7%)となっている。
- ・ワーク・ライフ・バランスに取り組む上での課題について、業種別に見ると、医療・福祉で「長時間労働の改善」(30.6%)、「働き方についての社会の意識変化」(22.2%)が多くなっている。



ワーク・ライフ・バランスに取り組む上での課題(業種別)

	合計	長時間労働の改善	働き方についての社会の意識変化	多様な働き方メニューの充実	会社の労働条件の改善	社会保障制度等の充実	会社の経営者等の意識改革	託児施設の整備など費用負担	取組み企業に対する各種支援	男性正社員の仕事と生活スタイルの変化	会社同士の競争環境の改善	その他	特に思い当たらない	不明
全体	241	14.5	11.6	10.4	8.7	5.8	5.4	3.3	3.3	1.7	1.2	3.3	18.3	47.7
小売業	67	7.5	9.0	10.4	7.5	3.0	3.0	0.0	3.0	0.0	1.5	6.0	14.9	52.2
飲食サービス業	44	9.1	4.5	2.3	4.5	6.8	0.0	0.0	2.3	4.5	2.3	4.5	22.7	56.8
生活関連サービス業	46	13.0	6.5	8.7	8.7	6.5	4.3	2.2	0.0	4.3	0.0	0.0	17.4	56.5
医療・福祉	36	30.6	22.2	13.9	11.1	8.3	16.7	16.7	8.3	0.0	2.8	5.6	19.4	27.8
その他	45	20.0	20.0	17.8	13.3	6.7	6.7	2.2	4.4	0.0	0.0	0.0	20.0	35.6

(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

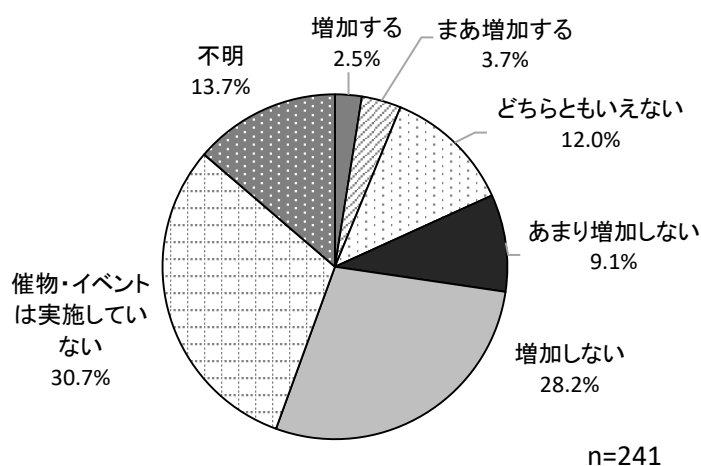
## (6) 商店会等について

問6 (1) あなたの店舗・事業所が立地する地域で実施される催物・イベント（歳末セール、祭り等）で、あなたの店舗・事業所の売上高は増加しますか（○は1つだけ）。

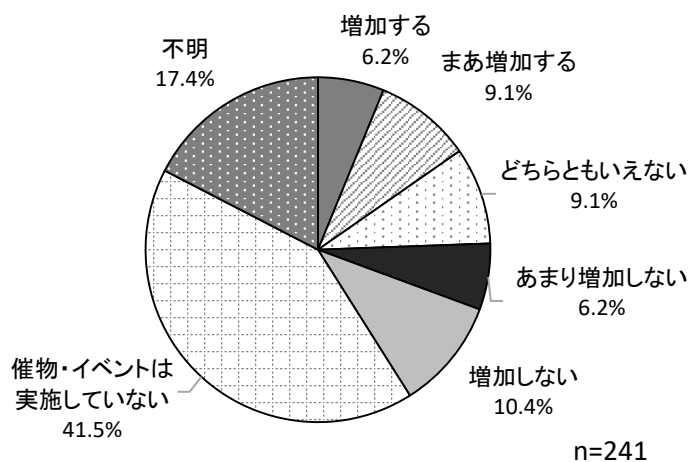
(1-1) あなたの店舗・事業所が独自に実施する催物・イベント（セール、キャンペーン等）で、あなたの店舗・事業所の売上高は増加しますか（○は1つだけ）。

- ・地域の催物・イベントによる売上効果では「催物・イベントは実施していない」（30.7%）が最も多く、次いで「増加しない」（28.2%）となっている。
- ・独自の催物・イベントによる売上効果では「催物・イベントは実施していない」（41.5%）が最も多く、次いで「増加しない」（10.4%）となっている。

地域の催物・イベントによる売上効果



独自の催物・イベントによる売上効果



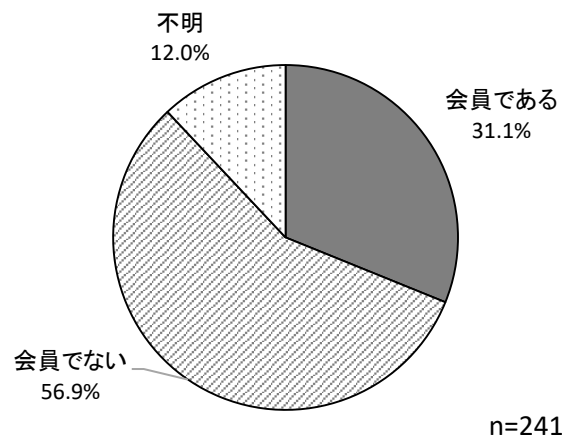
問6 (2) 地域の商店会等には会員として参加していますか (○は1つだけ)。

(2-1) 商店会活動は活発ですか (○は1つだけ)。

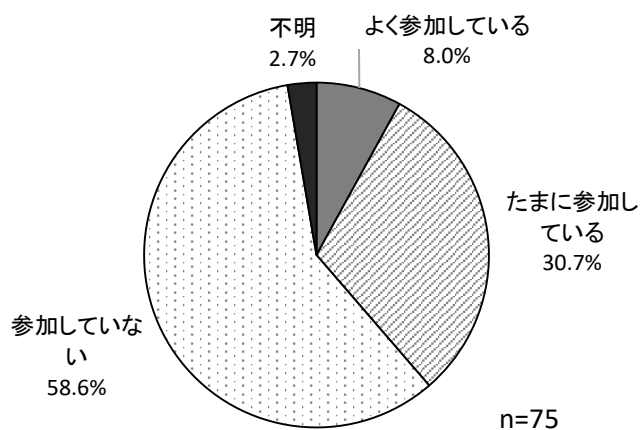
(2-2) あなたは商店会活動にどの程度参加していますか (○は1つだけ)。

- ・商店会への所属について見ると「会員である」は31.1%、「会員ではない」は56.9%となっている。
- ・活動状況では「普通」(48.0%)が多く、次いで「不活発」(37.3%)となっている。
- ・商店会活動への参加状況では「参加していない」(58.6%)が多く、次いで「たまに参加している」(30.7%)となっている。

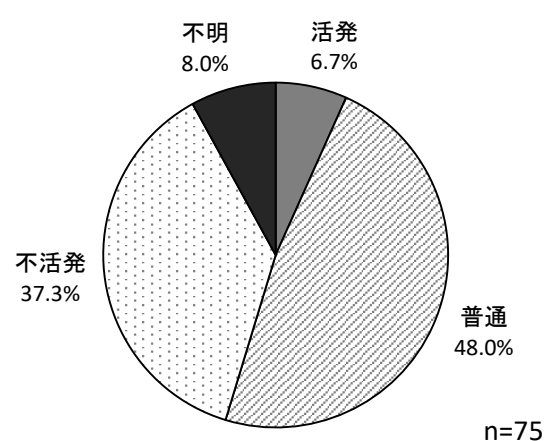
商店会への所属



商店会活動への参加状況

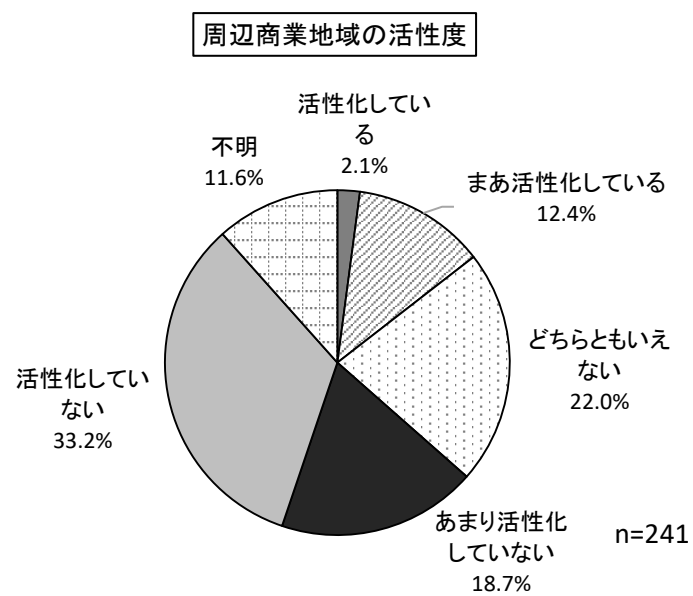


商店会活動の状況

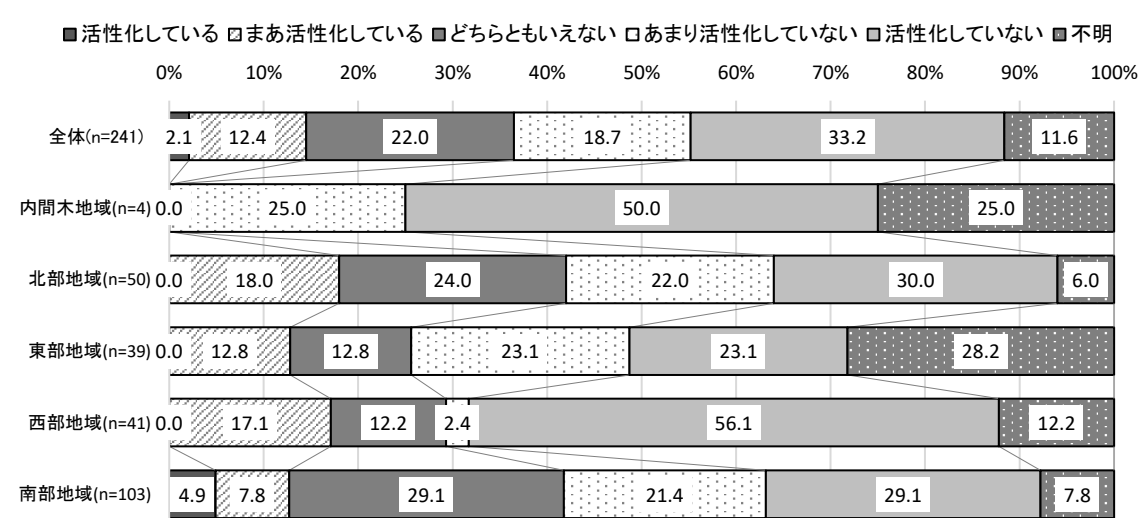


問6 (3) 店舗・事業所が立地している地域又は周辺の商業地域は活性化していますか (〇は1つだけ)。

- ・地域や周辺商業地の活性化度では「活性化していない」(33.2%)が最も多く、「活性化している」は2.1%にとどまっている。
- ・地域や周辺商業地の活性化度について、地域別に見ると、南部地域で「活性化している」(4.9%)がやや多く、「活性化している」と「まあ活性化している」を合わせると、北部地域(計18.0%)や西部地域(計17.1%)で多くなっている。



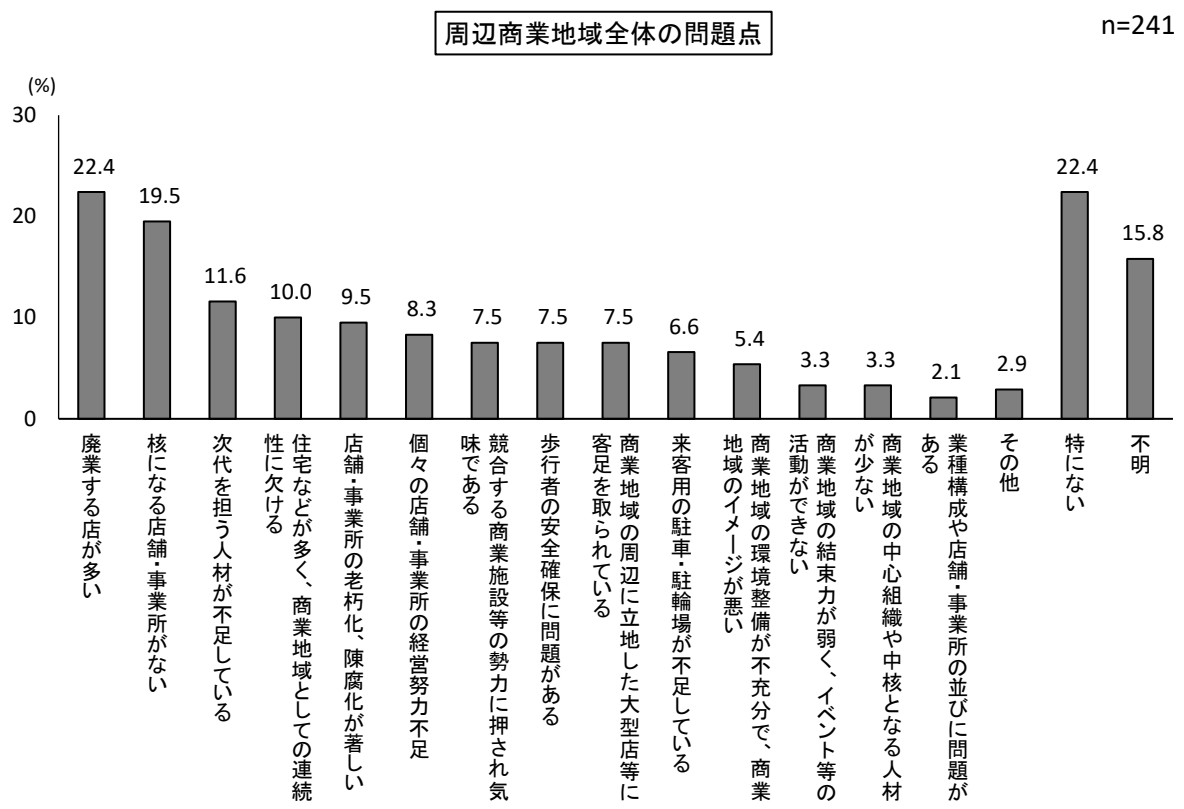
**周辺商業地域の活性化度 (地域別)**



(注)表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値とする。

問6(4) 店舗・事業所が立地している地域又は周辺の商業地域全体における当面の問題点は、次のうちどれですか(〇は3つまで)。

- ・周辺商業地域全体の問題点では、「廃業する店が多い」「特にない」(各22.4%)が多く、次いで「核になる店舗・事業所がない」(19.5%)となっている。
- ・周辺商業地域全体の問題点について、業種別に見ると、特に北部地域、西部地域で「廃業する店が多い」が30%以上と多くなっている。



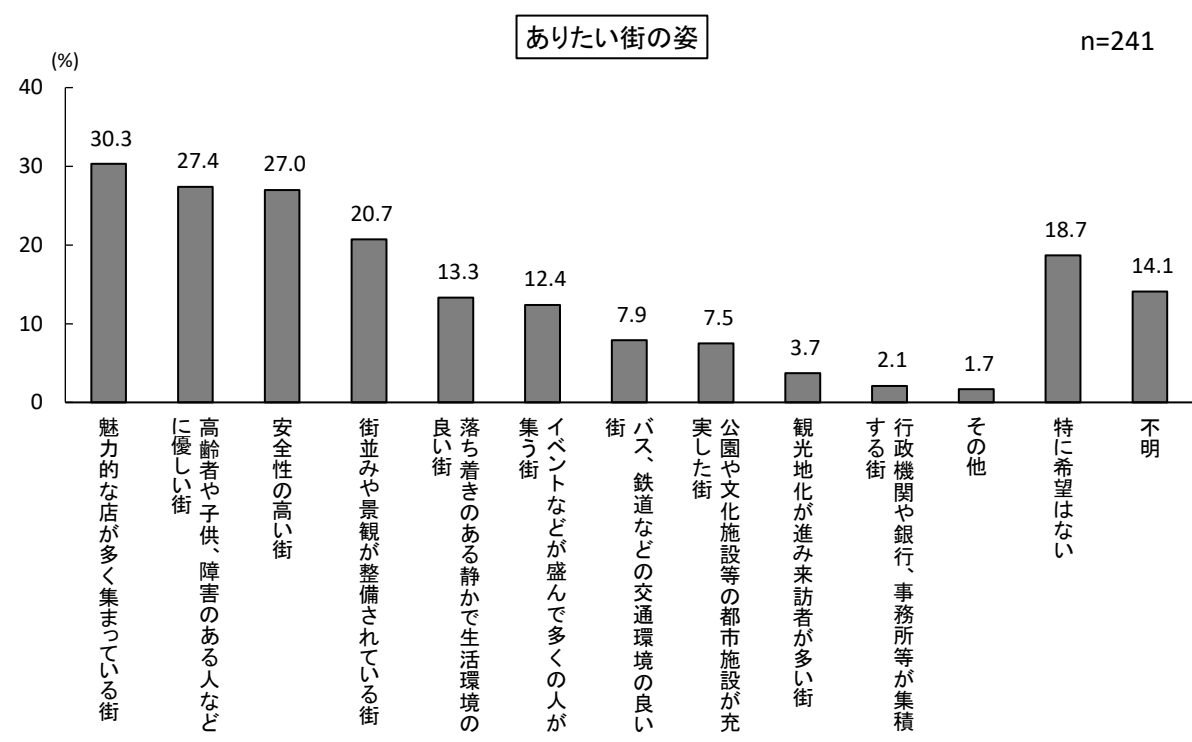
**周辺商業地域全体の問題点(地域別)** (%)

	合計	廃業する店が多い	核になる店舗・事業所がない	次代を担う人材が不足している	住宅などが多く、商業地域としての連続性に欠ける	店舗・事業所の老朽化、陳腐化が著しい	個々の店舗・事業所の経営努力不足	競争する商業施設等の勢力に押され気味である	歩行者の安全確保に問題がある	客足を取られている	商業地域の周辺に立地した大型店等に	来客用の駐車・駐輪場が不足している	商業地域の環境整備が不十分で、活動ができない	商業地域の結束力が弱く、イベント等が	少ない	商業地域の中心組織や中核となる人材が	業種構成や店舗・事業所の並びに問題がある	その他	特にない	不明
全体	241	22.4	19.5	11.6	10.0	9.5	8.3	7.5	7.5	7.5	6.6	5.4	3.3	3.3	2.1	2.9	22.4	15.8		
内間木地域	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0		
北部地域	50	30.0	10.0	14.0	12.0	10.0	8.0	10.0	0.0	14.0	4.0	6.0	2.0	4.0	0.0	2.0	20.0	16.0		
東部地域	39	10.3	15.4	10.3	12.8	0.0	7.7	2.6	5.1	5.1	5.1	5.1	7.7	7.7	2.6	0.0	28.2	23.1		
西部地域	41	31.7	24.4	12.2	12.2	9.8	4.9	2.4	2.4	4.9	4.9	0.0	2.4	7.3	9.8	2.4	17.1	14.6		
南部地域	103	21.4	23.3	10.7	6.8	12.6	10.7	10.7	14.6	6.8	9.7	6.8	2.9	0.0	0.0	4.9	22.3	13.6		

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値とする。

問6 (5) 将来、店舗・事業所が立地している地域又は周辺の商業地域全体はどのような街になってほしいですか (〇は3つまで)。

- ・ありたい街の姿では「魅力的な店が多く集まっている街」(30.3%)が最も多く、次いで「高齢者や子供、障害のある人などに優しい街」(27.4%)となっている。
- ・ありたい街の姿について、地域別に見ると、北部地域で「魅力的な店が多く集まっている街」及び「高齢者や子供、障害のある人などに優しい街」(各32.0%)が多く、南部地域では「魅力的な店が多く集まっている街」(36.9%)及び「安全性の高い街」(30.1%)が多くなっている。



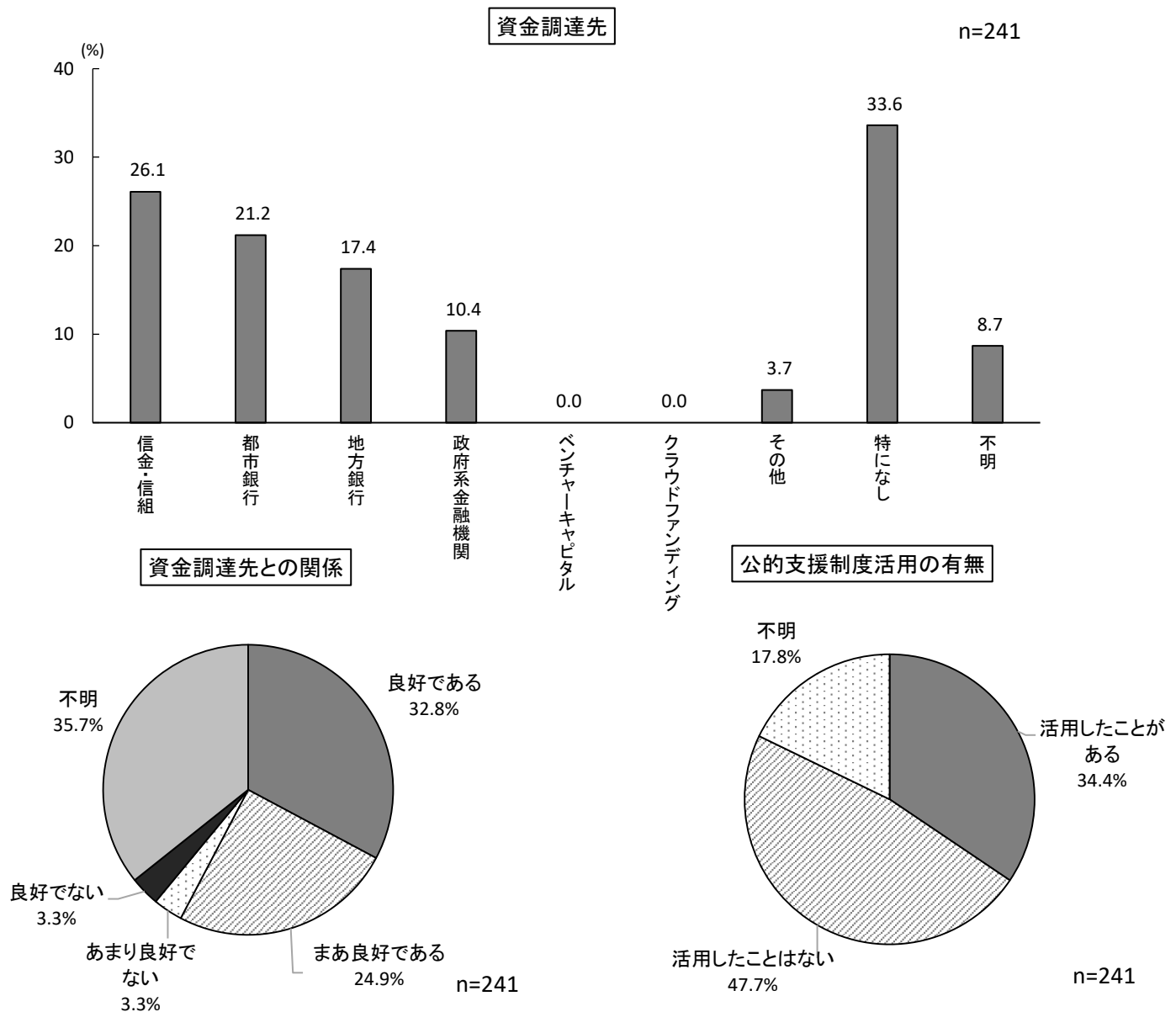
	合計	魅力的な店が多く集まっている街	高齢者や子供、障害のある人などに優しい街	安全性の高い街	街並みや景観が整備されている街	落ち着きのある静かで生活環境の良い街	イベントなどが盛んで多くの人が集う街	バス、鉄道などの交通環境の良い街	公園や文化施設等の都市施設が充実した街	観光地化が進み来訪者が多い街	行政機関や銀行、事務所等が集積する街	その他	特に希望はない	不明
全体	241	30.3	27.4	27.0	20.7	13.3	12.4	7.9	7.5	3.7	2.1	1.7	18.7	14.1
内間木地域	4	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
北部地域	50	32.0	32.0	28.0	22.0	12.0	6.0	10.0	4.0	2.0	0.0	0.0	24.0	10.0
東部地域	39	23.1	23.1	28.2	17.9	12.8	10.3	5.1	5.1	2.6	2.6	2.6	20.5	20.5
西部地域	41	19.5	29.3	19.5	24.4	9.8	4.9	9.8	4.9	7.3	2.4	4.9	22.0	19.5
南部地域	103	36.9	26.2	30.1	20.4	15.5	18.4	5.8	11.7	3.9	1.9	1.0	15.5	10.7

(注) 網掛けは30%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

(7) 資金調達等について

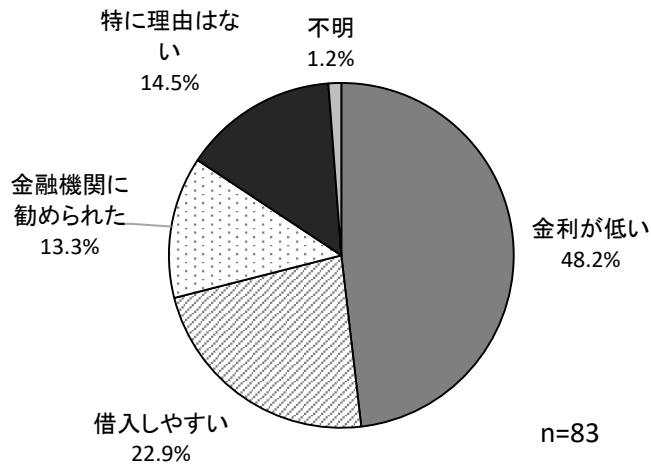
問7 (1) 資金調達の際の調達先は、どのような機関ですか (〇はいくつでも)。  
 (2) 主な資金調達先との関係は良好ですか (〇は1つだけ)。  
 (3) 制度融資や補助金など、公的機関が提供する資金調達の支援制度を活用されたことがありますか (〇は1つだけ)。  
 (4) [活用したことがあると回答した方] その理由は何ですか (〇は1つだけ)。  
 (5) [活用したことはないと回答した方] その理由は何ですか (〇は1つだけ)。

- ・資金調達先では「特になし」(33.6%)が最も多く、次いで「信金・信組」(26.1%)となっている。
- ・資金調達先との関係では「良好である」(32.8%)が最も多く、次いで「まあ良好である」(24.9%)となっており、合計すると6割程度となっている。
- ・公的支援制度活用の有無では「活用したことがある」は34.4%、「活用したことはない」は47.7%と、活用したことがない事業者の方がやや多い結果となっている。

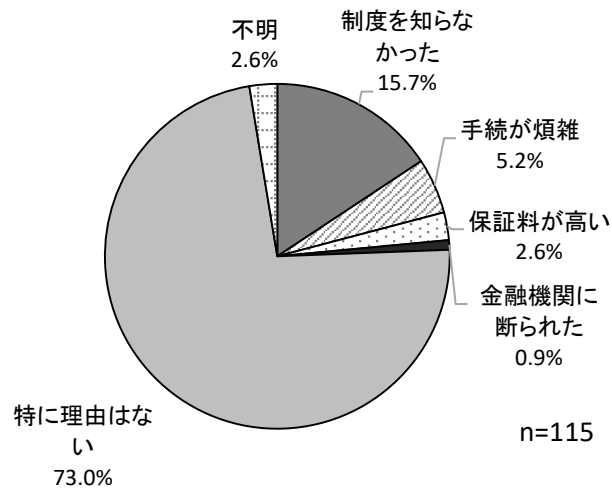


- ・ 公的支援制度活用の理由では、活用した理由では「金利が低い」(48.2%)が多くなっており、次いで「借入しやすい」(22.9%)となっている。
- ・ 活用しない理由では「特に理由はない」(73.0%)が最も多く、次いで「制度を知らなかった」(15.7%)となっている。

活用した理由



活用しない理由



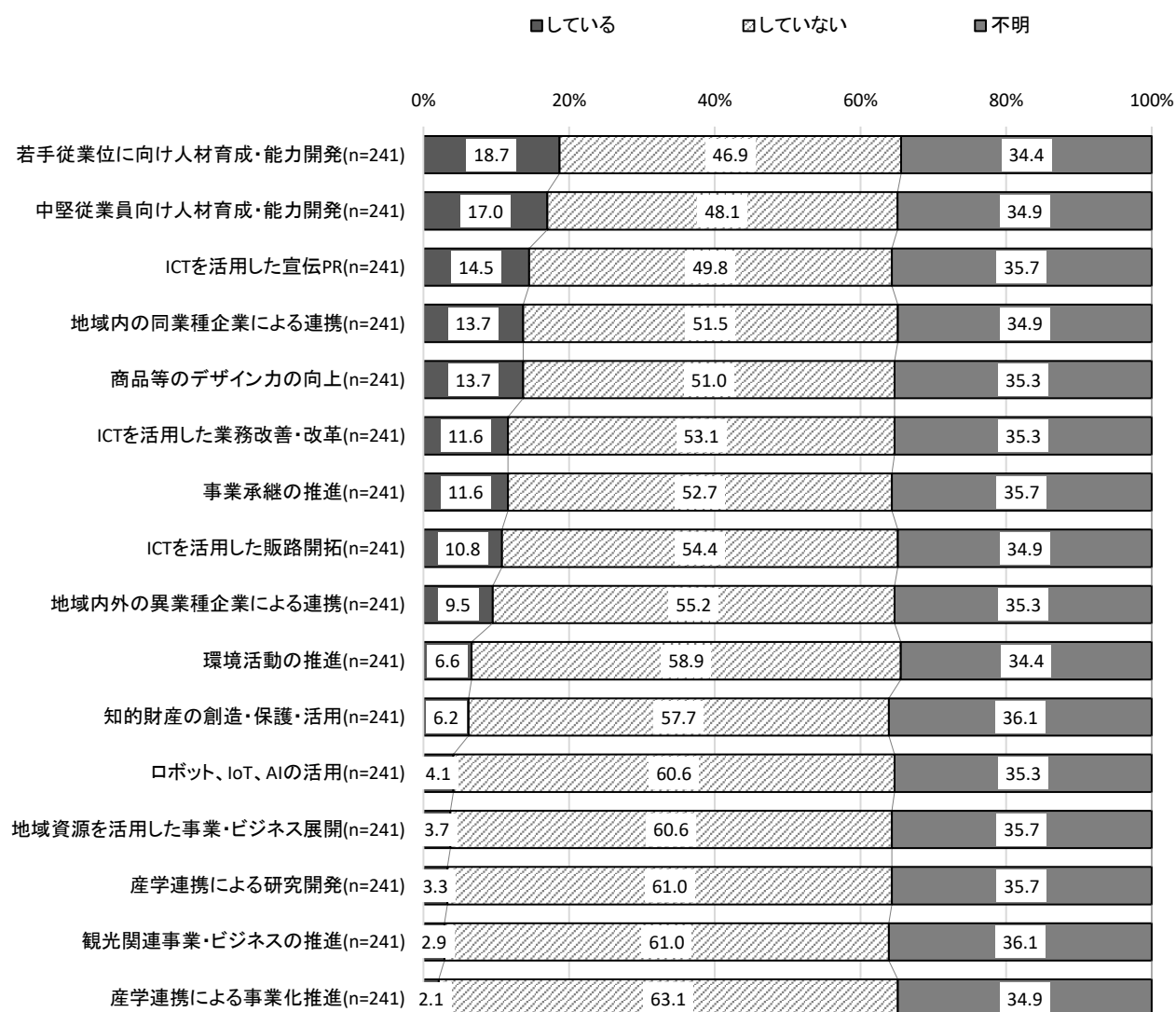


## (8) 個別の事業課題について

問8(1) 下記の各事業課題について、それぞれ現在の取組経験、今後の取組意向をお答えください。

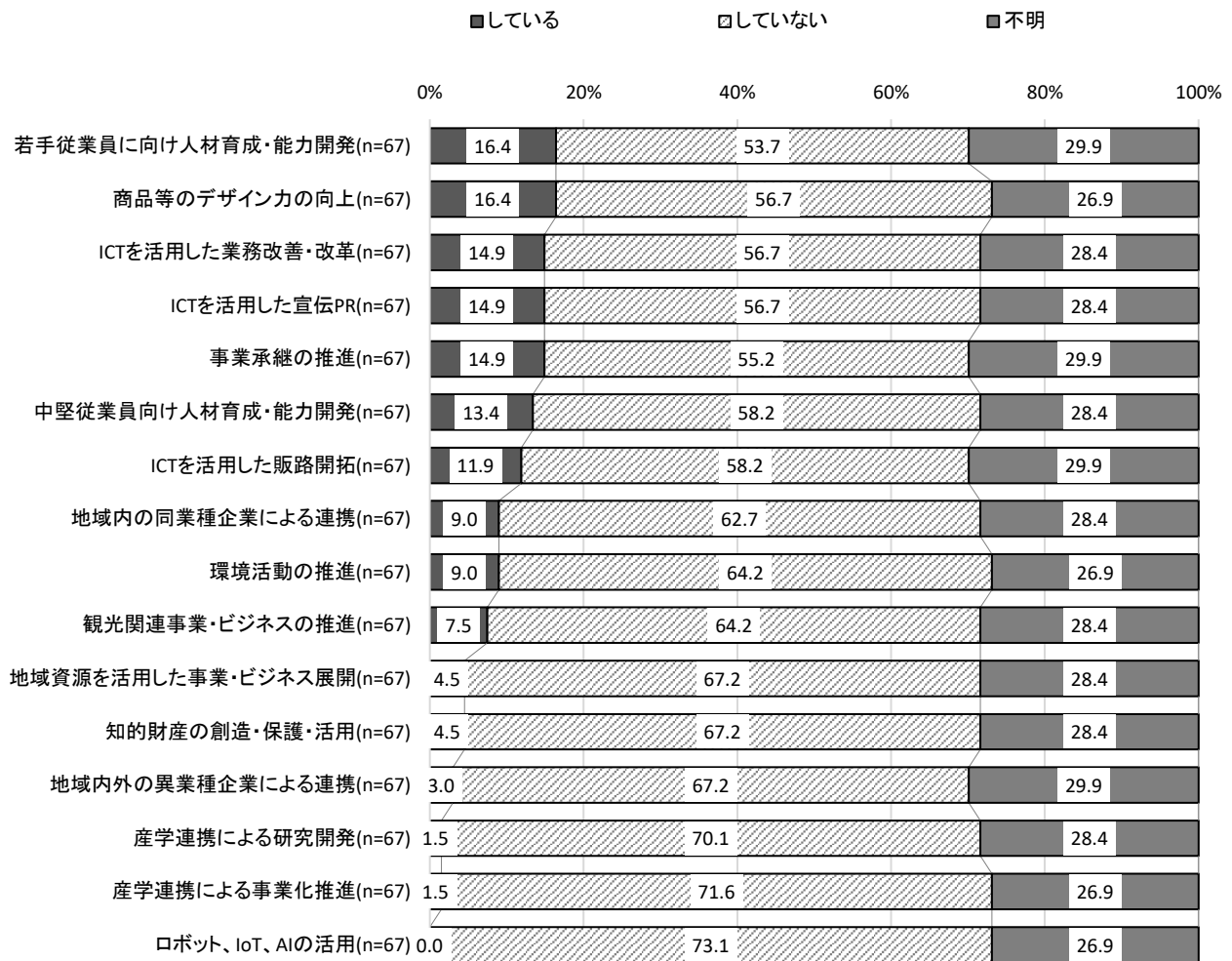
- ・事業課題に対する現在の取組経験について「している」の割合は「若手従業員向け人材育成・能力開発」(18.7%)、「中堅従業員向け人材育成・能力開発」(17.0%)、「ICTを活用した宣伝PR」(14.5%)の順に高くなっている。

### 事業課題に対する取組経験



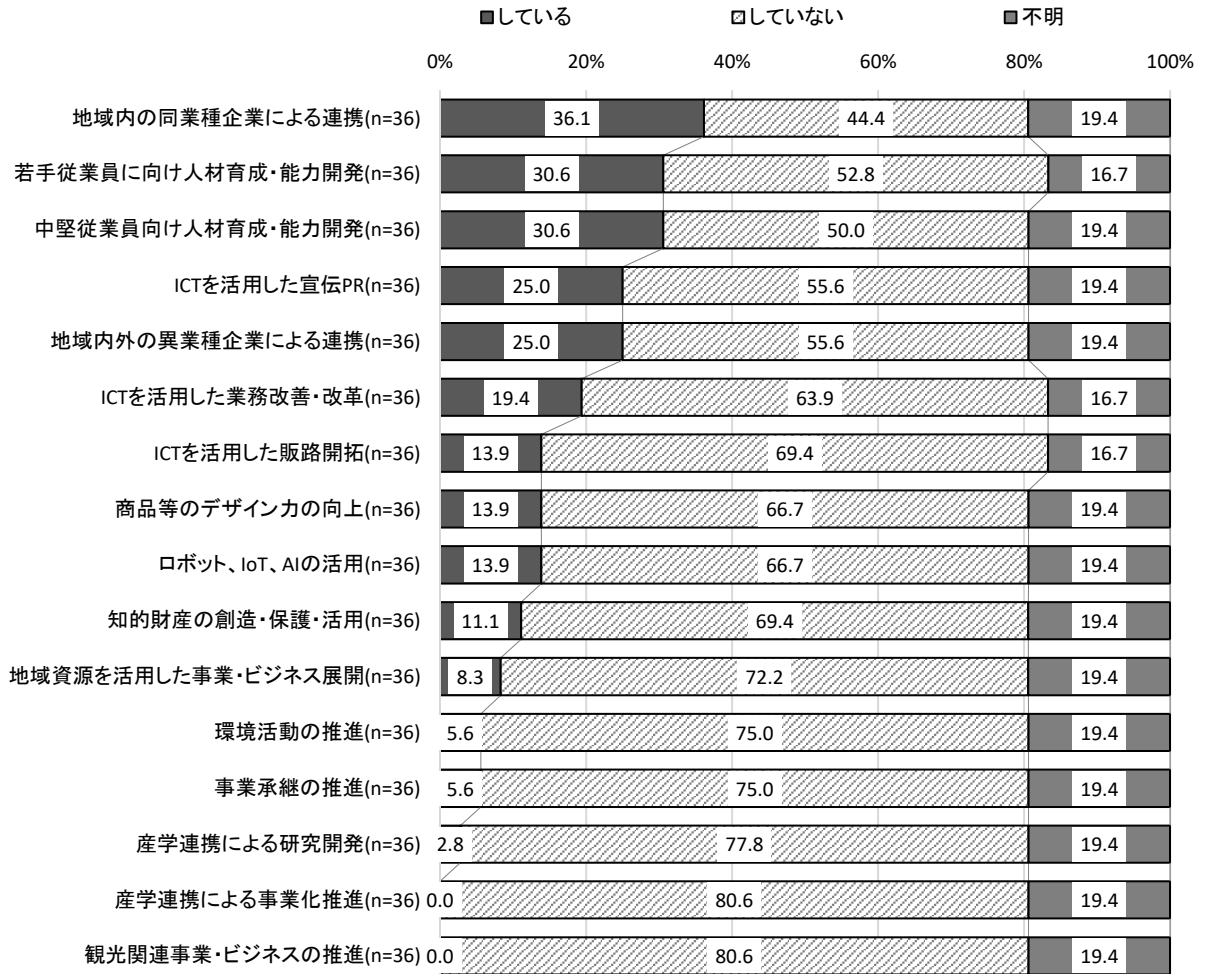
- ・事業課題に対する現在の取組経験について、小売業では、「若手従業員向け人材育成・能力開発」、「商品等のデザイン力の向上」(各 16.4%)と多く、次いで「ICTを活用した業務改善・改革」、「ICTを活用した宣伝PR」、「事業承継の推進」(各 14.9%)が多くなっている。

事業課題に対する取組経験(小売業)



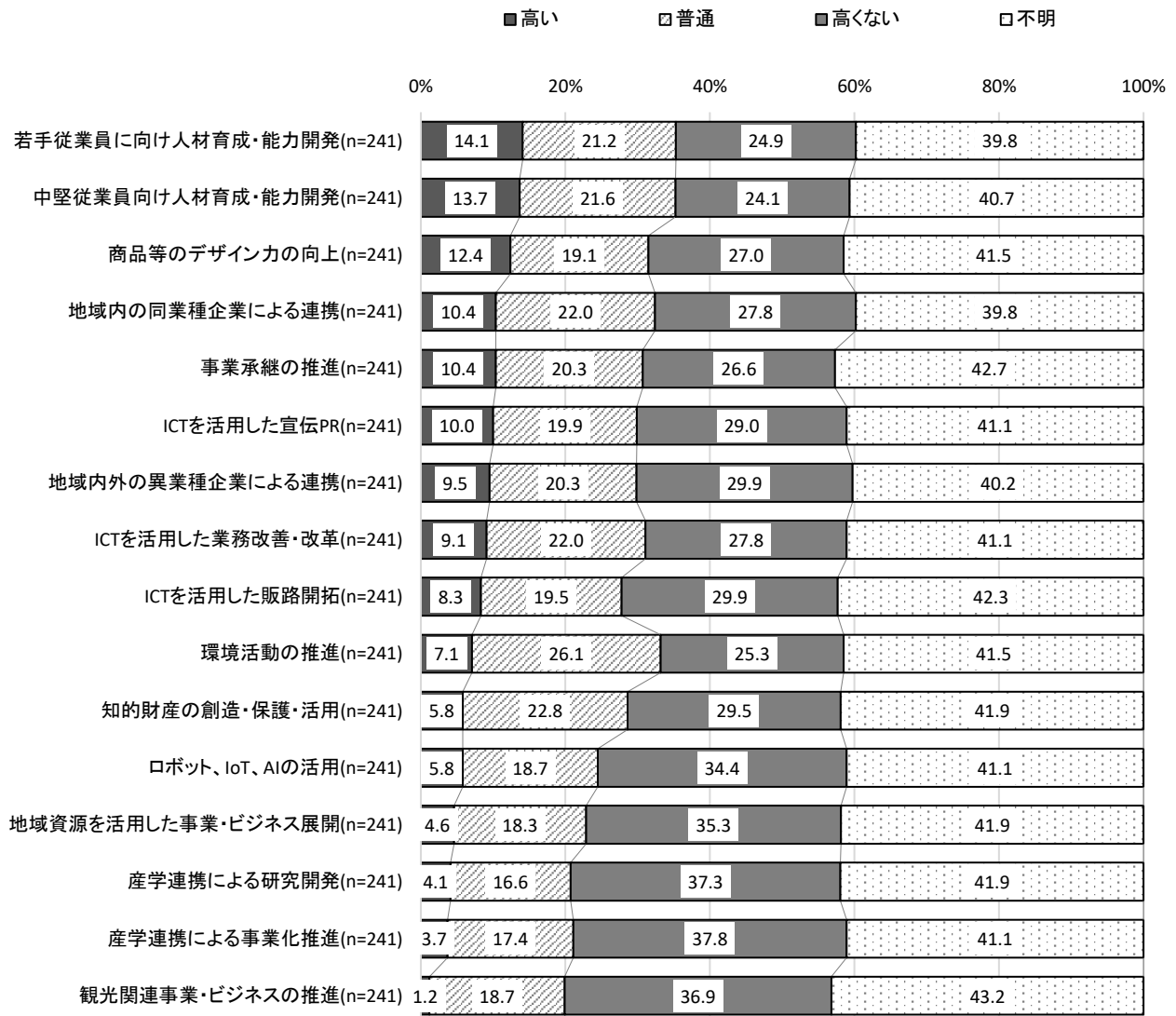
- ・事業課題に対する現在の取組経験について、医療・福祉では、「地域内の同業種企業による連携」(36.1%)、「若手従業員向け人材育成・能力開発」(30.6%)、「中堅従業員向け人材育成・能力開発」(30.6%)と人材に関する取組が多く、次いで「ICTを活用した宣伝」(25.0%)、「地域内外の異業種企業による連携」(25.0%)と多くなっている。

事業課題に対する取組経験(医療・福祉)



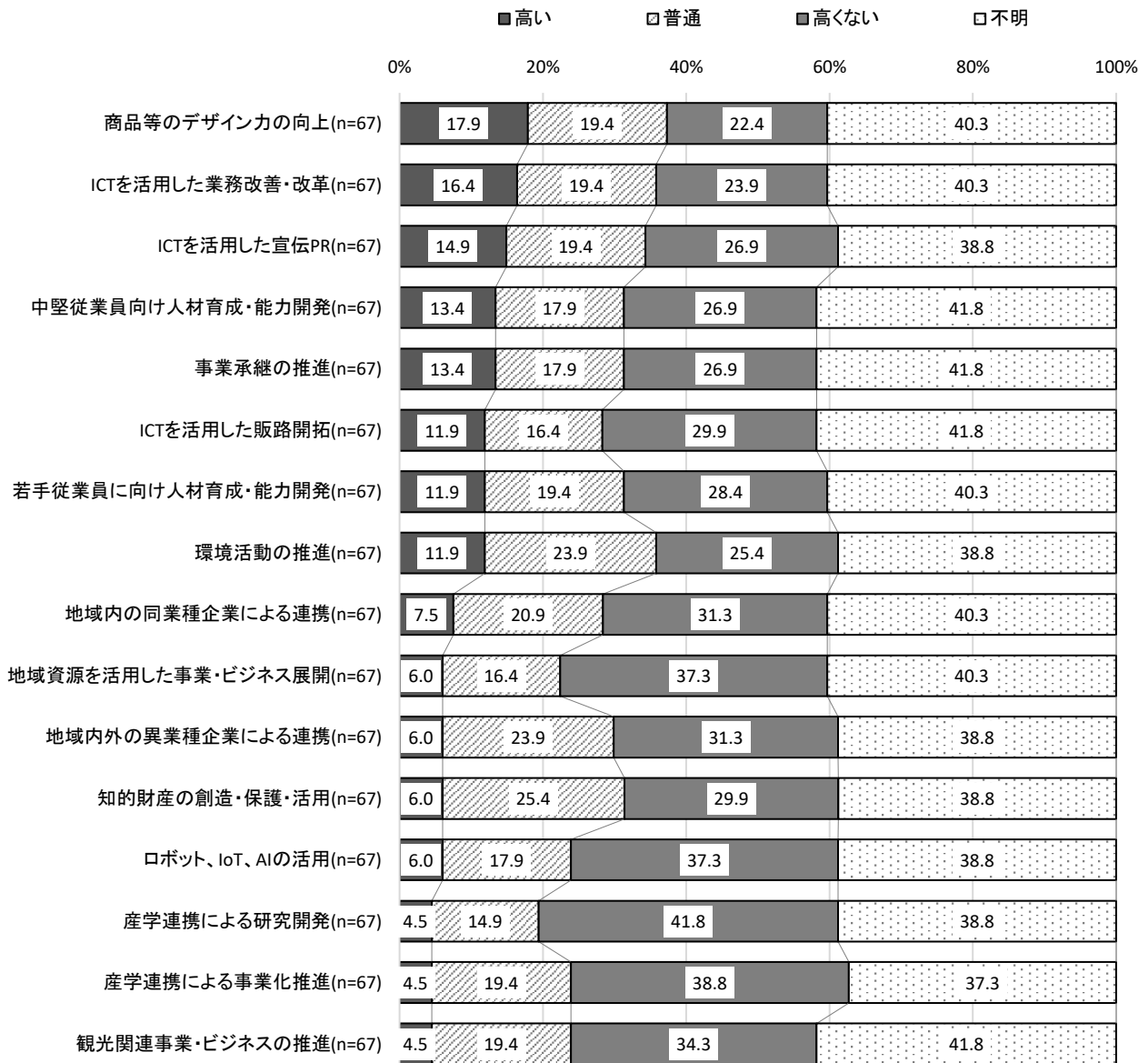
- ・事業課題に対する今後の取組意向について、「若手従業員向け人材育成・能力開発」(14.1%)が最も多く、次いで「中堅従業員向け人材育成・能力開発」(13.7%)、「商品等のデザイン力の向上」(12.4%)となっている。

事業課題に対する今後の取組意向



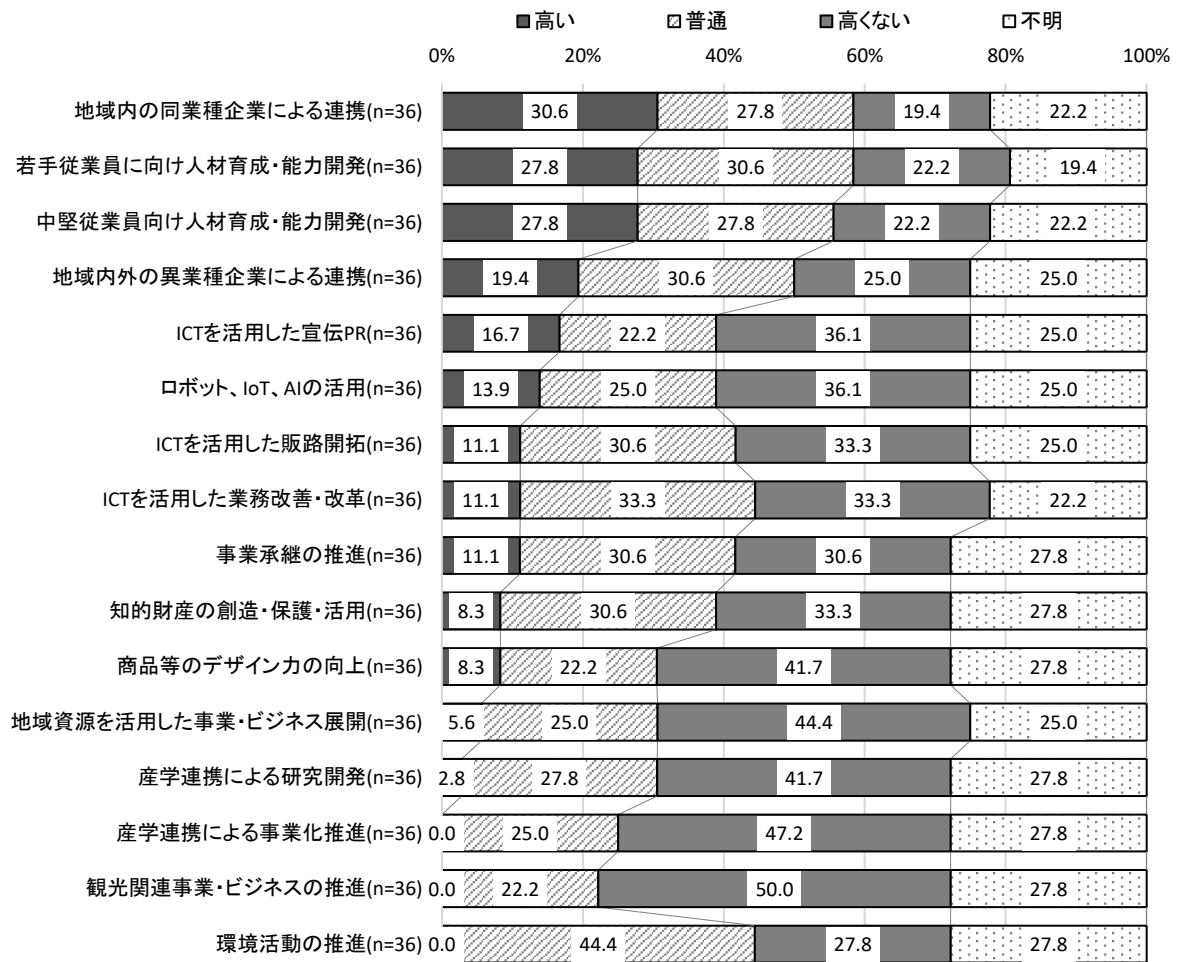
- ・事業課題に対する今後の取組意向について、小売業では、「商品等のデザイン力の向上」(17.9%)が最も多く、次いで「ICTを活用した業務改善・改革」(16.4%)となっている。

事業課題に対する今後の取組意向(小売業)



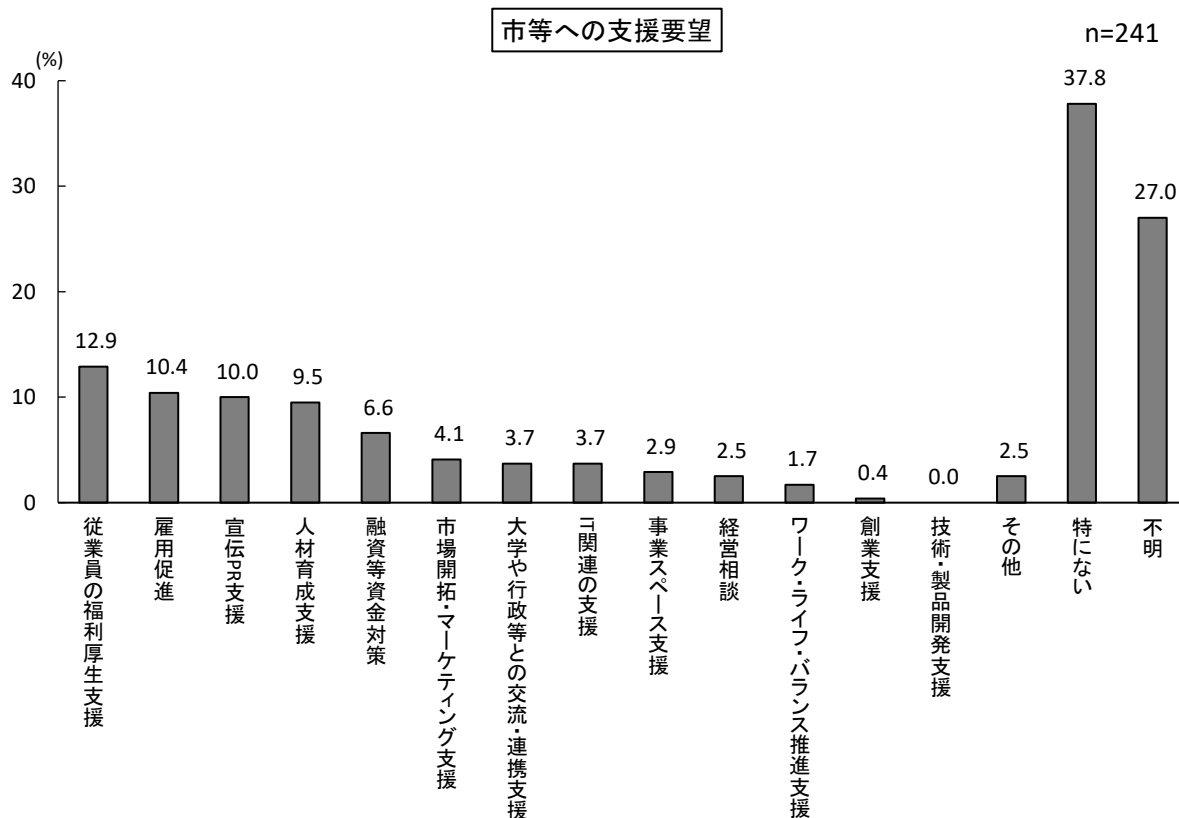
- ・事業課題に対する今後の取組意向について、医療・福祉では、「地域内の同業種企業による連携」(30.6%)が最も多くなっている。

事業課題に対する今後の取組意向 (医療・福祉)



問8 (3) 今後、市等に対してどのような支援を望みますか (〇は3つまで)。

- ・市等への支援要望では、「特にない」(37.8%)が突出しており、次いで「従業員の福利厚生支援」(12.9%)、「雇用促進」(10.4%)となっている。
- ・市等への支援要望について、業種別に見ると、医療・福祉で「従業員の福利厚生支援」(30.6%)が多くなっている。



市等への支援要望 (業種別)

	合計	従業員の福利厚生支援	雇用促進	宣伝PR支援	人材育成支援	融資等資金対策	市場開拓・マーケティング支援	大学や行政等との交流・連携支援	IT関連の支援	事業スペース支援	経営相談	ワーク・ライフ・バランス推進支援	創業支援	技術・製品開発支援	その他	特にない	不明
全体	241	12.9	10.4	10.0	9.5	6.6	4.1	3.7	3.7	2.9	2.5	1.7	0.4	0.0	2.5	37.8	27.0
小売業	67	10.4	11.9	14.9	4.5	6.0	3.0	0.0	6.0	3.0	6.0	1.5	0.0	0.0	3.0	38.8	23.9
飲食サービス業	44	6.8	6.8	13.6	4.5	6.8	0.0	2.3	2.3	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	43.2	27.3
生活関連サービス業	46	8.7	4.3	4.3	6.5	2.2	4.3	2.2	2.2	4.3	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	41.3	39.1
医療・福祉	36	30.6	25.0	5.6	25.0	13.9	8.3	8.3	2.8	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8	27.8	13.9
その他	45	13.3	6.7	8.9	13.3	6.7	6.7	8.9	4.4	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	6.7	37.8	24.4

(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

## 6 産業・まちづくりに関する市民向け 調査概要

### (1) 調査項目

#### ①回答者属性

性別、年代、居住年数、居住形態、家族構成、通勤・通学先、居住町丁目、インターネット利用状況

#### ②仕事や起業について

職業、就職理由、市内就職意向、起業意向、起業したい理由、起業したくない理由、朝霞市にふさわしいと思われるコミュニティビジネス

#### ③お住まいの地域について

居住満足度、生活の中での困りごと、望ましい街の姿

#### ④日ごろの地域との関わりについて

地域団体活動への参加経験、地域活動などについての考え方や関心、関心のある活動及び参加してもよい活動

#### ⑤日頃のお買物について

日頃利用する買物場所とその理由

#### ⑥自宅周辺の商店街等について

商店街の利用頻度、買物・飲食時間帯、商店街利用目的、商店街の不便点、商店街を利用しない理由、地域の商業・商店街発展のために必要なこと、欲しいと思う商品やサービス、買い物支援サービス・配達サービスの利用経験、利用している買い物支援サービス、将来的に利用したいと思う買い物支援サービス

#### ⑦朝霞市のまちや産業について

朝霞市の産業イメージと重要性、朝霞市についての興味、祭りやイベントへの参加状況とその理由、祭りやイベントの情報入手経路

### (2) 調査仕様

- ①調査地域 朝霞市全域
- ②調査対象 朝霞市に居住する18歳以上の男女個人
- ③標本数 1,487サンプル（宛先不明(13通)を含む総発行数は1,500サンプル）
- ④抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- ⑤調査方法 郵送配布・回収法
- ⑥調査期間 平成29年9月15日～10月4日

### (3) 有効回収数・回収率

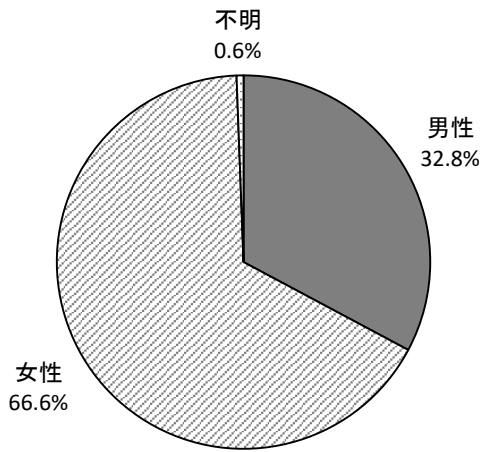
500サンプル（33.6%）



## 7 産業・まちづくりに関する市民向け 調査結果

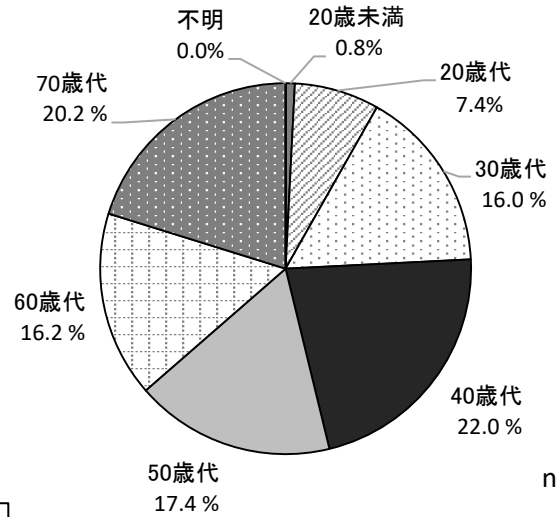
### (1) 基本属性

性別



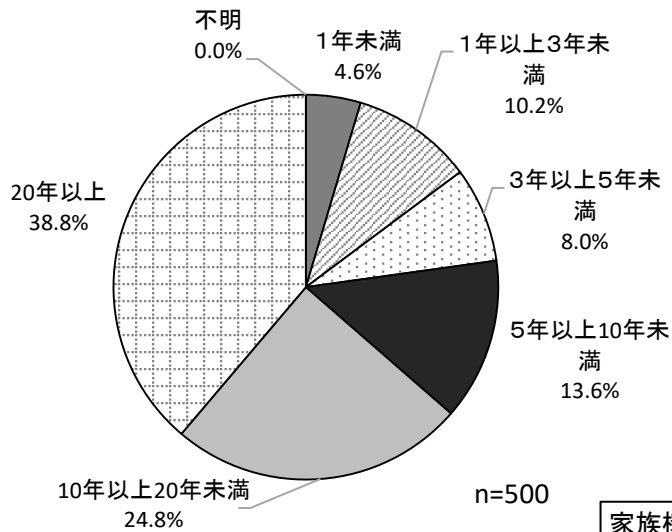
n=500

年代



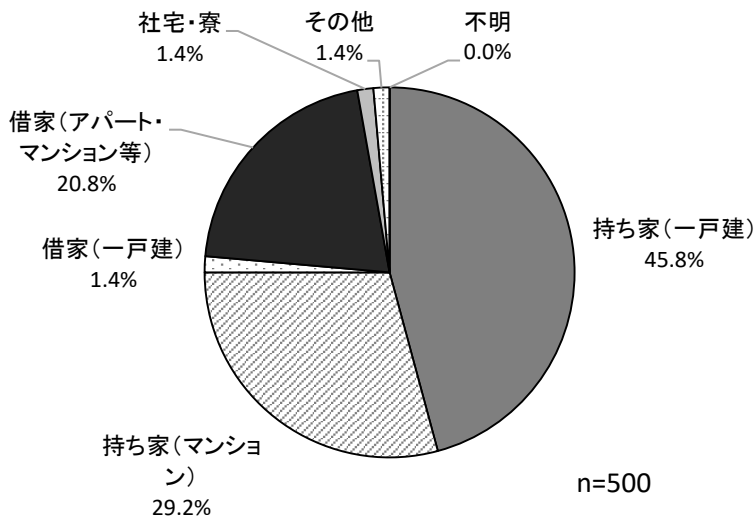
n=500

居住年数



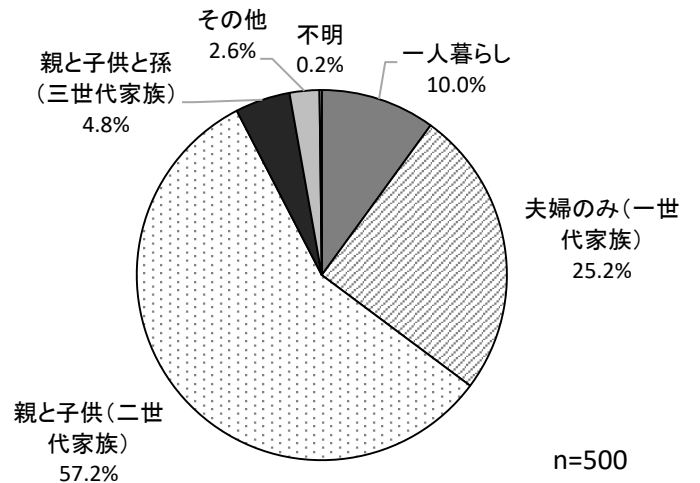
n=500

居住形態



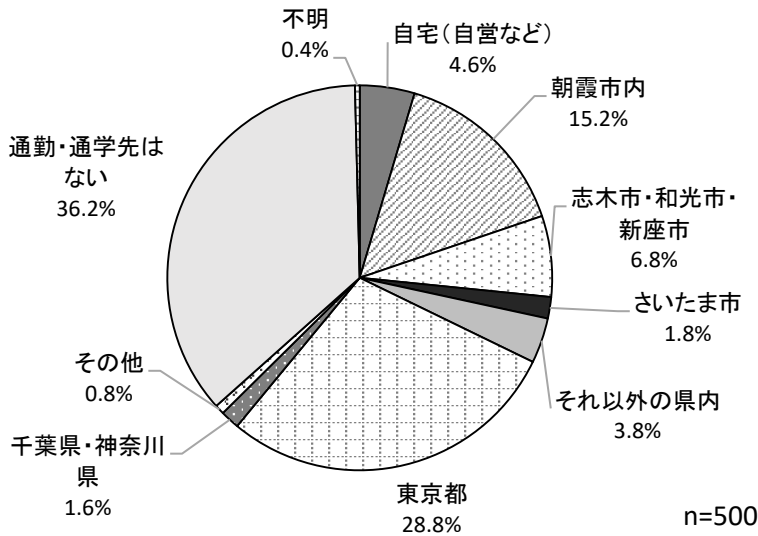
n=500

家族構成

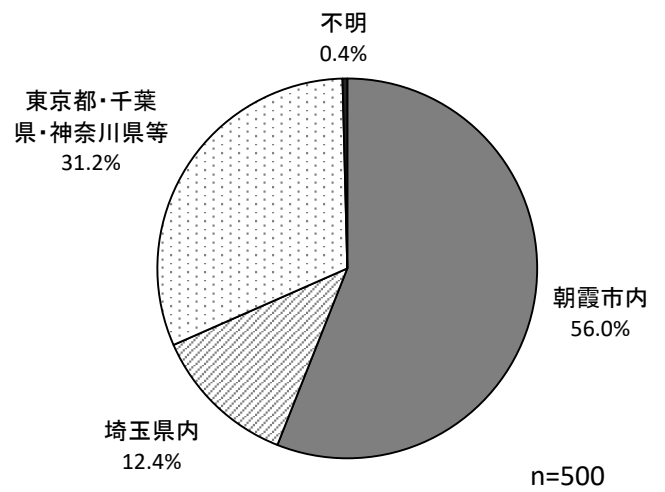


n=500

通勤・通学先



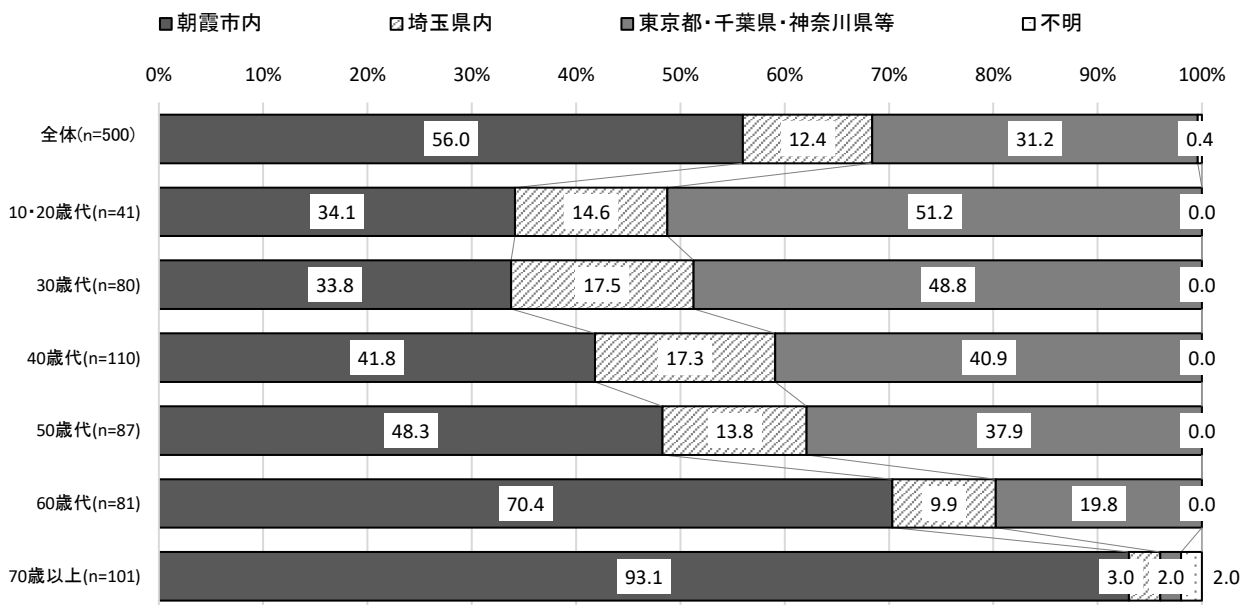
生活圏



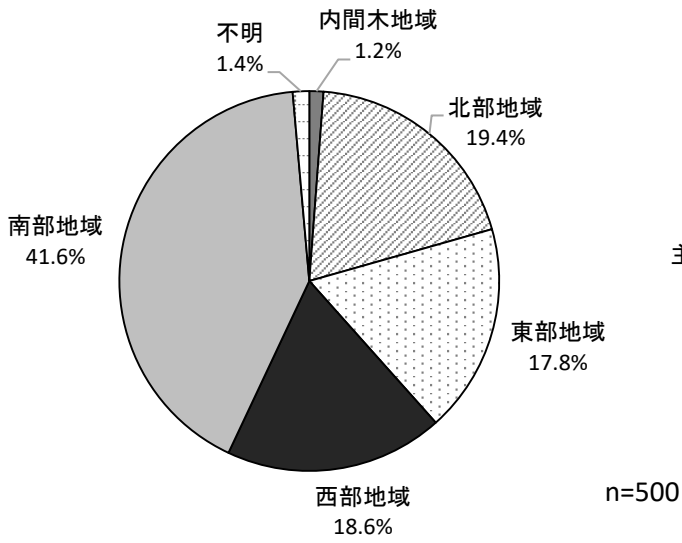
※「生活圏」について…

- ・「朝霞市内」: 通勤・通学先について『自宅』、『朝霞市内』、『通勤・通学先はない』と回答してあるもの。
- ・「埼玉県内」: 通勤・通学先について『志木市・和光市・新座市』、『さいたま市』、『それ以外の県内』と回答してあるもの。
- ・「東京都・千葉県・神奈川県等」: 通勤・通学先について『東京都』、『千葉県・神奈川県』、『その他』と回答してあるもの。

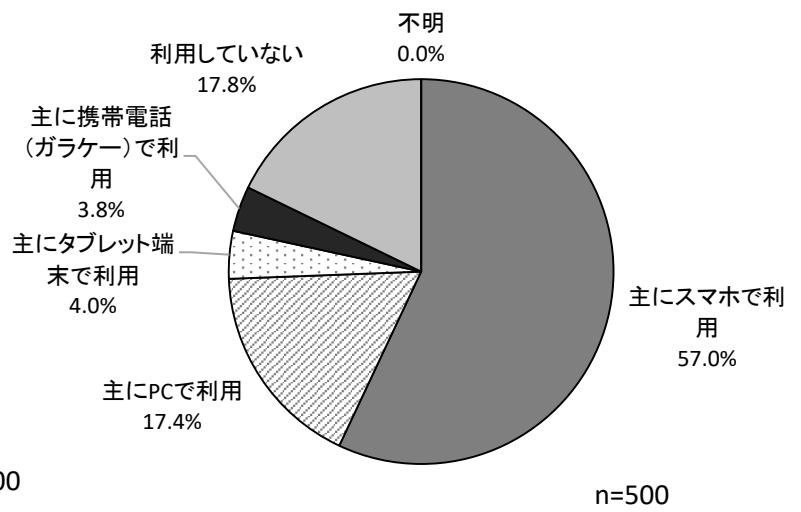
生活圏(年代別)



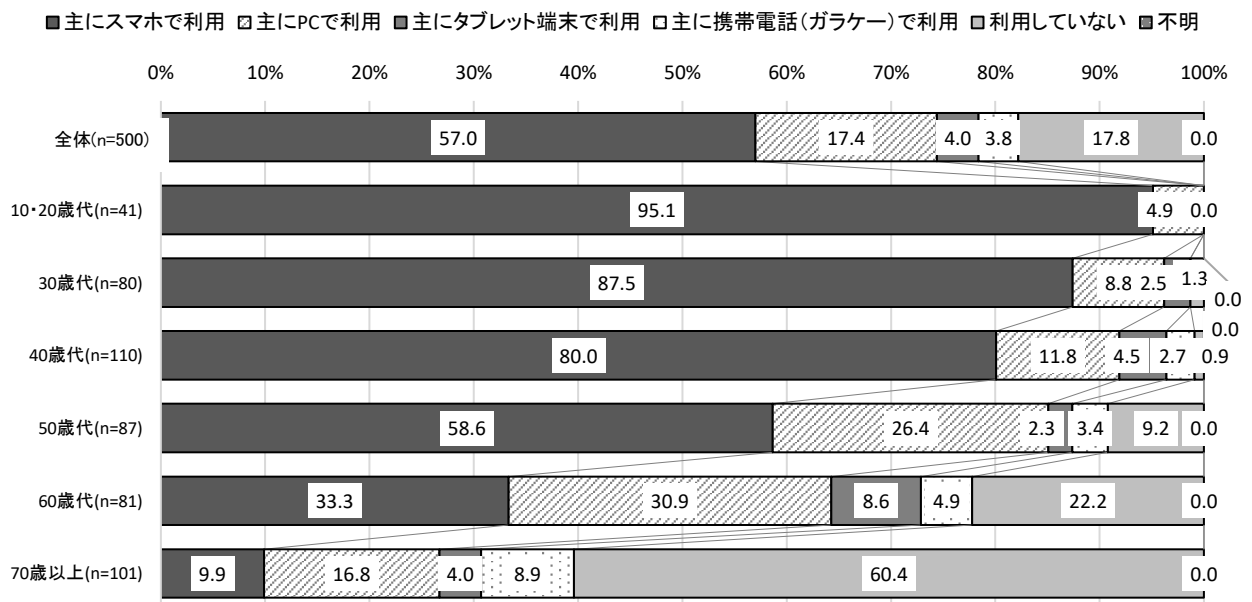
地域



インターネット利用状況



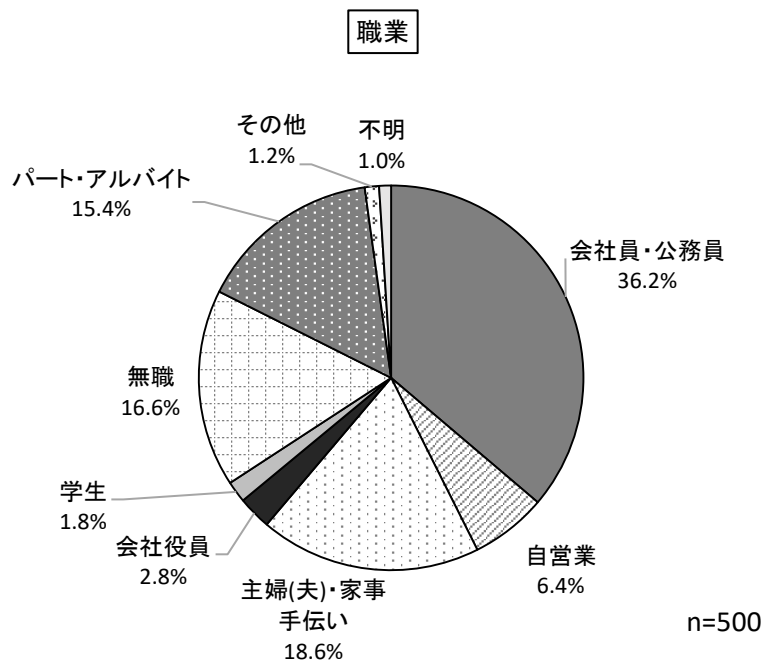
インターネット利用状況(年代別)



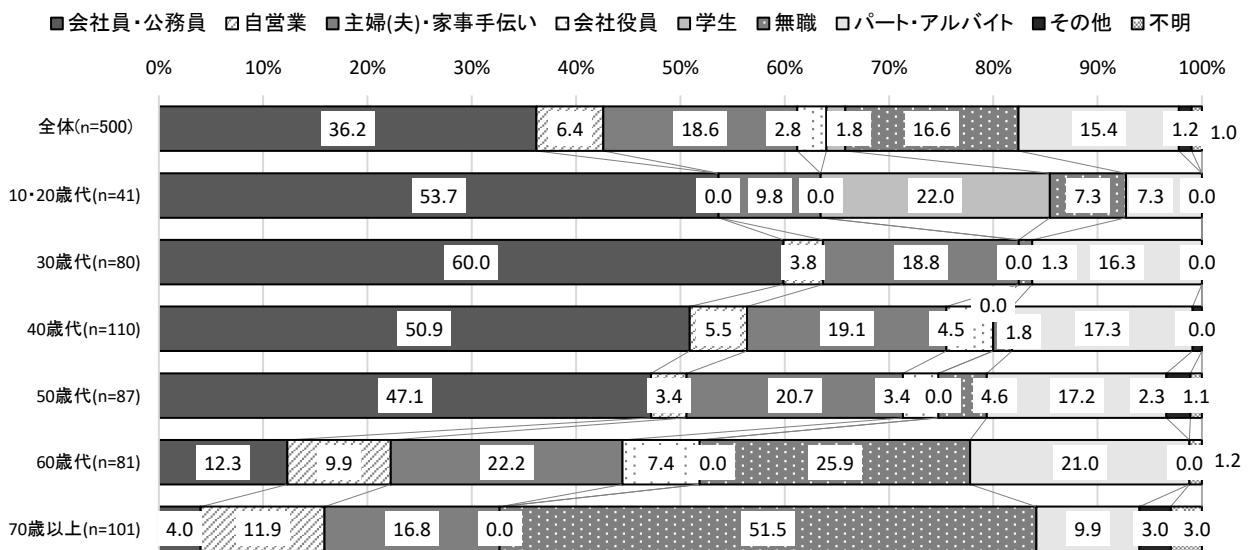
## (2) 仕事や起業について

問9 あなたの職業は（○印は1つ）。

- ・職業では、「会社員・公務員」（36.2%）が最も多くなっており、次いで「主婦（夫）・家事手伝い」（18.6%）、「無職」（16.6%）となっている。
- ・職業について、年代別に見ると、50歳代までは「会社員・公務員」の割合が大きく、60歳代以上になると「無職」が多くなっている。

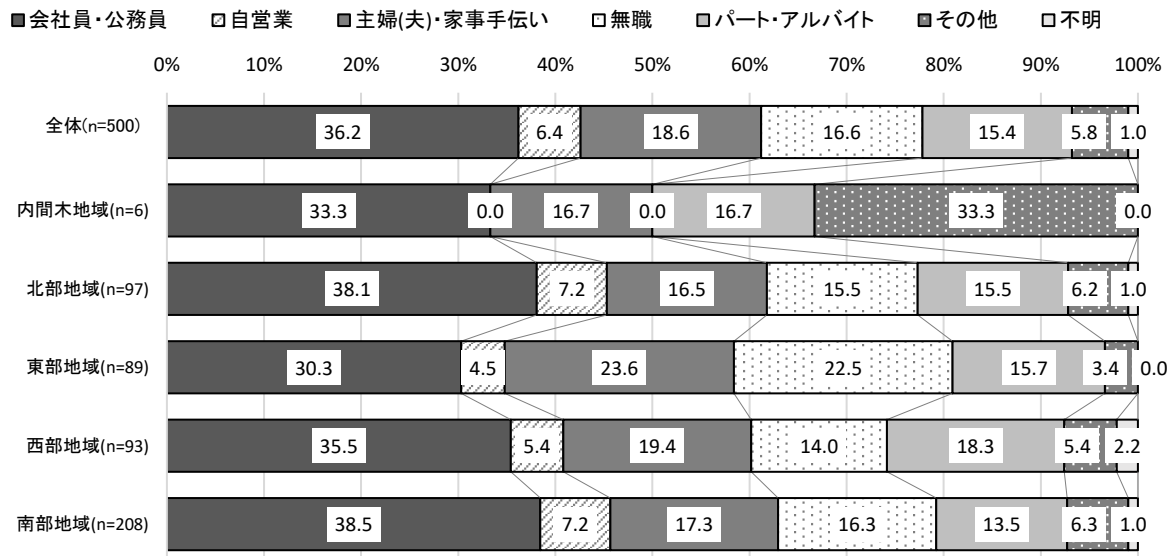


**職業(年代別)**



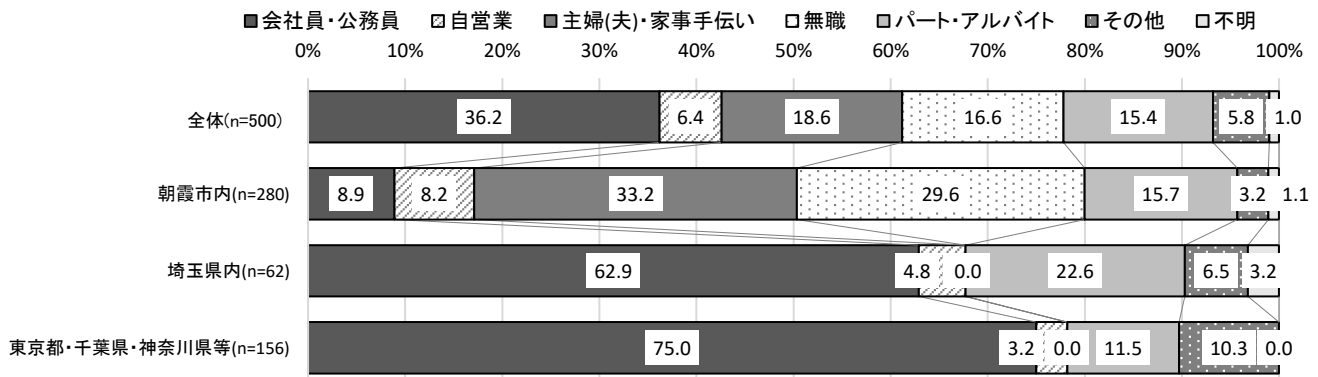
- ・職業について、地域別に見ると、南部地域で「会社員・公務員」(38.5%)がやや多くなっている。
- ・職業について、生活圏別に見ると、「東京都・千葉県・神奈川県等」といった県外を生活圏としている市民の7割以上が「会社員・公務員」となっており、生活圏が朝霞市内では「主婦(夫)・家事手伝い」及び「無職」が多くなっている。

職業(地域別)



(注)表側の「不明」は除く。サンプル数 10 未満は参考値扱いとする。

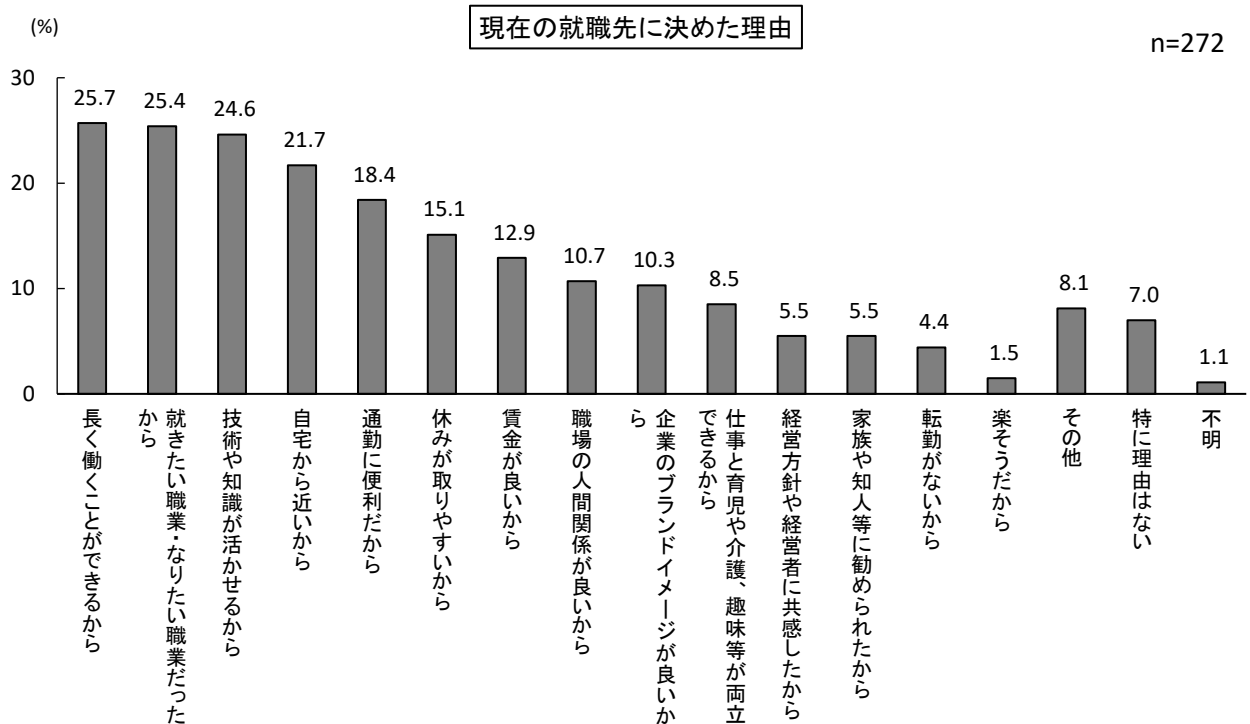
職業(生活圏別)



(注)表側の「不明」は除く。

問9\_1 [前問8で1. 4. 7のいずれかを回答された方のみお答えください] 現在の就職先で働くことを決めた理由は何ですか (〇印はいくつでも)。

- ・現在の就職先で働くことを決めた理由では、「長く働くことができるから」(25.7%)が最も多く、次いで「就きたい職業・なりたい職業だったから」(25.4%)、「技術や知識が活かせるから」(24.6%)となっている。
- ・現在の就職先で働くことを決めた理由について、年代別に見ると、若年層に該当する10・20歳代では「休みが取りやすいから」や「職場の人間関係が良いから」、「仕事と育児や介護、趣味等が両立できるから」、「転勤がないから」(各20.0%)などもやや多くなっている。一方、30歳代や40歳代では、「就きたい職業・なりたい職業だったから」が最も多くなっている。



現在の就職先に決めた理由(年代別)

	合計	長く働くことができるから	就きたい職業・なりたい職業だったから	技術や知識が活かせるから	自宅から近いから	通勤に便利だから	休みが取りやすいから	賃金が良いから	職場の人間関係が良いから	企業のブランドイメージが良いから	仕事と育児や介護、趣味等が両立できるから	経営方針や経営者に共感したから	家族や知人等に勧められたから	転勤がないから	楽そうだから	その他	特に理由はない	不明
全体	272	25.7	25.4	24.6	21.7	18.4	15.1	12.9	10.7	10.3	8.5	5.5	5.5	4.4	1.5	8.1	7.0	1.1
10・20歳代	25	24.0	16.0	16.0	8.0	16.0	20.0	12.0	20.0	4.0	20.0	12.0	8.0	20.0	0.0	12.0	4.0	0.0
30歳代	61	14.8	29.5	23.0	16.4	13.1	14.8	8.2	14.8	8.2	6.6	4.9	6.6	3.3	3.3	4.9	11.5	0.0
40歳代	80	27.5	31.3	28.8	25.0	16.3	18.8	17.5	7.5	13.8	8.8	3.8	2.5	3.8	0.0	5.0	2.5	2.5
50歳代	59	28.8	27.1	25.4	20.3	28.8	8.5	15.3	8.5	18.6	6.8	8.5	6.8	1.7	1.7	8.5	8.5	1.7
60歳代	33	27.3	15.2	27.3	24.2	18.2	15.2	12.1	6.1	0.0	6.1	3.0	6.1	0.0	0.0	15.2	9.1	0.0
70歳以上	14	50.0	7.1	14.3	50.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1	0.0

(注)網掛けは20%以上のもの。

- ・現在の就職先に決めた理由について、職業別に見ると、会社員・公務員では「長く働くことができるから」(27.6%)や「就きたい職業・なりたい職業だったから」(30.4%)が多く、パート・アルバイトでは「自宅が近いから」(48.1%)が最も多くなっている。
- ・現在の就職先に決めた理由について、生活圏別に見ると、朝霞市内を生活圏としている市民は「自宅が近いから」(55.4%)といった理由が多く、東京都・千葉県・神奈川県を生活圏としている市民は「就きたい職業・なりたい職業だったから」(29.1%)が多くなっている。

現在の就職先に決めた理由(職業別)

	合計	長く働くことができるから	就きたい職業・なりたい職業だったから	技術や知識が活かせるから	自宅が近いから	通勤に便利だから	休みが取りやすいから	賃金が良いから	職場の人間関係が良いから	企業のブランドイメージが良いから	仕事と育児や介護、趣味等が両立できるから	経営方針や経営者に共感したから	家族や知人等に勧められたから	転職がないから	楽そうだから	その他	特に理由はない	不明
全体	272	25.7	25.4	24.6	21.7	18.4	15.1	12.9	10.7	10.3	8.5	5.5	5.5	4.4	1.5	8.1	7.0	1.1
会社員・公務員	181	27.6	30.4	29.3	11.6	14.4	8.3	13.3	9.9	11.6	5.0	6.6	5.0	5.5	1.7	6.6	7.2	1.7
パート・アルバイト	77	23.4	14.3	15.6	48.1	29.9	33.8	14.3	14.3	9.1	18.2	2.6	6.5	2.6	1.3	9.1	3.9	0.0
その他	14	14.3	21.4	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	21.4	21.4	0.0

(注)網掛けは20%以上のもの。

現在の就職先に決めた理由(生活圏別)

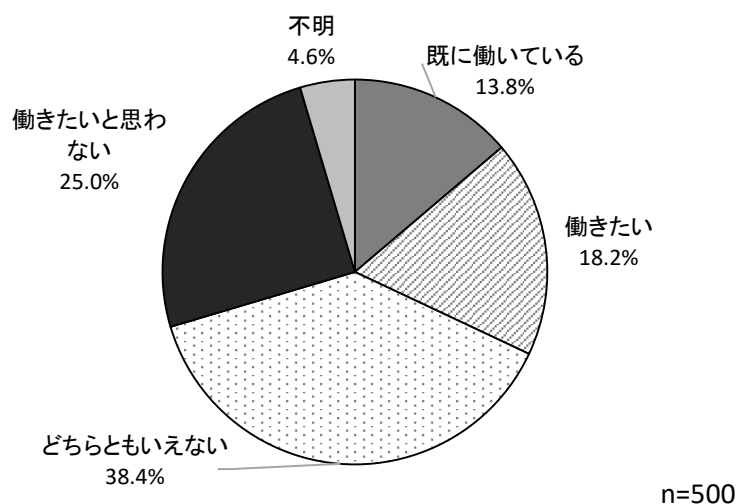
	合計	長く働くことができるから	就きたい職業・なりたい職業だったから	技術や知識が活かせるから	自宅が近いから	通勤に便利だから	休みが取りやすいから	賃金が良いから	職場の人間関係が良いから	企業のブランドイメージが良いから	仕事と育児や介護、趣味等が両立できるから	経営方針や経営者に共感したから	家族や知人等に勧められたから	転職がないから	楽そうだから	その他	特に理由はない	不明
全体	272	25.7	25.4	24.6	21.7	18.4	15.1	12.9	10.7	10.3	8.5	5.5	5.5	4.4	1.5	8.1	7.0	1.1
朝霞市内	74	21.6	18.9	16.2	55.4	20.3	21.6	6.8	9.5	4.1	14.9	4.1	2.7	2.7	2.7	9.5	4.1	0.0
埼玉県内	56	23.2	25.0	30.4	25.0	32.1	19.6	10.7	12.5	8.9	7.1	7.1	12.5	3.6	0.0	7.1	7.1	0.0
東京都・千葉県・神奈川県等	141	28.4	29.1	27.0	2.8	12.1	9.9	17.0	10.6	14.2	5.7	5.7	4.3	5.7	1.4	7.8	8.5	2.1

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

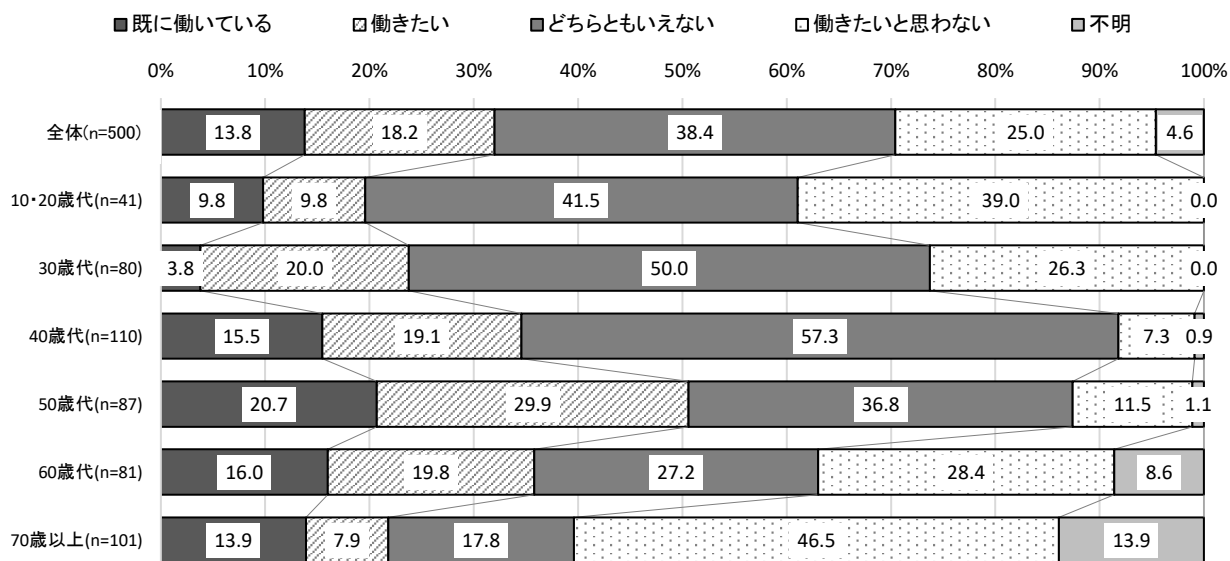
問10 あなたは将来、市内で働きたいと思いますか（○印は1つ）。

- ・将来の市内での就職意向では、「どちらともいえない」（38.4%）が最も多く、次いで「働きたいと思わない」（25.0%）となっている。
- ・将来の市内での就職意向について、年代別に見ると、30歳代から50歳代で「働きたい」とする意向が高く、10・20歳代では意向が低くなっている。

市内での就職意向



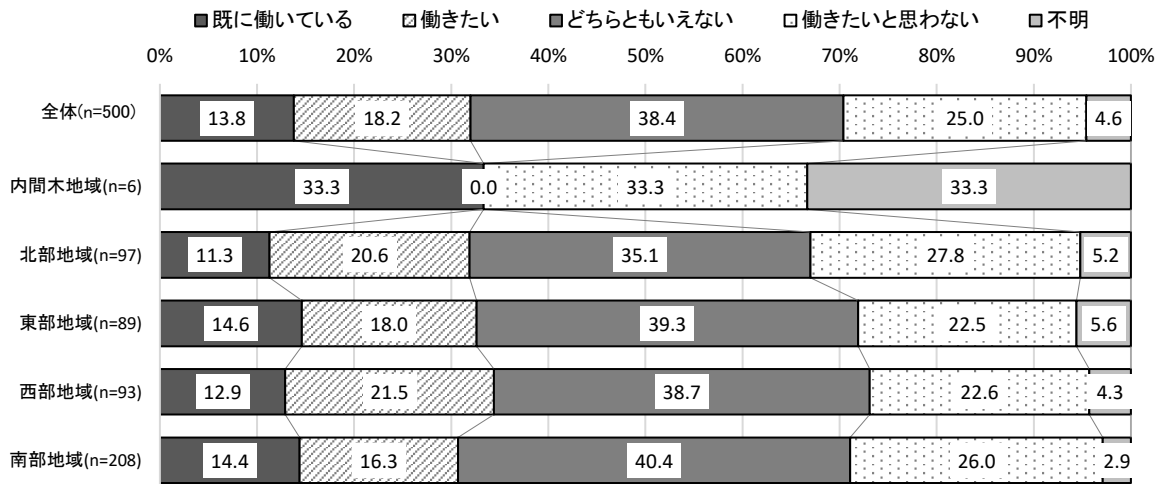
市内での就職意向(年代別)





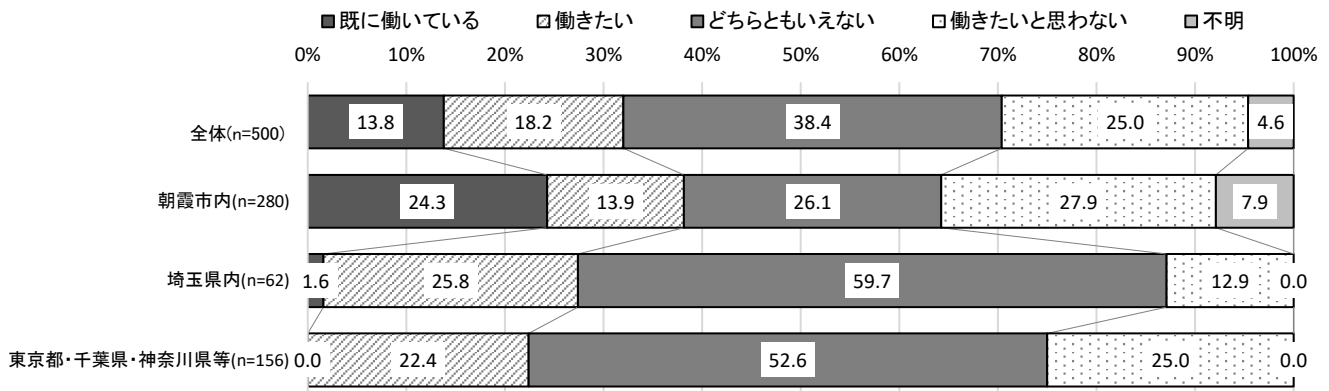
- ・将来の市内での就職意向について、地域別に見ると、西部地域と北部地域で「働きたい」が2割を超え、多くなっている。
- ・将来の市内での就職意向について、生活圏別に見ると、埼玉県内、東京都・千葉県・神奈川県等において、2割を超え、多くなっている。
- ・将来の市内での就職意向について、職業別で見ると、主婦（夫）・家事手伝いで「働きたい」（28.0%）が高くなっている。

### 市内での就職意向（地域別）



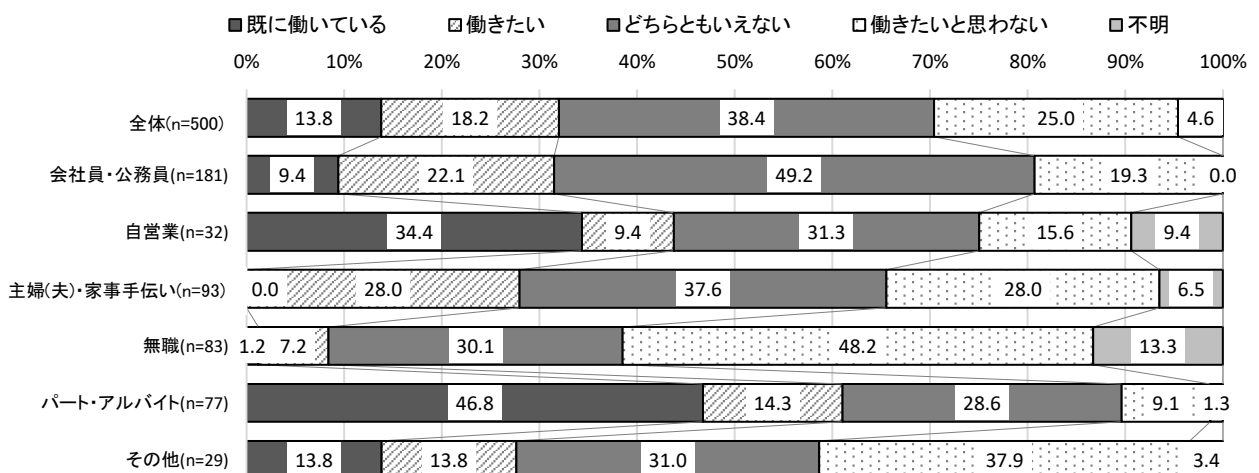
(注)表側の「不明」は除く。サンプル数 10 未満は参考値扱いとする。

### 市内での就職意向（生活圏別）



(注)表側の「不明」は除く。

### 市内での就職意向（職業別）

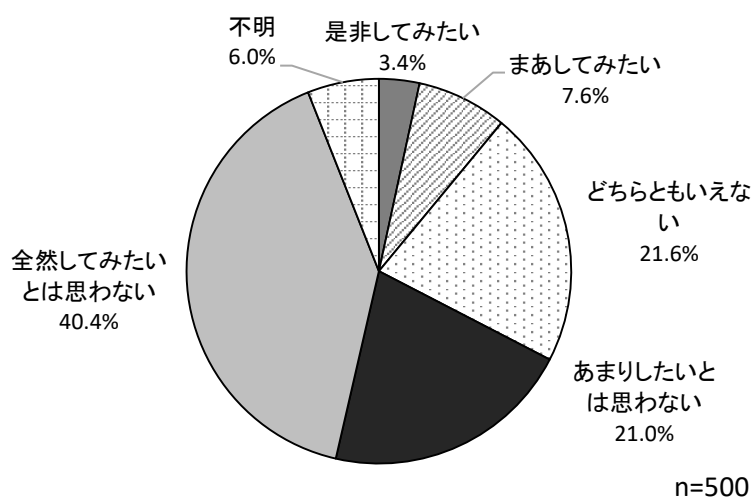


(注)表側の「不明」は除く。

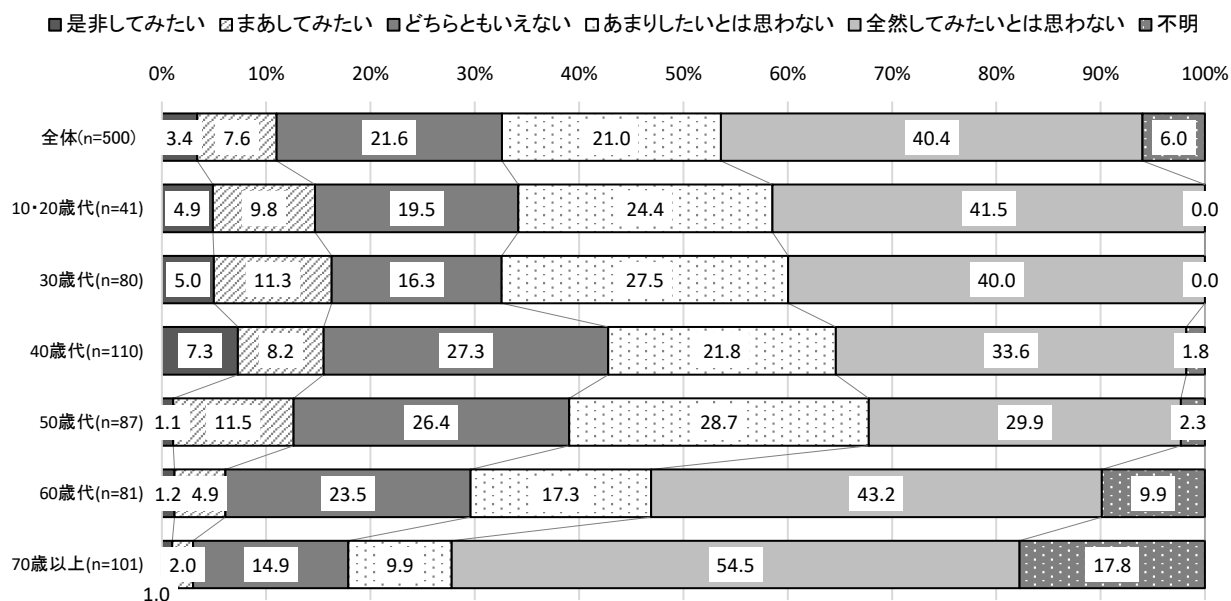
問 11 あなたは将来起業（自営業の方は新分野へ進出）をする意向はありますか（○印は1つ）。

- 将来の起業意向では、「全然してみたいとは思わない」（40.4%）が最も多く、次いで「あまりしたいとは思わない」（21.0%）となっており、起業意向は低くなっている。
- 将来の起業意向について、年代別に見ると、30歳代で「是非してみたい」と「まあしてみたい」の合計割合（計16.3%）が最も高くなっている。

起業意向

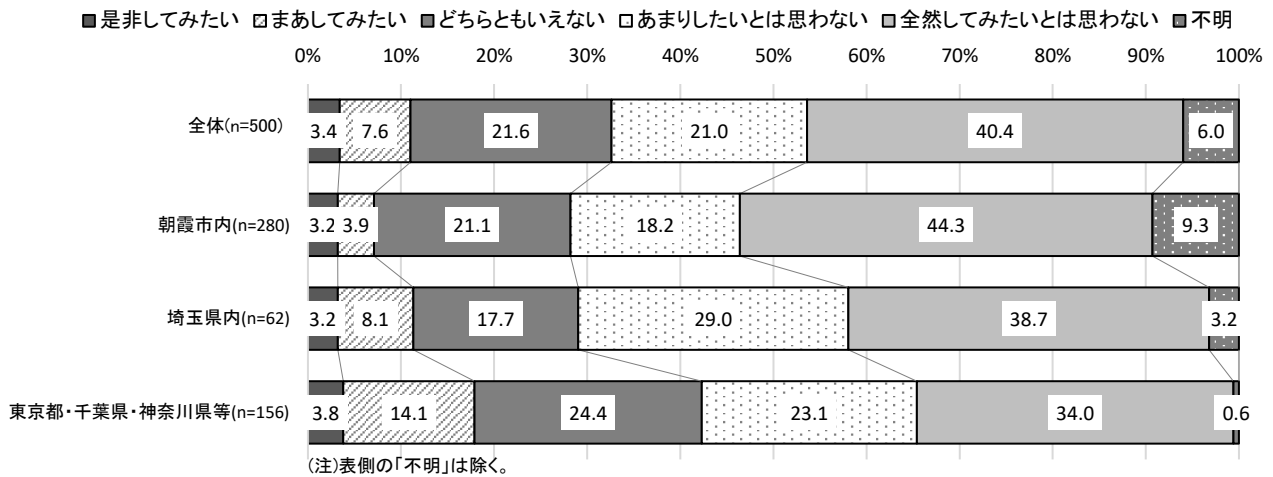


起業意向(年代別)

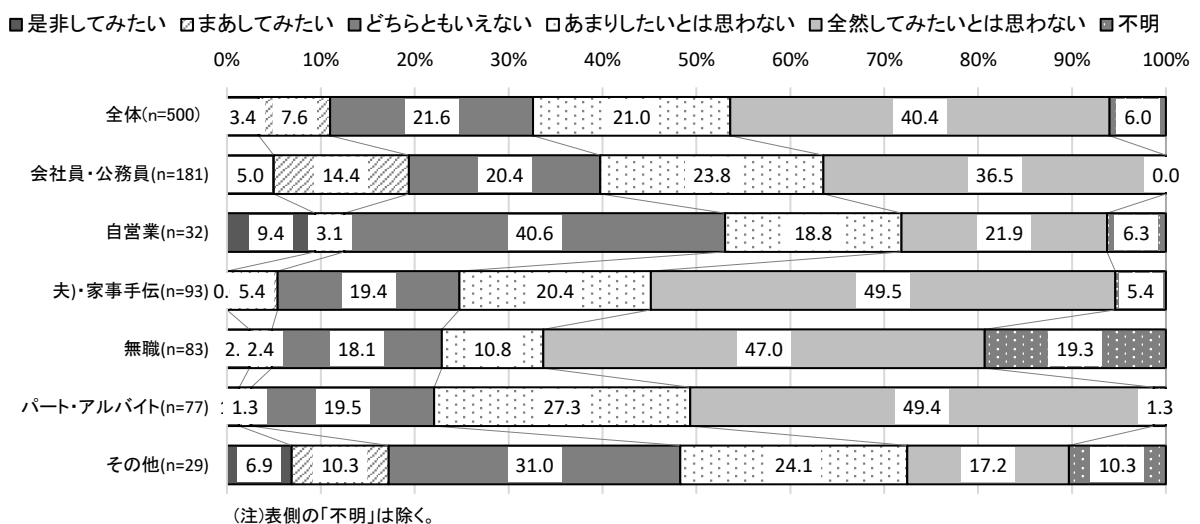


- ・将来の起業意向について、生活圏別に見ると、東京都・千葉県・神奈川県等で「是非してみたい」「まあしてみたい」の合計割合(計17.9%)が最も高くなっている。
- ・将来の起業意向について、職業別に見ると、会社員・公務員で「是非してみたい」「まあしてみたい」の合計割合(計19.4%)が最も多くなっている。また「主婦(夫)・家事手伝い」でも「まあしてみたい」が5.4%とやや多くなっている。

### 起業意向(生活圏別)

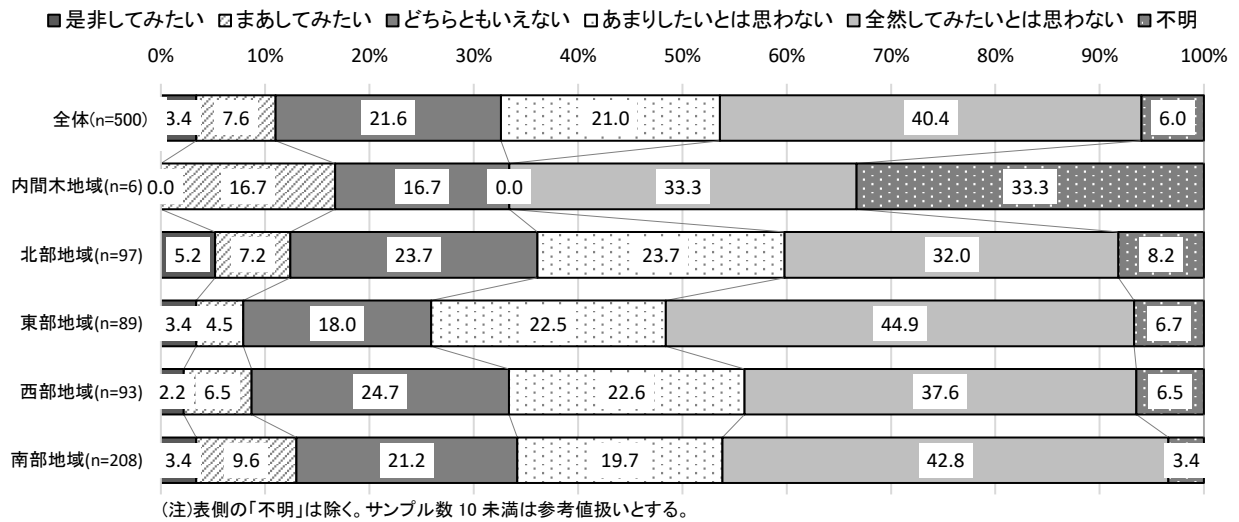


### 起業意向(職業別)



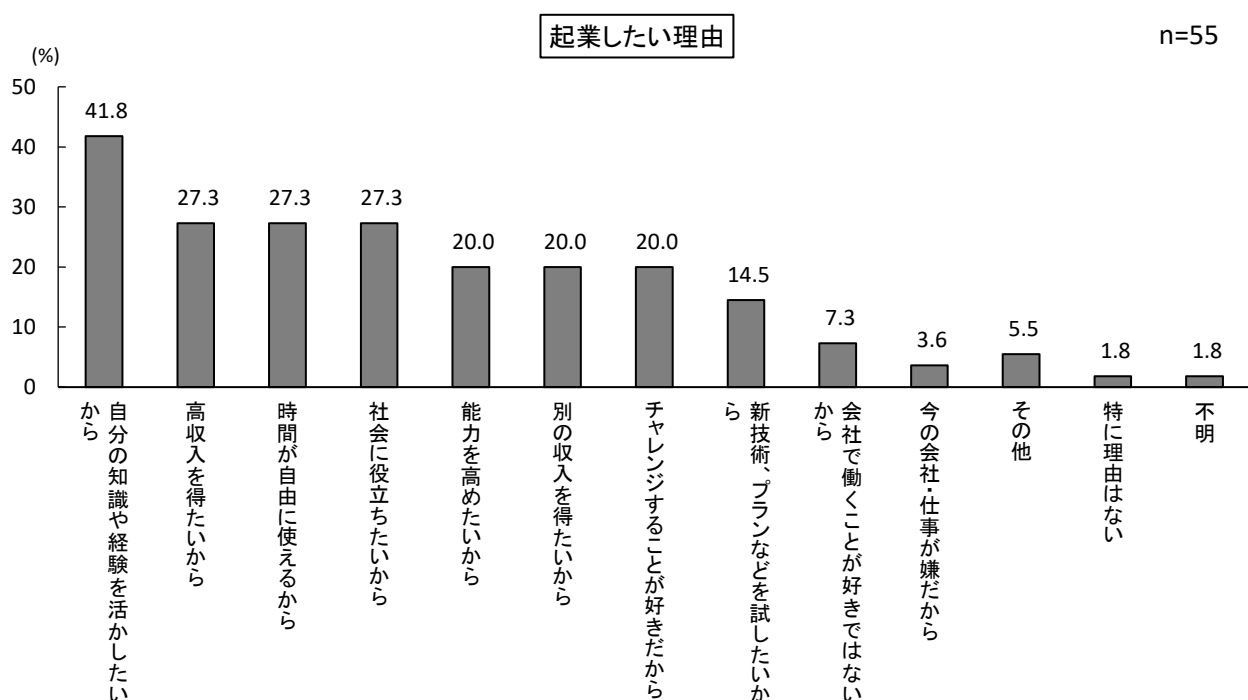
- ・将来の起業意向について、地域別に見ると、北部地域や南部地域で「是非してみたい」「まあしてみたい」の合計割合(計 12.4%・13.0%)がやや高くなっている。逆に東部地域で「全然してみたいとは思わない」(44.9%)が多くなっている。

起業意向(地域別)



問 11\_1 あなたがそう思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・起業してみたい理由では、「自分の知識や経験を活かしたいから」(41.8%)が最も多くなっており、次いで「高収入を得たいから」、「時間が自由に使えるから」と「社会に役立ちたい」(各 27.3%)となっている。
- ・起業してみたい理由について、年代別に見ると、40 歳代では「自分の知識や経験を活かしたいから」(52.9%)が多く、50 歳代では「社会に役立ちたいから」(54.5%)が多くなっている。



起業したい理由(年代別)

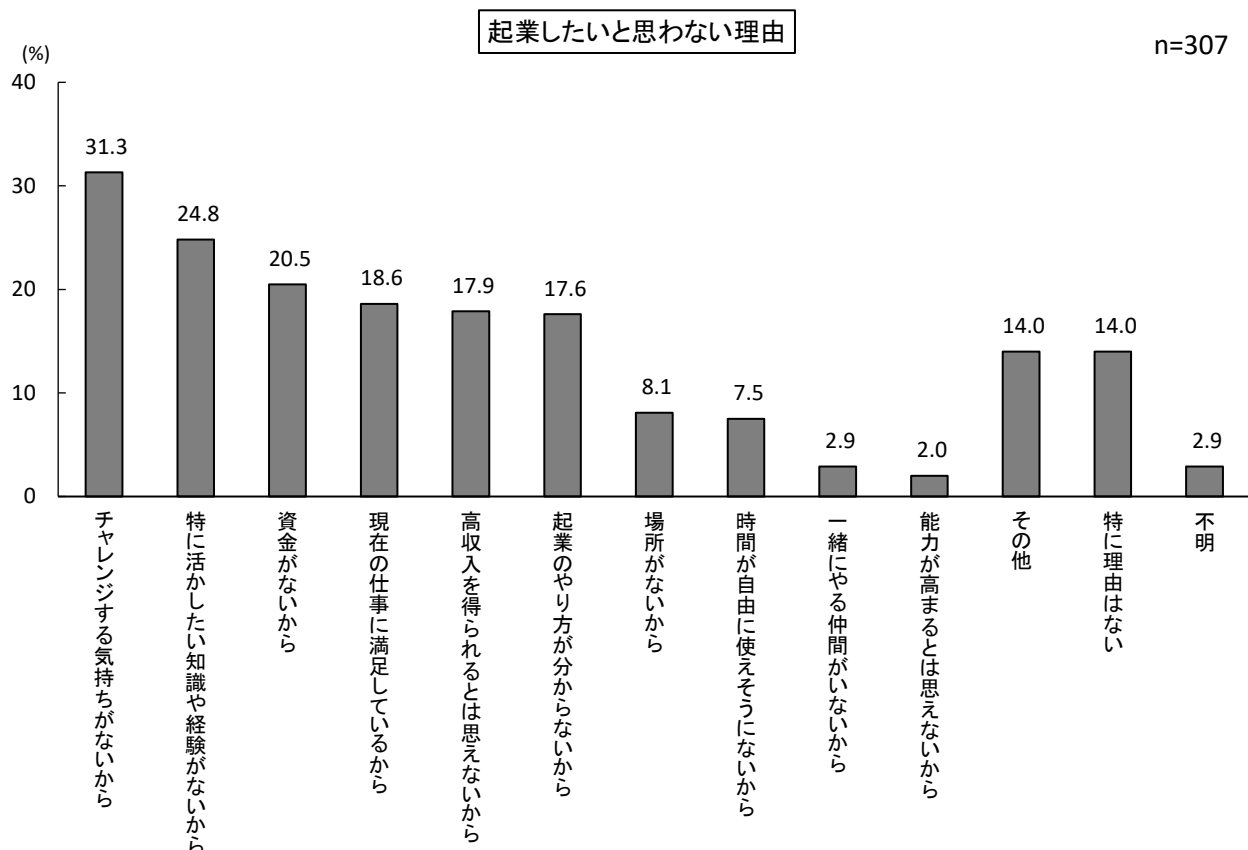
(%)

	合計	自分の知識や経験を活かしたいから	高収入を得たいから	時間が自由に使えるから	社会に役立ちたいから	能力を高めたいから	別の収入を得たいから	チャレンジすることが好きだから	新技術、プランなどを試したいから	会社で働くことが好きではないから	今の会社・仕事が嫌だから	その他	特に理由はない	不明
全体	55	41.8	27.3	27.3	27.3	20.0	20.0	20.0	14.5	7.3	3.6	5.5	1.8	1.8
10・20歳代	6	50.0	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
30歳代	13	30.8	38.5	46.2	23.1	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0
40歳代	17	52.9	35.3	11.8	29.4	35.3	17.6	29.4	17.6	17.6	5.9	5.9	5.9	0.0
50歳代	11	27.3	18.2	36.4	54.5	0.0	45.5	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
60歳代	5	60.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数 10 未満は参考値扱いとする。

問 11\_2 あなたがそう思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・起業したいと思わない理由では、「チャレンジする気持ちがないから」(31.3%)が最も多く、次いで「特に活かしたい知識や経験がないから」(24.8%)となっている。
- ・起業したいと思わない理由について、年代別に見ると、10・20歳代で「チャレンジする気持ちがないから」(59.3%)が半数を超え多く、50歳代では「特に活かしたい知識や経験がないから」(39.2%)が多いという特徴が見られる。



起業したいと思わない理由(年代別)

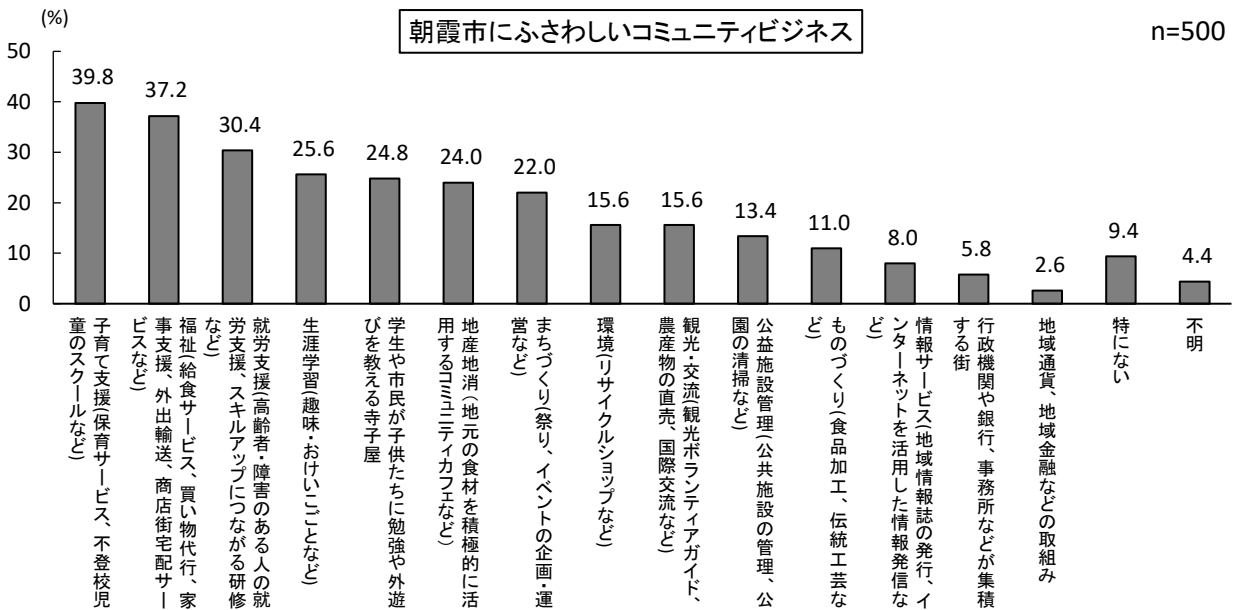
(%)

	合計	チャレンジする気持ちがないから	特に活かしたい知識や経験がないから	資金がないから	現在の仕事に満足しているから	高収入を得られるとは思えないから	起業のやり方が分からないから	場所がないから	時間が自由に使えるそうにないから	一緒にやる仲間がないから	能力が高まるとは思えないから	その他	特に理由はない	不明
全体	307	31.3	24.8	20.5	18.6	17.9	17.6	8.1	7.5	2.9	2.0	14.0	14.0	2.9
10・20歳代	27	59.3	25.9	25.9	14.8	18.5	33.3	11.1	0.0	3.7	3.7	3.7	11.1	0.0
30歳代	54	27.8	29.6	25.9	27.8	29.6	27.8	9.3	5.6	1.9	3.7	7.4	7.4	0.0
40歳代	61	36.1	34.4	26.2	27.9	24.6	26.2	6.6	9.8	1.6	1.6	4.9	6.6	1.6
50歳代	51	33.3	39.2	35.3	19.6	27.5	19.6	17.6	11.8	7.8	2.0	5.9	11.8	0.0
60歳代	49	24.5	16.3	10.2	10.2	6.1	8.2	2.0	12.2	2.0	0.0	20.4	24.5	0.0
70歳以上	65	21.5	6.2	4.6	9.2	3.1	0.0	4.6	3.1	1.5	1.5	33.8	21.5	12.3

(注)網掛けは 20%以上のもの。

問 12 近年、地域が抱えるさまざまな課題に対して、地域の資源を活かし、解決するコミュニティビジネスが注目されています。朝霞市にふさわしいコミュニティビジネスのテーマがあるとすればどのようなものが良いと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・朝霞市にふさわしいコミュニティビジネスでは、「子育て支援(保育サービス、不登校児のスクールなど)」(39.8%)が最も多く、次いで「福祉(給食サービス、買い物代行、家事支援、外出輸送、商店街宅配サービスなど)」(37.2%)となっており、市民生活に係るものが多くなっている。
- ・朝霞市にふさわしいコミュニティビジネスについて、年代別に見ると、10・20歳代、30歳代、40歳代などで「子育て支援(保育サービス、不登校児のスクールなど)」が多く、50歳代、60歳代、70歳代では「福祉(給食サービス、買い物代行、家事支援、外出輸送、商店街宅配サービスなど)」が多くなっている。



	合計	子育て支援(保育サービス、不登校児のスクールなど)	福祉(給食サービス、買い物代行、家事支援、外出輸送、商店街宅配サービスなど)	就労支援(高齢者・障害のある人の就労支援、スキルアップにつながる研修など)	生涯学習(趣味・おけいこごとなど)	学生や市民が子供たちに勉強や外遊を教える寺子屋	地産地消(地元の食材を積極的に活用するミニカフェなど)	まちづくり(祭り、イベントの企画・運営など)	環境(リサイクルショップなど)	観光・交流(観光ボランティアガイド、農産物の直売、国際交流など)	公園の清掃など	公益施設管理(公共施設の管理、公園の清掃など)	ものづくり(食品加工、伝統工芸など)	情報サービス(地域情報誌の発行、インターネットを活用した情報発信など)	行政機関や銀行、事務所などが集積する街	地域通貨、地域金融などの取組み	特にない	不明
全体	500	39.8	37.2	30.4	25.6	24.8	24.0	22.0	15.6	15.6	13.4	11.0	8.0	5.8	2.6	9.4	4.4	4.4
10・20歳代	41	58.5	22.0	17.1	19.5	34.1	14.6	39.0	9.8	14.6	14.6	14.6	14.6	7.3	4.9	0.0	4.9	2.4
30歳代	80	56.3	35.0	25.0	18.8	26.3	22.5	27.5	13.8	16.3	11.3	10.0	8.8	7.5	2.5	11.3	0.0	0.0
40歳代	110	40.0	34.5	26.4	20.0	22.7	24.5	20.0	9.1	16.4	12.7	12.7	11.8	6.4	4.5	9.1	4.5	4.5
50歳代	87	39.1	44.8	40.2	34.5	27.6	25.3	28.7	23.0	19.5	14.9	13.8	8.0	5.7	3.4	8.0	1.1	1.1
60歳代	81	30.9	40.7	38.3	28.4	22.2	24.7	18.5	14.8	13.6	9.9	8.6	6.2	2.5	0.0	8.6	6.2	6.2
70歳以上	101	26.7	38.6	29.7	29.7	21.8	26.7	9.9	20.8	12.9	16.8	7.9	5.0	6.9	3.0	11.9	9.9	9.9

(注)網掛けは20%以上のもの。

- ・朝霞市にふさわしいコミュニティビジネスについて、地域別に見ると、どの地域においても、「子育て支援(保育サービス、不登校児のスクールなど)」、「福祉(給食サービス、買い物代行、家事支援、外出輸送、商店街宅配サービスなど)」がそれぞれ3割を超え高くなっている。また、東部地域、西部地域では「福祉(給食サービス、買い物代行、家事支援、外出輸送、商店街宅配サービスなど)」、南部地域では「子育て支援(保育サービス、不登校児のスクールなど)」が最も多い。
- ・また西部地域では「就労支援(高齢者・障害のある人の就労支援、スキルアップにつながる研修など)」(39.8%)が他地域より多くなっている。

朝霞市にふさわしいコミュニティビジネス(地域別)

	合計	子育て支援(保育サービス、不登校児のスクールなど)	福祉(給食サービス、買い物代行、家事支援、外出輸送、商店街宅配サービスなど)	就労支援(高齢者・障害のある人の就労支援、スキルアップにつながる研修など)	生涯学習(趣味・おけいごとなど)	学生や市民が子供たちに勉強や外遊びを教える寺子屋	地産地消(地元食材を積極的に活用するコミュニティカフェなど)	まちづくり(祭り、イベントの企画・運営など)	環境(リサイクルショップなど)	観光・交流(観光ボランティアガイド、農産物の直売、国際交流など)	公益施設管理(公共施設の管理、公園の清掃など)	ものづくり(食品加工、伝統工芸など)	情報サービス(地域情報誌の発行、インターネットを活用した情報発信など)	行政機関や銀行、事務所などが集積する街	地域通貨、地域金融などの取組み	特になし	不明
全体	500	39.8	37.2	30.4	25.6	24.8	24.0	22.0	15.6	15.6	13.4	11.0	8.0	5.8	2.6	9.4	4.4
内間木地域	6	50.0	33.3	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
北部地域	97	32.0	32.0	25.8	17.5	29.9	27.8	18.6	11.3	11.3	11.3	6.2	6.2	7.2	3.1	10.3	6.2
東部地域	89	34.8	36.0	18.0	29.2	27.0	22.5	16.9	14.6	10.1	14.6	11.2	6.7	4.5	2.2	16.9	5.6
西部地域	93	40.9	44.1	39.8	25.8	24.7	21.5	23.7	16.1	17.2	15.1	11.8	8.6	4.3	3.2	2.2	2.2
南部地域	208	45.7	37.5	34.1	29.3	21.2	25.0	25.0	18.8	19.7	13.0	13.0	9.6	6.7	2.4	9.1	2.9

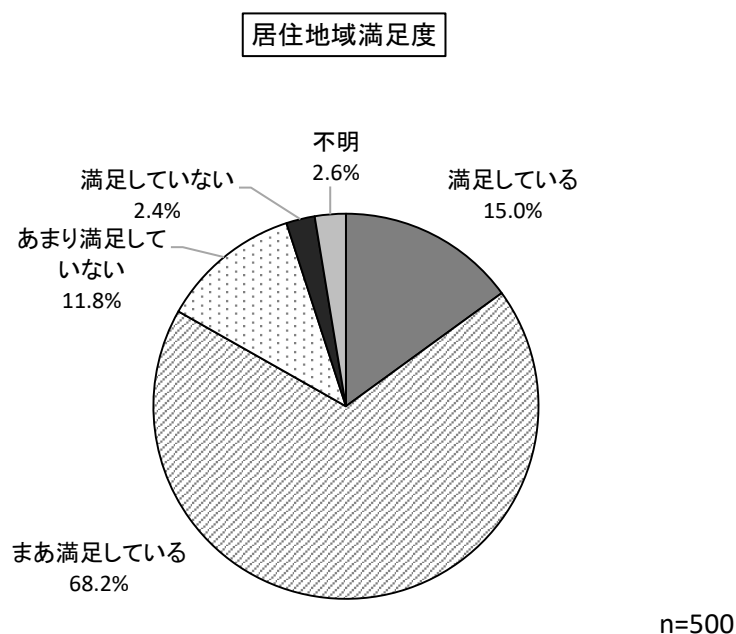
(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。



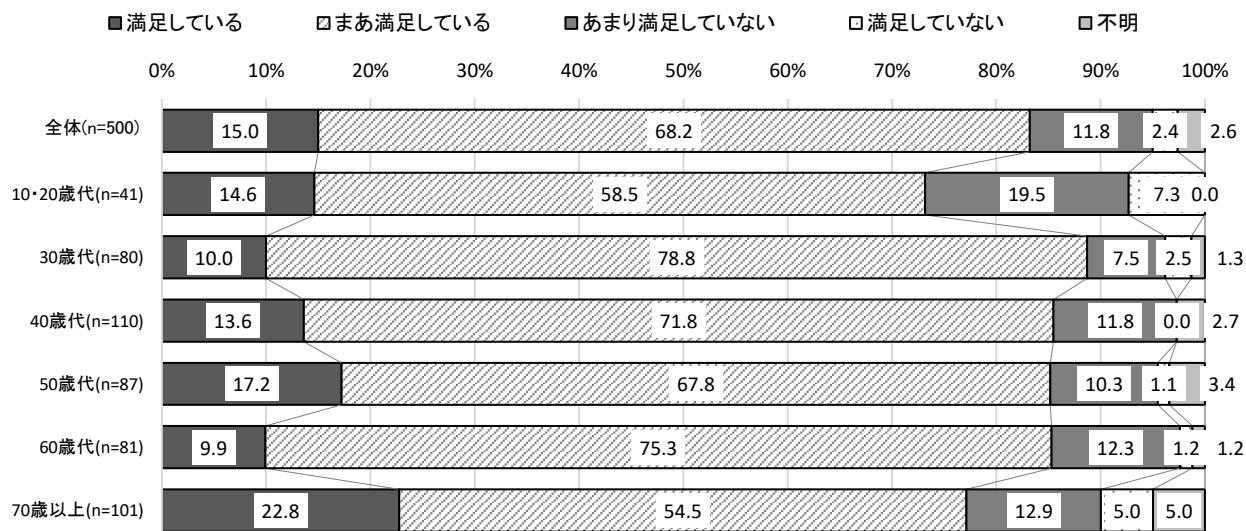
### (3) お住まいの地域について

問 13 あなたがお住まいの地域に対して、現在どの程度満足されていますか（○印は1つ）。

- ・居住地への満足度では、「満足している」（15.0%）と「まあ満足している」（68.2%）を合計すると83.2%と高くなっている。一方、「あまり満足していない」と「満足していない」の合計は14.2%となっている。
- ・居住地への満足度について、年代別に見ると、70歳以上で「満足している」（22.8%）が他年代より多くなっている。一方、10・20歳代では「あまり満足していない」（19.5%）、「満足していない」（7.3%）が多くなっている。

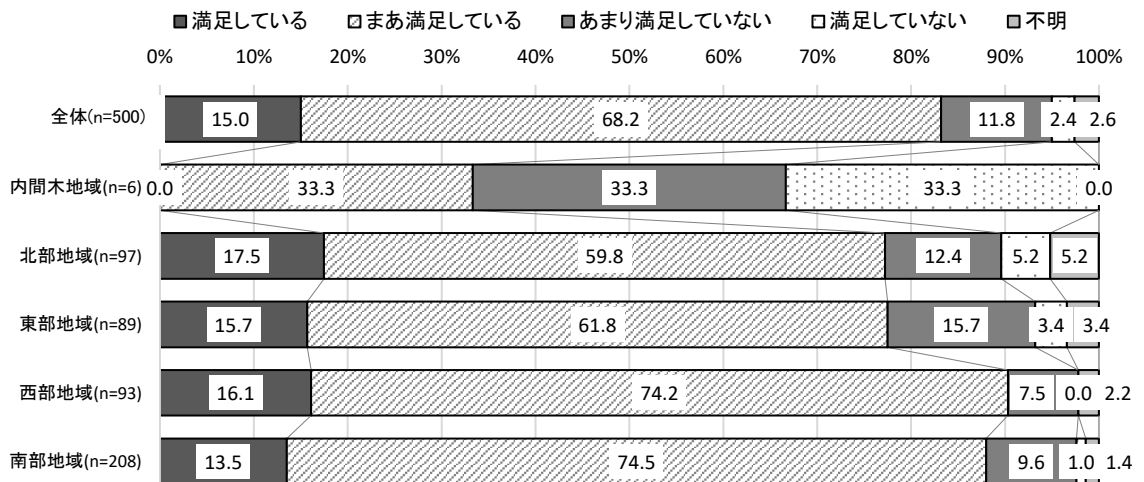


**居住満足度(年代別)**



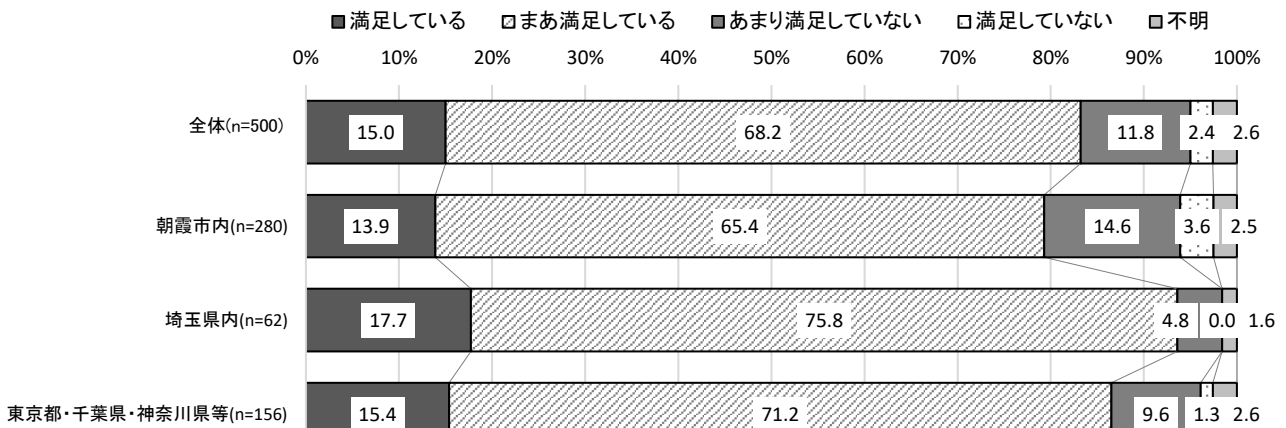
- ・居住地域への満足度について、地域別に見ると、西部地域で「満足している」「まあ満足している」の合計割合（計 90.3%）が最も高くなっており、逆に東部地域で「あまり満足していない」「満足していない」の合計割合（計 19.1%）が高くなっている。
- ・居住地域への満足度について、生活圏別に見ると、埼玉県内で「満足している」「まあ満足している」の合計割合（計 93.5%）が高くなっており、朝霞市内で「あまり満足していない」「満足していない」の合計割合（計 18.2%）が高くなっている。

### 居住満足度(地域別)



(注)表側の「不明」は除く。サンプル数 10 未満は参考値扱いとする。

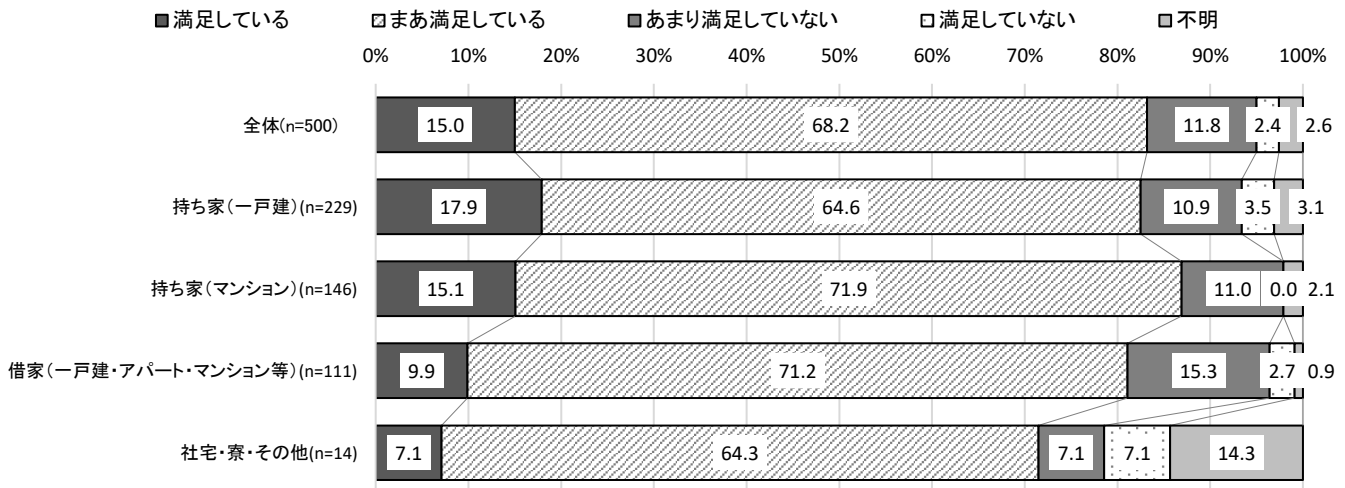
### 居住満足度(生活圏別)



(注)表側の「不明」は除く。

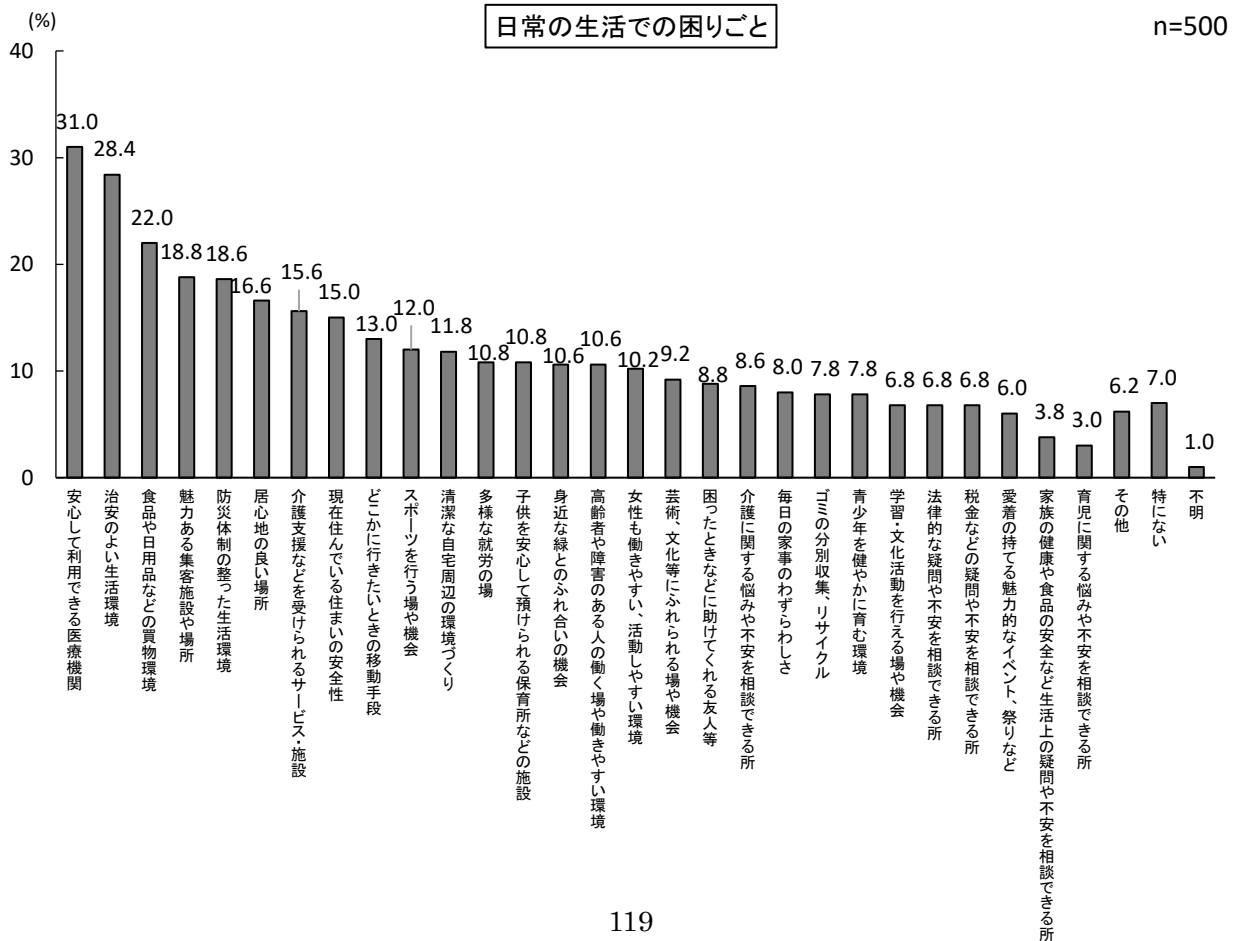
- ・居住地域への満足度について、居住形態別に見ると、持ち家（一戸建）、持ち家（マンション）、借家（一戸建・アパート・マンション等）、社宅・寮・その他の順で、「満足している」の割合が高くなっている。

居住満足度(居住形態別)



問 14 あなたがお住まいの地域に対して、現在どの程度満足されていますか。あなたがそう思う理由は何ですか（○印はいくつでも）。

- ・日常生活における困りごとでは、「安心して利用できる医療機関」(31.0%)が最も多く、次いで「治安のよい生活環境」(28.4%)となっている。



- ・ 日常の生活における困りごとについて、年代別に見ると、10・20歳代では「居心地の良い場所」(36.6%)が最も多く、30歳代では「治安のよい生活環境」(35.0%)の他、「子供を安心して預けられる保育所などの施設」(33.8%)も多い。また40歳代では「治安のよい生活環境」(29.1%)が、50歳代・60歳代では「安心して利用できる医療機関」(34.5%・38.3%)が多くなっている。
- ・ 日常の生活における困りごとについて、地域別に見ると、どの地域においても「安心して利用できる医療機関」が多くなっている。また、西部地域では、「居心地の良い場所」(23.7%)、「身近な緑とのふれ合いの機会」(20.4%)なども多くなっている。
- ・ 日常の生活における困りごとについて生活圏別では、どの生活圏においても「安心して利用できる医療機関」が多くなっており、東京都・千葉県・神奈川県等では「魅力ある集客施設や場所」(23.7%)も多くなっている。

日常生活での困りごと・上位16項目(年代別)

	合計	安心して利用できる医療機関	治安のよい生活環境	食品や日用品などの買物環境	魅力ある集客施設や場所	防災体制の整った生活環境	居心地の良い場所	介護支援などを受けられるサービス施設	現在住んでいる住まいの安全性	どこかに行きたいときの移動手段	スポーツを行う場や機会	清潔な自宅周辺の環境づくり	多様な就労の場	子供を安心して預けられる保育所などの施設	身近な緑とのふれ合いの機会	働きやすい環境	高齢者や障害のある人の働く場や	女性も働きやすい、活動しやすい環境
全体	500	31.0	28.4	22.0	18.8	18.6	16.6	15.6	15.0	13.0	12.0	11.8	10.8	10.8	10.6	10.6	10.2	
10・20歳代	41	31.7	26.8	26.8	14.6	9.8	36.6	0.0	17.1	26.8	24.4	9.8	4.9	9.8	19.5	4.9	7.3	
30歳代	80	22.5	35.0	25.0	26.3	18.8	17.5	0.0	13.8	13.8	13.8	12.5	8.8	33.8	13.8	3.8	21.3	
40歳代	110	24.5	29.1	26.4	18.2	17.3	16.4	11.8	18.2	14.5	12.7	11.8	11.8	10.0	10.0	4.5	12.7	
50歳代	87	34.5	26.4	18.4	24.1	20.7	18.4	20.7	18.4	12.6	10.3	8.0	19.5	3.4	6.9	12.6	12.6	
60歳代	81	38.3	27.2	23.5	16.0	19.8	12.3	25.9	11.1	8.6	8.6	11.1	12.3	6.2	7.4	12.3	2.5	
70歳以上	101	35.6	25.7	14.9	12.9	20.8	9.9	25.7	11.9	8.9	8.9	15.8	5.0	4.0	10.9	21.8	4.0	

(注)網掛けは20%以上のもの。

日常生活での困りごと・上位 16 項目(地域別)

(%)

	合計	安心して利用できる医療機関	治安のよい生活環境	食品や日用品などの買物環境	魅力ある集客施設や場所	防災体制の整った生活環境	居心地の良い場所	介護支援などを受けられるサービス・施設	現在住んでいる住まいの安全性	どこかに行きたいときの移動手段	スポーツを行う場や機会	清潔な自宅周辺の環境づくり	多様な就労の場	子供を安心して預けられる保育所などの施設	身近な緑とのふれ合いの機会	働きやすい環境	高齢者や障害のある人の働く場や環境	女性も働きやすい、活動しやすい
全体	500	31.0	28.4	22.0	18.8	18.6	16.6	15.6	15.0	13.0	12.0	11.8	10.8	10.8	10.6	10.6	10.2	
内間木地域	6	16.7	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	
北部地域	97	33.0	29.9	26.8	21.6	17.5	15.5	13.4	17.5	14.4	5.2	13.4	8.2	11.3	6.2	10.3	6.2	
東部地域	89	29.2	24.7	27.0	15.7	18.0	11.2	15.7	14.6	10.1	13.5	10.1	11.2	6.7	5.6	7.9	11.2	
西部地域	93	32.3	24.7	10.8	11.8	12.9	23.7	14.0	18.3	12.9	16.1	7.5	12.9	10.8	20.4	14.0	12.9	
南部地域	208	31.3	30.8	21.6	22.6	21.2	16.8	16.8	13.0	12.5	12.5	13.9	11.1	12.5	9.6	10.6	11.1	

(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数 10 未満は参考値扱いとする。

日常生活での困りごと・上位 16 項目(生活圏別)

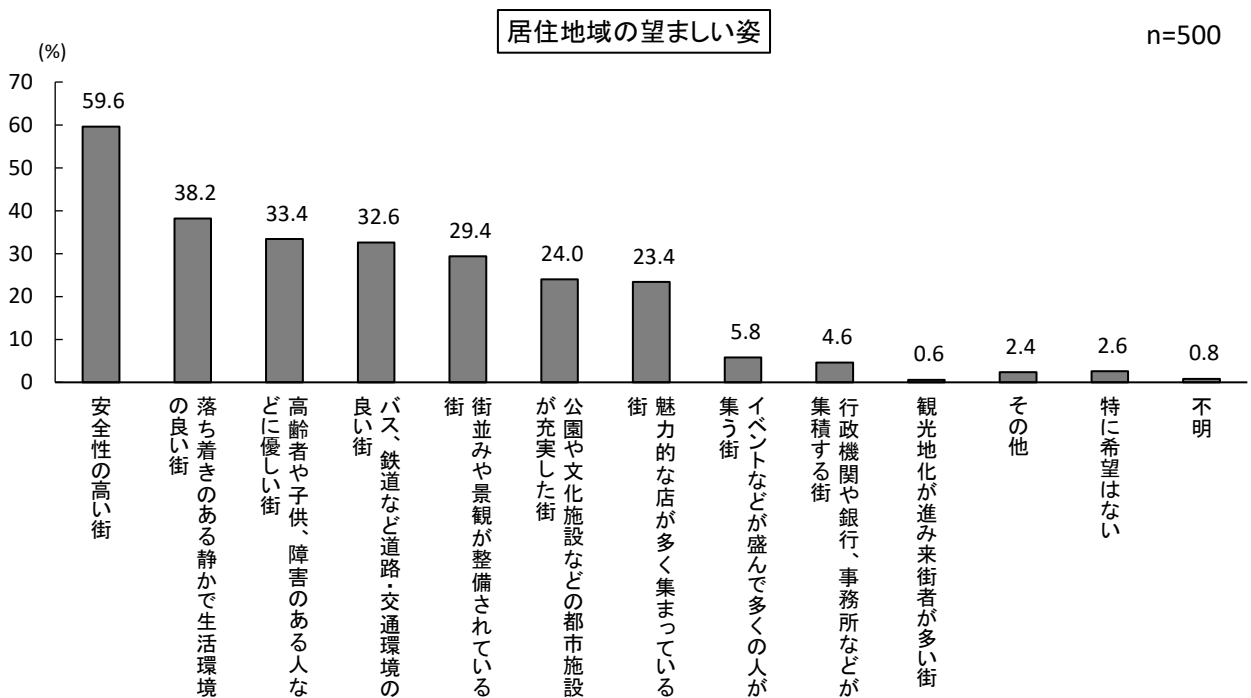
(%)

	合計	安心して利用できる医療機関	治安のよい生活環境	食品や日用品などの買物環境	魅力ある集客施設や場所	防災体制の整った生活環境	居心地の良い場所	介護支援などを受けられるサービス・施設	現在住んでいる住まいの安全性	どこかに行きたいときの移動手段	スポーツを行う場や機会	清潔な自宅周辺の環境づくり	多様な就労の場	子供を安心して預けられる保育所などの施設	身近な緑とのふれ合いの機会	働きやすい環境	高齢者や障害のある人の働く場や環境	女性も働きやすい、活動しやすい
全体	500	31.0	28.4	22.0	18.8	18.6	16.6	15.6	15.0	13.0	12.0	11.8	10.8	10.8	10.6	10.6	10.2	
朝霞市内	280	33.9	31.8	20.4	17.9	19.3	14.6	18.2	17.1	12.5	8.9	11.1	10.0	8.6	10.7	11.4	10.0	
埼玉県内	62	27.4	22.6	24.2	11.3	21.0	22.6	14.5	11.3	16.1	12.9	8.1	12.9	12.9	8.1	11.3	14.5	
東京都・千葉県・神奈川県等	156	27.6	25.0	24.4	23.7	16.7	17.9	11.5	12.8	12.8	17.3	14.7	10.9	14.1	11.5	8.3	8.3	

(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

問 15 将来、あなたがお住まいの地域はどのような街になって欲しいですか（○印は3つまで）。

- ・居住地域の望ましい姿では、「安全性の高い街」（59.6%）が最も多く、次いで「落ち着いた静かで生活環境の良い街」（38.2%）、「高齢者や子供、障害のある人などに優しい街」（33.4%）、「バス、鉄道などの道路・交通環境の良い街」（32.6%）となっている。
- ・居住地域の望ましい姿について、年代別に見ると、どの年代でも「安全性の高い街」が多くなっているが、そのほか、10・20歳代では「バス、鉄道など道路・交通環境の良い街」（43.9%）が多く、30歳代では「落ち着いた静かで生活環境の良い街」（42.5%）が多い。また、60歳代や70歳以上では「高齢者や子供、障害のある人などに優しい街」（42.6%）なども多くなっている。



居住地域の望ましい姿(年代別)

	合計	安全性の高い街	生活環境の良い街	落ち着いた静かで生活環境の良い街	高齢者や子供、障害のある人などに優しい街	バス、鉄道など道路・交通環境の良い街	街並みや景観が整備されている街	公園や文化施設などの都市施設が充実した街	魅力的な店が多く集まっている街	イベントなどが盛んで多くの人が集う街	行政機関や銀行、事務所などが集積する街	観光地化が進み来街者が多い街	その他	特に希望はない	不明
全体	500	59.6	38.2	33.4	32.6	29.4	24.0	23.4	5.8	4.6	0.6	2.4	2.6	0.8	
10・20歳代	41	58.5	31.7	26.8	43.9	14.6	22.0	41.5	9.8	7.3	4.9	2.4	0.0	2.4	
30歳代	80	56.3	42.5	20.0	30.0	36.3	25.0	28.8	7.5	5.0	1.3	2.5	3.8	0.0	
40歳代	110	67.3	33.6	30.0	30.9	32.7	22.7	27.3	9.1	2.7	0.0	1.8	0.9	0.9	
50歳代	87	58.6	37.9	36.8	36.8	28.7	24.1	23.0	3.4	4.6	0.0	2.3	4.6	0.0	
60歳代	81	59.3	39.5	39.5	23.5	34.6	29.6	18.5	4.9	4.9	0.0	4.9	2.5	1.2	
70歳以上	101	55.4	41.6	42.6	35.6	22.8	20.8	11.9	2.0	5.0	0.0	1.0	3.0	1.0	

(注)網掛けは20%以上のもの。

- ・居住地域の望ましい姿について、地域別に見ると、どの地域でも「安全性の高い街」が多い。
- ・居住地域の望ましい姿について、家族構成別に見ると、親と子供(第二世代)で「安全性の高い街」(62.9%)多く、一人暮らしでも同じく「安全性の高い街」(60.0%)が多くなっている。

望ましい街の姿(生活圏別)														(%)	
	合計	安全性の高い街	生活環境の良 い街	落ち着きの ある街	高齢者や子 供に優しい 街	バス、鉄 道など道路 ・	街並みや景 観が整備さ れた街	公園や文化 施設などの 都施設が充 実した街	魅力的な店 が多く集 まっている街	イベントな どが盛んで 多くの人が 集う街	行政機関や 銀行、事務 所などが集 積する街	観光地化が 進み来街者 が多い街	その他	特に希望は ない	不明
全体	500	59.6	38.2	33.4	32.6	29.4	24.0	23.4	5.8	4.6	0.6	2.4	2.6	0.8	
朝霞市内	280	61.1	35.7	38.9	32.5	28.2	22.9	20.4	6.4	3.6	0.7	2.1	2.1	0.7	
埼玉県内	62	59.7	37.1	33.9	19.4	24.2	27.4	33.9	4.8	6.5	0.0	1.6	3.2	0.0	
東京都・千葉県・神奈川県等	156	57.1	43.6	23.1	38.5	34.0	25.0	25.0	5.1	5.8	0.6	3.2	3.2	0.6	

(注)網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

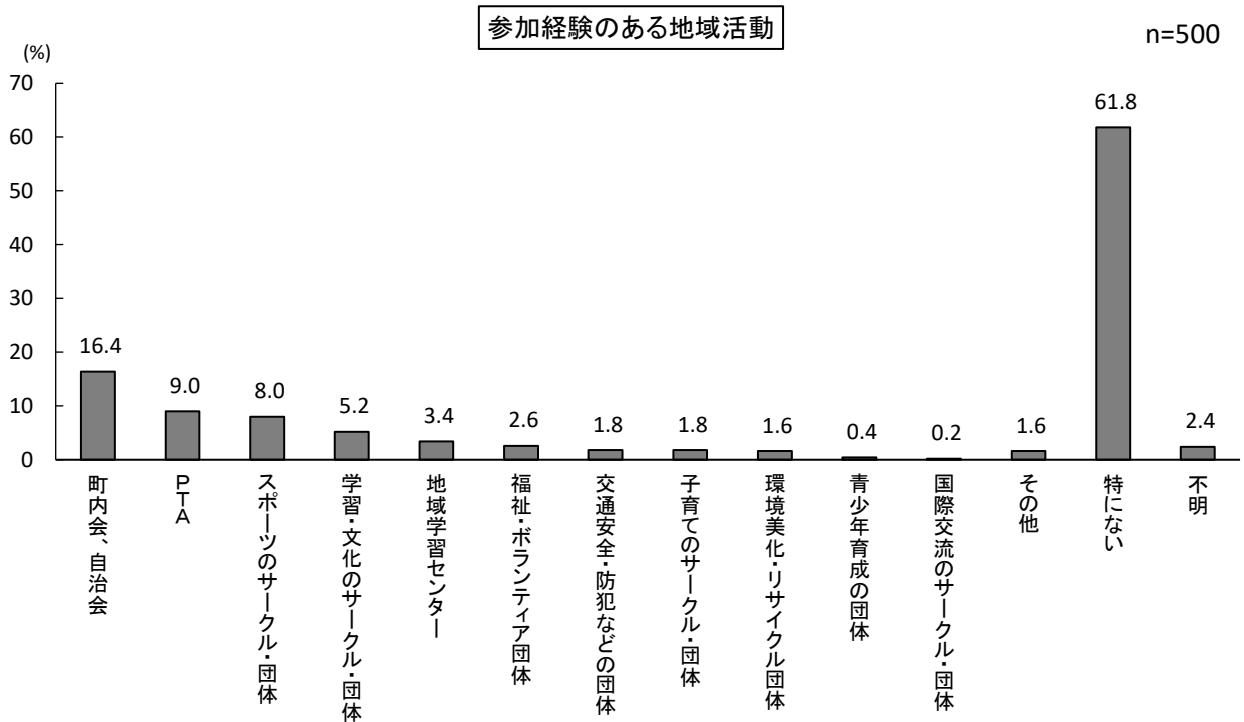
望ましい街の姿(家族構成別)														(%)	
	合計	安全性の高い街	生活環境の良 い街	落ち着きの ある街	高齢者や子 供に優しい 街	バス、鉄 道など道路 ・	街並みや景 観が整備さ れた街	公園や文化 施設などの 都施設が充 実した街	魅力的な店 が多く集 まっている街	イベントな どが盛んで 多くの人が 集う街	行政機関や 銀行、事務 所などが集 積する街	観光地化が 進み来街者 が多い街	その他	特に希望は ない	不明
全体	500	59.6	38.2	33.4	32.6	29.4	24.0	23.4	5.8	4.6	0.6	2.4	2.6	0.8	
一人暮らし	50	60.0	36.0	26.0	44.0	22.0	12.0	28.0	0.0	2.0	0.0	4.0	4.0	0.0	
夫婦のみ(一世代家族)	126	57.1	36.5	30.2	31.0	37.3	31.0	19.8	5.6	8.7	0.8	2.4	1.6	0.8	
親と子供(二世世代家族)	286	62.9	40.2	35.3	29.7	27.3	23.8	24.5	6.3	2.8	0.7	2.4	2.4	1.0	
親と子供と孫(三世世代家族)・その他	37	43.2	32.4	37.8	43.2	29.7	18.9	21.6	8.1	8.1	0.0	0.0	5.4	0.0	

(注)網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

#### (4) 日ごろの地域とのかかわりについて

問 16 あなたは、この1年間で、地域の団体やサークルの活動に参加したことがありますか。次の中で  
てはまるものに○をつけてください。(○印はいくつでも)

- ・参加したことがある地域の団体やサークルの活動では、「特にない」(61.8%)が最も多くなっており、次いで「町内会、自治会」(16.4%)、「PTA」(9.0%)、「スポーツのサークル・団体」(8.0%)となっている。
- ・参加したことがある地域の団体やサークルの活動について、年代別に見ると、70歳以上で「町内会、自治会」(27.7%)と多く、40歳代では「PTA」(20.9%)が多くなっている。10・20歳代では「PTA」と「スポーツのサークル・団体」を除き参加経験がない状況となっている。



参加経験のある地域活動(年代別)

	合計	町内会、自治会	PTA	スポーツのサークル・団体	学習・文化のサークル・団体	地域学習センター	福祉・ボランティア団体	交通安全・防犯などの団体	子育てのサークル・団体	環境美化・リサイクル団体	青少年育成の団体	国際交流のサークル・団体	その他	特にない	不明
全体	500	16.4	9.0	8.0	5.2	3.4	2.6	1.8	1.8	1.6	0.4	0.2	1.6	61.8	2.4
10・20歳代	41	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.1	0.0
30歳代	80	10.0	11.3	3.8	1.3	1.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	73.8	1.3
40歳代	110	14.5	20.9	8.2	2.7	0.9	1.8	0.9	2.7	0.9	0.9	0.9	0.9	55.5	2.7
50歳代	87	19.5	11.5	11.5	2.3	4.6	4.6	0.0	1.1	3.4	0.0	0.0	1.1	57.5	1.1
60歳代	81	16.0	2.5	9.9	9.9	4.9	3.7	3.7	0.0	1.2	0.0	0.0	3.7	63.0	1.2
70歳以上	101	27.7	0.0	8.9	11.9	6.9	4.0	5.0	0.0	3.0	1.0	0.0	3.0	48.5	5.9

(注)網掛けは20%以上のもの。



- ・参加したことがある地域の団体やサークルの活動について、地域別に見ると、西部地域で「町内会、自治会」(21.5%)が他地域と比べ多くなっている。
- ・参加したことがある地域の団体やサークルの活動について、職業別に見ると、自営業、主婦(夫)・家事手伝い、無職で「町内会、自治会」の参加がやや多くなっている。
- ・参加したことがある地域の団体やサークルの活動について、家族構成別に見ると、夫婦のみ(一世代家族)で「町内会、自治会」(23.8%)が多くなっている。

参加経験のある地域活動(地域別)

(%)

	合計	町内会、自治会	P T A	クスポートのサークル・団体	学習・文化のサークル・団体	地域学習センター	福祉・ボランティア団体	交通安全・防犯などの団体	子育てのサークル・団体	環境美化・リサイクル団体	青少年育成の団体	国際交流のサークル・団体	その他	特にない	不明
全体	500	16.4	9.0	8.0	5.2	3.4	2.6	1.8	1.8	1.6	0.4	0.2	1.6	61.8	2.4
内間木地域	6	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7
北部地域	97	14.4	7.2	3.1	3.1	2.1	1.0	2.1	3.1	2.1	0.0	0.0	0.0	69.1	1.0
東部地域	89	13.5	10.1	12.4	4.5	3.4	4.5	1.1	1.1	2.2	0.0	0.0	2.2	65.2	0.0
西部地域	93	21.5	11.8	6.5	12.9	4.3	4.3	1.1	3.2	2.2	1.1	0.0	1.1	51.6	2.2
南部地域	208	16.8	8.2	9.1	3.4	3.8	1.9	2.4	1.0	1.0	0.5	0.5	2.4	60.6	3.8

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

参加経験のある地域活動(職業別)

(%)

	合計	町内会、自治会	P T A	クスポートのサークル・団体	学習・文化のサークル・団体	地域学習センター	福祉・ボランティア団体	交通安全・防犯などの団体	子育てのサークル・団体	環境美化・リサイクル団体	青少年育成の団体	国際交流のサークル・団体	その他	特にない	不明
全体	500	16.4	9.0	8.0	5.2	3.4	2.6	1.8	1.8	1.6	0.4	0.2	1.6	61.8	2.4
会社員・公務員	181	9.4	8.8	8.3	0.6	1.1	1.1	0.6	1.7	0.6	0.0	0.0	1.7	73.5	1.7
自営業	32	28.1	6.3	3.1	3.1	9.4	3.1	3.1	6.3	0.0	6.3	0.0	3.1	43.8	6.3
主婦(夫)・家事手伝い	93	23.7	14.0	10.8	8.6	6.5	5.4	1.1	3.2	2.2	0.0	1.1	1.1	46.2	0.0
無職	83	20.5	1.2	8.4	9.6	3.6	3.6	6.0	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	61.4	4.8
パート・アルバイト	77	16.9	15.6	6.5	9.1	2.6	1.3	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	57.1	1.3
その他	29	6.9	3.4	6.9	0.0	0.0	3.4	3.4	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0	72.4	6.9

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

参加経験のある地域活動(家族構成別)

(%)

	合計	町内会、自治会	P T A	クスポートのサークル・団体	学習・文化のサークル・団体	地域学習センター	福祉・ボランティア団体	交通安全・防犯などの団体	子育てのサークル・団体	環境美化・リサイクル団体	青少年育成の団体	国際交流のサークル・団体	その他	特にない	不明
全体	500	16.4	9.0	8.0	5.2	3.4	2.6	1.8	1.8	1.6	0.4	0.2	1.6	61.8	2.4
一人暮らし	50	8.0	0.0	4.0	6.0	4.0	2.0	4.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	76.0	0.0
夫婦のみ(一世代家族)	126	23.8	0.8	7.9	5.6	5.6	4.0	2.4	0.0	2.4	0.0	0.8	3.2	57.9	4.8
親と子供(二世世代家族)	286	15.4	14.3	8.7	5.2	2.8	2.1	1.4	2.8	1.4	0.7	0.0	1.0	59.8	1.4
親と子供と孫(三世世代家族)・その他	37	10.8	8.1	8.1	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.0	5.4

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

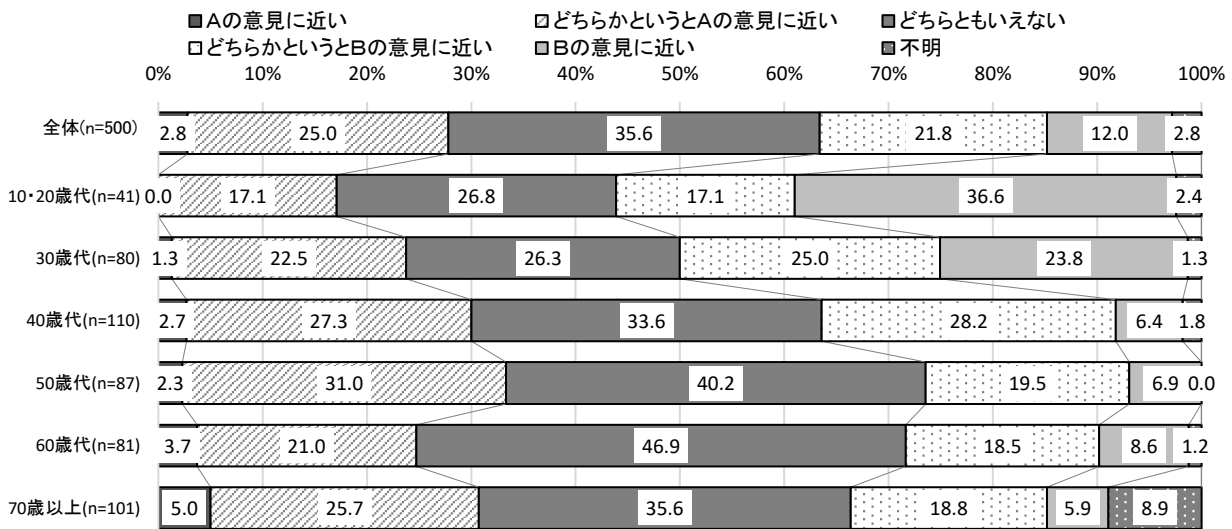
問 17 以下のようなA・Bの意見について、あなたはどちらの意見に近いお考えをお持ちですか。あてはまるところに○をつけてください。(○印はそれぞれ1つずつ)

《Aの意見》	Aの意見に近い どちらかという Aの意見に近い どちらかという Bの意見に近い Bの意見に近い	《Bの意見》	
お住まいの地域のことに自分の意見を反映させたり、活動にも参加したい	1 2 3 4 5	お住まいの地域のことは熱心に取組んでいる人達が中心になって考えればよい	①地域活動の取組意向 居住する地域において、何らかの地域活動に参加する等の意向の有無
まちの活性化に自分の知識や経験等が活かされるなら無報酬でも協力したい	1 2 3 4 5	まちの活性化に特に関心もなく、ゆとりもないので協力するつもりはない	②まちの活性化への取組意向 まちの活性化に対する協力意向の有無
自分たちの生活を向上させるようなサービスについて、一緒にやる仲間がいれば収益は少なくとも取組んでみたい	1 2 3 4 5	自分たちの生活を向上させるようなサービスについては、行政や企業が提供するのを待ちたい	③生活向上サービスへの取組意向 自らの生活向上に関するサービスに向け、事業をする等の意向の有無

### ①地域活動の取組意向

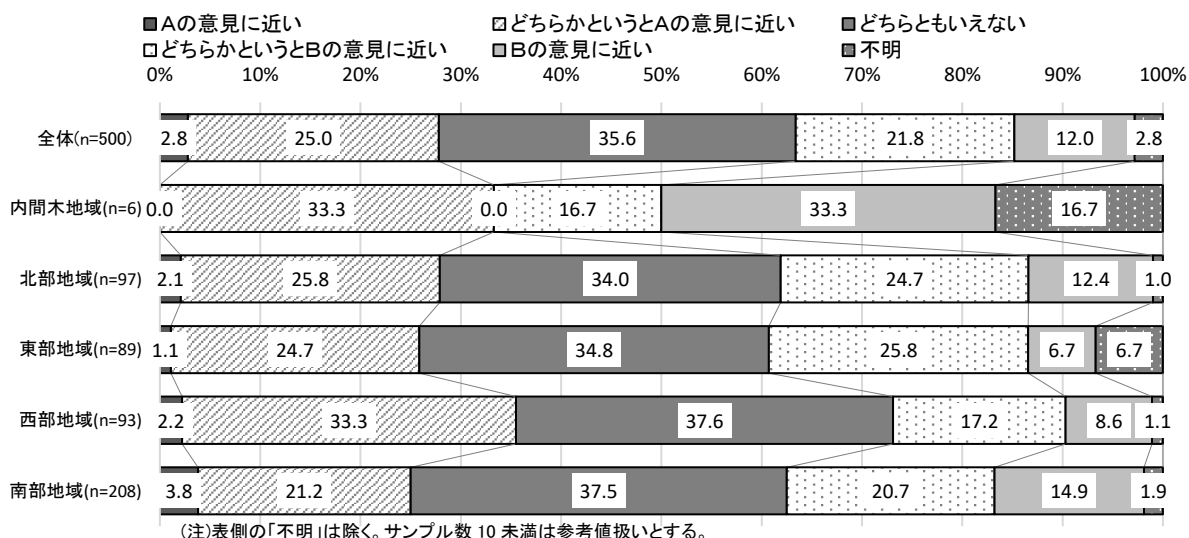
・地域活動の取組意向では、全体的には「どちらともいえない」(35.6%)が多くなっているものの、次いで「どちらかというAの意見に近い」(25.0%)がやや多くなっている。また、年代別に見ると、10・20歳代で「どちらかというBの意見に近い」と「Bの意見に近い」の合計割合(計53.7%)が高く、50歳代で「Aの意見に近い」と「どちらかというAの意見に近い」の合計割合(計33.3%)が最も高くなっている。

#### ①地域活動の取組意向(年代別)

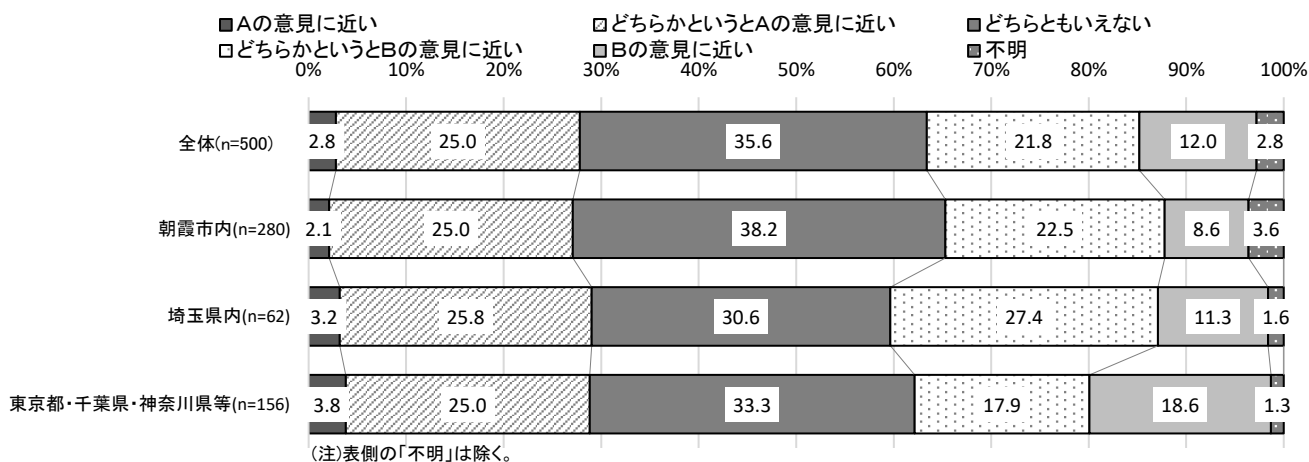


- ・地域活動の取組意向について、地域別に見ると、西部地域で「Aの意見に近い」と「どちらかというともAの意見に近い」の合計割合(計35.5%)が最も高く、北部地域で「どちらかというともBの意見に近い」と「Bの意見に近い」の合計割合(計37.1%)が高くなっている。
- ・生活圏別に見ると、あまり大きな差は見られないが、朝霞市内で「Aの意見に近い」と「どちらかというともAの意見に近い」の合計割合(計27.1%)が最も低くなっている。

①地域活動の取組意向(地域別)

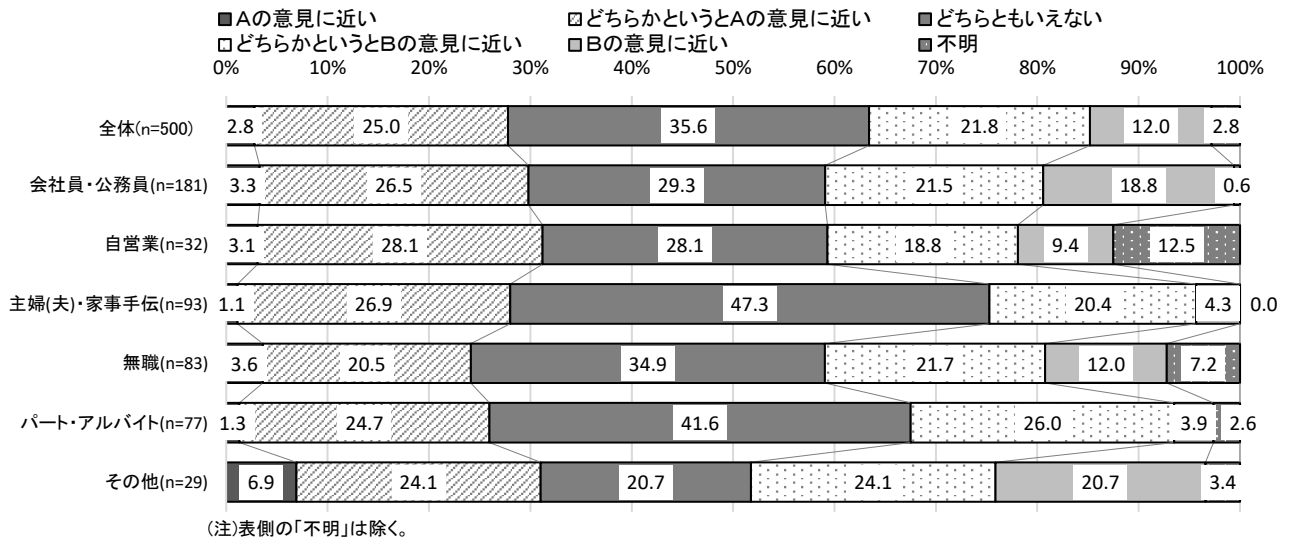


①地域活動の取組意向(生活圏別)



- ・地域活動の取組意向について、職業別に見ると、無職で「Aの意見に近い」と「どちらか」というとAの意見に近い」の合計割合(計 24.1%)が最も低くなっている。一方、その他では「Aの意見に近い」(6.9%)がやや多くなっている。

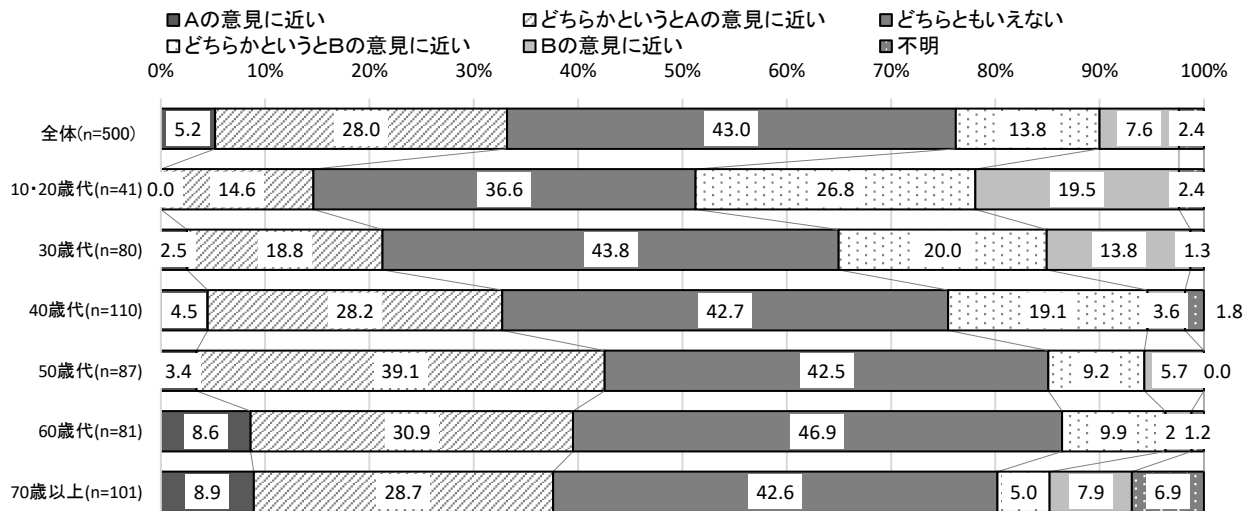
①地域活動の取組意向(職業別)



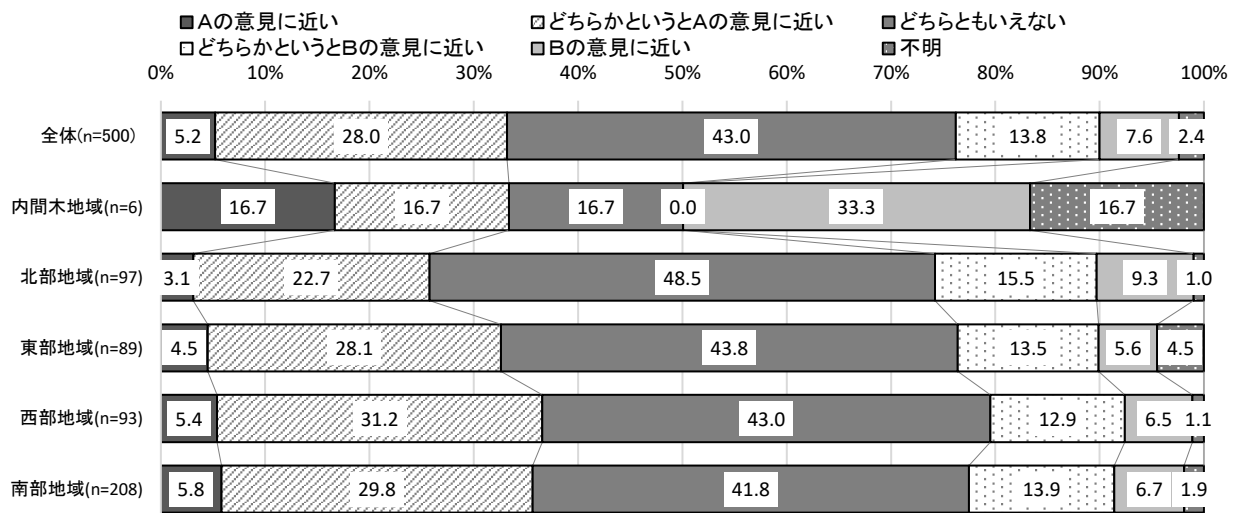
## ②まちの活性化への取組意向

- ・まちの活性化への取組意向について、年代別に見ると、全体としては「どちらともいえない」(43.0%)が多くなっているが、50歳代、60歳代の順で「Aの意見に近い」と「どちらかというともAの意見に近い」の合計割合(計42.5%・39.5%)が高くなっている。
- ・まちの活性化への取組意向について、地域別に見ると、西部地域で「Aの意見に近い」と「どちらかというともAの意見に近い」の合計割合(計36.6%)が最も高くなっている。

### ②まちの活性化への取組意向(年代別)



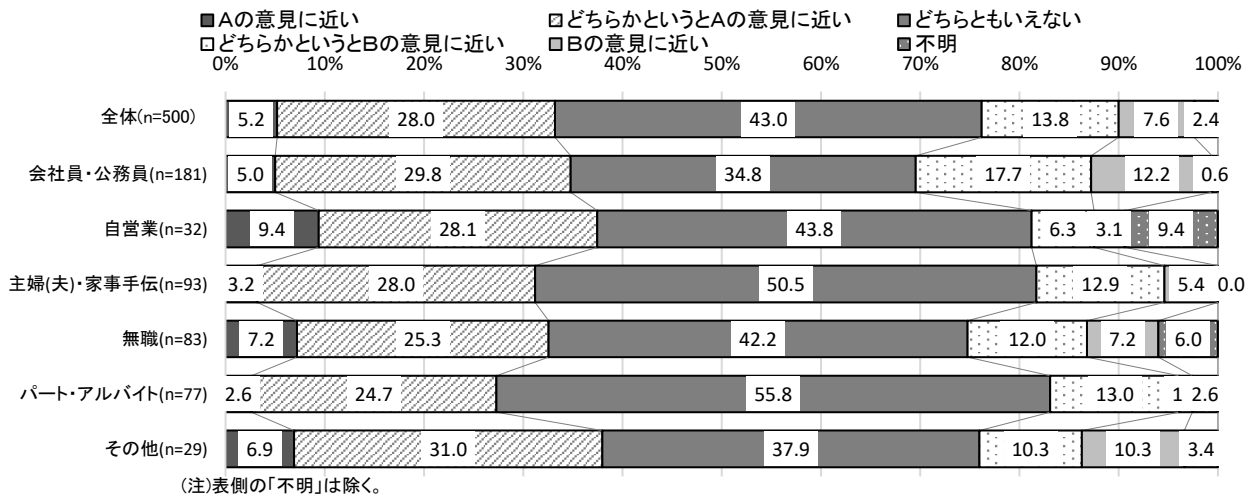
### ②まちの活性化への取組意向(地域別)



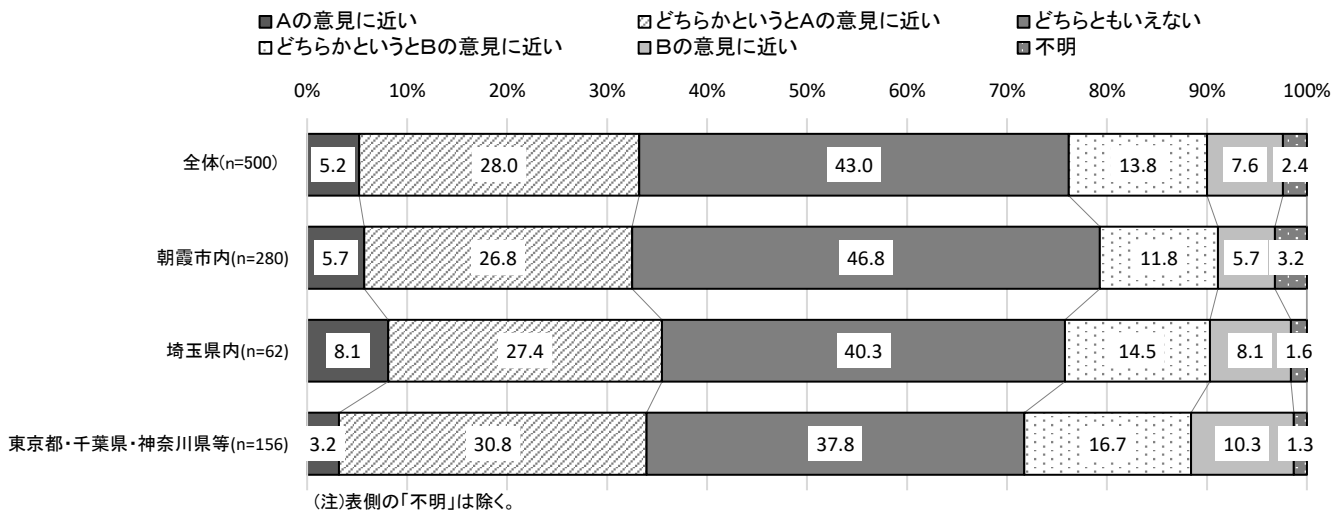
(注)表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

- まちの活性化への取組意向について、職業別に見ると、自営業で「Aの意見に近い」(9.4%)が多く、次いで無職(7.2%)も多くなっている。
- まちの活性化への取組意向について、生活圏別に見ると、埼玉県内を生活圏とする市民で、「Aの意見に近い」と「どちらかというとAの意見に近い」の合計割合(計 35.5%)が高くなっている。

②まちの活性化への取組意向(職業別)



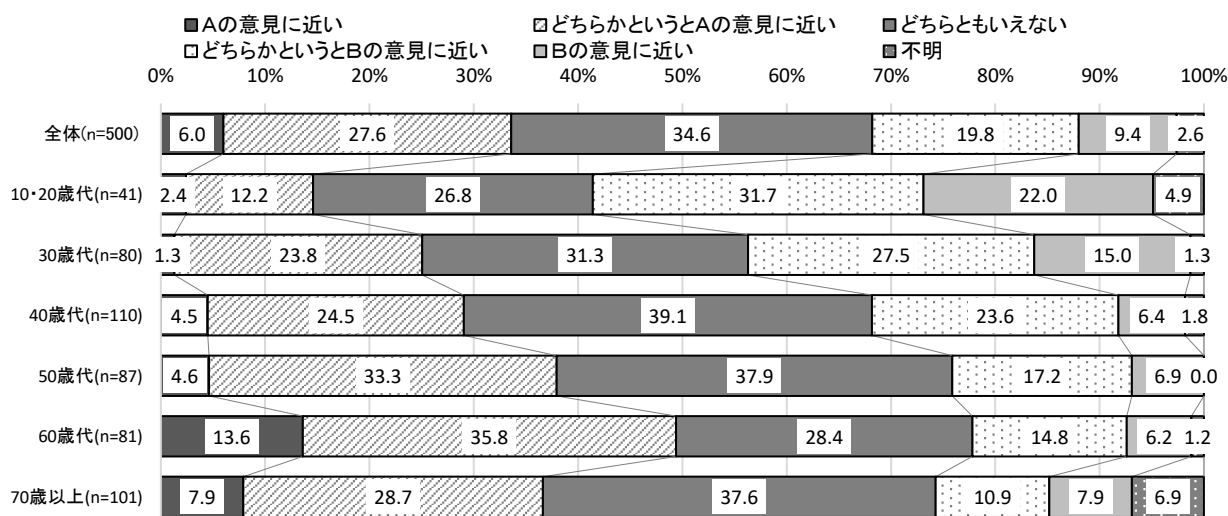
②まちの活性化への取組意向(生活圏別)



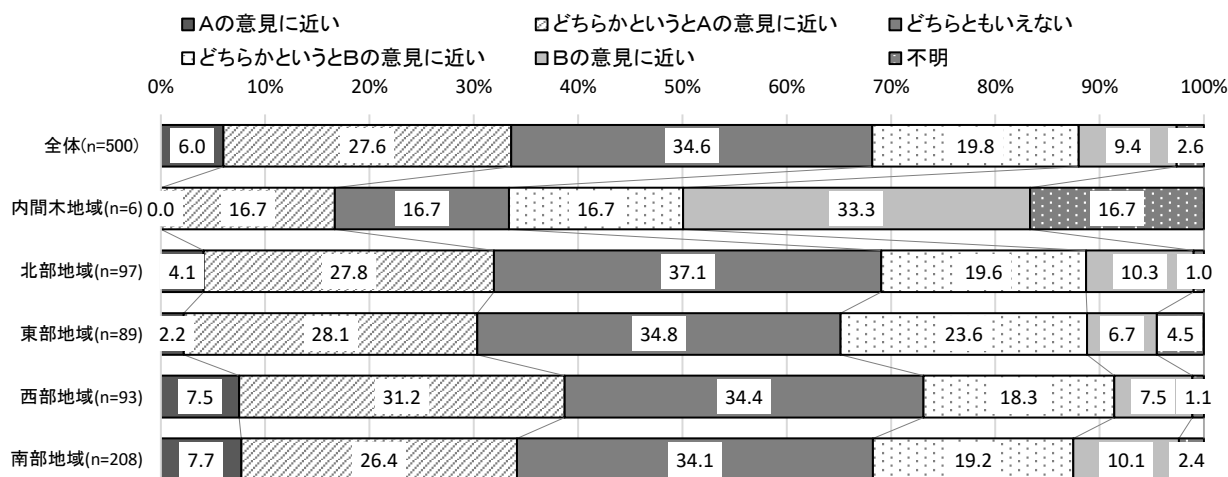
### ③生活向上サービスへの取組意向

- ・生活向上サービスへの取組意向について、年代別に見ると、全体としては「どちらともいえない」(34.6%)と多くなっているが、10・20歳代では「どちらかというともBの意見に近い」と「Bの意見に近い」の合計割合(計53.7%)が高くなっている。
- ・生活向上サービスへの取組意向について、地域別に見ると、西部地域で「Aの意見に近い」と「どちらかというともAの意見に近い」の合計割合(計38.7%)が高くなっている。

③生活向上サービスへの取組意向(年代別)



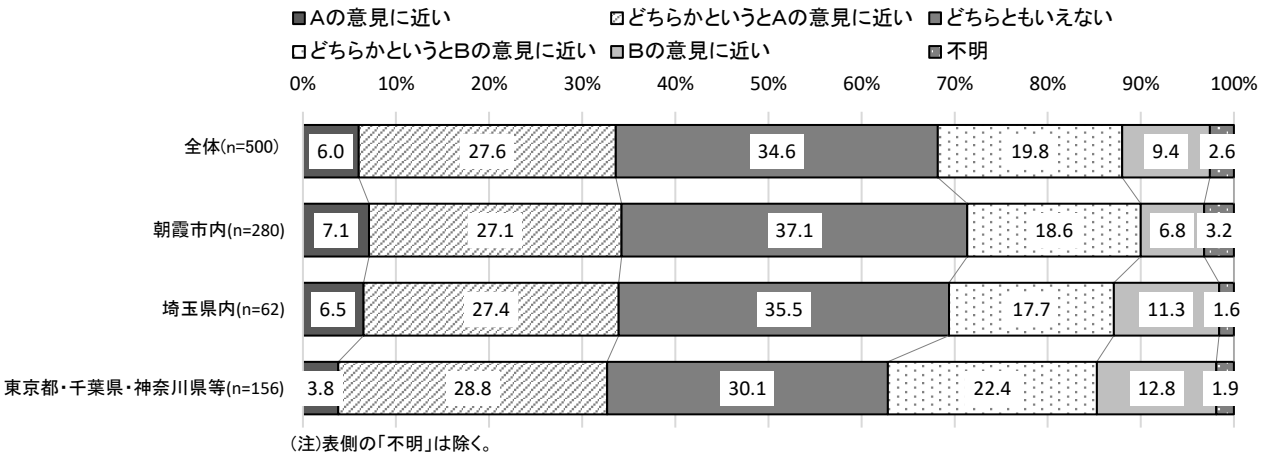
③生活向上サービスへの取組意向(地域別)



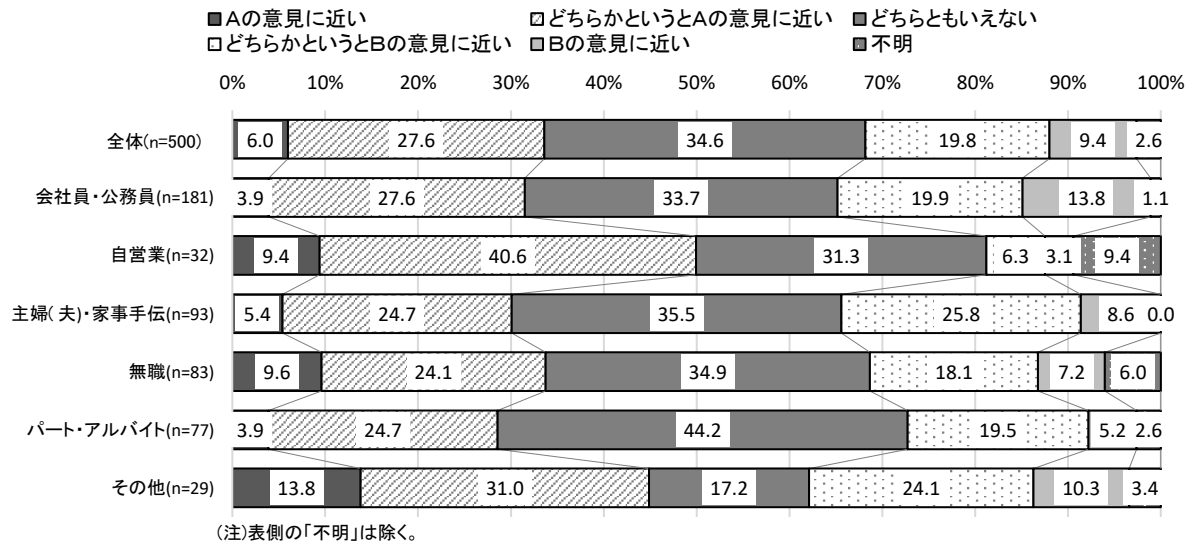
(注)表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

- ・生活向上サービスへの取組意向について、生活圏別に見ると、大きな差は見られないが、東京都・千葉県・神奈川県等で「Aの意見に近い」(3.8%)がやや少なくなっている。
- ・生活向上サービスへの取組意向について、職業別に見ると、その他で「Aの意見に近い」(13.8%)が多く、無職(9.6%)、自営業(9.4%)でもやや多くなっている。

③生活向上サービスへの取組意向(生活圏別)



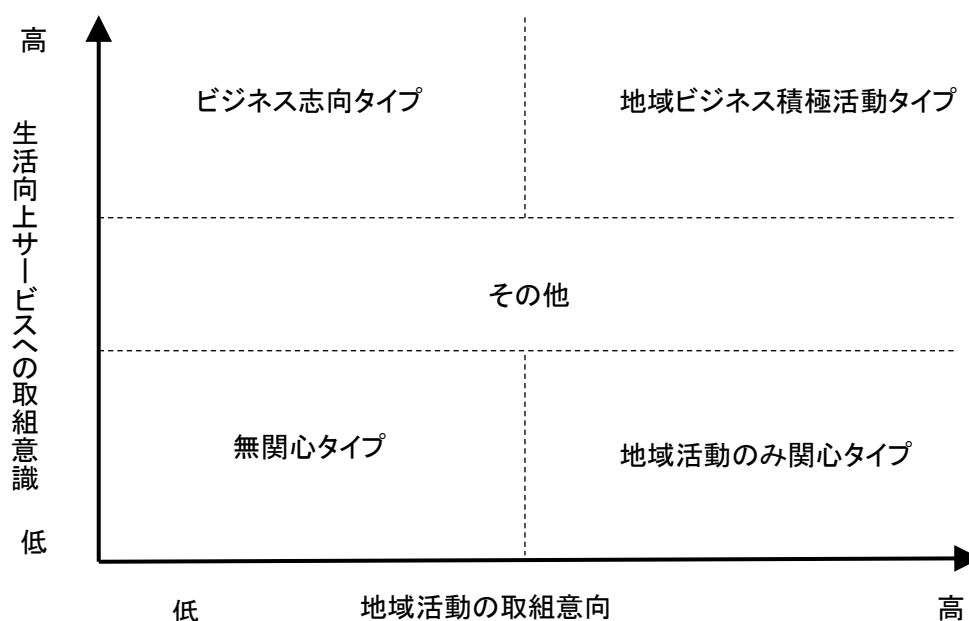
③生活向上サービスへの取組意向(職業別)





#### ④地域ビジネスに関する意識タイプ

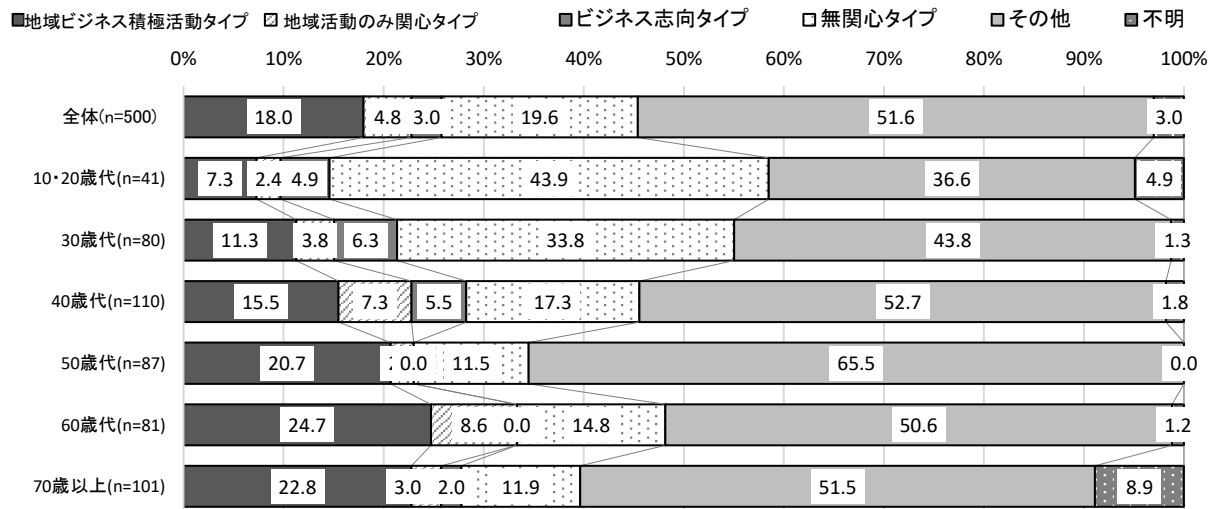
- ・①「地域活動の取組意向」の回答と②「生活向上サービスへの取組意向」の回答から、地域への関わり方に関する意識タイプを便宜的に5つに分け、集計を実施した。タイプは「地域ビジネス積極活動タイプ」、「ビジネス志向タイプ」、「地域活動のみ関心タイプ」、「無関心タイプ」そして「その他」とした。
- ・今回の調査結果からは、「地域ビジネス積極活動タイプ」が18.0%、「ビジネス志向タイプ」が3.0%、「地域活動のみ関心タイプ」が4.8%、「無関心タイプ」が19.6%となっているが、「どちらともいえない」の回答が多かったため、「その他のタイプ」が51.6%と最も多くなっている。



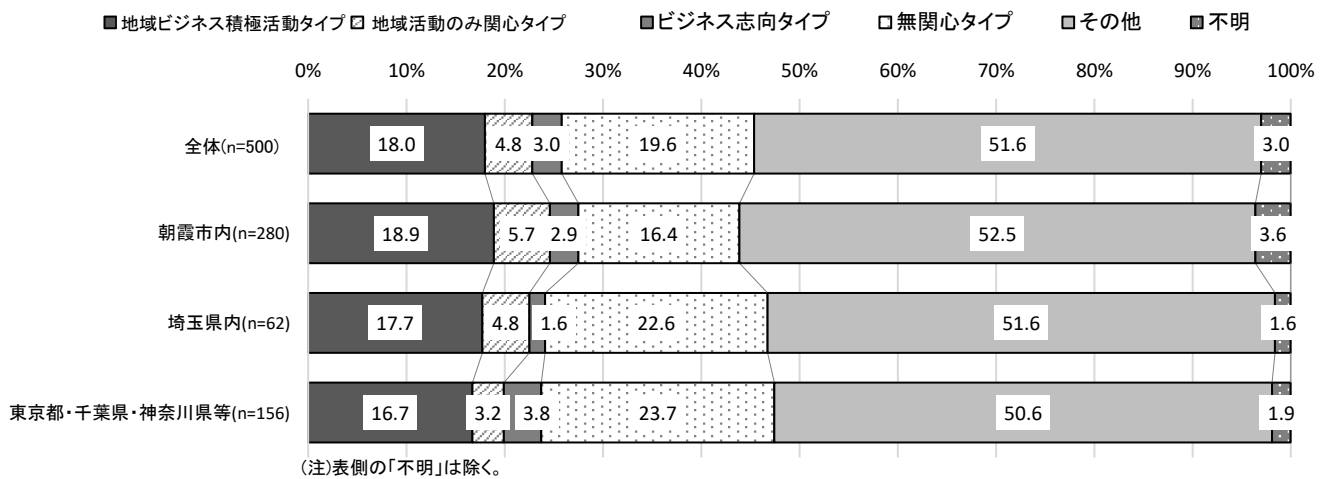
タイプ分類	設問項目	概要
地域ビジネス積極活動タイプ	①が1または2と回答した人と③が1または2	地域活動に対する参加意向が高く、収益性が低くても生活を向上させるサービス等をしてみたいと考えているタイプ
地域活動のみ関心タイプ	①が1または2と回答した人と③が4または5	地域活動に対する参加意向は高いが、生活を向上させるサービスは行政や企業が担うべきと考えているタイプ
ビジネス志向タイプ	①が4または5と回答した人と③が1または2	地域活動に対する参加意向は低い、収益性が低くても生活を向上させるサービス等をしてみたいと考えているタイプ
無関心タイプ	①が4または5と回答した人と③が4または5	地域活動に対する参加意向が低く、生活を向上させるサービスは行政や企業が担うべきと考えているタイプ
その他のタイプ	上記以外	「どちらともいえない」などを含む回答)

- ・年代別に見ると、概ね年代が高くなるにつれ、「地域ビジネス積極活動タイプ」の割合が高くなっている。また、10・20歳代では「無関心タイプ」(43.9%)が最も多くなっている。
- ・生活圏別に見ると、大きな差は見られないが、朝霞市内を生活圏とする市民でやや「地域積極活動タイプ」(18.9%)が多くなっている。
- ・職業別に見ると、自営業やその他で「地域ビジネス積極活動タイプ」が多くなっている。

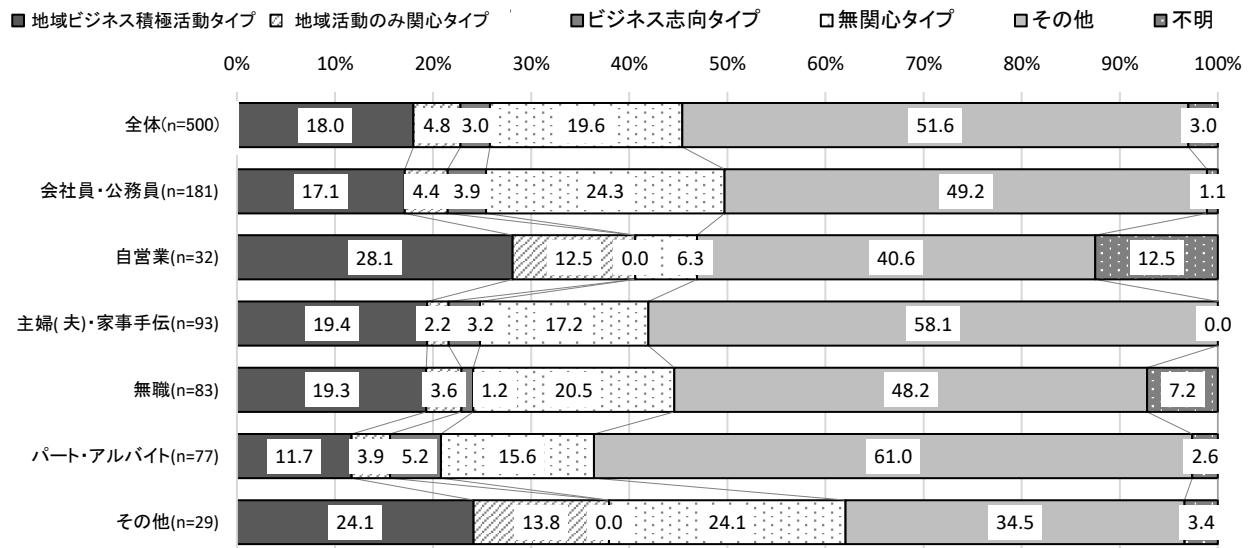
地域ビジネス意識に関するタイプ(年代別)



地域ビジネス意識に関するタイプ(生活圏別)



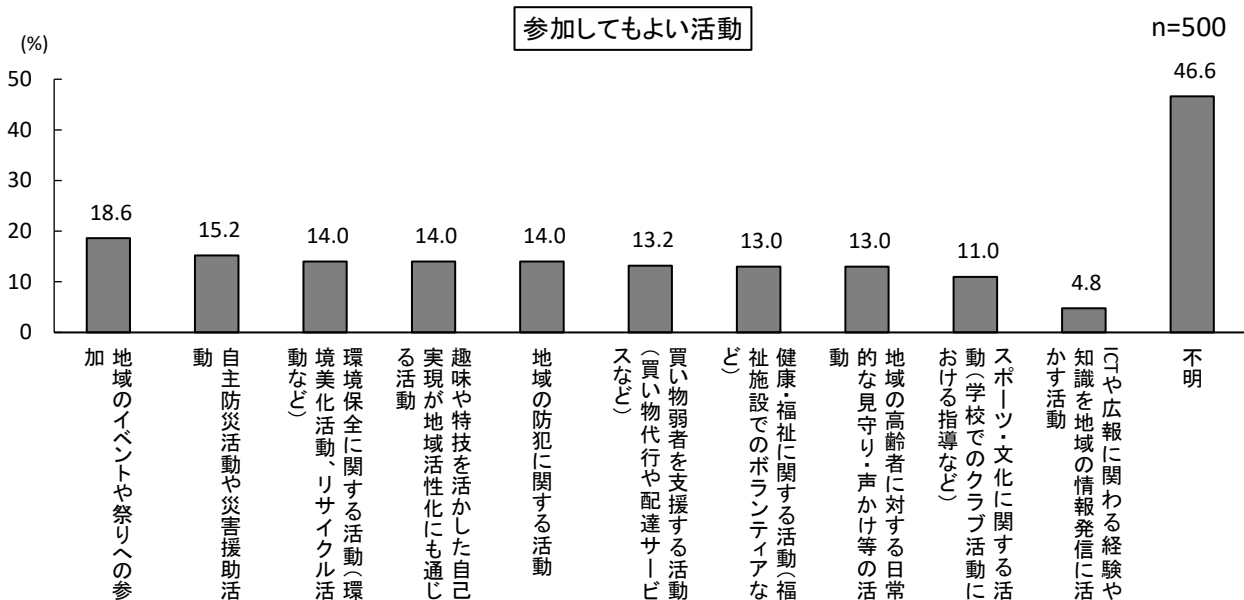
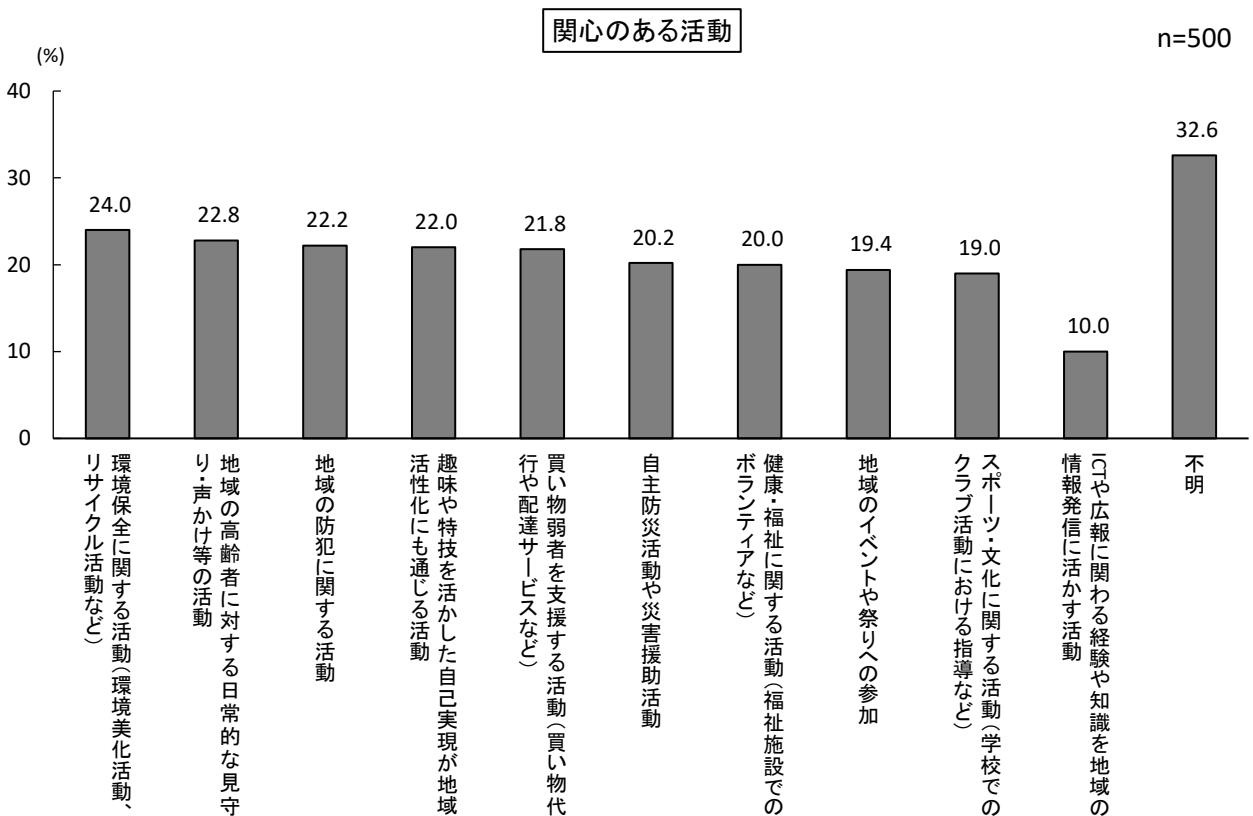
地域ビジネス意識に関するタイプ (職業別)



(注)表側の「不明」は除く。

問 17 あなたは、本来の仕事、学業とは別に次のような活動に関心がありますか。また、誘われれば参加してもよいと思われる活動はありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○印はそれぞれいくつでも)

- ・ 関心のある活動では、「環境保全に関する活動（環境美化活動、リサイクル活動など）」(24.0%)が最も多く、次いで「地域の高齢者に対する日常的な見守り・声かけ等の活動」(22.8%)となっている。
- ・ 参加してもよい活動では、「地域のイベントや祭りへの参加」(18.6%)が最も多く、次いで「自主防災活動や災害援助活動」(15.2%)となっている。



- ・ 関心のある活動について、年代別に見ると、10・20歳代では「スポーツ・文化に関する活動(学校でのクラブ活動における指導など)」(34.1%)が多く、50歳代以上では「地域の高齢者に対する日常的な見守り・声かけ等の活動」が多くなっている。
- ・ 参加してもよい活動について、年代別に見ると、30歳代で「地域のイベントや祭りへの参加」(27.5%)がやや多くなっている。

関心のある地域活動(年代別)

	合計	環境・安全に関する活動(環境美化活動)	地域の高齢者に対する日常的な見守り・声かけ等の活動	地域の防犯に関する活動	地域活性化にも通じた自己実現が地域活性化にも通じた活動	趣味や特技を活かした自己実現が地域活性化にも通じた活動	買物弱者を支援する活動(買い物代行や配達サービスなど)	自主防災活動や災害援助活動	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	地域のイベントや祭りへの参加	スポーツ・文化に関する活動(学校でのクラブ活動における指導など)	ICTや広報に関する経験や知識を地域の情報発信に活かす活動	不明
全体	500	24.0	22.8	22.2	22.0	21.8	20.2	20.0	19.4	19.0	10.0	32.6	
10・20歳代	41	26.8	19.5	19.5	24.4	12.2	19.5	9.8	22.0	34.1	17.1	26.8	
30歳代	80	18.8	10.0	20.0	18.8	18.8	13.8	17.5	26.3	20.0	7.5	40.0	
40歳代	110	27.3	14.5	20.0	23.6	20.0	22.7	13.6	20.9	21.8	10.0	28.2	
50歳代	87	25.3	31.0	21.8	23.0	29.9	21.8	33.3	14.9	17.2	12.6	26.4	
60歳代	81	29.6	35.8	27.2	21.0	23.5	28.4	27.2	23.5	14.8	13.6	27.2	
70歳以上	101	17.8	25.7	23.8	21.8	21.8	14.9	15.8	11.9	13.9	4.0	43.6	

(注)網掛けは20%以上のもの。

参加してもよい活動(年代別)

	合計	地域のイベントや祭りへの参加	自主防災活動や災害援助活動	環境・安全に関する活動(環境美化活動)	趣味や特技を活かした自己実現が地域活性化にも通じた活動	地域活性化にも通じた活動	買物弱者を支援する活動(買い物代行や配達サービスなど)	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	地域の防犯に関する活動	地域の高齢者に対する日常的な見守り・声かけ等の活動	スポーツ・文化に関する活動(学校でのクラブ活動における指導など)	ICTや広報に関する経験や知識を地域の情報発信に活かす活動	不明
全体	500	18.6	15.2	14.0	14.0	14.0	13.2	13.0	13.0	11.0	4.8	46.6	
10・20歳代	41	22.0	17.1	14.6	12.2	12.2	14.6	14.6	12.2	14.6	2.4	46.3	
30歳代	80	27.5	15.0	18.8	12.5	12.5	16.3	11.3	7.5	15.0	7.5	41.3	
40歳代	110	17.3	20.0	11.8	12.7	14.5	12.7	10.0	9.1	13.6	4.5	48.2	
50歳代	87	20.7	14.9	17.2	18.4	13.8	18.4	16.1	18.4	13.8	9.2	41.4	
60歳代	81	17.3	17.3	11.1	17.3	17.3	11.1	14.8	16.0	7.4	2.5	43.2	
70歳以上	101	10.9	7.9	11.9	10.9	12.9	7.9	12.9	14.9	4.0	2.0	56.4	

(注)網掛けは20%以上のもの。

- ・ 関心のある活動について、生活圏別に見ると、朝霞市内で「地域の高齢者に対する日常的な見守り・声かけ等の活動」(25.4%)がやや多くなっている。
- ・ 参加してもよい活動について、生活圏別に見ると、埼玉県内と東京都・千葉県・神奈川県等で「地域のイベントや祭りへの参加」が多くなっている。

関心のある活動(生活圏別)

	合計	環境・安全に関する活動(環境美化活動)	地域の高齢者に対する日常的な見守り・声かけ等の活動	地域の防犯に関する活動	趣味や特技を活かした自己実現が地域活性化にも通じる活動	買い物弱者を支援する活動(買い物代行や配達サービスなど)	自主防災活動や災害援助活動	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	地域のイベントや祭りへの参加	スポーツ・文化に関する活動(学校)	ICTや広報に関わる経験や知識を活かす活動	不明
全体	500	24.0	22.8	22.2	22.0	21.8	20.2	20.0	19.4	19.0	10.0	32.6
朝霞市内	280	23.6	25.4	21.1	20.4	23.6	20.4	21.1	18.2	13.9	6.4	35.7
埼玉県内	62	24.2	14.5	24.2	25.8	16.1	17.7	17.7	21.0	27.4	6.5	17.7
東京都・千葉県・神奈川県等	156	25.0	21.8	23.7	23.7	21.2	21.2	19.2	20.5	25.0	17.9	32.7

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

参加してもよい活動(生活圏別)

	合計	地域のイベントや祭りへの参加	自主防災活動や災害援助活動	環境・安全に関する活動(環境美化活動)	趣味や特技を活かした自己実現が地域活性化にも通じる活動	地域の防犯に関する活動	買い物弱者を支援する活動(買い物代行や配達サービスなど)	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	地域の高齢者に対する日常的な見守り・声かけ等の活動	スポーツ・文化に関する活動(学校)	ICTや広報に関わる経験や知識を活かす活動	不明
全体	500	18.6	15.2	14.0	14.0	14.0	13.2	13.0	13.0	11.0	4.8	46.6
朝霞市内	280	15.0	13.6	13.6	13.2	14.6	16.4	15.0	16.1	7.5	3.2	47.5
埼玉県内	62	27.4	17.7	12.9	16.1	14.5	9.7	8.1	9.7	11.3	4.8	48.4
東京都・千葉県・神奈川県等	156	21.8	17.3	15.4	14.7	12.8	9.0	10.9	9.0	17.3	7.7	44.2

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

- ・関心のある活動について、地域別に見ると、北部地域で「環境保全に関する活動(環境美化活動、リサイクル活動など)」(29.9%)が多く、南部地域で「地域の高齢者に対する日常的な見守り・声かけ等の活動」(28.4%)が多くなっている。
- ・参加してもよい活動について、地域別に見ると、北部地域と西部地域で「地域のイベントや祭りへの参加」(22.7%・22.6%)が多く、同じく西部地域で「買い物弱者を支援する活動(買い物代行や配達サービスなど)」(22.6%)もやや多くなっている。

関心のある活動(地域別)

	合計	環境保全に関する活動(環境美化活動、リサイクル活動など)	地域の高齢者に対する日常的な見守り・声かけ等の活動	地域の防犯に関する活動	趣味や特技を活かした自己実現が地域活性化にも通じる活動	買い物弱者を支援する活動(買い物代行や配達サービスなど)	自主防災活動や災害援助活動	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	地域のイベントや祭りへの参加	地域のイベントや祭りへの参加	地域のイベントや祭りへの参加	地域のイベントや祭りへの参加	地域のイベントや祭りへの参加	地域のイベントや祭りへの参加	不明
全体	500	24.0	22.8	22.2	22.0	21.8	20.2	20.0	19.4	19.0	10.0	32.6			
内間木地域	6	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	33.3	16.7	66.7	33.3	16.7	16.7			
北部地域	97	29.9	21.6	27.8	23.7	23.7	23.7	18.6	20.6	17.5	14.4	35.1			
東部地域	89	20.2	19.1	19.1	22.5	20.2	13.5	15.7	14.6	19.1	3.4	32.6			
西部地域	93	19.4	15.1	14.0	21.5	15.1	12.9	23.7	17.2	18.3	6.5	34.4			
南部地域	208	26.0	28.4	25.0	22.1	25.5	24.5	20.7	21.2	19.7	12.5	29.8			

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

参加してもよい活動(地域別)

	合計	地域のイベントや祭りへの参加	自主防災活動や災害援助活動	環境保全に関する活動(環境美化活動、リサイクル活動など)	趣味や特技を活かした自己実現が地域活性化にも通じる活動	地域の防犯に関する活動	買い物弱者を支援する活動(買い物代行や配達サービスなど)	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	健康・福祉に関する活動(福祉施設でのボランティアなど)	不明
全体	500	18.6	15.2	14.0	14.0	14.0	13.2	13.0	13.0	13.0	11.0	4.8	46.6			
内間木地域	6	33.3	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	50.0				
北部地域	97	22.7	18.6	15.5	8.2	18.6	7.2	9.3	7.2	11.3	5.2	49.5				
東部地域	89	15.7	18.0	13.5	13.5	12.4	9.0	14.6	12.4	18.0	2.2	46.1				
西部地域	93	22.6	16.1	15.1	14.0	19.4	22.6	15.1	19.4	8.6	7.5	41.9				
南部地域	208	16.3	11.5	13.0	17.3	9.6	13.5	12.5	12.5	9.1	4.8	46.6				

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

## (5) 日頃の買物等の場所について

問 18 次のそれぞれの商品について、①日頃利用する場所（主な場所2ヶ所まで）、②利用する理由（主なもの3つまで）をご記入下さい。

- ・日頃の買物等について、品目ごとに利用する場所を見てみると、飲食料品や日用雑貨・文具、医薬品は「市内のスーパー・コンビニ・ドラッグストア・ファミレス」が主な利用場所となっており、普段着・寝具、高級衣料、書籍・雑貨、家電製品・家具、外食では「市外のショッピングセンター・デパートなど商業施設」が主な利用場所となっている。また、理・美容に関しては「市内の住宅地にある中小商店」(24.2%)が最も多い。
- ・品目ごとに利用する場所について、年代で比較したところ、30～50歳代で、家電製品・家具の買物場所として「通信販売（インターネット利用）」(23.6%)がやや多くなっている。

買物等の利用場所

(%)

	合計	市内の駅前中小商店	市内の住宅地にある中小商店	市内のドラッグストア・コンビニ・ファミレス	市内のショッピングセンター	市外のデパートなど商業施設	通信販売（インターネット利用）	通信販売（電話やファック）	その他	不明
飲食料品	500	4.6	4.2	80.6	14.2	24.2	5.4	1.6	3.2	5.2
日用雑貨・文具	500	4.2	7.2	58.6	13.2	31.0	10.2	0.8	3.2	11.0
普段着・寝具	500	1.2	1.8	13.6	21.2	58.6	16.6	3.2	4.6	14.2
高級衣料	500	0.0	0.4	1.8	2.2	69.0	9.2	1.2	5.4	21.2
書籍・雑貨	500	22.4	11.2	20.4	11.2	26.0	17.8	1.6	4.0	14.6
家電製品・家具	500	0.8	2.8	4.8	9.4	63.6	23.6	2.6	5.8	13.4
理・美容	500	22.0	24.2	7.8	4.4	19.6	1.6	0.6	12.8	14.6
医薬品	500	1.8	4.6	78.4	4.0	7.8	3.0	0.4	3.0	10.8
外食	500	17.8	12.8	28.4	5.8	45.8	0.6	0.0	11.2	14.2

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。



## 買物等の利用場所(10・20 歳代)

(%)

	合計	市内の駅前中小商店	市内の住宅地にある中小商店	市内のドラッグストア・ファミレス・スーパー	市内のショッピングセンター	市外のショッピングセンター・デパートなど商業施設	通信販売（インターネット利用）	通信販売（電話やファックス、雑誌など利用）	その他	不明
飲食料品	41	4.9	7.3	80.5	4.9	29.3	4.9	0.0	2.4	4.9
日用雑貨・文具	41	9.8	2.4	41.5	14.6	48.8	7.3	0.0	4.9	12.2
普段着・寝具	41	4.9	0.0	2.4	14.6	63.4	17.1	0.0	9.8	19.5
高級衣料	41	0.0	0.0	0.0	0.0	63.4	2.4	0.0	12.2	26.8
書籍・雑貨	41	29.3	4.9	22.0	9.8	31.7	19.5	0.0	7.3	19.5
家電製品・家具	41	0.0	2.4	2.4	2.4	61.0	24.4	0.0	12.2	17.1
理・美容	41	12.2	12.2	4.9	2.4	36.6	0.0	0.0	19.5	17.1
医薬品	41	4.9	0.0	78.0	2.4	7.3	2.4	0.0	4.9	14.6
外食	41	22.0	9.8	36.6	4.9	48.8	0.0	0.0	7.3	14.6

(注)網掛けは20%以上のもの。

## 買物等の利用場所(30～50 歳代)

(%)

	合計	市内の駅前中小商店	市内の住宅地にある中小商店	市内のドラッグストア・ファミレス・スーパー	市内のショッピングセンター	市外のショッピングセンター・デパートなど商業施設	通信販売（インターネット利用）	通信販売（電話やファックス、雑誌など利用）	その他	不明
飲食料品	277	5.4	2.5	84.5	15.9	27.8	7.6	2.2	2.9	1.8
日用雑貨・文具	277	4.0	8.7	60.6	13.7	36.1	15.2	1.1	3.2	5.1
普段着・寝具	277	0.4	0.7	11.6	21.3	71.8	23.5	2.9	3.6	6.5
高級衣料	277	0.0	0.0	1.8	2.2	77.6	13.4	0.7	5.1	13.0
書籍・雑貨	277	21.7	13.0	20.9	10.8	33.2	25.6	1.8	2.2	7.2
家電製品・家具	277	0.4	1.8	5.1	7.9	72.6	33.2	1.4	5.1	6.1
理・美容	277	26.7	20.6	8.3	5.8	25.6	2.9	0.7	11.9	8.3
医薬品	277	1.8	4.3	83.8	4.0	10.1	3.6	0.7	3.2	5.1
外食	277	17.7	14.1	29.2	6.9	56.0	0.7	0.0	13.0	7.6

(注)網掛けは20%以上のもの。

買物等の利用場所(60歳代以上)

(%)

	合計	市内の駅前中小商店	市内の住宅地にある中小商店	市内のドラッグストア・ファミレス・スーパー	市内のショッピングセンター	市外のデパートなど商業施設	市外のショッピングセンター	通信販売(インターネット利用)	通信販売(電話やファック)	その他	不明
飲食料品	182	3.3	6.0	74.7	13.7	17.6	2.2	1.1	3.8	10.4	
日用雑貨・文具	182	3.3	6.0	59.3	12.1	19.2	3.3	0.5	2.7	19.8	
普段着・寝具	182	1.6	3.8	19.2	22.5	37.4	6.0	4.4	4.9	24.7	
高級衣料	182	0.0	1.1	2.2	2.7	57.1	4.4	2.2	4.4	32.4	
書籍・雑貨	182	22.0	9.9	19.2	12.1	13.7	5.5	1.6	6.0	24.7	
家電製品・家具	182	1.6	4.4	4.9	13.2	50.5	8.8	4.9	5.5	23.6	
理・美容	182	17.0	32.4	7.7	2.7	6.6	0.0	0.5	12.6	23.6	
医薬品	182	1.1	6.0	70.3	4.4	4.4	2.2	0.0	2.2	18.7	
外食	182	17.0	11.5	25.3	4.4	29.7	0.5	0.0	9.3	24.2	

(注)網掛けは20%以上のもの。

- ・日頃利用する場所の理由では、理・美容や外食を除き「品揃えが豊富」や「欲しいものがある」といった理由が多くなっている。ただし、飲食料品については「家から近い」が多くなっている。
- ・なお、理・美容では、「なじみの店」(40.4%)が多くなっている。
- ・品目ごとに利用する場所について、年代で比較したところ、10・20歳代の飲食料品や日用雑貨・文具、書籍・雑貨、外食では「気軽に入りやすい」が多くなっている。

買物理由

(%)

	合計	品揃えが豊富	価格が安い	品質・鮮度がよい	欲しいものがある	気軽に入りやすい	なじみの店	一カ所で全てが揃う	休憩場所がある	営業時間が長い	駐輪・駐車場がある	接客態度が良い	家から近い	配達サービスがある	ポイントや電子クーポンなどを発行している	その他	不明
飲食料品	500	31.6	26.6	10.4	14.0	16.8	9.4	22.4	0.0	6.6	13.8	1.2	41.2	6.0	11.4	1.4	7.4
日用雑貨・文具	500	27.4	15.4	1.6	25.0	10.6	6.2	14.0	0.2	2.6	9.6	1.0	24.6	4.4	7.6	1.8	14.8
普段着・寝具	500	33.4	17.6	3.6	36.4	8.2	4.4	10.4	0.6	1.2	8.6	0.6	8.8	4.6	4.4	1.2	18.6
高級衣料	500	34.4	3.6	10.8	38.6	1.8	3.2	5.6	0.4	0.8	4.8	2.4	2.2	1.0	3.4	3.4	23.8
書籍・雑貨	500	27.2	2.8	0.0	23.8	14.8	5.0	5.6	0.8	2.6	4.2	0.4	20.4	7.6	4.8	2.0	19.2
家電製品・家具	500	37.0	23.0	1.6	25.0	4.8	5.0	10.4	0.0	1.2	10.0	1.2	3.2	11.6	9.2	1.4	18.6
理・美容	500	2.0	14.2	3.4	3.6	8.0	40.4	1.0	0.2	0.8	1.0	10.0	18.8	0.8	2.6	3.0	19.8
医薬品	500	24.6	19.2	0.8	16.0	9.6	7.8	9.0	0.0	1.8	5.8	0.8	27.6	1.4	10.2	2.2	17.2
外食	500	11.0	10.0	8.2	12.8	21.4	11.8	3.6	0.8	4.6	13.0	4.0	16.8	0.4	2.6	4.6	20.4

(注)網掛けは20%以上のもの。

買物理由(10・20歳代)

(%)

	合計	品揃えが豊富	価格が安い	品質・鮮度がよい	欲しいものがある	気軽に入りやすい	なじみの店	一カ所で全てが揃う	休憩場所がある	営業時間が長い	駐輪・駐車場がある	接客態度が良い	家から近い	配達サービスがある	ポイントや電子クーポンなどを発行している	その他	不明
飲食品	41	17.1	22.0	4.9	12.2	26.8	17.1	17.1	0.0	24.4	7.3	2.4	53.7	2.4	2.4	0.0	7.3
日用雑貨・文具	41	31.7	9.8	2.4	19.5	24.4	4.9	14.6	0.0	7.3	2.4	0.0	34.1	2.4	2.4	0.0	14.6
普段着・寝具	41	36.6	2.4	9.8	48.8	7.3	9.8	19.5	2.4	0.0	0.0	2.4	7.3	2.4	4.9	0.0	19.5
高級衣料	41	31.7	2.4	24.4	22.0	4.9	2.4	12.2	0.0	0.0	0.0	2.4	2.4	0.0	2.4	4.9	26.8
書籍・雑貨	41	24.4	4.9	0.0	9.8	24.4	7.3	2.4	0.0	4.9	2.4	0.0	19.5	4.9	2.4	0.0	22.0
家電製品・家具	41	34.1	17.1	2.4	17.1	4.9	2.4	17.1	0.0	0.0	7.3	2.4	4.9	9.8	7.3	2.4	22.0
理・美容	41	0.0	4.9	12.2	2.4	2.4	43.9	0.0	0.0	2.4	0.0	22.0	22.0	0.0	2.4	0.0	22.0
医薬品	41	14.6	22.0	0.0	12.2	7.3	9.8	7.3	0.0	2.4	4.9	2.4	36.6	2.4	2.4	2.4	19.5
外食	41	12.2	9.8	4.9	4.9	24.4	14.6	4.9	0.0	14.6	7.3	2.4	29.3	0.0	4.9	0.0	26.8

(注)網掛けは20%以上のもの。

買物理由(30～50歳代)

(%)

	合計	品揃えが豊富	価格が安い	品質・鮮度がよい	欲しいものがある	気軽に入りやすい	なじみの店	一カ所で全てが揃う	休憩場所がある	営業時間が長い	駐輪・駐車場がある	接客態度が良い	家から近い	配達サービスがある	ポイントや電子クーポンなどを発行している	その他	不明
飲食品	277	30.7	32.5	9.4	13.4	12.3	9.0	20.6	0.0	6.9	15.9	1.1	46.6	7.2	10.1	2.2	3.6
日用雑貨・文具	277	29.2	19.5	1.1	27.4	8.3	7.9	13.0	0.0	3.2	11.6	1.1	27.4	5.1	8.7	2.5	7.6
普段着・寝具	277	36.8	22.0	4.0	41.9	6.5	3.2	8.3	0.0	1.4	11.2	0.4	9.4	6.1	5.1	1.8	9.7
高級衣料	277	37.9	4.0	12.3	44.8	1.4	3.6	4.7	0.4	1.4	5.8	2.2	1.8	1.8	4.0	3.2	15.9
書籍・雑貨	277	31.4	3.2	0.0	28.2	13.7	4.3	6.9	0.7	3.2	4.7	0.7	21.3	9.4	6.9	2.9	9.4
家電製品・家具	277	43.7	29.6	1.4	31.0	4.7	4.7	8.3	0.0	1.4	10.8	0.7	2.9	11.2	11.2	1.4	9.7
理・美容	277	2.9	18.1	4.0	5.1	8.3	39.7	1.1	0.4	1.1	1.1	9.4	20.2	1.1	3.2	3.6	11.2
医薬品	277	27.4	22.4	0.7	18.8	9.0	6.9	7.9	0.0	1.8	5.4	0.4	34.3	1.1	11.6	2.2	7.9
外食	277	14.4	10.8	9.0	16.2	20.6	12.6	4.7	0.4	3.2	15.2	3.6	18.4	0.4	2.9	6.1	10.1

(注)網掛けは20%以上のもの。

買物理由(60歳代以上)

(%)

	合計	品揃えが豊富	価格が安い	品質・鮮度がよい	欲しいものがある	気軽に入りやすい	なじみの店	一カ所で全てが揃う	休憩場所がある	営業時間が長い	駐輪・駐車場がある	接客態度が良い	家から近い	配達サービスがある	ポイントや電子クーポンなどを発行している	その他	不明
飲食品	182	36.3	18.7	13.2	15.4	21.4	8.2	26.4	0.0	2.2	12.1	1.1	30.2	4.9	15.4	0.5	13.2
日用雑貨・文具	182	23.6	10.4	2.2	22.5	11.0	3.8	15.4	0.5	0.5	8.2	1.1	18.1	3.8	7.1	1.1	25.8
普段着・寝具	182	27.5	14.3	1.6	25.3	11.0	4.9	11.5	1.1	1.1	6.6	0.5	8.2	2.7	3.3	0.5	31.9
高級衣料	182	29.7	3.3	5.5	33.0	1.6	2.7	5.5	0.5	0.0	4.4	2.7	2.7	0.0	2.7	3.3	35.2
書籍・雑貨	182	21.4	1.6	0.0	20.3	14.3	5.5	4.4	1.1	1.1	3.8	0.0	19.2	5.5	2.2	1.1	33.5
家電製品・家具	182	27.5	14.3	1.6	17.6	4.9	6.0	12.1	0.0	1.1	9.3	1.6	3.3	12.6	6.6	1.1	31.3
理・美容	182	1.1	10.4	0.5	1.6	8.8	40.7	1.1	0.0	0.0	1.1	8.2	15.9	0.5	1.6	2.7	32.4
医薬品	182	22.5	13.7	1.1	12.6	11.0	8.8	11.0	0.0	1.6	6.6	1.1	15.4	1.6	9.9	2.2	30.8
外食	182	5.5	8.8	7.7	9.3	22.0	9.9	1.6	1.6	4.4	11.0	4.9	11.5	0.5	1.6	3.3	34.6

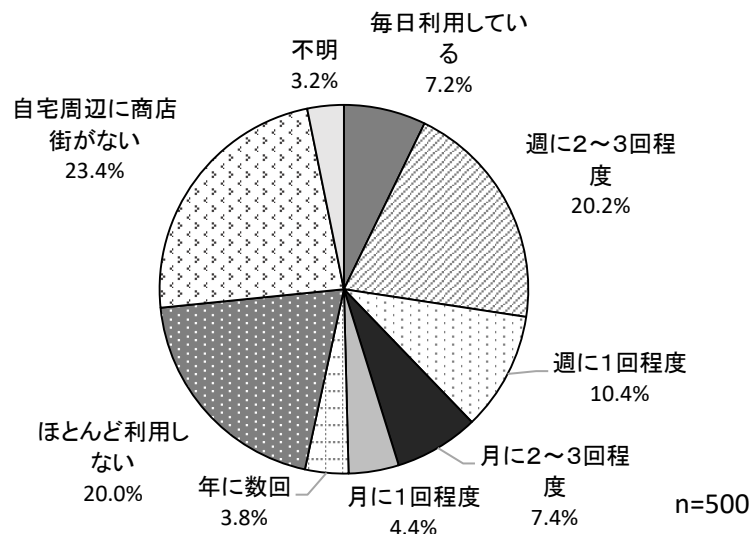
(注)網掛けは20%以上のもの。

## (6) 自宅周辺の商店街等について

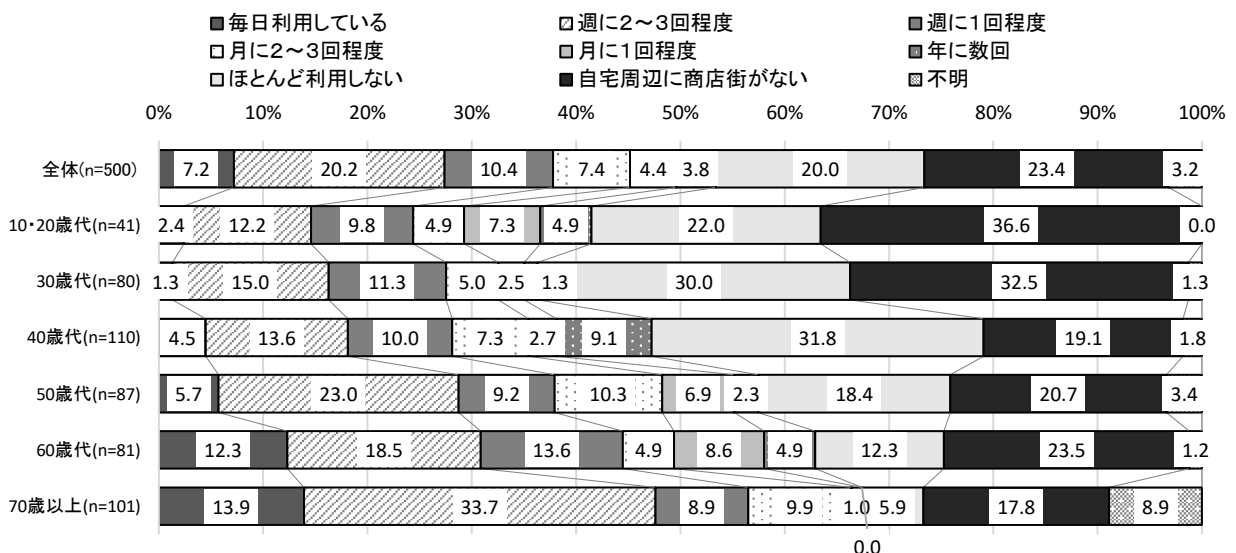
問 19 あなたは自宅周辺の商店街をどのくらい利用されますか（○印は1つ）。

- ・ 自宅周辺の商店街の利用頻度では、「自宅周辺に商店街がない」(23.4%)が最も多く、次いで「週に2～3回程度」(20.2%)、「ほとんど利用しない」(20.0%)、「週に1回程度」(10.4%)となっており、週に1回以上の利用は37.8%となっている。
- ・ 自宅周辺の商店街の利用頻度について、年代別に見てみると、年代が高くなるにつれ、利用頻度が多くなっている。
- ・ 自宅周辺の商店街の利用頻度について、地域別に見てみると、北部地域、南部地域、東部地域、西部地域の順で利用頻度が多くなっている。
- ・ 自宅周辺の商店街の利用頻度について、生活圏別に見ると、朝霞市内が主な生活圏の市民の利用頻度がやや多くなっている。
- ・ 自宅周辺の商店街の利用頻度について、家族構成別に見ると、一人暮らしで「毎日利用している」(10.0%)とやや多くなっている。

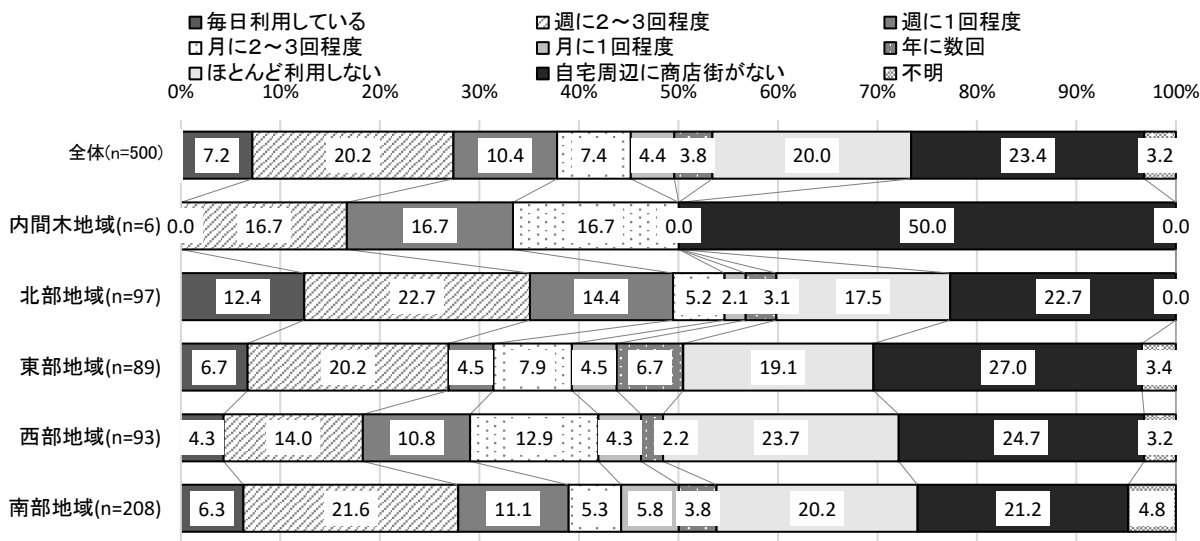
自宅周辺の商店街利用頻度



自宅周辺の商店街の利用頻度(年代別)

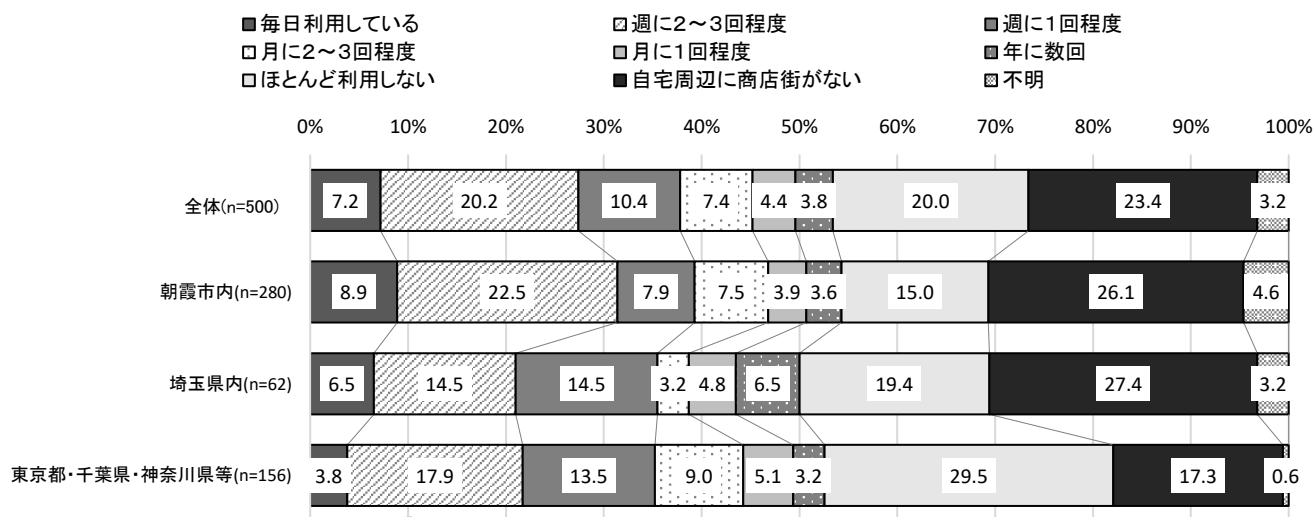


自宅周辺の商店街の利用頻度(地域別)



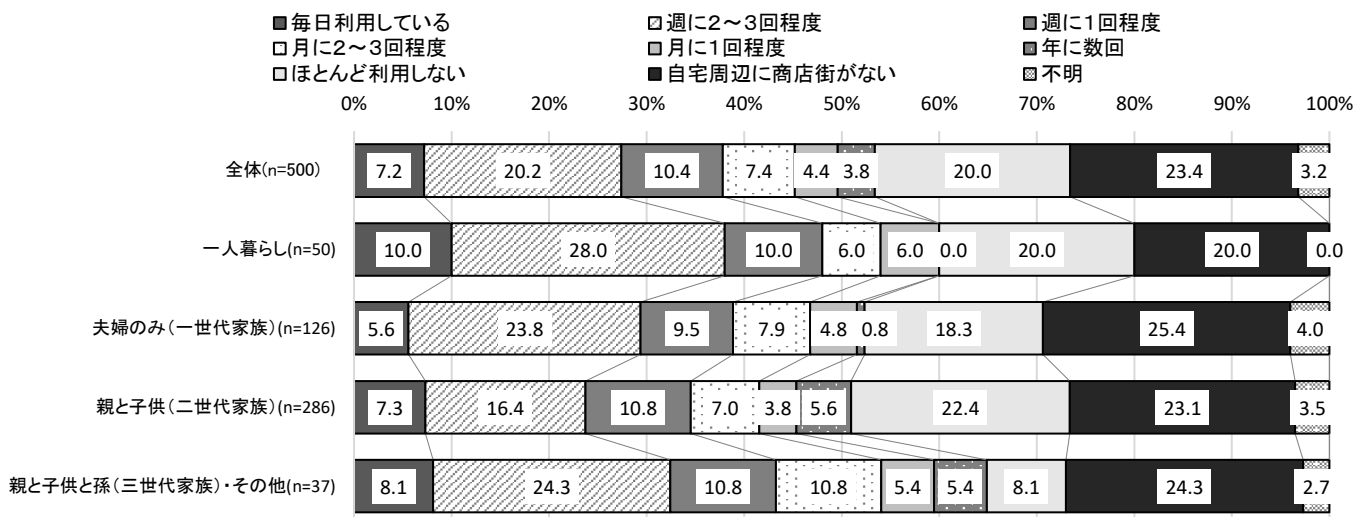
(注)表側の「不明」は除く。サンプル数 10 未満は参考値扱いとする。

自宅周辺の商店街の利用頻度(生活圏別)



(注)表側の「不明」は除く。

自宅周辺の商店街の利用頻度(家族構成別)

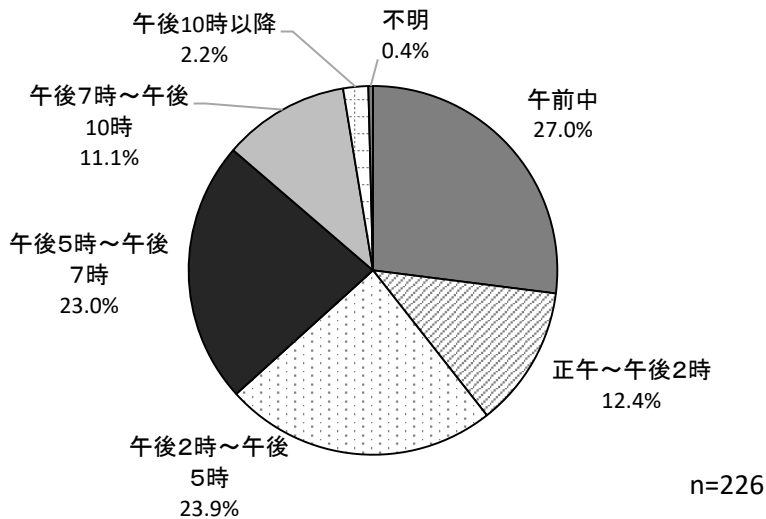


(注)表側の「不明」は除く。

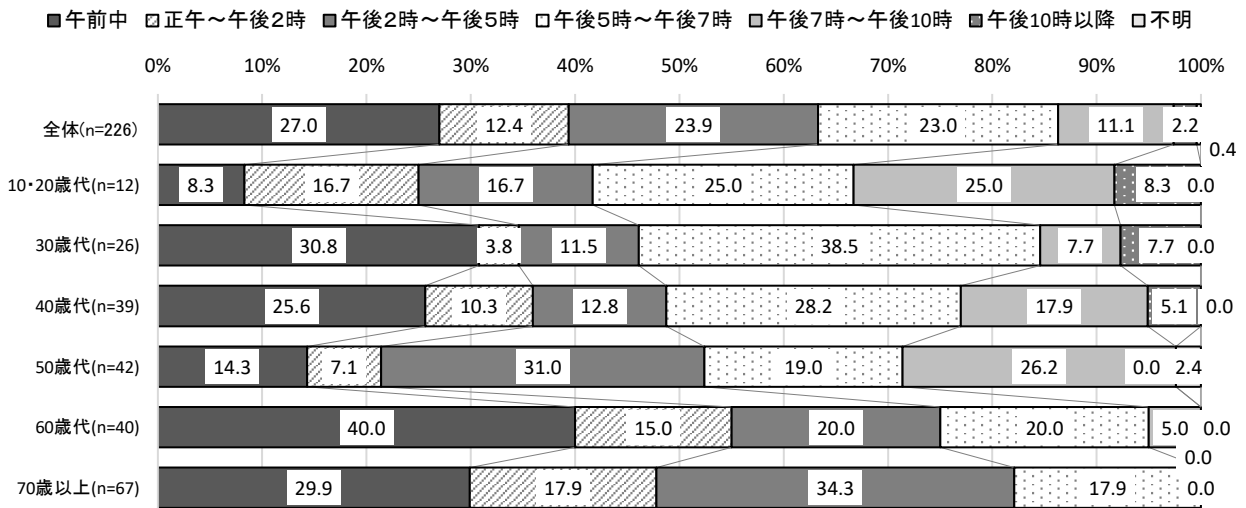
問 19 (1) 商店街で買物・飲食する時間は何時ころが多いですか (○印は1つ)。

- ・商店街利用の時間帯では、「午前中」(27.0%)が最も多く、次いで「午後2時～午後5時」(23.9%)となっている。
- ・商店街利用の時間帯について、年代別に見ると、年代によって差が見られ、10・20歳代や50歳代で「午後7時～午後10時」の割合が高くなっており、30歳代や40歳代で「午後5時～午後7時」が多くなっている。
- ・商店街利用の時間帯について、地域別に見ると、南部地域では「午前中」(30.4%)、その他の地域では「午後5時～午後7時」がやや多くなっている。
- ・商店街利用の時間帯について、生活圏別に見ると、朝霞市内が主な生活圏の市民は「午前中」(36.6%)が最も多く、東京都・千葉県・神奈川県等が生活圏の市民では、「午後5時～午後7時」(37.7%)が多くなっている。

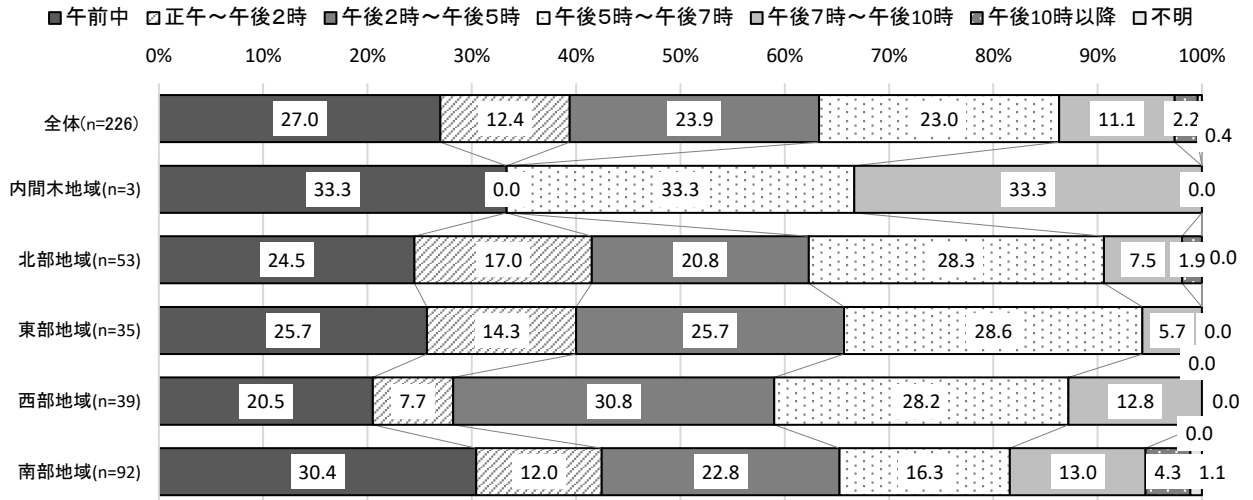
自宅周辺の商店街の利用時間



自宅周辺の商店街の利用時間(年代別)

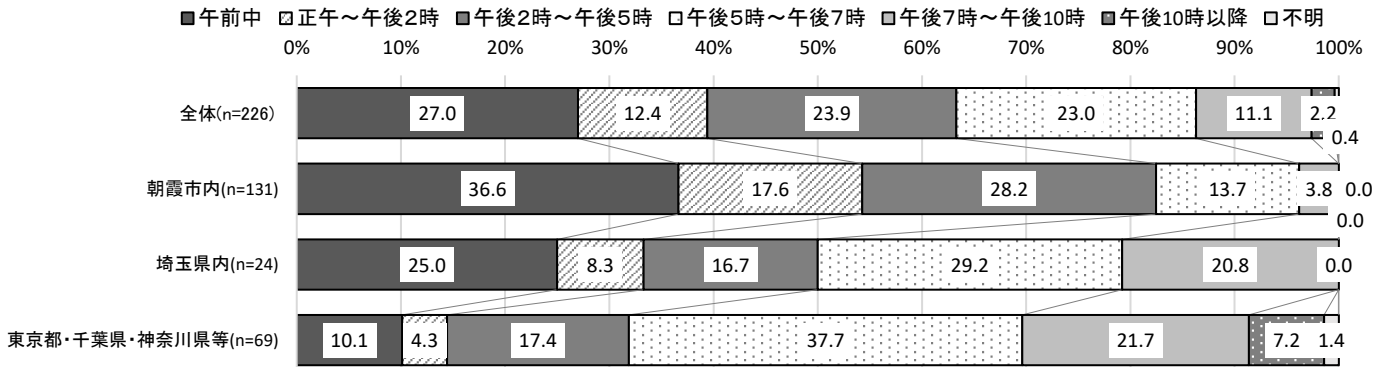


### 自宅周辺の商店街の利用時間(地域別)



(注)表側の「不明」は除く。サンプル数 10 未満は参考値扱いとする。

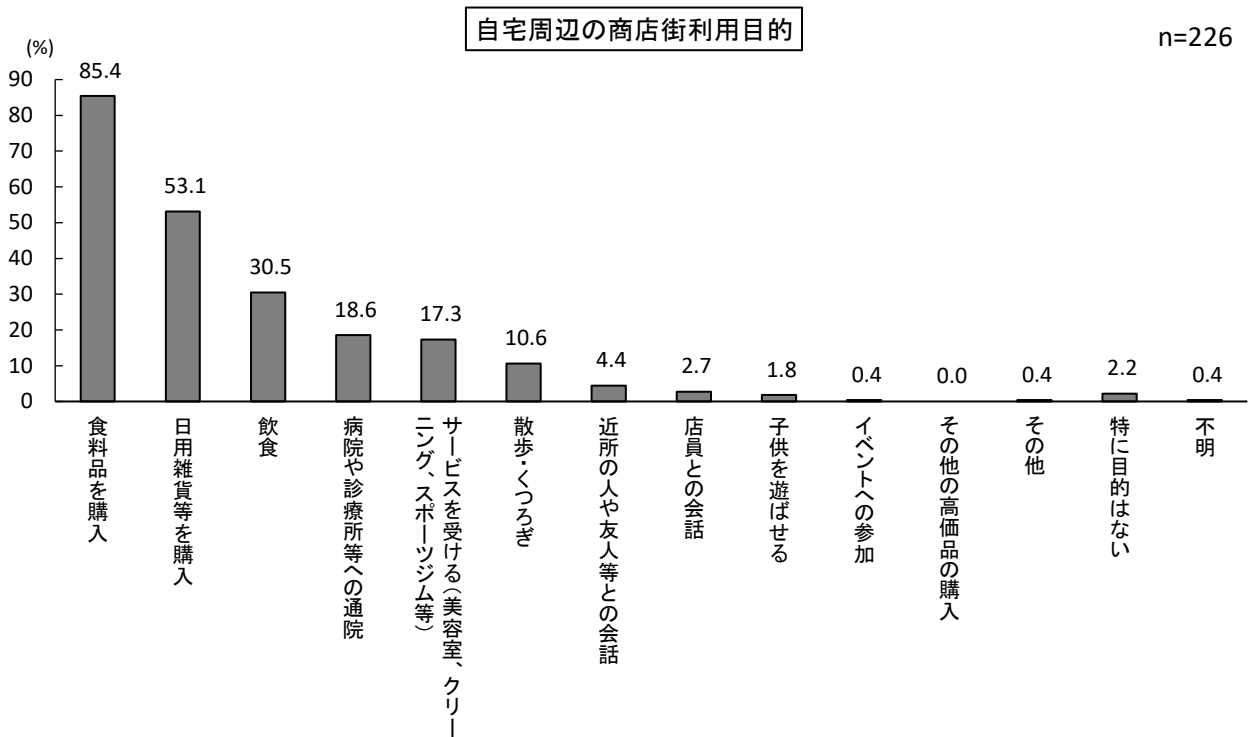
### 自宅周辺の商店街の利用時間(生活圏別)



(注)表側の「不明」は除く。

問 19 (2) 商店街を利用する目的をお聞かせください (○印はいくつでも)。

- ・商店街を利用する目的では、「食料品を購入」(85.4%)が最も多く、次いで「日用雑貨等を購入」(53.1%)、「飲食」(30.5%)となっている。
- ・商店街を利用する目的について、年代別に見ると、いずれの年代でも「食料品を購入」、「日用雑貨を購入」、「飲食」が多くなっているが、70歳以上では「病院や診療所等への通院」(34.3%)や「サービスを受ける(美容室、クリーニング、スポーツジム等)」(23.9%)もやや多い。



自宅周辺の商店街利用目的(年代別)

	合計	食料品を購入	日用雑貨等を購入	飲食	病院や診療所等への通院	サービスを受ける(美容室、クリーニング、スポーツジム等)	散歩・くつろぎ	近所の人や友人等との会話	店員との会話	子供を遊ばせる	イベントへの参加	その他の高価品の購入	その他	特に目的はない	不明
全体	226	85.4	53.1	30.5	18.6	17.3	10.6	4.4	2.7	1.8	0.4	0.0	0.4	2.2	0.4
10・20歳代	12	100.0	58.3	41.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	26	80.8	50.0	26.9	7.7	7.7	19.2	3.8	0.0	15.4	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0
40歳代	39	79.5	59.0	38.5	12.8	15.4	7.7	5.1	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50歳代	42	85.7	38.1	38.1	7.1	19.0	7.1	4.8	7.1	0.0	0.0	0.0	2.4	2.4	2.4
60歳代	40	87.5	52.5	27.5	17.5	17.5	7.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
70歳以上	67	86.6	59.7	22.4	34.3	23.9	14.9	6.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0

(注) 網掛けは20%以上のもの。



- ・地域別では、西部地域、南部地域の順に「食料品を購入」(89.7%・85.9%)の割合が高くなっている。
- ・生活圏別では、朝霞市内で「食料品を購入」(87.0%)が最も多く、東京都・千葉県・神奈川県等では「飲食」(36.2%)も多くなっている。

自宅周辺の商店街利用目的(地域別)

	合計	食料品を購入	日用雑貨等を購入	飲食	病院や診療所等への通院	サービシングを受ける(美容室、ク)	散歩・くつろぎ	近所の人や友人等との会話	店員との会話	子供を遊ばせる	イベントへの参加	その他の高価品の購入	その他	特に目的はない	不明
全体	226	85.4	53.1	30.5	18.6	17.3	10.6	4.4	2.7	1.8	0.4	0.0	0.4	2.2	0.4
内間木地域	3	100.0	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北部地域	53	83.0	60.4	30.2	13.2	11.3	7.5	3.8	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	3.8	0.0
東部地域	35	80.0	57.1	37.1	22.9	17.1	8.6	5.7	2.9	5.7	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0
西部地域	39	89.7	38.5	20.5	15.4	15.4	12.8	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0
南部地域	92	85.9	51.1	30.4	21.7	19.6	10.9	6.5	3.3	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

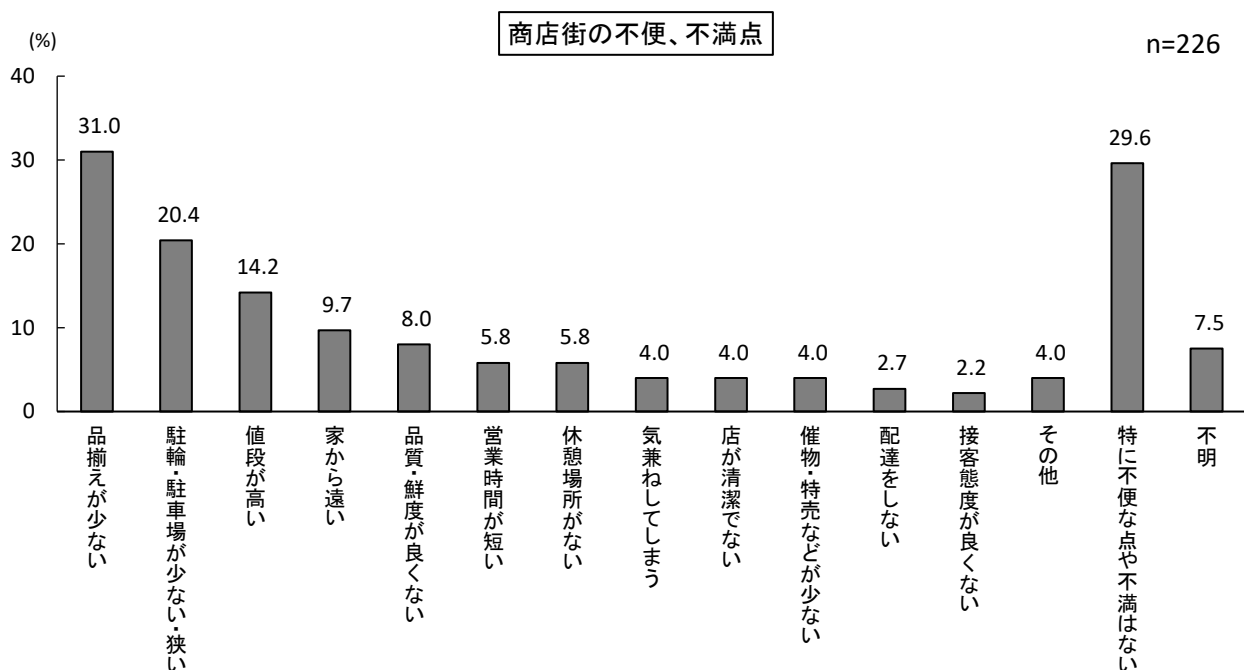
自宅周辺の商店街利用目的(生活圏別)

	合計	食料品を購入	日用雑貨等を購入	飲食	病院や診療所等への通院	サービシングを受ける(美容室、ク)	散歩・くつろぎ	近所の人や友人等との会話	店員との会話	子供を遊ばせる	イベントへの参加	その他の高価品の購入	その他	特に目的はない	不明
全体	226	85.4	53.1	30.5	18.6	17.3	10.6	4.4	2.7	1.8	0.4	0.0	0.4	2.2	0.4
朝霞市内	131	87.0	61.8	29.0	23.7	22.1	13.0	6.1	3.1	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0
埼玉県内	24	79.2	41.7	25.0	4.2	4.2	4.2	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	4.2	8.3	0.0
東京都・千葉県・神奈川県等	69	84.1	40.6	36.2	11.6	13.0	8.7	2.9	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	1.4	1.4

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

問 19 (3) 商店街における不便な点やご不満をもっていますか (○印は3つまで)。

- ・商店街における不便な点や不満では、「品揃えが少ない」(31.0%)が最も多く、次いで「特に不便な点や不満はない」(29.6%)となっている。
- ・商店街における不便な点や不満について、年代別に見ると、10・20歳代で「品揃えが少ない」(50.0%)が最も多くなっているが、40歳代では「駐輪・駐車場が少ない・狭い」(30.8%)も多くなっている。



商店街の不便、不満点(年代別)

(%)

	合計	品揃えが少ない	駐輪・駐車場が少ない・狭い	値段が高い	家から遠い	品質・鮮度が良くない	営業時間が短い	休憩場所がない	気兼ねしてしまう	店が清潔でない	催物・特売などが少ない	配達をしない	接客態度が良くない	その他	特に不便な点や不満はない	不明
全体	226	31.0	20.4	14.2	9.7	8.0	5.8	5.8	4.0	4.0	4.0	2.7	2.2	4.0	29.6	7.5
10・20歳代	12	50.0	16.7	33.3	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	16.7	0.0	25.0	0.0
30歳代	26	34.6	19.2	30.8	7.7	3.8	11.5	3.8	7.7	19.2	0.0	0.0	0.0	3.8	26.9	3.8
40歳代	39	28.2	30.8	10.3	5.1	12.8	5.1	0.0	5.1	0.0	5.1	0.0	0.0	10.3	25.6	10.3
50歳代	42	31.0	23.8	9.5	11.9	7.1	4.8	4.8	2.4	2.4	4.8	2.4	2.4	7.1	35.7	2.4
60歳代	40	32.5	27.5	7.5	10.0	7.5	5.0	5.0	2.5	0.0	2.5	5.0	0.0	2.5	20.0	12.5
70歳以上	67	26.9	9.0	13.4	11.9	9.0	3.0	11.9	3.0	3.0	6.0	4.5	3.0	0.0	35.8	9.0

(注)網掛けは20%以上のもの。

- ・商店街における不便な点や不満について、地域別に見ると、南部地域や東部地域では「品揃えが少ない」の割合が30%を超えて高くなっている。また、北部地域では「特に不便な点や不満はない」(43.4%)が多くなっている。
- ・商店街における不便な点や不満について、生活圏別に見ると、東京都・千葉県・神奈川県等で「品揃えが少ない」(33.3%)がやや多くなっている。

商店街の不便、不満点(地域別)

	合計	品揃えが少ない	少駐 な輪 い・駐 狭車 い場 が	値 段が 高 い	家 から 遠 い	く品 質・ 鮮 度 が 良 い	営 業 時 間 が 短 い	休 憩 場 所 が な い	う気 兼 ね し て し ま う	店 が 清 潔 で な い	催 物 ・ 特 売 な ど が 少 な い	配 達 を し な い	な接 客 態 度 が 良 く	そ の 他	不 満 に 不 便 な 点 や	不 明
全体	226	31.0	20.4	14.2	9.7	8.0	5.8	5.8	4.0	4.0	4.0	2.7	2.2	4.0	29.6	7.5
内間木地域	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
北部地域	53	20.8	11.3	7.5	7.5	13.2	1.9	9.4	0.0	3.8	1.9	3.8	1.9	1.9	43.4	7.5
東部地域	35	34.3	20.0	8.6	25.7	8.6	5.7	5.7	5.7	2.9	5.7	2.9	0.0	5.7	14.3	14.3
西部地域	39	28.2	25.6	20.5	7.7	7.7	5.1	7.7	5.1	0.0	2.6	5.1	2.6	5.1	28.2	7.7
南部地域	92	39.1	25.0	17.4	6.5	5.4	7.6	3.3	5.4	6.5	5.4	1.1	3.3	3.3	26.1	5.4

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

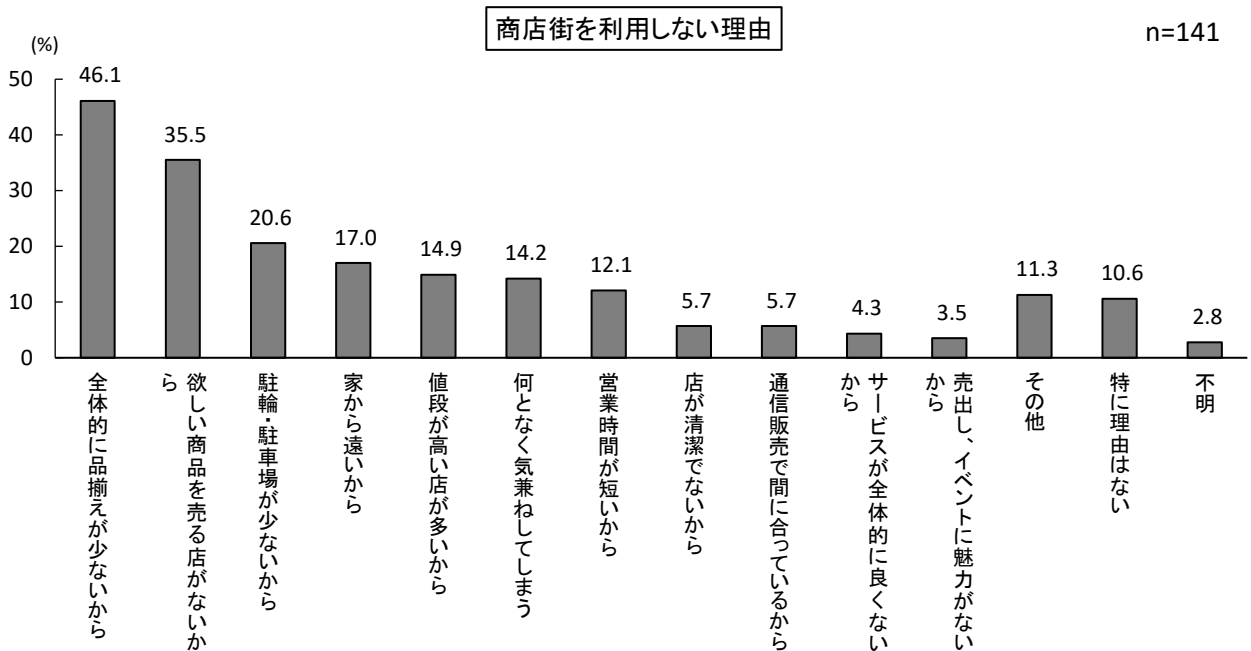
商店街の不便、不満点(生活圏別)

	合計	品揃えが少ない	狭駐 い輪 ・駐 車 場 が 少 な い ・	値 段が 高 い	家 から 遠 い	品 質・ 鮮 度 が 良 く な い	営 業 時 間 が 短 い	休 憩 場 所 が な い	う気 兼 ね し て し ま う	店 が 清 潔 で な い	催 物 ・ 特 売 な ど が 少 な い	配 達 を し な い	接 客 態 度 が 良 く な い	そ の 他	特 に 不 便 な 点 や 不 満 は な い	不 明
全体	226	31.0	20.4	14.2	9.7	8.0	5.8	5.8	4.0	4.0	4.0	2.7	2.2	4.0	29.6	7.5
朝霞市内	131	29.8	22.1	13.0	9.9	9.2	3.1	8.4	2.3	0.8	3.8	2.3	2.3	2.3	32.8	8.4
埼玉県内	24	29.2	12.5	16.7	12.5	4.2	4.2	0.0	8.3	12.5	4.2	0.0	4.2	8.3	25.0	8.3
東京都・千葉県・神奈川県等	69	33.3	20.3	14.5	8.7	7.2	11.6	2.9	5.8	7.2	4.3	4.3	1.4	5.8	26.1	4.3

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

問 19 (4) 【商店街をあまり利用しない回答者】商店街を利用しない理由をお聞かせください (○印は3つまで)。

- ・商店街をあまり利用しない理由では、「全体的に品揃えが少ないから」(46.1%)が最も多く、次いで「欲しい商品が売らないから」(35.5%)、「駐輪・駐車場が少ないから」(20.6%)となっている。
- ・商店街をあまり利用しない理由について、年代別で見ると、どの年代でも「全体的に品揃えが少ないから」が多くなっているが、10・20歳代で「営業時間が短いから」(35.7%)、30歳代で「何となく気兼ねしてしまう」(25.9%)もやや多くなっている。



商店街を利用しない理由(年代別) (%)

	合計	全体的に品揃えが少ないから	欲しい商品が売らないから	駐輪・駐車場が少ないから	家から遠いから	値段が高い店が多いから	何となく気兼ねしてしまう	営業時間が短いから	店が清潔でないから	通信販売で間に合っているから	サービスが全体的に良くないから	売出し、イベントに魅力がないから	その他	特に理由はない	不明
全体	141	46.1	35.5	20.6	17.0	14.9	14.2	12.1	5.7	5.7	4.3	3.5	11.3	10.6	2.8
10・20歳代	14	42.9	28.6	0.0	7.1	7.1	7.1	35.7	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	21.4	0.0
30歳代	27	40.7	25.9	18.5	22.2	7.4	25.9	11.1	11.1	0.0	3.7	0.0	14.8	14.8	0.0
40歳代	48	47.9	29.2	27.1	20.8	20.8	12.5	16.7	6.3	6.3	10.4	2.1	8.3	6.3	4.2
50歳代	24	50.0	50.0	25.0	16.7	20.8	12.5	4.2	0.0	8.3	0.0	4.2	20.8	0.0	0.0
60歳代	21	47.6	47.6	19.0	14.3	14.3	14.3	0.0	4.8	9.5	0.0	9.5	9.5	14.3	4.8
70歳以上	7	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	14.3

(注)網掛けは20%以上のもの。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

- ・商店街をあまり利用しない理由について、地域別に見ると、北部地域や南部地域で「全体的に品揃えが少ないから」(54.5%・50.0%)が多く、東部地域では「家から遠いから」(25.9%)がやや多くなっている。
- ・生活圏別に見ると、いずれも「全体的に品揃えが少ないから」が多くなっているが、特に東京都・千葉県・神奈川県等が主な生活圏の人で割合が高くなっている。また、埼玉県内を生活圏とする人に関して、「家から遠いから」も2割を超えて多くなっている。

商店街を利用しない理由(地域別)

	合計	全体的に品揃えが少ないから	欲しい商品が少ないから	駅から・駐車が少	家から遠いから	値段が高い店が多い	何となく気兼ねしてしまう	営業時間が短いから	店が清潔でないから	通信販売で間に合	サービスが全体的に	魅力がないから	その他	特に理由はない	不明
全体	141	46.1	35.5	20.6	17.0	14.9	14.2	12.1	5.7	5.7	4.3	3.5	11.3	10.6	2.8
内間木地域	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北部地域	22	54.5	31.8	4.5	18.2	13.6	9.1	18.2	4.5	4.5	0.0	4.5	18.2	4.5	0.0
東部地域	27	33.3	33.3	33.3	25.9	14.8	11.1	11.1	7.4	0.0	3.7	3.7	7.4	11.1	3.7
西部地域	28	39.3	32.1	14.3	17.9	17.9	14.3	10.7	7.1	3.6	14.3	3.6	3.6	17.9	0.0
南部地域	62	50.0	37.1	22.6	12.9	14.5	17.7	9.7	4.8	9.7	1.6	3.2	14.5	9.7	4.8

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

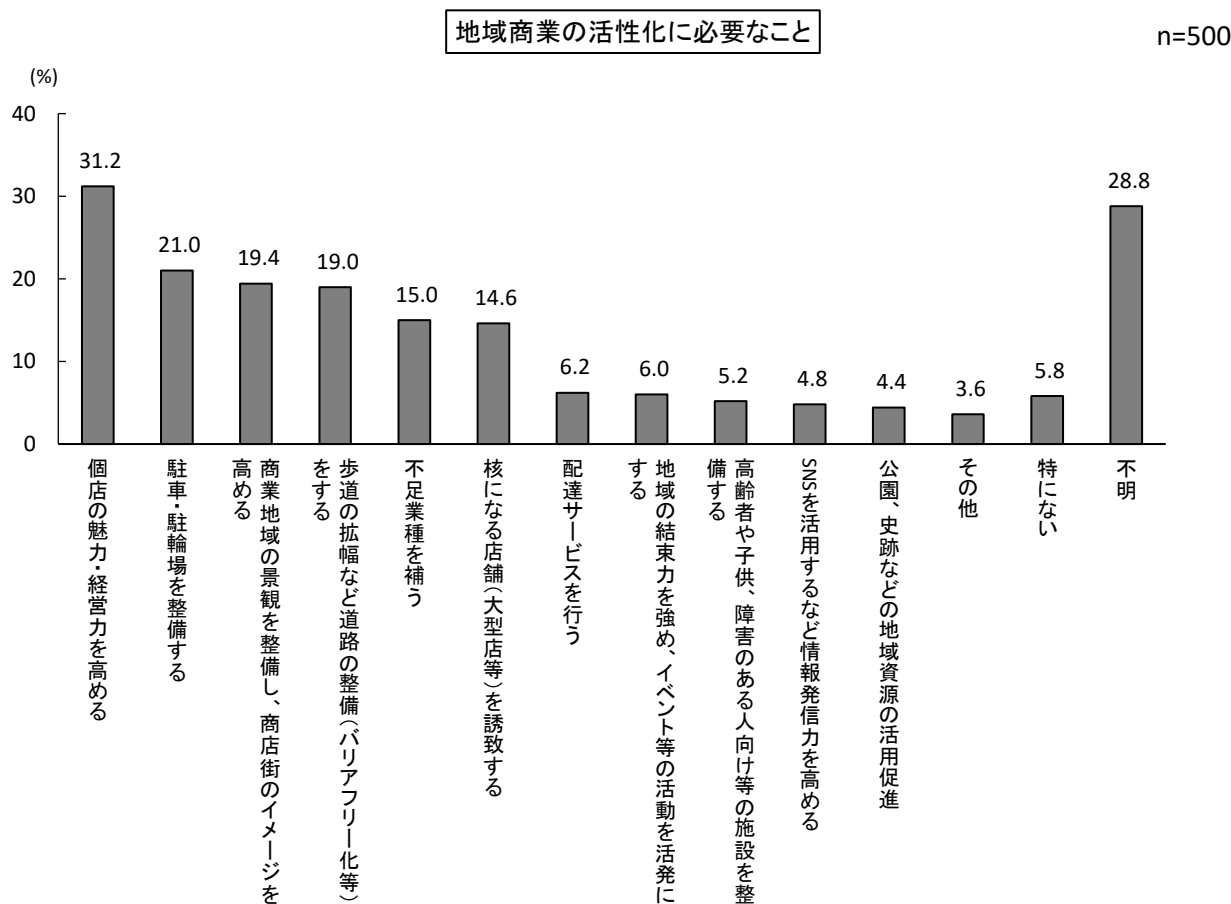
商店街を利用しない理由(生活圏別)

	合計	全体的に品揃えが少ないから	欲しい商品が少ないから	駅から・駐車が少	家から遠いから	値段が高い店が多い	何となく気兼ねしてしまう	営業時間が短いから	店が清潔でないから	通信販売で間に合	サービスが全体的に	魅力がないから	その他	特に理由はない	不明
全体	141	46.1	35.5	20.6	17.0	14.9	14.2	12.1	5.7	5.7	4.3	3.5	11.3	10.6	2.8
朝霞市内	63	46.0	31.7	20.6	12.7	17.5	22.2	3.2	7.9	0.0	6.3	6.3	3.2	12.7	4.8
埼玉県内	19	31.6	10.5	26.3	26.3	21.1	5.3	21.1	5.3	10.5	0.0	0.0	26.3	15.8	0.0
東京都・千葉県・神奈川県等	59	50.8	47.5	18.6	18.6	10.2	8.5	18.6	3.4	10.2	3.4	1.7	15.3	6.8	1.7

(注) 網掛けは20%以上のもの。

問 20 あなたがお住まいの地域の商店街をはじめとして地域の商業が活性化していくために必要と思うことは、次のうちどれですか（○印は3つまで）。

- ・地域商業が活性化していくために必要なことでは、「個店の魅力・経営力を高める」(31.2%)が最も多くなっており、次いで「駐車・駐輪場を整備する」(21.0%)、「商業地域の景観を整備し、商店街のイメージを高める」(19.4%)となっている。
- ・地域商業が活性化していくために必要なことについて、地域別に見ると、西部地域で「個店の魅力・経営力を高める」(36.6%)がやや多くなっている。また南部地域では「商業地域の景観を整備し、商店街のイメージを高める」(22.1%)や「歩道の拡幅など道路の整備（バリアフリー化等）をする」(22.6%)も他地域と比較より、多くなっている。
- ・地域商業が活性化していくために必要なことについて、年代別に見ると、全体としては「個店の魅力・経営力を高める」が多くなっているが、10・20歳代では特に「商業地域の景観を整備し、商店街のイメージを高める」(24.4%)が多くなっている。
- ・地域商業が活性化していくために必要なことについて、生活圏別に見ると、東京都・千葉県・神奈川県等で特に「個店の魅力・経営力を高める」(41.0%)、「不足業種を補う」(26.9%)と多くなっている。



地域商業の活性化に必要なこと(地域別)

(%)

	合計	個店の魅力・経営力を高める	駐車・駐輪場を整備する	商業地域の景観を整備し、商店街のイメージを高める	歩道の拡幅など道路の整備（パリアフリー化等）をすす	不足業種を補う	核になる店舗（大型店等）を誘致する	配達サービスを行う	地域の結束力を強め、イベント等の活動を活発にする	高齢者や子供、障害のある人向け等の施設を整備する	SNSを活用するなど情報発信力を高める	公園、史跡などの地域資源の活用促進	その他	特にな	不明
全体	500	31.2	21.0	19.4	19.0	15.0	14.6	6.2	6.0	5.2	4.8	4.4	3.6	5.8	28.8
内間木地域	6	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0
北部地域	97	33.0	18.6	16.5	18.6	17.5	17.5	7.2	6.2	4.1	3.1	3.1	0.0	10.3	23.7
東部地域	89	25.8	21.3	18.0	16.9	12.4	15.7	6.7	6.7	4.5	2.2	3.4	2.2	6.7	36.0
西部地域	93	36.6	15.1	16.1	15.1	17.2	10.8	5.4	8.6	3.2	6.5	7.5	4.3	3.2	30.1
南部地域	208	31.7	25.5	22.1	22.6	14.4	14.9	5.3	3.8	6.7	5.3	4.3	5.3	3.8	27.4

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

地域商業の活性化に必要なこと(年代別)

(%)

	合計	個店の魅力・経営力を高める	駐車・駐輪場を整備する	商業地域の景観を整備し、商店街のイメージを高める	歩道の拡幅など道路の整備（パリアフリー化等）をすす	不足業種を補う	核になる店舗（大型店等）を誘致する	配達サービスを行う	地域の結束力を強め、イベント等の活動を活発にする	高齢者や子供、障害のある人向け等の施設を整備する	SNSを活用するなど情報発信力を高める	公園、史跡などの地域資源の活用促進	その他	特にな	不明
全体	500	31.2	21.0	19.4	19.0	15.0	14.6	6.2	6.0	5.2	4.8	4.4	3.6	5.8	28.8
10・20歳代	41	26.8	17.1	24.4	14.6	9.8	12.2	2.4	7.3	2.4	4.9	0.0	2.4	0.0	39.0
30歳代	80	23.8	17.5	18.8	17.5	18.8	10.0	3.8	7.5	10.0	5.0	7.5	2.5	5.0	36.3
40歳代	110	34.5	25.5	16.4	14.5	20.0	19.1	9.1	10.0	2.7	12.7	5.5	5.5	2.7	21.8
50歳代	87	40.2	27.6	18.4	20.7	17.2	21.8	6.9	4.6	1.1	1.1	1.1	5.7	3.4	23.0
60歳代	81	34.6	21.0	25.9	24.7	13.6	14.8	4.9	1.2	6.2	1.2	3.7	2.5	4.9	29.6
70歳以上	101	24.8	14.9	16.8	20.8	7.9	7.9	6.9	5.0	7.9	2.0	5.9	2.0	14.9	30.7

(注) 網掛けは20%以上のもの。

地域商業の活性化に必要なこと(生活圏別)

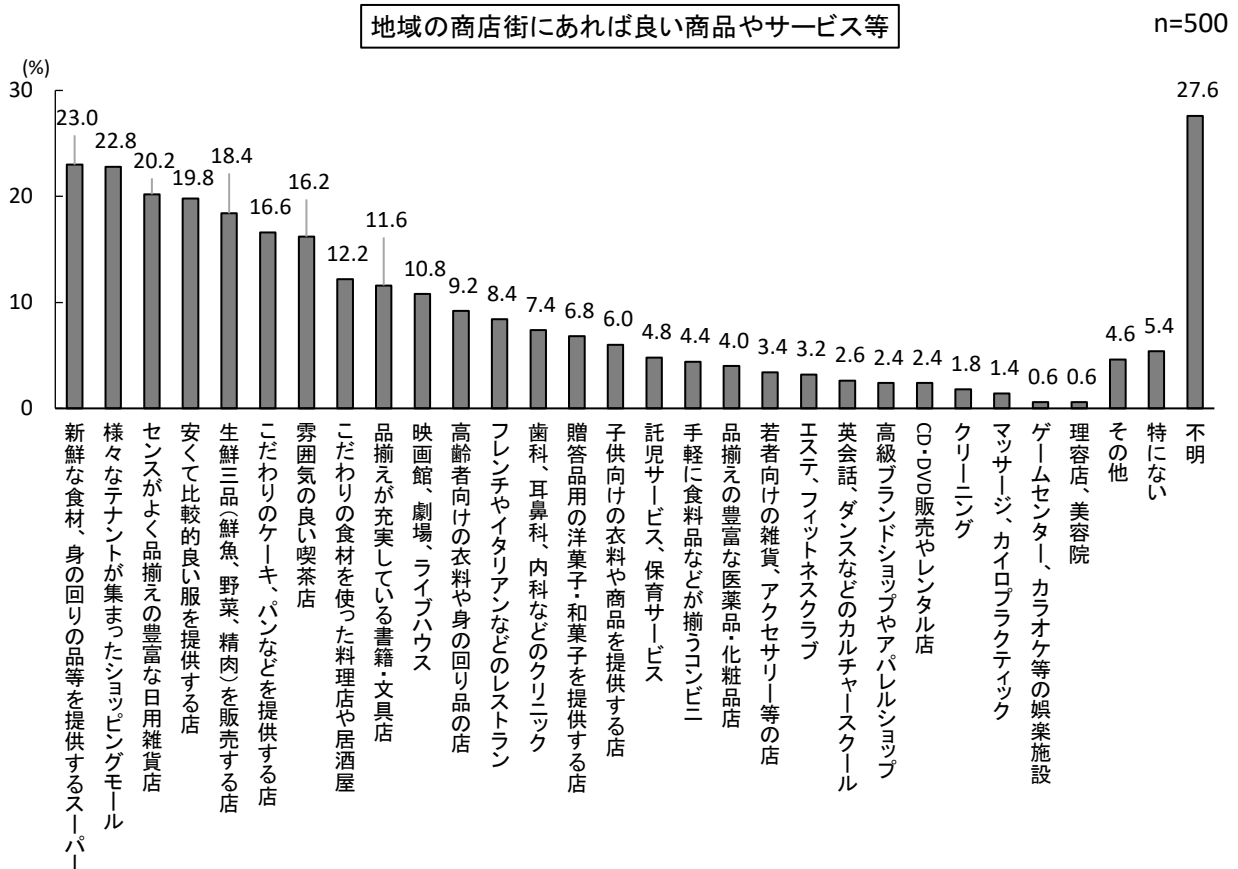
(%)

	合計	個店の魅力・経営力を高める	駐車・駐輪場を整備する	商業地域の景観を整備し、商店街のイメージを高める	歩道の拡幅など道路の整備（パリアフリー化等）をすす	不足業種を補う	核になる店舗（大型店等）を誘致する	配達サービスを行う	地域の結束力を強め、イベント等の活動を活発にする	高齢者や子供、障害のある人向け等の施設を整備する	SNSを活用するなど情報発信力を高める	公園、史跡などの地域資源の活用促進	その他	特にな	不明
全体	500	31.2	21.0	19.4	19.0	15.0	14.6	6.2	6.0	5.2	4.8	4.4	3.6	5.8	28.8
朝霞市内	280	27.5	18.6	18.9	18.9	8.9	12.5	6.1	6.1	6.1	3.6	3.6	2.9	6.8	34.3
埼玉県内	62	22.6	27.4	21.0	19.4	12.9	14.5	1.6	6.5	1.6	4.8	8.1	3.2	4.8	30.6
東京都・千葉県・神奈川県等	156	41.0	23.1	19.9	19.2	26.9	17.9	8.3	5.1	4.5	7.1	4.5	5.1	4.5	18.6

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

問 21 あなたがお住まいの地域の商店街にはどのような商品やサービス等のお店があったらさらに良い場所になると思いますか（○印は5つまで）。

- ・地域の商店街にあれば良い商品やサービス等では、「新鮮な食材、身の回りの品等を提供するスーパー」(23.0%)が最も多く、次いで「様々なテナントが集まったショッピングモール」(22.8%)となっている。
- ・地域の商店街にあれば良い商品やサービス等について、性別で比較してみると、女性は男性より「センスが良く品揃えの豊富な日用雑貨店」(22.2%)や「安くて比較的良い服を提供する店」(22.2%)が多くなっている。男性は女性より「生鮮三品(鮮魚、野菜、精肉)を販売する店」(20.7%)のニーズがやや高くなっている。
- ・地域の商店街にあれば良い商品やサービス等について、年代別に見てみると、10・20歳代では「雰囲気の良い喫茶店」(24.4%)が多くなっている。70歳以上では、他年代よりも「高齢者向けの衣料や身の回り品の店」(23.8%)が多くなっている。
- ・地域の商店街にあれば良い商品やサービス等について、居住年数で比較してみると、1年以上3年未満の市民では、「雰囲気の良い喫茶店」(29.4%)が多く、3年以上5年未満の市民では「様々なテナントが集まったショッピングモール」(37.5%)が多くなっている。
- ・地域の商店街にあれば良い商品やサービス等について、地域別に見たところ、北部地域や南部地域では、「安くて比較的良い服を提供する店」(23.7%・23.6%)がやや多く、西部地域では、他地域より「雰囲気の良い喫茶店」(21.5%)や「生鮮三品(鮮魚、野菜、精肉)を販売する店」(20.4%)も多くなっている。





地域の商店街にあれば良い商品やサービス等・上位 16 項目(性別別)

	合計	新鮮な食材、身の回りの品を提供するスーパー	様々なテナントが集まったショッピングモール	様々な日用雑貨店	センスがよく品揃えの豊富な店	安くて比較的良い服を提供する店	肉鮮三品(鮮魚、野菜、精肉)を販売する店	生鮮三品(鮮魚、野菜、精肉)を販売する店	こだわりのケーキ、パンなどを提供する店	雰囲気の良い喫茶店	こだわりの食材を使った料理店や居酒屋	品揃えが充実している書籍・文具店	映画館、劇場、ライブハウス	高齢者向けの衣料や身の回り品の店	フレッシュやイタリアンなどのレストラン	歯科、耳鼻科、内科などのクリニック	贈答品用の洋菓子・和菓子を提供する店	子供向けの衣料や商品を提供する店	託児サービス、保育サービス
全体	500	23.0	22.8	20.2	19.8	18.4	16.6	16.2	12.2	11.6	10.8	9.2	8.4	7.4	6.8	6.0	4.8		
男性	164	21.3	24.4	15.9	17.7	20.7	18.3	15.2	14.6	11.0	7.3	9.1	9.1	6.7	4.3	5.5	5.5		
女性	333	23.7	22.2	22.2	21.0	17.4	15.9	16.5	11.1	12.0	12.3	9.0	7.8	7.8	8.1	6.3	4.5		

(注)網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

地域の商店街にあれば良い商品やサービス等・上位 16 項目(年代別)

	合計	新鮮な食材、身の回りの品を提供するスーパー	様々なテナントが集まったショッピングモール	様々な日用雑貨店	センスがよく品揃えの豊富な店	安くて比較的良い服を提供する店	肉鮮三品(鮮魚、野菜、精肉)を販売する店	生鮮三品(鮮魚、野菜、精肉)を販売する店	こだわりのケーキ、パンなどを提供する店	雰囲気の良い喫茶店	こだわりの食材を使った料理店や居酒屋	品揃えが充実している書籍・文具店	映画館、劇場、ライブハウス	高齢者向けの衣料や身の回り品の店	フレッシュやイタリアンなどのレストラン	歯科、耳鼻科、内科などのクリニック	贈答品用の洋菓子・和菓子を提供する店	子供向けの衣料や商品を提供する店	託児サービス、保育サービス
全体	500	23.0	22.8	20.2	19.8	18.4	16.6	16.2	12.2	11.6	10.8	9.2	8.4	7.4	6.8	6.0	4.8		
10・20歳代	41	12.2	17.1	14.6	22.0	17.1	22.0	24.4	14.6	17.1	17.1	2.4	7.3	7.3	4.9	4.9	4.9		
30歳代	80	12.5	28.8	20.0	15.0	6.3	16.3	17.5	10.0	11.3	11.3	1.3	11.3	5.0	7.5	13.8	10.0		
40歳代	110	20.0	25.5	25.5	20.0	22.7	20.9	17.3	14.5	10.0	9.1	3.6	7.3	9.1	4.5	10.0	4.5		
50歳代	87	33.3	27.6	25.3	18.4	20.7	21.8	13.8	14.9	13.8	11.5	5.7	8.0	5.7	6.9	4.6	3.4		
60歳代	81	29.6	17.3	21.0	17.3	25.9	13.6	14.8	13.6	12.3	14.8	13.6	12.3	12.3	11.1	2.5	4.9		
70歳以上	101	24.8	17.8	11.9	25.7	15.8	7.9	13.9	6.9	8.9	5.9	23.8	5.0	5.0	5.9	0.0	2.0		

(注)網掛けは 20%以上のもの。

地域の商店街にあれば良い商品やサービス等・上位 16 項目(居住年数別)

(%)

	合計	新鮮な食材、身の回りの品等を提供するスーパー	様々なテナントが集まったショッピングモール	センスがよく品揃えの豊富な日用雑貨店	安くて比較的良い服を提供する店	生鮮三品(鮮魚、野菜、精肉)を販売する店	こだわりのケーキ、パンなどを提供する店	雰囲気の良い喫茶店	こだわりの食材を使った料理店や居酒屋	品揃えが充実している書籍・文具店	映画館、劇場、ライブハウス	高齢者向けの衣料や身の回りの品	フレんチやイタリアンなどのレストラン	歯科、耳鼻科、内科などのクリニック	贈答品用の洋菓子・和菓子を提供する店	子供向けの衣料や商品を提供する店	託児サービス、保育サービス
全体	500	23.0	22.8	20.2	19.8	18.4	16.6	16.2	12.2	11.6	10.8	9.2	8.4	7.4	6.8	6.0	4.8
1年未満	23	17.4	13.0	21.7	21.7	26.1	21.7	26.1	0.0	8.7	8.7	8.7	0.0	8.7	8.7	4.3	8.7
1年以上3年未満	51	21.6	21.6	17.6	21.6	11.8	21.6	29.4	9.8	11.8	9.8	3.9	13.7	5.9	9.8	13.7	7.8
3年以上5年未満	40	15.0	37.5	25.0	10.0	12.5	15.0	20.0	17.5	5.0	12.5	2.5	12.5	2.5	12.5	10.0	12.5
5年以上10年未満	68	25.0	22.1	22.1	23.5	19.1	22.1	13.2	14.7	23.5	14.7	4.4	5.9	8.8	4.4	10.3	5.9
10年以上20年未満	124	26.6	26.6	20.2	16.9	22.6	18.5	12.1	13.7	12.1	10.5	8.1	8.1	9.7	7.3	4.8	3.2
20年以上	194	22.7	19.1	19.1	21.6	17.5	11.9	14.4	11.3	8.8	9.8	14.4	8.2	6.7	5.2	2.6	2.6

(注)網掛けは 20%以上のもの。

地域の商店街にあれば良い商品やサービス等・上位 16 項目(地域別)

(%)

	合計	新鮮な食材、身の回りの品等を提供するスーパー	様々なテナントが集まったショッピングモール	センスがよく品揃えの豊富な日用雑貨店	安くて比較的良い服を提供する店	生鮮三品(鮮魚、野菜、精肉)を販売する店	こだわりのケーキ、パンなどを提供する店	雰囲気の良い喫茶店	こだわりの食材を使った料理店や居酒屋	品揃えが充実している書籍・文具店	映画館、劇場、ライブハウス	高齢者向けの衣料や身の回りの品	フレんチやイタリアンなどのレストラン	歯科、耳鼻科、内科などのクリニック	贈答品用の洋菓子・和菓子を提供する店	子供向けの衣料や商品を提供する店	託児サービス、保育サービス
全体	500	23.0	22.8	20.2	19.8	18.4	16.6	16.2	12.2	11.6	10.8	9.2	8.4	7.4	6.8	6.0	4.8
内間木地域	6	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
北部地域	97	22.7	23.7	19.6	23.7	18.6	21.6	17.5	11.3	15.5	11.3	7.2	9.3	9.3	7.2	5.2	6.2
東部地域	89	22.5	22.5	16.9	19.1	19.1	15.7	15.7	11.2	10.1	12.4	7.9	9.0	7.9	5.6	6.7	2.2
西部地域	93	25.8	21.5	19.4	9.7	20.4	20.4	21.5	11.8	8.6	10.8	9.7	7.5	6.5	5.4	8.6	2.2
南部地域	208	22.1	23.6	23.1	23.6	17.8	13.5	13.5	13.0	12.0	10.1	10.6	8.2	6.3	7.2	5.3	6.7

(注)網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数 10 未満は参考値扱いとする。

- ・地域の商店街にあれば良い商品やサービス等について、家族構成別に見たところ、全体として「新鮮な食材、身の回りの品等を提供するスーパー」が多くなっているが、親と子供と孫（三世代家族）・その他（35.1%）で特に多くなっている。同じく、親と子供と孫（三世代家族）・その他で、「高齢者向けの衣料や身の回り品の店」（27.0%）が多くなっている。
- ・地域の商店街にあれば良い商品やサービス等について、生活圏別に見たところ、東京都・千葉県・神奈川県等で、「こだわりのケーキ、パンなどを提供する店」（23.1%）がやや多くなっている。

地域の商店街にあれば良い商品やサービス等・上位 16 項目(家族構成別)

	合計	新鮮な食材、身の回りの品等を提供するスーパー	様々なテナントが集まったショッピングモール	セブンスがよく品揃えの豊富な日用雑貨店	安くて比較的良い服を提供する店	肉を販売する店	生鮮三品（鮮魚、野菜、精肉）を提供する店	こだわりのケーキ、パンなどを提供する店	雰囲気の良い喫茶店	こだわりの食材を使った料理店や居酒屋	品揃えが充実している書籍・文具店	映画館、劇場、ライブハウス	高齢者向けの衣料や身の回り品の店	フレッシュやイタリアンなどのレストラン	歯科、耳鼻科、内科などのクリニック	贈答品用の洋菓子・和菓子を提供する店	子供向けの衣料や商品を提供する店	託児サービス、保育サービス
全体	500	23.0	22.8	20.2	19.8	18.4	16.6	16.2	12.2	11.6	10.8	9.2	8.4	7.4	6.8	6.0	4.8	
一人暮らし	50	24.0	16.0	14.0	20.0	20.0	14.0	22.0	14.0	10.0	12.0	16.0	8.0	2.0	2.0	0.0	4.0	
夫婦のみ(一世代家族)	126	25.4	26.2	17.5	16.7	21.4	15.1	16.7	16.7	8.7	11.9	7.1	8.7	12.7	10.3	1.6	4.8	
親と子供(二世世代家族)	286	20.3	23.1	22.0	18.9	16.1	18.9	15.7	10.8	12.6	8.7	6.6	8.4	5.9	5.9	7.3	4.9	
親と子供と孫(三世代家族)・その他	37	35.1	16.2	21.6	37.8	24.3	5.4	10.8	5.4	16.2	18.9	27.0	8.1	8.1	8.1	16.2	5.4	

(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

地域の商店街にあれば良い商品やサービス等・上位 16 項目(生活圏別)

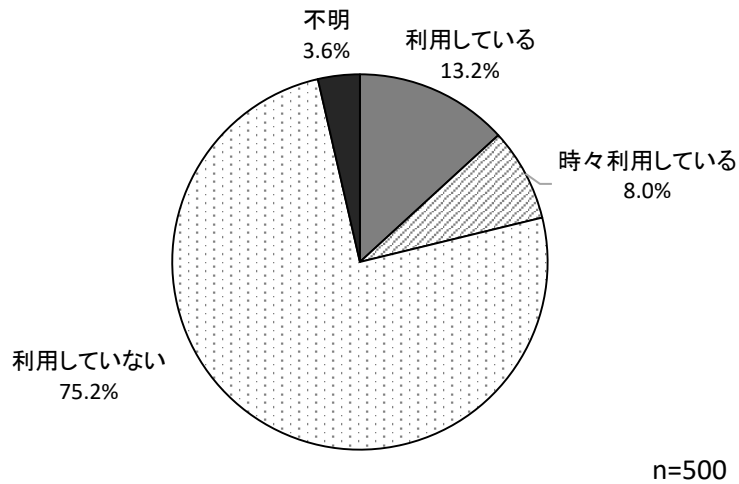
	合計	新鮮な食材、身の回りの品等を提供するスーパー	様々なテナントが集まったショッピングモール	セブンスがよく品揃えの豊富な日用雑貨店	安くて比較的良い服を提供する店	肉を販売する店	生鮮三品（鮮魚、野菜、精肉）を提供する店	こだわりのケーキ、パンなどを提供する店	雰囲気の良い喫茶店	こだわりの食材を使った料理店や居酒屋	品揃えが充実している書籍・文具店	映画館、劇場、ライブハウス	高齢者向けの衣料や身の回り品の店	フレッシュやイタリアンなどのレストラン	歯科、耳鼻科、内科などのクリニック	贈答品用の洋菓子・和菓子を提供する店	子供向けの衣料や商品を提供する店	託児サービス、保育サービス
全体	500	23.0	22.8	20.2	19.8	18.4	16.6	16.2	12.2	11.6	10.8	9.2	8.4	7.4	6.8	6.0	4.8	
朝霞市内	280	25.0	20.0	15.7	19.6	16.8	14.3	15.0	9.3	8.6	8.6	13.2	7.5	7.5	8.2	4.6	3.2	
埼玉県内	62	17.7	24.2	21.0	24.2	22.6	11.3	17.7	11.3	8.1	16.1	1.6	9.7	4.8	4.8	4.8	9.7	
東京都・千葉県・神奈川県等	156	21.2	27.6	27.6	18.6	19.9	23.1	17.9	17.9	17.9	12.2	5.1	9.6	8.3	5.1	9.0	5.8	

(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

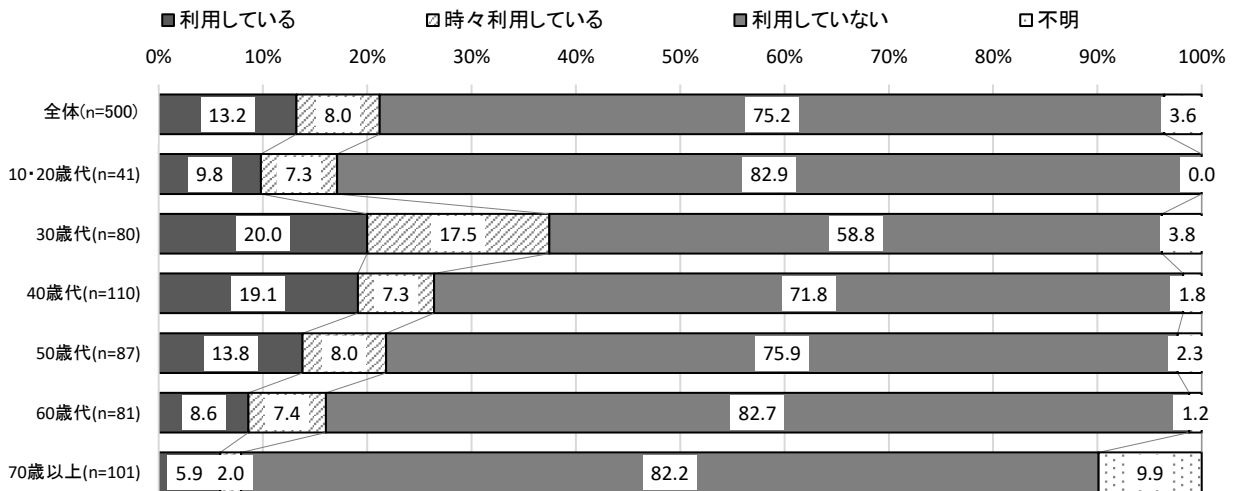
問 23 現在、買物支援サービス・配達サービスを利用していますか（○印はそれぞれ1つずつ）。

- ・買物支援サービスの利用状況では、「利用していない」(75.2%)が最も多く、次いで、「利用している」(13.2%)、「時々利用している」(8.0%)となっている。
- ・買物支援サービスの利用状況について、年代別に見ると、30歳代で「利用している」、「時々利用している」の合計割合(計37.5%)が高く、10・20歳代を除き、年齢が増加するにつれ、利用頻度が減少している。

買物支援サービスの利用状況

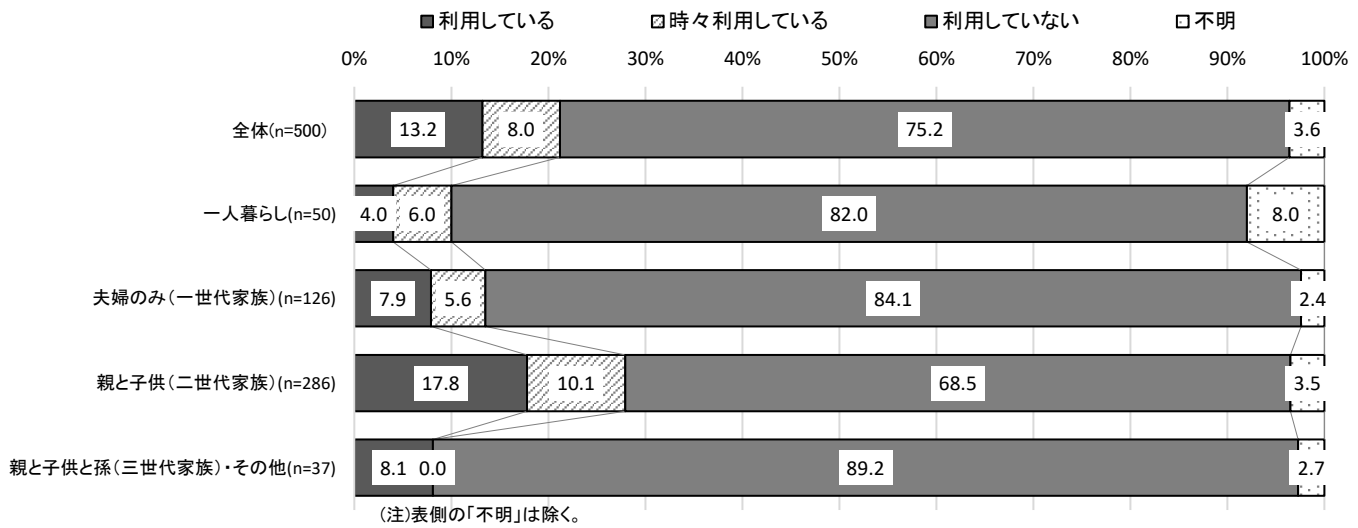


買物支援サービスの利用状況(年代別)

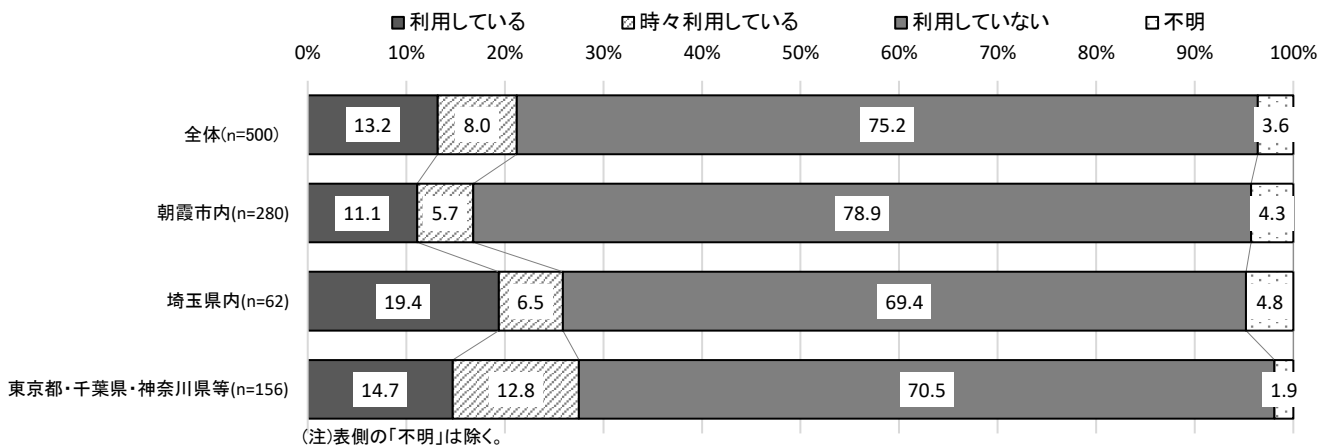


- ・買物支援サービスの利用状況について、家族構成別に見ると、親と子供(二世世代家族)で、「利用している」と「時々利用している」の合計割合(計 27.9%)が最も高くなっている。
- ・買物支援サービスの利用状況について、生活圏別に見ると、埼玉県内で「利用している」(19.4%)が最も多くなっている。

買物支援サービスの利用状況(家族構成別)

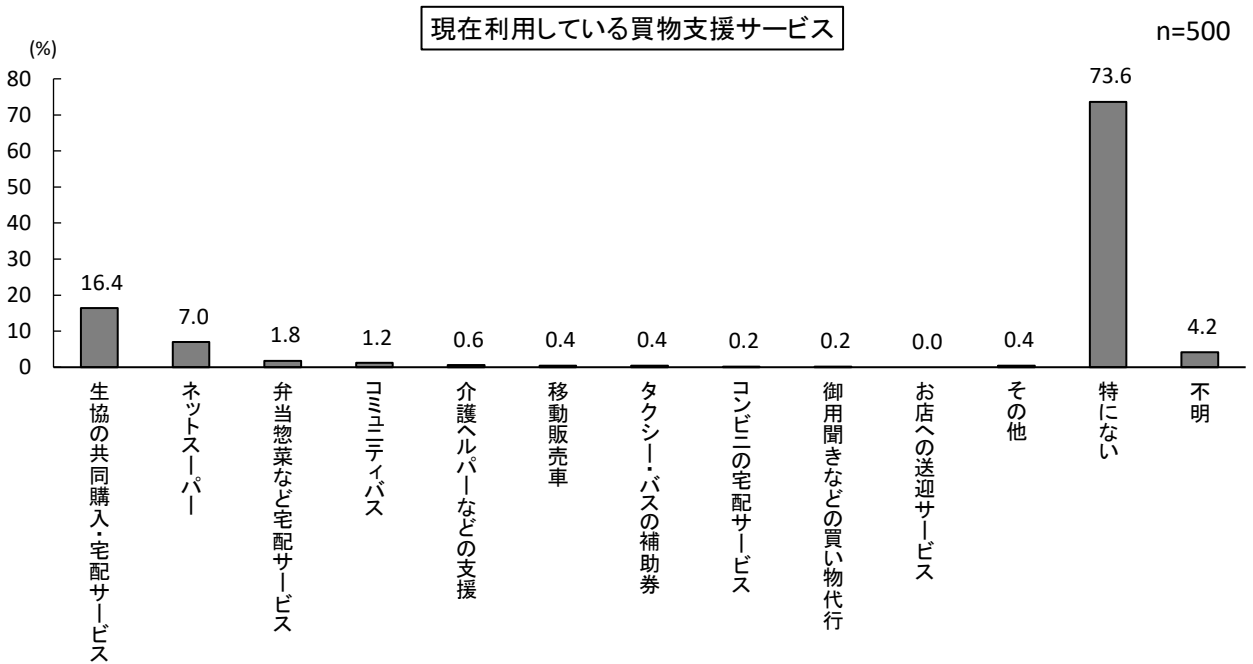


買物支援サービスの利用状況(生活圏別)



問 24 現在利用されている買物支援サービスと、将来的に利用したいと思う買物支援サービスについて、それぞれ3つまで選び、回答欄に記入してください。現在利用していない方は、将来利用したいサービスのみ回答してください（数字を記入してください）。

- ・現在利用している買物支援サービスでは、「特にない」(73.6%)が最も多く、次いで「生協の共同購入・宅配サービス」(16.4%)となっている。
- ・現在利用している買物支援サービスについて、年代別に見ると、全体として「特にない」が多くなっているが、30歳代・40歳代で「生協の共同購入・宅配サービス」(26.3%・21.8%)がやや多くなっている。



現在利用している買物支援サービス(年代別)

	合計	生協の共同購入・宅配サービス	ネットスーパー	弁当惣菜など宅配サービス	コミュニティバス	介護ヘルパーなどの支援	移動販売車	タクシー・バスの補助券	コンビニの宅配サービス	御用聞きなどの買い物代行	お店への送迎サービス	その他	特にない	不明
全体	500	16.4	7.0	1.8	1.2	0.6	0.4	0.4	0.2	0.2	0.0	0.4	73.6	4.2
10・20歳代	41	12.2	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.5	2.4
30歳代	80	26.3	17.5	3.8	1.3	1.3	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	60.0	3.8
40歳代	110	21.8	8.2	0.9	0.0	0.0	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	70.9	1.8
50歳代	87	18.4	4.6	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	74.7	1.1
60歳代	81	8.6	4.9	2.5	3.7	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	80.2	2.5
70歳以上	101	8.9	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.2	11.9

(注)網掛けは20%以上のもの。

- ・現在利用している買物支援サービス内容について、地域別に見ると、どの地域においても「特にない」が多くなっている。
- ・現在利用している買物支援サービス内容について、生活圏別に見ると、埼玉県内で「生協の共同購入・宅配サービス」(21.0%)がやや多くなっている。
- ・現在利用している買物支援サービス内容について、家族構成別に見ると、親と子供(二世帯家族)で「生協の共同購入・宅配サービス」(23.4%)が多くなっている。

現在利用している買物支援サービス(地域別)

	合計	生協の共同購入・宅配サービス	ネットスーパー	弁当惣菜など宅配サービス	コミュニティバス	介護ヘルパーなどの支援	移動販売車	タクシー・バスの補助券	コンビニの宅配	買い物代行	御用聞きなどのサービス	お店への送迎	その他	特にない	不明
全体	500	16.4	7.0	1.8	1.2	0.6	0.4	0.4	0.2	0.2	0.0	0.4	73.6	4.2	
内間木地域	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	
北部地域	97	17.5	9.3	0.0	2.1	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.0	73.2	4.1	
東部地域	89	16.9	10.1	2.2	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.4	6.7	
西部地域	93	16.1	6.5	3.2	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	74.2	4.3	
南部地域	208	15.9	5.3	1.9	1.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	75.5	3.4	

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

現在利用している買物支援サービス(生活圏別)

	合計	生協の共同購入・宅配サービス	ネットスーパー	弁当惣菜など宅配サービス	コミュニティバス	介護ヘルパーなどの支援	移動販売車	タクシー・バスの補助券	コンビニの宅配サービス	買い物代行	御用聞きなどのサービス	お店への送迎サービス	その他	特にない	不明
全体	500	16.4	7.0	1.8	1.2	0.6	0.4	0.4	0.2	0.2	0.0	0.4	73.6	4.2	
朝霞市内	280	13.6	4.6	1.1	1.1	0.7	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	0.4	77.5	4.6	
埼玉県内	62	21.0	1.6	1.6	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	67.7	8.1	
東京都・千葉県・神奈川県等	156	19.9	13.5	3.2	1.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	68.6	1.9	

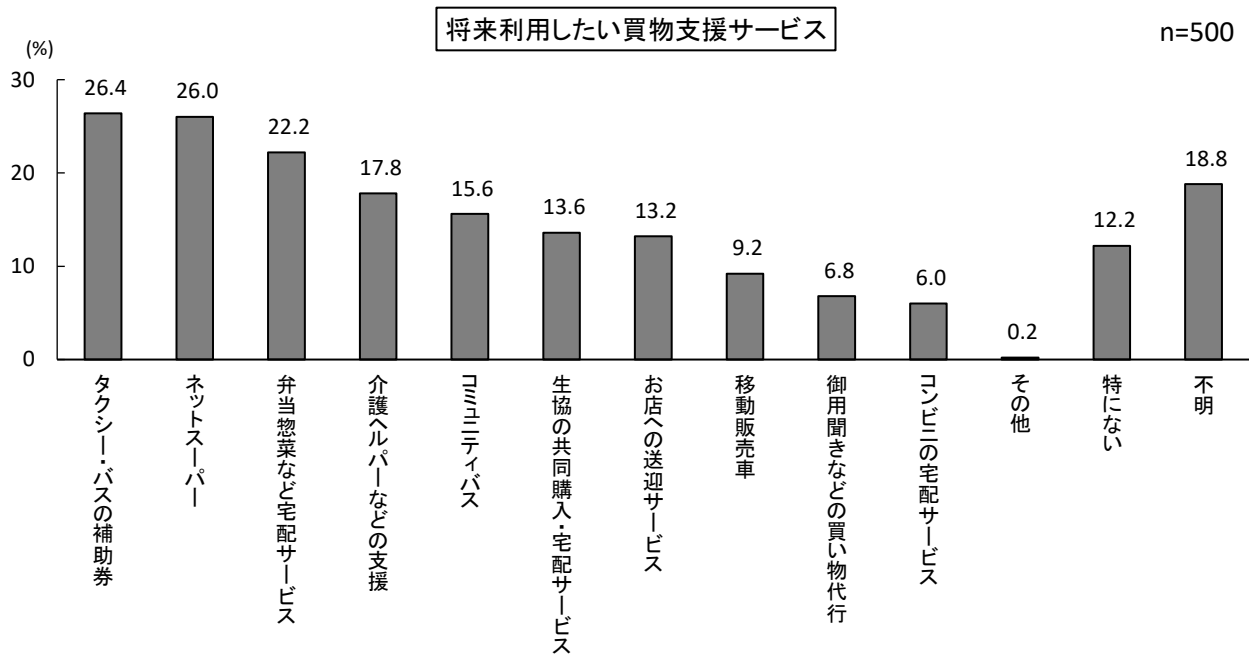
(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

現在利用している買物支援サービス(家族構成別)

	合計	生協の共同購入・宅配サービス	ネットスーパー	弁当惣菜など宅配サービス	コミュニティバス	介護ヘルパーなどの支援	移動販売車	タクシー・バスの補助券	コンビニの宅配	買い物代行	御用聞きなどのサービス	お店への送迎	その他	特にない	不明
全体	500	16.4	7.0	1.8	1.2	0.6	0.4	0.4	0.2	0.2	0.0	0.4	73.6	4.2	
一人暮らし	50	4.0	6.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	80.0	8.0	
夫婦のみ(一世帯家族)	126	8.7	6.3	3.2	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	82.5	3.2	
親と子供(二世帯家族)	286	23.4	7.7	1.7	1.0	0.3	0.3	0.7	0.0	0.3	0.0	0.3	66.8	4.2	
親と子供と孫(三世帯家族)・その他	37	5.4	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.2	2.7	

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

- ・将来利用したい買物支援サービスでは、「タクシー・バスの補助券」(26.4%)が最も多く、次いで「ネットスーパー」(26.0%)となっている。
- ・将来利用したい買物支援サービスについて、年代別に見ると、60歳代・70歳以上で「タクシー・バスの補助券」(32.7%)が多く、50歳代で「ネットスーパー」(41.4%)が多くなっている。



将来利用したい買物支援サービス(年代別)

	合計	タクシー・バスの補助券	ネットスーパー	弁当惣菜など宅配サービス	介護ヘルパーなどの支援	コミュニティバス	生協の共同購入・宅配サービス	お店への送迎サービス	移動販売車	御用聞きなどの買い物代行	コンビニの宅配サービス	その他	特にない	不明
全体	500	26.4	26.0	22.2	17.8	15.6	13.6	13.2	9.2	6.8	6.0	0.2	12.2	18.8
10・20歳代	41	26.8	29.3	14.6	7.3	19.5	22.0	12.2	7.3	2.4	4.9	0.0	12.2	17.1
30歳代	80	22.5	33.8	7.5	8.8	8.8	21.3	6.3	13.8	1.3	5.0	0.0	16.3	22.5
40歳代	110	18.2	34.5	18.2	11.8	14.5	12.7	11.8	8.2	5.5	2.7	0.0	15.5	19.1
50歳代	87	28.7	41.4	31.0	18.4	19.5	11.5	19.5	6.9	6.9	8.0	1.1	9.2	9.2
60歳代	81	30.9	14.8	32.1	25.9	16.0	13.6	16.0	7.4	12.3	8.6	0.0	8.6	16.0
70歳以上	101	32.7	5.0	25.7	28.7	16.8	6.9	12.9	10.9	9.9	6.9	0.0	10.9	26.7

(注)網掛けは 20%以上のもの。



- ・将来利用したい買物支援サービスについて、地域別に見ると、西部地域で「弁当惣菜など宅配サービス」(28.0%)がやや多くなっている。
- ・将来利用したい買物支援サービスについて、生活圏別に見ると、朝霞市内を生活圏とする市民で「タクシー・バスの補助券」(31.1%)が多く、埼玉県内を生活圏とする市民で「ネットスーパー」(32.3%)の利用意向がやや高くなっている。
- ・将来利用したい買物支援サービスについて、家族構成別に見ると、親と子供と孫(三世代家族)・その他で「タクシー・バスの補助券」(35.1%)と多く、親と子供(二世代家族)で「ネットスーパー」(32.3%)の利用意向がやや高くなっている。

将来利用したいサービス(地域別)

	合計	のタク 補助 券・ バス	ネ ット スー パー	配弁 当サ ービス 惣菜 など 宅	介 護 の 支 援 ヘル パー な	ス コ ミ ュ ニ テ ィ バ	ス 入 生 協 の 共 同 購 入 ・ 宅 配 サ ー ビ ス	サ ー ビ ス の 送 迎	移 動 販 売 車	買 御 用 代 行 物 代 行 な ど の	サ ー ビ ス の 宅 配	そ の 他	特 に な い	不 明
全体	500	26.4	26.0	22.2	17.8	15.6	13.6	13.2	9.2	6.8	6.0	0.2	12.2	18.8
内間木地域	6	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3
北部地域	97	27.8	21.6	18.6	15.5	16.5	16.5	11.3	14.4	4.1	4.1	0.0	12.4	20.6
東部地域	89	23.6	28.1	19.1	11.2	14.6	11.2	13.5	11.2	5.6	4.5	0.0	19.1	20.2
西部地域	93	24.7	23.7	28.0	20.4	10.8	17.2	17.2	4.3	7.5	7.5	1.1	7.5	20.4
南部地域	208	27.4	27.9	23.1	20.7	16.8	12.0	10.6	8.7	8.2	7.2	0.0	12.0	15.4

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。サンプル数10未満は参考値扱いとする。

将来利用したいサービス(生活圏別)

	合計	のタク 補助 券・ バス	ネ ット スー パー	配弁 当サ ービス 惣菜 など 宅	介 護 の 支 援 ヘル パー な	ス コ ミ ュ ニ テ ィ バ	ス 入 生 協 の 共 同 購 入 ・ 宅 配 サ ー ビ ス	サ ー ビ ス の 送 迎	移 動 販 売 車	買 御 用 代 行 物 代 行 な ど の	サ ー ビ ス の 宅 配	そ の 他	特 に な い	不 明
全体	500	26.4	26.0	22.2	17.8	15.6	13.6	13.2	9.2	6.8	6.0	0.2	12.2	18.8
朝霞市内	280	31.1	22.9	26.1	21.8	17.5	12.9	14.3	9.3	7.5	6.1	0.0	12.1	17.1
埼玉県内	62	12.9	32.3	16.1	11.3	6.5	12.9	16.1	11.3	6.5	11.3	0.0	12.9	21.0
東京都・千葉県・神奈川県等	156	23.7	29.5	17.9	13.5	16.0	15.4	10.3	8.3	5.8	3.8	0.6	12.2	19.9

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

将来利用したいサービス(家族構成別)

	合計	助 券 タク シ ー ・ バ ス の 補	ネ ット スー パー	サ ー ビ ス の 宅 配	支 援 ヘル パー な ど の	コ ミ ュ ニ テ ィ バ ス	配 生 協 の 共 同 購 入 ・ 宅	ス お 店 へ の 送 迎 サ ー ビ ス	移 動 販 売 車	物 代 行 御 用 代 行 な ど の 買 い	ビ ス の 宅 配	そ の 他	特 に な い	不 明
全体	500	26.4	26.0	22.2	17.8	15.6	13.6	13.2	9.2	6.8	6.0	0.2	12.2	18.8
一人暮らし	50	22.0	18.0	22.0	20.0	12.0	8.0	16.0	10.0	12.0	8.0	0.0	10.0	28.0
夫婦のみ(一世代家族)	126	26.2	20.6	24.6	18.3	19.8	16.7	15.9	8.7	3.2	5.6	0.0	9.5	21.4
親と子供(二世代家族)	286	26.2	30.4	21.0	17.1	14.0	13.3	11.5	9.4	6.6	5.6	0.3	13.3	17.5
親と子供と孫(三世代家族)・その他	37	35.1	21.6	24.3	18.9	18.9	13.5	13.5	8.1	13.5	8.1	0.0	13.5	8.1

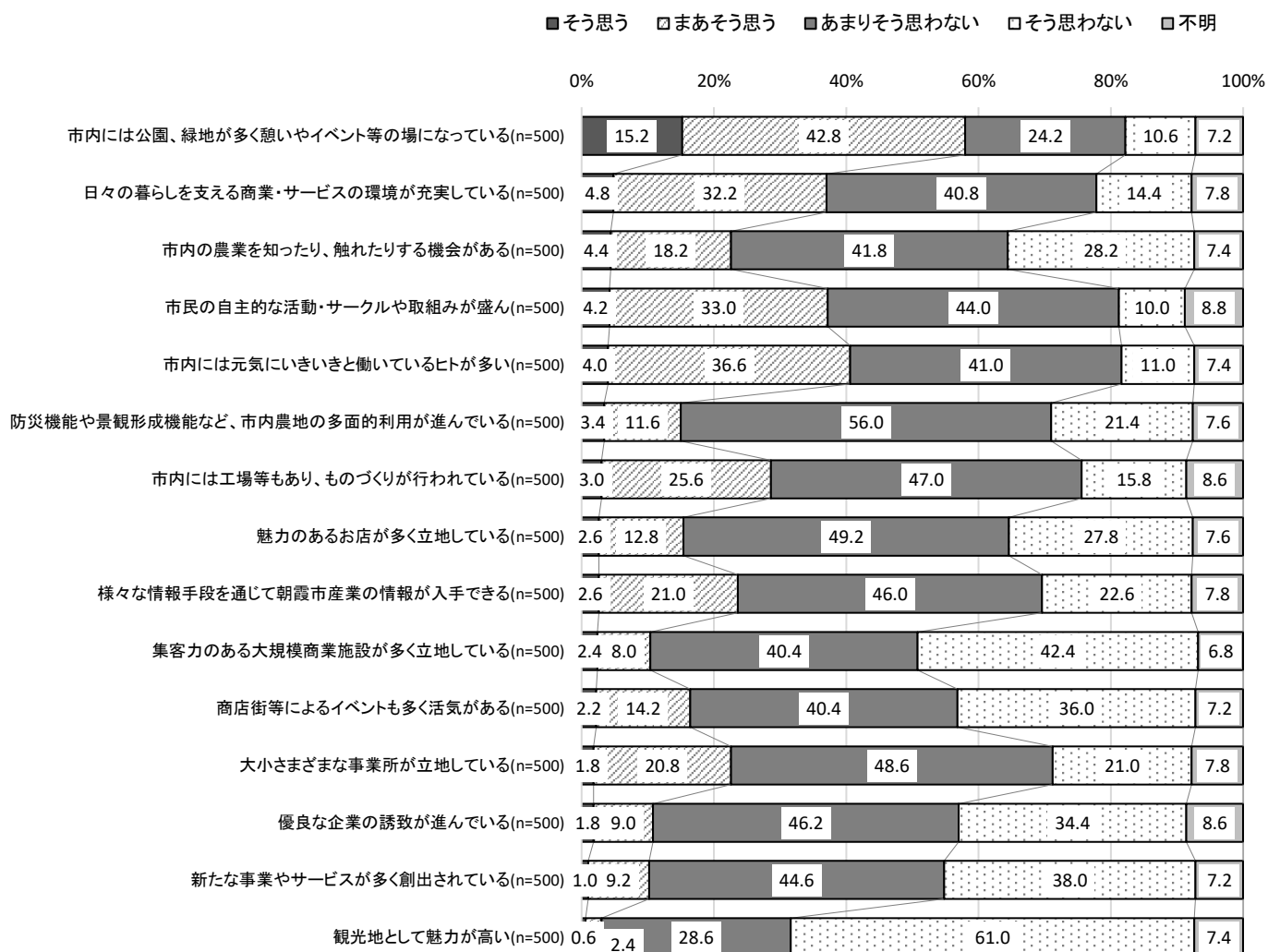
(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「不明」は除く。

## (7) 朝霞市のまちや産業について

問 23 朝霞市の産業についてのイメージと、これからの朝霞市の産業や都市の魅力アップにとっての重要性をお答えください（○印はそれぞれ1つずつ）。

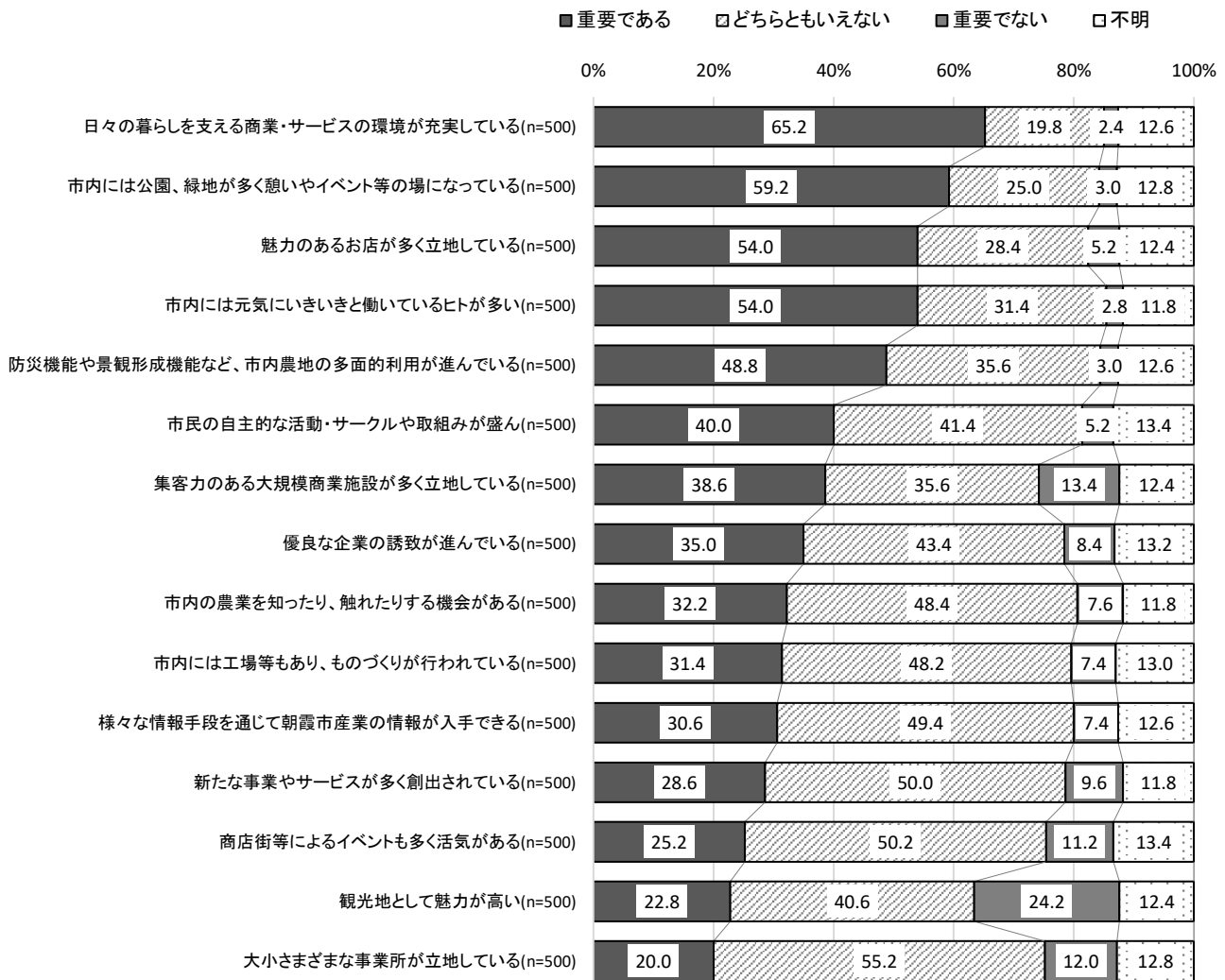
- 朝霞市のまちや産業のイメージでは、「市内には公園、緑地が多く、憩いやイベント等の場になっている」でそう思う(15.2%)が最も多くなっている。また、「日々の暮らしを支える商業・サービスが充実している」や「市民の自主的な活動・サークルや取組が盛ん」、「市内には元気にいきいきと働いているヒトが多い」などのイメージも強くなっている。一方、「新たな事業やサービスが多く創出されている」や「観光地として魅力が高い」などのイメージは弱くなっている。

### 朝霞市産業に対するイメージ



- ・朝霞市の産業振興において重視すべきことでは、「日々の暮らしを支える商業・サービスが充実している」(65.2%)、「市内には公園、緑地が多く憩いやイベント等の場になっている」(59.2%)、「魅力のあるお店が多く立地している」(54.0%)の順に重要度が高くなっている。

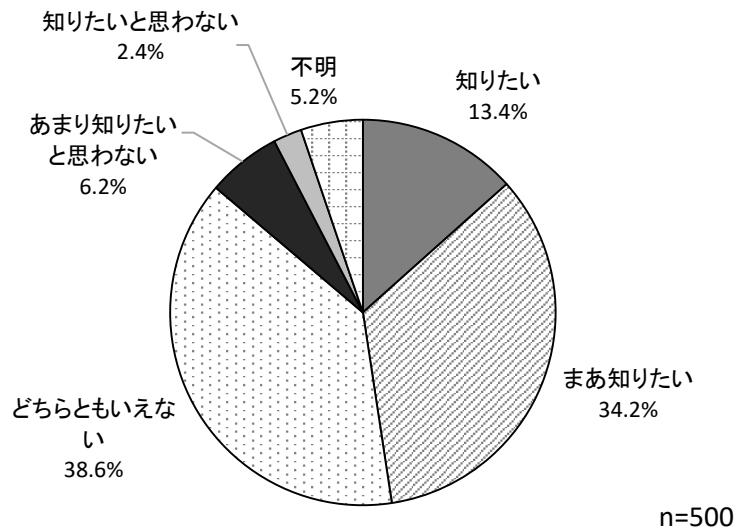
朝霞市産業における重要度



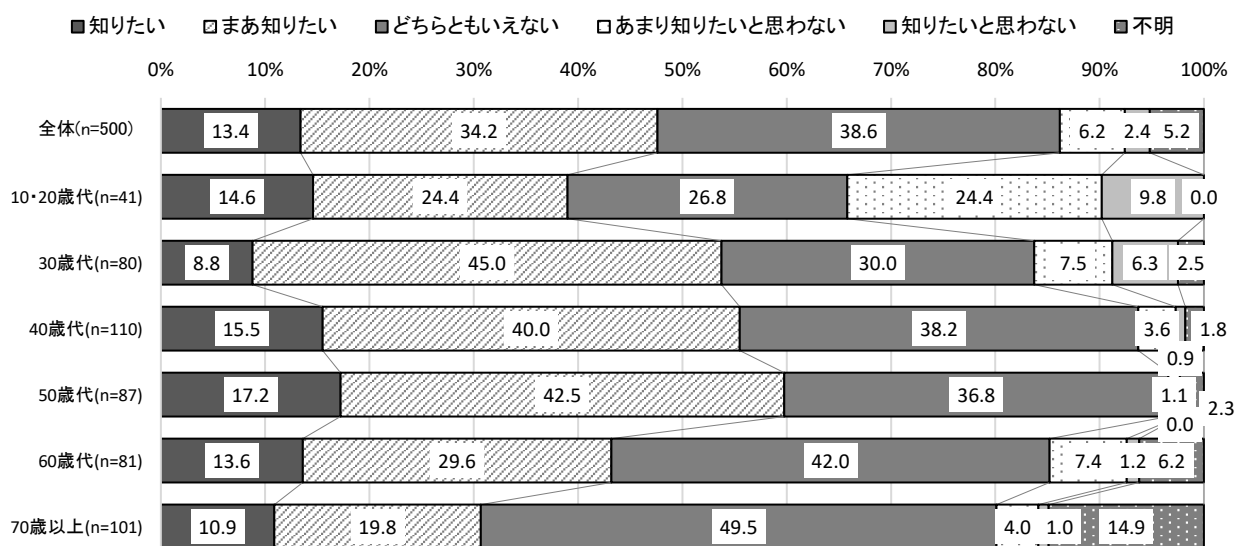
問 26 あなたは朝霞市のまちについてもっと知りたい（興味がある）と思いますか（○印は1つ）。

- ・朝霞市のまちへの興味の有無では、「どちらともいえない」（38.6%）、「まあ知りたい」（34.2%）、「知りたい」（13.4%）の順になっている。
- ・朝霞市のまちへの興味の有無について、年代別に見ると、50歳代で「知りたい」と「まあ知りたい」の合計割合（計59.7%）が最も高くなっている。

朝霞市のまちへの興味の有無

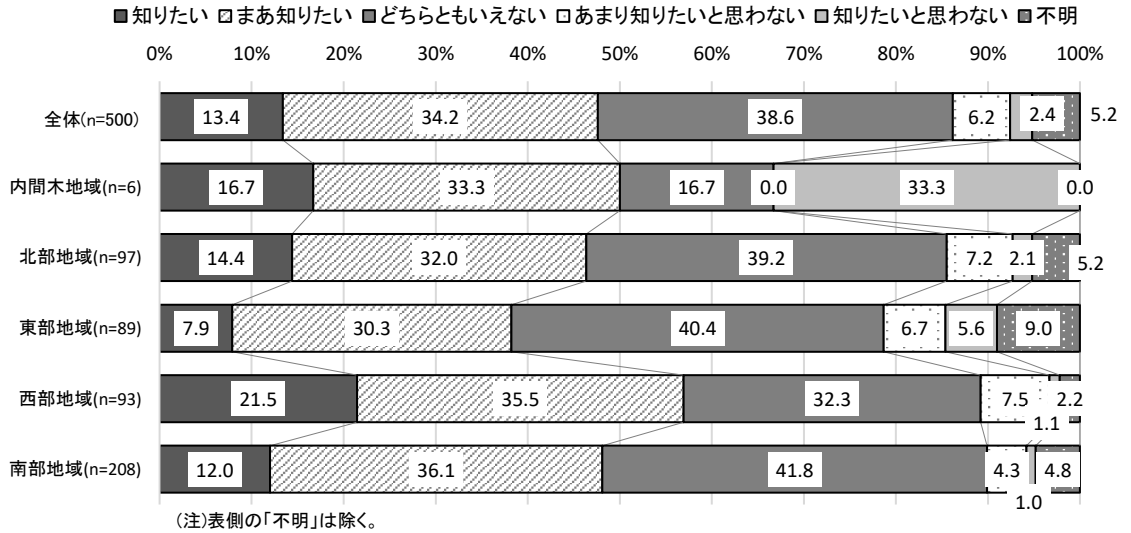


朝霞市のまちへの興味の有無(年代別)

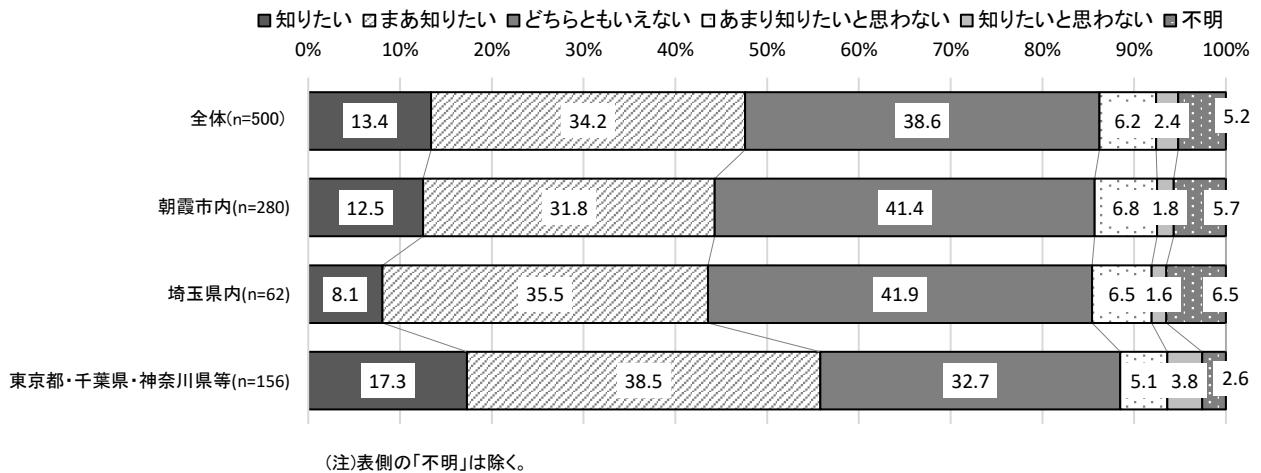


・朝霞市のまちへの興味の有無について、地域別に見ると、西部地域で「知りたい」と「まあ知りたい」の合計割合(57.0%)が高く、生活圏別に見ると、東京都・千葉県・神奈川県等において「知りたい」「まあ知りたい」の合計割合(55.8%)が高くなっている。

朝霞市のまちへの興味(地域別)

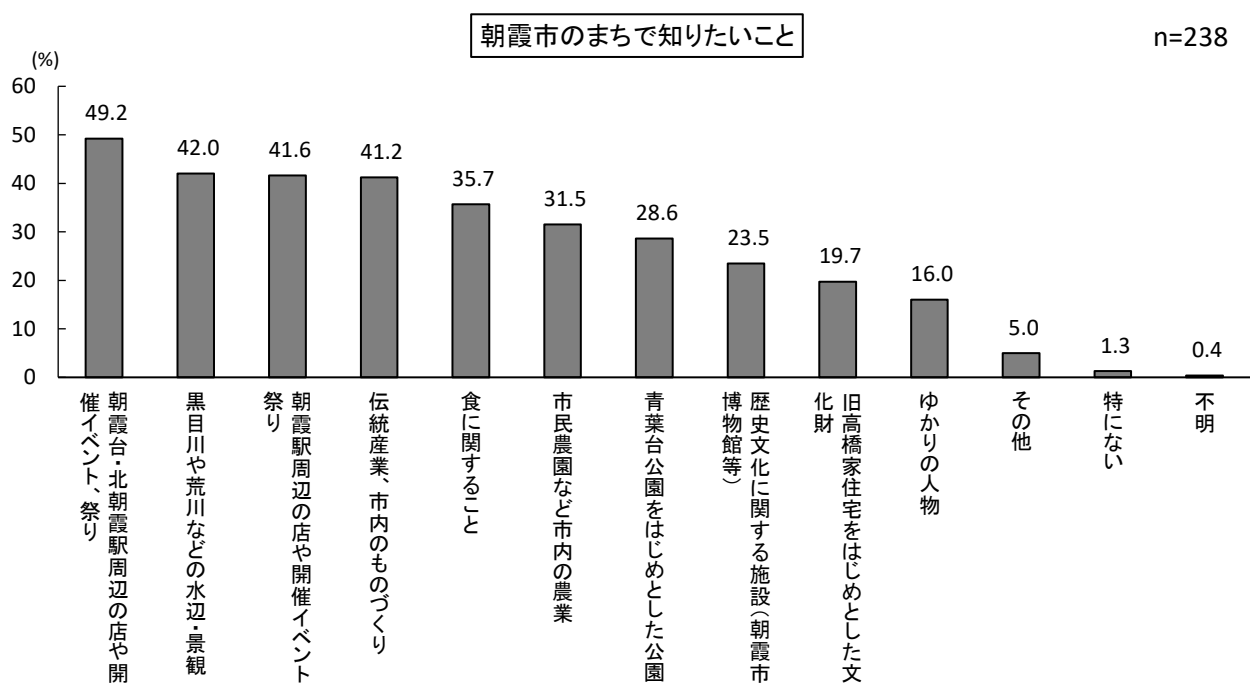


朝霞市のまちへの興味(生活圏別)



問 24\_1 [問 24 で 1. 2 のいずれかを回答された方のみお答えください] 市内で知りたい（興味がある）ことは何ですか（○印はいくつでも）。

- ・市内で知りたい（興味がある）ことでは、「朝霞台・北朝霞駅周辺の店や開催イベント、祭り」（49.2%）で最も多く、次いで、「黒目川や荒川などの水辺・景観」（42.0%）となっている。
- ・市内で知りたい（興味がある）ことについて、年代別に見てみると、50歳代で「朝霞台・北朝霞駅周辺の店や開催イベント、祭り」（59.6%）が最も多く、70歳代以上では「黒目川や荒川などの水辺・景観」（61.3%）が最も多くなっている。



朝霞市のまちで知りたいこと(年代別)

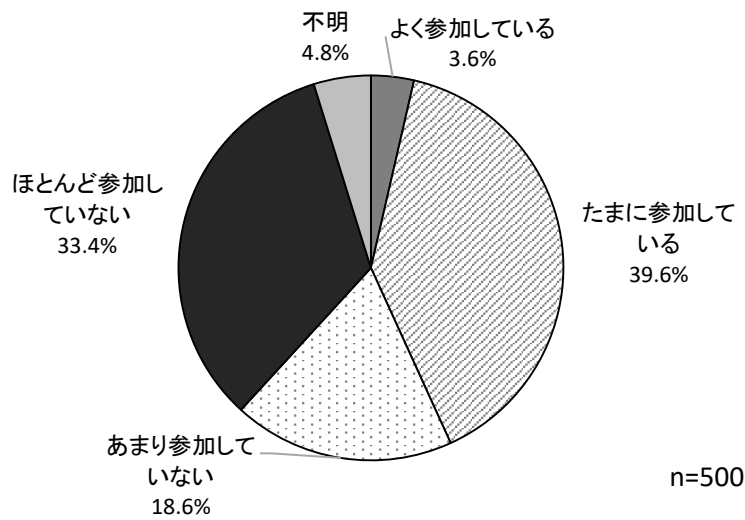
	合計	朝霞台・北朝霞駅周辺の店や開催イベント、祭りの	黒目川や荒川などの水辺・景観	朝霞駅周辺の店や開催イベント、祭り	伝統産業、市内のものづくり	食に関すること	市民農園など市内の農業	青葉台公園をはじめとした公園	歴史文化に関する施設（朝霞市博物館等）	旧高橋家住宅をはじめとした文化財	ゆかりの人物	その他	特にない	不明
全体	238	49.2	42.0	41.6	41.2	35.7	31.5	28.6	23.5	19.7	16.0	5.0	1.3	0.4
10・20歳代	16	50.0	31.3	56.3	37.5	31.3	37.5	31.3	31.3	25.0	6.3	31.3	6.3	0.0
30歳代	43	58.1	30.2	65.1	46.5	39.5	41.9	46.5	18.6	27.9	14.0	2.3	2.3	0.0
40歳代	61	47.5	31.1	36.1	39.3	39.3	31.1	31.1	16.4	16.4	6.6	3.3	0.0	1.6
50歳代	52	59.6	48.1	46.2	28.8	36.5	23.1	15.4	21.2	15.4	11.5	3.8	0.0	0.0
60歳代	35	40.0	54.3	34.3	48.6	34.3	34.3	20.0	34.3	25.7	28.6	2.9	0.0	0.0
70歳以上	31	32.3	61.3	12.9	51.6	25.8	25.8	29.0	32.3	12.9	35.5	3.2	3.2	0.0

(注) 網掛けは 20%以上のもの。

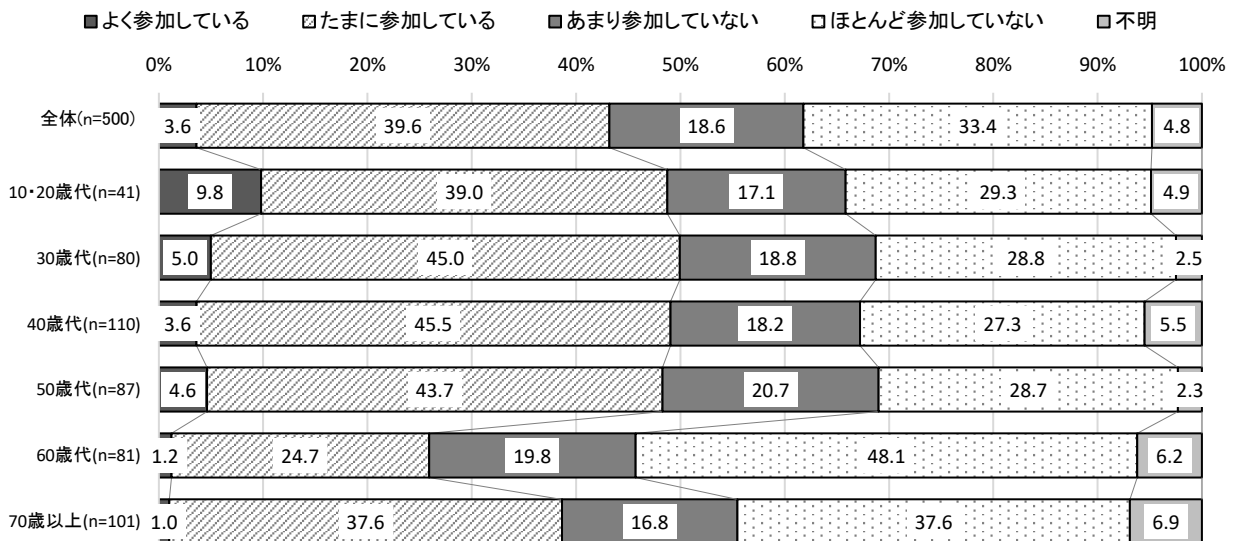
問 25 あなたは、市内で開催される祭りやイベントに参加したことはありますか（○印は1つ）。

- ・市内の祭りやイベントへの参加経験では、「たまに参加している」（39.6%）が最も多く、次いで「ほとんど参加していない」（33.4%）となっている。
- ・市内の祭りやイベントへの参加経験について、年代別に見ると、10・20歳代で「良く参加している」（9.8%）が他年代より多くなっており、60歳代で「ほとんど参加していない」（48.1%）が多くなっている。

市内の祭りやイベントへの参加経験

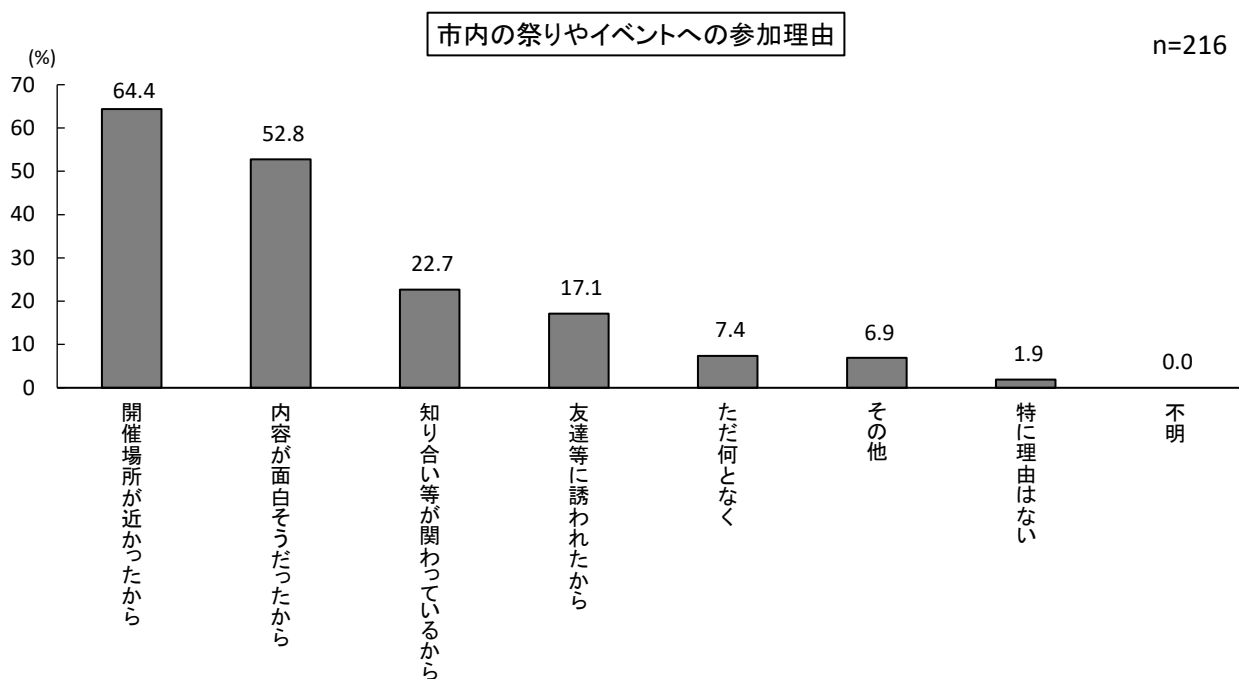


市内の祭りやイベントへの参加経験（年代別）



問 25\_1 祭りやイベントに参加する理由は何ですか（○印はいくつでも）。

- ・市内で開催される祭りやイベントへの参加理由では、「開催場所が近かったから」（64.4%）が最も多く、次いで「内容が面白そうだったから」（52.8%）となっている。
- ・市内で開催される祭りやイベントへの参加理由について、年代別に見ると、10・20歳代では、「友達に誘われたから」（35.0%）なども他年代より多くなっており、70歳以上では「知り合い等が関わっているから」（51.3%）が多くなっている。



市内の祭りやイベントへの参加理由(年代別)

(%)

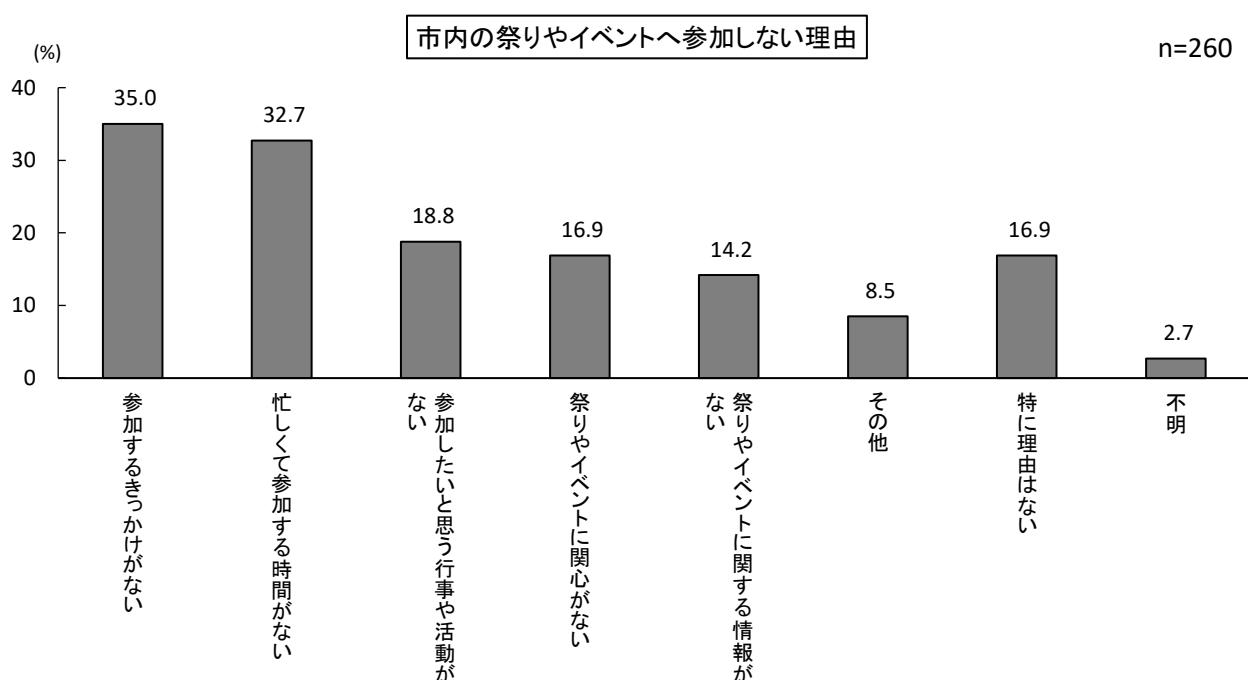
	合計	開催場所が近	内容が面白そう	知り合い等が関	友達等に誘われ	ただ何となく	その他	特に理由はない	不明
全体	216	64.4	52.8	22.7	17.1	7.4	6.9	1.9	0.0
10・20歳代	20	80.0	60.0	20.0	35.0	0.0	15.0	0.0	0.0
30歳代	40	70.0	70.0	15.0	15.0	12.5	2.5	0.0	0.0
40歳代	54	61.1	53.7	13.0	7.4	11.1	7.4	1.9	0.0
50歳代	42	69.0	57.1	14.3	21.4	4.8	11.9	2.4	0.0
60歳代	21	71.4	61.9	28.6	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳以上	39	46.2	20.5	51.3	23.1	7.7	5.1	5.1	0.0

(注) 網掛けは 20%以上のもの。



問 25\_2 祭りやイベントに参加しない理由は何ですか（〇印はいくつでも）。

- ・市内で開催される祭りに参加しない理由では、「参加するきっかけがない」（35.0%）が最も多く、次いで「忙しくて参加する時間がない」（32.7%）となっている。
- ・市内で開催される祭りに参加しない理由について、年代別に見ると、10・20 歳代では、「忙しくて参加する時間がない」（57.9%）が多くなっている。



市内の祭りやイベントへ参加しない理由(年代別)

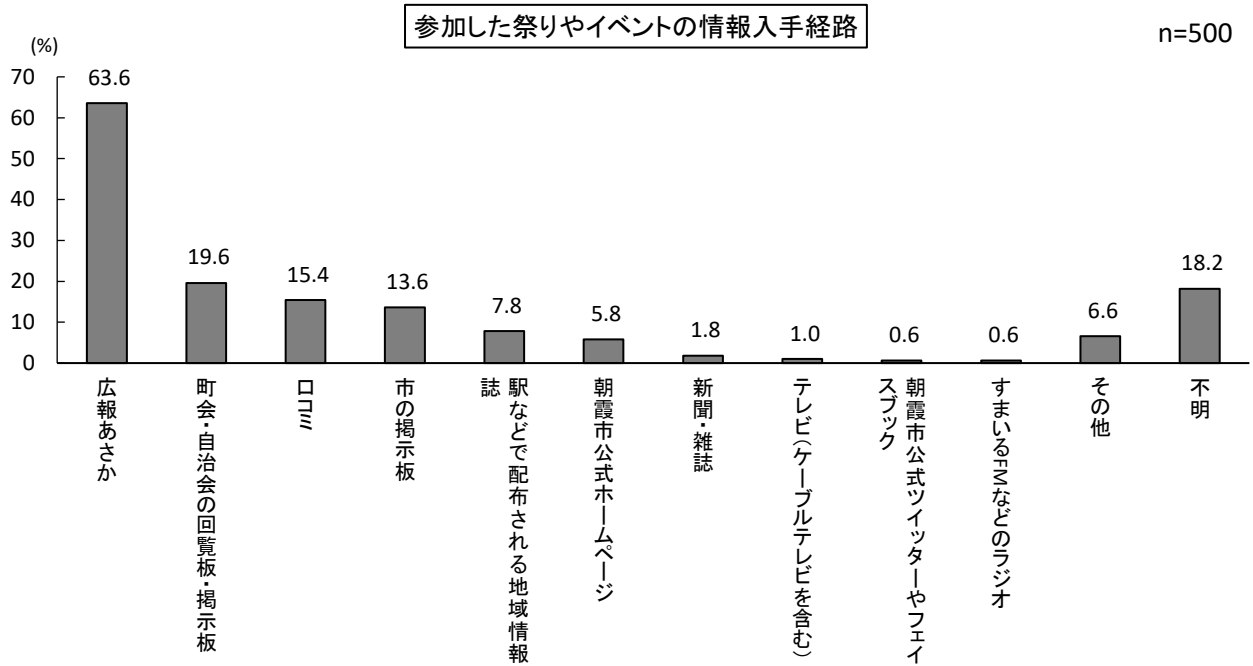
(%)

	合計	参加するきっかけがない	忙しくて参加する時間がない	参加したいと思う行事や活動がない	祭りやイベントに関心がない	祭りやイベントに関する情報がない	その他	特に理由はない	不明
全体	260	35.0	32.7	18.8	16.9	14.2	8.5	16.9	2.7
10・20歳代	19	21.1	57.9	26.3	15.8	21.1	5.3	5.3	0.0
30歳代	38	42.1	44.7	21.1	15.8	15.8	13.2	2.6	2.6
40歳代	50	34.0	36.0	22.0	20.0	10.0	8.0	14.0	0.0
50歳代	43	46.5	27.9	25.6	20.9	23.3	2.3	7.0	7.0
60歳代	55	36.4	34.5	16.4	18.2	14.5	9.1	20.0	0.0
70歳以上	55	25.5	14.5	9.1	10.9	7.3	10.9	38.2	5.5

(注)網掛けは20%以上のもの。

問 25\_3 参加した祭りやイベントの情報は何で知りましたか（○印はいくつでも）。

- ・参加した祭りやイベントの情報入手経路では、「広報あさか」（63.6%）が最も多く、次いで「町会・自治会の回覧板・掲示板」（19.6%）となっている。
- ・参加した祭りやイベントの情報入手経路について、年代別に見ると、どの年代でも「広報あさか」が最も多くなっている。



参加した祭りやイベントの情報入手経路(年代別)

	合計	広報あさか	町会・自治会の回覧板・掲示板	口コミ	市の掲示板	地域情報誌	駅などで配布される地域情報誌	朝霞市公式ホームページ	新聞・雑誌	テレビ(ケーブルテレビを含む)	朝霞市公式ツイッターやフェイスブック	すまいるFMなどのラジオ	その他	不明
全体	500	63.6	19.6	15.4	13.6	7.8	5.8	1.8	1.0	0.6	0.6	6.6	18.2	
10・20歳代	41	34.1	4.9	26.8	19.5	9.8	4.9	2.4	0.0	2.4	2.4	9.8	24.4	
30歳代	80	61.3	11.3	17.5	16.3	13.8	11.3	1.3	1.3	0.0	0.0	11.3	15.0	
40歳代	110	70.0	12.7	20.0	5.5	6.4	6.4	0.9	1.8	0.9	0.0	8.2	13.6	
50歳代	87	69.0	20.7	10.3	20.7	11.5	8.0	1.1	1.1	1.1	1.1	8.0	10.3	
60歳代	81	65.4	28.4	16.0	14.8	4.9	1.2	2.5	1.2	0.0	1.2	3.7	19.8	
70歳以上	101	64.4	31.7	7.9	10.9	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	1.0	28.7	

(注)網掛けは20%以上のもの。

## 8 農家向け 調査概要

### (1) 調査項目

#### ①農家概要

農地所在地、氏名(法人名)、性別、年齢、就農者数、農産物の年間販売高(昨年度)、農業形態等

#### ②農業経営全般

耕地面積、耕作放棄地の有無とその理由・今後の活用意向、生産している作物の種類・今後生産してみたい作物の種類、主な出荷先、後継者の有無、後継者確保に向け重要なこと

#### ③景況感について

昨年度売上高、3年前と比べた農業所得、今後3年間の景況予測

#### ④経営上の課題等について

農業経営における課題や困りごと、今後の農業経営意向・農業規模拡大に関する方法、朝霞市における農業振興に向けた支援要望

#### ⑤朝霞市の農業について

10年前と比較した朝霞市の農業、朝霞市の農業における役割、今後取り組んでいきたいこと、地元市民との望ましい関係等

### (2) 調査仕様

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| ①調査地域 | 朝霞市全域                     |
| ②調査対象 | 朝霞市内に所在する農家               |
| ③標本数  | 200 サンプル (宛先不明なし)         |
| ④抽出方法 | 農地基本台帳                    |
| ⑤調査方法 | 郵送配布・回収法                  |
| ⑥調査期間 | 平成 29 年 9 月 14 日～9 月 29 日 |

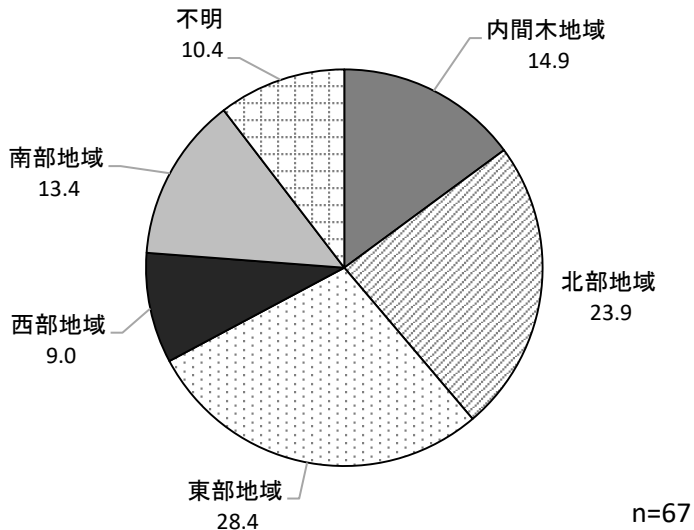
### (3) 有効回収数・回収率

67 サンプル (33.5%)

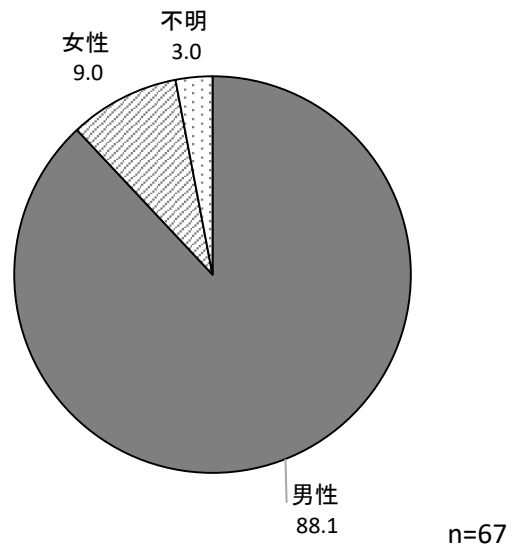
## 9 農家向け 調査結果

### (1) 基本属性

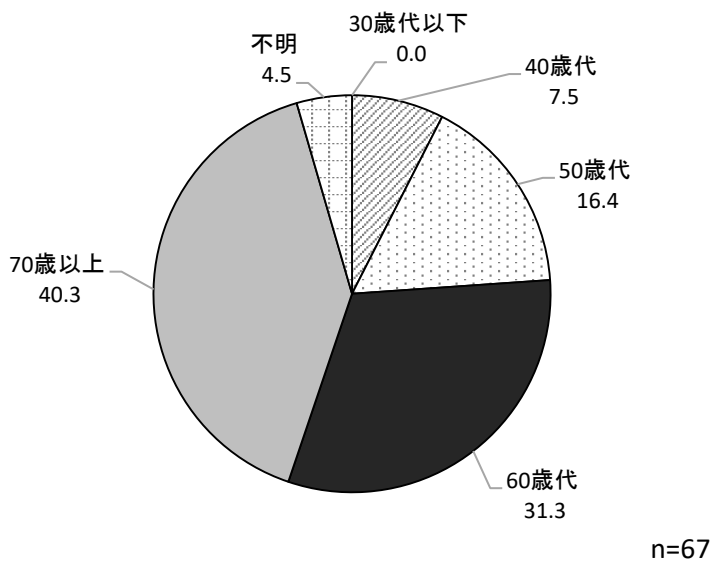
所在地



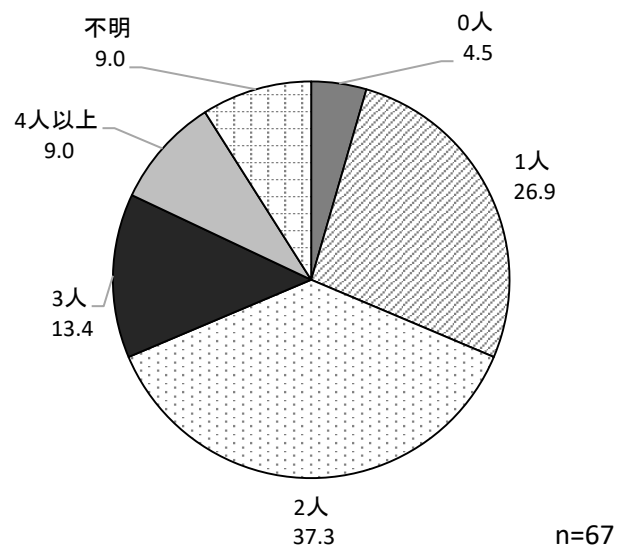
性別



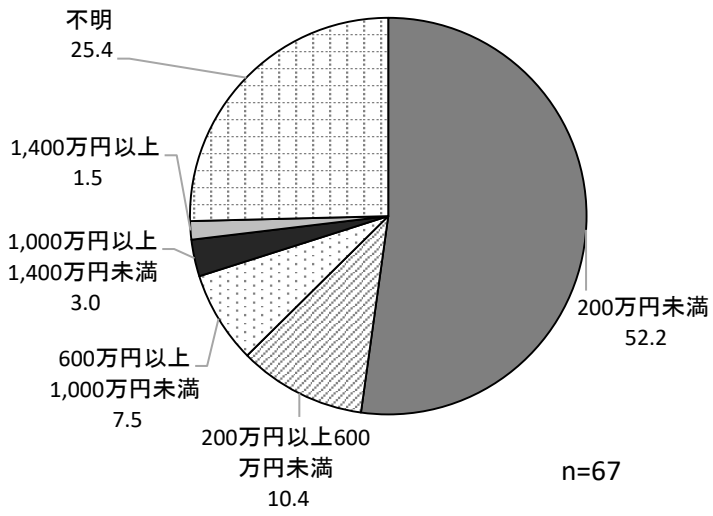
年齢



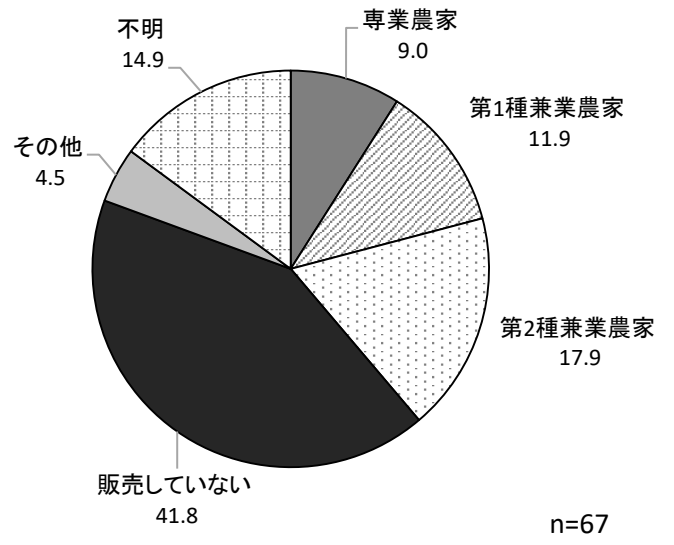
就農者数



年間販売額(昨年度)



農業形態

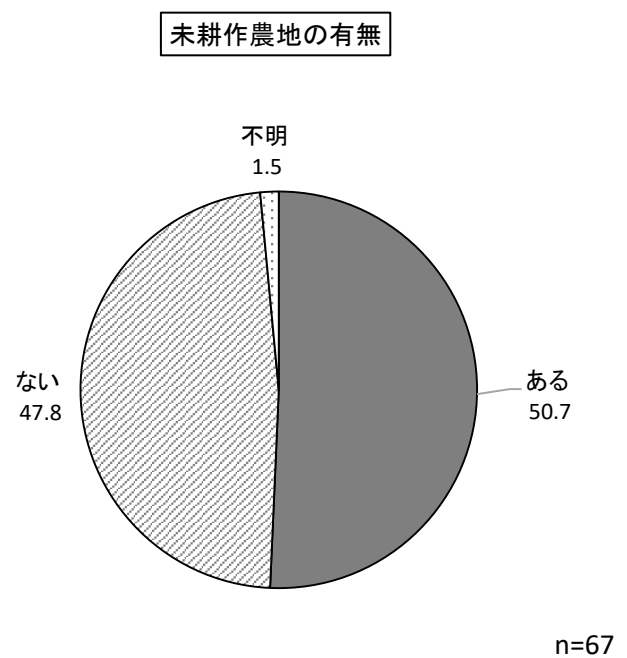
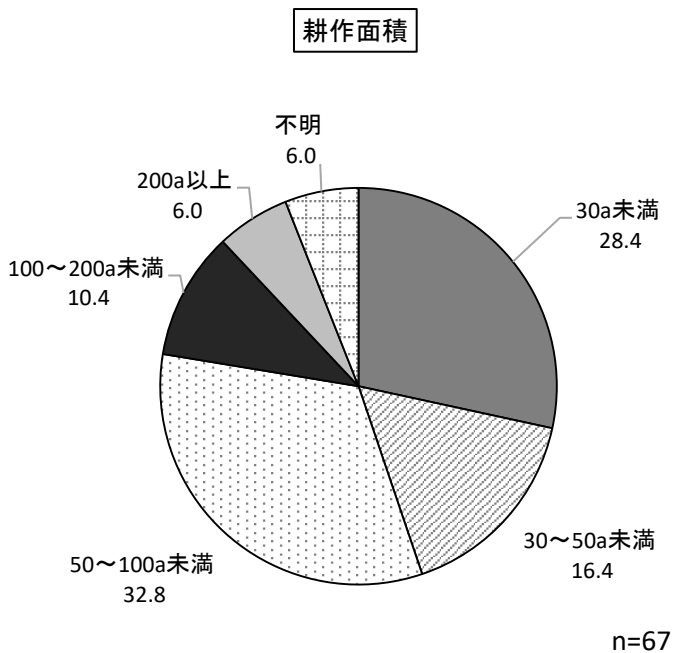


## (2) 農業経営全般

問2 (2) 耕地面積をお答えください (○は1つだけ)。

(3) あなたが所有している農地で耕作していない農地はありますか (○は1つだけ)。

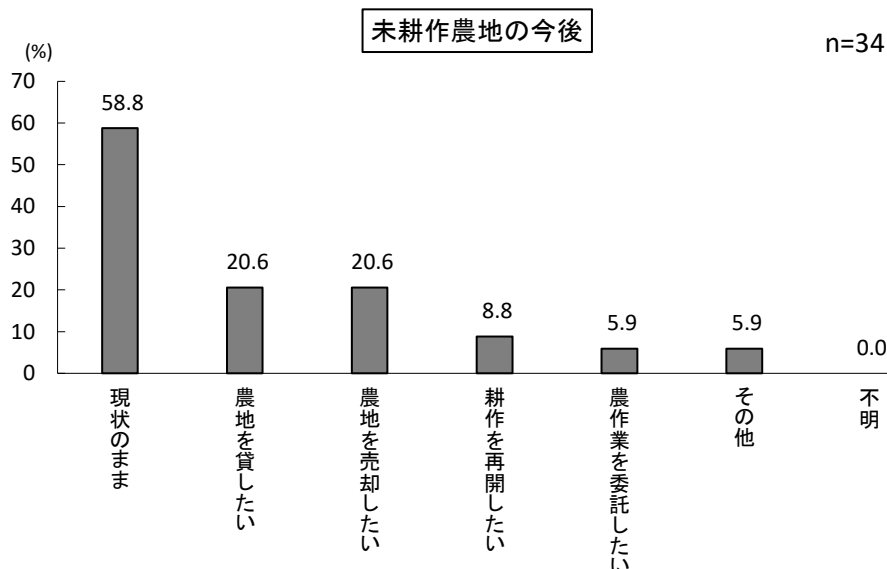
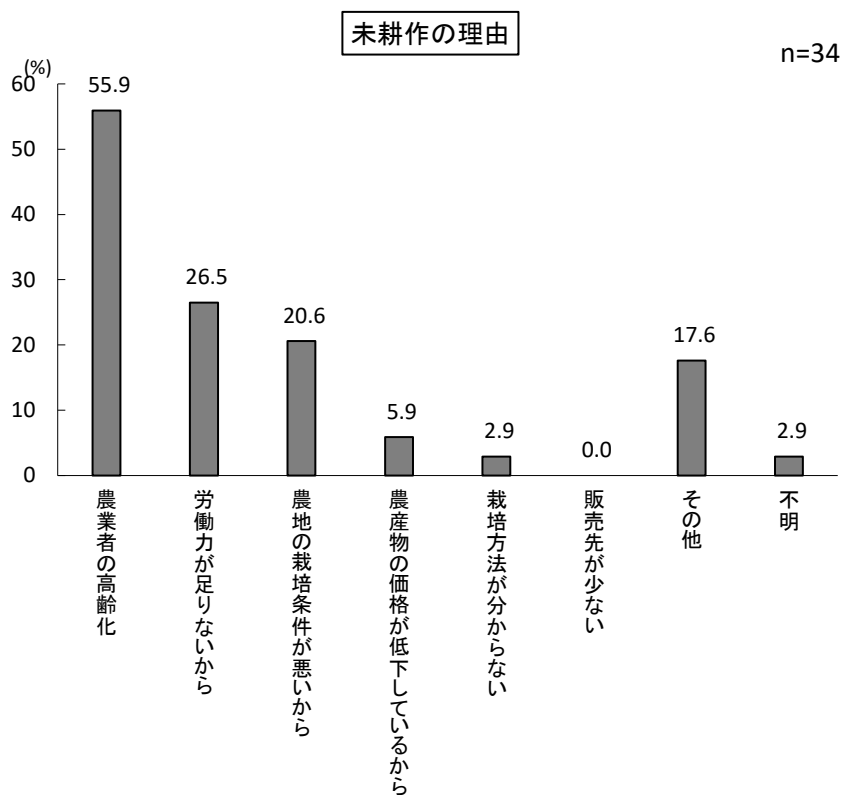
- ・ 耕地面積について聞いたところ、「50～100 a」(32.8%)が最も多く、次いで「30 a」(28.4%)となっている。
- ・ 未耕作農地について聞いたところ、「ある」が50.7%、「ない」が47.8%と概ね半々の割合となっている。



問2 (3-1) 耕作していない農地が「ある」とご回答された方にお聞きします。耕作しない理由は何ですか (〇はいくつでも)。

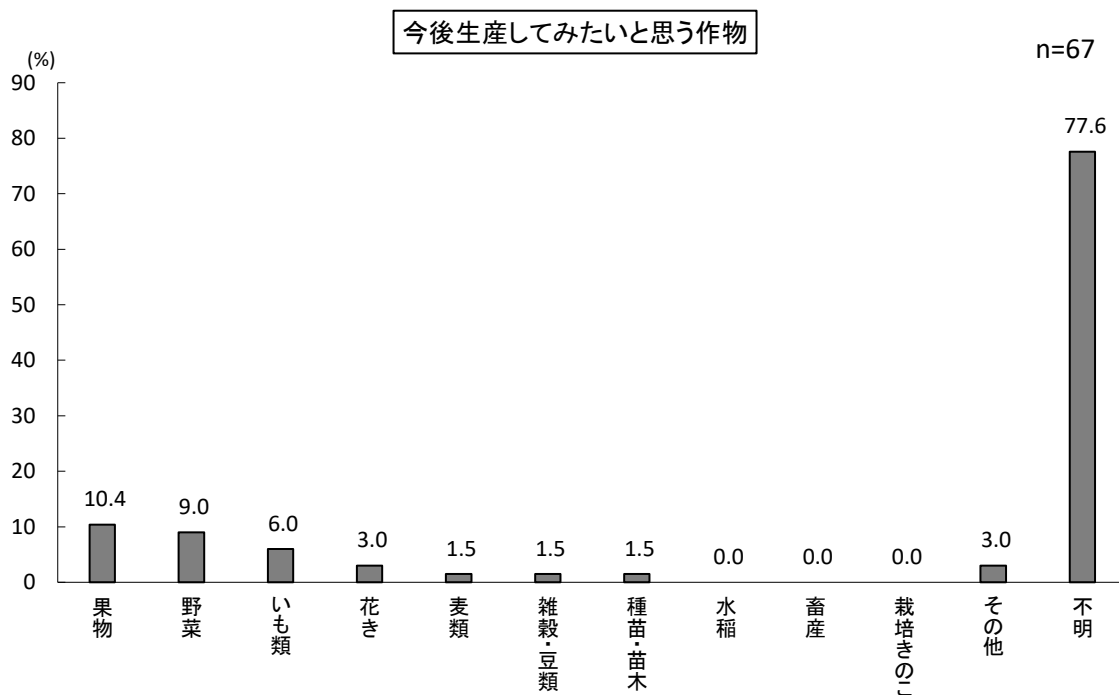
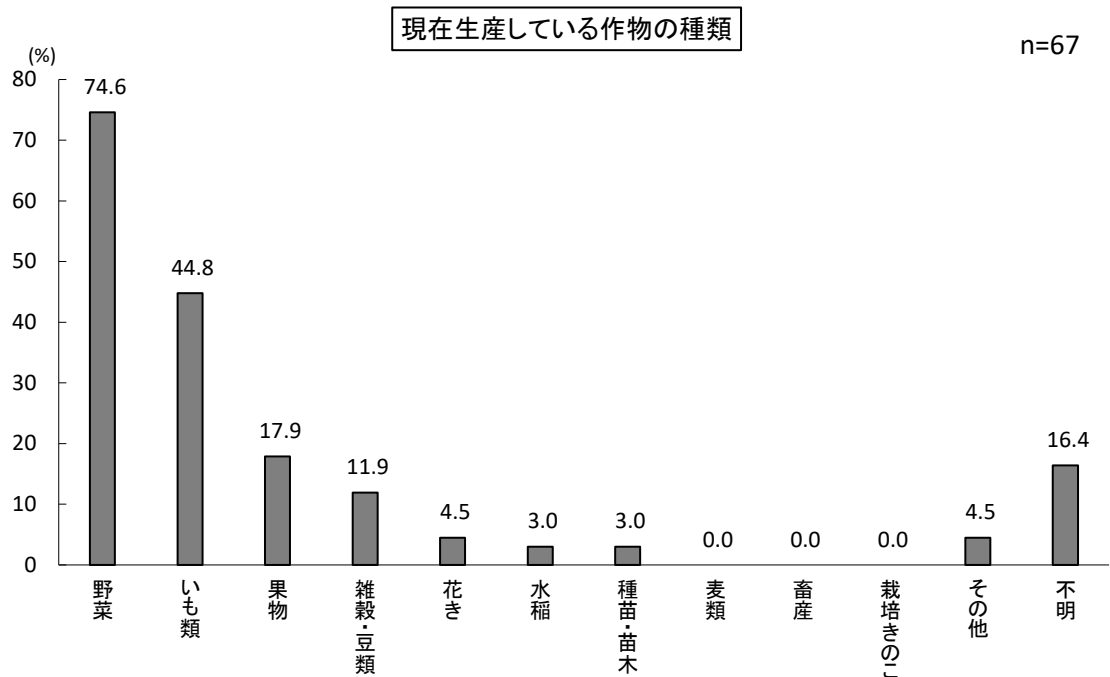
(3-2) 耕作していない農地が「ある」とご回答された方にお聞きします。未耕作地について、今後どのように利用していきたいとお考えですか (〇は3つまで)。

- ・未耕作の理由では、「農業者の高齢化」(55.9%)が最も多く、次いで「労働力が足りないから」(26.5%)、「農地の栽培条件が悪いから」(20.6%)となっており、上位2項目が担い手に係る問題となっている。
- ・未耕作農地の今後では、「現状のまま」(58.8%)が最も多く、次いで「農地を貸したい」「農地を売却したい」(各20.6%)となっている。



問2(4) 現在生産している作物の種類、今後生産してみたいと思う作物の種類について教えてください(下記の枠にそれぞれ主な作物を3つまで選んで数字を記入してください)。

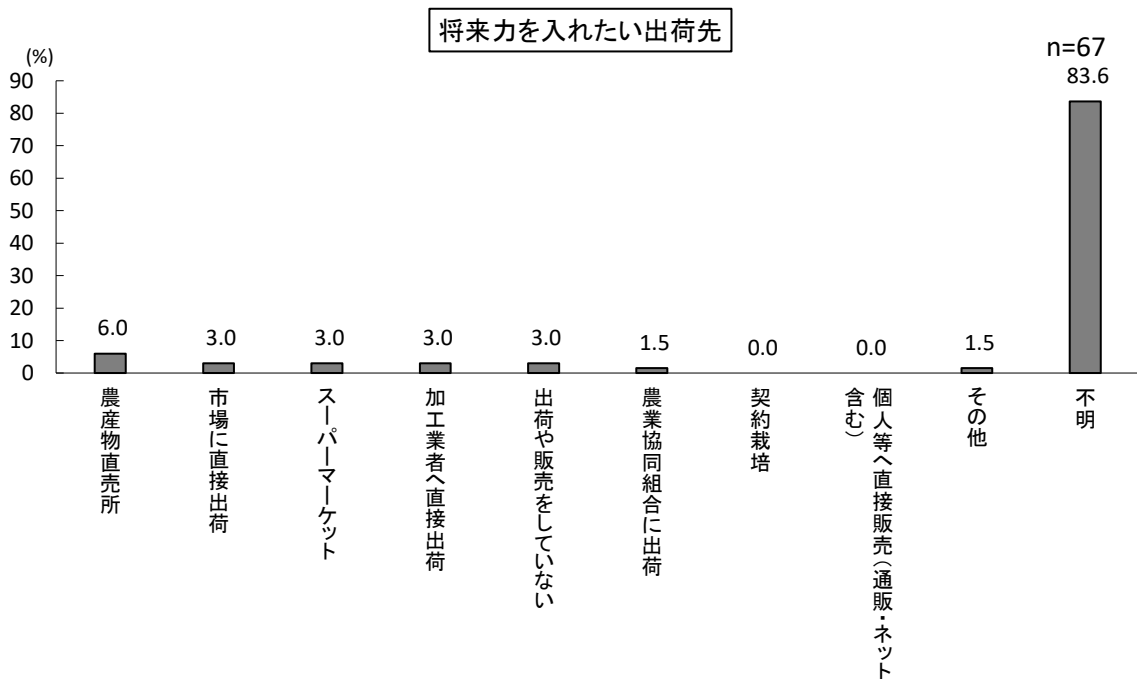
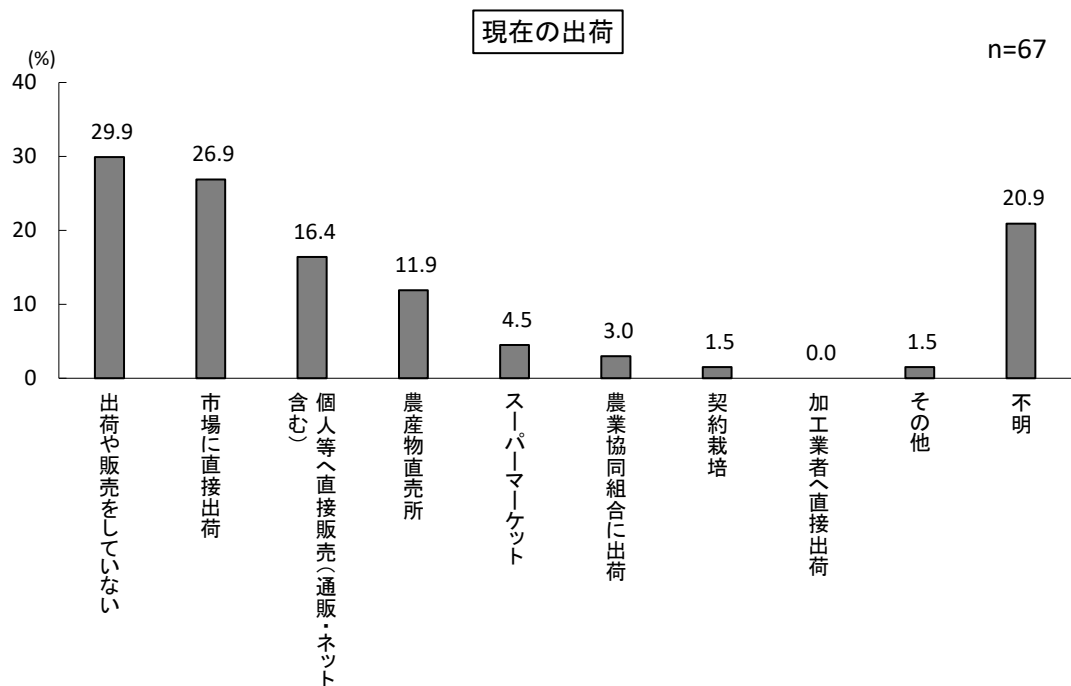
- ・現在生産している作物の種類では、「野菜」(74.6%)が最も多く、次いで「いも類」(44.8%)が多くなっている。
- ・今後生産してみたいと思う作物の種類では、「不明」(77.6%)が最も多く、次いで「果物」(10.4%)、「野菜」(9.0%)となっている。





問2 (5) 主な農作物の主要な出荷先について教えてください(下記の枠にそれぞれ主な出荷先を3つまで選んで数字を記入してください)。

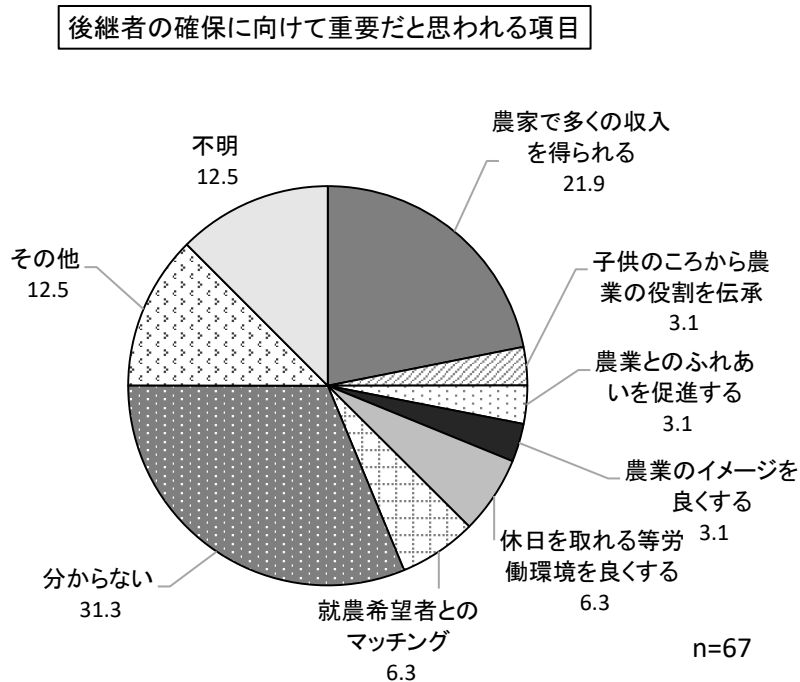
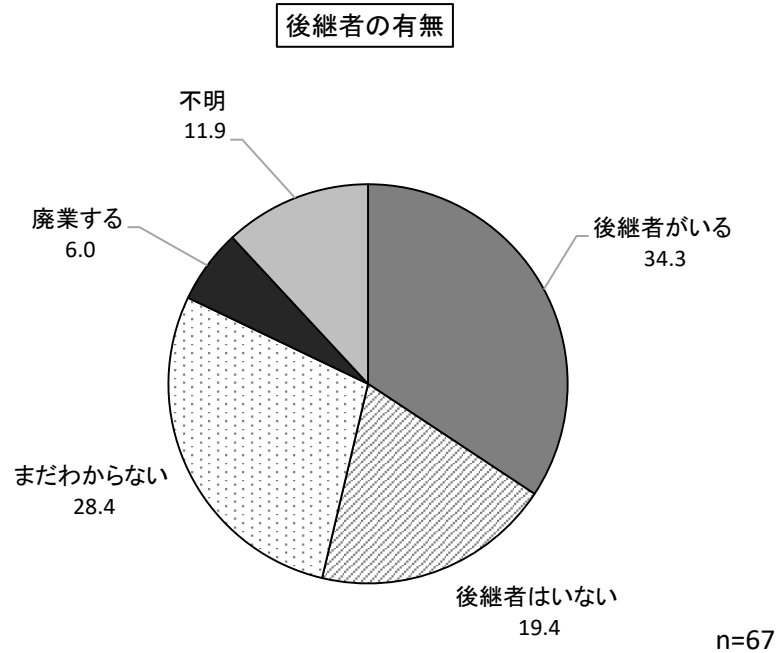
- ・現在の主要な出荷先では、「出荷や販売をしていない」(29.9%)が最も多く、次いで「市場に直接出荷」(26.9%)、「個人等へ直接販売(通販・ネット含む)」(16.4%)、「農産物直売所」(11.9%)になっている。
- ・将来力を入れたい出荷先では、無回答が多いため「不明」(20.9%)が多くなっており、次いで「農産物直売所」(6.0%)となっている。



問2 (6) あなたの世帯の後継者について教えてください (○は1つだけ)。

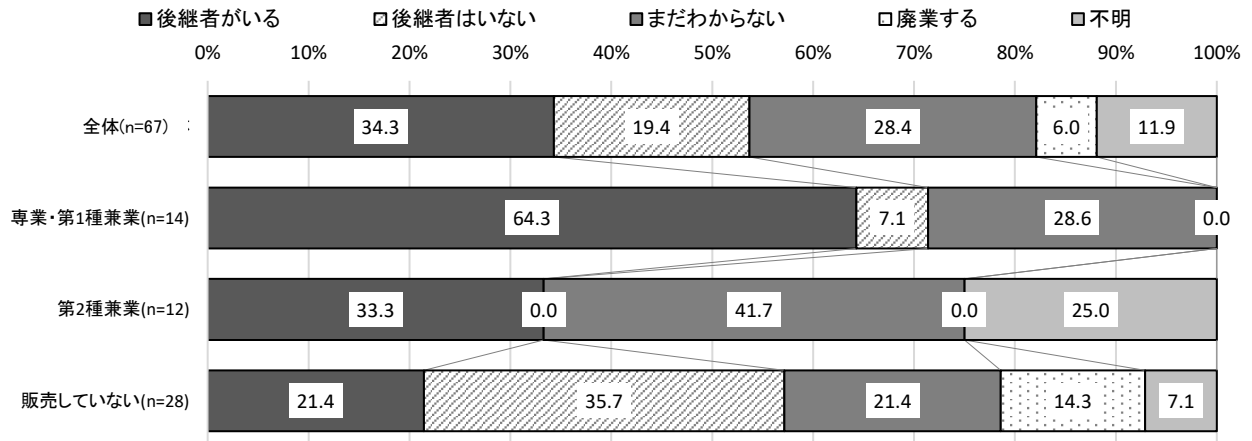
(6-1) 後継者の確保に向けて重要だと思われる項目 (○は1つだけ)。

- ・後継者の有無について聞いたところ、「後継者がいる」(34.3%)が最も多くなっているが、次いで「まだわからない」(19.4%)となっている。
- ・後継者の確保に向けて重要だと思われる項目では「分からない」(31.3%)が最も多くなっているが、次いで「農家で多くの収入を得られる」(21.9%)となっている。



- ・後継者の有無について、農業形態別に見ると、専業・第1種兼業で「後継者がいる」(64.3%)が最も多くなっている。また、販売していないでは「廃業する」(14.3%)が他農業形態より、多くなっている。

後継者の有無 (農業形態別)

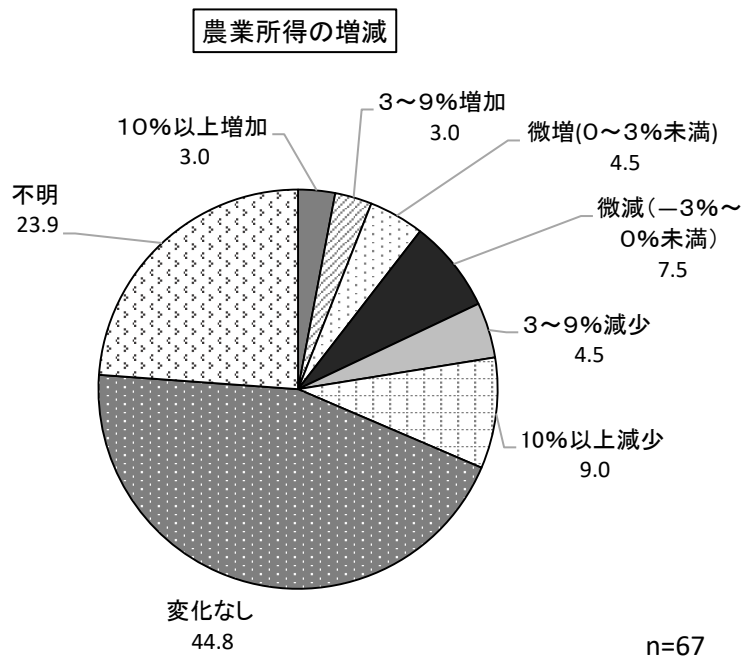
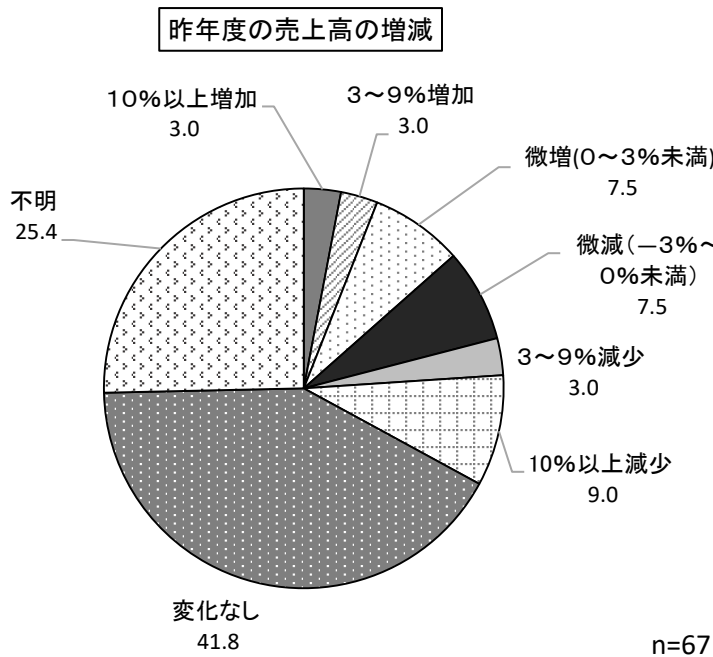


(注)表側の「不明」「その他」を除く。

### (3) 景況感について

問3 (7) 昨年度の売上高の増減について、その3年前と比較して、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。  
 (8) 昨年度の農業所得の増減について、その3年前と比較して、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。

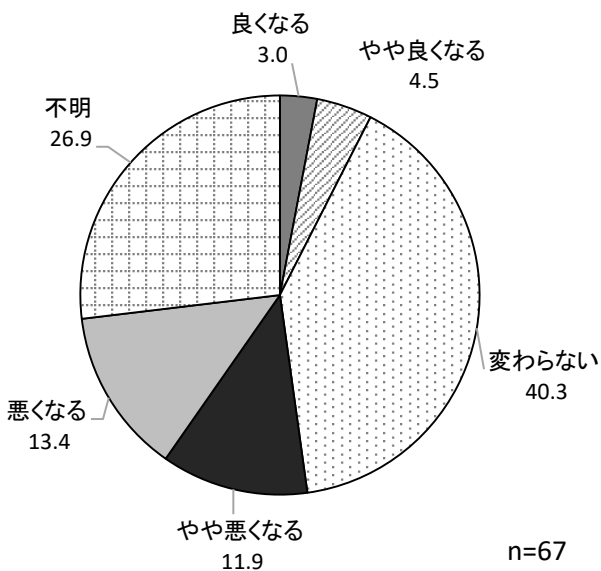
- ・昨年度の売上高増減では、「変化なし」(41.8%)が最も多く、次いで「10%以上減少」(9.0%)となっている。
- ・同じく農業所得の増減について聞いたところ、「変化なし」(44.8%)が最も多く、次いで「10%以上減少」(9.0%)となっている。



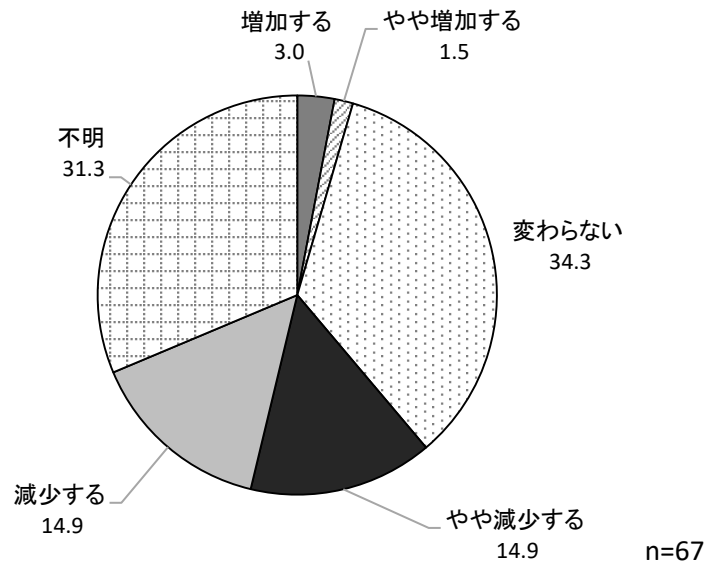
問3 (9) 今後3年間を考えたとき、景況はどのように推移していくと予想しますか (○は各指標について1つだけ)。

- ・今後3年間の景況では、「変わらない」(40.3%)が最も多く、次いで「悪くなる」(13.4%)となっている。
- ・今後3年間の営業利益では、「変わらない」(34.3%)が最も多く、次いで「やや減少する」、「減少する」(各14.9%)となっており、「増加する」や「やや増加する」を大きく上回っている。
- ・今後3年間の売上高では、「変わらない」(34.3%)が最も多く、次いで「減少する」(14.9%)となっている。

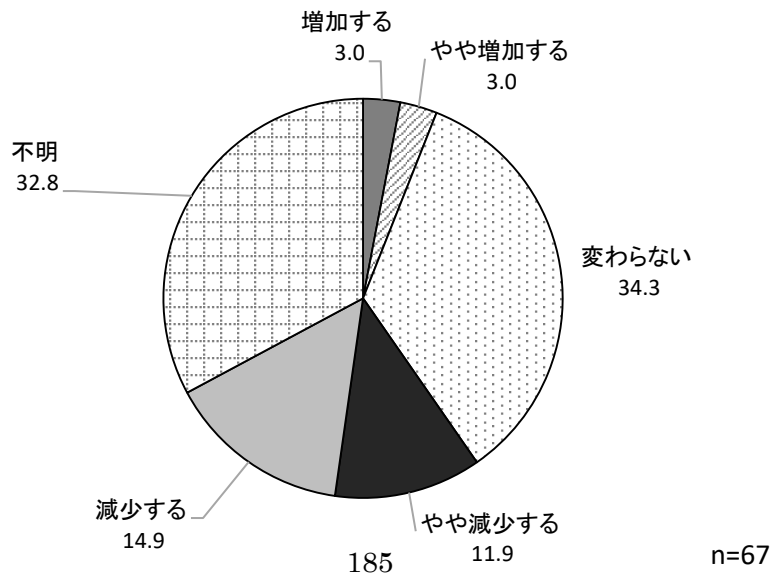
今後3年間の景況



今後3年間の営業利益



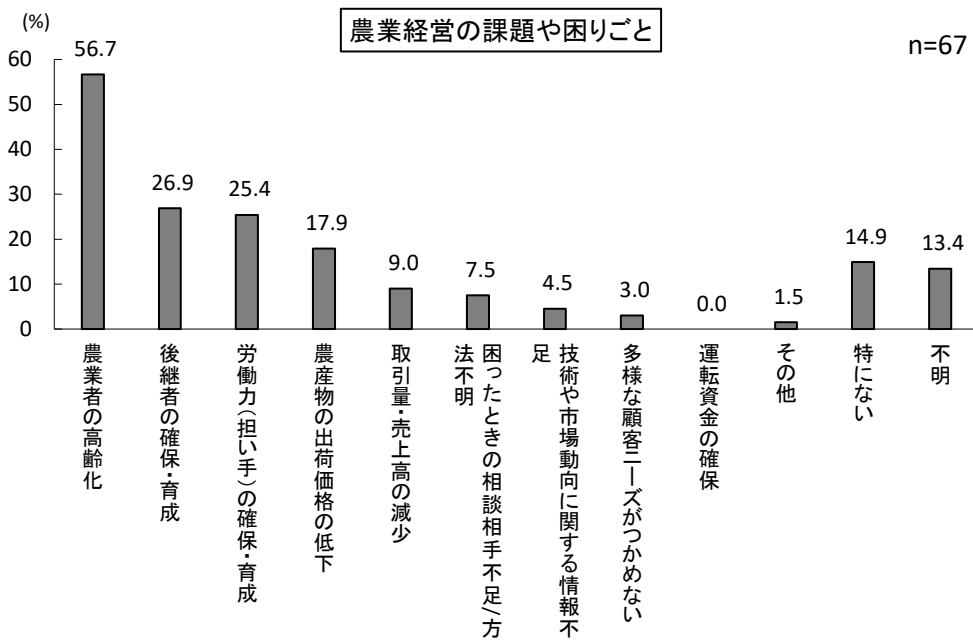
今後3年間の売上高



(4) 経営上の課題等について

問3 (10) 農業経営を維持向上していく上で、課題や困りごととなっていることについて教えてください(〇はいくつでも)。

- ・農業経営の課題や困りごとでは、「農業者の高齢化」(56.7%)が最も多く、次いで「後継者の確保・育成」(26.9%)、「労働力(担い手)の確保・育成」(25.4%)となっており、主に人材に関する課題が多くなっている。
- ・農業経営の課題や困りごとについて、農業形態別に見ると、どの形態においても「農業者の高齢化」が多くなっているが、専業・第1種兼業(92.9%)で特に多くなっている。



農業経営の課題や困りごと(農業形態別)

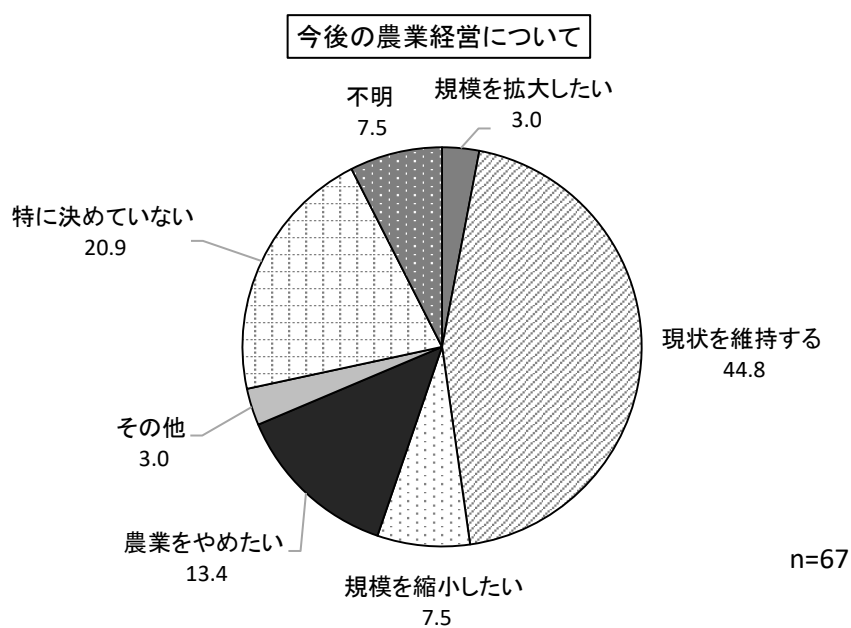
	合計	農業者の高齢化	後継者の確保・育成	労働力(担い手)の確保・育成	農産物の出荷価格の低下	取引量・売上高の減少	困ったときの相談相手不足	技術や市場動向に関する情報不足	多様な顧客ニーズがつかめない	運転資金の確保	その他	特にない	不明
全体	67	56.7	26.9	25.4	17.9	9.0	7.5	4.5	3.0	0.0	1.5	14.9	13.4
専業・第1種兼業	14	92.9	50.0	35.7	28.6	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
第2種兼業	12	83.3	33.3	50.0	41.7	16.7	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
販売していない	28	35.7	10.7	10.7	0.0	0.0	10.7	0.0	3.6	0.0	3.6	32.1	21.4

(注)網掛けは20%以上のもの。表側の「その他」「不明」は除く。

問3 (11) 今後の農業経営についてお答えください (○は1つだけ)。

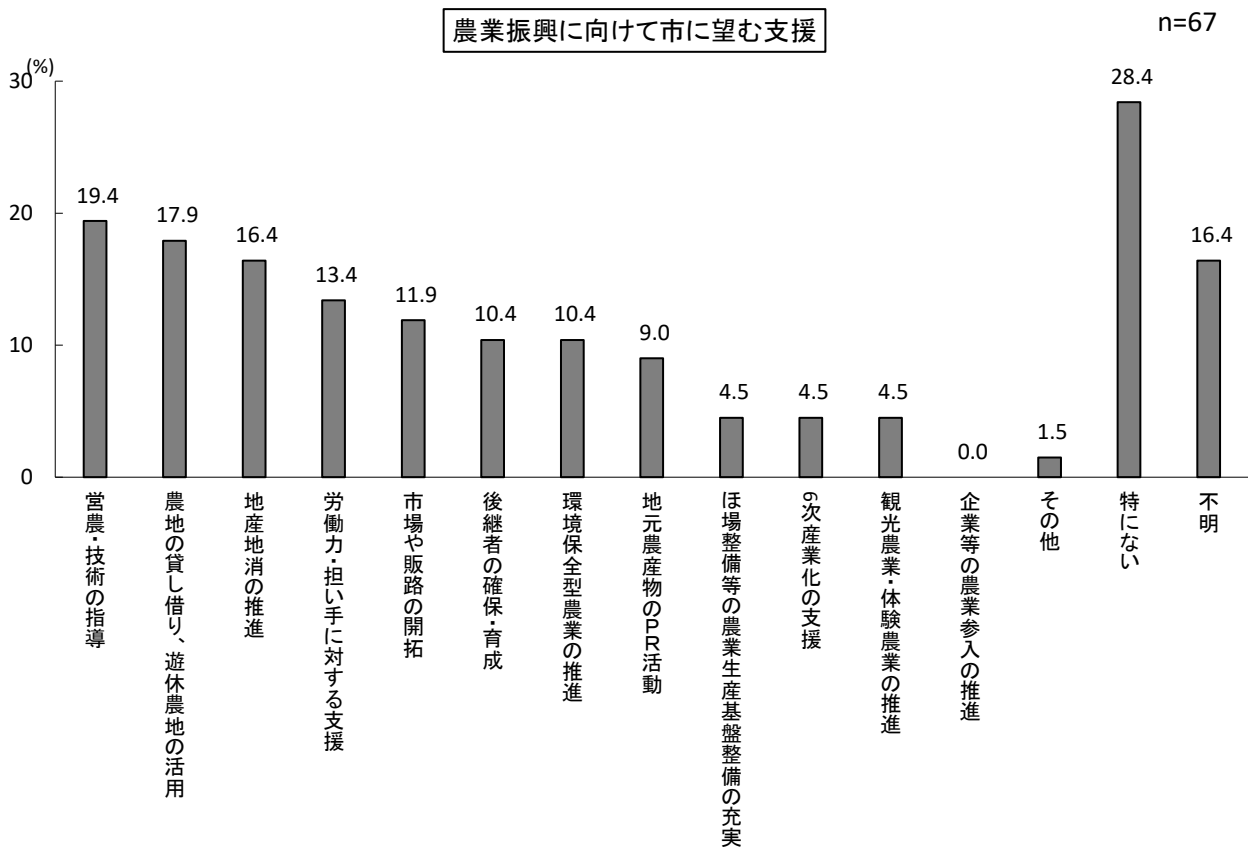
問3 (11-1) [(11) で「1」と回答した方] どのように規模を拡大していきたいですか。具体的な方法について教えてください (○はいくつでも)。

- ・今後の農業経営について聞いたところ、「現状を維持する」(44.8%)が最も多く、次いで「特に決めていない」(20.9%)となっている。また、「農業をやめたい」は13.4%となっている。



問3 (12) 今後、朝霞市での農業振興に向けて、市に取り組んでほしい支援があれば教えてください  
(〇はいくつでも)。

- ・農業振興に向けて市に望む支援では、「特にない」(28.4%)が最も多く、次いで「営農・技術の指導」(19.4%)となっている。
- ・農業振興に向けて市に望む支援について、農業形態別に見ると、専業・第1種兼業では「営農・技術の指導」(57.1%)が最も多く、第2種では「地産地消の推進」(41.7%)、販売していないでは「農地の貸し借り、遊休農地の活用」(28.6%)が多くなっている。



農業振興に向けて市に望む支援（農業形態別）

	合計	営農・技術の指導	農地の貸し借り、遊休農地の活用	地産地消の推進	労働力・担い手に対する支援	市場や販路の開拓	後継者の確保・育成	環境保全型農業の推進	地元農産物のPR活動	ほ場整備等の農業生産基盤整備の充実	6次産業化の支援	観光農業・体験農業の推進	企業等の農業参入の推進	その他	特にない	不明
全体	67	19.4	17.9	16.4	13.4	11.9	10.4	10.4	9.0	4.5	4.5	4.5	0.0	1.5	28.4	16.4
専業・第1種兼業	14	57.1	0.0	28.6	14.3	14.3	7.1	14.3	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
第2種兼業	12	25.0	25.0	41.7	25.0	25.0	16.7	16.7	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0
販売していない	28	0.0	28.6	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	3.6	0.0	3.6	10.7	0.0	0.0	46.4	25.0

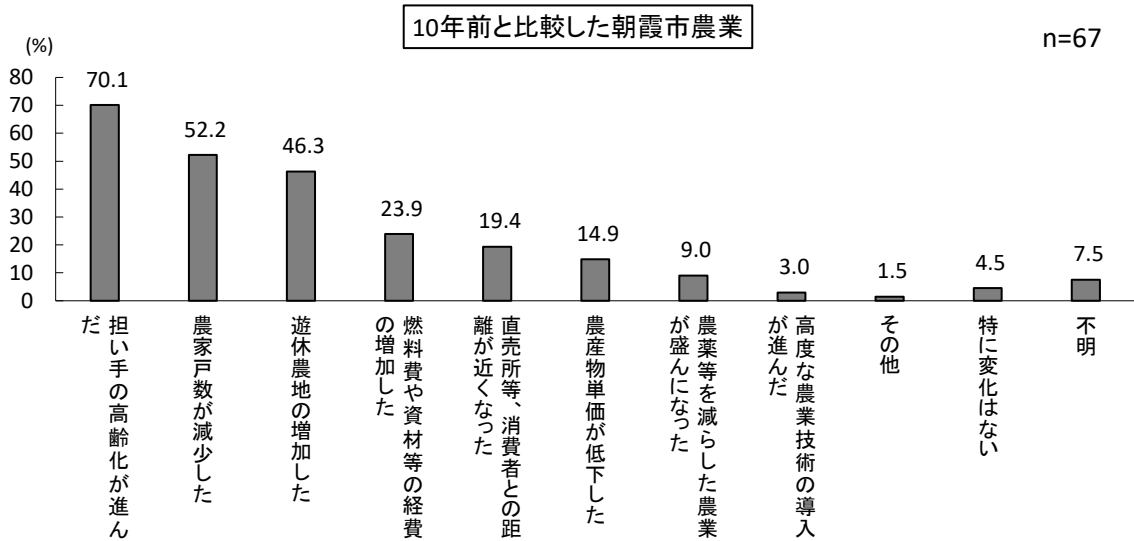
(注) 網掛けは 20%以上のもの。表側の「その他」「不明」は除く。



(5) 朝霞市の農業について

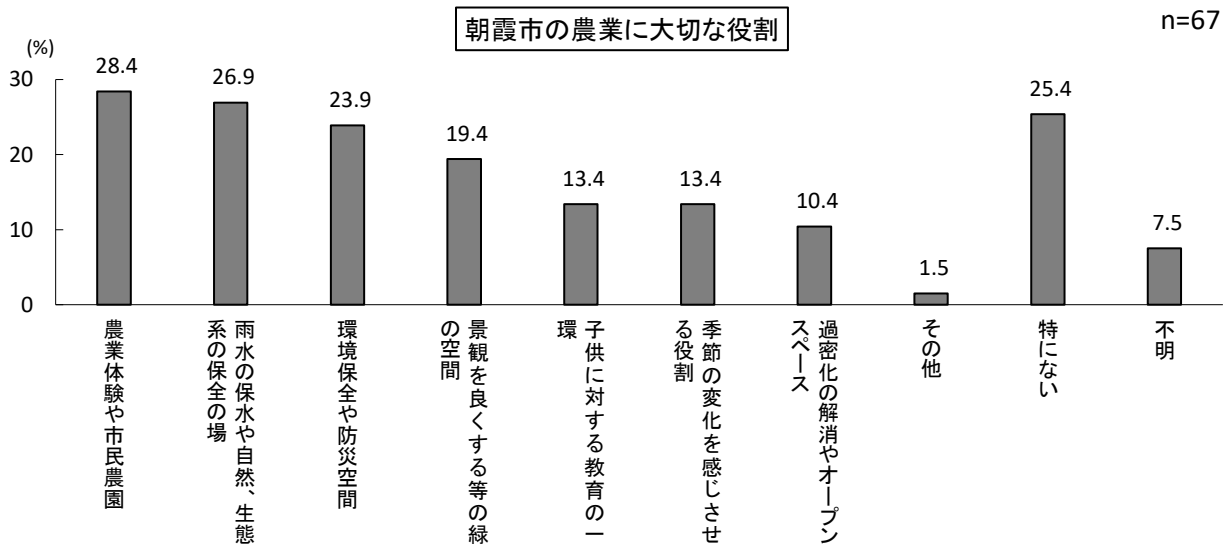
問3 (13) 10年前と比べた、朝霞市全体の農業についてどのような変化が見られましたか(〇はいくつでも)。

- ・10年前と比較した朝霞市農業では、「担い手の高齢化が進んだ」(70.1%)が最も多く、次いで「農家戸数が減少した」(52.2%)、「遊休農地が増加した」(46.3%)となっている。



問3 (14) 朝霞市の農業にはどのような役割が大切だと思いますか(〇はいくつでも)。

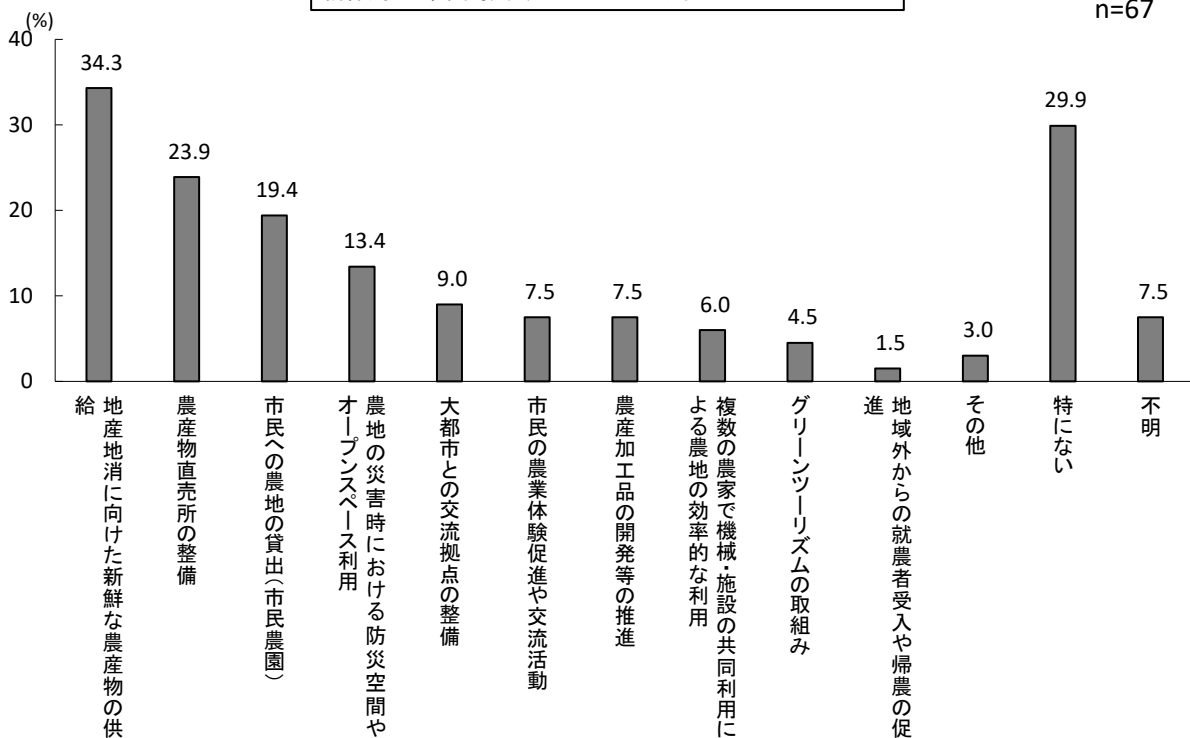
- ・朝霞市の農業に大切な役割では、「農業体験や市民農園」(28.4%)、「雨水の保水や自然、生態系の保全の場」(26.9%)、「環境保全や防災空間」(23.9%)などとなっている。



問3 (15) 今後、朝霞市の農業の振興に向けて取り組んでいきたいと考えることについて教えてください (〇はいくつでも)。

- ・朝霞市の農業振興に向けて取り組んでいきたいことでは、「地産地消に向けた新鮮な農産物の供給」(34.3%)が最も多く、次いで「農産物直売所の整備」(23.9%)となっている。
- ・朝霞市の農業振興に向けて取り組んでいきたいことについて、農業形態別に見ると、専業・第1種兼業、第2種兼業で「地産地消に向けた新鮮な農産物の供給」がともに半数以上と多く、販売していないでは「特にない」(57.1%)が多くなっている。また、専業・第1種では「農地の災害時における防災空間やオープンスペース利用」(35.7%)もやや多くなっている。

朝霞市の農業振興に向けて取り組んでいきたいこと



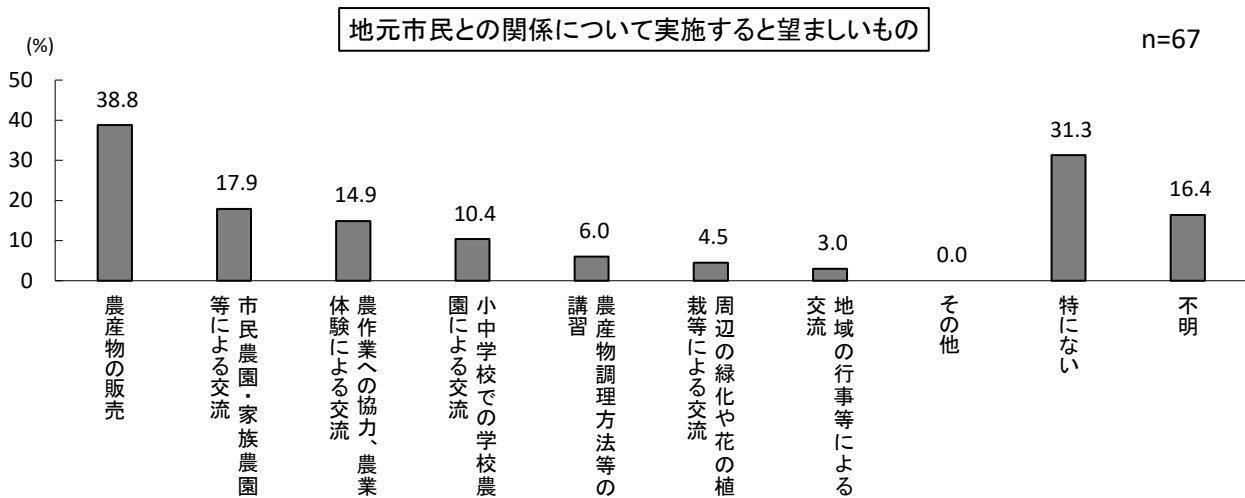
朝霞市の農業振興に向けて取り組んでいきたいこと(農業形態別)

	合計	地産地消に向けた新鮮な農産物の供給	農産物直売所の整備	市民への農地の貸出(市民農園)	農地の災害時における防災空間やオープンスペース利用	大都市との交流拠点の整備	市民の農業体験促進や交流活動	農産加工品の開発等の推進	複数の農家で機械・施設の共同利用による農地の効率的な利用	グリーンツーリズムの取組み	地域外からの就農者受入や帰農の促進	その他	特にない	不明
全体	67	34.3	23.9	19.4	13.4	9.0	7.5	7.5	6.0	4.5	1.5	3.0	29.9	7.5
専業・第1種兼業	14	57.1	21.4	14.3	35.7	14.3	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0
第2種兼業	12	66.7	33.3	25.0	8.3	8.3	0.0	25.0	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3
販売していない	28	14.3	17.9	17.9	3.6	3.6	7.1	3.6	3.6	3.6	0.0	3.6	57.1	7.1

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「その他」「不明」は除く。

問3 (16) 地元市民との関係について、実施するものとして望ましいものを教えてください  
(〇はいくつでも)。

- ・地元市民との関係について実施すると望ましいものでは、「農産物の販売」(38.8%)が最も多く、次いで「市民農園・家族農園等による交流」(17.9%)となっている。
- ・農業形態別では、専業・第1種兼業で「農産物の販売」(71.4%)が最も多く、販売していないでは「特にない」(50.0%)となっている。



地元市民との関係について実施すると望ましいもの(農業形態別) (%)

	合計	農産物の販売	市民農園・家族農園等による交流	農作業への協力、農業体験による交流	小中学校での学校農園による交流	農産物調理方法等の講習	周辺の緑化や花の植栽等による交流	地域の行事等による交流	その他	特にない	不明
全体	67	38.8	17.9	14.9	10.4	6.0	4.5	3.0	0.0	31.3	16.4
専業・第1種兼業	14	71.4	7.1	28.6	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0
第2種兼業	12	50.0	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	16.7	16.7
販売していない	28	21.4	28.6	10.7	7.1	3.6	3.6	7.1	0.0	50.0	14.3

(注) 網掛けは20%以上のもの。表側の「その他」「不明」は除く。

## 10 商店会向け 調査概要

### (1) 主要調査項目

#### ① 貴商店会の概要・状況について

商店街区の商圈、3年前と比較した店舗数の増減、商店会役員の平均年齢

#### ② 貴商店街の現状と問題点について

商店街全体の景況、商店街の抱える問題点、今後の商店会運営について

#### ③ 貴商店街の空き店舗について

商店街の空き店舗の有無、3年前と比較した空き店舗数の増減、空き店舗の居住状況、今後の空き店舗対策

#### ④ 貴商店会の取組み等について

実施しているソフト事業、実施しているハード事業、イベントや販売促進事業、環境整備事業における取組意向、イベントや販売促進事業、環境整備事業を実施するうえでの課題、課題を解決するために必要なこと、地域各種団体との連携の有無、連携している団体について

### (2) 調査仕様

① 調査地域：朝霞市全域

② 調査対象：朝霞市内に所在する商店会団体

③ 標本数：13 サンプル（宛先不明なし）

④ 抽出方法：全数

⑤ 調査方法：郵送配布・回収法

⑥ 調査期間：平成 29 年 9 月 14 日～9 月 29 日

### (3) 有効回収数・回収率

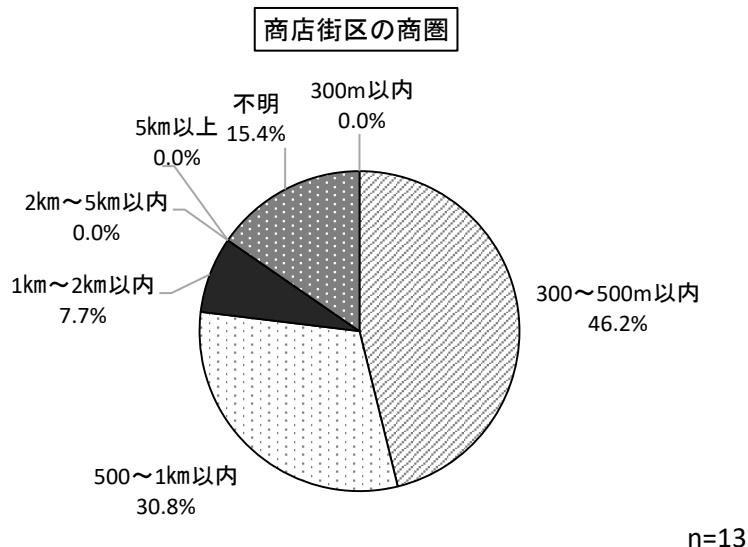
13 サンプル（100%）

## 1.1 商店会向け 調査結果

### (1) 商店会の概要・状況について

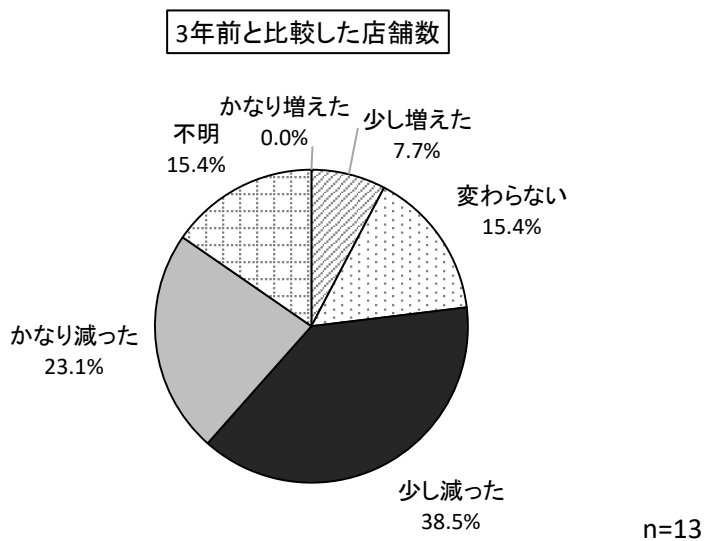
問 商店街区の商圈について教えてください（商店街の中心からの半径距離）。

- ・商店街区の商圈では、「300～500m」（46.2%）が最も多く、次いで「500～1km」（30.8%）となっており、2km以上の商圈を持つ商店街区は0%となっている。



問 店舗数は3年前と比べて変化しましたか（○は1つ）。

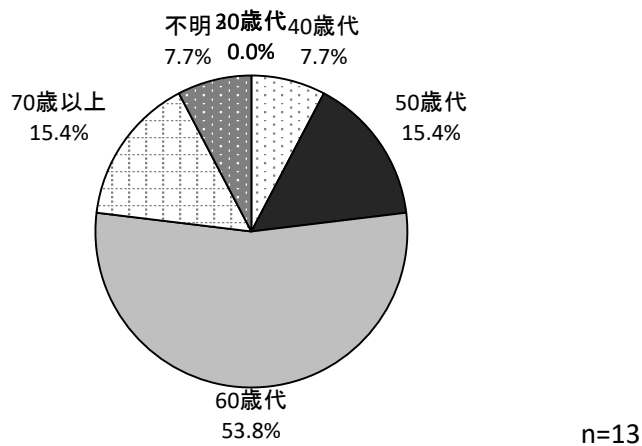
- ・3年前と比較した店舗数では、「少し減った」（38.5%）が最も多く、次いで「かなり減った」（23.1%）となっている。また、「少し増えた」は7.7%に留まっている。



問 現在の商店会役員の平均年齢をご記入ください（○は1つ）。

- ・商店会役員の平均年齢では、「60歳代」（46.2%）が最も多く、次いで「70歳以上」（15.4%）となっており、「20歳代」や「30歳代」の若年層がいない状況となっている。

商店会役員の平均年齢

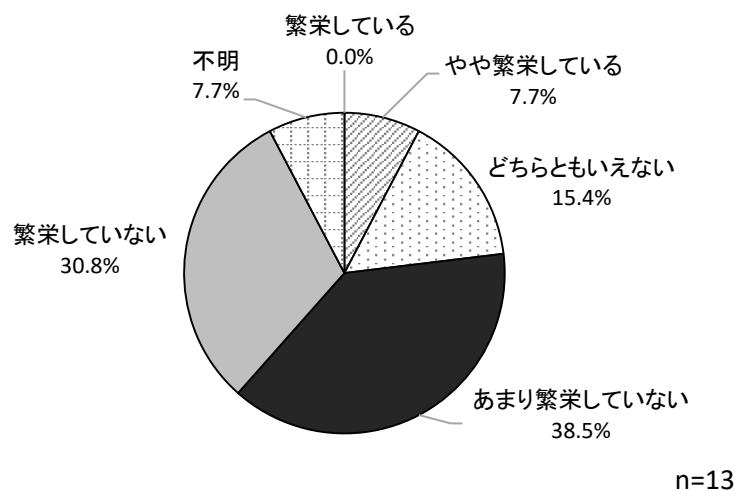


## （2）商店街の現状と問題点について

問 貴商店街全体の現在の景況について最も近いと思うものに○をつけてください（○は1つ）。

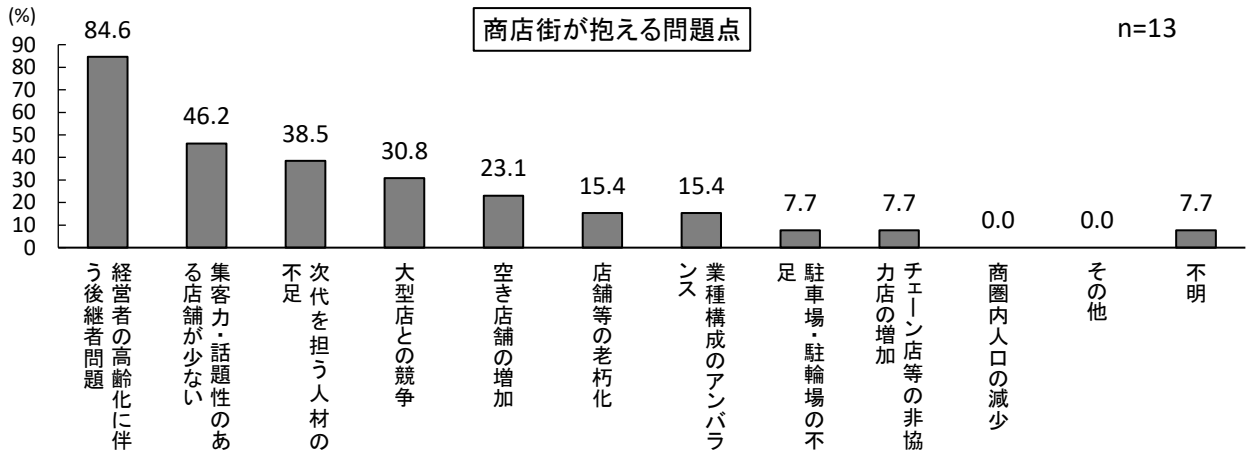
- ・商店街全体の景況感では、「あまり繁栄していない」（38.5%）が最も多く、次いで「繁栄していない」（30.8%）となっている。

商店街全体の景況感



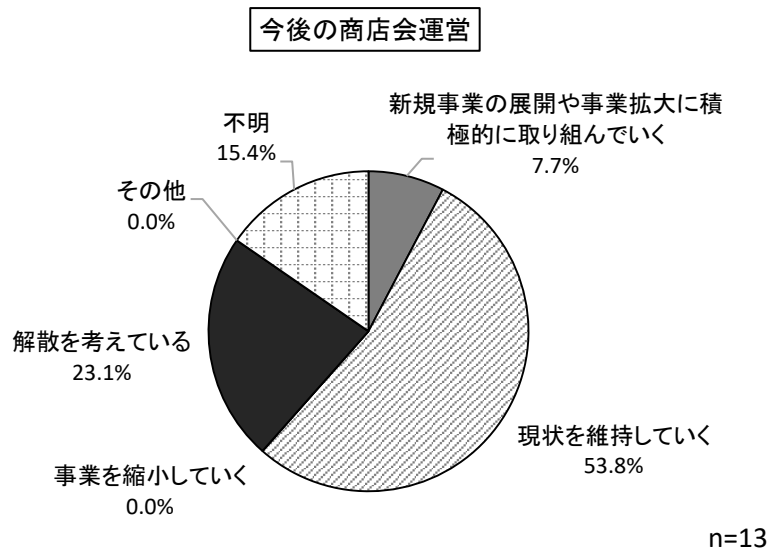
問 貴商店街が抱える問題点は何ですか（〇は3つまで）。

- ・商店街が抱える問題点では、「経営者の高齢化に伴う後継者問題」（84.6%）が最も多く、次いで「集客力・話題性のある店舗が少ない」（46.2%）、「次代を担う人材の不足」（38.5%）となっている。



問 会員数や店舗数、来街者数等の推移を踏まえて、今後、貴商店会の運営についてどのようにお考えですか（〇は1つ）。

- ・今後の商店会運営では、「現状を維持していく」（53.8%）が最も多く、次いで「解散を考えている」（23.1%）となっている。

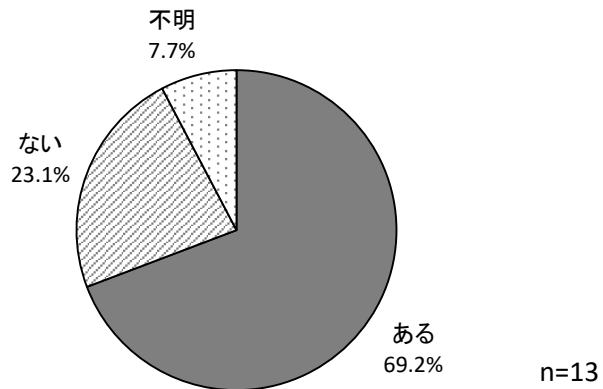


### (3) 商店街の空き店舗について

問 現在、貴商店街に空き店舗※はありますか。

- ・ 商店街の空き店舗では、「ある」(69.2%)が、「ない」(23.1%)を大きく上回っている。

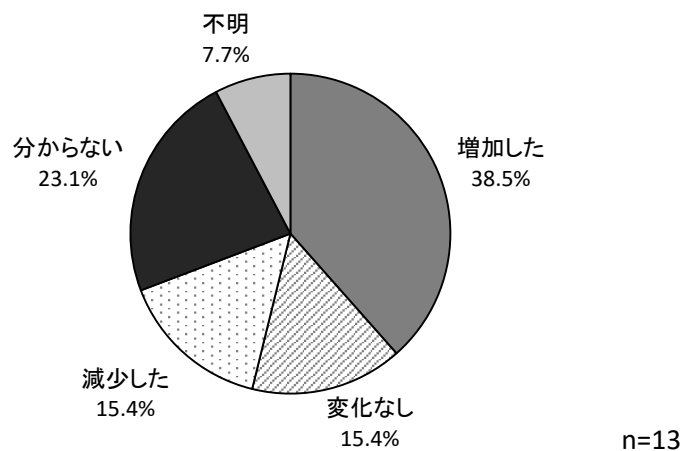
空き店舗の有無



問 空き店舗の数は、3年前と比較するとどうなりましたか (○は1つ)。

- ・ 3年前と比較した空き店舗数の増減では、「増加した」(38.5%)が最も多く、次いで「分からない」(23.1%)となっている。

3年前と比較した空き店舗数の増減

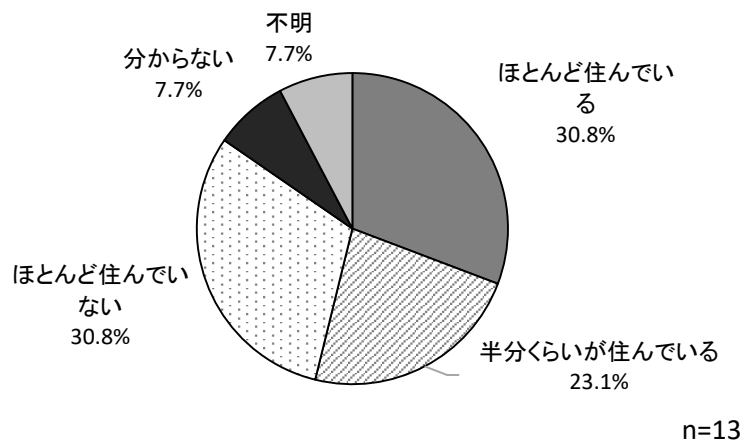




問 空き店舗には現在家主が住んでいますか。

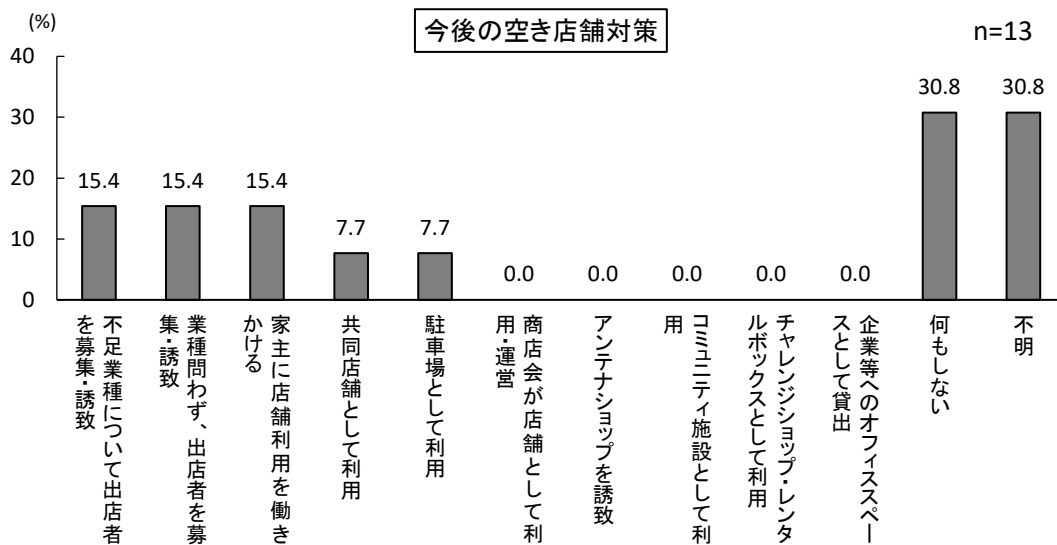
- ・空き店舗の居住状況では、「ほとんど住んでいる」と「ほとんど住んでいない」(各 30.8%) が同割合で高くなっている。次いで「解散を考えている」(23.1%)となっている

空き店舗の居住状況



問 今後の空き店舗対策について、考えられるものを選んでください。

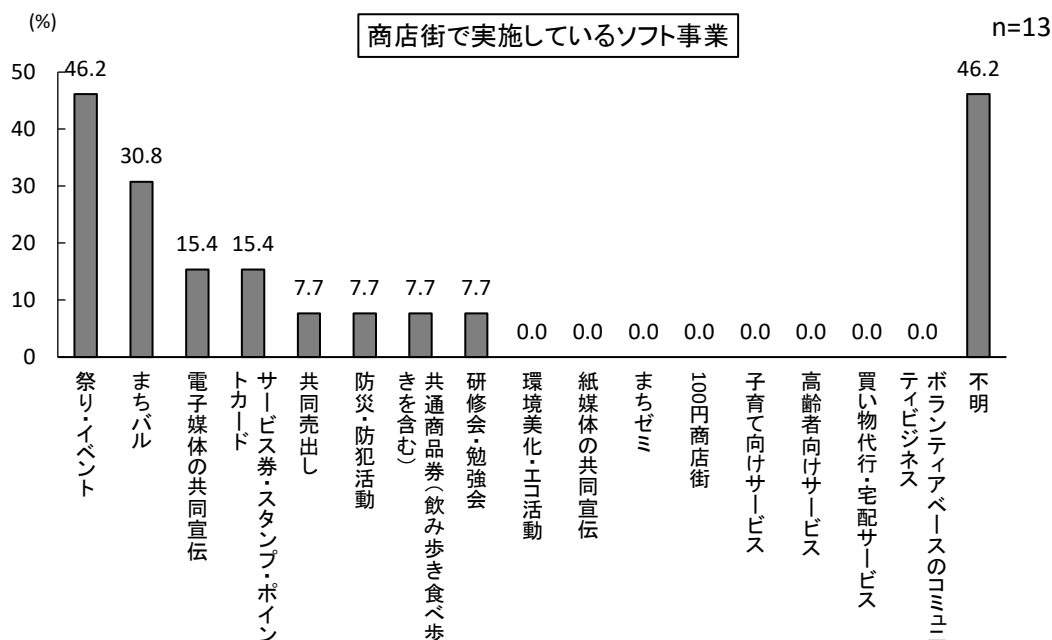
- ・今後の空き店舗対策では、「不足業種について出店者を募集・誘致」、「業種問わず、出店者を募集・誘致」、「家主店舗利用を働きかける」(各 15.4%)が多くなっている。



#### (4) 商店街の取組について

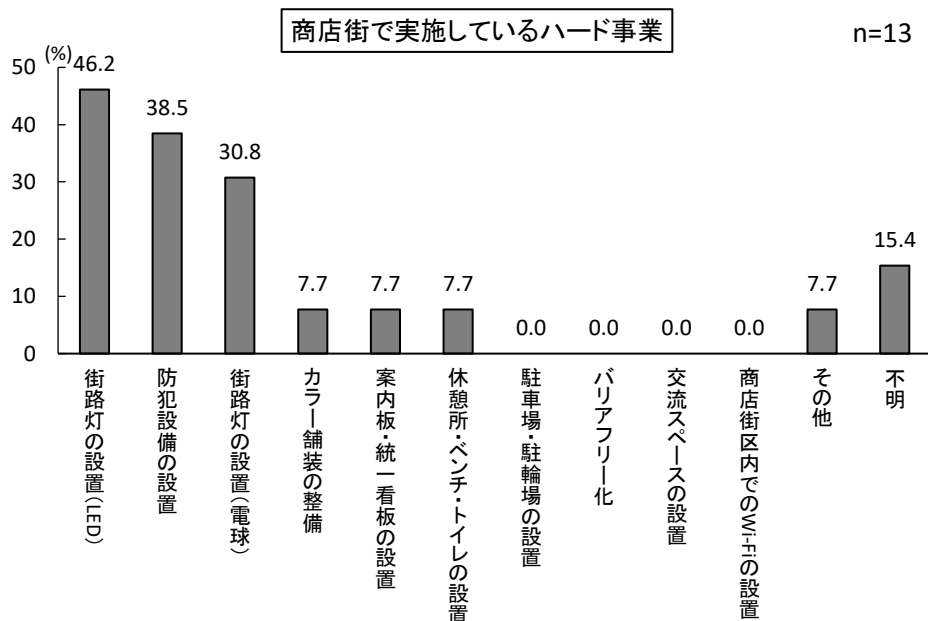
問 貴商店街で実施しているソフト事業についてお答えください (〇はいくつでも)。

- ・商店街で実施しているソフト事業では、「祭り・イベント」(46.2%)が最も多く、次いで「まちバル」(30.8%)となっている。



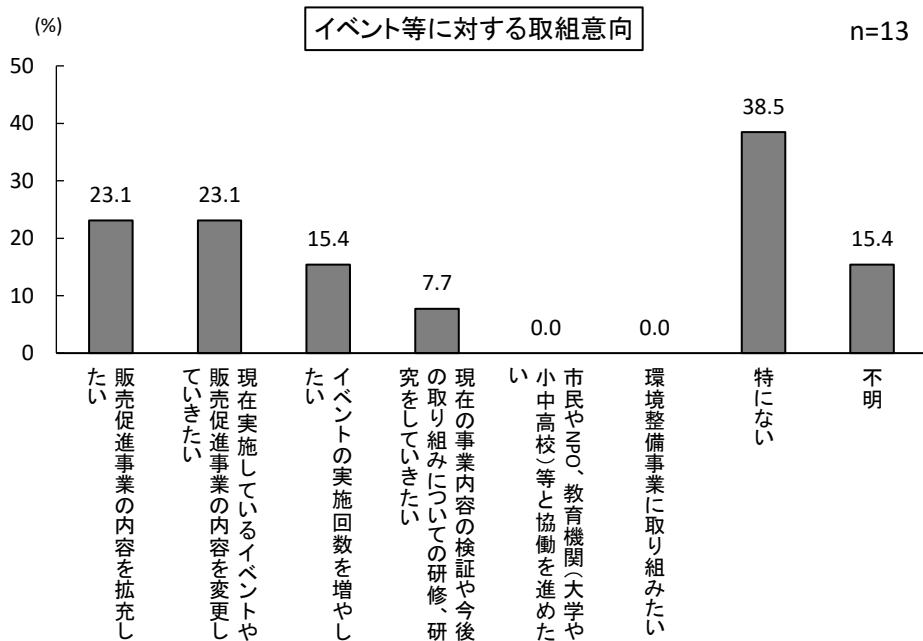
問 貴商店街で実施しているハード事業についてお答えください (〇はいくつでも)。

- ・商店街で実施しているハード事業では、「街路灯の設置(LED)」(46.2%)が最も多く、次いで「防犯設備の設置」(38.5%)となっている。



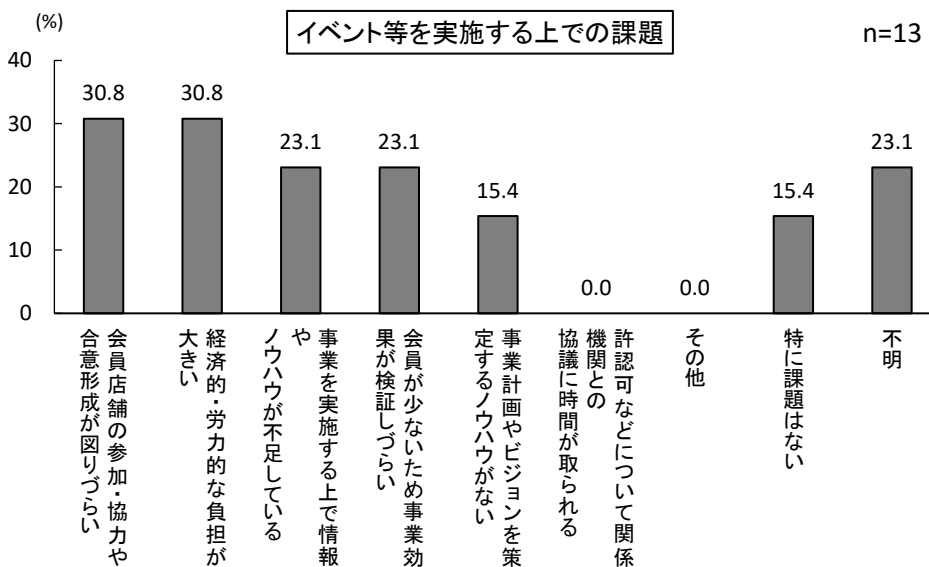
問 イベントや販売促進事業、環境整備事業について、どのような取組意向がありますか（〇はいくつでも）。

- ・イベント等に対する取組意向では、「特にない」（38.5%）が最も多く、次いで「販売促進事業の内容を拡充したい」や「現在実施しているイベントや販売促進事業の内容を変更していきたい」（各23.1%）となっている。



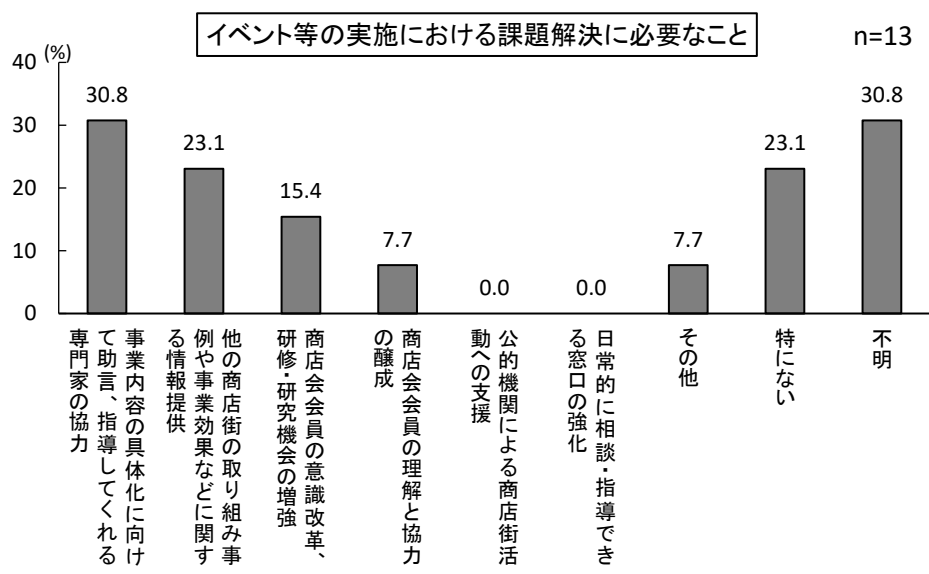
問 イベントや販売促進事業、環境整備事業を実施する上で、どのような課題がありますか（〇はいくつでも）。

- ・イベント等を実施する上での課題では、「会員店舗の参加・協力や合意形成が図りづらい」や「経済的・労力的な負担が大きい」（30.8%）が多くなっている。



問 イベントや販売促進事業、環境整備事業を実施する際の課題を解決するために必要なことは何ですか（〇はいくつでも）。

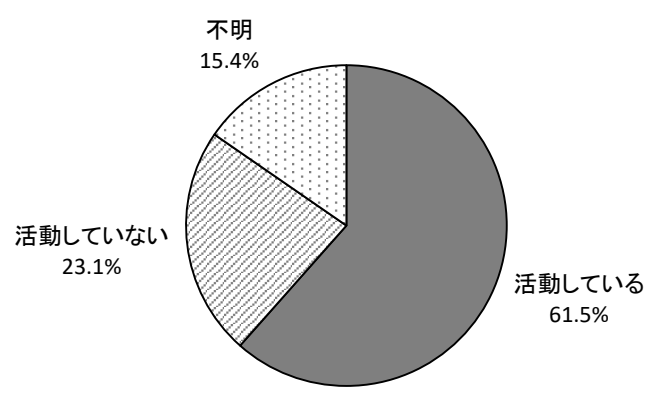
- ・ イベント等を実施する際の課題を解決するために必要なことでは、「事業内容の具体化に向けて助言、指導してくれる専門家の協力」(36.4%)が最も多く、次いで「他の商店街の取り組み事例や事業効果などに関する情報提供」(27.3%)となっている。



問 貴商店街では地域の各種団体と連携して活動されていますか（〇は1つだけ）。

- ・ 各種団体との連携活動の有無では、「活動している」が61.5%、「活動していない」が23.1%となっており、連携して活動している商店会の数が多くなっている。

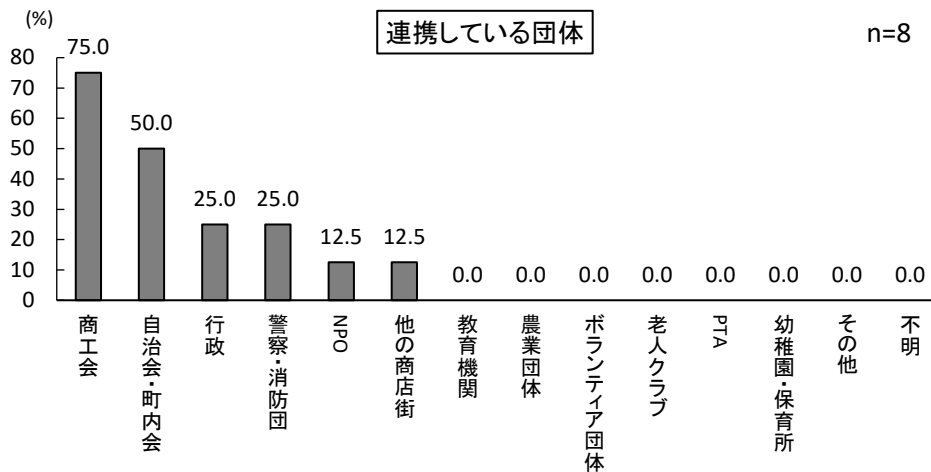
各種団体との連携活動の有無



n=13

問 連携している団体は次のどれに該当しますか（〇はいくつでも）。

・連携している団体では、「商工会」（75.0%）が最も多く、次いで「自治会・町内会」（50.0%）となっている。



## 1 2 各調査の自由記述

### (1) 事業所を主たる販売先とする企業向け

地域	業種	朝霞市の産業振興に関するご意見をお聞かせください。
南部	建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅リフォーム補助金の一件当りの補助額増額 現5万円→10万円程度、もしくは工事金額に応じて割合で算出など。</li> <li>住宅リフォームの内容による補助対象の細分化 機器の取替えや外壁塗替えなどのリフォームと家の断熱性能の強化による省エネや健康便益による医療費削減などのメリットを加味した工事との差別化により補助金額を増加するなどの対応をしてほしい。</li> </ul>
北部	製造業	市が真剣に産業振興を計りたいのであれば、先進的企業（環境、エネルギー、IT関係など）の育成、誘致に予算を割いて実施すべきだと思う。各種団体に援助する従来のやり方は企業の自立を阻害するだけで、予算の無駄使いになっていただけです。むしろ先進的企業が育つことによって他の市内企業のお手本になり全体が底上げする相乗効果が期待できると考えられます。限られた予算を有効に使われるよう望んでいます。
不明	運輸業	ビジネスは自分達でやる事だと考えている。
南部	その他	仕事が無くなった時、朝霞市役所、ハローワーク、シルバー人材に困って相談に行きましたが、皆冷たい対応でした。それから、地元朝霞市ので仕事はあきらめました。ちなみにもう40年近く営業しているの法人税は納めています。
西部	製造業	企業誘致、工業地帯の確立、工場が操業し易い環境作りを充実させていただきたい
南部	その他	弊社の仕事内容は特殊な仕事になっており、関係機関（会社）のみと取引になり、一般、地域と取引はありません。事業転換をしました。弊社倉庫前の道路の雨水排水溝がなく、近隣からクレームがあり困っています。
北部	卸売業	文具の卸なので文具店が減少していてむずかしい
南部	その他	公的office（低家賃での賃貸）の確保。特にIT関連
内間木	運輸業	朝霞市内間木地区の道路の水害に付き産業誘致にマイナスである。善処願いたい。
東部	その他	空地、空き家、空工場等の情報をもっと知りたい
西部	製造業	出版界全体、ここ10数年毎年右肩下がりが続いているが、工場等への設備投資に対する補助等が少ない。
内間木	製造業	超高齢化社会に対する交通インフラの研究を早急にお願いします
内間木	建設業	朝霞市クリーンセンターで、事業系ゴミ処理を受け入れやすくして頂けないか。
西部	製造業	数10年も前からの単価で収入減となっている。材料や運送費など値上がりしているにもかかわらず加工工賃が安くて経営難での現在です。改善の道はあるのでしょうか。
南部	製造業	キャンプ跡地を有効活用し、恒久的な人集めが出来る商業施設、企業誘致や文化学術施設を建設するべきで、高層マンション等々で人

		口を増やせば良いと思います。今後東京中心に人口が集中してくると思うので、朝霞市は前都圏の補助的要として土地を有効活用すべきです。
南部	卸売業	私共の会社は住宅産業にかかわる木材、新建材住宅器機工事及び販売卸売業ですが、国と同様で木材利用国産材を市も、公共的も含めてPRして採用して頂きたいです。
南部	製造業	朝霞市は、東上線と西武池袋線の狭間に位置して主としてバスの利用が主な交通手段の為、不便な点である。私共の本店（社）は練馬区の為、隣接の朝霞、新座市は地続きの為ほぼ通う場合様々と言えますのでお世話になっております。
西部	建設業	リフォーム補助金を更に充実してほしい。
西部	その他	市内の業者を優先に仕事を廻して頂きたいです。特に看板も他市、町遠方の業者あるいは以前から頼んでいるので全部一括して頼んでしまう傾向に感じています。看板は特に提案、価格等々様々な面で行政（市）も業者にもメリットはあると思います。（一括請負業者は市内業者には下請としても仕事は来ませんね、不思議です）税金を増やすことが大きな柱になると考えます。今後期待しています。
東部	運輸業	企業誘致をお願いしたい。
内間木	建設業	会社の登記は川越市。商工会は前事務所があった新座市のため朝霞を拠点としている現在も朝霞市との係わりはあまりない。仕事は都内が主なので事務所が朝霞市にあるだけというのが現状。土建組合は朝志和支部に所属している。
西部	建設業	融資等資金対策を継続的に進めていただきたい。
内間木	建設業	駅ビル等を立ち上げ、シンボルビルをつくるべし。
南部	建設業	融資などがしやすくなれるように今以上に金利を安くして利息の変換率を高くして頂けると事業拡大のための資金を調達しやすくなります。

## (2) 個人を主たる販売先とする企業向け

地域	業種	朝霞市の産業振興に関するご意見をお聞かせください。
西部	飲食サービス業	各地域の商店会が一齐にディスカウント祭りを月に3度又は、5・10日毎に実施する様、コミュニケーションを執っていただく旨の方策を市主催で実施してもらえると良いと思います。 ・割引セール（5～10%） ・10枚綴りの優待券の発行（10%～お得権）（業種不同で利用出来る）
南部	生活関連サービス業	若い人達が一度はなれた地元に戻ってきたくなるような町づくり。朝霞にはこんな良い物があると自慢できる物を作っていってほしい。（ほうれん草とにんじんだけで無いもの） 年寄りだけに気を使う町でない方が良いと思う。まして子供、保育園の話が多すぎる。中学、高校生がみんな外に目を向けて出ている。
西部	小売業	商店の閉店（廃業）が多く活動している店が一部となった。昭和42年頃は大盛況の通りでした。
西部	生活関連サービス業	商店街が形をなしていない。街路灯もこれから、どの様な団体が維持していくのか。市民で維持していくのがスタンダードになるのか。空地などを市で購入し安い賃料で個人に貸さない限り商店はなくなり、街の灯も消え、街が暗くなるでしょう。昔、商店街だった所は今、すでに真っ暗です。駅前ばかり開発しないで商店街を再整備しない限り商店の再生はないでしょうね。
南部	生活関連サービス業	朝霞市で創業し35年がたちましたが、産業振興課さんには、いつも大変な時に助けてもらい感謝しております。新しく創業される方々にもきつとたのもししい支援をしていただけたらと思います。新旧の立場こそちがえ、存続する事の難しさは変わらないと思います。これからも朝霞市の発展の為によろしく願います。
西部	その他	我社のビジョンはふるさとまちづくりを目指す世界初の「コミュニティ・シェア・デザイン企業」です。赤ちゃん子育て世代から、独りぐらしの高齢者においても1人1人がいきいきと地域の中で主役となれる環境が生まれる仕組みを朝霞市と共に目指していきます。
南部	小売業	日頃よりお世話になっております。昨年秋に駅前通りにブティックをopenさせました。駅前通り自体を魅力的な商店街にするためには、市の（行政の）介入がぜひ望まれます。具体的には、シャッター商店街を改善することです。本腰をあげて、所有者さん側と話し合いの場をもち、市がいったん借りあげ改装してテナントを募集するくらいの姿勢でとりくんでいただきたいです。若い世代で企業を希望する方たちが、ぜひ朝霞でチャレンジしてみようと思えるような、柔軟な企画が必要です。たとえば、中高生や学生さんがカフ



		<p>エで勉強する傾向がありますが、商店街の中にも勉強c a f e (W i F i 完備マスト) があつたらいいなあと思います。ご高齢の方々が、健康のための毎日のサンポに商店街へ通いたいと思えるような、フリーパスランチ (月々20,000 円とか) の店なんかもあればいいなあと思います。アイデアはあっても一個人ではどうにもなりません。行政と協働で朝霞を魅力ある町にしていかなくてはと思っています。</p>
南部	その他	<p>商店街の活性化を無理すすめるよりも他業種の支援もした方が。取組が分かる工夫もして下さい。</p>
西部	生活関連サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が本当に多くなりました。お一人で御来店くださるお客様を見送ります時に道路の状況が貧しくてがっかりします。どうか安心安全な道路にして下さい。</li> <li>・防犯カメラの設置、外灯の設置も是非早急に考えて頂きたいと思っています。</li> </ul>
南部	その他	<p>産業振興に関するとりくみが良くわからない</p>
北部	生活関連サービス業	<p>融資等資金対策の情報がもっとあつてほしかった。</p>
北部	小売業	<p>私の店のある朝志ヶ丘商店では80%の店舗が廃業致しました。イベント等の活動はできません。</p>
南部	小売業	<p>何と言つてもインターネットショップ (アマゾン、ヤフー、楽天) の存在は影響が大きすぎるのではないかと思う。又消費税が重く感じるようです。小売業はどうなってしまうのか不安。</p>
南部	小売業	<p>ふるさと納税等々お世話になっております。市制50周年に合わせた1967年のワインを返礼品で申請いたしました。引き続き、よろしく申し上げます。</p>
南部	その他	<p>つい最近関係されたアメニティロード他の協議会会場で当時、担当の産業振興課の課長が席上で駅前県道 (市役所通り) を名指して「まだ商店しているところがある」と発言、国の補助申請の文面に駅前通りは残存する商店がある。この表現は産業振興を考えている市職員がしているのか疑問である。</p>
南部	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフォームの助成金の拡大 (金額、範囲)</li> <li>・建設業関連の異種業間の交流、教育の場</li> <li>・住んでいる方への勉強会などの支援</li> <li>・リフォーム (内装、外装) 地域貢献できる場所等の提供</li> <li>・中小企業の取組の失敗事例を学べる場→新しい会社、独立者が出てこないため</li> </ul>
南部	飲食サービス業	<p>いろいろなイベントがあるようですが、商工会に入っている処には連絡があつても入っていない処には何もこない。</p>

南部	小売業	高層マンションが増え、人口が急増した筈なのに商店街へのお客様の流れは以前と変わらず。歩道が確保できていなかったり、駐車場が無かったりが原因だと思いますが、シャッター通りと言われる事もいなめない現実があります。
東部	生活関連サービス業	朝霞の東口に市役所が出来た事も大変便利になりました。ほんとうにありがたいです。
南部	飲食サービス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・135万円の壁を廃止し働いた分だけ誰でも税金を納める</li> <li>・人手不足に対してこの壁があるため、毎年賃金が上がるので時間調整を働く側がするのでますます人手不足の現況を作っている</li> <li>・現状では人手不足により営業形態の縮小、ひいては倒産あるいは廃業になる可能性もある</li> </ul>
北部	小売業	400坪のうち事業を要する土地200坪を利用している。緑化を大切にし、保存樹木を有している等、生垣や様々な植物を育成して地球温暖化防止に協力している。 又、コンクリート打ち込み分は極力少なくしている為、雑草除去作業は過酷な状況にある。国定資税の軽減、雑草除去費用の補助を望みたい。現在ギリギリの状態で、土地を切り売りし、事業を中止せざるを得ない。
南部	その他	郵便局に面している樹木の整備を頻繁にお願いします。毎年、秋は、落葉はきを事業所が毎日のように行っています。落葉はきをしない日が続くとお客様から苦情がきます。
南部	医療・福祉	福祉、保育などの人材育成
西部	その他	約20年間同じ場所で塾をやってきたが、商店の活気がなくなり、廃業の店が多く、日中はほとんど開いてなく、夜の飲み屋やバーが多くなり、人通りもなくなってきた。又教育に投資するより生活が大変という状況である。
南部	医療・福祉	労務や管理に係るセミナー等を充実してもらいたいです。
東部	飲食サービス業	他の市や町から人が集まる市になるといいと思います。
南部	その他	特色ある町へ。障害者に対するバリアフリーやノーマライゼーション、誰でも利用できるユニバーサルデザイン等、いわゆる共生社会作りで多勢の人が関心を持つ差別の無い街をアピールしていきたい。住みやすい街になることで人口増や経済効果につながり、人々が定着することにもつながると思う。これらの相乗効果によりより新しい魅力ある企画が生まれ、様々な分野で発展できるのではないかと期待する。

南部	小売業	主人は病院に入院しています。私も 81 才、2 人とも高齢者。これから先お店がどうなるかわかりませんがわかることだけ記入しました。これからもよろしくお願い致します。
北部	飲食サービス業	子供から大人まで楽しみがふえる（平和を基に）※お客様も働いているがわの人間も 心の底から明るくなれるよう努力、本人をみがき、より良い産業を目指すべき。そのために人材がふえ目標に向かって働けると、良い朝霞が生まれると思います。
南部	小売業	個人商店には減税措置を望む。
北部	小売業	朝霞市、税務署の関係について 個人店舗の人、高齢者になり何十年と税金を納めてきた。国民年金、より国民保険、介護保険が引かれわずか、どうしたらよいのかとぼやいている人多い。基をただせば国が悪い。病気もできない。
南部	医療・福祉	当施設は障害者支援施設（福祉施設）の運営を行う福祉事業であり、営利目的ではない。ただし日中活動で行う生産活動科目として印刷、縫製、内職、加工などで製品を販売しその売上から経費を除いた金額を障害のある利用者に工賃として支払っている。今後より良い活動科目を考えるにあたり、販路拡大に向けたマーケティング技術やノウハウ面での支援について地元企業や商工会さんなどと連携することも有益であると考えている。

### (3) 産業・まちづくりに関する市民向け

性別	年代	朝霞市の産業の活性化やまちづくりなどについて、ご意見・ご提案などをご自由にお書きください。
男性	40 歳代	住みやすく、緑も多い街なので、もうひとつの押しが欲しい。
女性	40 歳代	まだまだ、福祉に関する事が活性してなく、高齢者、障害者などが外に出にくい。車イスなどが安全に道などになっていない所が多く、安心して外出ができない。自転車に乗っている人のルールが悪すぎて危険が多く、弱者にとって安全に街や道を歩く事が出来ない。現社会がネットの時代も有るから仕方ないのかもしれないが、スマホ使用の自転車乗車、歩行者が多すぎる。情報を取り入れるのにネットなどを使用してと言われる事が増えているが、ネットが使用出来ていない人たちの事をもう少し考えてほしい。ボランティアをして下さる方々の情報が個人にもわかる様にしていきたい。
男性	70 歳以上	産業の活性化、商店街の活性化は考えないほうがいい。都心に近く、15分～20分の行動で都心まで行く。ここで独自の街は難しい。東京のベッドタウン、住宅市としての活性化を考えるべき。
女性	50 歳代	今でも美しく住みやすい町だと思っています。公園など掃除や伸びた木の切断、道路の補修などもよくやっています。お祭りなども、市、町、地域それぞれが、その大きさに合った楽しみ工夫をしていると思っていますが、川沿いに電灯がないのは危険だと思っています。志木の方はあるのに、朝霞側はなんでないと思っています。初先、電灯がついていれば、桜を見ながら夜桜散歩をしたいです。今までは、懐中電灯を持って出かけていました。
女性	50 歳代	子ども、高齢者へ向けての情報、魅力的なイベント等は多々計画されているとは思いますが、生活の中心を担っている30～50代へはアピールが足りていないと思います。どうしても他都市へと目が向いてしまいます。土地はまだまだ十分に確保されているように思えますが、店舗が育たないのでしょうか。
男性	50 歳代	市役所から駅までの道を歩行者専用道路にするか、一方通行にしてほしい。
女性	20 歳代	毎年彩夏祭が大きくなってきていて嬉しいです。特に花火は毎年楽しみにしています。他の自治体でもやっていますが、音や光に合わせて花火を上げるのもすてきだなと思います。
女性	40 歳代	北朝霞駅周辺のバルの企画は、地域のお店を知る意味でもよかったですと思います。また企画していただきたいです。
女性	40 歳代	高齢化がすすんでいると思います。日頃から子供達と高齢者が接する機会を多くつくりたいと、いざという時、お互いに支援できないのではないのでしょうか。しつけや協調性、思いやり、お互いに学び

		合える機会が増えていけば、町の中での優しい会話も多くきこえてくるのではないのでしょうか。
女性	50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞台の駅を開発してショッピングモールにする。</li> <li>・国に働きかけて、公務員住宅の予定地だった国有地に古くなった国立埼玉病院を移転させる。</li> </ul>
女性	70 歳以上	高齢者の行えるイベントはなし。これからは若者向けですね。食品類は高齢者の方が買うかも（未加工品）。
女性	50 歳代	最近、溝沼周辺では住宅が増え、緑が少なくなってきました。公園の整備、黒目川遊歩道の近くでくつろげる喫茶店、主婦の人気の飲食店など増やして欲しい。コンビニは増えていますが、歩いて行けるホッとできる場所、子育て世代から 70 代、80 代、友人と共に会話できる所を。リサイクルセンターの充実、バザーなど。
女性	20 歳代	駅前の商店街が廃れている。シャッター街となってしまった印象がある。
女性	40 歳代	商店街の活性化をするとより良いのではないかと思う。産直販売を行きやすい場所で地元の人にもわかりやすく利用しやすくすると良いと思う。
女性	40 歳代	時間で貸し出すカーシェアリングがほしい。ちょっと車があるといいのにと思うが、車がない。（免許はあるので）安い値段で車が借りられて使用出来ると助かる時がある。
女性	60 歳代	南口、東口、協働し一体化
女性	50 歳代	市外になりますがダイエー志木店が閉店しすごく不便を感じています。大型スーパーを誘致してほしい。朝霞台出張所が線路の向こうにあるので（宮戸から見て）オリンピック側にあると良いと思う。
女性	40 歳代	志木や朝霞のように駅ビルがあってもいいと思う
女性	60 歳代	これからの若者に期待しております。とても良い地域なので、宜しくお願い致します。（年寄りなので何もできません）
男性	50 歳代	商店街や大型ショッピングセンター、増やしてほしい。特に市と市の境目の地域が軽視されている気がするのでこちらもご検討いただきたい。バスも終バスも遅くし、増便してほしい。
女性	40 歳代	歩道を作って安全なまちにしてほしい。
男性	70 歳以上	著名人、学者、有名人（スポーツ etc）経験者の講演会等の企画案内・公報手段を考えて実施を希望します。
女性	50 歳代	駅前が両側共に「シャッター街」に近い状況はいかがなものか。駅前も、あんなに天井の高い道路は雨の時に「何の役にも立たない」税金の無駄使いとしか思えない、と思っているのは私だけでは無。建造する前に市民にはかってから実行して頂きたい。市長はじめ、担当される方ももっと勉強して欲しい。人気の有る街並を研究して参考にするとか、いくらでもやり方は有る。税金の割にリターンが少ないのは魅力が無いと思う。

女性	70歳以上	美術、音楽等にふれられる充実した施設があったらと思います。
女性	60歳代	せっかく人参の産地なのにほとんど朝霞市の人参をスーパー等で見たことがなく残念です。(あるかもしれないがわかりにくい) もっと朝霞の人参“ここにあり”のような人参パン、ケーキ、料理材料として他県に発信できないものかと他県から来た私が思うところです。「朝霞市名物はこれ」と思うものがない。1つで良い。
女性	60歳代	駅前商店街がほとんどなく、利用する機会がないと言う状態ですので、飲食品等はスーパーを利用する以外ないと言うのが、現状のような気がします。又、若い世代が多くなってその方達は、都内に通勤する方が大部分で、あまり、自分自身も含めて活性化とか考えると言う事はないように思っています。
女性	60歳代	なにもなくて良い町です
男性	60歳代	個人的に子供から大人まで世代に拘らず音楽(ライブ等)の或る町が良いと思います。
女性	50歳代	高齢者や障害者の働く場や集う場、通所の場など増えて、それぞれ生きがいを見出せるよう工夫して欲しい。あと、そういう方々の運動出来る場、軽くでも良いので付き添い無く出来る場があれば。わくわくプールは付き添いが無いと難しいので。付き添い無く動ける障害者も居るので。
女性	20歳代	北朝霞駅周辺にゆうちょATMと本屋が欲しいです。特に郵便局まで朝課台駅の線路をこえて、非常に遠く不便です。
女性	40歳代	何か企業の本社が来るようにしたらどうでしょう。和光市みたく。おまつりだけにぎわっている。花火もいいけどそれだけの感じですか。どうせやるなら四尺玉で。
女性	20歳代	バスの本数が少なすぎる。もっとふやしてほしいです。
女性	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田島周辺にスーパーや飲食店を作してほしい。</li> <li>・通学路の危険な道路に横断歩道や信号を設置してほしい。</li> </ul>
女性	70歳以上	朝霞駅中心は開発が進んでいるが、少し奥に入ると、道路の整備等がまだまだなので、車が多いのと車道と歩道との区別が進んでいないのととても危ないと思う。
女性	60歳代	東上線と武蔵野線がお互いに協力し合って、ホームの上下がない道路が出来ると良いと思う。駅ビルの充実を。朝霞台駅前の充実化と、清潔な周辺の整備を望みます。(きれいで明るいイメージ作りを)
女性	30歳代	<p>まだ人口が増えそう→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが安心して遊べる広場や公園を増やして欲しい</li> <li>・狭い歩道の整備：朝霞は坂が多いので電動自転車の利用も多く歩道が狭いので歩行者とのすれ違いに非常に危ない。</li> </ul>

女性	70歳以上	板橋から引越して来て3年目に入りました。最初は何もわからず淋しい思いをしましたが、いまではウォーキングに行ったり緑が多くとても気分よく生活しています。これからいろいろ活動の場を広げて地域に少しでも協力しながら頑張っていきたいです。
女性	30歳代	30年以上住んでいる割に地域のことをあまり知らないと感じる。
女性	70歳以上	商店のまとまっている地区ではよいでしょうが地区にないと買い物に出るのに時間かかる。膝折は特に店が乏しい。レストランもあると嬉しい。
女性	60歳代	岡近辺には気軽に買物が出来る場所が少ない。ミニコンビニ等が欲しい。自分は車椅子なので不便で仕方ない。外に出る機会が少ない。買物難民ぽい。移動コンビニ等があれば嬉しい。
男性	40歳代	大きなショッピングモールなどがあると良いと思います。
男性	20歳代	子どものためにお金を使ってほしい。
女性	60歳代	ここ4、5年で急に住宅が増えてその分人口も増えていると思う。地元には大きな会社がないので工場などいくつか出来て若い人達が働ける所があればいいのではと思います。
女性	30歳代	小学高学年になると学童に入れず、1人での留守番になり心配なので子供が安全に過ごせるような場所を作って欲しいです。
女性	60歳代	マンション内で防災の取り決めや活動の実体、お知らせがなく常に地震、台風、災害時どこにどうやって逃げ皆で安全を確認し生活を続けるのか不安です。
女性	70歳以上	①朝霞市にも大型店舗が出来ると良いです ②朝霞駅近辺の道路は歩道が欲しい ③道路の白線はいつも白くハッキリ書いてほしい ④駅近辺の信号機はスクランブル交差点が良い ⑤街灯を路道に多く付けてほしい。もっと下の所に
女性	70歳以上	40年以上も朝霞に住み不便さも感じませんでしたが、高齢者になってからは感じることもある。これからは若い人達に期待をもって朝霞の発展を祈りたいと思います。
男性	30歳代	とても住みやすい町だと思います。もっとよくしていけたら良いと思います。
男性	50歳代	大企業を誘致し、雇用の増大をはかり、住人の財布と心を豊かにし、お金を商業施設で使ってもらおう。このサイクルが成り立つまち作りが大事だと思慮します。（言葉で言うのは簡単ですが、現実には難しいですね）
女性	50歳代	北九州市では生ゴミのリサイクルをしているようです。朝霞市でも町ぐるみで生ゴミを少なくしたいです。公園の片すみや菜園の片すみ、コンポストでできないでしょうか。

女性	30 歳代	朝霞の子育てガイドブックに、離乳食、ミルク OK のお店リストをぜひ。ネット上にも情報 UP 希望します（都内はこういう店が多く、情報もたくさんでています）
女性	60 歳代	朝霞市民でいる事のメリットやもっと市を良くして行く意識を多くの方が持てるような企画、情報を得られるとよいと思います。
男性	40 歳代	長年住んでも変化なし。
女性	60 歳代	文具、手芸用品、陶器、靴店など専門の店があるとうれしい。
女性	40 歳代	閉店している商店街の店舗を若い企業家のお店をオープンして活性化させて欲しい。その際、市が協力して家賃を安くしたり、開店資金の補助をしたりと集まりやすい環境の援助をしてくださると良いのでは。朝霞駅の駅周辺には、魅力的な個人飲食店でにぎわっているお店もたくさんあり、まだまだ需要は見込めると思う。
女性	40 歳代	朝志ヶ丘 4 丁目は、北朝霞駅までとても遠いのに、移動手段が全くない。志木駅の方が近いのに、市のくくりで北朝霞方面の保育園にしか入れないのに、バスがなく、小さな子供を連れて、もしくは抱っこして 25 分歩くのはとても辛い。バスがあれば、出勤や外出ももっと便利になり、出かけたり買物したり町へも出られるのに、とても不便。結局志木に出るので朝霞の貢献にはならないし。毎日本当に不便です。早急に改善してほしいです。
女性	30 歳代	駅前（朝霞）商店街の道が本当に危ない。スピードを出す車も多く、バスも通り、歩行者はベビーカーを妨げる違法駐車（一時駐車でも道が狭いため車道に避けるしかない）が迷惑。どうにかして欲しい。
女性	60 歳代	宮戸では、バスがコミュニティバスしかなく時間も少ないので行き帰りがとても大変です。年齢重ねるごとに自転車など乗るのが大変になり、すごく不便です。タクシー使うと金額も高く毎日利用できないのでバスの時間増やすなどバスをもっと利用出来るようお願い致します。
女性	20 歳代 未満	家の周辺には買物できる場所が少なく、志木に行くにもバスの本数も少なくとても不便です。子連れにはとっても辛い。
女性	40 歳代	生活に必要な環境は比較的整っていると思いますが、出掛けて立寄りしたい、施設や大型店舗、デパート等が無いのが残念です。
女性	50 歳代	駅から（徒歩）10 分以内に大きな病院があれば人も来る。駅から徒歩 10 分以内に大きなスーパー、スーパー銭湯温泉があれば良い ・スポーツジムもなくみんなとなりの駅等に行っている（わくわくドームはすべて別料金で高くつく） ・上記の物があれば人が増え飲食店も増える（はやる） ・ラーメン屋が多いのでラーメンマップ作ってもいいかも
男性	20 歳未 満	服などを買う施設がなさすぎる。道はばがせますぎる。スリなどを する人がいて、安心して買物ができない。



女性	20 歳代	朝霞台駅にエレベーターが無いのが気になります。こんなに子供の多い地域で、東上線からむさしの線に乗りかえるため大急ぎで移動する大人が多い中、子連れの利用者には危険だと思います。
男性	30 歳代	①和光北 I C 周辺の区画整理の進捗を進めること。公園と商業施設を作る。 ②朝霞駅と朝霞台駅が関連性を人のゆききが少ないので、メイン通りをつくり一体感をつくる。 ③黒目川の整備 ④冬の花火大会と他の市との差別化のあるイベントを企画する
女性	20 歳代	道路整備と電車の急行を止めてください。 集計お疲れ様です。
女性	30 歳代	ここ数年、子供がとて多くなっていると思いますので、子供が参加して楽しめるイベントが多いと活性化につながるように思います。アートや食、自然などのイベントは盛り上がるのではないのでしょうか。
男性	50 歳代	2020 年のオリンピックへ向けての朝霞の街や人々の情報発信を期待しております。
男性	70 歳以上	産業の活性化を目指すなかで、朝霞市の強みと弱みを明確に認識することが先決であり問題が何か課題は何か、目標に対して現在どこまで達成してどの方向に進んでいるのか、理解したい。シンポジウムの開催や「朝霞をもっと知ろう!!」キャンペーンを企画するのも良いと思います。 このアンケートの設問が多く 70 才の私は少々疲れしました。
女性	40 歳代	彩夏祭などで子供のおこづかいで買ったり遊んだり出来るお店が少ないので幼児の子供でも地元のお祭りは楽しいと思える金額設定の場所があると嬉しいのと人混みがすごく小さい子供はあぶないので市役所のところとかは一方通行にしてもらえともう少し安全になる様に思います。そうすれば小さいお子さんがいる家庭ももっと参加しやすい。
女性	30 歳代	この意識調査アンケートを手にして、初めて朝霞市キャラクターぽたんの存在を知りました。かわいいキャラクターだと思うので、もっと活用をされた方が良いと思います。最近、スピードを出し過ぎの車やバイクをよく見かける。騒音も気になるし、安全面も気になるので、対策はないのでしょうか。また、歩きたばこも気になります。駅周辺の禁止エリアを出た途端にスパSPA、そしてポイ捨て。全面禁煙にはなりませんか。
女性	70 歳以上	工業地域のため隣近所も少なく、又、年齢的にも出歩きが少ない。
男性	20 歳代	もっと大きい封筒で返信したい。小さすぎる。

男性	70歳以上	幸町に和食レストランがあったら良いと思います。
女性	40歳代	ふるさと納税、他府県のものも（お礼の品）取り入れてもよいのでは。
男性	20歳代	洋服屋さんが少ない（男）
女性	50歳代	あまりイベント等参加した事がないので、機会があれば少しでも参加してみたいです。外燈が少ないのか、夜になると暗い所が多いので、もう少し明るくしてほしいです。
女性	50歳代	東口の方ももっとお店を作ってほしい。根岸台はお店がないので小さいスーパーを作ってほしい。
女性	70歳以上	家の廻りもととても暗いので照明の方をみて下さい。
女性	30歳代	朝霞は子供が多いので、子供をのせる大型の自転車が多いのですがそのわりに自転車の環境が整っていない気がします。とめる場所も少ないし安全面もガードレールがとぎれ、心配です。
女性	30歳代	越してきて間もないので、市内について詳しくありません。すみません。
女性	50歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆ〜ぐ〜じょうの跡地に火葬場を中心とした葬儀場を作り民間に経営を委託、新たな雇用先を作る。しない巡廻バスの小型化を推進し、ルートとタイムテーブルの見直しを計り、駅から遠い内間木や膝折地区からも高齢者等が移動し易い交通手段を整備する。市役所周辺、市中心部の商業化をすすめ、駐車場の整備をする。</li> <li>・朝霞市は、東京から近いものの、特産品や観光資源も特に無く、三中生徒誘拐犯が語っていたように、目立たない特徴の無い所である。世間からもそれ程知られていない事を逆手に取り、映画やTVドラマの撮影地としてPR推進する。黒目川周辺や青葉台周辺等美化整備し、トイレ、食事処、宿泊場所の確保をすすめる。撮影舞台地となる事で県内外からの人出も見込める。</li> <li>・市内の商店の場所が良く判らない。市のHP等に、市内レストラン、商店を紹介するページを作るか各店のHPへ飛ぶリンクを貼る。</li> <li>・自衛隊の観閲式をイベントに押し上げる。基地内に入場出来ない人も見学出来る特設会場等を作る。</li> <li>・ニンジンの旬の頃（10月下旬～11月）にキャロット祭をやる。市内飲食店に参加してもらい、ニンジンを使った料理を開発してもらい、新たなグルメを作り売り出していく。既にケーキ等もあるが、もっとPRして認知度を上げる。マスコミ等の媒体にも声掛けする。ドレッシング、鍋、グラッセ、多種を開発。</li> </ul>
女性	30歳代	朝霞駅、商店街が狭く不便

女性	40 歳代	大きな産業や事業ばかりでなく住んでいる個人のよりよい生活環境もよくなるように、小さな、たとえばご近所トラブルの芽をつむ事などにも力を入れてほしいです。最近、年配の方のマナーの悪さがよくテレビなどでも取り上げられていますが、道路でのガーデニングやゴミ出しマナーの注意のステッカーなどを作り、ボランティアの人が街を巡廻してほしいです。
女性	60 歳代	まちづくりについて 現在改修中ですが、市民会館は、多くのイベントや催しが開かれる為、市内外から多くの方が訪れる場所だと思います。特に、市外の方が駅から徒歩で市民会館まで行かれる時のルートは、道幅もせまく土地利用も計画的でなく、相互通行の為、車がすれ違う際は、歩行者もとても危険な状況に立たされます。市外から朝霞に初めて来られた方の朝霞のイメージもあまり良好ではないのかもしれないと思います。古くからの道路状況で、改善は難しいかと思いますが、駅に近い場所だけに利用される方も多し道路なのでなんとか改善できないものかと考えます。 御苦労様です。良いアンケートだと思いました。
男性	50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の住みやすい街をつくってほしい</li> <li>・集会所等を利用して、高齢者が毎月集まれる場所をつくる。それと子供を預けられる機能を追加していろいろな世代をつなぐ街、孤独な人をつくらぬ街としてほしい。</li> </ul>
男性	30 歳代	屋根のあるバスケットコートが欲しいです。
女性	60 歳代	退職後のことを考えて、ショッピングモール、病院が計画されると知り退職を決めたが違ったのがっかりした。
男性	40 歳代	「朝霞市ってどんな街？」と聞かれたら具体的に言える魅力的な人、環境、イベントなどアピールできる場所になって欲しい。
女性	20 歳代	ショッピングセンターがあれば、もっと活気づくのではないかな。映画を観たり、服や食料品を買ったりと楽しめる施設が欲しい。
女性	30 歳代	安全で安心して暮らせるよう、治安のよい防災体制の整った生活環境づくりができたならよい。米軍基地跡地の整備や有効活用ができたならよい。
女性	30 歳代	駅周辺など、パチンコ店が多く、まちのイメージが悪くなっていると思います。また、歩きタバコをする人が今でも多く意識の低さを感じます。小さな子供達のがびのび健康に心も体も育つまちになってほしいです。
女性	20 歳未満	朝霞市といったら“これ”と言えるような有名なものや場所があると良いと思います。よろしくお願いします。
女性	40 歳代	・倉庫などが多いので、トラックの様な大型車の交通量が多い割に道路が狭くなおかつ歩行者用の道路もかなり狭いので歩きにくく

		危険な場所が多い。 ・できれば歩きタバコや自転車に乗りながらの喫煙を禁止してほしいです。
女性	60 歳代	自然の美しいところを、みんなで味わえるように。朝霞台駅から、花、木、緑を沢山ある。黒目川のよさを表現できる駅前にしたらよい。時計があるがさびしい。はなやかな時計を。
女性	30 歳代	子育てしやすいまちづくりへ向けて、自分にもできることがあれば協力していきたいです。
男性	30 歳代	何か新しいことを始めるにはそれなりのエネルギーが必要です。そのエネルギーの1つとして老若男女問わず、やる気があり、自らアクションできる人を集めること。そしてお互い意見をなんでも言い合える場（ディスカッション）がしやすいこと。あとは、上の世代の方々が若い人達をサポートしてあげること。そんなやる気のある人が集まりなんでも話せる場（環境）がそろってこそクリエイティブなことが思いつくのではないのでしょうか。どこかの有名企業のように。
男性	70 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の行事、情報が少ない</li> <li>・市民農園が少ない（特定農地貸付利用する人が多い）</li> <li>・安心して利用できる公園（居心地の良い）</li> </ul>
女性	50 歳代	50 才以上から参加できるイベントとかあったらうれしい。
女性	50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹を増やす（緑を増やす）</li> <li>・公園でのイベントを増やす（トイレをキレイに）</li> <li>・歩道とレンガのおしゃれな石畳にする</li> <li>・待機児童ゼロ、子育てしやすい街に</li> <li>・高齢者に優しい街に</li> </ul>
女性	30 歳代	じゃがいも堀り、さつまいも堀り、田植え等子供が小さい内にしたいけど、当選しないのもっと増やしてほしい。どろんこ保育園の自然食堂が参加しにくい。
男性	60 歳代	面積の小さい、期間の短い、市民農園は初心者には向いていると思うが本格的に野菜作りをしようとする人たちには全く合わない。耕作放棄地でも地主は直接であれば貸してくれない。耕作放棄地の地主と本格的な野菜作りの希望者との仲介を市役所でできないのかどうか。単位としては50～100坪。出来ないのであれば数年前に市外に移り、200～300坪耕作している知り合いのいる町に引っこそうかと考えている。
女性	70 歳以上	朝霞市のどまん中にある国有地を、緑を残しながら有効活用できたらいいなあと常々ずーっと考えていました。都市近郊にあるキャンプ場とか子供がのびのびと遊べる自然に親しめる場所になるといい。それに黒目川沿いにサイクリングロードそれにとまなうスポーツ及びカフェなど放っておくのはもったいない資産だと考えます。

男性	30 歳代	駅中のお店の営業時間をもっと延長してほしい
女性	40 歳代	朝霞台駅、北朝霞駅周辺の活性化。乗降客数が多いのに駅ビルもなく、魅力的なお店もない。乗り換えの間にブラッと立ち寄れるお店であってほしいと思う。
女性	40 歳代	自然災害に強いまちづくりも考えてほしい。子ども、障害者、高齢者に対してはいろいろと事業などがあるが、勤労者は情報も得にくいし、不規則な仕事だとイベントなどにも参加できない。勤労者にやさしいまちづくりを考えて下さい。
男性	60 歳代	朝志ヶ丘にも公園を設置し地域のコミュニティ形成の場として欲しい
女性	60 歳代	緑が多く住みやすいのですが、お店が充実してはいないので市外で買物しています。ホームセンター、ドラッグストアが歩いて行ける所がありません。
女性	70 歳以上	駅近くに大手の銀行、フレンチレストランなど人が集まる場所を造りバスの本数を多くする事で出やすくなるのでは。
女性	40 歳代	自転車専用道路（青いやつ）をもっと整備してほしい
女性	40 歳代	積水化学跡地の開発を進めてもらいたい
男性	30 歳代	朝霞駅から和光駅へ行く道路の整備（歩道を広げてほしい）。駅前に大型百貨店がほしい。無料の自転車置き場がほしい。
女性	60 歳代	積水東京工場の跡地の利用計画はどうなっているのか知りたい。汚染物質除去工事は完了とのことですが、ショッピングモール計画は立ち消えか。
男性	50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北朝霞駅の混雑はまだ改善の余地がある（危険だと思う）</li> <li>・彩夏祭は良いイベントだと思うが、もっと市民優先などの考えがあっても良いと思う。花火の観覧場所など。朝霞駅近くは危ないぐらいの混雑だった。</li> </ul>
女性	30 歳代	良いまちだと思うのでこれからもがんばっていきましょう。
女性	20 歳代	私はスポーツ（サッカー）をやっていたので、時間があれば教室など開いてコミュニケーションを図りたいです。芸術にも興味があるので、たくさん開催してほしいです。
女性	70 歳以上	南口、駅前通り（せまい）アブナイ為、広い通りのバス通りにして、商店街を安心して歩けるように希望します。
女性	40 歳代	今度の街バルは成功させたいです。
女性	70 歳以上	黒目川沿いに広い公園が（朝霞の青葉公園のような）出来たらいいと思っています。
女性	20 歳代	正直、平日は勤務先と自宅との往復のみ、土日は都内へ行ってしまうため、働いている身としては、朝霞市民であるという想いは特にない。ただもっと公式ツイッターやフェイスブック等で活動内容を展開していただければ、参加したいという気持ちはあります。

女性	50 歳代	駅前にパチンコ屋が多すぎる。駅前なのだから、学生も多い。オープンカフェや、もう少し若者が利用出来るお店があると活気も出ると思う。
男性	60 歳代	駅前の道路を一方通行にして商店街はアーケードにして歩行者道にする。
女性	40 歳代	東京も近く関越所沢インターにも近く、秩父など自然の多い場所へ行くにも便利で住むのにはとても良い地域だと思っています。さいか祭や黒目川のお花見など朝霞の良さを住民の方へアピールする皆さまの取り組みも素晴らしいことを感謝しています。
男性	40 歳代	私は小学生の子供をもつ親です。メールで不審者情報が割と頻繁に届きます。心配です。又、内間木地区は住民も少なく、場所によっては不法投棄も絶えません。防犯カメラを見えるようにあるいは隠してもっと設置してほしいです。「安全」は街のアピールにもなるでしょう。
男性	40 歳代	夏祭りの彩夏祭に見学に行きたいと思いますが、車イスなどで行ってもトイレが少なく不便である。駐車もないし移動も大変なので参加出来ない。
女性	40 歳代	朝霞市のキャラクターをもっと売り込むべき。キーホルダーとかタオルとか。和光とか志木はがんばっているのに朝霞はぜんぜんやっていない。あれば何か安そうなとか手ごろなサイズの物、1つは買いたい。ぽぼたんグッズほしいです。
女性	40 歳代	「まちづくり」の一環として、市役所におつとめの方が信号を渡らず（市役所側の道）ななめ横断しているのを見ると「残念な市。発展はない」と感じてしまいます。
女性	60 歳代	災害に対する備えが不十分です（雨が降ると毎回同じ場所が満水して車輛等の通行ができない等）河川の多い場所なら尚のこと、治水が不可欠であることは言うまでもありません。大局から見て些細な事象かもしれないが大河もはじまりは一滴からといいます。まずは安心、安全があればこそ、その先にインフラはもとより、市の活性、繁栄があると考えます。
女性	70 歳以上	今まであった工場等も無くなり大手の会社、工場等が出来れば若い人達もくらせる町になるのでは。
女性	50 歳代	5年近く前に朝霞に引越してきました。以前は板橋区です。朝霞は公園も多く、街並みも整備されているし、とても生活しやすい街だと思います。朝霞駅周辺はレストランや居酒屋はあるものの、スナックやクラブが数店しかないので環境面で安心だなと思いました。（板橋はあふれていたの） 住んでいて不安を感じるのは数年前の女子中学生の誘拐事件。今ウォーキングをしていますが、駅から近い場所でも人通りの少ない場所が沢山あります。今の住居を決める前に朝霞はどんな場所か調

		べました。若い30-40代の家族が多いとの事、交通の便もいいので市外からの移住が多いと思います。新しい家族同士のコミュニティの場をしっかりとっていく事が大切だと思います。
女性	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイスブックなど見て情報をほしいと思ってもあまりくわしく載っていないくて残念に思うことが多い。もっと利用しやすい、分かりやすい情報の広めの方を考えて頂きたいと思いました。</li> <li>・私は今、保育園に子供を預けることが出来ず、幼稚園も確実に入れるかどうか分からない。この先仕事についても学童も満員だといううわさしか聞こえてこない。情報も大して載っていない。不安にしかならないこの現状をととても悲しく思います。</li> </ul>
男性	30歳代	朝霞駅から市役所にのびる道があぶなくて歩きにくい。何とかして下さい。
女性	60歳代	高齢化に伴って大病院や高齢者が楽しめる施設でのレクリエーション活動が必要になると思います。元気な高齢者が多いのでボランティアだけでなく謝礼を出して地域の安全対策や環境整備をした方が報酬をいただいているだけにやりがいがあると思います。町会の役員等高齢者は病人も多く、いずれ活動は減少してしまうと思います。
不明	50歳代	特に気になる産業もなく、大型のショッピングセンターもありません。集客のあるもの朝霞とは、と聞かれても彩夏祭くらいで近隣地域の方以外は彩夏祭といっても疑問です。商店街も地味に営業なイメージ、イベントなども平日が多くフルタイムで働いていると参加できなく残念です。良いなと思うイベントもあるので、参加しやすい日時だと良いと思います。
女性	20歳代	自然や緑があり、人が親切な方が多く、暮らしやすい朝霞市が大好きです。環境を整備し、川や緑で癒され、駅近くにイオンなどの大型商業施設があったら更に嬉しいなぁと感じております。魅力のある個人で経営されているお店ももっと増えたら嬉しいです。
女性	30歳代	市のイベントが色々あって良いと思うのですが、宣伝ポスターなどが色々な所に貼られていれば、もっと多くの人を知れるので、より良くなるのではと思います。貼ってある場所が限定されているのか、私の生活圏では、目にしないイベントがある気がします。
女性	60歳代	道路が狭く、通行しづらい。道路を広げてほしい。基地跡地をいつでも自由にスポーツをできるようにしてほしい（若者が）
女性	20歳代	ぼぼたんのグッズを販売してほしい。キーホルダーやぬいぐるみなど。10%は寄付として（売上の）
男性	70歳以上	朝霞駅前から市役所までの通りを自動車は一方通行として、歩行者、自転車等が安全に通行出来る様に道路の両端に線引し、通行帯を設置する事により、住民の安心・安全をと思います。（線引だけなので安く出来ます）

男性	30 歳代	若い子育て世代が増える大規模な再開発が重要だと思う。おたかの森のような民間企業の力を借り、感動する町づくりをして欲しい。道がキレイで、歩道と車道が広く分けられていれば、それだけで良い町と判別する人が多い。
男性	30 歳代	子育て世代が増えている地域かと思います。その中で、新築物件、公園や保育施設は充実してきているように感じますが、近隣の駐車場、駐車スペースの確保が足りていないように思います。イベントに参加する時やサークル参加の時など家族で行動する際は車移動が中心となります。又、子供の保育で両親に関わってもらう時など車で来てもらうことがあるのですが、近隣の駐車場が少なく困ることがあります。市内、市外の交流には、駐車スペースは大切なものかと思います。
女性	50 歳代	まさに今日久しぶりに朝霞駅～市役所通りを歩きました。シャッターばかりでものすごくさびしかったです。たとえば、吉祥寺のようなおしゃれで魅力あるお店が連なっていれば、遠方からでも人は来ると思います。インスタ映えするパンケーキ、レストラン、ベーカリー、雑貨屋さん、スポーツクラブなど。期待しています。
男性	60 歳代	ショッピングセンター、ホームセンター、娯楽施設、法事等が可能な飲食店
男性	30 歳代	根岸台 8 丁目台雲寺近くの道を明るくし、スーパーを作してほしい。需要があります。小学校・中学校が遠いので作ってほしいです。子供がっらいです、30 分かかるのは大変すぎます。
女性	30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全、そして安心して過ごせる町にする為に、新座、志木では行っている迷い人の情報を開示してほしい。HP や企業へのメール等で協力を求める等。</li> <li>・介護士をしているが、在宅介護においてケアマネージャーによりケアの差が感じられる。又、子どもを保育園にあずけていても保育士の技量にも大きな差があるように思う。地域の福祉を育ててほしい。</li> </ul>
女性	60 歳代	時間に余裕はありますが体力足腰等の不安があり外へ出る機会が少なくなり残念。もうイベント等へ出向くことが少なくなりました。開催者の努力には感謝申し上げます。今後も朝霞市にとってよりよい町作りをお願いします。
男性	40 歳代	駅前商店街がにぎやかになって、いろいろなお店ができるといいと思います。
男性	40 歳代	地理的位置、市内の物理的モノ、住んでいる人の活動時間から、市の活性化の最適な状況があると思います。
女性	60 歳代	駅から市役所までの商店街は、バス等の大型車が走行しており非常に危険です。車は朝霞駅（南口）入口の信号から郵便局までの道を



		走行してほしいです。また、商店街の道路は歩行者専用にするこ とで、お店が多くなるように思います。
女性	50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞台駅を魅力的な駅ビルにしてほしい。近隣の駅（朝霞駅、志木駅）は整備されている</li> <li>・自動車走行空間の整備 車道と区切られた自転車専用レーンが望ましいですが、厳しいことは理解しています。徐々にお願いしたいです。</li> </ul>
男性	50 歳代	都心からの交通環境など立地条件も良く気に入っています。和光市、新座市、志木市など大規模商業施設が整備されており、そちらに車での訪問が多くなりますが、朝霞は祭りやイベントで、また文化、スポーツなどで差別化していけば良いのかなと思います。北海道在住時、自治体の地域住民の活性化のための文化イベントや子供と親の体験（物を造ったり、星座鑑賞会 etc）学習などもりだくさんでした。（短い夏を屋外で楽しむという希望があったように思います）
女性	30 歳代	朝霞市は坂も多く、足の悪い老人は外に出るのが大変かもしれない。市内バスの線を増やす、歩道の確保などが必要。
男性	40 歳代	市内に大型店がなく、家族でショッピングや食事を楽しむ場所があると良いと思う。休日には市外のショッピングモールに車で出掛けることが多く、もっと近くにあればいつも感じる。近くにあれば、自転車での運動にもなり、駐車場を気にしなくて済むので。
女性	60 歳代	朝霞駅周辺は緑が多く公園もありキレイですが朝霞台周辺は雑然としている印象があります。三原あたりには、公民館、図書館等がなく、不公平をとっても感じます。同じ税金を支払っているのですから、こちら方面も開発して下さい。
男性	60 歳代	朝霞市は高齢者が多くまた朝霞で生まれ育った人の比率が高く保守的である。現在は転入者も増え人口が増え続けている。若い人の比率も上がっていると思う。昔から朝霞に住んでいる人と転入して来た人との交流の場がもっとあってもよいと思う。
女性	40 歳代	市内に魅力的な職場がないので東京で仕事をしている。子供を持つ母親にも働きやすい場所がないのが残念。
女性	40 歳代	食料品以外の物を朝霞市内で買おうとすると店が少なく苦労します。特に本やCD、DVDなどを買おうとすると店がなく、結局、インターネットで買うことになります。大きな商業施設であれば少しは地域活性するのかなとは思う。
女性	30 歳代	子どもが楽しめるイベントをもっと増やしてほしい。幼児だけでなく乳児向けのイベントがあれば参加したい。
女性	20 歳代	東武東上線の朝の乗車率が高すぎてかなり不便なので何か改善できると良いと思う。
男性	60 歳代	駅前の再開発が一番。国有地の払下げが重要。

男性	40 歳代	住みやすいまちづくりをお願いします。
女性	40 歳代	子供から大人まで気軽に参加できる雰囲気を作ってほしい。地元の方々は仲が良いのかもしれませんが、地方から来たものは「よその」のように見られなかなか入りづらい雰囲気です。商店街が活性化してくれると近くで買い物（車がなくても）ができとても便利です。商店街で気軽に買い物がしたいです。
男性	40 歳代	パチンコ屋が多い
女性	30 歳代	子どもたちが毎日通学する道に整備されていない所が多い気がします。（歩道が狭い、ガードレールがないなど）毎日使う道こそ安全にしていきたいです。暗い道も多いです。住宅街の街灯も増やしていきたいです。防犯カメラも。三原でおきた中学生誘拐事件は住民の中にまだ恐怖として残っています。
女性	40 歳代	和光、朝霞、朝霞台、志木と四市の中で一番印象が薄くさびれているイメージが多いのが悲しい。もう少し新しい物をどんどん取り入れて朝霞のイメージを変えてほしい。昔からの物を引きずりぎみ。道が狭く車が走り辛いところが多い。
女性	50 歳代	交通の便が良く、緑が多い住みやすい街だと思います。今のままで日常生活に不便を感じていないので、景観はこのままで、大型店の誘致等なく静かな環境で朝霞ならではのまちづくりをお願いします。また、朝霞市内の事件や事故、火災などはすぐにネットで知らせたい。
女性	70 歳以上	道が狭く坂がおおい。ショッピングモールが出来るといい。
女性	50 歳代	町全体をセンスのある花や緑でいやしの空間があればと思います。となりの和光市は、花を植え、公園など美観に力をいれていて、朝霞市を和光市の境目に住んでいるので差がわかるほどです。せめて駅がもっとセンスのあるおしゃれな駅だったらと思います。駅周辺になぜかパチンコが多いのでは。もっと大切な施設があると思うのですが、たとえば商業施設やオシャレなカフェコミュニティーなど。大きな商業施設はなくてもいいと思います。落ち着いたのがある、リラックスできる町がいいですね。
女性	50 歳代	活性化のためにも高齢者の雇用創出は必要と考えている。（朝霞市に限ったことではないですが）
女性	40 歳代	公園が少ないので増やしてほしい。歩道もないので歩いているところなので歩道も増やしてほしいです。
男性	70 歳以上	特にないが「広報あさか」は良くできていて、必ず目を通すようにしている。また、各戸に配達されるのを見て感心している。
女性	70 歳以上	農地が住宅地になったり、見通しの悪い狭い空地に集合住宅が建ったりと、道路が狭く自転車での交通、高齢者に歩きにくい町作りかなと思っています。

女性	60 歳代	朝霞市の年齢層の分布がわからないのでどうしたらよい町づくりがよいか、はっきりしません。世代を越え交流できる場や機会を増やすのが市民に心地よく幸せを感じられるのではと想像しています。 (高齢化が進む中)
男性	30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児支援の一環で、未就学児（幼稚園入学前（プレ期間）に親子別のあずかり保育）のサークルを作してほしい。 →朝霞市の幼稚園のプレ保育は頻度が少なすぎる</li> <li>・公園について（特に北割公園） →遊具の下が、コンクリがむき出しになっていけ危険（即、改善を） →ゴミ箱が朝ゴミであふれかえって危険（ガラスなどの危険物も園内に落ちている） →タバコの喫煙者、飲食されている方がいて不健康（ゴミもそのままベンチにある）北朝霞公園 →雑草の掃除や剪定などで刃物（チェーンソー）などが複数園内に長時間置きっぱなしで危険</li> </ul>
女性	20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イトーヨーカドーがほしいです</li> <li>・彩夏祭の路上整備をしっかりと行って欲しいです。市外から来る方も毎年増えているため</li> </ul>
女性	30 歳代	朝霞市はとてもいい市だと思っています。
女性	20 歳代	観光地として発展させていくのではなく、住民が暮らしやすい街として活性化して行ってほしい。学習の場としての歴史あるものを残しつつ、広い世代の人が日々を楽しく快適に暮らせるようになってほしい。
女性	70 歳以上	近年市内の工場他がなくなって来ているので産業が多くなって活力のある市になってほしいと思います。農地も荒れほうだいの所が多く、野生動物のすみかになって作物をあらしているの。でそういう農地を改善し、きれいな市になってほしいと思います。
女性	70 歳以上	マンション建設が相変わらず続いています。納税人口が増すのは良い事ですが、緑地は減らして欲しくないの。で、絶対に緑をつぶすような事はしないで欲しい。
女性	70 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“広報あさか”の紙面が前の方がよかった</li> <li>・私の住んでいる所は住宅地が多くある所なので小さなスーパーがあちこちにあり今の所不便はない。買うものによって専門店にも行けるので利用している。自転車で動いているけど車道は修理するけど走りにくい所が多い。</li> </ul>
女性	40 歳代	商業区画地にマンション建てすぎ。道路の整備が駅前しかされていない。歩道がせまい市役所通りを何とかしてほしい。
女性	30 歳代	五小の近くにも児童館がほしい。

男性	70歳以上	人、物、金の流通を向上させる施策を練る。 例) 人：今後増加の傾向にないこれらをどう対処するのか 物：東上線に貨物車を
男性	40歳代	駅から市役所までのバス通りが狭いのに交通量が多い為商店街のお店に入りづらい。以前にイベントで商店街にあるお店を回るスタンプラリーをやったが、お店の人の感じが悪く、イベントを生かしていないように思えた。気持ちから変えないとダメなのでは。
女性	60歳代	年（60代）でも働ける場所

(4) 農家向け

地域	朝霞市の農業、ひいては産業振興に関するご意見をお聞かせください。
内間木	市の活性化するには、あらゆる層の人達が面白がれる場所の提供と話し合い出来る機会をもうける事
東部	農作業への協力
東部	生産量の少ない高齢者、1人農業の人も出荷出来る施設（直売所等）の整備
東部	現在、正直体力の続く極限まで日々農業に従事して働いています。しかし、現在がピークであり、労働力、人手不足から、今後は徐々に縮小していくのは確実です。息子達がいずれ就農するかも全くわかりません。これは全ての農家が抱える問題であり、おそらく朝霞市のような都市農業は壊滅的な状況になる事も予想されます。理由は、農業収入の低さ、労働力不足、固定資産税、相続税の高さ等により農業従事者が居なくなると予想されるからです。国は過去のアンケートばかり調査していますが今後のアンケート調査を行わないので危機感が伝わりません。この為、朝霞市やJAあさか野管内だけでも5年後、10年後農業経営が作物ごとにどう推奨しているのか。農業に従事しているのは何人なのか。抱えている問題点などきちんと精査して話し合える機会を作っていただきたいと考えます。
南部	地元に新鮮な野菜、安全な供給
東部	税金などの支払いが大変な為副収入に頼るしか税金の支払いしかたないと思いがすが
不明	固定資産税が高い。農地は500㎡以下でもすべて生産緑地にすべきである
内間木	遊休農地の草刈りをするよう地主さんをお願いしたい
北部	高い固定資産税を払っている農地もあるので悩むところです
不明	現在農産物の生産をしていないので回答できるヶ所が少なく申し訳ございません
東部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地があってもどの様に運用（耕作）したら利益がどのくらいなどのシミュレーションがまったく分からない。ザックリでも良いので目安になるものが欲しい。</li> <li>・農業自体が保守的な感じがして外部からだ入りづらい※農業自体（組織、農家さんを指す）</li> <li>・市の方で年に1度でも良いので集まりを開催して欲しい（既に開催していたらすみません）</li> </ul> <p>例. 市民農園開催セミナー、農業採算のいろは、イタリア、フランス野菜の栽培方法、野菜ソムリエ※意見、要望のリターンがあればベストです</p>
東部	現在の税法では農地を維持していくのがむずかしい時代になっています。若い人達に魅力ある食づくりの場を提供して行くと良いのではないのでしょうか。
内間木	現在の水稻栽培でよいと思います